

『生きることの全体』を支えるICF(国際生活機能分類)に基づく
医療・介護等の包括的提供と運営戦略に関する調査研究事業

別冊 — 2 —

平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金
老人保健健康増進等事業分
厚生労働省発老 0928 第 1 号

一般社団法人 国際在宅医療研究会
代表理事 川島 孝一郎

平成 23 年 (2011 年) 3 月

目次

【自由記述回答】

問 9

事例： 年齢 68 歳、ALS、要介護度 5、長男夫婦と同居、コミュニケーションは意思
伝達装置を利用、主たる介護者は妻 65 歳

ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。 【A 健康状態】	1
ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。 【B 心身機能・身体構造】	58
ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。 【C 活動】	115
ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。 【D 参加】	173
ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。 【E 環境因子】	229
ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。 【F 個人因子】	291

問9 ICFの生活機能モデルの図を用いて、考えられる課題と対応をご記入ください。

事例：年齢68歳、ALS、要介護度5、長男夫婦と同居、コミュニケーションは意思伝達装置を利用、主たる介護者は妻65歳

【A 健康状態】

(在宅療養支援診療所)

時々発熱する。痰の吸引が頻回に必要
環境変化による体調の変化に注意
ALS
長時間の体位による消もうのチェック
ALS
呼吸状態
痰、唾液の排出管理。呼吸困難時の対応を前もって決めておく
血圧、心肺機能
ALS
・現在の能力の把握
ALS、寝たきり状態
気道吸引、気道確保のできる条件が必要。急変時の救急連絡先の確保
えんげ状態の悪化予防
車イスでの座位は可能だが疲れやすく長時間の意思伝達は困難。
喀痰吸引 O ₂ 伝の心 呼吸器？
移動に体力が持つか旅先で緊急な容体変化
座位を長時間とることによる疲労呼吸機能への影響
体温、気分、呼吸をチェック
呼吸状態は
許される状況なら温泉旅行は大いに結構だと思います
誤嚥をしないか
行けるなら結構である
・温泉に入浴する体力の保持・入浴時の体調管理・急変時の対応
健康
ALSによる全介助状態
坐位での長時間の移動にはこまかい注意が必要
一般的病状（持病）
安定していること。不安定なら中止。
現状の維持
入浴できるか自宅で行ってみる
麻痺のため移動、移乗には相等の介助を要する、体温の調整能も低下している
ALS65才
・旅行可・バイタルチェック
人工呼吸器装着中
68才ALS
移動中に痰が多くなる。座位が長くなると腰痛があらわれる。
吸痰が必要
たんが多い
座位が長時間になると、排便排尿が困難となる。
呼吸機能は??
長時間座位が可能か？
発熱呼吸管理（痰対策）
寝たきりであるが自発呼吸である
ALS
全介助での移動呼吸・排痰良好
IA-1~2
・長時間の坐位や移動が可能か？呼吸器、意志伝達装置の調整
時々肺炎あり
ALS、要介護5
入浴：服の着脱 旅行：体力の維持リハの必要性

A L Sが重症だと対応不能
食事が■■の心配なくとれているか？
家庭内療養 家人任せ
寝たきり状態で喀痰多く喀痰咯出困難あり。
A L S 温泉旅行希望
意思伝達に問題
感染症対策
急変時対応体位設定
気管切開は困難
緊急対応できる病院が近い施設を選ぶ
1泊2日の旅行に耐えられるだけの健康状態かどうか、判断のしようがない(情報が少なすぎるので不適切問題と考えられる)
人工呼吸器をつけている。痰の咯出困難
A L S、全介助
要介護5で全面介助、コミュニケーションは意志伝達装置必要
実際に状況・状態がつかめず
レスピレーター使用？経管栄養の使用？
座位が長時間になると痰が多い。呼吸状態が急変したら直ぐに対応してくれる医療機関がわからない。意思伝達装置の準備が必要。
入浴はどの程度の介助が必要か、器具やマンパワーの確保、宿の確保
呼吸、発熱、栄養、排泄
日常の入浴状態の把握(体位、時間、休憩)入浴後の変化について特に回復に要する時間
A L S
吸痰の問題。栄養の摂取の問題(持参は要)
本人の希望があれば可。
呼吸状態、感染への予防点
・食事の摂取状況・痰などの状態・血圧(バイタル)の安定性
温泉では入浴は2回を限度
A L S(要介護5身障1級)
時間毎または随時の喀痰吸引が必要
臥位もしくは座位での移動にどれ程耐えられるか
A L S介5
移動による負担
詳細不明
気切、人工呼吸器は必要ないようだが、吸引器は用意すべき。使用中の機器のバックアップを
・長時間の座位の維持が困難・移動時のコミュニケーションのための装置のメンテナンス
人工呼吸器の管理が重要。宿の対応が問題となる。
呼吸状態の安定。急変する可能性は
心機能、呼吸状態の悪化、血圧低下
A L S
感染症に注意
疲れの程度がどうなのかの確認
食事(経管栄養)吸引
痰の貯留状況。体力問題(病状が安定しているか)褥創の有無。人工呼吸器の取り扱い。
A L S
歩行不可。意思伝達困難
寝た切状態 生活全般に介護が必要
長時間の移動、入浴は体の負担が多い
要介護5 意思伝達装置状態
A L S
・人工呼吸器・排便コントロール
当然、確実に悪化する疾患
全身状態の正確な把握
心肺機能への影響、介護が絶対必要
A L Sで寝た切り状態。意思伝達装置にてコミュニケーションを保つ。
A L S介5
脳梗塞後遺症、右片麻痺

呼吸筋マヒと嚥下障害
座位が長時間になると痰が出て、座位が保てない
落ち着いた状態？
周囲の働きかけがなければ終日臥床している
安定しているが、だ液が多い。頻回の吸引が必要。気切されており24時間人工呼吸器装置
温泉に入る時の呼吸管理に注意
全介助
直前に感冒等の感染症を発生しないこと
同じ姿勢で長時間いると手足に痛みが出る。
呼吸不全の程度、四肢麻痺。
・痰が多いか、寝がえり困難か、経口摂取困難か。
座位が長時間になるとつらい意思伝達装置が使える
A L S
呼吸は？人工呼吸？合併症は？車酔いは？
入浴時に補助呼吸が必要 浴槽での身体支持、移動に自力でできない
口腔ガン（末期）S t a g e IV
A L S人工呼吸器装置があれば■■■で電源さえあれば入浴可能
座位が長くなると痰が多くなる
・呼吸、痰・寝たきり
排泄移動に家族や、旅館の人の手助けが必要で、自分の意志伝達に装置が必要な状態
入浴すると疲労感が出る
痰が多くなるから吸入吸引を入念に行う
疲れやすい。よく呼吸器感染症をおこされる。
・睡眠状態・食事状況・排便状態をcheck
86才調不全でペースメーカー入り脳梗塞で左半身不全マヒグループホーム1人住まい、在宅診療
・A L Sで介護度5、伝達装置がないとコミュニケーションがとれないが、1泊2日の温泉旅行に親戚と参加したい。・食事、排泄、移動に介助が必要。
本人の健康状態のよきパートナーの付添
温泉へ1人ではいけない。移動が困難
痰の吸引が心配。移動時の介助がないと心配
気管切開胃ろう
P Sモードで人工呼吸器が装置されているが、定流量持続吸引器を使用し不安感が減少し、意欲が増している。
状態安定しており介護タクシーを利用すれば可。
A L S要介護5
A L S、68歳、要介護5、意思伝達装置が必要
A L S、要介護5
本文と同じ、座位の確保がむずかしい
バイタルの確認
呼吸、循環動態の確認。食事の介助が必要かどうか。内服
移動に伴う疲労
呼吸、嚥下状態の確認
寝たきり
リクライニング付の車イスを用意する 酸素吸入が旅先でも可能なように酸素屋さんに横の連絡とってもらう。装置を点検する 痰の吸引器を用意・点検する。
呼吸器をどうするのか喀痰排出に対するデバイス
全介助、呼吸状態に注意が必要。
A L Sだが、意志はある。
長時間の移動に際して心肺機能の確認。飛行機や鉄道の乗降許可の確認が必要。
A L S 68才
呼吸は自発。食事は経口可能。排泄はオムツ。
出発前に、血圧、振博酸素飽和度を確認する
温泉地の場所の条件（距離環境）大丈夫か主治医に相談。
長湯をしないよう気をつけるバイタルの変動には、十分注意する。
全身の筋マヒがあり、臥床状態、発語困難。
移動に伴う変化に耐え得るか。
呼吸状態？A L S

Vitalが安定している O2吸入可
ALS 発症年齢? 68才
・移動に全介助を要する・コミュニケーションツールを使って意志疎通可
・52才発症のALS。・身体全■■■として、時々大腸憩室炎をおこし、排便コントロールには気を使っている。
呼吸状態、喀痰の量
1泊することによる必要な物品の確保近くの病院の把握
長時間の座位を保持することは難しい。意思伝達装置の利用。時折、呼吸器が必要となる。
ねたきり
長時間の座位は負担が大きい
座位が長時間になると痰が多い。
・同一体位が長時間続くと痰が貯留してくる・仙骨部に褥瘡あり、入浴時処置が必要
体幹・四肢筋力低下あり 移動は常時車椅子 意思伝達は可能
呼吸状態が不安定 食事経口摂取が困難 筋力・体力が低下している
座位が長時間になると、痰が多い。温泉旅行先では意思伝達装置を使えない。
・床ずれなどないか・誤嚥しないかなど
起座位時間が長いと流延及び痰あり、疲れやすい。
定期的に痰の吸引が必要。意思伝達装置以外に吸引器なども持ち運びを考える必要
座位保持困難にて入浴介助時は、体支持が必要である。軽い腰上げ動作は出来る。
長時間の移動に対応できるか?
ALS 58才で発症
全介助状態であり痰の吸引、呼吸状態のcheckが必要
長時間の移動による状態の変化の対応・温泉入浴時のバイタルチェックが必要
ALSのOさん
座位が長時間になると痰が多くなる
長時間の移動、座位が保つことができるか
痰が多い
呼吸状態が不安、コミュニケーションに難あり
疾患の進行により自力での排痰ができない
入浴するとなると血圧上昇はどうか、酸素吸入の必要ないか心臓の働きはどうか
1泊2日の旅行により座位が長時間になると痰が多く、体力消耗をおこしやすいので色々な準備が必要である。
現在の健康状態を充分チェックして真に旅行に耐えられるか、意思伝達手段はどうか装置は携行出来るか。
座位を長時間保持できない。
68才ALSで要介護5 コミュニケーションは意思伝達装置
四肢筋緊張亢進あり長時間座位保持が困難
その日の体調
寝たきりで全介助の状態であるが、精神はしっかりしている
人工呼吸器の移動や調整又バイタルチェック等の同行Nsが必要緊急時の連携病院が必要
行動出来る状態の確認
呼吸障害の程度は? O2必要か吸痰は?
ALS
ALS 年齢68才 要介護5
座位の状態が長く続く様な場所を選択する体を休める所を作る
ALS
移動時の負担が大きくなるので、事前の健康チェックが大事
ALSで全身の筋肉は殆ど思うように動かないが呼吸は自発呼吸が可能であり、その他、感染症などの合併症もなく安定している。今後のことを考えると病状から温泉入浴は、最後のチャンスと考えられる。
呼吸状態等の確認
動かせるか
移動するための座位をとる練習を行なう。
発声に気に注意
寝たきり状態、慢性呼吸不全、嚥下障害
骨粗鬆症があり、転倒する可能性、ケガ
負担を最少限にする移動手段が重要となる車イスなどの設備点検意思伝達装置の点検
呼吸状態はどうなのか。座位時間が長くなることによる影響。
発熱、呼吸状態
要介護5と認定されながらも自分で可能な仕事、社会参加をしたい

いん位中心の生活
A L S 要介護5
訪問入浴を受けているが入浴中の意志疎通は表情の読みとりだけである。
・移動には介助必要・機械の携帯必要か
長時間、車での移動になると、体力に注意、人工呼吸器の調整が必要
現在A L S で日常的に介護を得てくらしている。コミュニケーションも可
A L S、要介5
自分自身でのコンディション把握。意思伝達と出発の最終判断。
全身筋マヒ（A L S）
座位保持は長時間は困難。何かあった時の為に、主治医より情報提供書を用意してもらう。
A L S。要介護度5。68才。コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
A L S。横になっている事が大半を占め、嚥下障害を伴う。1日3以上の吸痰が必要である。
68才 A L S 要介護5
前立腺がん骨転移安定している。
慣れない環境での宿泊・入浴になると体調を崩す恐れがある
体位保持。嚥下管理。呼吸管理
A L S。人工呼吸機。P E G？四肢呼吸筋麻痺
（・長時間坐位・公共入浴
発熱はないか？
・意思伝達装置を利用 歩行困難 車椅子利用
痰吸引の問題。急変時のバックアップ
長時間の座位は疲れるので難しい。食事をとるにも時間がかかる。喀痰は多い
長時間移動への耐性。療養環境変化への対応
・気切、胃瘻の有無・痰の量
v i t a l c h e c k 等も含め、医療側からの可否確認。
A L S
バイタルサインの確認、感染の有無、栄養状態
長時間の座位保持では痰の量が増える。パソコン設定時細かな調整が必要
痰吸引。酸素。意思伝達装置の調整。旅行先で状態が悪化した場合の連携先または情報提供
A L S、要介護5でありながら一泊旅行に参加する意志がある。
・主病名、既往症発症時期
意思確認は良いが体力がもつか心配
要介護度病名だけの設定では、情報不足病期病態によっては要望には応えられない。先づは呼吸、咀嚼・嚥下機能が保全されていなければ遠出はむづかしい。
・意思伝達装置を利用してコミュニケーションをとる。・妻をはじめとする介護者により全介助で温泉に入る。
長時間の移動に対応
・人工呼吸器・筋力低下
車イスー車ーベットの移乗が心配 食事・排泄などで親戚の人が意思伝達可能か心配
発熱、呼吸状態が悪化しないかの確認が必要
四肢筋、呼吸筋の状態 経口摂取が可能か。排便に介助が必要
要介護5なら殆んど介護がいる
A L S（68才）
1時間に1回は痰吸引が必要。臥床時間が長く、このところ座位になることが少ない。お尻に床ずれが出来かかっている。夕方になると血圧が高くなりやすい
食事に長時間かかりときどきむせることがある。長時間の座位辛い
人工呼吸器をつけている
指がわずかに動きP C をコントロールしてコミュニケーションできる。P C 操作がうまくできず、イライラすることが多いが、文字盤を使用することも徐々に難しくなっている。
A L S
長時間の移動で同一体位での苦伸や発声もする。意思伝達装置の調整が必要
A L S（68才）
A L S。痰が多く頻回な吸引が必要。コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
68歳。A L S 要介護5。座位をとったりできるか。
移動が長時間になると車イスなど座位の為腰痛などひきおこすかも。
車のため座位での時間が多いので意志疎通 c h e c k が大切である
（呼吸状態、栄養状態、嚥下障害の程度、（おそらく経管栄養））

温泉、足湯だけでも使えるように宿側との調整。宿への事前説明。
要介5の重症ALS。レスピレーターの使用は？
安定

(在宅療養支援病院)

要介5
・入浴は好きだが、風邪を引きやすい体質の為、清拭ですますことが多い。・コミュニケーションがはかれるように、外出用サブマシンでも採作できる(馴れる必要がある)
・要介護5・ALS・コミュニケーション困難
人工呼吸機を入浴中はずしても大丈夫か？主治医にカクニンする。褥瘡はないか、処置必要か
ALS、装置を使用しなければ意思伝達ができない
ベッド臥床で一日を過ごす、痰を時々吸引する
ALS
要介護5で全てにおいて誰かの支援を要する。坐位をとるため補助具使用。
全介助、痰、排泄、食事など自宅でも介護がたいへんである

(臨床研修指定病院)

感染症にかかっているか、心肝機能の状態、
ADL全介助状態、発声不可、呼吸状態は？
呼吸状態、ADL介護
Aさん68才ALS
頻繁な吸引が必要
座位を長時間確保することは、負担が大きい
ALS
ALS、発語できないこと以外は不明。情報収集を要する
いつも入浴時息切れあり長時間は入浴できない。歩行困難あり二人支えればなんとか歩行可。
ALS
68才、ALS、要介護5、痰量、サクシオン頻度の確認
旅行前に病院を受診し、健康状態をチェックしておく。
移動に人手がかかり、長時間の旅行だと、本人の苦痛が大きい。別の場所での一泊で、必要な物品がそろわない
全身状態が、旅行に耐えられる状態か、食事形態が適切か(どのような摂取状況か)・痰の吸引の必要性、温泉に入ることが可能か
吸引等の問題
季節の変わり目には体調をくずしやすい。徐々に食事形態が変化してきており、肺炎をしやすい。
・全身の筋力低下から、寝たきり状態・旅行の長時間移動に耐えうる体力がないことが予想される
68才男性、ALS、要介護5
入浴の際に入浴時間をどのくらいにするか、また、湯ざめしないよう着衣調整。
食事は腸ろう(胃切をしているため)で持続注入。NIPでの呼吸かんり
ALS、68才、要介護5
ALS
呼吸状態の確認
ALS

(訪問看護事業所)

長時間の移動となるため痰が多くなる温泉に入る不安
従たる介護者も同行して体調管理必要
ALS
移動、移乗、座位すべての参加に援助が必要である
バイタル・チェック
痰吸引の状況の確認、栄養摂取についての確認、排泄、意思伝達装置点検
ねたきり
寝たきりで、胃瘻栄養となっている。又人工呼吸機を装着している。
体調
外泊を伴う外出に対して病状管理を確認する
座位が長時間になると痰が多い座位でワープロ入力を行う場合、スイッチの入念な調善が必要となる
車イス生活で時々吸タンが必要。気切しているが呼吸器はつけていない

車にゆられて座位での移動が長時間になると痰が多く、血圧の低下等がある。褥瘡のリスクがある。移動中のコミュニケーションのスイッチの位置等の検討が必要。
A L Sで全介助が必要。
気切による痰の吸引が必要。また人工呼吸器装着。
外出する機会があまりないのでわからないが、ここ最近では痰も落ちついている。
意思是伝達できにくく意思伝達装置をつけている
A L S、たんのきゅういんが必要。
・痰が多い・コミュニケーションをとるための意思伝達装置のチェック
痰吸引が必要。意思伝達できる装置の設置
長距離の移動による身体への影響はないか
A L S、介5、ねたきり？◎コミュニケーションは意思伝達装置、胃ろう？
A L S、意思伝達装置を利用。車イス座位可能。痰の量多い
病状は安定。温泉へ移動時、介助の量がどの程度必要なのか
呼吸筋マヒはどの程度なのか今後レスピは■■するのかしないのか
A L S最重症
・温泉地までの、移動時間が、長くなると痰吸引等が難しくなる。・自分の思いを伝える方法が限られている。持参することは、できるのか疑問
動けない。意思か伝達方法が限られておりむずかしいものは困難
A L Sにより合併症を発症しやすい状態で現状を維持する必要がある。
1泊2日の旅行で疲れはないか
座位が長時間になると痰が多い。
移動に時間を要し、その間呼吸器や吸引等の管理が必要
症状の安定化
・会話は可能（意思のそつうOK）・長時間の同体位不可能
疲れやすい
A L Sの難病 e t c
車椅子座位はどのくらいとれるか。車酔いはしないか。
A D L全介助、話せない、呼吸キノウ、えん下は？
一日の生活状況、座位時間、排泄
A L S（難病）
一致した楽しみ生がい
・座位長時間になると流延し咳嗽、喀痰多い。・気管切開（1時間毎の吸引が必要）
痰の量が多く吸引が必要。特に入浴時は多くなる
A L S。介護度5
A L S
栄養注入に時間を要し、移動した際の逆流が心配
むせ込み、痰からみ、意思伝達装置使用での本人の苦痛を引き出せる状況
A L S。気切、座位保持は困難。
病状の急変時、対応できる病院はあるか。吸引等の医療処ちを移動時、宿泊先でどうするか同じく食事（胃ろう）の処置は大丈夫か
入浴には介助が必要。入浴時は、意思伝達装置が使えなくなる。
温泉での疲労も考えられる状態に応じた入浴時間や方法が必要
座位が長時間になると、痰が多い。
・他の疾病の有無・吸引の頻度、呼吸レベル
咳痰の問題。座位になる事による問題
A L Sによる筋力低下、関節の疼痛、えん下困難、呼吸困難、コミュニケーションの障害
移動する時間、乗り物に耐えるだけの体力が必要となる。
活動量が平常と異なる為、呼吸筋の疲労が増強する可能性がある。体調悪化時の救急対応できる医療機関との連携が必要。呼吸管理ができるような準備が必要。
出来るだけ在宅の状態に近い環境介護なら可能
痰の状態。痛み、排便のコントロール。
移動の際、車から交流電源が取れずバッテリーのみになる。流延のバキューム、サクションが必要。
68才。A L S。介護度5。コミュニケーションは意思伝達装置。ホテルへもっていくもの。車イス、意思伝達装置などの準備。食事は妻にきいて用意。ホテルの状況かくにん。
・痰の状態の観察・バイタルサインのチェック
喀痰状況、食事状況
ベットのギャッジupでしか座位保持できない。一日7～8回吸引が必要。訪問入浴で寝た状態でしか入浴できない。

A L S
要介護5、入浴時介助を要する
A L S
長時間の移動による疲労施設での車いすでの移動が可能か。
・体温、脈、血圧・痰の上昇の有無
座位保持が難しい 吸引が常に必要
医師、看護師のサマリー（病院）ケアマネ情報提供者、基本台帳
68才 A L S 要介護5
・糖尿病があるが安定・神経因性膀胱のためにバルンカテーテル留置・N P P V療法・M A C使用
68歳、A L S
・移動時の吸引は安全にできるのか？・呼吸器装着で温泉は可能？体力も。
・長時間車移動座位が保てる必要がある・痰吸引等充分な対応が必要
A L S、要介護度5会話が困難移動や長時間の乗り物困難
A L S
痰が多く吸引が必要。コミュニケーションは意思伝達装置及びアイコンタクトで可能。
痰が多く頻回な吸引が必要。人工呼吸器使用しており、入浴時はアンビュー操作が必要。
A L S
痰の吸引、排便管理) 必要
・意志伝達に装置の利用が必要である
A L S 進行性難病
人工呼吸器、気切をしている。吸引は1時間に2、3回必要。熱発もなく、呼吸も落ついている自発呼吸ある。
座位が長時間になると痰が多い。入浴中臥位になると、気管内の痰が多い。
座位が長時間になると痰が多い。安全に入浴出来る態勢が必要。
・慢性的痰がらみ・褥瘡できやすい・便秘・同一体位長時間難しい
・経口摂取ができず、注入食が必要・移動や入浴で痰の量が増える
・2日間の旅行する体力あるか
A L S、コミュニケーションは意思伝達装置が必要。状態は安定している。
意志伝達装置の調整・文章作成保存、体調管理をしていく
・往復の臥床時間は体位交換等を考慮した、休けい時間が必要。・意思伝達装置の準備・車・旅館など。
A L S 68才
移動、姿勢保持に関するA D L、えん下能力、食形態、介助量、循環器、呼吸器の既往歴
気切、人工呼吸器の使用、吸痰、胃ろう、A D L全介助の状態、長時間の座位も困難。
四肢筋力低下で移動は車イス入浴も介助が必要な状態。コミュニケーションは意思伝達装置を利用している
普通のV/S、感染症の有無、S Pの量、スキントラブルの有無、移動に絶えられる限度、D rの許可等。
健康状態の突発的な変化に対応する事が可能な連絡・システムが必要
座位は長時間はできず60分位。時折痰、だ液の吸引が必要。胃瘻伝の心スイッチは顎
移動中の痰の吸引が出来る。呼吸器をはずし、アンビューでの呼吸管理が出来る。
A L S、全身状態の悪化
A L S、要介護5、A D Lは全介助、コミュニケーションは困難
・日頃から排便コントロールとれているか・食事はどのようなものが食べられるか・カゼなどの流行
痰の吸引は必要？嚥下障害→特事の問題。
A L S
A L S・全介助状態
車イスでの移動、吸引必要 移動中の体支、圧迫が長時間続かないように…。
車での移動のため、急変時の対応を確認しておく
宿までの移動時、座位が長時間続く為、意思伝達を入念に行う必要がある。久々の温泉希望あり、A L Sでもあり、入浴時の状態チェックが必要である。
旅行中に呼吸困難が生じた場合の対処方法を考慮する。
68歳男性 A L S
呼吸状態の確認。四肢の可動域などA D L状態の確認。どこを使つてのコミュニケーションか？
A L Sにて要介護5、意志伝達には、装置を利用
・体調変化を訴えられない。
68才、A L S
長時間の移動に耐える体力があるか
A L S
喀痰量は多くはないのか身体状況は良好か

2時間以上の座位は血圧低下や痰が多くなるので注意が必要
A L S
1、医療機関（かかりつけ医、往診医の有無。受診間隔、ADL発症年レイ）2、ケアマネージャー（月間サービスプラン、サービス提供事業所の情報）3、日常のバイタル4、睡眠5、食事（栄養状態、経口は流動か？）4、排泄の状況（オムツ使用か、Pトイレか）5、ADLレベル6、痰の喀出、口腔ケア7、保清面での介助状況8、コミュニケーション（文字板使用もしているのでは…）
A L S 要介ゴ5、コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・体力低下
コミュニケーション方法の検討調整が必要
・本人の意思確認をすることに時間がかかる
バイタルの安定性、食事形態、感染に対する低抗力、コミュニケーションには装置が必要。
気切していれば、吸引が必要。
A L S
環境が変わるので、身体の変化に注意が必要
・喀痰への対応・発熱や意変の可能性あり・寝たきり・固形物の嚥下難しい
自力での移動が困難。移動、入浴動作全てにおいて介助が必要となる
人工呼吸器が装着されている方は呼吸器の管理が必要
移動により、体力消耗し、体調をくずす可能性あり
長時間の移動等に対応できる体力等が必要
A L S。要介護5
68才。A L S
意思伝達装置を利用しながら会話する。全身の筋力低下筋萎縮による運動障害
・A L S・入浴するには全介助が必要
A L S 68才
人工呼吸器装着、排痰ケアが必要。胃ろう造設。体調は安定。
移動時間が長時間だと身体の負担になる
A L S
痰が多い。
A L S、介護度5と、ADLの低下のため、介助を要す。
・A L S…発症から何年目？
座位が長時間になると、痰が多くなる。コミュニケーションは意思伝達装置が必要である。
68歳、A L S
A L S、要介護5
A L S、要介護5
・A L S・意思伝達装置を利用して、コミュニケーションをはかっている
長時間の座位保持が困難。
誰かの世話を受けられれば温泉旅行も可能。
一人で動くことができない。言語障害がある
座位姿勢が長くなると体勢が崩れていく。固定が大事 痰はさ程多くない。（夜間は特に少ない）
A L S、要介護5、コミュニケーションは意思伝達あり
・全身状態は安定しているのか・呼吸器系の機器はついているのか・吸引の程度、痰の量
バイタルサイン、呼吸音、S P O 2、顔色、チアノーゼ、痰の性状、喀痰の喀出状態、排尿排便状態、全身皮膚状態、食事摂取量、食事栄養、ムセ、咳嗽の有無
移動距離が長時間。意思伝達装置が使用できず、他の方法が必要。
一泊2日旅行になると、座位保持の体制や車中での吸引器の対応。旅先での緊急対応等調整必要。
入浴にあたり、移動。入浴動作遂行における基本・ADL動作、体力・持久力が要する。
移動に伴う負担・疲労。（本人・介護者）
A L S、呼吸不全へのハイリスク、肺炎、ちっそくの既応あり
A L S、年齢68歳、要介護5
A L S
A L Sで要介護5、68歳。人の手をかりると動くことが可能。意思伝達装置を使用すると会話できる
30分程度の車イス座位可能。気切部からの痰が多く吸引頻回。栄養状態良好。
A L S
・A L S・要介護5・意思伝達装置を使用
A L S
68歳、A L S

A L S
意思伝達装置を使用するため調整が必要。A L S、6 8 歳
・呼吸器、吸引器などの使用状況
移動手段と体力的な評価。痰吸引や食事形態維持に対応可能な環境調整が必要
どの筋までのマヒの進行状態の把握
・移動時間が長くなると体勢の保持が苦痛である。・温泉に入るにも、介助者が2人以上いないと、風邪ひく可能性あり
長時間車での移動であり。
A L S。6 8 才
A L S
A L S 進行によりさまざまな障害がでてくる。機能低下による、二次合併症のリスクが非常に高くなる。
A L S、要介護5
座位が長時間になると疲労が大きい。
要介ゴ5、自力での体動は難しく全介助
・主治医より温泉旅行の許可・装置緊急時の対応
呼吸苦はないが、コミュニケーションが困難な状態である。
A D L、意志伝達装置。
A L S
バイタルサインは、安定しているか。喀痰の有無、喀出状況。
A L S コミュニケーションは意思伝達装置
長時間の同一体位が困難、コミュニケーションを図るのが困難な場合がある。
移動に不安がある
当日までに体調を崩さないようにしたい
・行き来の道中、車中で長時間の座位維持はきつい。リクライニングや休憩必要・伝達機能の修得
A L S 要介護5
長時間になると痰吸引等をどの場所で行うか
介助が常に必要。
6 8 歳 A L S
・長時間の移動は大丈夫？・意志の伝達手段は？
A L S
・呼吸状態の変化はないか。・訴えなど早期に分かるようにする。
A L S。痰吸引必要。歩行不能にて車いす使用。坐位可能。
A L S、会話不可
A L S、B e d 上で一日の大半を過ごす。時々吸引がほしい
バイタルチェック。呼吸器装着の有無。
A L S、6 8 才、要介護5
・呼吸困難を含めた呼吸の状態・一般状態・予後、予測・医療器機使用状況
1泊2日外泊する体力があるか。近くに病院があるか。
要介護度5、発語難
人工呼吸器の移動や調整などバイタルチェック等同行N sが必要。緊急時の連携HPが必要。
・長時間の坐位は、体力的に無理である。・入浴するには、シャワーベンチ等が必要
意思伝達装置にてコミュニケーション可、疲れやすく意欲低下気味
マイナス因子を越えて、生きる楽しみを出来る事への意欲が必要
A L S、介護5
自分自身でのコンディション把握、意思伝達と出発の最終判断
A L S (介護5) (6 8 才) 意思伝達装置使用
移動に時間がかかると、疲労。入浴する場合ストレッチャーカリフトが必要。介助者も必要となる
座位が長時間になると痰が多い。坐位でワープロ入力を行う場合スイッチの入念な調整が必要
・長時間の移動により、倦怠感が強くなる・外泊が初めて
・長時間の座位が困難・吸引が必要・意思伝達は装置を利用
・全身筋マヒ・発声障害・呼吸筋、循環動態への影響
疲れやすく座位時間が長いと横になる事が多い
要介護度5であり意志伝達装置をもっていく。
H O T 管理。呼吸苦時の対応。入浴後の体調変化の恐れ
A L S 食事や排泄、身の回りの世話、立ち上がりや歩行等がほとんどできない。言語的コミュニケーションが困難
家では安定した生活を送っている。コミュニケーションは、意思伝達装置を使用している。
A L S で、意志伝達装置を利用

全身の筋マヒ、R・心キノー障害、発声はむり、意思伝達装置にたよる。
長時間の座位はつらい。意思を伝えるのに時間がかかる。
A L S
・リクライニング車イスなら長時間可・時々吸引が必要・V/Sは安定している
呼吸管理、坐位保持
移動時間に耐えられるか？精神的な不安があるか？
移動に伴う、意志の伝達装置の異常がないか確認し、呼吸困難出現に対する吸引、酸素装置チェック
ねたきり、人工呼吸器装着、頻回の吸引、体位変換、胃ろうからの栄養剤の注入、清源ケア必要。意思伝達装置のスイッチの調整。
一般状態
移動時間による身体的な負担があると思われる。
長時間の移動等で痰が多くなる可能性がある。
A L S、介護5、男性
最低でも気管切開されている状態と考え、吸引が必要、温泉でのベット入浴のための人手又はリフトなどが必要
・日常生活を送る上では状態は安定・寝たきりによるハイリスク状態あり、注意が必要
発熱や呼吸状態は安定しているか。
ほとんど寝たきりギャジアップで座位可。食事可
移動による疲労。痰の喀出多い
・長時間により坐位保持困難・意思伝達装置のセットが必要
・旅行全搬に対しての主治医の意見・必要な医療処置があるのか
・外出に耐えうる体力があるか・坐位が保てるか、呼吸状態の変化はないか・入浴動作はどこまで可能か
A L S、意思伝達装置を利用し、コミュニケーション図る。医療機器装着中
・年令・病名・既往歴
吸引が必要、対応方法の確認、緊急時の受診対応方法→紹介状、病院間の連絡網、器材の取り扱い、業者との連携
A L S 要介護5 コミュニケーション障害あり、呼吸障害、運動機能障害の有無、程度
・呼吸状態、痰の状態は・長時間の車で移動出来るのか・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
日頃の状態が詳しくわからない
・人工呼吸器装着での排痰援助・コミュニケーション機器使用での眼性疲労（長時間となる）。
移動中の体力低下、体調変化がおこる。意思伝達装置の持ち運びはスムーズに行えるか。
A L Sで全面介助
自分で移動が出来ない。装置がないと意思伝達が出来ない。
A L S
A L S、痰が多く、発熱の有無、栄養状態の管理必要
座位が長時間になると痰が多い。意思伝達装置の利用に際し調整を要す
主治医のアドバイスをえる
長湯になると体力面で心配。介護力のシュミレーション等必要か
A L Sで寝たきりである。
介5で寝たきりに近い。体力への判断。
痰が多い
座位が長時間になると痰が多い
A L S 要介護5 流涎、喀痰喀出困難。吸引
同一体位で、同一場所に圧がかかる。体圧分散の必要性。意思伝達。
長時間の移動で疲労がたまる。痰が多い。
・痰、唾液量・吸引状況・可能な体位・コミュニケーション方法・栄養補給方法
A L SによるADLの低下。
バイタルが安定しているか。排泄のコントロールができています。旅行先での医療機関との連携。
・車イスは仙骨部に発赤ができやすい・長時間の移動は体力が心配
A L S (■■運動■の障害のため話す、手足が動かすなどできない) 要介ゴ5
入浴可能だが介助が必要
良好。食事摂取も可能だがのみこみが少しずつおそくなっている
移動時間が長く、痰の吸引が確実に実施できる
呼吸器使用。伝の心のセンサーを額につけているが、うごきが低下しうまくいかない時が多い
座位が長時間になると痰が多い。体調は安定している。
人工呼吸器を装着しており管理・吸引が必要、移動・夜間の環境整備（旅館の受け入れ体制の整備）も必要
リクライニング車イス利用2時間は座位で過せる
・座位が長時間になると、姿勢がくずれてくる

A L S 要介護度 5
A L S、要介護 5
全身状態の程度
呼吸機能は維持できている。心肺機能についても 1 泊旅行には問題ないと Dr から指示・指導うけている
A L S にて要介護 5、コミュニケーションは意思伝達装置を利用。全てにおいて、介護が必要である
常に介助を必要とする状態。意志疎通に装置が必要。入浴には介助が必要である。
痰が多い。仰臥位を好み起きたがらない。
・自力での坐位はむずかしい。・サイドルーメンからの吸引が常に必要。
車中、温泉で体位の工夫が必要である。
・全介助状態・入浴時に介助が必要
徐々に進行するが、痰の吸引等にて安定
喀痰量、吸引器携帯
呼吸機能は緩徐に低下している。口腔からの吸痰は適宜必要。そしゃく嚥下は食事形態に注意が必要。コミュニケーション装置の確認
長時間同一体位が困難、移動途中で栄養補給、吸引が必要
呼吸器装着、頻回な吸引、胃ろうからの栄養注入、排泄介助、移動の介助が必要となる。
コミュニケーションは意思伝達装置。
A L S 栄養状態、褥創の有無、6 8 才要介護 5、体重
排便は 1 / w の排便が必要。長時間の座位で腰痛出現。年に 1 回ほどじょく創が出来る
長時間の入浴は疲労感が強い。
・座位が長時間になると痰が多い
移動、移乗、食事、排泄全介助
呼吸状態（呼吸器装着状態）吸引の状況。
A L S、痰の吸引座位時間はどのくらい可能か
長時間の座位の保持および移動が必要なので、それにとまなう準備が必要となる
A L S
病状、残存能力、家での役割、コミュニケーション能力、既往歴
温泉旅行に参加したい意志があるからには、身体の調子は良い。
移動時間が長いと痰が多い皮膚が発赤しやすい。疲れやすい車酔い。などの心配がある。体調の変化が心配
意思伝達装置のチェックを行いコミュニケーションを取れる状態にする
長時間の移動は疲労感が強いコミュニケーションは意思伝達装置を利用
全介助状態。痰吸引必要。
B T P A P を入浴中外すことができない（呼吸困難感）四肢筋力の脱力感が少しある。
体調は安定しているが、定期的な吸引が必要。
緊急時の対応の確認
痰の吸引が常に必要。移動時間、先の安全対策
A L S、要介護 5
要介護度 5 であるので、介護者が常に健康状態をチェックする必要がある
・ A L S
旅行となると、痰が出た時の対処法が必要となる。
食事の量がへってきている。痰がうまく出せない。
体調がおちついている。今が出かけ時
A L S にて、呼吸器装着している。普段は臥床中心である。筋力低下している。

(訪問介護事業所)

床ずれの有無、外出できるのか？咳があるのか？
当日の健康状態
服薬？
移動時間の座位が長時間に及ぶと痰が多くなる恐れがある。
移動による負担と、食事・入浴等の変化によるしんどさがある。
血圧、体温、呼吸、栄養状態、体重、身長、A L S 以外の病気？
長時間の座位が困難
病状の安定度（A L S）在宅医療機器
バイタル
いつ温泉旅行に行くのか？意思伝達は？妻は？（健康か？）妻はどう思っているのか？
主治医への確認

入浴時間に注意する。座位保持に注意する。
座位が長時間になるとつかれる。座位での長旅や装置の調整が必要となる。
旅先での健康チェック。ALS。
人生の歩、経歴を聞き、長時間座位が出来るように
旅程でのキョリで本人がたえる状態かどうか
ALS 介5
・座位の保持と体調管理・湯あたり、水分補給
移乗・移動の際に介助が必要
要5 ALS
下半身マヒ、座位は保てる
移動時間が長いと本人への負担が大きい。
・体力低下傾向・定期受診で健康管理
臥床時間が1日のほとんどをしめている
ALS 身体が不自由 コミュニケーションのサポート
移動に際して意思伝達装置の取り付け調整が必要。痰の吸引も必要。
？
座位は何とか保てる
車イスに乗って長時間（2hまで）おれない。体温の調設が困難なため1日の中でも体温の変動がある
長時間の座位は保てないがリクライニング車イスでの外出可 コミュニケーションは意思伝達装置です。
座位が長時間になると、痰が多い。座位でワープロ入力を行う場合、スイッチの入念な調整が必要
全介助の状態、コミュニケーションも意思伝達装置が必要
乗り物・車椅子の移動により疲労がたまる。
安定している。
座位での移動
座位等の保持が難しい。コミュニケーションをとる為の機器が必要
ALS、コミュニケーションは伝達装置
ALS 痰の吸引 同じ体位が長時間出来ない
・座位は5分位でつかれる・エアマット使用で床ずれ予防
コミュニケーションは意思伝達装置を利用 主な介護者は妻68才体調変動がある
・長時間の座位はだいじょうぶか・長時間の移動はだいじょうぶか・緊急時の対応は？
座位がある程度保てる体力あり。健康管理がしっかりされている。体調にあまり変動がない。
長時間の座位は可能。移動は車イス。持病は有るものの、体調は安定している
コミュニケーションは意思伝達装置を利用、手足の麻痺による運動障害嚙下障害、呼吸障害に配慮する
ALS（68歳）男性
ALS。要介護5
ALSであるが、安定。セキ、タン、人工呼吸器が必要
車椅子での生活 食事は手助けが必要
意思伝達装置が無いとコミュニケーションが困難。
ALS 要介護5
痰が多い 意思伝達スイッチの調整がいる
コミュニケーションは意思伝達装置利用
長時間の座位は無理。介護5のため温泉への入浴の設備が整っていないと無理である
気管カニューレや胃ろうの状態のチェック 呼吸系の状態へ注意
ALS 要介護5 座位保持困難
宿泊施設の設備がご本人のADLに合っているのか事前に調らべる必要がある
暑さ寒さに弱い 電動車イス使用
ALSで自力発声出来ずコミュニケーションツール使用
長時間の座位で、体位保持ができない。
移動用人工呼吸器を自動車に乗せての対応。時おりの休みが必要。
ALS。要介ゴ⑤
ALSという事で、身体介護や緊急時の対応が必要。誰かが側に居なくてはいけない
長時間の座位はきつい。
・安全な移動手段を確保する必要がある。移動中の健康管理にも注意が必要。
・寝たきり状態ではあるが安定・意思疎通は何とか可
入浴中、介護を受けている時間がほとんどである。
気持的には楽しみではあるが、車椅子での座位で吸引は心配である

A L S (20才に発症)
A L S、長時間の座位がどこまでできるか、長時間の移動がどこまでできるか
A L S
寝たきり
車イスで座位長時間いられるか。
無理しない、途中で中止も、実行うまく行けば大きな自信
・食事は全介助・顔の表情、色でその日の体調観察
A L S。要介5
・体調のコントロール・必要機械のチェック
立位を保てず車イスでの座位がやっと。2、3日前から熱がある
A L S要介護5コミュニケーションは意思伝達装置使用
A L S
座位保持は可能だが長時間になると腰背部に痛みを生じる。二次的合併症による肺炎を引き起こしやすい為、入浴時の手際が大切になる。
A L S要介護5
年齢68歳、A L S、コミュニケーションは、意思伝達装置を利用。
車いすにて座位はとれるが長時間になるとかたむく。
A L S (68才) 要介護度5
緊急時に対応できる医療機間の確保
A L S (筋萎縮性側索硬化症)
自宅から温泉までどのくらいかかるのかを確認。座位時間長くなると疲れと思われるので車イスや車で楽な姿勢でいられるよう調整
体調も変わりなく元気である。
A L S。呼吸が困難。痰の吸引が必要。
主治医にきちんと説明して注意点を細かくメモする
長時間の座位困難。コミュニケーションの為に意志伝達装置は、必要
体調のチェック、意思伝達装置の調整、長時間の移動に耐える体力調整
摂食、嚥下機能に問題がある。長時間座位を保つ事が出来ない。自力で入浴出来ない。
A L S
A L S・要5
A L S (要介護5)
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用・A L S・要介護度5
体位の継続による皮膚のトラブルに注意が必要。座位の時間を増やしコミュニケーションを計りたい
かなり重篤な状態と思われるので長距離の場所は無理と思われる
移動時間を少なくし、バリアフリーの施設を選ぶ
A L S
A L S
A L S、68才、要介護5旅行をするということで病状の安定、把握をする
(入浴時) 座位保持等が可能かどうか
A L S (他の疾患の有無)
長時間同じ体せいでいるのはきつい
入浴中に人工呼吸器の利用が必要。
座位保持が長時間出来ない痰が多い
・本人のできることは行っていることは何か?・移動の仕方による本人の体調面はどうか?・普段の健康、心身状態は安定しているか。
A L S、要介護5病状急変
長時間の移動になると、疲れにより体調をくずしかねない。近場で行けるところを探し、障害があっても受け入れられる温泉宿をさがす
長距離の車移動は不安。車内での意思伝達困難。
A L Sの為、本人が本当に楽しんでいるのか、満足しているかの確認が必要
車いすに長時間座位してもつかれない。
A L Sにより環境変化に伴う体調管理、痰 意思伝達装置の操作の必要性
68才A L S要介5。意思伝達装置利用
A L S要介5
嚥下障害 呼吸障害 両上肢障害 両下肢障害
コミュニケーション装置の調整が必要になる

A L S、介5 6 8才
医療行為は必要ないのか？
A L S
歩行困難な為、移動は車いす 入浴の際もハーバード浴
A L S 人工呼吸器装着
A L S コミュニケーションは意思伝達装置
体調は？
A L Sで温泉旅行が可能なほど日本は充実してない。
座位が長時間とれない。
認知
現在は安定している。
A L S
長時間の座位が苦痛にならない様日常座居訓練をする
長時間の座位は痰が多い。腰痛
長時間の移動になると痰が多い。
・状態急変時の医療的対応・定期的な健康状態のチェック
たん吸引が必要、車イス
〇〇さん（A L S）
・座位可、不可？・食事、排泄方法
・座位が長時間になると頭がふらつく・熱いお湯に入れない
座位が長時間になると痰が多い。少しずつ座位の時間を調整する
座位が長時間になると痰が多い少しずつ座位の時間を調整する
座位保持が出来ないで長時間の移動に介助が必要
♂6 8歳、A L S
A L S、要介5、意志伝達装置を使用
・A L S 介5・意志
ほぼ寝たきり状態
長距離はむずかしい
要介護5
・長時間の移動に伴う疲労にたえうる体力が必要
・移動時座位が長時間になると痰が多い。
・移動介助、入浴、排泄介助が必要となる。
すべての運動機能が障害されていますが眼球運動、感覚、排尿は正常。急に呼吸まひの恐れがある。
・A L Sでほぼねたきり・生命維持に介護力が必要
A L S
座位が長時間になるとしんどい
A L S 要介護5
長時間の座位及び振動に耐えられるか。
・乗り物に乗っている間、何度も休憩をとる必要がある。・状態が思わしくない時に、すぐ察知できるようにする必要がある。
9 0分を超える座位での乗り物は体調に変化が生じる 介護者がいても歩行困難な為、入浴専用車椅子使用可能か
長時間の座位 移動時間中の状態変化
移動の時間に注意する。
6 8歳 A L S 意志伝達能力はある
座位が長時間になると痰が多い
慢性の腰痛はあるものの休みをはさめば連続して座位保持可能である
長時間座位をとることがむずかしい
実施日前の健康状態に留意
温泉につかる上での注意点を医師にきき、安全面での事を考慮する
全身の筋麻痺 呼吸・心機能障害 発声機能障害
要介護5 寝たきり？
歩行困難
医療との連携により、体調の悪化、体力問題を解決する。
要介護5という事から、ほぼ寝たきり状態。
長時間座位が保てない
A L S
A L S

A L S
A L S
自宅以外での外泊が可能か？
良好
・移動が難しい
日頃の入浴方法の再チェック 歩行状態、座位が可能か その時間は気分が悪くなった時に他人に伝えられるか（合図の方法など）
A L S、コミュニケーションは意思伝達装置
A L S
体調管理ができるか
A L S
A L S
寝たきり、生活全介助必要 意思伝達装置利用
急変した場合の対応ができるか不安
寝たきりの状態で座位の長時間は、負担がかかる
コミュニケーションは、意思伝達装置を利用
室内にとじこもりがちになると外出することがおっくうになる。機能維持のリハビリが必要
A L S 発症
A L S（要介ゴ度5）
座位はどのくらいもてるのか。・痰などはどのようになっているのか？・入浴はどのくらい大丈夫か？入浴の介助はどうするか？
A L S
・座位を保つと痰が多くなる
A L S 発症 現在の状態は不明
68才 男性でA L S 要介護5 コミュニケーションは意思伝達装置
？
長時間の座位は腰、背中痛みが出る
A L S 要介護度5
・座位が長時間保てない ・意思伝達装置の持ち運びは可能かどうか
A L S
A L S
A L S 要介ご5 68才
介護5では車イス長時間移動困難です 寝台車でねたまま移動するリフト車を使用する。
車での長時間移動に疲れが出る。妻の介護が必要となる
・長時間座位はきびしい。
長時間の移動は本人負担強い、車椅子にて屋内内移動できる環境が必要。
・座位での意思伝達装置がうまく使えるか
呼吸状態、移動時の身体状況の変化のチェックが必要となる
座位長時間の解決法 排せつを解失要
長時間の移動に耐えられる体力はあるだろうか
A L S
旅行先での緊急時の病院のてはい。車イス移動の可能か入浴が可能か体調調整
寝たきりで日に数回タン吸引を行なっている
A L S
長時間同じ体制の移動外出、外泊における体調の変化
A L S
・座位時間 ・意思伝達装置の確認
無理のない温泉旅行を計画し介護者本人に合わせて余裕をもってゆっくり行動し、健康状態に注意する
A L S 要介護5 コミュニケーションには意志伝達装置を使用
旅行中の痰の吸引などに、心配がある 体調を整える
A L S
A L S、介護度5
A L S、要介護5
・長時間（移動を含めて）の坐位での褥瘡出現
長時間の移動は身体への負担が大きい。入浴はしたいが自宅とは違うので心配。家族での介助が必要。大浴場では息子一人で介助は困難？

寝たきり、座位を保つことは不可能
・本人なりに調子が整っているかどうか・ALS以外の病気（かぜなど）の心配はないかどうか
・外出できる健康状態であるが生活全般に介助が必要である
ALS 意思伝達装置を利用してコミュニケーションが出来るようにする必要がある
ALSの進行状態を確認 呼吸、歩行
Aさん（ALS）
ALS、要介護5
・痰がでる・旅行先での体調不良
ALS 球マヒが進行し、気管切開喉頭摘出術施行。呼吸節マヒそれ程なく、自発呼吸でOK 経口より食事可、文字盤で会話
苦痛が少なくすごせるよう体制を整える。（最低限）必要がある。痰の処置方についても、共に理解が必要。
・コミュニケーションを十分にとれるように点検、調整を必要とする。（装置）・入浴をする際の注意点など、医師と旅先の受け入れ病院などについて話をしておく。・入浴をする際の注意点など、医師と旅先の受け入れ病院などについて話をしておく。
座位が長時間になると本人の負担になる。全てにおいて介護が必要。
ALS、要介護5
座位が長時間になると気分不良。腰痛の訴えがある。
人口呼吸器は？座位は？ADLは？
意志伝達装置が必要 長時間の座位は大変
座位は保てるが首のすわりが悪いためヘッドレストや前のめりにならないようベルトが必要。痰が多い コミュニケーションをとるために、車内での環境整備が必要となる
座位が長時間になると痰が多い。入浴するには、リフトが必要となる。また、呼吸器にも水が入らないように気をつける必要がある。ワープロ入力は、なれている。
ALS、横になっている時間が長い
意志の伝達は装置を利用して伝える事ができる
・座位が長時間になると痰が多い・意志伝達装置は・・・
・機器管理及び必要物品、緊急時対応等綿密な計画が必要となる。・又看護師の動向などが望ましい。
安定しているがコミュニケーションはきちんと取れるか
移動が長時間になると痰が多い。意志伝達装置での調整が必要
身体の状態を観察しながら温泉に入りたい
ALS
血圧が不安定な為、服薬の確認と主治医の指示を聞く必要がある
要介護5座位が長時間になると疲れる
ALS（68歳）
・座位が長時間になると咳込みがある。意志伝達装置の調整が必要
意思伝達装置完全にチェックして常に身体の状態をつかみえることが第一です。
ALS要介護度5
ALS
1日に数回、離床されているがほとんど、ベッド上での生活が中心で、微熱も時々ある。
ALSによる筋力低下により座位保持の時間が短い。ほとんど全てのことに介助が必要。
ALS
座位が長時間になると、痰が多い。
現在の状態確認
・意思伝達装置を利用して簡単に操作できる様に工夫する事が必要・長時間になると痰が多い
・長時間移動すると腰が痛い・車による振動に弱い・1時間に1回尿が出る
日中端座位、就寝時左側臥位最近は就寝時も端座位ですごす。
・急変した時の対応策、対応先は？
ALS（筋萎縮性側索硬化症）
日頃車イスで過ごす時間がほとんどないので、まずは車イスへの移乗とギャッジアップが必要。
良好
長時間の移動が難しい。意思伝達装置の理解
ALS
・ALS（68才）・要介護度5
長時間の座位が困難。移動には特殊寝台が必要となる。
便秘も無く、良好。
・ALS・その他は？
ALS

A L Sと診断され、要介護度5、意思伝達は装置を利用
筋萎縮性側索硬化症
緑内障が悪化。視力が著しく低下。
A D Lの低下。長時間の移動が難しい。伝達装置によるコミュニケーション。
・バイタルチェックが必要。・緊急時に備える。
外出は久しぶりなので体調が不安にならないか。
68才。A L S。介護度5。
A L S 68才男性、介護5
他の持病等、主治医に相談
A L S（難病）を患っている。コミュニケーションは、意思伝達装置を利用している。
同居している家族がいつもの状態とどうかよく観察する
バイタルは安定
医師の指導があるはずなので問題なし
A L S
右半身麻痺、車椅子片手自走、発語不能
車イスでの移動は可能だが、移乗は全介助。長時間の座位は4時間程度。
・痰の吸引がうまくできるか。・長時間の座位が保てるか
・長時間の移動姿勢に対応できる移動手段を調整。・温泉に入るための体調管理
A L S 要介護5。コミュニケーション意思伝達装置を利用
長時間の固定姿勢をさけ寝たまま動ける車で全員乗れるものにした。
座位が長時間になると体位を保持できなくなる。
A L S。コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
・気管切開の為痰の吸引が必要。・発声は体調により有。・年齢30代女性
A L S 以外は、健康そのもの。
長時間の座位は苦痛。体調の変化に留意。食事はきざみ食
A L S。長時間座位は無理なので出来る範囲の旅行計画
安定している。
68歳男性、A L S、コミュニケーションは装置がないと不十分
医療的な側面より指導
A L S（30歳に発症）臀部に大きめの褥瘡あり。
A L S。人工呼吸器装着。痰が多く、24H、頻回の吸引を施す必要がある。長時間尾座位は困難。胃ろう。
普段の行動範囲、移動手段、生活リズム、排泄、食事、整容、家族の介護力、サービスの有無・内容
長時間の座位は身体的負担が大きくなる。ワープロ入力でスムーズに意思伝達出来る様に調整が必要。
長時間の座位では体力的負担が多い。痰も多くなる。
・長時間の座位はしんどい。・痰が多くなる。
救急の時の対応は？
A L Sでコミュニケーションは意志伝達装置を利用
A L Sで介護度5
・2日間の外出に体力が持つか
A L S、嚥下障害、意思伝達装置利用
長時間の移動に耐えられる体力の有無
在宅で、ベッド上が多いので移動の際、何事も起こらないかが心配である。
長時間座位をとると、腰に痛みが出てくる
視力障害がある為、身のまりの事の介助が必要となる
横になって1日過ごしている。
できる動作ででき表現をする体調を整えておく
A L S、要介護度5、意思伝達装置を利用しないとコミュニケーション困難
座位による移動や、入浴時の呼吸器の調整が不安
要介護5は重度である為入念な健康チェックと医師の判断が必要である。
A L S、68歳、要介護5
意思伝達装置の適切な操作と調節が必要
長時間座位を保つことが難しい。疲れると熱発しやすい。
座位が保てない、リクライニング車イスで安定を図る長時間の移動に耐えられるか
A L S
痰が多い。人工呼吸器装着、意思伝達装置の調整が必要
A L S 要介護5・長時間の座位大変、痰も多い・意思伝達装置利用

座位が長時間になると、痰が多い。
長時間の移動に体がたえられるか、親戚の前で気疲れしないか意思伝達装置の調整（バッテリー等）
温泉に行く日にむかって体調を整えていく
移動可能であるか吸引器が常に使用できる電源があるか。
移動だけで体に不担にならない様、体調管理が必要である。
要介護5、意思伝達装置利用
A L S、介5（生活状態はどうか？意思伝達装置利用
A L Sあり、寝たきりに近い生活を送っている
・長時間の旅行に耐えられるか、食事やトイレは？・温泉に入ることの良し悪し
呼吸、食事の対応 意思伝達
A L S。
泊まりがけの旅行で、体調や機器の管理に更に注意必要。
自宅以外の環境に長時間対応できるか？
A L S
A L S コミュニケーション意思伝達は装置の利用
伝達装置がないとコミュニケーションが困難である。A L S。要介護5。
A L S。どこか動く筋肉があり、意思伝達装置が使える。
関連機関やKPより情報を収集
情報量が乏しく記入できません。
A L Sで寝たきり状態
A L S
A L S、要介護5 車イス使用、意思伝達装置利用
A L Sと診断、要介護度5 周囲の協力が必要となる。
A L S。（発症歴の確認）
・長時間移動は身体的に負担が大きい。・入浴の仕方の調整が必要
72才男性 脳梗塞
長時間の座位は困難であり疲れやすい、痰が多くなる、コミュニケーションは意思伝達装置の設定が必要である
A L S、68才 要介5
座位が長時間になると、痰が多い。意思伝達装置を使用時、最初の為時間がかかる。
皆に迷惑かけない様に旅行に行ける様にしたい。
コミュニケーションには伝達装置が必要。移動手段等について検討必要
A L S、要介護5 意思伝達装置の機能チェックが必要。
・座位が保てる。・車イスの自操は少し可能。・トイレに時間がかかる。
環境の変化で長時間の移動や入浴での疲労。
・言語障害のためコミュニケーションは意思伝達装置を利用
A L Sで移動等、大変かと思うが、温泉に入りたい
・入浴には介護が必要 ・長時間の移動時座位を保つのは困難
座位が長くなると痰が多い
入浴前には痰が出やすい。意思伝達装置がうまく使えない（時間がかかる）
移動中に同じ姿勢になり気味に体調の変化に気をつける必要がある
A L S
A L S 要介護5 痰が多い。コミュニケーションは意思伝達装置を利用している
A L S。
親戚一同となると会話、移動時間の調整が必要
日によって体調の波がある。意思伝達装置がないと不安で仕方なくなる。
咳、痰、疲労、湯ざめ、車中？での体位はどうか。
・衣服の脱ぎ着も1人でスムーズにできない。・食事消化のよいものしか食べられない
A L S 要介護5 意思伝達装置利用
長時間の座位に疲れを感じる バイタルは安定している
座位が長時間になると、痰が多くなる。意思伝達装置とコミュニケーションの為の50音文字板の練習が必要。
旅行へは休けい時間などがとりやすく長時間の座位が続かないようにしたい。
A L S
寝たきり状態で排泄、食事介助を受けている
A L S
A L S 要介護5 コミュニケーションは意思伝達装置利用
痰がらみが多い。長時間の座位は負担が多い。

筋萎縮性側索硬化症（ALS）
〇〇さんALS
ALS、要介護5 コミュニケーションは意思伝達装置
・意思伝達装置持参・長時間移動・温泉入浴の為体調管理・入浴施設の構造状況
要介護度5の為横になれる車、入浴時の介護も必要
ALS
緊急時に備えておき、参加者が無事にかえってきたのしければそれでいいと思う。
コミュニケーション装置を利用するか手指の動きはスムーズではない 呼吸不全を時々伴う。長時間の座位は負担が大きい
実施前の健康診断アドバイス
長時間移動は出来るだけ避ける 近隣の温泉旅行が望ましい
・身体が一部麻痺している。・座位が長時間になると疲れが生じる。
座った状態が続くと辛くなる。
ALS介5
座位が長時間になる 意思伝達装置が必要
ほぼ寝たきりの状態でエアーマット使用、痰が多く1日に数回吸引をする
座位が長時間になると辛い。
長時間座位をとったり、疲れると、その後必ず発熱
ALS
移動時間が長いと
人口呼吸器の使用の有無 バッテリーの探求時間、形態 座位を保てる時間はどの位か？ 意思の伝達速度はどの程度か？ 体調の良、不良に波はあるのか？
長時間の座位は倦怠感、体力消耗
意思伝達装置を利用して体調管理する
長時間の座位は首に負担が大きい 入浴中痰が多くなっている
ALSで寝たきりである。 長時間同じ姿勢での座位が困難である。
移動が長時間になると痰が多くなる
長時間の座位で痰がよく出る 意思伝達装置の点検が必要
座位の時間を長くはとれない。 移動等の際の注意点を確認する。
妻から本人から現状の病状の確認。不安に思っていること等を聞く。又主治医からも同様に確認する
24時間ベッド上での生活である吸引が必要である。 妻の介護が必要である。
長時間の座位は不可能
ALSの為、常に介護が必要
ALS、血圧、体温の安定を図る必要あり 痰の吸引必要、座位保持△
人工呼吸器を携帯しなくてはならない
座居が長時間になると痰が多い
病状が急変する事もありうるので病院との連携が必須である
座位が長時間になると下肢にむくみができる。入浴には介助が必要
座位が長時間になると疲れるため体位変換が必要 コミュニケーションには意思伝達装置を利用しているため確認が必要
入浴時のバイタルチェックと浴室、浴槽内での見守り
酸素を持っていくことになる 痰が多くなるので、吸引が必要 衛生面に気をつける
呼吸状態、えん下状態 どの程度動けるのか、同一体位がどの程度保持できるのか
全身の筋麻痺
寝たきり状態。排泄面、排便のコントロールが難しい。
座位は時間を決めて、短時間でやるようにして本人が出来るやり方で パソコンを使用しても！！
座位が長時間になると痰が多くなる
急に外気に当たることについて また温泉浴自体について 体調の変動時の対応は可能か
ALS
ALS
ALS、要介護度5 コミュニケーションは意思伝達相違使用
・ALSである ・意思伝達装置を利用している
・筋萎縮、れん縮 ・嚥下困難、呼吸困難 ・感覚障害
訪問看護師、ケアマネと十分検討をした
ALS 座位、長時間困難 痰からみは疲れると増加
ALS
・長時間の移動は困難 ・座位はとれるが短時間
意思伝達装置使用で意思疎通は可能だが動作は、全て介助が必要。

要介護5 ALS
ALS (年齢68歳)
・意思伝達装置の点検(故障のないように) ・1人では入浴できないので介助が必要
安定期なのか、日によって変動があるのか、わからない。
・コミュニケーションの(特に入浴中)状況 ・移動の手段
座位保持が長時間できるかどうか調整が必要
ALS、要介護5 免疫力の低下、感染しやすい
30m~1h程度の座位保持は、何とかこなせる。細かい時間での見守りと声かけを行っている。
ALS、その他疾患はないか
ALS 年齢68歳、要介護5
ALS (60歳に発症)
・痰あり・旅行ができる(精神衛生状態が良い)
・座居はできない・四肢も動かず、顔面のみで、コミュニケーション・痰はタッピングやバイブレーターで出やすくする
日常の状態を記録しながら安定期を探し出す。
ALS (68歳)維持
座位が長時間になると、疲労がたまる。座居でワープロ入力その行う場合、スイッチの入念な調整が必要となる
主治医との連携により健康状態の把握する
旅行先や移動時に異常があった時の受診病院把握 主治医のアドバイスを得る
・長時間の座位は困難 ・コミュニケーションは慣れるまで時間がかかる
座位が長時間になると痰が多くなる。コミュニケーションを行う為の意志伝達装置の調達をしておく必要がある。
長時間の座位は疲れる。温泉に入るため、長男の介助が必要である。
ALS (コミュニケーションは意思伝達装置え利用)
旅行先を長距離にすると疲れて体調不良になる。旅行先は在宅療養者を中心に選んだ方が良い
長時間の座位だと痰がからむ リクライニングのw/c使用での座位保持の調整
座位が長時間になると痰が多い。座位でワープロ入力を行う場合スイッチの入念な調整が必要となる
ALS 身体機能、日常動作 全介助
座位保持 長時間困難
ALS
・移動に対する体力があるか ・環境の変化 ・バイタルの変化
座位は保たれる 入浴は全介助
意思伝達装置を利用しコミュニケーションは可能
ALS 要介護5 意思伝達装置利用 68才 人工呼吸器 吸タン器
座位が長時間になると負担が大きい 意思伝達装置にてコミュニケーションがとれるが、あまり長時間話すと疲れる
ALS 要介護5 68才
座位、移乗時の吸引回数が多くなる。座位を長く保てるか。スイッチ
ALS 家族、本人にどのように予後や疾患に対しての説明がされているか
要介護5 意思伝達装置利用
筋力低下により移動移乗は困難 家族の介護必要
座位は長時間むずかしい 痰の吸引が必要
・体調に合わせた目的地えらび・トイレの間隔時間を配慮・休みはどのくらいの配分で必要か
移動可能な健康状態か ALS
ALS 意思の疎通は難しい
痰の始末、人工呼吸は?意思伝達装置の調整
・座位の長時間保持が困難か・食事の状態は?(ムセなど)・移乗、移動の状態は?
ALS
呼吸の安全の為緊急の用意等医師に相談する
病状、体調、日頃のバイタル
・長時間の車イスになると腰痛が生じる。
構音障害、嚥下障害があり長い時間の移動は、休み休み時間をかけて行く必要がある
座位が長時間になると痰が多い。乗りものによって長時間の移動にたえられるか呼吸装置が必要
長時間の座位、移動に耐えられるか、痰に吸引が必要。意思伝達装置の移動が必要。・温泉に入っても良い身体状況が確認。・病状変化に対応してもらえる医療
長時間の座位による人工呼吸器利用の安全性の確認。予備ボンベの確保(数)が必要
・目的地迄の移動時間が長時間になり身体的疲労が大きい
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用。・入浴時の介助が必要
68歳、ALS、男性、要介護度5

座位保持が困難
歩行不可。車いす使用。指先は動かすことができる。普段はベットに横になっていることが多い。
座位が長時間になると痰が多い
特変時の救急対応
・座位での長時間の移動は初めてなので予測がつかない。
温泉地までの道のりで体調の変化、温泉に入れる状態であるか等
父 ALS 要介護度5、母 主たる介護者の妻
68才でALS
M・K 骨粗鬆症 うつ病
バイタルチェックが必要
68才 ALSと診断あり
・ALS・時々、痰吸引が必要
ALS
ALS。かかり付医、訪看等との連携
座位がどれくらい保てるか
・日頃の入浴はシャワー椅子座位にてシャワー浴である。・コミュニケーションは可能である。
・痰のきれが悪い。・入浴が可能か。
ALS（73才に発症）
ALS
車中での移動中、呼吸器・痰吸引の対応を行う。
座位が長時間になると痰が多くなる。長時間座位がとれるようにする。温泉に入る時の健康状態が良いようにその時まで気をつける。
要介護度5、人工呼吸器を装着。コミュニケーションは意志伝達装置利用
※座位保持での移動はどうか ※意思伝達装置は持ちこべ
意思伝達は装置を利用
風邪をひきやすい為、旅行の時期を配慮する。
声がでない。
車イスの時間が長いと横になりたい、息苦しい。
・口はきけないが意思は伝えられる。・身体を動かせないが自らの体調を伝える事は出来る。・ALS
ALS
ALS。言葉を発する事が出来ず、意思伝達装置の利用
ALSのため体調不良がある。
移動にかかる座位等の時間が長いと疲労が過度になる。温泉に入るためには介護もしくは福祉機具が必要。主治医との相談も必要。
ALSの為、介護5
ベッド上の生活が主。呼吸器をつけている。
長時間の座位に不安。コミュニケーションが装置利用だけに、細かい打合せが必要である。
座位が長時間になると痰が多い。
ALSの為、痰が多い。
長時間の座位は厳しいが、体調は安定している。
良好状態なのか
長時間の車での移動が困難なので、1～2時間以内で。
ALS、要介護5
座位が長時間になると痰が多い。意思伝達装置の利用回数が多くなる。精神的な高揚で疲れやすくなる。
車イスでの外出は普段からしているが、コミュニケーションには、慣れた介護者が必要。
ALS（68歳、要介護度5）
・気管切開し人工呼吸器をつけている。痰は1日4～5回とる
・定期吸引が必要 ・筋力萎縮状態
長時間の車内移動になると安楽に移動出来るようにストレッチャーが必要となる。
急変時の対応法。
本人のベスト 事前の通院
電動車椅子を働かせるが、長い時間の座位は無理。自分で体を思うように動かせない。体位交換が必要
主たる介護者を参加させない。本人の意思を確認後第三者によるスタート。（医師と相談70%以上を可）
・バイタルチェック上問題ないか確認。・コミュニケーション能力の確認。
座位が長時間になると疲労が強い。痰が多くなる。
弱視、心身症

車などの乗り物内が狭い為装置の操作の確保が必要
A L S、座位が長時間とれない。
昼夜、横になっている為、座位を保つ事は少時間が限界。自分の意思は、伝達装置にて伝えられる。妻は常に横にいる状態
食事の形状、排泄の状態、入浴方法。
座位の時間が長くなると痰が多くなる
座位が長時間になる。座位でワープロ入力を行う場合スイッチの入念な調整が必要となる
伝達装置の電源がない所でのコミュニケーションが困難。移動すると、痰も多くなる。
長時間の移動にたえられなければ、近距離にする。
主治医と相談し注意的の確認、急変時の対応
全身のまひ、発声器使用、全介助
A L S 妻の介護また長男夫婦の協力があって、安定を保っている。
A L S
長時間の車いすギャジアップは疲れる為、角度の調整が必要。
座位、車での移動でつかれがみえる
A L S
座位時間、食事排泄についての問題、排泄状況、排痰の問題、A D Lの状態
突発的な症状がなく、担当医のOKが出た時
・携帯用の酸素 ・医師の指示を受けた看護師も同行
・長時間の座位保持は困難 ・長時間の入浴は避ける ・呼吸器の障害あり、手指筋力低下
移動時間が長いと呼吸状態の低下、スキントラブル発生の危険性あり
全介助による安心、安全な長時間移動と入浴
・移動が長時間になる。 ・意思伝達装置の調整が必要。
長時間の座位は困難。リクライニングの車イスを使用している。現在入浴は機械浴で行っている。
意思伝達装置を利用
A L S 68才 男性 意思伝達装置利用
病状の進行が早く、ほとんど自分では体を動かすことが出来ない状態
長時間の移動で疼痛が増し、自宅の安全な場所から一泊する不安感
・座位時間はどれ位可能か。 ・吸引器等の医療機器の使用状況。
A L S
長時間座っていると腰痛が出てくる
痰吸引が必要 A L S
A L S (68歳) 座位が長時間になると全身が痛くなってくる。
A L S (現在は比較的良好な状態である)
・長時間の座位は難しい。 ・病状は安定している。 ・意思伝達装置を活用して伝達できる。
長時間移動にたえる体力はあるか
長時間の座位は難しい。全てにおいて介助が必要
間質性肺炎のため呼吸機能に障害。歩行時や負荷が加わったとき、呼吸が苦しくなる。
電動車椅子にて移動可能。意思伝達装置にてコミュニケーションがとれる。
1泊2日の外出できる体力 温泉を楽しめる体調
A L S 車イス座位長時間になると体に痛みでる。加湿器をのけるので痰が出にくい、ねばりが強くなる。トイレの心配をして本人水分をあまり摂らなくなる。
車イス(リクライニング)を使用したんの吸引が必要なので休けいをとりながら移動する。
座位を長時間とるのは難しくと中休けいが必要
・A D Lの状態を確認・移動は何を使用するか
長時間の座位困難、痰がらみ多 食事の確保や入浴方法の準備や対応が必要となる
・長時間座位は疲労感増大 本人への負担大
・ストレッチャーがあれば長時間の移動も可能である。
A L S 要介護5
ほぼ寝たきり。座位保持は短時間に限られる。車での移動にも制限がある。
A L S
A L S 要介護度5
・全介助が必要な為、旅行時に介護を行う必要あり。
・長時間の座位が困難。 ・痰が多い。
首にカーラーを巻き安定させるとイスでの座位は可能
長時間の移動、環境変化による体調不良。意思伝達装置を持ち歩くため微妙な調整が必要
コミュニケーションは意志伝達装置を利用 座位が長時間になるタンが多い

入浴の方法について事前に本人とDrと打ち合わせを行う。
長時間の移動になると痰が多くなってしまふ 旅行先での受診の可能性
・体調安定している・旅行に合わせ特に感染予防につとめている。
68歳ALS
1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入る。
ALS 発語できないがコミュニケーションは伝達装置でとれる。
環境の変化による、状態の悪化が心配される。
ALS ADLは全介助である。意思伝達装置を使用しコミュニケーションを図る。
温泉まで行くのに、時間がかかるので、長時間座っていることがつらい。筋麻痺があるので温泉に入る際、不安なので介助力が必要。
座位時間の耐久性が、ポジショニング次第で異なる。坐骨神経痛が伴っている。
ALSであり、意思伝達は装置使用。入浴介護付き可。
歩くことが出来ない。自分の意思をうまく伝えられない。
長時間の座位が困難。言語障害の為、意思伝達装置を利用している。
コミュニケーションはとることができる。座位が長くなると痰が多い。
ALS要介護度5
長時間同じ体勢を保つことは困難であり、温泉に入ることにより呼吸の乱れが心配。
意思伝達装置を利用 痰が多い
コミュニケーションは意思伝達装置使用。
ALSを発症し、現在寝たきり状態。コミュニケーションは意思伝達装置を利用
ALS
長時間の座位がとれないかもしれないので、移動時間や方法に配慮が必要
ALSの療養者。要介護5。身障者手帳1級
人工呼吸器の装着での移動時の調整
座位を長時間保持するときつさを訴える。
1泊2日となる痰の吸引が一人では負担が多い 温泉に入る時体調管理に専門的な人が必要となる
①ALS病度である事。痰が多い。②車いす使用。③意思伝達装置を利用である。
運動機能以外には特に問題もなく過ごしている。体調は安定している。
ALS、車イス利用 移動用の人口呼吸器の準備長時間の座位では褥瘡に気を配る。
長時間の座位保持は困難。5時間以内に帰ってきたい。
座位が長時間になると、痰が多い。
活動が長時間になると疲れる。
体動は全介助になり痰吸引が必要な時もある
ほぼ寝たきりの状態で自分で座位を取ったりおきあかりができない。
・ADL・手吸器使用状況・医師の判断は？・留意すべき項目は？
長時間の座位になると痰が多くなる
頸部の筋力低下により、リクライニングで頸部の保持や、保護のベルトが必要である。夕方痰が多い
・痰が出やすい。
移動時間等によっては、本人に苦痛を与えかねない。
座位が2～3時間しか保つことができない
日中は、車イスに離床している。
ALS、68才意思伝達装置を利用
ALS要介護5
ALS
・排便が出続けている。
車での長時間の移動となると負担が増すため、休憩場所の確認が必要となる。
ALS
ALS患者なので呼吸状態、手足の筋力を把握する。
・移動時間には何を利用するか。・長時間の座位は可能か。・主介護者だけの介護で主介ゴ者は疲れないか。・伝達装置の使用は自分でされるのか。・体調不良になった時の対応はどうするのか。
現在の健康状態を維持する為に自己管理することも、リハビリを受けている。
座位がどれくらい維持出来るか。
ALSで寝たきり。
ALS
長時間の座位保持はつらい。時間毎の痰吸引が必要。吸引器の管理が難しい
意識・身体機能がはっきりしている時でないと思伝達装置が使えない。

・移動のリスク
一泊二日になると、持ち物が増え痰が多い。移動手段も限られるが。
A L Sだと長時間の移動等健康状態に配慮が必要。
A L S。温泉入浴での急変が不安。
〇〇さん68歳要介5 A L S
血圧、体温などをはかる。
定期的な痰の吸引が必要。
座位が長時間になると痰が多い意思伝達装置の点検が必要
A L S要介5
長時間の座位困難。コミュニケーションに装置が必要。
痰の吸引が必要であり、移動中の体位を維持できないこともある。
痰の出方かどうか、吸引は必要になってくるが、対応できるか。長時間の座位は困難か。食事が摂れるか。介ゴタクシーは。
・健康面で特に問題はない・最近トーキングエイドが打ちづらくなった
A L Sコミュニケーションは意思伝達装置、気管切開
・バイタルの安定、特に血圧。・旅行のもたらす精神的効果。
A L S
長時間の座位は、体力低下を引きおこす。
・座位が長時間になると、痰が多い。・意思伝達装置使用の為、残存機能を活用して機器を操作する為、体調確認を常にする
(A L S)痰が出る。・吸引器等を持参。・食事は?・排泄は?
座位が長時間は難しい 常に状態の変化が考えられる
年齢68歳 A L S、要介護度5
座位が長時間になると、身体の疲労が激しい
要介護度5 A L S
・長時間の座位は体位をかえにくいので困難
食事の方法、長時間の移動にたえられるか 緊急時の対応方法
一日中家にいる所から長時間の外出の負担
A L S
座位が長時間になると痰が多い コミュニケーションは意志伝達装置があればとれる
普段と違う環境の為、ワープロを入念に調整する
座位が長時間になったり、車での移動の際の振動で、痰が多くなる。ワープロ入力は、なかなか思う様に動いてくれない。
長時間での移動は体にすごく負担がかかる。温泉に入るのも、介護の手が必要
発語障害、身体的障害 体調の維持管理確認 意思伝達装置の点検。
長時間の座位がむづかしい
長時間に及ぶ座位困難 移動・移乗・会話・入浴、ADL、全介助となる
ほとんど寝たきりである。トイレは備え付けを使用したい意向で、二人掛かりで対応している。ギャッチアップ姿勢は、気が向けば長時間も可能であるが、首が不安定で固定が必要である。
寝たままなので長時間の移動は負担が大きく近場の温泉にする。入浴時、装置を外さないといけないので、その代わる事を考える。
移動の手段 長時間の座位は負担がかかる
座位ができどの程度の時間体制が保てるのか
距離的にどのくらいまでの外出が可能かどうか。宿泊先の受け入れなども確認
座位が長時間になると痰が多い。
排便コントロールが必要である。
座位が長時間になると咳き込んだり痰が出る、吸引が出来るように常に気を配る。
座位は長時間出来ない
長時間の移動、同じ体勢でのジョクソウ
・長時間の移動。・公衆浴場での入浴による感染症
意志伝達装置を使用すると疲れるので、時間配分が必要
目的地に着くまで座位痰吸引について心配される
座位の安定が完璧ではない。
常に痰の吸引が必要。
気づきながらの対応 不安の解消と身守り要
車イスでの移動は短時間の方が負担が少ない
長時間の外出は疲れやすい 意志伝達装置のチェックをする
温泉に入ることが出来る様に安定した体調を保つ
A L S

座位保持困難 長時間の移動と環境変化により体調管理が必要。
A L S
体調変化を見のがさず出発時も確認する
要介護5 コミュニケーションは意志伝達装置利用、人口呼吸器使用（A L S）
移動時間はどの位か？
A L S 要介護度5
痰の吸引必要？（吸引器持参？）
・病気に対し精神的不安定。・気候により痰吸引の頻繁。・口腔からのだ液の多さ。・便の調整
A L S
移動が長時間になると痰の量が多くなる。入浴の際浴室の段差など調べておく必要がある
緊急時の対応、旅行先での受け入れ体制について確認が必要である。
・呼吸器使用・全身痛あり・吸痰必要・コミュニケーションはパソコンへ足で入力（下肢のみ動くが筋力低下支えられない）・長時間座位（リクライニング）は困難
・座位の長時間は困難である コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
A L S 患者。長時間座位困難。
A L S 長時間の座位に負担あり。
1泊2日の外出に耐える体力があるか。
A L S
座位が長時間になると痰が多い。
定期的な、口腔内吸引が必要である。長時間の座位保持が困難。嚥下困難があり、食事形態の工夫が必要
・長時間の座位になると、痰が多い。・意思伝達装置機能チェック
座位は長時間保てない意思伝達装置の利用の場合スイッチの入念な調整が必要となる。痰とつばの吸引も必要
要介護 5
・座居が長時間になると痰が多い。・意思伝達装置、呼吸器の調整が必要。
A L S、要介護度5 車イス、意思伝達装置の移動、車イスでの入浴に援助が必要
介助等が必要 長湯ができない。転倒によるケガに注意。
長時間車椅子対応で、車移動途中痰の吸引も必要。
A L Sであり、やりとりは装置を使っているが、温泉に行きたいと考えるほどなどで、それなりに良好かと。
疲れると発熱しやすい。同一体位で皮フトラブル発生しやすい。
呼吸状態が急に悪くなるのでは宿泊地でのいざという時の受診確保 文字版や他の代替手段はあるのか
A L Sのため、呼吸キノウ、四肢の運動キノウ低下がある。温泉への道のりや、温泉内での異常への配慮が必要。
臥床または、リクライニングの状態では意志伝達装置の作動を確認する必要がある。
・痰が多い為、吸咽からすぐ出きる状態にしておく。
所要時間に耐えられるか。座位でいいか。寝台車がいいか。
1日数回痰吸引必要となる
移動の時間、座位が長時間となると、痰が多い。
身体的に不安定な状態があり、日常的に医療的ニーズが高い。
車いす長時間、座位をとることができるか？
A L S
・意思伝達が温泉ではできるのか不明・急な体調変化に医療的な対応が必要。
・当日まで健康であるようにする・意思伝達装置を使えるように調整しておく
長時間の外出、外泊に耐えられるか
現在の全身状態
A L S
A L S、要介護5、意思伝達装置を利用
A L S、要介護5（ほぼ寝たきり）
日常的寝たきり、A L S、コミュニケーションに意思伝達装置が必要、痰吸引装置が必要
タンがからむ
○△さん（A L S）
体力的、心身的、本人の参加しようとする意欲の把握。
長く座位していると顔が赤くなったり発汗が多く、だんだん負担になってくる様子
痰が多い
A L S（要介護5）
ほぼ寝たきりで座位が不可能。吸引が必要である。
加齢に伴う機能や体力の低下の有無
A L S

A L S
腰部脊柱管狭窄症
長時間の移動は座位が保てず身体的に負担が強い
全介助が必要
・痰が多い・感染症にかかりやすい
座位時間が食後1時間が限界でその後は上体を40度にベットアップしている。
・状態悪化時の対応・入浴の可否の判断・移動手段の確保
Aさん (A L S)
嚥下障害はあるが軟らかい物なら摂取できる。コミュニケーションは意思伝達装置を利用すればできる。在宅ではベットで横になっている事が多い
定期的に吸痰必要、他、車イスでの移動の際休ケイが必要
座位が長時間になると痰が多い
人口呼吸器、使用、痰が多い 座位で意思伝達装置使用の際スイッチの調整が必要
A L S 30才発症
A L S (68歳) 要介護5
A L S 要介護5
A L S 長時間の座位、移動が難しい
A L S (経過年数による)
家の生活と違うので外気にふれることへの注意、気温差など
座位が長時間になると、痰が多い、移動距離がかかり、疲れる。
長時間での吸引やコミュニケーション装置のための電気系統は
A L S 68才
座位の長時間が苦痛
A L S 人口呼吸機装着
A L Sのため長時間座位困難
座位は長時間になると保てないが、短時間だと介助バーに掴まり可能である。
・長時間の座位は腰に負担がある・A L S
外部の多ぜいの人間との接しよくにたえられる体力があるか
座位が長時間になると痰が多い。意思伝達装置の利用での入念な確認が必要となる。
要介護5、A L Sの疾患
A S L、意思伝達装置、寝たきり状態
座位が長時間になると痰が多い。ワープロ入力時はスイッチの入念な調整が必要。入浴方法も介助が必要。
環境が変わる事で楽しみもあるが、ストレスもある。体調が急変する事も想定して予定を立てる。
A L S。寝たきり状態。旅行に対して気分はハイの状態。
長時間の座位は痰が増し、身体的に負担。
座位が長時間だと痰が多い。
・携帯酸素心要・長時間車移動心要・車の装備心要
入浴時は長男夫婦の助けが必要。コミュニケーションが入浴時には伝達装置が出来ない為、口の動きの判断が必要となる。
A L S
主介護者の妻が移動時もそばによりそう。コミュニケーションは意思伝達装置を利用して対応する。
高血圧の為ふらつきがある。歩行不安定。
A L S、介護度5
座位が必要となる。
A L S 意志伝達装置の使用時
移動時間や手段が身体に及ぼす影響を考慮、入浴の手段、環境の確認
・長時間の座位になると痰が多い
Iさん、68歳、A L S要介護5
意思伝達装置利用中 入浴中は伝達困難?
骨粗鬆症があり少しのダメージに弱い
A L S、要介護度5、自宅で寝たきり状態。
病気の観察
A L S 要介護5
A L S 要介護度5
68才、A L S、要介護5 呼吸器の装着、P E G造設 排便のコントロール要、褥創のリスク
・A L S ・支えあえば、短時間座位可能
24時間、吸引器を使用

座位が長時間になるし痰が多い。座位でワープロ入力を行う場合、スイッチの入念な調整が必要
今までも、2日間の外泊も行っているので、移動、食事、排泄介助も家族で十分対応できる
・ベースバイタルのチェック、入浴時の意向との照らし合わせ
〇〇様（全盲）
・意思伝達装置利用でのコミュニケーション 介護5
長時間の座位が辛い
A L S 要介護度5
・A L Sの状態 ・意思確認の方法と手段
意思伝達は秀明文字盤使用 認知、言語能力に問題はないか 眼球運動が保たれているか
主治医に説明し、適切なあり方（薬）を聞いておく
口からの痰の吸引が24時間必要。しんどさから、意思伝達装置も活用が難しい。こわばりと不安から、体をさすってほしい。
A L S 20才に発症
長時間の座位が難しい 家族とはコミュニケーションはとれている
発熱、褥瘡のない状態を保持
ストレッチャー等での移動が主となるので入念な打ち合わせ、調整が必要となる
全身の筋力低下がみられる。座位を長期間保つことが困難
呼吸器・吸引・吸入が必要。日常生活行動の全てに支援が必要（寝たきり状態）
A L S
移動の際の念入りな打ち合わせ
A L S
・A L S ・移動による体調変化、環境への適応
A L S、要介護度5
・意思伝達装置を使い家族、主に妻の介護で生活
最近痰が多い。精神不安定元気がない
定期的な痰の吸引が必要
長時間車椅子での座位はむずかしく痰からみが多い時もあるので呼吸器が必要です。
痰が多い
移動中や宿泊先での緊急時の体制を整える必要がある。
入浴可能か医師の診断が必要であり、食事の摂取に問題がないかチェックする必要あり、看護師の同行を含め考える。移動手段を選考し疲労が少ない安楽な方法を考える
長時間の座位が心配。段差等移動等介助が必要である
たん吸引が必要。身体体位交換 移動時の体位の保持・近くか遠くかにもよるが、オムツ交換も必要。
A L Sにて介護5
移動による身体負担
上肢挙上不可、着衣不能。移動は車イス介助、食事によってむせやすい
A L S
普段ベッド上が多い。 コミュニケーションは意思伝達装置を利用する為、入念に点検を行う必要がある。
温泉までの行き帰りはどのくらいの時間まで車での移動が可能か？
・移動はリクライニングの車椅子でとなる。・遠方でなければ外出出来る。
A L S
長時間の移動は体に負担がかかる
座位保持はできるが長時間になると頭をささえることが難しく首の骨折の可能性がある
身体的な面は低下しないよう支援する。
痰の吸引が必要。話すのが好きだが意思伝達装置の操作は妻の介助が必要
座位が長時間になると疲れる 移動時間が長いと疲れる
体調観察 異常の早期発見 かかりつけ医等の連携
座位は困難 普段はリクライニングチェアにて過す
A L S 要介護5
意思を伝えるために装置を使っており、機器の管理が必要。
座位が長時間になると痰が多い。疲れも出てくる。
長時間座位をとるのがむずかしい。家族の内1人はつねにつきそいを行なう。
旅行する体力があるか 温泉に入ることが出来るか
A L S コミュニケーションは可能
今の健康状態の把握。起こりえる状態変化の対応策が必要
寝たきり昼と夜の睡眠が逆転、食欲有、対調良好 意思伝達装置を利用
A L S、普段は、ベッドに横になっている事が多い。

宿泊施設内のバリアフリーの程度によって必要となる措置等の事前の確認
呼吸機をつけているか？
A L S
A L S (要介護5)
今のところ安定している
一時間おきの 吸引 意志はまばたきで確認する
長期の移動等の動作に体力的に負担がある
A L S
A L S 要介護5 生活全般に全介助を要する コミュニケーションは意思伝達装置を利用する
A L S 要介護度5 コミュニケーションは意思伝達装置を利用
座位が長時間になると痰が多い。座位でワープロ入力を行う場合、スイッチの入念な調整が必要となる。
吸引や座位待機など必要な器材は準備して頂き、あまり神経質にならない
A L S
A L Sによる運動・CM/嚔下・呼吸障害、気管切開、胃ろう造設求をしている 人工呼吸器をつけている
A L S 意思伝達装置利用
疾患の履歴 一日のタイムテーブル
・長時間の移動での座位がきつい・入浴時の体調管理が必要
68才、A L S、要介護5 意思伝達装置利用
主治医、訪問看護ステーションの見解を問う。
コミュニケーション意思伝達装置を利用する場合、装置の調整が必要となる。移動手段が困難となるので、ベッドエアーマットの持ち込み、前もっての準備が必要。
長時間の移動に耐えられるよう、又温泉に入るだけの体力があるかをみる。
長時間の座位は難しい。
A L S、発語できにくい。久しく外出できていない。
久々の温泉に入るとなると、温泉の広さ、脱衣室の広さ、介助者が必要となる。
意志伝達装置を使用している為、コミュニケーションを図る時、特に妻の援助が必要である。
A L S発症。意思伝達装置を利用。
長時間の座位保持ができない。屋外での意思伝達がむずかしい。食事の形態が問題。
温泉は楽しみだが、温泉への移動は介助必要。湯温が心配。
・A L S ・要介護度5
・長時間の座位はむづかしい・意思伝達装置より送られる本人の気持を奥深くくみ取る
・両上下肢の筋力低下のため、歩行困難となり車いす使用。立位は介助あれば可。→食事はやわらかつぶし食なら摂取可。不足の栄養にエンシュアを補助している。・伝達装置指操作可・ロバク可→首の支持が困難なためネックアシスト使用。
呼吸器の装着はされているのか？体力は？（1泊旅行にたえられる？）服薬状況は？
コミュニケーションは意思伝達装置利用。要介護5で寝たきり状態
・長時間の座位困難、胸苦を訴える・ベッド上での生活多く、体力がないので不安を訴える。
座位が長時間になると痰が多い。
移動する事の負担
外出と入浴が可能な体調の管理と介助
座位を長時間とるときはリクライニング機能が必要となる。浴室での座位が不安
日中のほとんどをベッド上で過ごす、移動、移乗は全介助。
・長時間の車中は疲れる・温泉に入るためにシャワーキャリーが必要
・座位が長いとタンが多い。・コミュニケーションは意思伝達装置が必要
長時間の座位は苦痛。意思伝達装置利用
A L S、介護度5
A L Sで要介護5
コミュニケーションをとる事に疲れが出ない方法を前もって考えておく事が必要。
・車内での同一姿勢を強いられる。・屋外での介護をどのように行なうか。
通院の状態、過去の病歴、服薬状態
A L S
外泊にたえられる体力？
・A L S・体の位置、物品、食器等全て使いやすい決まった場所があると食事等スムーズに行える。
長時間の座位が難しい。
1時間の中で痰とりは3回実行されます。車イスで酸素移動すると多くの人の手がかかります。
・30℃位のギャッジアップで長時間の座位可能・膀胱ろうカテーテル、人工呼吸器
嚔下障害なし。呼吸障害なし

A L S 30歳に発症
座位が長時間になると痰が多い。座位でのワープロ入力、スイッチの入念な調整が必要
A L S
心臓に人工弁、腰痛により長時間立位不可
座位が長時間になると疲労してしまう
座位が長時間になると疲れる。
・長時間の移動（車中）中、座位がとりにくい。痰が多い
リクライニング車椅子での2h程の座位は可能。座位姿勢での痰の上がり多い（2～3回/h）
長時間の座位保持可能か意思伝達装置の調整（確認）が必要
本人の最近の状態の把握は確実に出来ているのか？緊急時は？
A L S 要介護5、痰の吸引
長時間の車イスは、本人負担が多いため気をつけないといけない。医療関係者との連絡をいつもとれるよにしておく。
A L S、意思伝達装置を利用している。
A L S、介護度5で全介助、温泉旅行に行き温泉に入りたい
座位が長時間になると痰が多い。
A L S・要介護5
・移動時等、姿勢を保つ必要がある。
A L S
A L S
・長時間座位不可・吸たん・全介助・意志はクリア
68才要介護5
長時間、同じ姿勢を続ける事は困難
・嚥大・呼吸・座位）の状態
A L Sで要介護度も5ということで、全面的な介助が必要
A L Sにてほぼベッド上の生活
座位が長時間になると、痰が多い。久々の旅行と温泉入浴
・風邪をひきやすい。
一泊二日の旅行の練習を、普段に組み入れ、周囲も、万全の体制を組む
意思伝達装置利用でコミュニケーションを取り妻の介護での生活
・長時間の移動ができる。・痰の吸引がすぐできる・体調が安定
A L Sという進行の難病がある。まだ意思伝達ができているが体調の変化が考えられる。
・座位が長時間になると痰が多い・入浴する場合、環境に対応するため体調管理と介助者が必要とする

(居宅介護支援事業所)

体力的に耐久性はあるか？会話の際、質問を「はい」又は「いいえ」で答えられるよう配慮も必要となる。
A L S
・ワープロのスイッチ調整・ベット上での皮フ状態・マットの検討・食事の準備及び吸引器等の準備
旅行中の状態変化や本人の訴えを充分理解し対応していく
医療的管理（吸引など）必要。常時身体状態観察が必要。
・参加者が病状への理解・把握度・座位時間・急な体調悪化への対応
A L S 要介護5
急変時の対応、温泉先の地域のうけいれ医療機関の有無
A L Sで要介護5コミュニケーションは機器にて
長時間の座位は困難。時折吸引も必要。入浴におけるバイタル確認。移動は全介助である
A L S
自宅と同じ状態で旅行が出来るようにする。
・A L S 65歳発正要介護5
68才、A L S、要介護5
疲労時微熱よくみられるため疲労時安楽姿勢を保つ
入浴排泄、食事摂取■衣など、家族の介護力の把握も必要
A L S
68歳A L S 要介護度5
車イス生活の為、移動手段入浴手段が限られている
長時間の座位困難
座位で入浴とする。現場との入念な調整が必要
車イスに移乗介助してもらいが自力で動かす事ができない為、全介助 首が前に倒れるため何度もあげてもらおう。

A L S
・長時間の移動となる為、また温泉に入る為、バイタルチェックを行った際のデータを確認し緊急時の対応を考えていく。 24時間介護が必要である。
普段の入浴方法と温泉入浴が可能なのか。
外出可能な体力があるか バイタル確認
A L S
C 2 常時見守りを要する状態
寝たきりでエアマット使用。入浴は訪問入浴サービスで入られている全介助。
A L S、意思伝達装置を利用しコミュニケーションをとっている
座位が長時間になると、痰が多い。
座位が長時間になると痰が多い。一般浴槽に入るには股関節が動く必要がある。
長時間の外出になると医療的な処置の関係も必要となる 医療関係者と連携が必要である
A L S ねたきり
A L S 68歳
座位でのワープロ入力2時間が限界で痰も多くなり、眼球がかき痛みが発生する為注意が必要。短時間で行う為の支援が必要。
長時間座位は辛いたんが多い。
・長時間の座位保持はつらい・起居動作、入浴等全般に介助が必要
A L S 重度呼吸は？
自宅外の旅館で、安心して過ごすことができるか
食事内容は？旅館までの移動や、宿泊時の寝具類や、浴室の状況、また介助方法等準備が必要となる。
座位が長時間になると痰が多い。
移動等多くなると痰の排出が多くなる。オペナビ、呼吸管理が必要になる。
意思伝達ソーチを移動中使えるようにする
・医師に、注意事項の確認をしておく。・緊急時の対応について。
長時間の車椅子移動は腰痛の原因になる。
意思伝達装置での本人の当日の具合を確認
A L S
四肢の動き少ない。言語不可。意思伝達可能。伝達時介助必要。呼吸器必要。吸痰適時必要。
座位が長時間になると痰が多い。座位でPC入力する時、スイッチの入念な調整が必要となる
入浴するには医療従事者が同行しないとむずかしい
A L S 要介護5
座位が長時間になると痰が多い
痰が多く、吸痰している。在宅酸素をしている。
呼吸状態の悪化。感染症の罹患。
長時間の移動の経験がなく不安。温泉に入るための介助も不安。
・長時間座位をとるとしんどい・食事も、固い物は食べにくい。・痰がからむことがある。
長時間の座位が困難
A L S : 日常的に介助が必要
A L S
・長時間の座位については痰等の問題もあり、定期的に調整する必要がある
脳出血後遺症左不全麻痺
人工呼吸器を装置しているため定期的な痰の吸引が必要
車イスで長時間いると、痰が多い。
長時間の移動・その間の介護が必要となる
A L S 寝たきりで進行性疾患
A L S 要介護5
行き帰りや入浴時の対応と急変時の対応を考える
A L S
A L S、要介5、意思伝達装置。
リクライニングシートで移動可。意思伝達は装置を使って可バリアフリーの宿泊施設が必要
呼吸状態
A L S 呼吸困難
往診
・えん下、バイタルの状態を確認・座位保守、移動、状況など身体機能を確認。
・疲れると熱が出やすいため・薬を用意する必要あり

A L S、要介護5、座位、車での移動で状態心配
・座位はできるのか？何時間ぐらいできるか？・人工呼吸器をつけて外出できるか？・痰の吸引を誰がするのか移動に何時間掛かるのか？
A L S 要介護68才
急変
車での移動中、痰の吸引が必要。呼吸困難がくるかもしれないので病院がどこにあるかを確認しておく必要がある。
・移動時の疲労状態・環境の変化に対する身体の変化
移動に関連した体力の確認特に呼吸状態は大切
A L S→筋肉の萎縮・筋力低下長時間での座位保持困難となり腰痛が出現する
A L S
A L S
痰が多く、頻回な痰の吸引が必要であり、長時間座位を保つ事は、困難である。
・座位での長時間の移動は困難・褥瘡がある。
D r、OKか？急変時受入体制はとれるか？
・意志伝達装置は使用できる状態・支援があると温泉での入浴も可能な状態
筋力の著しい低下あるが健康状態は安定している
A L Sを患い、身の周りの事は全て介助が必要な状態。
レスピレーターケア中、定期的に痰吸引を要する、長時間の座位は保てない
・) 長時間の座位保持は困難。(1時間程度) ・) 食事は、胃ろうから摂取している
A L S、要介5、装置利用
長時間の移動、座位保持は難しく、疲れから中止の訴えが出る
普段と違い負担が大きいと思われる入浴について、前後の健康管理が必要になってくる。
・日によって座位を維持できる時間が異なる・コミュニケーションは伝達装置利用
呼吸の状態が安定しているか。痰がつかまっていないか、人工呼吸器は？
進行性の疾患で、筋の萎縮による運動機能全般の低下が見られる。
温泉へ行くまでの移動手段、体力消耗緊急事態への調整が必要
A L S、意伝達装置使用
A L S 68才
A L S
移動時間は長くなると吸引が必要になる。周囲を気にしないですむ車移動を考えたい
長時間の座位は困難
A L S、介護5 コミュニケーションは意思伝達装置を利用
呼吸状態は？えん下は？
A L Sの状況について、詳細確認
長時間車に乗る事で弊害はないか
A L S、介護5。
A L S
A L S、筋力の低下著しい。発話困難、意志伝達装置使用。物事に対し意欲有。長時間の座位は困難。
A L S
痰、長時間の座位困難。
・移動中の呼吸機器などの運搬などのチェック・旅館の受け入れ体制や近隣の医療機関の下調べ
移動にたえられるか
1泊2日の環境変化で体調維持、可能か(医師の許可?)温泉に入ることの介助は誰がするか温泉では、要介護5の人の入浴許可されるか
全身の筋麻痺発声機能障害寝たきり全介助が必要
68歳A L S、要介護5
温泉につかる旅行に出かける体力があるか 温泉に入れるかの環境面を確認する必要あり
温泉地までの座位困難
A L S
座位で過す時間を増し慣れる
・A L S・要介5で病状が不安定(緊急時の対応、D r連絡)であるが旅行に行きたい。
体調も変わりなく元気である
A L Sのため、外出が長時間になると、呼吸が不安定
A L S
・痰の吸引・食事
長時間の座位が困難となってきた

時々吸引が必要な状態 ギャッジアップでの座位保持が長時間できない 座位でワープロ入力を行う場合スイッチ等入念な調整が必要
A L Sの段階。人工呼吸器の有無
・車で外出をした場合、気分が悪くならないか。意思伝達装置で、気分の確認を行い、負担なく移動ができるように配慮する。
安定
D rとよく相談し注意点を確認していく
長時間の坐位に体力的負担が大きい。
一泊旅行に耐えられる準備、リスクは？
食事のむせこみ飲物がとりにくいなどろみなどを考える必要がある
☆温泉への入浴の許可、注意事項等、主治医との連携、指示が必要
長時間の座位は困難。
バイタルの安定
寝きり状態#普段の状態ほどの程度か
移動の際、車イスが必要。車、電車中等での対応も必要。
介助用車イスでの移動。痰の吸引必要。トーキングエイドの電気補充必要。座位の時間多い。
事前に健康状態を主治医に診てもらう。
・たんの吸引・意志伝達装置・胃ろう の用意が必要
A L S、コミュニケーションは意思伝達装置を利用すると可
A L S
A L S
移動中の呼吸器のバッテリー確認・アンビュウを使って入浴
移動や入浴後等の身体状況変化が起きた際の対応を準備する必要がある。
自宅外に出る際についての、状態変化について検討が必要。
移動にかかる時間移動の仕方（車イスorリクライニングの車イス）
・移動が長時間になるとジョクソウが心配・その間の意志の疎通が難しい（意志伝達装置が使えない）
座位が長時間になるとしんどい、座位でワープロ入力を行う場合、スイッチの入念な調整が必要となる
医師に、同スケジュール参加、ご本人の希望を伝えて、病的に可能かどうか、又注意することを聴取。→移動手段に耐えられるのか？
ほぼ寝たきり状態である。
A L S
久しぶりの温泉旅行なので環境をがらりと変えるので、体調の変化が気になる。
A L S、要介護5。
安定状態である
医師の所見。
今、自分で出来ていることは何か、どんなことが一番、気がかりか
A L S
A L S、発声が困難 意思確認は装置使用
長時間の座位や、入浴時の対応、寝る時の対応
パーキンソン氏病
・座位が長時間になると臀部が痛くなり臥床している時間が多い。
68才A L S
座位が長時間になると痰が多い意思伝達装置の電源の確保
A L S要介護5
A. L. S
・座位が長時間続くとしんどい。・入浴は訪問入浴を普段利用中
A L Sの進行状況、安定してるかどうか、医師から旅行OKか他の疾患の有無の確認 痰の吸引など、旅行、日常生活に必要な医療管理をどうしているか
A L S バイタル他 常態の把握
A L S
車イスには座ってられるが長い時間はむずかしい
A L S 意志伝達装置を利用
長時間の移動は疲れる
栄養状態一般状態呼吸状態
・長時間の移動は座位が保てるか。・入浴中のコミュニケーションはどうするか・医療的処置をどうするか。
・長時間の座位は、腰に負担が掛かる。

移動時間、移動の負担にならない様にルートや方法を検討
A L S
A L S
・座位が長時間になると、痰が多い。・意思伝達装置の調整が必要となる。
A L S
医師と相談し、対応可能か相談する
短いきよりならば両脇をかかえての歩行可能。一般には車イス移動。
・半年前脳梗塞後遺症（抗凝固剤服用、その他薬あり）・中性脂肪が高く、くすりを服用
座位保持が長時間大丈夫か？
・現在の状態が安定しているか？（医師の了承を得られるか？）・吸引やエンゲなど問題があるのでケアができる人の同伴、家族への指導の徹底、機器の確保
移動手段の確認と身体負荷の確認。入浴方法やヘルプの有無。医療機器の調整など
A L S 体調を整える必要がある
当日までの状態管理とモチベーションUPの方策
68歳、A L S 意志伝達能力はある
A L S。その他の疾患は？
座位保持の時間を増やせるようにする。
長時間の座位保持が行えないが意思伝達装置を使用するとコミュニケーションがとれる
居食住の確認排泄方法の確認医療処置の方法
コミュニケーションがとりにくいときはトーキングエイド、パソコン、透明文字盤を用いる指導を行う。
A L S
常に吸引が必要な状態 移乗・移動共に妻の介助に頼っている
A L Sによる、筋力低下 痰が多い
長時間の座位は、負担が大きい 入浴には介助が必要
A L S
長時間座位が保てない在宅酸素使用。少しの運動でも呼吸苦あり。
急に悪化する場面もあるのでなるべく近場をさがしコミュニケーションを入念にとる
痰の吸引は必要か。携帯できる機器が準備できているか。嚥下障害→食事方法（胃瘻等）酸素の有無（呼吸器等）
A L S
・長時間の座位は可能か・意思伝達装置は利用可能か
・長時間座位は疲れるのでリクライニング式の車椅子で調整する。・時々痰の吸引が必要
・人口呼吸器の管理医師のつきそい
☆座位を長時間、保持出来ない。
近くに医療機関のある施設に泊る。
・病状・他の病気はないか・日常生活上の留意点・受診の頻度
A L Sにより状態の変化、急変する可能性がある。
A L S 援助が必要。
意思伝達装置が持ち歩けるか
痰吸引必要←家族対応 食事は胃ろう経管栄養←家族対応 尿はフォーレ、リクライニング車いすで座位姿勢長時間可能
意思伝達装置の調整。主治医の意見。相談。
体力が低下している
筋萎縮性側索硬化症（A L S）・筋力が低下している為歩行注意
病状の進行、経過今後の経過で起りうるリスクの確認
A L Sにより筋力低下がみられる。年齢が68歳で体的には若い。
病状は安定しているか。
座位長時間になると痰が多い。コミュニケーションは意思伝達装置が必要
座位は長時間はできず60分位。時折痰、だ液の吸引が必要。胃瘻。伝の心スイッチは顎
呼吸障害に対する対処 アンビューバック等携帯している。意思伝達可能装置の点検
座位の時間？どの様な状態だと長時間の旅行に耐えられる体力があるか e t c
68歳、A L S、要介護5
A L Sにて発声機能障害がある。ある程度の座位は保てる。
・人工呼吸器の管理
・移動時健康状態の入念な観察が必要・入浴方法に特段の配慮が必要
長時間の座位になる痰のからみ（＋）
座位が長時間になると痰が多い
・疾患病状服薬内容・吸引や酸素は必要か・緊急時の対応は？排泄？

体調は落ちついているが歩行困難で全介助となっている
嚥下障害があり、痰の吸引が必要。長時間坐位で苦痛がある。意思伝達装置で意志表示する事ができる
A L S
A L S
男性、68歳、A L S要介護度5
構音障害があり、食事摂取時にむせ込みがある。夜間痰が多く自力での痰喀出困難がある
座位が長くなると痰が多くなる
・現在の病状・入浴に対する注意点
座位が長時間になるとつかれる。
A L S
A L S
A L S、四肢麻痺
・ベッド上での生活が主。・座位保持する場合は、頸部保持、リクライニングできる車いすが必要。・誤嚥しやすい状態
A L S発症。
A L S意思伝達は装置を利用。長時間の座位に疲労感が強くむずかしい
要介護度5
移動先での医療的支援、サポート体制はどうか。急変時の対応は？
ベット上の生活となっており、呼吸状態の確認が必要
座位時間が長くなると痰が多い座位でワープロ入力を行うと、スイッチの入念な調整が必要となる
A L S、既往歴、現病歴、要介護度5、内服薬
A L S
旅行入浴に耐えられるか
コミュニケーションは意思伝達装置を利用している為機能の不具合はないか念入りに確認万が一の為にひらがな表も用意していく。
・A L Sの症状・その他の病名、病態
・長時間の座位保持は困難
A L S、要介護5
24時間体制での健康状態の確認が必要となる
他の人とのコミュニケーションがとりにくい。
呼吸補助装置痰吸引装置の確認
長時間の車ゆれに対処しないといけませんが痰の吸引が必要である。吸引器の作動は大丈夫か。経管栄養が可能か。バリアフリーのホテルであるか。
A L S
あまり良好とは言えない
A L S（0才に発症）
旅行にたえる体力により、目的地の選定を行う必要がある
A L S要介護5 68才
重度なめまいで転倒の不安を抱えている
A L S
要介護で全てにおいて介助を要する。
座位が長時間になると、痰が多い・緊急時の対応を確認し近くの病院で受け入れ可能か確認する
1泊2日の温泉旅行できる体力があるか。移動時間等。
A L S（発症〇年）男性68歳 要介5。・長時間の座位は疲れる。・時に痰の吸引が頻回になることがある。
呼吸機能が維持できる状況を継続すること。緊急時の対応が確保できること。
介助者がないと旅行も入浴も困難である
人工呼吸器の装着、A D Lは全てにおいて介助が必要
A L S、要介護5
車での移動で座位が長くなると、痰の吸引が必要になる。入浴により、痰が多くなる。
寝たきり状態で意思伝達は装置を利用して出来る。
長時間の車移動で体が疲れやすい。体調不良時のD rとの連携が必要
・痰吸引の場所が変わるので勝手が違う
A L S、意思伝達装置 妻と外出可能、車イス座位
発声機能障害がある
・緊急時の対応を事前に話し合う事・意思伝達が常にできるよう、入念な調整と確認
・引痰の状況・全体的な病状・薬のこと
・心肺機能については？・移動は車いすへの移乗介助が必要では？

68才 ALS ♂
意欲もありサポートあればすべてに可能
座位が長時間になると痰が多い
顔色、BP、KT、Pといつもの状態を把握しておく。
車イス及びベッドでの微妙な姿勢の変化で苦痛を感じる。えん下は柔かい食事のみ可能。
・長時間移動することの身体への負担・病状変化に対する対応
△、☆さん（ALS）
体調の急変
体調の変動に注意
自分では全く動けない。ちょっとした体制も自分ではかえられない。疲れやすい
・ALS、要介護5
・上下肢機能喪失・誤嚥性肺炎要注意
長時間の座位保持が困難である。呼吸状態は安定しており、入浴できる。
痰が多く吸引が時々必要
ALSでの症状はどの程度か？呼吸状態や身体機能の状態は体力的に無理はないのか
長時間の座位では腰痛が出現
ALS、意思伝達装置を利用
68歳 ALS寝たきりで意思伝達装置装着。
・体調管理をする・意思伝達装置のチェックをしておく
ALS
ALS：発症してから外出していない。病状的には落ちついている。
ALS
・長距離の移動になると姿勢が保てない・医師の見解、注意すべき事項は？
浴槽内及び栄養補給時に適切な姿勢をとることができる環境整備を要する。
長時間の乗り物に乗り体力がもつか。痰の吸引はどうか。意志伝達装置はどう運ぶか。
・人工呼吸器を装着している・ALSである
ALS疾患
人工呼吸器を装着しているなら、バッテリーなど吸引等の確認。移動時間の把握。
68才 ALS 要介護5
長時間の座位が無理意思伝達は可能
旅先での不調時の対応チェック（体制）
・ALS・コミュニケーションは装置を利用する・病名、内服薬、治療方法
ALS。小康を保っている。
長時間の生位は困難。
進行性の病気である。コミュニケーションは伝達装置使用
長時間の移動等に問題はないのか？
・ALS
ALS、68才、要介護5
移動の方法、車イス？入浴時の対応ストレッチャー？
ALS
ALSで筋力が徐々に低下している。
体位交換や痰吸引が必要。
ALS
座位は保てるが、長時間座っていると痰が出る。
・座位時間・入浴可否条件（バイタル、他）
・ALS・要介護5・コミュニケーションは意思伝達装置を使用
ALS、要介護5
長時間の同姿勢は、つらい。温泉場まで数時間かかる。
タン吸引が必要。座位で車で移動する際、気分不快になる危険あり。
ALS（機器の調整）
ALS。・他の病気の確認 要介護5
上肢や下肢の筋萎縮が進み、起立・歩行不能となり車イスを利用している。会話不能でコミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
すべての生活動作に介助が必要。
・ALS、介5
比較的安定している。

A L S
A L S 1. 気力の充実 2. S p O 2 の管理 必要
A L S
身体■■からくる注意点 異なる環境への本人の順応能力
外泊が可能な状態であるかの確認・維持・調整意志伝達装置の確認
吸引により状態安定している適宜。内科疾患ない
A L S、要介護 5 の認定を受けている。
A L S。コミュニケーションは意思伝達装置利用 移動時間が長い。泊る所が変わる
発語が不可能なため長時間移動や温泉に入るリスクを伴う時のコミュニケーション、意思確認の能力、シュミレーションが必要。
A L S
A L S、コミュニケーションは意志伝達装置を利用
・長時間座位を保つことができない。
6 8 才 A L S 要介護 5 現在の状態？
A L S
1 泊 2 日の温泉旅行にいけるだけの体力をつける。
座位が長時間となると痛みがある。会話が出来るよう装置を身近におく
A L S 要介護 5
・コミュニケーションは意志伝達装置利用・頻回な痰の吸引が必要。
A L S：将来に備え人工呼吸器の連習をしている レスピレーター訓練中
・現在の 1 日の座位時間は？・A D L の状態？・入浴方法は？・痰の量、吸痰回数は？・普段のバイタルは安定しているのか？ e t c ・主治医からみて、旅行は可能か？
安定していると考える。
・温泉までの往復・車内での移動にたえられるか。・主治医にも相談
主治医と相談。注意点や万が一の際の手回しや■■への確認。現在の健康状態確認。
長時間、座位が保てるようにする。
普段は臥床生活である為 廃用症候群がある。身体を動かす必要がある。
A D L については介助が必要。コミュニケーションで配慮必要。
1 0 年前に A L S 発症定年前に退職
筋萎縮性側索硬化症 A L S
・慣れない環境に体調を維持できるか心配・痰がからむかもしれない
A L S (5 0 歳に発症)
・夜間帯の睡眠状態に変化があると思われる。
・A L S の現状を把握 (病状) ・医療ニーズの把握。・合併症の有無。
長時間の移動で疲労がたまる。
①遠出をする事での疲労はないか②人工呼吸器の移動時の調整は大丈夫か？③外出先の緊急事態への病院の確保が必要となる
体力、残存機能 病歴
行ける状態
移動に伴い痰の吸引も頻ぱんに行う必要あり。
長時間の道中、座位保持できる時間→休憩時間の必要性など主治医との連携。道中の急求時対応など調査。
筋萎縮性側索硬化症
A L S 人工呼吸器使用の有無
座位長時間困難。痰が多くなる。意思伝達装置にて意思疎通
A L S、要介ゴ 5
要介ゴ 5
A L S、要介護 5。
・緊急時の対応。・服薬。
たんの吸引、座位保持
旅行に行ける体調かどうか 温泉に入浴するスタッフとの調整を事前に話し合う。
座位を長時間保ちにくい。体温調節が不安定である。在宅酸素を使用している
意思伝達装置を利用。すべてに介助が必要である。
温泉旅行について可能か主治医に確認が必要。
座位が長時間になると痰が多い。
長時間の移動に対応できる体調であるか。
A L S

しよくそうな■出来ないよう体位支援等行う
A L C
・気管切開をして吸痰しているか・意思伝達装置を皆で利用できるか
たんが多く度々吸引が必要である。
服薬の時間・座位保持の時間。きんきゅうの場合のこと確認
呼吸機能の低下がある為長時間の座位は困難
身体は介助が大きい、意思は伝えられる。
A L S
R器がないと、Rができないし会話ができないのでうちのもちほびが必要。
座位保持が難しい
A L S
A L S
A L Sにより、身体機能は低下し、常時、介護が必要である。
痰が多い。呼吸管理が必要。
・A L S。他疾患。
A L S 寝たきり（人工呼吸器装着中？）
長時間の移動と宿泊に伴う疲労の軽減を計る。本人の気持や状態を確認する。
寒さによる体力の低下がある。
（A L S）
A L S
A D Lはほとんど介助が必要であり、病状も安定していない。環境の変化に対応するのが困難
毎日の食事が十分に摂取してあり、その上に、ビタミン・ミネラル等採る。バイタルチェックでOKである事。
日常生活全般に全介助が必要。医療依存度が高い。
A L S 介5
無理のない旅行を計画し、介護者本人に合わせて、余裕をもってゆっくり行動し、健康状態に注意する
？
長距離の移動により、腰痛？体のこわばりがおこる。
（A L S）筋力低下が徐々に進行し、寝たきりの状態になりつつ有る。
痰が多く吸引の必要。
が良ければOK
A L S、要介護5 コミュニケーション=意思伝達装置
A L S 6 8才
・痰の吸引
長時間の座位は腰痛となる。夜間は痰の吸引が多い
車イスでの交通機関の利用の不可 高温浴の可■、入浴時間 心臓機能の点検
事前の診察による全身状態チェックで、1泊旅行が可能か十分確認する。
移動・移乗 宿泊施設等の介助、介護環境が心配
病状の安定度
移動や、座位の時間が保てるか不安である。
一泊2日の旅行が可能かどうか医師に確認 リスクに対してフォローが可かどうか
（6 8才男性A L S 要介ゴ5）自宅ベッド上の■床生活が長く、屋外外出、現状変化で疲労、体調不安定になる可能性あり
疲れによる・長い時間の座位が保つことができるようになりたい
長時間の移動により、体調管理を万全にするための調整が必要。
車椅子介助。ギャジベッド。
その時により健康状態が不安定になることがある。（健康管理が必要）
定時の吸痰が必須、人工呼吸器装着中 体位変換
高齢（6 8才）、A L S、要介護5
A L S、要介護5
長時間、起きているのはつらい。
長時間の移動がたえられるか、医療との連携が必要
A L S
A L S
A L S
寝たきり、全身麻痺 座位を保ち、移動可能か
A L S
車椅子にて移動。吸引を必要とする。

ALS 介ゴ5
体調不良時の対応など主治医に確認 協力病院の確保
ALS
長時間・長距離の移動は、体力と体調の変化が心配
長時間になると身体が疲れるので近場の利用。
長時間の座位は困難。コミュニケーションは意思伝達装置
ALS (68才)
座位が長時間になると痰が多い 嚥下障害がある 意思伝達装置を活用している
移動等において、長時間の座位保持困難であり、入浴についても体調管理・観察が必要である
座位姿勢になると痰が多い。
座位が長時間になると痰が多い 旅行のための移動時間、方法又介助方法、温泉施設の設備の確認が必要。
四肢機能に支障、移動困難、ALS
入浴、車での移動など、介助なしでは不可能。また、意思伝達装置の持ち運びも必要となる。
ALSがあり、毎日、寝たきりの生活を送っている。
ALS 68才
ALS
長時間移動が必要とされる外出は困難な為行く先を近いところに希望
安定している。
安定している。
移動中の体調管理
ALS、痰吸引必要、介5、意思伝達装置利用。
全身の筋力低下 コミュニケーションは筆談。
人口呼吸器装着。座位保持・移動時間の配慮必要。
ALS 睡眠状態 食欲
ALS要介護ゴ5 コミュニケーション補助具にて自立。
吸入器使用回数
呼吸苦のことも考えて、吸引器 簡易呼吸器を準備。行く前の日に便処理をしていく
68才 ALS 要介護5
ベッドや車イスにおける座位を長時間取ると苦痛となることが多い。
一日臥床していることが多く、妻が常に見守り、状態観察行っている。ワープロにて、意志を伝える。
長時間の座位保持が本人に負担がかかる。
移動で長時間同一座位により呼吸苦の悪化や、痰の増加と喀出困難。移動中使用するパソコンの作動調整。
・ALSで会話がむづかしい
歩行が不安定、歩行器使用でやっと自立歩行可。食事摂取時ムセ込みがある。
ALS
ALS
・ALS・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
長時間の座位が体調悪化につながってしまう。
ALS。
痰吸引の頻度。呼吸器は使用しているのか。
バイタルチェック、呼吸器（生命維持）に関する状況、日頃からの状態記録等参考
ALS
ALS コミュニケーション障害
座位が長時間になると痰が多い。
外出先で・呼吸、えん下、移乗、移動など充分に行えるのか、確認。
痰吸引必要。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
乗物長時間座われない。コミュニケーションの装置
腰痛等に気をつける 2～3hおきに休憩する。
ALS
長時間車椅子に座っていると疲れる。話が思うようにできない。
ALS。
ALS 意思伝達装置の利用
寝台付レンタカーを利用し、横になったり座位の姿勢が保つなど時間によゆうを持って出掛ける。長男の嫁が看護師なので装置確認は任せられる
座位の角度により痰やだ液が多くなる。臥位により呼吸が苦しい

・久々の温泉なので高血圧の心配はどうか？・食事はどの様にするか。
A L S 発生。要介護 5。・長時間の座位困難。・喀痰の排出困難。・食事の問題
A L S にて痰が多い。
移動時間を短く、本人の身体にあまり負担をかけない方法を考える。
A L S
移動、コミュニケーションの問題がある。心身の状態は一応安定
寝たきり、起き上がり、座位保持は支えで短時間可
長時間座位保持できるか。
A L S
A L S
座位時間が長くなると痰が多くなる。
A L S にて要介護状態（移動や入浴には介助が必要）意思伝達はできる。
A L S 68才。移動＝リクライニング車いす
・1泊2日の旅行が可能か主治医に相談。・旅行先の医療機関との連携（紹介状などの持参）。・緊急対応などの指導。・薬の調整や飲み方など検討
A L S、要介5。意思伝達装置を利用しコミュニケーションは可能
・呼吸抑制があり、インフュージョンによるモルヒネの持続点滴を受けている。・薬に関する予備知識を薬剤師、訪看等にきいておく。
A L S のため寝たきり。座坐になると痰が多い。コミュニケーション伝達装置もセット、調整必要。
A L S でコミュニケーションは意思伝達装置利用。痰の吸引は自宅をはなれての支援体制再確認
移動の姿勢を注意し、吸痰の備えをしながら移動。機具の清潔、排泄管理を怠らない。
A L S
意思伝達装置を活用できる
A L S、座位が長時間になるとえらい
A L S
・意思伝達装置が使用できるかどうかの確認が必要（旅館・・・など）・温泉に入ってよいかの医師の指示を仰ぐ
A L S、介5
・座位が長時間になると痰が多い。・その他は良好である
A S L を発症、要介護5、すべてにおいて全介助が必要
・肺炎の危険性、呼吸器のケア、排痰・ポジショニング
A L S 年々進行している
長時間の座位は困難。
・A L S ・コミュニケーションは意思伝達装置
動くとなんかあがる。吸引をたまに要する
A L S、要介護度5 健康状態の安定・維持を！
・痰の吸引が必要・車での移動時間が体力的に可能か心配
A L S
A L S、認知はなし
A L S 要介護5 意思伝達装置使用
A L S
A L S
A L S 継続的な医療管理が必要。
A L S
A L S
入浴時に体調不良になる可能性は高い。
座位が長時間になると身体的苦痛ある
・痰が多く、吸引器が必要・便秘になり易く、コントロールをする
急変があってもおかしくない。
A L S 要介ご5
A L S
A L S の状況
A L S
肺気腫
痰の吸引をしっかり行う
・吸痰や医療処置等の対応の必要性。・他疾病状況
移動介助やコミュニケーションを図る伝達装置がうまく使えるか？痰が詰まったり急変の際の対応などが必要。

車椅子での座位は時間が限られる。
医者又は訪問看護師に直前の健康度診断
・在宅療養者で介護を要する状態・意思伝達装置を必要とする
座位が長時間になると、痰が多い。ALS
ALS
ALS。要介護5。コミュニケーションは意思伝達装置を利用。
吸引を定期的にする
ALS
入浴中失禁してしまう恐れがある
ALS
体調・座位可能時間・ケイレンの度合い・体力
いつもは、1回座っている。時間は、1～1：30位である。
急な温度差による体調変化。座位が長時間になると痰が多い
旅行と温泉入浴について主治医に許可を得る
旅行の移動時間が長いと吸引する場所準備が必要。お風呂に入る動作、体調管理などに介助が必要
長時間車でゆられていく、と疲れる。環境のちがいがから発熱もするのでは？
座位が長時間になると痰が多い。座位でのコミュニケーションは、装置の調整など入念にする必要がある。
ALSである
認知症。両下肢機能低下あり
座位が長時間になると痰が多い
68才、ALS、気切、人工呼吸器装着、胃瘻造設（CZH i等3回/日注入有）心身の苦痛緩和のため、麻薬等使用
座位が長時間になると痰が多い。
医師へ確認し、健康管理を強化する。（その日に向けて体調を整える）
・長時間の座位は身体への負担がある。
ADL全般に全介護状態
ALS 要介護5
寝たきり状態。痰も多く吸引もかかせない ALS、要介護5
ALS 要介護5
定期的にたんの吸引が必要。体位変換、排泄介助も重要。栄養状態の維持に注意必要。
座位が長時間になると、痰が多い 安否を本人に確認しながら移動できるよう前もっての調整が必要。
長時間の離床は困難。機械浴がない温泉での入浴は介助に入念な調整が必要。
全身の筋麻痺 発声機能障害 呼吸 心機能障害
痰の量や姿勢について。意思伝達装置の確認
ALS、移動手段・方法の安楽な方法 滞在時の環境の調整が必要になる
ALS、失語、車イス
年齢68才、ALS
自分で歩く事は困難で、寝たきり状態であるため、移動についての支援の調整が必要
・ADLはどの程度可能でしょうか？介護5ですから”ねたきり状態”ですか？・気管切開されていますか？・ALS以外の疾病の確認・ADLの確認
・座位保持は可能か？臥位保持でも援助出来る。・意思伝達装置の取り扱いが自分で出来る。
・健康状態は安定しているか
移動方法、入浴方法 他者とのコミュニケーションに注意
68歳男性、ALS、要介護5
・長時間の座位困難。・専用の道具が必要
少しの負担が病気につながる。えん下障害よりまん性肺炎など
・ALS（痰吸引が増加中）・意思伝達がうまくできない時はストレスが強く現れる。
痰の吐き出が困難な為吸引器の使用について車中、旅館での対応方法を検討する。安定した状態が続いている、排泄は訴え時ポータブルトイレ使用、オムツ常時使用、胃ろう造設、口腔からも摂取可能。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害
・ALSの進行度について
座位・車での移動で疲れが出て、長く続かない。
ALS
ALS 要介護5
筋力低下、えん下障害、構語障害、意思伝達装置の使用にて入力スイッチの継続したフォローが必要
要介護5 寝たきり
・ALSで、ほぼ寝たきりの状態。・時間毎に体位交換をしないと褥瘡になり易い。・食事は刻み食で全介助。

A L S
温泉ということで装置に気をつけないといけない。
A L S
・68歳。A L S、要介ゴ5・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・痰吸引必要となる・意思伝達装置を温泉（旅館）でも使用できるか
時々食事をむせる。痰が多い。便秘、定期的にケアが必要
・長時間の座位は厳しい。
緊急時の対応
脳梗塞の後遺症で意欲の低下。出来るのにやらない
・細めなサクション必要・座位時間に限界あり・褥創のできる可能性高い
長時間の移動は困難。温泉に入るのにも介助を要する。
手足の筋肉萎縮、感覚障害、呼吸筋や嚥下筋肉の障害もある。痰絡みあり、意志疎通は時間かかる。
寝たきり状態で難病疾患あり状態変化（悪化）の可能性が高い医療との連携常時要する。
寝たきりの状態であり、意思伝達装置でのコミュニケーションである。
意思伝達装置を利用して外泊をする。親戚とのコミュニケーションを図りたい
外界に出る事でストレスになる事も有り、主治医や他の病院との連携が不可欠である。
自分でできる場面が少なく、楽しみが少ない
長時間の移動になると、疲れてしまう。温泉に入るのには人の手が必要
・痰の吸引が必要・尿意なく留置カテーテル使用・えん下障害あり、胃ろうによる経管栄養
1ヶ月前まで、何とか字を書くことができたが最近では、自分で痰をとることもできない。指に力が入らない。
A L S、要介ゴ5
・2日間の健康管理・入浴の可否・移動時の体力
A L S、長時間の座位は行っていない。労作時呼吸障害ある。
A L S
長時間の移動により、体力の消耗が考えられる。
A L S、発症、症状安定も言葉は出ない。
座位が長時間になると身体への負担大となる。
移動時間が長いと体が疲れ、バイタルに変化がくる。
A L S 要介護5
トンネル等暗い場所でも文字が見えるタイプの会話補助装置を使える 充電時間を把握しておく
かかり付けの主治医に相談しながら内服等も持参して安全に外出来るようにする
A L S
座位を保つことが出来るか？ A V Sの進行状況は？
進行性疾患 A L S
A L S（68歳）
68才 要介護5 A L Sのため意思伝達装置利用
（人工呼吸器をつけている）と予想して、長時間の移動への移手段やマンパワーが必要。入浴への配慮
A L S
吸痰が随時必要な為、車内にも吸引器の準備が必要であり、電源の確保と確認。
A L S
A L S 身体障害者手帳1級 意思伝達装置 人口呼吸をつけている
痰が多い
68歳男性 要介護5 A L S
A L S 寝たきり状態 呼吸器装着
意思伝達装置の入念な調整が必要
A L S 寝たきり 寝がえり出来ない 呼吸器使用
手足の麻痺による運動障害があり疲れやすい。移動方法や時間に配慮が必要
・痰が多い・意思伝達装置の調整・移動、移乗困難
A L S
・移動には介助が必要（車椅子）・コミュニケーションは装置利用・食事は経管栄養
A L S、筋委縮性側索硬化症 要介5、意思伝達装置・着
A D Lすべてにおいて介護が必要
一般状態は安定しているのか
A L Sでほぼ寝たきり。生活上で全てにおいて介助が必要。
気切しているのでレスピレーターの電源をどう確保するか。温泉に入る時の入り方。公衆浴場のため感染へのリスクの確認
A L S、座位で長時間になると疲れ易い、痰の吸引が必要、一日中ベッドで過ごす。

コミュニケーションは意思伝達装置を利用
A L S、要介護5
座位が長時間になると痰がでる。入浴に介助がいる。
・A L S・要介護5
A L S
移動による体力低下、体調変化による緊急処置連絡先の確保
旅行中の移動時に介助が必要となる、また温泉に入る際にもバイタルチェック、介助が必要
・長時間移動により症状の悪化の場合の対応・意思伝達（移動中）の簡単な方法を行えるか
車イスのヘッドを上げると足がつっぱったり、少しの刺激で痰が出たりします。
座位が長時間保てない、意思伝達装置があればコミュニケーションがとれる
車イス、長時間の座位は辛い
本人用の車椅子でないと座位が安定しない。
A L S
座位が長時間になると苦痛を伴うと思われ調整が必要
目的地までの時間距離吸引の必要
A L Sにより身体の動作が困難、意思装置の利用が必要
コミュニケーションは、意思伝達装置を利用。
A L S 要介護度5
・既往歴・現病・長時間の移動に対する体力の確認
座位が長時間になると、痰が多い。座位で意思伝達装置を利用する時は入念な角度等の調整が必要
変化に気づくことができる人がいるか？
A L Sでコミュニケーションには意思伝達装置を使用
発熱など体調不良の有無 温泉までの移動や外泊に耐えられるか？
温泉も近い所を選び移動時間を少なくし、座位がたもてる様に工夫する。（車での移動で途中休みをとる）
変調または病気
B P、P、T、S P O 2、吸引が必要 意思伝達装置の使用法 同一体位の保持可能時間
痰の吸引に気をつけて、状態を維持したい。
A L S 要介ゴ5
長時間の座位が難しい。A L S
A L S、要介5
A L S
・車イス利用時間。座位各度。・食事形態
A L S、68才、要介護5
・血圧や心疾患等の内科的な現状はどうか。・食事はできているか。どのくらいできているか。・薬はきちんと飲んでいるか。・A L S以外にほかの疾病はないか。
長時間の旅行は可能か。温泉に入れるか医師と連携
座位時間が長時間になるとA L S症が多い
・意思伝達装置を常に使える状態にできる様にしておく。・痰吸引をできる状態にしておく。
バイタル 既往歴 現病 感染症
A L S 要介護5 完全介助を要する。意思伝達装置を使いコミュニケーションOK
少なくとも2～3時間はかかるので、疲れた時に寝て行ける様、福祉車両が必要。
長時間の座位困難 定期的な吸痰が必要
長時間坐位による疲労
痰の吸引法（移動時等）状態悪化時の対応策 移動時等の所要時間を考慮した体力の有無
痰が多いことがある
要介護5、A L S、意思伝達に支障がある。
・移動時間に耐えるための体調・管理が必要。
手の指先、足、目のまばたきなどでスイッチの操作が必要。
・痰が多い。
・右第1指がわずかに動く事で意思伝達装置を操作している。機械のセッティングに時間を要する。
A L S、意思伝達装置利用。
A L S、要介護5 全面的な支援が必要 サクシヨンの必要性？移動が可能な体力があるか
A L S
A L S、意思伝達装置利用 要介護5、食事は流動食
68才、介護5、A L S、（1日程などをベッドで生活している）
痰がからみやすい。吸引が必要である。

A L S 座位長時間むつかしい
A L S
移動の後の入浴となるため疲労度の見直しを確認しておく 座位は20分程度である
・座位が長時間になると痰が多い お風呂に入った後も痰が出る。・お風呂は現在訪問入浴を利用しており、全て介助を受けている
日中、ベッドでの生活。移動時は、リクライニング式車いす コミュニケーションは、装置を利用し、可能、ゆっくりしたペース
長時間の移動に体がたえられるか。D r . と調整
・旅行先までの移動時間。・旅行先での介護設備。
A L S 要介護5
・自分で体を動かす事が困難 起きていると痰が出る。・普段は訪問入浴や清拭をしている
移動や、入浴時の、介助方や、健康状態の観察が必要
長時間の座位となると痰が多い。意思伝達は装置を利用
A L S、生活全般に妻の介助を受ける。車での移動、外泊にむけて、体力を向上させる
座位が、長時間になると痰が多い。座位で、ワープロ入力を行う場合、スイッチの入急な調整が必要
A L S
身体は安定した状態にある。移動に支障はないと思う
A L S (60才に発症)
医師に事前に確認
A L S
痰が多い。コミュニケーションは意思伝達装置必要。
意思伝達装置を使用し、自分の思いは伝えられる。
A L S
・旅先での食形態の確認、調整が必要・旅先での医療機関の確認
移動にかかる座位等の時間が長いと疲労が過度になる。温泉に入るためには介護もしくは福祉器具が必要。主治医との相談も必要。
・リクライニングの車いすに移乗する時は2人の支援が必要
・人工呼吸器装置をしている・定期的吸痰が必要
車での移動となるのであれば、座位移動orリクライニングなのか?吸引器・伝の心(レッツチャット)ポータブル要
A L S、介5、68才
容態急変時の対応
痰が多く定期的に吸引している。時々肺炎を併発し、抗生剤の投与をしている。
妻や同居の長男夫婦はコミュニケーションは装置を利用出来るが常に付添が必要
A L S
排泄、移動に介助が必要
急変時の医療対応
痰が多い。
A L S
温泉には介助が必要でどの程度が必要か
横になっている事が多く、座位が長くなると呼吸が困難になり、つらい
状態は安定している。意思伝達装置の設置場所を確保する必要がある
座位が長時間になると痰が多くなる。車いすにオーバーテーブルを置いて装置を置くか、文字版を使用してコミュニケーションをとる
座位が長時間になると痰が多い
A L S 68歳(言語障害)
A L S 要介護5
長時間座位困難
A . L . S
片マヒあり 長時間では痰多くなる 食事の飲み込み悪く見守り必要
A L S
A L S手足の筋萎縮。言語障害。嚥下障害
筋萎縮性(A L S)側索硬化症・意思伝達装置利用 痰が多い 泊まりの体力が上がる調整が必要
医師との連携
A L S、要介護5
長時間の在位は負担あり。短い距離(近場)にし、痰の吸引、オムツ交換の場所も考えておく必要あり
・A L Sだが長旅で呼吸状態等は大丈夫だろうか?意思伝達装置を上手く使えるだろうか?

現在の体調はおちついている 定時に吸引を行えば問題ない
A L S 座位が長時間となると痰が多い。
座位保持は可能だが歩行は不可 両上肢の感覚はあるが移動・移乗は介助 球麻痺あり呼吸や装置のチェック必要
褥瘡の恐れがある。座位で意思伝達装置を利用する場合、調整が必要である。温泉に安心して入れるよう病状管理必要。家族は病状管理について主治医等から指導を受ける
A L S (意思伝達装置利用)
痰吸引は常時必要。旅行先で意思伝達(コーケン)が上手く出来るよう訓練が必要。
・座位が長時間になると痰が多い・温泉入浴をする際安定した姿勢保持ができる環境設定が必要
横臥して過ごすことが多く。背部に褥瘡が生じている。
A L S
R状態咳痰の状態、一般状態
A L S (68才、要介護5)
A L S、要介護5、発語できない、68歳
座位保持可能時間が長時間だと疲れる
・A L Sの為移動手段は車いすを押してもらう。・酸素吸入が必要。
長時間在位や移動時の体調変化
・座位が長時間になると痰が多い。・長時間の移動には疲れを伴う。
・発熱時にある、座位時間が長くなると痰が多い・コミュニケーション意思伝達装置の調整
座位が長くなると痰が多くなるが息子夫婦と一緒にの為にいくらか安心感がある。
A L S
健康状態は安定しているか身体面のトラブルはないか
主治医の判断はどうか?状態は安定しているか?
・長時間の座位は難しい・タンが多く1日数回吸引・熱が出やすい
A L S
A L S
A L S 意思伝達装置を利用
・長時間の移動が難しい。・意思伝達装置の調整、入念なチェック・血圧、熱の平均の確認・主治医との連絡調整
自力では寝がえりができない 痰も自力で出せず吸引が必要
・長時間の座位保持が難しい。
A L S
本人の希望を叶える方向で入念な計画が必要だ。特に長時間の移動に耐えられるか否か。
A L S 人工呼吸器装着
A L S 介護度5
温泉までの移動に対応出来るか?内でどれくらい入ってもらえるか?
A L S
宿泊先への移動時間が長くなると体にかかる負担が大きくなる
座位不可であるが受診は妻が背負って可能、コミュニケーションはまばたきで行っている。痰の吸引を行っている
A L S
・体調くずしやすいのでこまめにバイタルチェックをおこなう・意思伝達装置の調節
1泊2日出かけられる体力はあるか。
緊急時(状態悪化)の対応、Drの許可
・長時間の座位になると、痰がでたり、めまいがする。・日頃の健康チェック。
A L S
68才 A L S、要介ゴ5
・長時間は座ることができなく、フラットになる車椅子を使用
呼吸(人口呼吸器使用?)食事(経管?)意思伝達は装置 移動時の対応(機器の移動)入浴方法(支援の方法)
座位保持が困難
発声機能障害のため装置を必要としている。食べ物の飲み込みが悪い
気管切開にて人工呼吸器装着にて長距離の移動は本人の体力に無理がある
定期的な痰吸引 長時間の座位保持がきびしい
A L S 介ゴの状況について不明
座位が長時間になると、筋力低下と体のバランスをとることが難しく座位保持が辛い。意志伝達装置を利用
痰吸引の必要がある。イロウの管理が必要になる。褥瘡の可能性がある。意志伝達装置は故障なく使用できるようにする。
道中、吸引の対応が必要。栄養摂取の対策が必要。急変時の対応の検討が必要。
迎人臥居位で寝たきり。人工呼吸器を装着、痰の吸引が回数多い。A L S。経管栄養、下痢が続いている。
A L S 要介護5

65才、ALS発症 要介護5
言語障害が有る
長時間座位の入浴室の状況の確認必要
ALS、身体機能 日常動作 全介助
長時間の座位や、外出は困難となる。痰の吸引が必要。移動時は本人とコミュニケーションがとれる家族がそばにいて安心する。
長時間の移送による疲労増強 喀痰排出増加 人工呼吸器装着による入浴手配 貸し切り風呂の手配 入浴による疲労の増強 入浴時の排泄
ALS
ALS、意志伝達装置でコミュニケーション可
ALS 全介助
自宅を離れての2日間 常時車イス利用となり疲れないか？
長時間の座位と移動の対応に調整が必要。温泉旅行ということで感染症に注意が必要。
体力面 移動に疲れないかどうか
移動による痰量増加で肺炎リスクがあがる。
・座居が長時間になるとたんが多い
ALS、直接的な会話は意思伝達装置使用
ALS 痰吸引が必要
何ごとにも介護が必要 意志伝達装置を利用
2～3時間以上座位が保てない。関節の萎縮があり痛みが伴う。リクライニングチェアで調整する。
・ALS ・リクライニング車イスの利用により座位を長時間とることができる
・座位は長時間困難 ・痰が多い
座位保持が困難である 痰の吸引が多い 意思伝達装置を利用
人工呼吸器の移動や調整及びバイタルチェック等、同行NSが必要 緊急時の連携病院が必要
ALS 長時間の座位のリスク
ALS
痰が出る。長時間の外出は久しぶりである
・ALSであるが状態は安定しており、1泊程度の外泊は可能。思うように身体を動かせない。
ALS
安定？
・呼吸器使用の有無 ・栄養摂取状態、摂取方法
・ALS、意思伝達装置装着中にて、限られた家族のみである ・痰の吸引等の処置が欠せない
医師への相談
ALS、要介護5
ALS、介護5
ALS・装置を使い自分の意思を伝えることができる。・入浴が可能（温泉に入りたい）
座位が長時間になると体勢が崩れやすい。横に落ちやすい。
H・Yさん 慢性関節リウマチ
ALS コミュニケーションに装置が必要
・車での移動時間が長くなると疲労感、倦怠感、血圧の変動の心配もある。
長時間座位でいると、身体の痛を生じる。長時間の移動は、福祉用具の検討と、移動手段を検討。
ADLの状態
痰や流涎の吸引が必要 コミュニケーション手段の確保 意思伝達装置の持ち運びの可否 それにかわる方法
ALS
年令、病状
ALS、68才
座位が困難
ALS
ALS 68才
ALS（68歳） 要介護5
ALS 要介護5 座位保持も困難
・話す事はできない・歩けない・気切にて痰吸引
ALS 要介護5 喀痰吸引が必要 人工呼吸器装着 胃癌
難聴、目に障害がある。人工呼吸器を装着している。
病状が悪化しない様に病状管理をしっかりとしておく
移動と入浴時にかかる時間と体力を考え、体への負担軽減を図る必要がある。

・痰の量が多く随時吸引が必要・褥瘡を起こしやすく小まめな体位変換が必要・呼吸困難な状況になりやすい
・四肢麻痺により長時間移動移乗は本人にとり苦痛である・移乗、移行の介助負担大きい
・座居で長時間いると痰が多い・きざみ食ならなんとか自力で食べることができる（福祉用具使用）・えん下状態を考慮しトロミ剤使用
A L S（意思伝達装置）
頻回に痰の吸引、口腔ケア等の介助が必要。手足は動かさない。
要介護度5、会話不可
意思伝達装置の扱いが必要。長時間の起動は本人の状態維持が大切
本人お体調を常に知る事で負担を軽減するため装置をしようできるようにする。
A L S、介5 コミュニケーションの装置使用
長時間の座位は辛い。コミュニケーションは意志伝達装置で可能。
車イスに長時間の座位継続は痰が多くなる 大浴場への安全な入浴
・要介護5、寝たきり状態だが意志伝達装置で自分の思いは伝えられる。常時付き添いが必要
A L S
座位が長時間になると疲れる。安全に入浴できるよう方法の確立が必要
・病状 ・入浴可能な体調
・人口呼吸器は設置されていない状態ですが。呼吸器設置であれば痰が多い
A L S（進行がはやい）
温泉の旅行設備要の入念な確認が必要
A L S、介護5男性
主治医に温泉旅行をする為の留意点を確認する。（生活の留意点等含）
・長時間座位となると身体のあちこちの痛みがある ・痰が多い
A L S コミュニケーションは装置利用 長時間の外出
A L S
・65歳 ・A L S
痰の吸引が必要であり移動中の体位を維持できる
A L S、要介護度5
A L S
生活の全般にわたって全面的な介護が必要で自力での食事摂取は困難である
座位時間の耐久性がポジショニング次第で異なる 坐骨神経痛が伴っている
病状は安定している 車椅子での座位の保持は休憩を入れ1時間半ならばできる。
長時間車イスに座っているのが辛い。おしりが痛くなる。
A L S 呼吸の状態は？
長時間の座位が保つことができない。
・長時間同じ姿勢で移動するのはつかれる ・入浴中意思は伝わらないので短時間にしている
移動は車椅子（寝台タイプ） 食事は流動食 居宅内の移動が問題
旅行前に往診医の診察を受け安定してるのをチェック
A L S（68才）
座位が長時間になると痰が多い ネブライザー、吸引器使用
A L Sで要介護5ではあるが体調は安定している。
普段どおりま生活をくずすことなく温泉や食事を楽しみたい。
生活全般に全介助が必要。意思の達装置利用で頻回にコミュニケーションが必要である。
長時間の座位保持は疲労が大きい。また、痰が多くなり呼吸苦が出現する。排泄のコントロールが必要
・移動時はリクライニングチェアを利用・コミュニケーションはパソコンで応用して装置を利用
長時間の移動座位が難しい
長時間になると座位が保てず傾く
長時間の座位保持可能になる。車イスの移動可能になる。
長時間の座位は難しい
意思伝達装置を利用しないとコミュニケーションがとれない。外から出すことは可能なのか。
A L S、寝たきり
A L S、意思伝達装置使用
・A L S・意思伝達装置
・A L S（要介護5）・その他疾病の確認
移動時間に体力がもつかどうか等検討すべき点がある
環境変化により病状の悪化が予測される。体調不良時受診できる医療機関が必要。
訪看等の同行をしてほしい

A L S、要介護5
ほぼ寝たきり状態で会話ができない
・吸引に関わる対応・意思伝達装置の対用法
A L S
意志伝達装置の利用がコミュニケーションの手段である 長時間はむりである。
自宅内座位の生活も長時間になると辛くなる。介5・日常的に介護を要する。
乗車時間が長時間になると、筋肉が疲弊し、本人が疲れてしまう。スイッチコントロールが必要
意志伝達は装着が必要。人工呼吸器を装着 吸引が必要。
座位が長時間になると痰が多い。人工呼吸器を装着している
進行はゆるやかだが、肺炎を発症しやすく注意が必要。
A L S、（68才に発症
全身状態はよい。呼吸も安定している
A L S
A L S
温泉入浴による健康状態（血圧など）の悪化時の調節など必要
A L S。
A L S
外出当日1～2週間前より、体調管理をとどこおりなく行う。
座位が長時間になると、痰が多い。
A L Sからくる医学的なことに注意する。（痰が多い等。）
A L S 人工呼吸器装着、吸引が必要。
A L S
人工呼吸器、意思伝達装置のチェック、入浴中の呼吸管理方法の確認が必要。
呼吸器 Dr. 診断
座位が保てない。ふらつきや目まいがあり、ベッドから離れられない。
・目的地までの装備搬送の安全性、移動方法・長時間移動の際の疲労度
体調のチェック
屋外移動時は意識伝達装置の持ち運びが必要なうえに介護者同行が必要
体温調節、移動時の負担等を視野に入れる
コミュニケーションは意思伝達装置を利用 全身の状態の把握、呼吸状態
A L S 進行に伴う変化もあり
長時間に耐えるだけの体力がない。入浴は訪問入浴、デイでの機械浴で行っている。コミュニケーションは意思伝達装置を使用。
A L Sの為移動等に介助要する
A L S
A L S
A L Sで右上肢発病。温湿度の変化によってむせこみがでるので吸引している
体調管理が必要となる 意思伝達装置 コミュニケーションをどう図るのか
座位が長時間になると体幹の維持に疲労を感じる
・A L S ・座位が長時間になると辛い
環境の変化等
A L S
A L S 要介護5
A L S 要介護5
A L Sで生活面で介助を要することが多い
目的地までの移動中、座位を保持できるのか？排泄はどするか。食事の要望は宿で実現可能か。
状態の急変がある可能性がある。急変・事故があった時の対応（Dr等）の準備が必要
・長時間になると痰が多い・長時間の座位は困難・移動には車イスが必要
・人工呼吸器の使用はないのか？・移動による身体への影響は？
Aさん（A L S）68歳男性
座位、体を起こした状態が長時間になると身体痛あり。
A L S 座位保持 えんげ状態 移動の状態
・日常をベット上で過ごす。・意思伝達装置は良好に使用できる。
座位が長時間になると痰が多い。
座位がとれる時間は、どの位であるのか 血圧等の問題はないか 食事の摂取状態
移動に伴い意思伝達装置の調整が必要 2h以上の座位と移動が困難となる。

・寝たきりの生活で、気持ちの低下がある。痛みはないが、座位は長時間続けられない。
A L C 要5 R状態の悪化 本人の体調優先に考える
A L S、要介5、日常生活での健康状態の問題。
移動中の痰の吸引、状態観察、入浴時等の必要な処置等入念な調整・サポートが必要である
A L S。温泉に入るとなると全介助について実施必要。
長時間の座位は身心に負担を与える。
バルーンが抜けやすく緊急時の対応が必要。熱発しやすく誤嚥の心配がある。
呼吸器挿着、接続吸引
座位を保つ為の支え等の検討が必要である
座位は可能か。車イスの形態。日常どの様に生活しているかの確認
A L S
現在、疾病の健康状態は旅行ができる状態か、又、旅行によって健康状態が悪化しないか。
現状は安定しているも、健康状態の変化には注意が必要
マイナートラブルなく健康な状態
A L S
・寝た切り、人工呼吸器装着・痰の吸引
当日を迎えるまで体調、健康管理が必要。旅行先での入浴できる環境の設定と入浴の際のコミュニケーション伝達装置の入念な調整
A L S
A L S
長時間の入浴は困難である 入浴時間の設定が必要である
移動はどうするのか。
既往歴、治療内容、服薬状況、受診状況、現状の状態像、体力、身長、体重、
A L Sで、急な体調の変化もありうる。意志伝達装置がないとコミュニケーションがはかれず苦痛があっても訴えられない。
A L S
・座位が長時間になると痰が多い・A L S、要介護5。
A L S、要介護5、コミュニケーションは意思伝達装置を利用。
・A L S、要介護5、・リクライニング車イスでの移動は休憩を30分ごとに取れば可能
A L Sの状態座位保持 e t c
68才A L S
・食事、排泄の状況・痰の処理方法（気切かどうか）
安全な入浴方法を入浴時間を確立し、
胃全摘本人告知なし妻に告知1年経過しても摂取量増えない。寝たり起きたり、倦怠感にて動きづらい。
A L S
痰がらみがあり、痰の吸引が必要。食事の形態の工夫、部介助が必要
長時間、座位をとれるか。座位訓練を行う。トイレの場所の確認等を行う。
A L Sの発症時期と経過を知る予後について医師からどのように説明を受けているかを知る
A L S 要介護5
体調の変動が考えられる
旅行中、呼吸困難になっても意志伝達装置を利用すればコミュニケーション可能。
A L S
・座位が長時間になると痰が多、
長時間の移動は疲れる 意思の伝達が出来るようにする。
状態が悪化した場合の対応を想定しておく必要がある
体調管理
A L S 要介護5
A L S
A L S、食後だ液の貯留があるため、吸引が必要な時がある
常に唾液の流出、痰のからみあり、胃ろうからの注入ミキサー食少量えん下可能
・日頃から家族間のコミュニケーションはとれているので本人は安心している。・姿勢保持及び食事の内容に対して調整が必要。
車イス？リクライニングの車イス？長時間の旅行の体力？
・疾病・既往歴の確認。・服薬内容の確認
・A L S
A L S。
最近の体調が安定しているか。外出時の体調変化についての把握が必要。

・長時間の座位をとることができない・通所施設で車イス浴を利用している
・ALS・要介護5
・座位の安定が完璧でない
・常に介助が必要・呼吸器等の装置必要・移動時の安楽の確保
ALSコミュニケーションツール（意思伝達装置）を活用。
温泉に入れる体力があるか？呼吸困難等の緊急時の対応
長時間の座位になると疲れやすい。嚥下機能の低下。
全身の筋力麻痺、呼吸障害、発声機能障害
長時間の移動は体力がない。意思伝達装置の活用を必要とする。
医師への相談をしたか？ 想定されるリスクを検討する
ALSは進行しておりADLは全介助、痰吸引が頻繁
全身の筋麻痺 発声機能障害 呼吸障害
ALS意志伝達装置を使用してコミュニケーションをとっている
座位できず、ストレッチャー等の移乗にも起立性貧血等に注意しなければならない
68才、ALS
・常に流涎があり、咳、痰が多い・人工呼吸器、意思伝達装置は介護者が調整
人工呼吸器を装着しており、急変等も考えられる為、外出先の病院の下調べや連絡調整が必要である。
呼吸苦になる事がある。
移動、入浴ができるよう体調管理、体力が必要。
現在は安定している
バイタル良好であれば可能な限り実現させる
ALS
側で支えてもらい短時間なら座位が可能。常時紙パンツ使用しているが日に2回Pトイレに移乗して排泄している。
主治医の意見
療養生活については家族の協あり生活できている
旅行の交通手段によっては座位保持はどうか？トイレの介助をどうするか。
長時間の移動は負担が大きい
座位が長時間とれない。言語障害、えん下困難。
主治医の意見（改めての注意点）、装置の確認、体調（ご本人と介護者）・喀痰の排出について
移動時間の座位保持や痰が多くある。入浴時、設備や体調管理。
・意思伝達装置持参する。・喀痰の有無に留意
ALS呼吸器、吸引、状態安定
長時間の外出や温泉に入る事で、呼吸困難や体調の急変の心配がある。定時で
座位は困難。痰の吸引が必要。仙骨部に褥瘡あり。
ALS。
ALS。
ALS。要介護5で寝たっきりコミュニケーションは意思伝達装置を利用。車イスで入れる温泉をさがす
ALSのため長時間の座位・移動・移乗難しい動作・意思伝達全介助
温泉地までの移動が身体に負担が掛かる。座位が長時間となると痰がからむ。入浴方法の検討が必要。
ADL低下、症状不安定のため移乗や環境の変化に耐えるための調整が必要
最近、呼吸困難を感じる事が多いが嚥下の問題はない。特に座位が長時間になると症状が現われやすい。
呼吸器装着。吸引が必要。
ALS要介護5
長時間移動には身体に負担がかかる。
長時間の移動、同じ体制での、じょくそう
・疲れやすく無理はできない。
Oさん（68才）ALS要介護度5座位の保てる時間、伝達装置せってい、たんの吸引、呼吸器の調整
・長時間の移動・公衆浴場での入浴による感染症
ALS
運動、コミュニケーション、嚥下、呼吸のそれぞれに障害がある。
長時間の移動が体力的に可能か。安楽な姿勢での移動方法を考える必要あり
座位が長いと倦怠感が強い。
座位保持での身体疲労の増大、呼吸苦の不安
ALSという進行性疾患
長時間の座位困難
温泉地までの移動に耐えられる体力があるか、少し長くなるであろう入浴時間に血圧は？

・長時間の移動は体に負担がかかる・じょくそう・体の痛み
・疲れ易く、横にして休む必要がある・視野が狭く配膳の工夫が必要。物によっては口に食べ物をはこべない
A L S
移動する時、座位が長時間になると疲れる、身体的負担が考えられる、入浴できる状態でいられるかが不安。
A L S、意思伝達装置利用（主）妻の介護を受けている
A L S
（バイパップ）呼吸器装着している、座位が困難、痰吸引が頻回温泉旅行に行く道中の支援が必要緊急に受診出来る温泉地の病院を手配
入浴すると痰貯留著明。また、疲れやすく息苦しさを感ずる。
温泉までの移動、温泉に入ることが可能か
A L S、要介護5
A L S年令68才要介護度5
座位保持は支えが必要、コミュニケーションは意思伝達装置を利用、食事は軟菜食
温泉旅行への移動やコミュニケーションについては、疲労、意志伝達に支障がある。
付き添い者、介護者が常に必要痰の吸引が必要
吸引が頻回、便通のリズムが狂いやすい、2時間毎の体交が必要
A L S装置使用で意思の伝達は可
長時間の座位は可能か
A L S、全てね行動において介助が必要。
A L S…急変時の医療的対応が必要
長時者車内移動に堪えられるか介護用ベッドのない宿泊が可能か障害者専用の浴室があるか
移動に際して臥床時間が長い為、長時間の座位保持ができない、横になれるスペースが必要となる
増悪に注意、出先での医療機関の確保
食事は胃瘻から注入されていて痰の吸引が必要、車イス座位保持は30分位可能、最近は、肺炎なども起こさず、体調が良い
食事の状態はどの程度か、現状の能力は？呼吸器は必要ないか？リクライニング車椅子での移動可能か？
移動時・ホテルでの体調変化
リクライニング車イスに移乗10分以上は辛い
長時間の外出となると介護の負担が多くなる。
・長時間座位やや困難、意思伝達は困難、装置利用
長時間座位はとれない痛みがある
A L S要介ゴ5
調子にムラがありその日になって車イスに乗れない時がある
歩行がひとりではできない装置の移動の調整必要
昼間も横になっている時間が長く、座位保持ができない
・気管切開はしていない。・痰も多くなり、呼吸状態安定・えん下は困難、栄養は胃ろうから…
長時間の座位は、身体的困難
長時間の座位になる為、コミュニケーションの伝達に装置を利用する為、介助が必要
移動や座位可能な時間の確認、状態が安定しているか
主治医による病状及び外出、入浴時の留意点の確認
長時間の移動は可能か。長時間の外出は体力が保てるのか
A L Sの発症により筋力が徐々に低下している喀痰しにくく吸引が必要
座位が保てない、サクションが必要、えんげ困難でムセも多い、バルン
・痰の吸引が日に何回も必要・外出の機会がなく
痰吸引は本人の状態をみながら随時行っている。体位交換が必要
入浴時全介助の支援が必要で入浴前後痰の吸引。意志伝達装置のセット、入浴中の意思伝達はまばたき食事は胃瘻。涎の受けとめかぜマスク常時着用
A L S
・平成11年頃にA L S発症・呼吸器必要
座位は何とか保てるが、長時間は難しい
・食事の形体を整える・痰の吸引ができる
体動時の苦痛、呼吸管理、食事や排泄、等全般的な支援を受けなければならない
A S L
A L S. 介護度5
緊急時、どこに病院があるか等？
座位が長くなると痰が多くなるので気を付ける
普段から長時間座位を取っていないので移動の際や温泉に入る際の体力に不安がある

A L S を発症
病状・現状の把握
長時間での座位への不安があるタンが多い
座位が長時間になると痰が多い。
夜間の急変などの不安はあるが、普段の生活を見ているので、大きな不安はない。
A L S、全身の筋麻痺。
A L S
A L S
麻痺があり、移乗が不安定 よだれが流れてしまう。体がつかれ易い
長時間の座位は疲れる A L S ・ 68才男性・体調は安定 コミュニケーションに意思伝達装置使用
A L S の発症 1時間以上の座位は身体的な負担が大きい 身の回りの事を自分で行えない
1泊2日の長い時間外出にたえる体力の確認
旅先に医療ネットがあり連携できるか
呼吸状態は、安定しておりすごされている
A L S、要介護5
・移動時の車や車椅子の配慮・移動時間（体力的な問題）・入浴介助の方法、介助方法、入浴場所、脱衣所場所の配慮
バイタル測定機、吸引機持参可能か。
A L S
68才 A L S 要介護5、寝たきり状態で
A L S
呼吸状態 A D L
病状の程度・進行
長時間の移動に耐えられるか、座位が保てるか、意思伝達装置は良好か。
・ A L S
長時間の座位保持が困難。
A L S、68才、介5
意志の伝達は出来る座位保持が出来ない
目的地までの移動時間に伴い体調管理が必要になる
・入浴環境が変わるので事前に下見する必要がある・温泉までの移動時の方法等を調整する必要がある。
痰喀出が多い。久しぶりの外出まで、身体状態の安定を保持、感染予防
A L S、要介護5
移動や、温泉場へ行くと痰が多くなる危惧あり
・長時間の座位は本人に負担が大きい・入浴は全介助しなければならない
・呼吸の管理状況・体温維持の状況・排泄のリズムの確認
要介護でねたきりであるが、体調は安定している
・安定した移動や変化を把握して対応が必要になる。
座位が長時間になると痰が多い。温泉旅行となると、近くの温泉がいい。
痰があり、吸引を必要とする。
A L S 介護5
呼吸状態、四肢の動作状態 意思伝達装置でのコミュニケーション能力
高血圧であり安定しているかの確認が必要。
状態の把握 D r に確認
主治医より、外泊に対して注意事項と許可を受ける。入浴についても同様
・ A D L の確認・病状の確認
A L S 68才
A L S、68才、要介護5
A L S 要介護5
安定した体調を保っていく。無理せず、本人のペースで行なう。
長時間、在位を保つことが難しい。入浴時には介助が必要となる。
・食事も少しなら食べることができる・泊りの旅行なので事前の体調管理を十分にチェックする・医療施設を確認しておく（旅行先での）
痰の吸引が必要なので長時間の乗車は苦痛 長時間の坐位の練習が必要
A L S 要介護5
リクライニングシート車イス上での日常。他者とのコミュニケーションは現在はとれている。吸引は妻と訪看。
A L S
うごくと呼吸苦がある。

A L Sであるが活動できる。
主治医との相談許可
温泉に入る時間、体勢など整調や介助が必要
A L S
A L S進行性
A L S随意筋が侵され随意運動ができなくなる
長時間の移動で身体状況が心配される。
A L S
長時間の座位。痰が多い
・長時間の座位は疲れる・最近では外出することが少ない・入浴の負担が大きい
コミュニケーションは、意思伝達装置による
・A L S 要介護度5・人工呼吸器装着2Hおきの吸引・食事は経管栄養・排便は2日おき摘便
・長時間の移動にたえられるか？・入浴する際のバイタルは？
・肺炎や誤えんなどをきたす危険がある。旅行中に具合が悪くなったらどうしよう。
・車いす毎の移動が困難・担当ドクターとの意見交換
移動時間が長くなると体力的につらくなる
温泉地までの移動時間は少なくする。
移動中、入浴中の喀痰が多い
体力が低下しており、長時間の座位は保てない。食事は介助にてなんとか経口摂取が可能。体調不良時、（胃ろう）栄養で補っている。
体調は安定している
・呼吸状態の確認
日中どの位起きていられるか。臥床している時間は。たんはどれくらい出るのか。
・長時間車イスに座ってられない
A L S
健康状態で大きく左右し、設定が困難
長時間の座位困難呼吸器は手離せない
・痰吸引が必要・入浴介助者の確保・入浴設備の確認
長時間の移動で苦痛大。負担軽減策が必要。
脳出血後で全盲のため車椅子で介助が必要。I A D Lは殆ど介助が要る
A L S 要介護度5
長時間の座位が可能か
車での往復となり、吸引等定時で休憩が必要
移動は全介助であるが体位交換等は意思伝達装置で疎通が可能
・痰が多く、定期吸引が必要・入浴は座位で入れる。機械で入浴をしている。
座位での移動が長時間である為、車イスの状態、移動の手段が検討される。
移動時間が長くなると、痰が多くなる。宿泊場所までの休憩場所の確認が必要となる。
A L S車イスで移動移乗は全介助で、支えがないと座位保持はできない
A L S 座位が長くなると臀部皮フ状態が悪くなる
安全に入浴できる設備が温泉に整っているか？
A L S 痰吸引が必要 座位保持可能は2時間程度
A L S、要介護5
車椅子へ乗る時間は、どの位か。
A L Sコミュニケーション意思伝達装置を利用
脳梗塞による右片マヒであるが努力家であるため左手を使う。
・長時間の座位は傾斜がひどくなる。・また、血圧が低下し意識レベルが低下する。
A L Sの進行度がどの段階か。その他の疾患（呼吸器、循環器）などがないか。精神的疾患の有無
A L S
良好だが長湯はD rから注意されている。
宿泊先での環境整備。コミュニケーション機器の操作
温泉に入るとなると、負荷がかかり、呼吸状態の調整が必要となる。
車イスは2～3時間は大丈夫であるが、常時介助が必要である
意思伝達装置の使用でも疲れない工夫が必要
座位保持時間の確認 主治医との連携い方法
・A L S（要介護5）・発語が困難
A L S

A L S
不良で重介護が必要
A L S
・長時間の坐位や入浴温泉に耐えうる体力の問題。・痰の吸引処置への対応が必要となる。
A L S 意思伝達装置
D rやN Sと入念に安定期を打ち合わせる。緊急の場合を想定して病院を決めておく（行き先の）
A L S
A L S 旅館の環境整備や宿泊できる状況であるか確認を行う必要がある
現在の状態（身体、心、家族など）支援内容の把握
A L Sあり、呼吸状態注意が必要
長時間の座位がむずかしい
長時間の座位が保持できない言語が思うようにできず意思疎通は困難。寝たきり状態。
入浴の際の体調
・外泊し入浴できる状態か。・医師と相談。・体力的に可能か。
移動時の体位や、痰の吸引等についての体制。意思確認の方法について食事摂取、排泄方法の確認
男同士でゆっくりと一緒に温泉につかりたいので周りのサポートが必要。
長時間の移動に耐えられるかどうか。移動方法の検討が必要となる。
A L S
移動時間が長くなると疲れ痰が多くなり吸引回数も増える。
障害を持っているので体位の問題、移動、移乗困難、体調の十分な管理調整必要となります。入浴時、後、水分補給、排尿、便のコントロール
A D Lの状態は、進行しているが風邪もひいてなく、まあまあ体調安定
A L S
身体が痛くなり、ポジショニングの調整が頻回に必要となる。今回は透明文字板をもっていく
温泉旅行に行き温泉に入る
68才男性A L S・寝たきりなのか、座位がとれるのか・訪問看護等つきそいは必要なのか。
座位を長時間保つことは困難。全身に筋力低下がみられる
安定
・座位が長時間になると下肢に浮腫がでる、また喀痰多い。・意思伝達装置の入念な調整が必要
30分は呼吸器を外す事が出来る、左手は少し動く。
風邪をひきやすい。温泉に入れるよう、体調を整える必要がある。
・座位が長時間になると痰が多い。・意志伝達装置の利用が旅行先きでも可能にできる調整が必要
痰吸引の時間間隔
・普段の入浴状況・移動時の体勢、手段、支援体勢・急変時の対応、周辺医院の確認など
・生活全体に医療的な管理やできるだけ普段と同じ環境の設定が必要・長時間の移動や座位は体力がなく疲労がみられる。・呼吸器や意思伝達装置の利用入浴時の介助。
A L S
A L S
外泊をとまなう健康維持を要する為旅行先の医療機関との連携が必要となる
移動は電動車椅子で自走可。食事・排泄全てに介助が必要
座位が長時間になると脱力感が強く意思伝達に支障が出る
A L Sが進行
定期的な吸引が要る為人工呼吸器の入念な調整が必要。意思伝達装置も同様
・寝たきりで、日常生活全てにおいて全介助。
脳内出血（左片マヒ）要介5
A L S
・担当D r確認：血圧・吸痰等・家族・本人に急変時等の確認・病歴・内服薬確認
長時間の座位保持での体力はどうか。宿泊間の体調管理を家族で十分行える。
A L S
A L S・要介5
痰の吸引胃ろう栄養である。薬も胃ろうから、進行性ではあるが安定。
A L Sによる痰の吸引は必要だが健康状態はよい
A L Sに伴う状態の変化として急変する可能性もある
喀痰の吸引が必要。ことばを発することができない。
A L S 介護5+68才と若い
A L S

・ALS・要介護5・意思伝達装置利用
ALS、要介護5
・定期的、継続的に必要な医療行為が可能か・外出先の環境が健康に影響しないか
ALS、介5、寝たきり状態意思伝達装置利用
肉体的ひろう感大
ALS、意思伝達装置が必要
歩行困難期にあり、車椅子で座位保持2時間程度可能。人口呼吸器装着、定期的に痰の吸引が必要
移動時間が長くなると本人の負担が生じる。体調の確認にも伝達装置は必需品となる。
温泉旅行するには移動する手段が必要となる
座位が長時間になると身体がこわばり、苦痛が多い。体位変換出来るように対応が必要
・移動時の姿勢保持・入浴手段、意思伝達装置の管理・体調変動時の対応
ADLの確認安定しているか否かの確認。浴室内に意思伝達装置使用の確認不可の場合の手段
呼吸、えん下状態の確認、皮フ、食事摂取状況排泄のコントロール状況、座位保持状況
体動時に痰が多くなる。ジュエチャーでの訴えが行える。
長時間車にのるので体調を整えておく、排泄のこともどうするのか考えておく
長時間の座位は、体幹が傾く、緊張するとけいれんする
ALSにより寝たきりの状態
入浴中のコミュニケーションをとる方法
意思伝達装置を利用して話をするのに段々と時間がかかるようになってきている。集中力が続かない。
・意思伝達はできる。・身体介護は全面的に必要。
・環境の変化、精神状態により痰が多くなる。・移動時間により座位の疲れや痛みの心配
温泉に入っている間、呼吸困難のおそれ、痰の吸引
痰も多く、酸素も常時必要
ALS。自分で痰が出せない。長時間車いすで苦痛。
移動の手段や留意方法ー旅館での環境設定。によって急変もある装置を併せての移動への配慮
ALS
ALS
・栄養の摂取の介助・コミュニケーションの介助・喀痰吸引の介助
室内、這っている、外出は歩行者、長距離は車イス、共に要介助泊りはベッド、バリアフリーの施設にする
・環境の変化による体調の管理に留意する
吸引の状況。呼吸状態の確認（呼吸器装着の有無）
年齢68歳（ALS）
ALS、介5、68才
長時間の移動になると体力的負担が大きい。旅先での急変時の対応が難しい
ALS
久しぶりの長時間の外出に対応できるか事前のチェックがいる
ALS
車での移動、日々の体調 管理必要
ALS
・尿カテーテルを装着、便コントロールが困難で、下痢状が続くこともある・急変も考え近くの医療施設も確認
・身体の状態は安定している。・言葉の障害がある・痰が出る・経口摂取していない
ALS
移動時間が長くなると疲労感が強くなる。
長時間の外出に体への負担が心配される、緊急時の受け入れ病院の手配
長時間の移動に耐えられるよう又、温泉に入るだけの体力があるか
長時間の移動は困難
体を動かすと、痰が多くなり1時毎に吸痰が必要。
常に人工呼吸器が必要。経管栄養などの機器を持参する必要あり。
・嚥下困難（見守りで大丈夫）・感覚障害、失禁はない。
医療的な処置が必要か
ALS、継続した痰吸引が必要。胃ろうから栄養。気切
・座位が長時間保てない。・温泉等の長時間移動の場合は、介護タクシー等の対応が必要である。
常時、体調管理に留意して行程及び温泉地の状況を事前に把握しておく
座位が長時間になるとタンが多い。
ALS 介5
ALS

坐位長時間は疲れる。寝たり起きたりの生活
A L S
A L S、介護5
えん下困難。痰が夜間に多い。排便困難。
A L S介護5
・車イス状態での時間は2時間が限度（ストレッチャーが必要）・移動や入浴に対する医師の診断が必要。
移動に介助を要する。移動の方法検討要、呼吸他全身の管理要
A L S
時々、発熱するが注射や服薬治療で回復する。長時間の座位保持困難。左足に褥瘡あり。
68才 A L S 要介護5
長時間の座位はとれない 入浴はキャスター入浴ならOK
A L S（介護度5）
・移動中の安楽な姿勢・全身の筋麻痺の把握・食事・旅先での急変時の対応確認
バイタルチェックの把握 本人の体調管理（伝思伝達装置を用いて行なう）
長時間の座位保持が困難。食事人工呼吸器の管理
長時間の移動は負担が大きい。
長時間移動時：リクライニングの車椅子使用し、1時間1回休憩必要、状態安定
A L S要介5、話しにくくコミュニケーションは意思伝達装置
主治医との連携で病状把握。意思伝達が明確に把握（理解）できる状態にあるか。
痰が多く吸引が必要 気管切開をして人工呼吸器を使用している。熱などなく状態は安定している
服薬の状態、食事入眠の時の状態、普だんの入浴の状態
A L S 進行する 要介護5
A L Sによる筋力低下がある。
A L S
外出できる体調、体力が残っているか、急変はないか？
座位保持はできるが加温加湿で排痰が多い
A L S 要介護度5
やる気があるので良
体調にムラがある 長時間の座位がむずかしい
A L S 68才 要5
寝た切りであり、長時間の座位は困難。
・移動中痰の貯留が多くなる・環境の変化による体調の変化
バイタルチェック状態の安定食事形態など
A L S 要介護度5
・A L S・コミュニケーションは意思伝達装置
座位が長時間になると痰が多い。吸引の必要性常時。
温泉に入るのに介助が必要
長時間の座位は困難 長時間の移動の場合痰の吸引環境の整備が必要
体調の変化と入浴の注意について医師と相談する必要がある
・たまに飲み込みが悪くなる時がある。
A L Sの為装置を利用して生き続けている
・食事をすると痰が多くなる・坐位の時間がほとんどない
要介護5、68才A L S
現在、状態は安定している
A L S。意思伝達装置でコミュニケーションをとっている
長時間の移動時の意思伝達装置の確認が必要
長時間の座位は痰が多く無理である
A L S。人工呼吸器装着。定期的に痰唾液の吸引が必要。伝・心を使うが長時間だと疲れる。
長時間の移動が難しい。食事についての不安がある。急変時の対応
A L S
座位が長時間になると仙骨が痛む。座位は2時間半が限度
A L S
A L S
長時間座位で吸痰が必要。コミュニケーションで意思伝達装置が必要。
座位がとれるねたきり（ストレッチャー）
A L S（68歳）

・座位保持時間が短い。
A L S
1泊旅行の移動方法を確認。体力的に可能か担当医に確認
車イス程度で移動可能な場合は外出可
・ほとんど寝たきりでベッド上の生活・寝たままでもパソコン操作できている
医師の許可
68才 A L S 要介護5
多発性脳梗塞 高血圧 右片マヒ
寝たきりに近い状態。
入浴は長時間は体力の消耗が激しいので、浴槽内は10分程にする。車での移動も30以内にする
主治医との連携。長時間の外出時の痰の吸引対応や、急変時の対応。入浴時の介助について。
A L S (介護5) 68才呼吸器、エアーマットは必要か？
長時間の旅なので体力を
A L Sで進行性疾患のため継続して医学管理が必要。
・長時間同一姿勢による呼吸器、皮フトラブル等の問題発生が想定される
A L S
・急変時の対応・健康状態の把握・体力の問題
外気変化に慣れていく様にする。風邪等体調管理に注意していく・事前の医療連携をする
移動、座位の時間はどの位か？
座位が長時間になると痰が多い。
たまに発熱するなど体調が不安定。下熱剤使用が必要
・長時間の座位が取りづらい・妻だけでは移動移乗介助が心配
A L S、要介護5
身体的理由で精神的な負担もきついのでは？
座位保持が長時間保てない
コミュニケーションを意思伝達装置を使用する。移乗、移動を介助にて妻が行う。食事、排泄も入浴も介助が必要である。
・呼吸状態が不安定 (O2使用、痰多い) ・廃用進み関節拘縮ある
A L S。コミュニケーション障害により意思伝達は装置が必要
A L S。要介護5
既往歴、主傷病について、現在の状態について
座位
主病と既往症発症時期

問9 【B 心身機能・身体構造】

(在宅療養支援診療所)

・旅行時間の問題・炎症に対する医療行為の継続（旅行中の医療行為）・急変時の対応
入浴を可能とするためのリハビリが必要
意思伝達装置 寝たきり状態
r e u n i o n
全身の筋麻痺。心肺機能障害。発声、嚥下障害
感染の危険
長時間移動に耐え得る、車の確保
心臓も体も十分に注意して見る
介護5
必要な運動、または負荷量を考えて現在の状態からとれだけアップできるかの把握
長時間の移動、車いすギャッジアップに対応できるように、リハビリが必要
長時間の移動、長時間の車イスギャージーアップに対応できるようにリハビリが必要。
車イス利用
呼吸機能レスピレーター確保
数時間以上の移動、座位に対応できるよう、リハビリが必要。
座位 O2 ギャッジアップ
長時間の移々自宅以外での睡眠と体力回復にリハビリが必要
移動の方法
心音、褥創などチェック
本人の健康状態も良く、受け入れる温泉旅館の理解も必要
家庭での入浴がどうなっているのかわからないのとこれ
長時間の移動に耐えられるか要確認
・移動入浴時などの時の状態把握
O
・ねたきり・呼吸のアシスト必要・喀痰吸引必要・発声不可
長時間の移動に耐えられるよう工夫する
精神的状況 妄想 認知症 腰痛 その他疾病部褥創など
安定していること
ほぼねたきり呼吸機能おちついている
自分の状況の受け入れ
長時間の移動に耐えられるかチェック
移動にも時間かかるため人坐位時間の延長が必要。又温度変化にも慣れる要あり
全身の筋麻痺呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
本人と家族の希望
車で移動するため坐位訓練
不明
長時間の移動に、車いすのギャッジアップに耐えられるリハビリが必要。温泉にはいりたい
一般客と同じ風呂は入れない
搬送がたえられない
長時間の移動、長時間の車椅子ギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
バリアフリーの確認
痰の吸引が自動車内でも可能か？
・疲れ（肉体的）・本人、介護人のストレス
車イスに乗れる様にする車酔いに対して薬剤使用予定
全身の筋麻痺発声機能障害
気持ちはしっかりしているが身体能力的には不安がまた呼吸や痰のトラブルは対応
長時間の移動急変時の対応準備
・一泊二日の旅行で長時間の移動や自宅外での滞在ができるだけの体力↑リハビリ必要・入浴したい
全身の筋麻痺 呼吸障害 発声嚥下障害
A L Sにてコミュニケーションは器具をつかう
温泉地までの移動 入浴中の変化 入浴の試行の必要 血圧等の c h e c k 長時間の体力の維持リハの必要性
横になって休息の時間を入れておく
移動に長時間かかる

動けない 云えない
近隣の温泉場所を探す。
A L S 要介護5
恐らく寝たきり
人工呼吸器（ポータブル？）看護師医師によるチェック
長時間の移動、温泉施設での休み方について十分な討議準備が必要
人工呼吸器、ストレッチャーでは困難
短時間で着ける施設をさがす
人工呼吸器をつけている。座位保持が長時間は困難
痰の喀出が困難 誤嚥しやすい 床ずれもできやすい
移動への対応、入浴への対応
四肢拘縮・呼吸筋拘縮の改善による長時間の移動が可能となる
吸痰、レスピレーターの器具の問題あり。
長時間の移動や長時間の座位保持に対応できるようリハビリが必要。皆など同じように帽子をかぶりサングラスをしてカジュアルな格好をしたい。
移動の方法の策定、緊急時の対応の準備
呼吸器具、胃ろう、尿路カテ
座位が可能かどうか。食事や給水をどうするか移動には何が必要か伝達装置以外の意志伝達はどの程度か
要介護度5の状態、コミュニケーション障害
・長時間での移動・リハビリ
本人の決意
長時間の移動に耐えられる体力の維持
・座位をとれる時間・入浴は可能か、移動手段について
車イスギャッジアップに対応できるようリハビリ。
長時間の移動
自宅外で生活するための座位訓練、散歩
排尿、排便状態摂食機能、呼吸機能と状態
意志伝達方法は装置
温泉に入るため、風呂に入る練習
呼吸状態に注意
バイタルチェック、SpO2確認できるようにしておく。こまめな体変を行い、体位ドレナージも確認
移動、入浴のために徐々にリハビリを進めていきたい
体位変換リハビリ他にも付添人が必要であれば看護師
長時間車移動可能にするためのリハビリ必要
長時間の移動酸素が必要か
発熱、咽頭痛など
日頃のリハビリの評価
移動時の車イス、吸引、転倒予防
長時間の移動中や旅館でのケアに無理はないか。
意思伝達装置を利用
座位継続が困難。しんどい。疲れると発熱する。
意思伝達は可能だが時間がかかる
リハビリが必要、家族が協力してもらえよう指導が必要
長時間移動にたえうる呼吸機能のチェック
長時間の移動可能か 環境の変化に対応できるか
筋マヒ 発声障害 人工呼吸
・要介護5・温泉でのベンチと入浴介助・食事ペグの介助
急激な呼吸機能↓に対応できるか
各種装置の点検、維持療養温泉地での医療情報の把握
少し風呂に入って、心肺をならしてみる。呼吸はどうか。
・全身筋麻痺・発声障害～嚥下障害
A D L不可 筋マヒ 呼吸筋マヒ
依存性強いが亭主関白、息子夫婦に対しても自分の主張を通す
呼吸回数、脈拍数できればSpO2装置をもってゆきチェックする。必要ならO2ボンベもつてく
約5時間を越える、長時間の移動、長時間の車いす、ギャッジアップに対するリハビリが必要。
移動手段は？呼吸は？日常での入浴時の様子は？

車によって、移動できるか、浴槽への出入りのリハビリをしておく。
・本人は臥位より座位を好むため、レスピと吸引器のバッテリー切れを気をつけて、車で移動は可能。・温泉に入りたい。
長時間の移動、温泉に入るためリハビリが必要
温泉に入るための介助人、フロの準備
・長時間の移動による疲労が予想され、乗り物酔いについても訓練が必要
座位の時間を延長。手足のマッサージ→家族に指導
長時間の移動に対応 急変時の対応
？
約5時間を越える長時間の移動、長時間の車椅子に対応できるようにリハビリする
手足動かないが介助で食事は出来る
車はどんな？
・意思伝達に時間を要する・車中での長時間の同一な姿勢では苦痛が大きい・痰の吸引も必要
経口摂取不能 1日1500mlの点滴
本人のメンタルヘルスケアの状況が落ちついていれば温泉入浴可能
長時間移動に対応できるようギャジアップリハビリ温泉に入りたい
・移動、リクライニング車椅子・呼吸状態に対する準備
自宅以外での移動、排泄、食事、入浴は誰れかの支援を必要とするので、親戚の人達が役割分担を決め、予め宿泊、入浴に備えた行動のシュミレーションをしておく必要がある。
移動、慣れない場所での入浴に耐れるようにリハビリを行なう
長時間移動に伴い身体に与えるストレスを考慮し、体位交換、呼吸状態に注意する。
車椅子座位は比較的長く保てる。四肢拘縮が目立つ。トランスファーは全介助。入浴は殆んど機械浴
ALS以外の心肺機能BP変化、呼吸 痰の状態
立位座位で長時間いると下肢浮腫、心肺機能チェックマッサージ、シートを後にしたり臥位をとれるようにする
・車イスに坐る時間を徐々にのぼすようにリハビリをする。・浴室に入る時や、入浴中に体が浮いてこないように援助するための介助者を決めて手順をつくる。
本人の身心の安定を保つ
移動に耐えるリハビリ
吸引器の携帯と、移動時の介助動作について家人と練習が必要
自力では何もできない
子供の結婚式に車イスで参加し、外出に対する不安が減少している。PEGでの栄養も順調で、コミュニケーションは、気切からのもれを利用して、声も出している。
坐位のリハビリを
意志伝達は可。ALSによる心身・身体キノウの低下
全てに介助がいる状態。発声機能障害。
全身の筋麻痺、心肺機能障害、発声機能障害
リハビリ必要
ベットや移動手段の考慮
温泉までの移動（手段）可能か？呼吸訓練、リハビリ（筋力） 血圧の管理。
麻痺の程度、体位の確認、必要とされる医療
気分転換へ結びつけ次への期待へつなぐ 身体疲労におちいらなくふうが大切
半身マヒあり
嚥下訓練など普段からしておく
長時間の移動に対して耐えられるかどうか
・ALS
ADLについては全介助
移動時座位が可能か否か。
全身の筋麻痺。歩行不能。発声機能障害。
長時間の移動に耐えられる疲労時の意思伝達の確認。入浴と食事に際して呼吸嚥下機能
うつや認知能力を診断する。短距離の温泉を選ぶ、入浴は4人ぐらいで支えて、長時間にならないように
移動時間の問題。
更衣や、移動など風呂内での支援を考える。できるだけ自分での着脱を心掛ける。
全身の筋マヒ発声機能障害
車イスベッド）などが対応可能かどうか。
呼吸器？喀痰吸引
本人の意志が確認できる
発語困難。四肢筋力は？呼吸機能は？食事や嚥下は？

・車イス移動、座位保持時間を伸すためにリハビリを。
・呼吸は可能に、まだ保たれている。・PEG造設されている
長時間の座位保持の可能性、リハビリの必要性
・移動、入浴と身体に負担を与えるが、温泉にゆったりと入って、日々のリハビリの疲れを奥さんといっしょにいやしたい
・温泉に入りたい。・長時間の移動、ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要。
全介助。コミュニケーションも装置使用
・温泉までの移動時間に対応出来るよう、リハビリが必要・温泉に入りたい
長時間の移動、車イス座位等、姿勢の保持。
ALS・全身の筋麻痺、呼吸機能障害、発声機能障害あり、コミュニケーションは意思伝達装置を使用
・長時間の車椅子座位可能。・入浴動作は介助が必要・息苦しくならない姿勢で入浴している
長時間の移動に耐える
・車での移動に対応できるようリハビリが必要・温泉に入って、浴衣を着たい。
自立度。温泉などに入る機能があるか
ギャッチアップ時間を長く安楽に過ごせるように、リハビリが必要。
車での移動時間は長時間。車内でリラックスできるようにリクライニング対応車イス。痰の吸引必要。場合によっては酸素吸入。
意思伝達装置にてコミュニケーションをしているが、思う様に伝わらない事が時折、イラ立ちがある。ゆっくりとしたコミュニケーションが必要
長時間の移動、温泉に入る際の介助に対応できるか
全身筋麻痺→呼吸不全 発声・嚥下・ソシャク機能不全 心機能低下
いつでも希望の姿勢がとれるように考慮 嚥下障害、構音障害あり、吸引器、リクライニング車椅子の使用など
キョリ、日程にあわせた体力作り 親戚とのコミュニケーションをとる方法を考えるー意思伝達装置を利用できない場合の伝達方法の確保
筋力↓ 呼吸障害 発声(-) 今後おきうる医療的問題
長時間の移動を想定して、リハビリをしておく
座位保持 入浴の為の移動、移乗 体を洗う動作のリハビリが必要
長時間の移動に対応できる様リハビリ、移動手段の選択が必要。
長時間の移動は身体的ストレスが大 入浴への介助大
分泌物も多く昼夜を問わず吸引を希望する
意志伝達装置なしでの対話の練習、リハビリ必要
1泊2日の旅行により長時間の移動、車イスギャッジUPに対応できるようリハビリが必要
長時間、長距離移動に耐える体力があるか、搬送手段を考えそれに耐えられる様予めリハビリする
長時間の移動により、身体的に耐えられるか。
全身の筋麻痺 呼吸心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動、入浴への移動など、筋緊張やわらげるリハビリが必要
・交通手段への適応・宿泊場所の環境(トイレ、浴室、マンパワー)
コミュニケーションには意思伝達装置が必要であり、旅行中持参する必要がある
長時間の移動、座位がとれる様リハビリが必要。水圧に反して呼吸ができる呼吸リハビリ・筋力↑
移動時間、入浴等の対応力をあげる日常生活をアドバイス。
移動方法は？介助者の能力はOKか？
要介護5 嚥下障害の有無 握力(筋力) 可能域
呼吸、嚥下
全身の筋麻痺 呼吸・心機能低下
座位が長くなると心身が疲労するので横になる様な所を作る
嚥下、精神障害 要介護5
長時間の移動の為、筋トレなどできる範囲で行ない、移動手段も考える。
長距離の移動はギャッジアップ可能な車椅子でそのまま介護タクシーに乗車して移動可能、意思伝達装置の扱いに慣れた介助者がいれば意思の疎通は可、食事は全介助で普通食もすこし味わうことが出来る
リハビリ
移動中の管理(吸痰、呼吸)
心身状態、血圧など調整し、移動中宿泊中に異常ないよう医療調整。
認知症疑いあり、行方不明になる可能性有監視が必要
リクライニング車イスかストレッチャーなど長時間の移動でも疲労を最少限に留めるためのリハビリが必要
移動時間の座位にたえるか。その影響。
筋麻痺進行 誤嚥のリスク
心身、身体ともにすべての機能衰え低下 しかし、何とか出来ること、社会参加、自分で出来る勉強への意欲

・長時間の移動は体力的負担が大きい
全身の筋マヒ。寝たきり呼吸、心機能、発声機能障害。人工呼吸器。胃ろう。
レスパイトは車で1時間の移動。温泉地は片道3時間の行程で途中休憩が必要。
・日中、夜間も介助必要なため、宿泊先でも可能か否か・移動の車イスもリクライニング必要か
入浴時の対応 家族への指導
移動など心身機能と身体構造への負担増加。
全身の筋麻痺 呼吸発声機能障害
体力、疲労度以前の行動からの推定。合併症のリスクの想定
全身の筋マヒ呼吸筋マヒ（人工呼吸器）
座位の保持が保てるようリハビリを行う。
温泉旅行に行けるよう長時間の座位が保てるようリハビリが必要。・温泉に入りたい。
片道2時間の移動に耐えられるよう体を起こして2～3時間姿勢を保つリハビリが必要。
・1人で動くことができない・いつ呼吸が抑制されるか不明
歩行不安定、骨折予防のため、車イスにて移動が必要。抗うつ剤投与鎮痛剤投与
車での移動・なれない環境での宿泊・入浴に対応できるよう体調を整える必要がある
移動ケア必要
意思伝達法のスキルアップなど
・リハビリ
嚥下機能 呼吸機能
長時間の移動 外泊のため体力のチェック・温泉に入りたい
・慣れない場所で不安もある・長時間の移動は身体的に負担になるため、体交や除圧の配慮が必要。
長時間の移動には十分な体力が必要であるため訪問リハビリや装具の適切な選択をする。
温泉旅行に対するモチベーション維持
・皮フ疾患の有無・意思伝達装置がない状態での意思確認（せめてYes/Noの確認が可か）
入浴時間、温度などの検討。
麻痺、機能障害の状況
全身の筋萎縮 ベッドで寝たきり 食事介ゴ
外出する事に対し離床促すリハビリが必要
移動にたえられるか？たえるためにどのような方法が必要か栄養方法はなにか
要介護5全介助
全身の状態、ADL、伝達能力、精神的ストレスなど
温泉に入ることがうまく機能するか不安。
心、肺機能の保持、気分爽快が長時間移送に耐えられる体位保持装具排泄対策）要・不要状態チェック。快食快便快眠状態チェック
・温泉に行くのに遠いため、それに対応出来るだけの体力を養う必要がある。
長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要
どれだけ座位保持できるか（時間）栄養はどのようにしてとるか
移動、車イスギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
移動手段をどうするかレスピレーターを使用している場合の酸素の供給。ベットをどうするか
介護者にたよる
要介護度5
長時間の車椅子座位に耐えられない移動時の痰の吸引に慣れていないので心配
・車での移動に、リクライニング又は長時間ではストレッチャーを要す・温泉でゆっくり暖まるのが念願である
長時間の移動をしたことがない。
車いすに介助でうつり（リフト使用）、早期に食道気管分離術を行っているため、ダ液流入も少く味をたのしむことも可。痰が多く、頻回に吸引することが必要である
・ADLの状況・病状（障害の程度）
長時間の移動にたえられる訓練が必要。
全身の筋麻痺、発声機能障害
車の移動に耐えられるよう体力必要
ほぼ寝たきり。発声機能障害。
長時間の移動、環境の変化による血圧等、リハビリなど対応する
長時間の移動のため体位の具合
・呼吸状態・栄養状態・ADL
呼吸状態の変化により途中で利用せざるを得ない病院をあらかじめ検討。
気切などされているか

呼吸障害。嚥下障害。寝た切り

(在宅療養支援病院)

意思伝達装置をもっていく。
・長時間の旅行（移動や入浴、食事会など）に対応できるように、日中、車いすで過ごす時間を増やすリハビリが必要。・声を発することができないが、わずかに指先が動く。
・全身の筋麻痺・呼吸、心肺機能低下・発声機能低下
拘縮はどれくらいか？移動する時の体力はあるか？シャワーいすに何分座れる？
旅行の移動時間介護が必要
・長時間の移動、リクライニング車いすで、長時間すごせるようリハビリが必要
A L S。発声機能障害。呼吸障害。
1泊2日の長時間の外出、移動に伴う坐位、ギャジアップに対応できるようリハビリが必要。家族と久々に温泉に入りたい。移動や温泉に入るなどかなり人手が必要。今からリハビリをしてもレベルアップは期待できない

(臨床研修指定病院)

呼吸器の状況、関節等の■有無
移動に介助必要、坐位～臥床のままの移動、入浴時の体制は？
温泉に行く気がある、気力あり、生きる気力あり
嚥下機能、身体機能、コミュニケーション機能の低下
長時間の旅行に対応できるよう、リハビリが必要。温泉に入れるようになりたい。
長時間の移動に対応できるリハビリが必要
68歳、要介護度5〇問題点、排尿排便機能障害の程度にあわせた同居妻、同居家族の支援が必要。温泉旅行中は家族支援の強化が必要
A L S、要介護5、呼吸機能等情報収集を要する。
・お湯につかれるのは1分程度がやっと。・入浴時二人介助が必要。・シャワーチェアが常備されている。
・要介ゴ5でねたきりの状態・長時間の移動は身体負担が大きい・コミュニケーションは意思伝達装置を利用している
意志伝達装置を利用してコミュニケーションをとること可能
長時間の移動や、温泉入浴に耐えられるよう、リハビリをする。
・体位交換・排泄介助・食事摂取方法
長時間の移動に耐えられる身体なのか
移動はリクライニングの車イスを利用している。体のこうしゆくを予防するため、訪問リハビリを行っている。移乗は全介助である。
・人工呼吸なしでは生きていけない・温泉入浴は全介助
全身筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、コミュニケーションは意思伝達装置を利用（発声機能障害）
車での移動、車イスギャジアップに対応できるようリハビリが必要。入浴するにあたり、イスにするかベッドにするかの本人意向確認
1～2時間の坐位は可能であるが、ファラー位での姿勢が楽
全身の筋マヒー長時間の移動、長時間の車イスに対応するためリハビリが必要。呼吸・心機能障害ー人工呼吸器使用。発声機能障害ーコミュニケーションは意思伝達装置にて可
全身の筋麻痺、発声機能障害
要介ゴ5、全面介ゴが必要、コミュニケーション手段、褥そう、廃用予防リハビリ
全身の筋麻痺、呼吸、心機能障害、発声機能障害

(訪問看護事業所)

長時間の移動に堪える体力の維持。痰の吸引について
なるべく短時間で移動
発声キノウ障害あり
長時間の移動に耐えられるよう、リハビリが必要
バイタルの予防的チェック
・体調の管理・現状の把握・離床方法と保持できる時間をのばすために必要なこと検討
移動時全介助必要更衣なども全介助
ストレッチャーでの移動は2時間が限界、坐位は困難
歩行できるか。
・かかりつけDrとの連携を図り、異常時には、早めの対応ができる体制作り。
約5時間を超える長時間の移動長時間の車いすギャジアップに対応できるようリハビリが必要。・紋付き袴を着たい
固縮予防のため、訪問リハビリをうけている
長時間の移動に対応できる、車イス、姿勢保持クッション等の検討、ギャンアップに対応するリハビリが必要。

全身の筋麻痺。発声機能障害。
移動に対する耐久性をupさせる為、W/Cに乗るリハビリが必要。呼吸状態の安定。
移動や座位時間を増やしていけるよう、リハビリや家族の協力が必要。
長時間の外出に備えるリハビリが必要温泉に入りたい。
四肢、体幹がうごかないコミュニケーションは機器使用で可能ねたきり
・長時間（旅行先への）移動
長時間乗り物を利用するのでそれに対応できるようリハビリ
長時間の移動や、体位の工夫が必要。痰の吸引などもどのように行うか。体調の変化に対しての事前の打ち合わせが必要。（主治医と現地の医療関係者との連携）
・1日に食事以外で4時間車イスで過せる体力がある。
全身の筋麻痺。呼吸・心機能障害。呼吸RH。入浴時リフトを使用。
・人員が移動介助する場合必要・呼吸器装着なら温泉は不可能
車イス吸痰操作訓練
・長時間の移動により、身体拘縮しやすく屈伸etc、リハビリが必要となる。（車移動etcでは同一体位になりやすい）・温泉に入るために、気切、かつ圧チェック誤えん予防や、気切鼻の準備が必要。入浴後、吸引もすぐ行なうことができるよう準備する。
・気管切開。・コミュニケーションはパソコン利用。
要介護5で、長時間の移動ができるよう移動方法の検討が必要。食事摂取に介助が必要
温泉に入りたい（温泉旅行に参加したい）
・全身の筋麻痺、発声機能障害はツールでカバーできる。
長時間移動→リハビリ必要。身体管理→Dr、NS
・ALS・コミュニケーション装置
・ドライブでの長い時間、苦痛
リハビリ
ほぼ寝たきり状態
入浴（温泉）介助は何人とする予定か。また注意点の確認。入浴介助の練習。・車椅子座位が長時間対応できるためのリハビリ。
移動はどうしているのか？体力は？
移動、移乗動作がスムーズにできるためリハビリが必要。
・生活全介助が必要コミュニケーションは、装置を使用に可能。
・ハブニングに対する対応の調整・介護者の疲労の調整・移動時の移送状況等
・呼吸機能障害・発声機能障害・車イスギャップに対応できるようリハビリ必要
・車での移動が久しぶりであり、心肺キノウをアップさせるトレーニングが必要。入浴はしたい
寝たきり状態。意志伝達装置を利用。コミュニケーションが難しい
コミュニケーションは意思伝達装置
移動はいつものリクライニング車椅子のまま可能
長時間乗車してる中での苦痛や外出する事での気分転換、クッション等の工夫。
移乗は全介助。食事は吸いのみで摂取。胃ろうは拒否。食事間1時間。
障害に対しての回りの理解が不安
移動に耐えられる環境（車中）が必要。出発前の体調管理、介ゴ方法の学習。施設への協力。
温泉地までの移動及び温泉での移動も多く車椅子への移動、座位保持の時間も長い。
移動の訓練を行う。意思伝達装置の利用。温泉に入りたい。
全身疼痛の有無・家族の介護レベル
入浴までの危険因子を事前調査し、クリアしておく。リハビリを行ない体力をアップしておく
1泊2日の長時間の旅に対応できる様、体調管理が必要。
1泊2日の温泉旅行に耐える体力はどうか？温泉までの旅程に困難な事はないのか？
乗り物による、移動時間も体位が維持できるようにリハビリが必要。
長時間の負担は本人が我慢してほしい。危険。
入浴時の体位を考えてデモンストレーションの必要あり。
車イスでの腎部の除圧が必要。経管栄養の注入困難。オムツ交換できる場所の確保。
長時間坐位、車にゆられる事での気分不快はないのかバイタルサインをみながら練習が必要。
・移動が安全に行なえるか？・入浴は、行なえるスペースは確保できるのか？
移動時間の体位保持は可能か？移動の際の介助者の手技は？
唾液の誤嚥による肺炎をおこしやすい。吸引器は必要。長時間の移動でかなり疲労がある。移動は1時間～2時間以内としたい。
ADL全介助コミュニケーション障害
移動時の長時間坐位や排泄の確認が必要

コミュニケーション…意志伝達不足
長時間車いすでの（リクライニング式）坐位保持ができること。
・ADL・体力・呼吸状態
・入浴介助の方法を家族に指導。・不慣れな環境での戸惑いに対する。ストレスの緩和
ADL目標評価とADL内容。病気や障害の程度、治療状況
全身の筋麻痺。呼吸、心機能障害。発声機能障害。排泄状況。妻の介護内容。食事の形態。えん下状況。呼吸器使用の有無
・全身の筋低下著明。かろじて右手のみ自動。・気管切開。人工呼吸機望まず延命治療拒否・早くむかえに来てほしいと言葉にする。うつ傾向にもある。
寝たきり状態で要介護5温泉に入る事を楽しみにしている
移動時間を考慮した体勢について、リハビリ必要。
・長時間坐位の訓練
・コミュニケーションは意志伝達装置を利用・場所が違うことで、精神、心理的負担がある
全身の筋麻痺、呼吸、心機能、発声機能障害、えん下障害
・移動入浴など全ての行動に介助が必要・親族との交流、温泉が楽しみ
長時間の移動に対応できるか不安。リハビリの導入。温泉に入りたい。
・長時間の移動、座位が保てるようリハビリの実施・自宅入浴の実施
寝たきり。チルトリクライニング車イスで。気功、Resp装着、PEG。
車で寝ながら移動してもらえるようにする
・温泉に入りたい・移動・入浴に対応できるよう、リハビリが必要。
車での移動、旅館内の移動、浴室での移動に対応できるようリハビリが必要。
長時間の移動（温泉地までの）に対応できるリハビリが必要。入浴中、血圧の変動あり。気管内の分泌量増加。
旅行中安心して参加出来るよう参加者から支援を得る。
・車イス坐位の訓練・入浴動作のシュミレーション
・入浴介助に必要な用具がない中での介助方法を、本人及び介助者で習得する必要がある。
・ALS病状レベル
・全身の筋麻痺・発声機能障害
四肢のリハビリを行い、精神の高揚期待感を持たせる。毎日の意欲につなげる
・環境のちがうところで1泊2日過ごすため、情報収集をして、予測して対応できるよう、リハビリをしておく。
ALSでは身体活動は無理。頭脳ブレインになる。理想はホーキング博士。
目的達成のための食事、排泄、睡眠、活動差のアセスメントとアプローチ
ギャジュp、坐位に耐えられるようリハビリが必要。
移動時間にどれだけたえられるか、近い温泉旅館をさがす。移動時間にたえられる体力をつける。安全にはいれる温泉をさがす。たとえば車イスではいれる。
・どの程度意志伝達ができ、それを分かる人やサポートする人がいるのか。・移動や座位、同一体位がどれ位とれているのか。
移動はリクライニングできる車イスが必要。温泉ではシャワーキャリーを活用する浴槽には介助者2人が必要。吸引必要
長時間の車イス移動に耐えることが出来るよう、車イス坐位訓練。・アンゼンバックでの補助呼吸練習が必要。
・筋のマヒ（呼吸、上下肢体位）
・温泉までの移動、その間リクライニング車イス上での坐位にたえられる体力が必要。・温泉にも入りたい。
・排便のコントロール・周囲とのコミュニケーションがとれる・緊急時の病院、医師の確保と連携
坐位保持が可能か？呼吸困難等急変時の対応はどうか？
全身の筋麻痺が著しい。発声機能障害
全身の筋麻痺 呼吸・心機能障害 発声機能障害
長時間移動に対応 コミュニケーション（キカイ持参） 車イス対応の車必要
環境が変わるため、医療機関への連絡を確保する
長時間の移動、長時間のギャッチアップに対応できるよう、リハビリが必要。温泉に入りたい。
長時間の移動、長時間の車いすギャッチアップに対応できるリハビリ訓練
全身の筋力低下、発声機能障害、呼吸障害（？）、人工呼吸器使用（？）
・座位保持可能の有無・食事形態、えん下状態の確認・自動運動の範囲の把握
長時間の座位への対応のため、身体面の調整が必要
・移動の問題、排泄管理、入浴方法及び介助者の確保。・食事内容確認。
・食事…PEG、流動等経口摂取？・排泄…尿・便意の有無及び排泄方法
四肢麻痺
長時間の移動に耐えられるのか
座位が2時間を超えた時に臥床できるようなリクライニング式の車イスが必要（あるいはストレッチャーの準備も）
全身の筋萎縮・麻痺、発声、嚥下機能障害、呼吸筋マヒ、意思伝達装置、意識清明。
日常の離床時間（）時間可で、車イスはリクライニング可能とし体圧分散のクッション用意、ポジショニング保持の工夫を○

T・PTに指導うけ、負担を軽くし、褥瘡予防すること。外へ出る機会をつくり環境の順応性高めていくこと必要。
・胃ろう・下肢の拘縮あり。
・発声できないが意思伝達は可能・動けない
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるようリハビリが必要
・長時間の移動、シュミレーションが必要
宿泊先までの移動時間、方法など体力や姿勢、食事形態はどうか、
長時間の外出、移動に耐えられるか。
移動に時間がかかる時は途中休けいを入れ体位を工夫する
臥床のまま、ストレッチャーで移動か、車イスか、入浴の介助はどこで誰が行なうのか
・長時間の移動、長時間車イスギャッチアップに対応できるようリハビリが必要。・吸引が必要
人工呼吸器によるトラブル時の対応方法と緊急時対応方法の確認をしておく・「温泉に入りたい」
・長時間の移動に耐えられる体力が必要。密閉された中での移動によるストレス
長時間の移動違った環境での宿泊、温泉への入浴に対応できる体力作り
全身の筋麻痺。呼吸・心肺機能。発声機能障害
全身の筋麻痺。発声機能障害。長時間の移動にたえられるか。
長時間の座位保持が保てるように工夫する
・全身の筋麻痺・発声機能障害
同一体位における身体痛あり（上肢痛、下肢痛、肩痛など）発声機能衰えコミュニケーションは目と手の動きで判断。人一倍我慢強い
・短時間（1～2時間）の呼吸器離脱は可・関節の拘縮が進んでおり痛みがある。リハビリ必要
・座位保持が長時間保てるようリハビリをする
要介護度5。身体障害手帳1級。意思伝達装置を利用
・リハビリ必要。
・四肢の動きの低下。・発語ができない。
・温泉に入ると呼吸状態どうなるか？
・長時間の移動、長時間の車椅子に対応できる様リハビリが必要。
大部分の麻痺、体動困難によりリスクが高い
旅行に行きたいが皆に迷惑をかけると思っている。
人工呼吸器装着しており移動に人手が必要。
・発声機能障害・全身の筋麻痺
体力が低下しており、長時間の移動は困難。温泉も、設備の整った宿でなければ困難。
・自力で温泉に入れないので福祉用具があればいい。・妻の励ましの言葉をもらいながら、温泉に入れる意志を持続。
車イス乗車のためのリハビリ 意志伝達装置 操作
・拘縮が強くなるので毎日のリハビリが必要。また胸隔も硬くならないよう呼吸リハビリも必要。・カニューレ部、胃ろう部の処置が必要。
全身の筋麻痺、呼吸器装置、呼吸・心臓機能障害、発声機能障害
・長時間の移動やチャジアップに慣れているのか、又はリハビリが必要
座位可能時間、拘縮、筋萎縮の程度、自力での体動可能範囲、食事摂取状況
温泉までの長時間の移動に対応できるようにする 意思伝達装置以外の伝達を確保
長時間の移動のため、車イスでの過ごす時間をふやせるようにリハビリが必要。
入浴に関する座位、体力保持のためのリハビリや、バイタル、全身状態確認のための訪看や、緊急対応整備要する
移動に備えて、w/c乗車時間を長くする。疲労の少ないw/c、クッションの検討。トランス方法などfaの介護力をきたえる。入浴介助は、長男1人になるかも。
生活全般に介助を要する。四肢の運動機能マヒ、発声機能障害、呼吸機能低下、えん下機能低下
筋麻痺、呼吸・心臓機能障害、意思伝達装置を利用
全身の筋麻痺。発声機能障害
・温泉に入りたい。皆と会話したい。・外出に慣れていないため車イス等のリハビリ必要である
同程度の旅行が可能な状態。コミュニケーション手段あり
全身の筋麻痺。呼吸、心肺キノウ障害。発声機能
・旅行するための乗り物にたえるリハビリの準備。・入浴するための装置・体力の準備。
筋力低下。発声障害
要介護度5。（全介助レベル）車椅子座位が可能か？
コミュニケーション…意志伝達装置
温泉旅行するために体力が必要。座位Keep時間を長くするため、リハビリが必要。
・移動に耐えられる体力があるか・入浴時間などの程度か
車イス、ギャジアップで過す時間を延長できる様訓練しておく。温泉での入浴時の安全な介護方法を確認しておく。

主持医の許可と緊急時の紹介状
・移動時間や入浴時動作を苦痛なく行えるよう、リハビリが必要
温泉につかりたい
全身の筋力マヒ。呼吸筋のマヒ
全身筋マヒ、発声機能障害、呼吸心臓機能障害
機能低下を早い段階で予測し対応することが必要。生活段階にあわせた、リハビリ、福祉用具の選択が必要。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用するので家族の介助が必要。
・約2時間ではあるが公共の交通機関を利用しての移動、車イスギャッジアップとゆれに対応できるよう、リハビリが必要。
A L S、コミュニケーションは意思伝達装置を利用。吸引が必要
長時間の移動対応※リハビリ。姿勢の保持
長時間の移動、車イス、に対応できるよう、リハビリが必要。
A D Lが低下し介護5の状態。全介助を要する。移動時間に対して、体力はあるのか。
要介護5、介助をすべてに要す。→移動等に耐れるようリハビリ強化。意志表示手段は、伝達装置だがしっかり意志表出はできる。
A D Lの可動域。移動手段。安楽な体位保持。
長時間の移動や坐位を保てるようにリハビリ等必要
屋外での活動にも対応できるようリハビリが必要。
移動中、宿泊先での体位の保ち方 排泄、吸引などの程度がわからない
長時間の移動は体が疲れないか
・長時間同体制でいる訓練・補助具の利用
長時間の移動、車椅子に対応できるようリハビリが必要
車椅子・ギャッジアップに対応出来る物、着脱しやすく、本人希望もとり入れて
移動、車椅子ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要。
全身の筋麻痺、発声キノウ障害
・移動手段になる体位・意志の伝達方法
温泉に行くまでの長い時間坐位の確保のためリハビリが必要。
長時間の外出へ対応できるようリハビリ。移動の手段
全身の筋麻痺。坐位可起き上がり可。呼吸障害→気切しているが、人工呼吸器不用。発声機能障害
A L Sで全介助。呼吸器の使用。吸引の必要。
時折吸引が必要。コミュニケーションは■■■でとれる。(スピードも早い)
拘縮。車に乗れるのか。
全身の筋麻痺、呼吸・心機能障害、発声機能障害
・長時間の同一体位によるリスク・セルフケア不足の状態
旅行先はバリアフリーか。
筋麻痺、呼吸機能障害、発声機能障害
長時間の移動、座位がとれる様、リハビリが必要。水圧に反して、呼吸ができる様な呼吸リハビリ。
・長時間の移動に耐えられるように、リハビリが必要である。・入浴できるように、移動・移乗の練習が必要である。
電動車イスでの移動は5時間程、可能だが下肢が痛くなり、呼吸も荒くなる
移動の疲れ、人目に触れる事の恥、劣等感、物理的キケン
全身の筋麻痺、発声機能障害
体力、疲労度、以前の行動からの推定、合併症のリスクの想定
・移動時間、及び、坐位時間が長くなっても可能な体力をつける・えん下状態・吸引器の使用
・移動時の疲労を少なくするために坐位保持のRH・コミュニケーションをスムーズにできるようパソコン操作を円滑に
宿までの移動、長時間の車イスギャッジアップに対応できるようリハビリが必要。温泉に入りたい
・温泉に入りたい・旅行にて移動に対応できるようベッドアップ等リハビリが必要・1泊2日の旅行がしたい
・温泉までの移動時間を対応できる体力作りが必要・病状の安定を図る
・全身の筋マヒ、姿勢の保持は可能か・呼吸や循環障害への影響はどうか
全身の脱力強く、随意性低下。長時間の移動では、疲れてしまう為対応出来るよう、活動量を確保しておく
・長時間の座位が耐えられるか・急変の可能性
長時間の移動にたえられるようリハビリが必要 温泉に入りたい
浴室での移動。設備。特室となるとコスト↑負担。同行に医療従事者必要か。
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用 ・要介護度5 長時間の移動、長時間の車イスギャッチ u pに対応できるようにリハビリが必要
ベット上で生活をしている。車椅子への移動、など必要である。
A D L全介助レベル。長時間の移動に耐えられるか。同一体位にならないような工夫が必要、排泄はどうするか。体調の管理
長時間の移動(車イス)にたえられるだけのリハビリ必要。

・長時間の移動に対応できるようリハビリが必要。・温泉に入りたい。
・吸引は妻が施行も嫁にも手技取得して貰う・排便のコントロール必要・急変に備えDr診療情報用意
・長時間・旅館での呼吸・保持
日頃から離床訓練をする必要がある体力があるか？
一泊2日の外での生活移動で安楽な車椅子を準備、体位変換させたり、呼吸管理、リハビリの必要がある。
・人工呼吸器と吸引器もっての移動。・頻回の吸引と体位変換等してくれる人材の確保。・入浴中の呼吸管理。・胃ろうから栄養剤の注入。
・心身にかかる負担の軽減・体力の保持
長時間の移動、長時間の座位姿勢に対応できるようリハビリが必要。入浴に慣れることも必要
・移動時間の体力を考え、車イスで移動・移動中（旅行中）の意志表示の方法の確保・宿泊先での安全の確保（例えば風呂場や段差・急変時の対応
・人工呼吸器使用・吸引、食事、排泄、全介助・坐位、保持、可能か？どのくらい
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
車移動のための長時間の座位姿勢、車中での吸引の対応が必要。
・移動など全ての生活に介護が必要・生活場所が変わることでの、負担や、介ゴ方法の変更が必要
体力はあるか。
座位保持のためにリハビリ、訪問マッサージが必要。入浴介助にヘルパーや訪問看護が必要（メンタルケア）
移動による疲労。身体の痛み→対応できるようにリハビリ必要
・長時間の移動が出来る様・車イスギャッチアップ対応のリハビリが必要・温泉に安心して入れる様座位訓練
・長時間座位、移動が可能な体力、持久力があるのか・温泉に入る時の動作方法
長時間の移動、車イス座位に対応できるか、対応できるようにリハビリが必要、温泉に入りたい
人工呼吸器管理（移動、入浴）頻回の吸引が必要、経管栄養の管理
・認知の状況・性格・マヒの有無、程度・硬縮の有無、程度、服薬内容
ADLの程度、自力でできること、拘済の有無、座位時間の限界、ベッド上の姿勢、時間。入浴時間、注意点、温泉の設備
温泉までの距離の間の姿勢保持のどのようにするのか、リクライニング車イスに長時間耐えられるのか
長時間の座位の保持はどうか・車にゆられて行く為に長時間座位保持できる、リハビリが必要。
・遠出をするにあたり体力？・親戚の方達と楽しく旅する・痰吸引
・長時間の外出に耐える体力と循環系の問題。リハビリでの検討・人工呼吸器の管理、吸引の必要の有無。SpO2変化など。
移動の際の同一体位の保持
車での移動、温泉場での入浴ができるよう同行者にも介助
筋麻痺、呼吸機能障害、発声機能障害、嚥下障害
動けない事でのむくみ、皮フのトラブルをおこしやすい
長時間の移動に耐えられる体力づくり。又、安全に入浴を楽しみたい
移動に要する時間姿勢について、リハビリ、補助用具など準備する
入浴可能な体力アップのリハビリ必要か？
1泊2日で、移動時間もかかり、負担が大きいので体を慣らす必要がある。
本人の希望も確認済み。伝達装置も持参。移動の手段はどうか。
長時間の移動に対するリハビリが必要
長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要。
1泊2日の温泉旅行 長時間の車イスによる移動（車イスが長時間座れる様リハビリが必要）意思伝達装置必要
体交、ギャッチアップの必要性
長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要
・長時間の移動ストレス負荷に対しての心身反応把握・湯の温度に対しての心身反応
嚥下機能の低下もある。安全に食事が摂れるような対応が必要。
本人の気持ちに出来るだけ添いたい。坐位、臥位、移動中、どの姿勢が安楽か自宅での確認と訓練。
・坐位保持ができるか。・呼吸機能は大丈夫か。
コミュニケーションは意思伝達装置利用（アクセシビリティ）
介5であって、どのような援助がなされて、機能がどうなのかわからない
起き上がり不可。歩行（ふりこ式）不安定。転倒度々あり。ろれつがまわりにくくなってきている
1泊2日の旅行計画で長時間となり移動時の坐位や、宿泊先での就寝状況の為に、リハビリが必要
近くの温泉場だが、車で4時間かかる。リクライニングの車イスで移動。散歩に出かけているので、対応は出来る。
移動中や宿泊中は吸引の援助が必要。温泉旅行の予定が決まり、リハビリに意欲的になり、明るくなった。
・長時間の移動と旅館内での移動、入浴時の環境を整え、不安や苦痛を与えないようにすることが必要。
2時間を超えると30分程の休養にて再度坐位が保てる。
・車での長時間の移動に対応できるようリハビリが必要

寝たきり状態のため、移動時間距離に適応できるための体力が必要
・体調・介護者・緊急時の対応
A DL 状況。ACS の進行状況。伝達能力
食事、排泄、■■、移動に全介助。一般状態は比較的安定している
温泉施設までの移動手段と車。休憩場所の確保、それまでの体力を維持したい。車イス坐位の為のリハビリも含めて。
全身の筋麻痺。意志伝達の障害。往復の交通手段。
長時間の移動のためのセミファーラ位保持が可能となり精神的にも安心できるようにしたい。
・長時間の移動。車イス対応ができる。そのための訓練必要。
全身の筋麻痺、発声機能障害
・旅行（移動）には特別な手段が必要・宿泊に関してふだんとちがう環境はトラブルの素となる。
呼吸-人工呼吸器、嚥下-経管栄養、四肢マヒ、全介助、排泄介助要す
・坐位保持機能・多機能車イスを
適宜吸痰ができるような対応、手指の一部しかタッチングができないことによりコミュニケーションがうまくできるか不安、確実に伝えられるよう、調整が必要。
寝たきり
長距離移動に耐えられるようリハビリをする。肺炎等にならずに、当日を迎えられるようにする。
全身の筋麻痺。発声はできない。吸痰が必要である。栄養摂取の方法、準備、排泄の方法。
・車イスで長時間の移動に対応出来るよう、リハビリが必要・宿泊先で安眠出来る様ベッドとポジショニングが必要・温泉に入る介護者が必要
全身の筋麻痺、発声機能障害
・全身の筋力低下あり・呼吸・心機能障害あり人工呼吸器を装着・発声機能障害あり
当日までに長時間坐位ですごすリハビリをする。
移動に関し、呼吸抑制しない体位の工夫。車いすの選択が必要。
要介護5、移動にあたり可能な対応時間はどの程度か入浴可能な体位や移動方法
・座位の保持および移動に関するリハビリ
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
坐位の持久性
温泉に浸りたい。自律神経症状特に起立性低血圧のうつ熱などにならぬよう指導と、座位訓練をしておく。前向きな性格
・入浴時の介助が必要、痰が出やすいので、吸引器も必要。座位が保てるようリハビリが必要、車イスに乗る時間も考えリハビリが必要、食事内容の心配
・ギャジアップに対応できる体力保持。・不安を取りのぞき生活を安全にする
発声キノウ障害全身の筋麻痺心肺キノウ障害
移動をする度に、BTPAPをつけていても息切れがする。先々に考えてしまい、不安、イライラが出てしまう。
全身の筋麻痺進行している。呼吸器装着をどうするか決める段階も近づいている。
長時間の坐位など予想されるので、リハビリが必要。
移動、リハビリが必要。温泉に入りたい。
全身の筋麻痺、呼吸機能障害、発声機能障害
リハビリにて機能を保持する必要がある
・コミュニケーションには伝達装置が必要・要介護5。
・移動中、長時間座位となり、対応できるようリハビリが必要。・入浴（温泉）前後の車衣についても事前に練習をしておくことも必要（浴衣が着たい）
痰のからみあり、吸引器使用、嚥下困難でゼリー食、ほぼねたきりであるがリクライニングで移動している。
食事形態を考慮、ムリなく食べられるものを、吸引器の必要性があれば持参
車イスにのるのは、

(訪問介護事業所)

病状の確認と本人のできることを確認
紋付き、袴は当日時間を制限して着てもらう
どの姿勢をどのくらいの時間継続していただけるか、排泄
長時間の移動、長時間の車椅子座位保持のため、リハビリが必要。
身体的負担を減らすよう車両の配慮をし、休息を多めにとり、まわりに気をつかって我慢をされないよう配慮する
歩行、どのくらい動けるか、呼吸、皮ふ（とこずれ？）
長時間車イスでも大丈夫なようにリハビリを行う（乗り降りも含めて）
入浴可能？ベッド上寝たきり？
座居を確保する限度時間はどの程度あるのか？入浴するには用具は何が必要か？身体機能の度合は？
移動はきびしいが、親族皆で見守りや介助する

入浴時の注意
1泊2日の長時間移動。長時間の車イスに対応できるよう、離床を多くしリハビリに務める。温泉に入りたい。
主治医の意思を参考に。
主治医と相談 病歴 服薬などの内容
意思伝達装置 e t c の移動の不可 o r 車椅子での移乗の確認
安全に外出外泊できるようになることが必要
・入浴による温度変化に対応できるよう家以外でのリハビリ・座位保持時間を少しづつ長くし、車イスに慣れる（外用ギャシアップ）
長時間の移動。長時間座位、移乗のリハビリ
マヒ、自ら動けない
長時間の移動に対してのリハビリ必要
温泉に入る事を目的にリハビリにはげむ事が出来る。
・筋力、体力維持にリハビリ検討
・痰吸引要・座位は1時間程度もできない
要介護5 意思伝達装置利用
車での移動で長時間の車イスでは、拘縮になりやすく、リハビリが必要
・移動・意思伝達・温泉に入る
熱い湯に耐えられるようになる
発語はできず、意志の伝達がむつかしく、毎日同じことをくりかえす方が安定している。片マヒと健側の足がつっぱった状態
入浴するための体力保持、移動訓練、座位保持訓練、呼吸器かんりが必要 医師指示必要
1泊2日の外泊に対応できる、体調を維持出来る様、リハビリを行う。医療機関でも相談する。
長時間の移動、1泊2日におよぶ外出に対応できるリハビリが必要。
週3回以上のリハビリを行う。
生活全般に介護が必要
移動 施設の設備 介助者
長い時間の移動と入浴による心身の負担。寝たきり状態での移動。
1泊2日の温泉旅行に耐えられる体力。
長時間の移動を考え介護タクシーを依頼（9人乗りなら家族全員乗れるかも）
・安定はしているが外気温室内温の変化に心配がある・入浴にも注意が必要
長時間の移動や、ホテルという環境の変化に対応できるようにする
長時間の移動と座位 耐れない環境での1泊
移動の時間姿勢の保持が可能で、体調も安定している。入浴も許可され、協力者があれば入浴できる。
圧迫骨折にて腰痛の訴え有り、歩行ができずに車イスを利用している。リウマチも有り、時々痛み訴え有り。ひざ関節が曲がらない。糖尿病。
温泉に入りたいために約5時間を超える、長時間の移動長時間車イスギャシアップに対してリハビリが必要
全身の筋マヒ発声機能障害
温泉が近ければ良いが移動が長いと本人介護者に負担がかかる
長時間の移動のため、車いす必要。旅行先での医療チームが協力
身体障がいがあるが食欲もあり健康。
・長時間の移動座居等不可・車イスでの浴場への移動 困難
全身の筋力状態 呼吸（吸引？） 意思伝達装置利用
長時間の移動に耐えられるかりハビリが必要
長座位は困難 車椅子（リクライニング式）にて移動全介助
・長時間の移動は車いすギャシアップに対応してほしい。・親戚にも会いたい。
意思伝達装置の利用レベルにおいて、ストレスを溜めないように注意
半身マヒ 言語不明
環境が変わることによる心身への影響と呼吸や食事の管理を事前に打ち合わせ主治医に相談する
電動車イスの為移動が困難
寝たきり 移動方法 介護力 着脱 入浴整容 食事 排泄
座位保持のためのリハビリを必要とする。
長時間の座位に必要な、リハビリによる機能訓練。
ねたきり
要介護であり、日々短時間ずつでも支援が必要
長時間の移動に耐えられるようリハビリに力を入れたい。
旅行に備え、体調を整える必要がある。・外泊時の注意点を確認入浴
・食事や排泄には介助が必要・移動はリクライニング型車イスを使用

温泉での入浴時、座位を保てるようリハビリが必要
定期的に、マッサージ、痰を取るなどギャッジUPして行うこと精神的な変化を見る
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害発声機能障害
全身の筋マヒ、呼吸、機能障害発声機能障害じょくそうの可能性・長時間座位にたえられるか・長時間移動にたえられるか
全身性の麻痺。発声機能障害。
長時間の移動に対応できるか
・コミュニケーション：自分で考え、回答できる。（回答方法等は意思伝達装置を使用）・ほぼ寝たきり、体位変換一部介助。
どんどん低下中のためくいとめたい
・必要機械（日常生活、医療関連）・長時間の移動、座位の確認・どんな服で外出したいか
高温の湯には長い間つかった事がなく、移動を考えると不安
温泉に入りたい。ALSで痰の吸引が必要移動など全介助が必要
長時間の座位保持に不可欠なギャッジアップに対応できるようリハビリが必要。一般客とは別の借し切り風呂のある温泉に行きたい。
要介護5
長時間の移動や長時間の車いすのため、少しでも座位をしかたむかないようにリハビリをしたい。
意思伝達装置を利用し可能
入浴に際して（ダメな場合）・家族風呂の確認・旅館関係者の協力依頼
移動では車イスが必要であり、リハビリが必要。
車に乗る時間が長いと思われるので座位保持のリハビリなど必要。
温泉に入り、昔好きだったビールを少し飲みたい車椅子専用の車で移動。
温泉施設が身障者対応のものかの確認。生活環境（温度）が体に及ぼす影響
心の安定。体の状態を再度かくにんする
・長時間の移動、大浴場での入浴ができるよう、リハビリが必要。・親戚がたくさん集まるので楽しみたい
1泊2日の移動に対する覚悟車イス又は車等での座位保持
長時間、車椅子での移動に対応できる様な日々の訓練温泉に入る為の訓練（男湯での介護可能者も一緒に）摂食、嚥下リハビリを受ける。
・呼吸の確保（気管切開等）・食事の確保（胃ろう等、経口可能な場合は介助にて）
入浴に介助が必要
・ALS（要介護5）・コミュニケーションは装置でOK・移動方法・補助具・病気のうけとめ
・長時間の移動長時間の車イス使用の為のリハビリ
旅行に向けて、座位保持、車イスに移乗するなど安心安全に行えるよう、リハビリを含め、検討車イス及び伝達装置の点検入浴方法についても検討胃ろうの処置については充分か。
車の乗降に手間どると考え、ケア車（車イス）対応の必要あり。
風呂への移動等、不自然にならぬよう注視する。長時間の変化に対応できないのですみやかに動く。
言語障害、嚥下障害、呼吸障害
自分のできることは自分でする事を練習し、旅行への希望、安心を備える。家族との旅行の相談など積極的に行ないモチベーションのアップ
1泊2日の旅行において体力が大丈夫か
（血圧等、日常的状況）（体調変化時の特徴）（及び対応の方法）
精神的に、どこに行くのか不安。長時間座るのは、ギャブあり
横になった状態での衣服の着脱と入浴となるストレッチャーと着替えの台を手配する
リハビリもさることながら、長時間の移動はこたえるので寝たまま移動出来る様な工夫も必要
・全身の可動域はどのくらい・呼吸や、心身機能障害の程度・自分の力でどこまでのことが可能であるか・意思伝達装置は移動可能であるか・体調面で心配される病状、病歴などはあるか？
全介助になるため、車イスやその他人工呼吸器を忘れず装着の上、なるべく短長間の移動となるようにする
長時間の移動に耐えるリハビリをする
全身の筋マヒにより苦痛なく温泉に入れるのか事前に調べる必要あり
1回の移動時間が5時間を越えるようだ、リハビリによる対応力をつける。
1泊ということで移動呼吸不安時緊急時の対応できるよう座位の確保
筋いしゆく れん縮
長時間の移動、対応できるようリハビリが必要。作業療法士の指導
長時間の移動に対応できるリハビリ、入浴動作のリハビリが必要
コミュニケーションは意思伝達装置を利用 ALS
長時間の移動が可能であるか
長時間の移動、車中での痰、バッテリーの確認
長時間の移動、長時間の車いすで体力を使う為リハビリが必要
長時間車イスで移動出来るようにリハビリする。家族で楽しく過ごしたい。

長時間の外出に対応できる
全身のマヒ、呼吸、発声等の障害の状態の把握
言語障害、嚥下障害があり、コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
心の並列化
全介助、フルリクライニング車椅子にて移動は可能
外気温度差に対応出来るよう外出前よりリハビリが必要 服装は排泄時の対応がスムーズに行くようなものを着用
・発声機能障害・意思伝達装置利用
長時間の移動にたえられるように、専用のベッド、ストレッチャーを用意する。
・長時間の移動による負担・食事の内容・入浴時の方法
温泉までの道のりにたえるリハビリ必要
全身の筋麻痺 発声機能障害
・普段のバイタル状態・服薬確認
・長時間の移動や座位の保持に慣れるようにする。・湯舟に入れるよう工夫
車での長時間の移動長時間の車イスギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
車での長時間の移動長時間の車イスギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
人工呼吸器の管理（O ₂ の整備）、ギャッチアップが出来る車椅子、ベットが必要となる。
全身の筋麻痺呼吸、心機能障害発声機能障害
長時間の移動、車イスに対応できるようにリハビリが必要。
・全身筋麻痺・経管栄養
旅行の移動時の対応ができるようにする。
心身ともにリフレッシュとなる
コミュニケーション伝達装置 ALS 要介護5
・2日間にわたる移動、長時間車椅子に乗ってたえられる対応できるようリハビリが必要
長時間の移動に対応できる。リハビリが必要。
・高血圧ある為、長風呂禁止。・筋萎縮ある為スムーズな移動、入浴、トイレetc出来るようにストレッチが必要。
・本人の訴えがしやすい機械の調整・宿泊する為の寝具の準備・多人数で長時間過ごす事で疲れる可能性があり、体調悪化が予想される。人と交流するリハビリをする必要あり。
要介護5 全身の筋麻痺 呼吸、心機能障害 発声機能障害
移動に対しての体力維持 入浴時の体調の変化
長時間の移動に対応できるよう、リハビリにも力を入れたい
・長時間の移動、長時間の車イスに対応できるように心の準備をしたい。
車椅子←ベット他介護用具が変わる為、起座位介助等変化に対応出来るリハビリが必要
移動時間等、長時間の座位が保てるようリハビリが必要
移動時間が心配な為休憩場所等を確認しておく。
温泉地までの移動に耐えられる様にリハビリを行う
長時間の移動、長時間の車いすギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要
移動時間は3Hを超えるため長時間にたえられる、体力が必要
長時間の移動、車イスの移動対策としてリハビリを行う
移動時間中に注意車いす又自動車の対応
座位の保持、移乗、着替え等、身体的な一連動作をとりにくむ
・長時間の移動、外泊に対応できるようリハビリが必要・1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい
ALS 意思伝達装置を利用
長時間の座位や車イスの使用に耐えられるか。
長時間の移動に耐える体力があるか？1泊できるか？温泉に入る体力はあるのか？
全身の筋麻痺 発声機能障害
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
要介護5
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
長時間移動、外泊などの訓練
全身の筋マヒ 音声機能障害
外出に負担がないか？行くまでの移動に負担がないか？
問題あり
・長時間の移動ができる体にしていく
長時間の移動方法、姿勢に対応できるか 更衣介助、歩行、場合によっては車椅子介助など長男でも可能か
・長時間の移動・温泉での入浴、介助方法・食事方法
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害

入浴時の姿勢保持
進行性の筋萎縮に伴う症状
・寝たきり・意思伝達装置必要
長時間の車いすに耐えられるようにトレーニング必要
車での移動での身体への負担
移動時間が長時間かかり負担がかなりかかると思われるのでリハビリ等が必要
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
長時間の移動に対応できる体力必要。温泉に入りたい
往復6時間車に乗っているため体力面が心配
外泊にたえられる体力をつける。外泊中のリスクはないか主治医に確認する
全身の筋麻痺 コミュニケーションは意思伝達装置
長時間の移動に対応出来る体力が必要なのでリハビリが必要
・1泊2日の旅行に長時間の移動についてできるか。リハビリが必要・健康状態の把握
意思伝達装置を利用寝たきり（要介護5）
・行き先は長時間車に乗らないような所、車イス対応の車、車イスはギャッジアップできるもの・温泉に入りたい
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・一泊二日の温泉旅行の移動や温泉に入る為のリハビリが必要
？
車での長時間移動は体への負担になる
全介助でも意思の伝達はできる。
・身体への負担の軽減
長時間の移動、座位保持について、リハビリ必要 温泉用のチェア準備も必要
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
全身の筋まひ 呼吸、心臓機能障害 意思伝達装置有
ベッドサイドに看護師or常時お世話しているヘルパーを付ける。休けい時バイタルチェック。
長時間の車の移動に耐えることができるか？
・食事形態・温泉での座位の確保・入浴時の着脱の介助、男性での介助が必要である（男女別のため）・のぼせ防止のため、休けい時間も必要である。
・長時間の移動及びキャッチアップに対応できる様に、リハビリを行う。
・移動時間が長い場合、適度な休憩を計画
介護車両での長時間に移動である為、人工呼吸器のチェックが必要。みんなと一緒に温泉に入りたい。
長時間車両に乗車の対応 体力の調整 ピーク時に合わせる
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
・全身の筋麻痺・呼吸、心臓機能障害・発生機能障害
体力可能な移動時間での温泉場、介護者である妻、体調も考える
長時間の外出が出来る体力は無く、医療関係の方の同席が必要
全身の筋力下 発声機能障害
長時間の外出や外泊環境の変化等に気をつけ体調管理
全身も筋麻痺 意志伝達装置
安楽な状態で行けるよう車イスギャッジアップ対応 リハビリも重要
長時間の移動に対応できる体力と心身機能の安定を図る
長時間の移動、車いす座位が継続できるよう、リハビリが必要
移動時間も長くなるので、車イスに座る時間が長くなる
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
全身の筋萎縮 発声機能障害
・移動、車椅子での同一姿勢に対するリハビリが必要・温泉入湯中のコミュニケーションサインを決めておく
移動や親戚との会食にむけ、座位でいられる時間を増やす為日頃から訓練する。
・出先までの移動機関（車など）が体に合ったものか（移動時間を快適に過ごせるか）・緊急時の対応はできるかどうか（連携など）
・移集、移動には介助と車椅子が必要である・意志疎通には伝達装置でコミュニケーションが図れる
車イスではなく座位が保てるようにリハビリが必要 着がえが出来るように意思の伝達装置を利用
移動にたえられる体力があるか？
要介護5
一泊旅行に参加出来るようリハビリが必要
・介助者が痰吸引できる様しっかりと学習・入浴介助ができる介助者が必要

四肢マヒ、去年まで会話スムーズにできていたのに、急に不可になり、ショックと先々の不安で夜間不眠（眠剤効果なし）
温泉に行くことが目的？本人の本当のぞむ目的を確認し、皆で理解する。その意考にそって支援する。
・旅先ということで、長時間の移動、長時間の移動、長時間の車イスでの座位に対応出来るよう、リハビリが必要。・旅館に泊まりたい。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害により装置利用
全身の筋麻痺 意思伝達が困難
長時間の移動、座位1つ対応つまるリハビリが必要
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
口腔リハビリ（痰を排出する為） 車内で足が踏ん張れるように上肢・下肢のリハビリが必要
長時間の移動、車イスギャジアップに対応できるようリハビリが必要。呼吸器の保護。痰がらみの吸引が必要。
拘縮、痛みあり長時間の移動は、本人に苦痛を与える
・温泉に入りたい・温泉までの移動にたえられるだけの体力が必要で体力をつけなければならない。
・長時間（なるべく短くとしても）の移動に耐えられるように・温泉に入りたい
・リクライニング車椅子が必要であり、移動の車もその車椅子で乗れるものが望ましい。・バッテリー等の準備が必要。
長時間の移動、心の不安
長時間の移動、車イスの使用に対応できるようリハビリが必要
呼吸が楽にすごせるよう準備したい
・定期的な病院受診と医師からの旅先での注意事項を理解して頂く。・温泉に入りたい。
長時間の移動に少しでもたえられるようにリハビリが必要
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動、車椅子での体力が必要、リハビリで体力をつける
移動時間を調整して、休憩を多くして、身体保全を確保する又、主なる介護者の指導等を受けながら、心の安定を計る。
全身の筋麻痺。呼吸、心臓機能障害。発声機能障害。
全身の筋麻痺。呼吸、心臓機能障害。発声機能障害。
高速を利用しても約3時間かかる為、専属の医師の指導を受け、出かける前の不安（心身）を軽減する。
関節が拘縮しないようにリハビリを行い、移動に対応できる能力をつける。
発声機能障害、全身の筋麻痺
全身の筋麻痺、心肺機能障害、発声障害
・長時間の移動に対応できるように必要物品の確認が必要・ギャジアップ等長時間行える様にリハビリが必要
・長時間移動によりリハビリが必要・尿の回数、多くのヘルパー、体位交換必要・血圧のチェック必要
宿泊先の設備や移動に対応できるよう食事量をふやす。
・お湯にはどのあたりまでつかれるのか・何分位入って良いのか
・ほぼベッド上ですごす・たんの吸引必要・座位可・コミュニケーション意志伝達
全身の筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、発声機能障害など
・発声機能障害は意思伝達装置を利用・長時間起きている事に対して体力が持つ心配。
意思伝達装置を利用
A L Sであり、長時間の移動が難しい。入浴（温泉）の際の緊急時の対応が困難
筋力低下
・全身の筋麻痺・発声機能障害
長時間の移動での環境の変化に対応できるように本人に十分な説明をし理解してもらう。
・車イス移動・浴場が段差があれば男性2人の介助が必要
・現在の状況、経緯は？・コミュニケーションは？
全身の筋麻痺
長時間の同じ姿勢と移動は無理があると思われるので休憩を入れる。その時どう休憩するか。
全身の筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、発声機能障害
内臓、循環器などいたって正常
血圧のコントロール。長時間の移動。
移動時間に無理がないよう、体力など維持できるよう毎日のリハビリの考慮。
意思伝達装置をよく理解出来る妻が体調を随時確認し、急変に備える。
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発声機能障害。
医師の伝達が出来るのであれば問題ない。
温泉までの移動が、心身共に安全に出来るよう、介護者家族の協力が必要。
移動の車は適切か？身体面に無理はないか？D rにも相談。
・A L S・要介護5
主治医の意見があると思われるので、問題はない。
身体的に2 H以上の車椅子は疲れケイレする。近くでゆっくり出来る所

長時間の車イスに対応できるよう、リハビリが必要。
・長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
長時間の移動姿勢に対応できるようリハビリが必要。入浴時人工呼吸器の入念な調整が必要
長時間の車いす移動に対応できるようにする。
呼吸心臓機能障害。発声機能障害
十分注意し、水分の補給。薬等も総て持って行く。行き先での医療と連携する。
・約5時間を超える長時間の移動、長時間のギャジアップに対応できるよう、リハビリ必要。・昇降機付きの椅子（シャワーチェア）で温泉に入ります。
・全身の筋麻痺。・呼吸、心臓機能障害、発声機能障害。・長時間の車中座位保持の為リハビリ必要。
現在、身体は手のみ自分で動かされる。食事もゆっくりご自分で食される。
体は全く動かず。
入浴中、夜中等体調の変化が見られる時、すぐに対応してくれる地元の医師や病院等の確保
旅行に耐える体力に不安。長時間の座位が無理なので近場の移動時間2時間以内
・車椅子が必要。宿泊所がバリアフリー
・長時間の移動のため、つかれない様にリハビリ・温泉に入りたい
生活で自立の部分
1泊2日という長時間の滞在。移動、リハビリ行い、入浴時の急変に対応できるようにしたい。
進行性の疾患だが、低下防止のリハビリは定期的に必要。訪問看護による療養環境の管理が必要。一泊旅行が出来る体力とマンパワーが必要。
長時間移動は体力的、身体的に可能か。ストレッチャー（車椅子）、食事の確保
長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要
・約3時間を超える長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるようにリハビリが必要。・浴衣を着たい。
・旅行に耐えうる体力、長時間の移動に対応するリハビリ
温泉に入れるだけの心身機能があるのだろうか
A L Sで要介護5の現身体状況が一泊2日の旅行に行ける体力を作る必要がある
入浴時のコミュニケーション不足になる可能性が高いので、入浴中の流れとしての希望を事前に着替えておく事が必要
・いざという時の対応を考えておく。（特に医療面）
関節拘縮があるため、リハビリを入念に行っていく。関節痛、腰痛を防ぐためのクッション等の工夫が必要。
入浴が可能かどうかの確認、訓練
車での外出時の
長距離移動をリクライニングの車いすにて行なう為、リクライニングでの座位保持の練習を行ない旅行に備えている。
温泉迄の移動時間に対応できるようリハビリ必要
視力障害と時折り認知症が見られる為、常に見守りが必要。
・移動時の座位・設備のない中での入浴・介ゴ用でないベッド等での活動・妻の気づかれ
できる範囲でのリハビリをする前向きに生活していく
長時間の移動は体がキツイ一人では入浴出来ない
長時間の移動や、車イスギャジアップに対応できる練習や、入浴時の対応
介護者の妻に負担をかけずに温泉地に行ける様リハビリが必要である。
全身の筋麻痺、呼吸・心臓機能障害、発声機能障害
温泉に安楽に入れる為に適切なリハビリ等福祉用具介助が必要
・移動時間が1時間30分程度であれば大きな疲労はない。・意思伝達装置の扱いに不慣れ。
・長時間の移動に耐えられるか。・疲労の度合・温泉入浴の身体への負担・回りとのコミュニケーションがスムーズにとれるか。
全身の筋麻痺、呼吸・新機能障害、移動、入浴に耐える体力が必要
長時間の移動に対応出来るリハビリが必要、訪問介ゴ、訪問看護による同伴の体制が必要
・長時間の移動、車イス座位保持できるリハビリ必要・温泉に入りたい
・約5時間を超える、長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要
1泊2日の行程を本人に勘えられる体力がある福祉用具の事前に念入りのチェックがリハビリが必要
温泉への移動、ベッド車椅子への移乗等の確認をし必要なアドバイスを受ける
長時間の移動に対応できるように体力維持
長時間の移動に耐え、入浴できる様に、体力リハビリが必要。料理も食べて見たい。
移動時間が長時間は大変だと思われる（行き先に）本人に確認
・2日間の環境変化に耐えられるのか？・急げきな状態の変化に対応できる病院は近くにあるのか。
長時間の移動、長時間の車イスギャジアップに対応できるリハビリ要
・旅行中のツカレはどうするか。・介護者の負担は。
体位の調整 入浴リスクに対する対策

・目的地の温泉まで、移動できる体力があるのか。・ALS以外の疾患はないか。
気温の変化、環境の変化、又ふだん関わらない人の中にも入ることにもなるので、精神的な対応も考慮
移動手段に適応出来るか？
全身の筋麻痺 呼吸、機能障害。コミュニケーション機能障害
・医師への現状確認（リスク） ・旅行先での緊急時対応→旅行先の対応Drの確認 ・旅館との連携
全身機能低下。長時間の移動
・全身筋力低下。・本人が苦痛ではない福祉車両で移動。
・身体の状態の把握をする。・対応できるような準備が必要
情報量が乏しく記入できません。
要介護5であり移動時間に耐えられる様、車イス利用も可能にしていく必要があり、リハビリも必要。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
・○時間の移動に耐えられるか ・あらかじめ主治医やケアマネージャーなどと計画を立て、何かあったらどうするかの対策を講じておく
旅行に耐えられる体力を確保する練習
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発声機能障害。
長時間の移動、車いすに対応できるようリハビリが必要。・入浴時の注意は特に必要（チェックも含めて）
少し認知が見られる オムツをつけている
長時間（2時間）の移動は、車椅子等に座位を保つ為のリハビリが必要。温泉に入りたい
・約5時間以上の、長時間の移動、長時間の車椅子ギャッジアップに対応できるように、リハビリが必要。
長時間移動に対応出来る様リハビリに努める。
長時間の移動。・温泉に入りたい。・温泉へ入る手段、下見が必要
旅行先までの移動や車椅子状態に勘え得る体力をつける必要がある。温泉浴に勘える体力。
・感染症に気をつける。・全身の筋麻痺 ・リハビリの継続
温泉への長時間移動
・長時間の移動。・入浴動作 ・食事
長時間の移動、長時間の車いすギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。・1泊するので寝がえりをうてるよう介助が必要
・長時間の移動と温泉に入れる、体力やリハビリが必要。
長時間の移動に対してリハビリが必要。食事摂取（特別食）が必要である。
移動時間・入浴時間等に対し体力強化、リハビリが必要
要介護5 コミュニケーション装置生活全般に介助必要
1泊2日の旅行に対応できるように体力をつけたいといけなないのでリハビリが必要。入浴の介助方法を検討する
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発生機能障害。
長時間の乗り物、移動、車椅子、ギャッジアップに対応出来る様リハビリが必要
自身では程んど体を動かすことはできない。他動リハを受けている。親戚に会いたい。思い出を作りたい。
車中で体の疲れをほぐすよう休憩時間を取り、体を動かす。
・車椅子で移動するようにしてなるべく負担を減らし、みんなと一緒に行動ができるようにしたい。
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発声機能障害。
長時間の移動、車いす、ギャッジアップに対応できるリハビリ必要 安心して入浴したい
入浴時の人工呼吸器の調整が必要。ベッド対応にして車椅子から移動する場合の状態を維持できるようにする。
リクライニング機能のある椅子で座位から横になることで車での移動を考えている。
長時間の移動に対応できるようにリハビリをおこなう。温泉に入りたい。
流動食であれば口から摂取は可能
身体機能 呼吸状態
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
温泉に入ることが楽しみにしている。全身の筋麻痺があり全介助が必要。
長時間の移動や車の乗り降り等に対応できるようにしたい
コミュニケーション良好
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
・1泊2日に対応できる体力保持の必要・温泉に入りたい
1泊2日なのでゆっくり休める時間も考慮したい。
寝たきり、意思伝達装置を利用。
在位保持がやや困難である。手指がスムーズに動かない。時々呼吸困難になる。
主治医からの事前のアドバイスや緊急時の対応方法を考える
途中休憩を取り、リハビリが必要かをチェックをする
・宿泊が伴うので、長時間の車イスに対応できるよう工夫が必要。・自然と接する感触を増やしたい。

長時間の移動に耐えられるよう、リハビリ。
人工呼吸
・長時間の移動が必要な為 長時間座位が保てるようリハビリが必要
長時間の移動、車椅子、ギャジアップに対応できるようリハビリが必要
長時間の移動に対するリハビリ
・2時間以上の移動では休憩とタンの吸引が必要
長時間の移動に耐えられるか？
移動時間に対する姿勢 保持の訓練リハビリ
車イスの使用は可？不要？ 人浴に耐えられる人工呼吸器かどうか？ 尊厳死に対する考え方はどうか？ 食事はどの程度食べられるのか、好き嫌い、形状は？
長時間の移動に耐えられる体力があるかどうか確認 入浴のための動作ができるか確認。
長時間の移動に対応できる様リハビリする 温泉に入れる様移動時の対応できる様にする
長時間の移動時にはネック着用（入浴中しかネックしないため）福祉用具の充実、検討
旅行の場所が遠い為車椅子の背もたれが角度を変えられるものを使用。リハビリで体力をつける。訪問リハ
長時間移動に対応できるようリハビリが必要
長時間の移動、長時間車イス ギャジアップにも対応出来る様にリハビリが必要
リハビリを行い長時間の移動に対しリハビリを行う
旅館の入浴施設での対応は可能か？その為に何を行っていくか
車での移動になるが長時間耐えられるか？必ず妻の同伴が必要。
胃ろう、オムツ使用、全介助、一日3回、経栄養介助。
座位保持不可
長時間座位保持可能になるように、リクライニング機能のある車を手配 体に負担のかからない様に、身心機能の向上リハビリをはかっていく
・言葉が話すことができない。 ・嚥下困難である。
長時間の移動に対応できる様リハビリが必要。旅行し（皆と）温泉に入りたい。
目的地までの移動は、どの様に対応するか、車の手配も重要。安全に行ける様充分な確認
・長時間の移動にたえられるようにリハビリが必要
長時間外出できる様体調の管理が必要 温泉のパンフレットを事前に用意し計画・準備をする
長時間の移動に対応出来るようリハビリが必要
久しぶりの外出になるので、体温調節等にも気をつける
入浴中呼吸状態が悪化しないよう、深呼吸練習を行う
呼吸、心臓機能障害
長時間の移動は本人にも負担が負えるので吸痰器を持ち込み、ストレッチャー対応 出来る範囲のリハビリ
約1時間を超える長時間の移動に対応できるようリハビリが必要 以前から好きだった温泉に入りたい
外部への対応（緊張、不安）に関し、親戚は回避させることができるか
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動に絶える為リハビリが必要
・長時間の移動は久々である ・温泉に入りたい
・携帯用酸素ボンベ装着 ・呼吸の安定を図る ・温泉に入り楽しみたい
酸素を24時間使い緩和ケアをしている
長時間の移動にたえられるリハビリが必要 お風呂に入りたい
長時間車椅子に座っていられるよう、ギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要である
・長時間の座位はとれない ・座位のリハビリ
常に見守りが必要で、皆に心配かけるが温泉に入りたい
長時間の外出は久しぶり
・麻痺はあるのか？（あるならどの程度か？） ・痛みはあるのか？ ・性格はどうなのか？
・親戚の人たちともコミュニケーションをはかりたい。
発声機能障害はわかったがその原因となった疾病が頭部か、それ以外かにより、対応が異なる。
入浴に関する事 普段はどうしているか 温泉での支援体制は？
・移動時間たえるだけの体力を必要とする ・親戚一同と皆で会話したい
全身の筋麻痺、発声機能障害はあるが、長時間の移動により車いすに対応できる様、リハビリが必要
全身の筋マヒ。座位保持も負担あるため、座イスの細かな角度調整。
A DL、服薬状況、福祉用具利用有無 コミュニケーション能力、問題点
全身の筋麻痺、発声機能障害、長時間起立困難
・長時間の移動は本人に負担 近場の温泉で検討必要。また、長時間の車イスに対応できるようにリハビリ必要
・移動時の安全の為のリハビリ・入浴の祭の爽快感

・移動にストレッチャー様の車イスでの対応が必要・呼吸器（外出用）が必要・入浴に家族以外の介助者必要
A L S、要介護5のため、緊急時の対応
全身の筋麻痺 呼吸 心臓機能障害 発達機能障害
長時間の移動、長時間の車いすギャッジアップに対応できるようリハビリが必要。温泉に入りたい。
長時間の移動姿勢に耐えられるか確認する
移動に要する時間や姿勢について相談し、リハビリや補助用具を準備する。
・移動の座位の保持 ・入浴に対しての動作方法、手順の矛盾。
・長時間の移動に対応できるようリハビリが必要 ・入浴できるよう、体力の向上が必要
1泊2日の温泉旅行なので、長時間の移動、長時間の車イスギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。浴衣を着たい。
長時間の移動。ギャッジupに耐えられるようリハビリを行う。温泉につかりたい。
長時間の移動。環境の変化による健康状態の変化を把握しておく
温泉に入る際、介護力の高い方が同行し、本人の負担が最小限にとどまるようにする
長時間の座位、移動が出来る様に、リハビリ、訓練が必要
約5時間を超える長時間の移動 長時間の車いすギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。紋付き袴を着たい。
病気はあるが、皆となんとか行動を共にしたい。以前行った旅先をもう一度たずねたい。一生の思い出にしたい。子供達と共に旅をしたい。孫の喜ぶ顔が見たい。
長時間の移動に耐える体力があるか
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能と障害 発声機能障害
・温泉に入りたい ・移動時間が長い
車での長時間の移動 車椅子での座位が保てるようリハビリが必要
車内の狭い中での姿勢保持のリハビリをしていく
体調安定 長時間の移動、一泊するに対応できる。
長時間の移動や長時間の車イスに対応できるよう、体力維持のためリハビリが必要。
意思伝達装置を利用しコミュニケーションを図る
リハビリ 安全に入浴できるか
A D L？
要介護5のため、ほぼ全介助が必要。意思是、伝達装置によりわかる。
長時間の旅は負担が多いが車いすの確保とそれに耐久できる体力をつくる
状態の確認と医療系の支援者の確認をとりつける
・車椅子で対応できる時間の把握・途中具合が悪くなった時の対応は大丈夫か
意思伝達装置を利用
要介護度5 寝たきり状態
エアマットのベット？車いすの程度ギャッジアップ？コルセット装着？呼吸器？→リハビリが必要。離床…外出着ゆかた？
・体調の状態。困難になっている事はあるのか
全身の筋麻痺
長時間の移動になるため、リハビリをしたり事前に近場に車で移動してみる。
日常生活動作の状況 できる事、できない事。
・全身の筋肉麻痺。・重度障害者用の意志伝達装置が必要。
久しぶりに親戚の方々とコミュニケーションを取りたい。その為日頃から誰とでもコミュニケーションを取る様に心掛ける。
長時間の移動、長時間の車イスギャッジアップに対応できるようリハビリ必要。意思伝達装置でコミュニケーションがとりた
い
・長時間の移動ができる体力がつくようリハビリをする。ホテルの入浴の仕方にあわせた入浴をためしてみる
座位による長時間呼吸器利用によるバイタルチェック。パジャマでなく服による体調変化等伝達装置にて確認
・5時間以上を超える移動なので車いすギャッジアップに対応できるようリハビリが必要である。
・長時間の移動、ギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要
車イス座位時間延長のためのリハビリが必要である
長時の移動に対応出来るリハビリ
移動に2時間程かかる。（車で）もう少し体力をつけないといけない。遠慮する方なので、みんなで行けることの楽しみを伝え前向きに考えてもらうようにする。
温泉までの移動に対応できるようリハビリが必要
・長時間移動・入浴時の介助
・3～4時間はかかる移動時間に耐えられるようにリハビリ訓練が必要と思われる。
温泉地への移動時間車椅子での対応ができるようリハビリが必要
68才の父 A L S 要介護度5
意思伝達装置の利用 全身筋肉麻痺 発声機能障害

うつ病 腰痛
・長時間車イスに耐える訓練が必要・意思伝達装置のチェック・温泉の温度に気をつける
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
日常は車いす使用。「ゆっくり温泉につかりたい。」
全身の筋麻痺
四肢麻痺。えん下障害、PEG。呼吸障害（人工呼吸器）
長時間の座位に対応できるのか
・長時間の座位は困難。・車での移動は日頃リクライニングチェアを30度程上げて行う。
車の移動にたえられる体力が必要→リハビリの強化
下半身マヒ、構音障害、えんげ障害、呼吸機能
要介護度5、発声機能障害
移動が安楽に出来る様、車イスをリクライニング機、又人工呼吸器を乗せる様にする。
長い時間の車の移動に対応ができるようにリハビリが必要。入浴時、身体的な異常ないか看護師さんから注意する点等を聞く。
・コミュニケーションは意志伝達装置を利用 ・寝たきり状態にあると思われる
・坐位保持、移動、移乗のリハビリ ・温泉に入りたい
自宅で過す事が多い。長時間の外出はあまり経験していない。
1泊2日の旅行に行かれるので長時間座位が必要
オムツをしている事が気になっている。座位が長いと息苦しくなる。
訪問診療や訪問看護を受けて安心した生活が送れる。全身障害（筋力、呼吸、声）
長時間の移動は負担大。リハビリの必要性
・全身マヒ ・発声機能障害
・旅行に行けるよう体調管理を行う。・座位が保てる必要がある
温泉の場所にもよるが、長時間の移動や車イスのギャジアップに対応できるようにリハビリが必要。親戚との交流に意思伝達装置が必要。
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発生機能障害
長時間の移動が心配である。座位のリハビリ、短時間の外出訓練。
長時間の移動だけに車イスは欠かせない。身体機能のアップを期すため、リアが必要。
温泉までの長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要。
・温泉に入りたい。・全身的に拘縮あり、長時間の移動に耐えられるようにリハビリを行う。
発症時より落ち着かれている。
意志伝達装置を利用。パーキーンソン
温泉の風呂に入る為には介助が2人必要。本人は入りたい希望がある。
意思伝達の障害、全身の筋麻痺、呼吸・心臓機能障害
・長時間の移動や車イスギャジアップに対応できるようリハビリが必要。・温泉に不安のない状態で入ることができるようにする。
車イスを使用しての移動2時間程度の外出はできる。
全体の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
・移動するために車イス移乗するためのリハビリが必要。
・発語機能障害 ・長時間移動対応 ・入浴時の負担軽減
希望を受け入れてもらえるように、意思伝達装置で確認が必要。
身体面で、どのくらいの能力があるのか？（座位、可能？食べられる？等）
2～3時間で足がしびれるのでギャチアップして安楽な姿勢がとれる首の固定が必要。車椅子用のテーブルがあれば安心
・車イスで入れる部屋。移乗ができる広さが必要。・ベッドの確認が必要。
危険ではあるが移動手段（たとえば車輦）の対応は利用者に合せた完全な介護車輦完備車、機能、構造の50%以下では中止
・移乗移動能力と対応策を確認。・排泄、食事、入浴動作や環境確認。
約2～3時間の車での移動に対応できるよう、座位訓練などが必要
心配症であり、弱視 被害妄想、認知症
長時間の移動により、体位交換や関節の可動の等が必要
長時間の座位保持が出来るリハビリが必要。入浴したい。旅行したい。
長時間の移動。車イス、シャワーキャリーの使用に対応できるよう準備。
・入浴時の介助、装置の必要性と内容を把握。・宿泊場所のベッド利用時、ギャジアップなどできるか。
・長時間の移動、座位が可能になるようリハビリをする
長時間の移動、座位保持に対応できるようにリハビリを行う 温泉に入りたい
・移動中のコミュニケーションに文字盤が必要 ・サクシオンも、電源のいらぬ足踏み式サクシオンが必要 ・入浴に必要な用具や人手が必要
急にはなく、除々に動けるようリハビリを心掛ける。

長時間の移動や環境の変化に対してPTと相談しながら必要なリハビリを検討する。
装置を活用することで、意志確認ができる。
・歩行、自力で身体を動かす事が困難 ・発声機能障害
発声機能障害有。移動に対応できる様リハビリが必要。
長湯をすると疲れてくるので短時間で。
1泊2日の旅行で長時間の移動、車イスでの移動にたえられるか
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害（痰の吸引が必要）
・移動した後の入浴となる為、体力を充分につけていきたい。 ・温泉での美味しい食事を楽しむ為の嚥下機能の維持。
酸素（ケイタイ）を持参となり疲れるのでリクライニング可能車イス使用、痰吸引器にて排痰する。
長時間、同じ姿勢を保つことができるか、訓練必要
・長時間の移動に対応できるよう、リクライニング式車イスに離床するリハビリが必要。 ・温泉に入って浴衣も着たい、宴会やカラオケもしたい。
疲労感を最小限に抑えるため移動時間が少ない方法を検討する。
・長時間移動中のバイタルチェックが必要。 ・痰の吸引や呼吸状態、痛みの訴えの有無確認。
・長時間の移動 ・温泉に入りたい
リクライニングの車イスを使用し、できるだけ無理のない体制で移動したい。親戚一同なので介助者は多数いる。
・移動時間がどの位かかるか。 ・温泉に入っているときの介助が必要。
車いすや車での移動に対応できるよう、リハビリが必要。
・座位保持は出来る。 ・意志疎通は道具も使用してできる。 ・四肢はほとんど動かない。
長時間の移動に対応できるよう、また、入浴で湯当りしないよう類似体験する機会を作る必要
・ギャッジUP車椅子の利用状況 ・痰の状況
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動に対応できるリハビリが必要。温泉に入る際の安全面、家族の介護力も必要。
・意思伝達装置にてコミュニケーション図る。 ・移動、宿泊に対応できるようリハビリ、体力等必要。
移動に車・公的機関を使用するので練習が必要。また緊急の為のHPを把握しておくことも必要である。
突然悪化することはないが緊急連絡先、薬など万全を期す必要がある。長時間耐えられるか。
リクライニング車椅子を活用して自宅が日中過ごすときも起きている時間を増やしていく。安楽な姿勢を再度確認していく。
移動時は座位も可能であるか、可能ならばその時間は
長時間の移動や座位に耐えられるようにリハビリが必要。コミュニケーションは装置を利用している。
呼吸機能、心臓機能の低下、長い距離の移動は車イスが必要。
・筋力低下。間接可動域の制限あり。 ・話してのコミュニケーションは不可能。
一泊2日の外泊できる体力 コミュニケーション装置の利用 温泉に入る体調への影響
安楽に座れるよう、ポジショニング確認 車の振動があり加湿器が使用できないのでこまめに水分補給の必要があるので目的地まで障害者トイレがあるか調べる
約3時間ぐらいかかるので座位が保てるようリハビリを必要とする。温泉には入りたい。
緊急体制の確保 20分程度の継続乗車が必要
リハビリ・オムツをしているか
長時間の移動に対応出来る体力や、リハビリが必要で身体に負担の少ない車イスの選定の必要あり
・長時間の移動、座位に、対応できる様、リハビリ要・温泉に安全に、かつ少しの介助で入られる様な工夫が必要
・嚥下障害、運動障害、呼吸障害があり、リハビリが必要である。
精神状態 褥瘡の状態 腰痛があるか
2H以上の移動、2日間在宅でなく過ごす。リクライニングの車いすで過ごすためのリハビリが必要となる。
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
ADL状態 現在の健康状態
・筋力低下の為、全介助。 ・車イス利用の為のリハビリが必要。
・四肢麻痺あるが、リクライニングへの移乗などの座位の練習が必要。 ・短時間でも温泉に入りたい。
長時間の移動、座位は保てるが頭を上げたままの状態は長く、保てない。数分おき休憩が必要。だ液の流延もある。左手で身体を支えるように座位している。
全身の筋麻痺があるため、旅行、温泉に入る等移動に対応出来るようにリハビリが必要。発声機能障害があるため意思伝達装置活用のリハビリが必要
・長時間の移動長時間の車いすギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
リクライニングできる車いすや、日中でもベッドにトランスして休める環境が必要。
長時間の座位に対応できるようにリハビリが必要 親族での輪を楽しみにしている
・長時間の座位ができるようにリハビリを行う
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害 コミュニケーション→意思伝達装置。
温泉に気持ちよく入りたい。

・浴そうに座位で入れる様はリハビリしていく。
・長時間の移動に耐えることができるか・入浴によって急変はないのか。
A L S の為移動や身の回りの事すべて介護者の支援が必要
・温泉まで行く移動の際車いすに長時間座ってられるように、リハビリが必要。・発声機能障害・温泉に入りたい
長時間の移動が行える車イスの選定が必要であり、車酔いに注意が必要である。入浴後、痰の吸引が必要である。
意思伝達は装置を使うということで、誰でも理解できるように
車イスでの移動になる。乗り物に車イス対応のものがようになる。
長時間の移動、座位に耐えられるよう、リハビリが必要。
旅行先までの移動時間に対するためにW/C利用しリハビリをする。
全身の筋マヒ 呼吸、心臓機能障害、発生機能障害
A D L がかなり低下しているとみられる為、常に見守りが必要とされる。異常が見られた時の対処方を明確にしておく。
長時間の移動、長時間の車椅子に対応出来るようリハビリが必要
長時間の移動、座位を保つ為にリハビリが必要
・寝たきり状態 ・全身の筋麻痺
全身麻痺
移動、長時間のギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
外泊に必要な物品の確認を行い、移動や入浴に対応出来るよう、事前に練習を行う。
長時間の移動への対応（体力、車両の機能等）
座位での車移動にどれくらい保たれるか事前に確認
・2時間の移動を車イス対応の自家用車で行う為、長時間座位を保てる為のリハビリが必要。
1泊2日旅行で旅行を過ごす為の体力を維持出来るようリハビリが必要。
①体力なく、常に身守り必要である。②病状にて痰が多い。③言葉が出ない。移動時の車いす使用。④意志伝達装置利用。
外に出たいと意欲的である。車椅子であれば座位可能。
全身の筋力麻痺・発声機能障害食事制限咀嚼不良。長時間の移動に、水分補給の為のゼリー等必要となる。
長時間の移動ができるよう日頃から、リハビリを行う必要がある。
・長時間の移動、車椅子の体位が不安なので、それに対応できるよう、リハビリが必要。
二日間にかけての移動になる為車いすに長時間座れる様リハビリをする。
・温泉地迄の長時間の車イス利用での移動の為、リハビリが必要。家族と一緒に温泉に入りたいという願望あり
車、及び電車での移動になるので座位を保つための訓練が必要。
・移動距離にみあう体力は？
車中での安定した座位がとれるようにする。
長時間の移動、車いすギャジアップに対応できるように、訓練が必要。温泉で入浴したい
・長時間の移動・車イスのギャッチアップに対応できる様リハビリが必要
身心への負担にならないよう、再度検討。
長時間、車、及び電車に乗る事が出来ない。
自分の意志は、伝える事ができる。自分で体を動かす事ができないため全介助
座位が長時間たもてない
全身の筋麻痺。発声機能障害。温泉に入ることの注意
意志伝達装置装着
・むせ込みがあり誤嚥性肺炎に注意・座位1時間で右側に傾くことあり、ベットでの臥床が必要
長時間の移動、長時間の車イスに対応できるようにリハビリが必要
要介護度5の寝たきり意志伝達装置が必要
手足の筋力も弱っている為、温泉での介助に注意する。
・旅行日までの体調管理が必要である。・緊急時の対応の手順が必要。
昼は、自立呼吸で、夜間だけ鼻マスク式人工呼吸器を利用している。
長時間の移動が大丈夫か。長時間の車椅子は大丈夫か。リハビリが必要ではないか。
身体的には寝たきりたんの吸引が必要
意思伝達装置
2h以上の座位保持のためのリハとリクライニングの車イスの調整
長時間の車椅子移動に備え、リハビリ訓練が必要。
・長時間の外出で疲労が出ないか？
長時間の移動・車イスに対応できるよう、リハビリが必要。・温泉と入りたい
全身的機能、心因性等の要素、腰痛、などに対応が必要。
・緊急時の対応が安心のもと。
全身の筋麻痺呼吸・心臓機能障害発声機能障害あり。
車イス等の移動、又は移動時間により本人の体力がもつか。

長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
大浴槽のある通所サービスでの入浴方法の検討。リハビリテーション ・移動中の体位の確保ができるようにする・確実な痰の吸引を行う。
親戚一同の移動の中で安楽な姿勢や体位が保てるか、どうか筋力低下途中で苦しくなった時に家族やその他の医療で支えてもらえるか。 ・片道4時間の車の旅となるので長時間の座位に対応できるよう訓練する
長い距離、長い時間の移動を座位を保っていくには、座位保持訓練必要だが、床ずれができやすい ・移動時間、姿勢、移乗に耐えるか。
全身筋マヒがあり、介助により福祉用具を用いて、移乗、移動をする。
旅行中の長時間の移動、長時間の車イスでの座位は不担当大きい。横になり休める場所、車イスギャッジアップも必要。 ・同じ姿勢を長時間続けることが多くなる為、体力をつける。リハビリも必要。・おしゃれをして、いきたい。
・一人で温泉に入る事が出来ない。・安楽な姿勢を取れるようなベッドがない(布団、車椅子) 皆に助けてもらいながら出かけたいという気持ちになる。楽しみを持つ。
・温泉までの移動に耐えられるか、安全で安楽な移送方法をケアマネ、家族と共に考える。(リハビリが必要なら、リハビリを行う。)
・長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害、発声機能障害 ・長時間の座位に対応できるようにリハビリ
宿泊施設の環境 長男が入浴介助ができるか 排泄方法、タンの吸引は 呼吸機、痰吸引等必要なもの多い
A L Sの状態 ・長時間の移動、車イスに対応できるリハビリが必要。・装置なしでコミュニケーションがとれる方法を会得。・温泉に入りたい。
長時間の移動等に対応出来るようリハビリを行う。 ・長時間の移動で、座位保持が大丈夫か?・せっかく出掛けるのだから、少しはおしゃれをして出掛けたい
発生機能障害 身体機能障害 コミュニケーション不足
A L Sのため全身筋力低下、心肺機能、音声発生障害
移動を含め、車椅子のギャッチアップに対応できるように、事前準備が必要である。
体力的に疲れやすいので、体力を少しずつ、つける。温泉に入りたい。 体力をつける(移動 外泊)
車椅子援助、食事形態について
温泉宿舎での入浴にあたり、体調管理、充分に行い慎重に判断して行う。 ・長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要。・風邪をひかないように予防に努める。
長時間の車椅子座位に不安あり。車での移動に慣れていない ギャッジアップ車イスにて移動訓練は必要であるが寝台車も考えている。
・長時間の車の移動に対応できるようにリハビリをする。
長時間、同じ体勢でも大丈夫な様、日頃の栄養管理 ・長時間となる移動の方法。・慣れない寝具で十分な睡眠がとれるか
1泊2日の温泉へ行くのに長時間の移動、ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
長時間の移動、長時間の車イス、ギャッジアップに対する対応リハビリが必要
長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要。
奥さん以外の人の介護に慣れる
声かけ 身守り要
温泉で入れるのか、入る設備があるのかを確認する
久しぶりに外出着をきたい。長時間の移動のためリハが必要 ・車の移動に耐える。・言語障害は意志伝達装置で克服。・嚥下能力は未だある
意思伝達装置にて、意思表示。心身の状況を伝える。 ・長時間の移動。・長時間の車イスギャッジアップに対応できるようリハビリ必要
・全身の筋麻痺。・呼吸、心臓機能障害。・発声機能障害
長時間の移動や、車イスでの座位たもてるリハビリの必要
入浴は可?
全身のマヒ 発声機能障害
長時間の移動、長時間の座位 対応できる為のリハビリ
寝たきりの硬直化するためのリハビリ。妄想も多くなる。頭がクリアな分精神的ケア必要性
全身の麻痺 呼吸、心肺機能障害 発声機能障害
日々の体調管理を行い、長時間の座位を考え、リハビリをしておく必要がある。

温泉に入りたい。長時間の移動になるので体力をつけておきたい。
・残存機能両下肢の筋力低下みられてきた・全身痛の訴えあり・教師だった為教え子がよく来て下さる・神経質になっている
役5時間を超える、長時間の移動 長時間の車いすギャッチアップに対応できるよう、リハビリが必要
長時間座位に不安ある。リハビリが必要。
・長時間の移動、長時間の車イスギャッチアップに対応できるリハビリが必要
長時間の移動に対応出来る体力、リハビリが必要。
長時間の移動時間、外泊が可能になる様リハビリが必要。皆と温泉に入りたい。
長時間の移動には体力があるのでリハビリが必要。温泉に肩まで入りたい。
温泉に入れるよう、座位保持バランスが保てるリハビリが必要 温泉宿で食事摂取ができるよう、口腔機能向上より味が必要。おいしい物が食べたい。
・山道に慣れる。長時間移動の車椅子ギャッチアップ座位のリハビリが必要。
長時間の移動と車イスギャッチアップに対応できるようリハビリが必要 温泉旅行に参加したい
A L S 意思伝達装置を利用
・2～3時間、車イスでの移動・ギャッチアップに対応できるようリハビリが必要。・外出着も着たい。
長時間の移動、車イスのギャッチアップに対応できるよう、リハビリが必要。温泉入浴可能か、医師の許可が必要か。
・適した入浴時間の確認。・移動の不安。(浴場・温泉地)・露天風呂にも入りたい。
車移動のため、横になる事が出来ない。リハビリとして、日中、なるべく、座位を保てるようにする。
意思伝達装置は外出先でも使用できるか？移動は可能か？
長時間の移動を安するためリクライニングの車椅子を要する
一泊2日遠出はさけて近場で伝の心持参するか。温泉に入れる手順は(入手など)心配ないか。妻にもゆっくりとしてあげたい 主治医に前もって診てもらいアドバイスを受けておく
呼吸機能低下のため人工呼吸器装着している。・四肢はゆっくりなら動かせるが、自力で支えるのは困難
・長時間の移動に耐えられるリハビリ訓練が必要・普段の入浴状態と温泉との違いを明らかにし、入浴したいという希望を満たせる様にする。
・温泉施設内での移動、施設までの移動がある為。
長時間の移動と車いすの疲労はどうか。気持ちよく温泉に入れる喜び。
長時間の移動に対応できるようにする。車イス、ギャッチアップに対応。
長時間の移動、長時間の車椅子に対応できるリハビリが必要。
・A L S・要介護5により日常的な介護が必要。
全身の筋マヒ、発声機能障害
機能回復訓練
温泉に入るため、バイタルチェックの必要性。緊急時の対応と医療機関と連携
・リハビリ・体力をつける・疲労を防ぐ
温泉に入れるか。安定したバイタルを保てるように日々を過ごす。
介助を受け、温泉に入りたい。移動時の吸引、食事(経管栄養)
・ほぼ寝たきり状態・発声の方は装置利用
・移動時間の際、車イスギャッチアップに対応できるよう、リハビリが必要。
A L S + 要介護5 = ほぼ寝たきり、意思伝達装置でのコミュニケーション可(発生機能障害?)
・生活全般に介助が必要・痰の吸引や意志に伝達装置が必要・座位にはギャッチアップが必要
・長時間(移動も含め)の車椅子に対応できるよう、日頃の離床が必要。
全身の筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、発声機能障害
移動時間や乗り物など大丈夫か？
・医師に相談したら大丈夫でしょうとのこと・孫と一緒に温泉に入りたい
長時間の移動、車椅子ギャッチアップに対応出来るようリハビリする
意思伝達装置にてコミュニケーション
ギャッチアップ付きの車椅子にし、長時間耐えられるよう、リハビリを頑張る。お風呂にどうにかして入りたい
宿泊を伴う旅行に耐える体力の確認。本人は久々に温泉に入りたいという気持ち
A L S, 麻痺
コミュニケーション障害、全身の筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、発生機能障害、食事摂取障害
・意欲低下・腰痛・活力低下・下肢痺れ冷感・筋力低下(※一日中横になっている)
片道約2時間の移動、車イス対応にて、リハビリを行う。
かなりの低下がみられるがしっかりした意志がみられる
・吸引必要・移動が負担・急変の可能性あり
約5時間の長距離移動で長時間の車いすでの座位保持が可能かどうかリハビリにて検討しリクライニングでの移動も考慮していく
・旅行場所により、長時間の移動がある為安静できる移動方法の確保

首から下、全身にマヒ、褥瘡あり
温泉までの移動はリクライニング車椅子にて対応すれば可能
定時にておしりをあげる 横になることが必要
長時間の移動、長時間の車いすの対応
人口呼吸器 意思伝達装置 リクライニング車イス 長時間使用にはリハビリ必要
全身の筋麻痺 発生機能障害 呼吸、心臓機能低下
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 意思伝達装置を利用してコミュニケーションをとる
・長時間の移動、車いすギャッジアップに対応できるようリハビリ必要 ・ゆかたを着たい
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
耐えられる程度の近場で実施
同行してくれるスタッフはどうするか
・長時間の車いす、ギャッデUpに対応できるよう、リハビリが必要。・温泉に入りたい。
長時間、移動をどの程度たえられるか、車内での対応はどうするか
介5 意志伝達装置
・長時間の移動、車いす・ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
元来明るい性格。家族の会話やTVを見て笑うことあり。
・約2時間の車イスでの対応可能な利用者での移動に対応出来るようにリハビリが必要・温泉に入りたい。
・長時間の移動が出来る様に座位保持の時間を増やすリハビリ必要
長時間の外出、離床に対応できる体力維持が必要
車いすのギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。入浴できる状態か医師の確認。緊急時の対応。
・リクライニング車いすで座位可・コミュニケーションは意思伝達装置で可
ASLで寝きたり状態、食事・排泄・入浴他全介助、妻の介助他
・長時間の移動、宿泊・温泉に入りたい。親戚の介助が必要。
排尿、排便の介助方法。温泉地で、夜寝る時タタミに布団を敷いた状態で、本人の必要な最優先課題を考える。
親族との顔合せによる興奮。疲労を考え時間を短く区切る。入浴も食事前がいいか後がいいか計画を立てる。
長時間の移動と座位に対応できるようリハビリが必要。名所見物もしたい。
長時間の移動に対応できるようリハビリする。
・寝たままか、車いす対応か移動方法・長時間移動に際し体力維持できるか
・旅行先の温泉施設で入浴の対応が出来るかを準備する。
全身の筋麻痺。発声機能障害・呼吸、心機能障害
宿泊施設までの移動時に身体の負担を考えた介護用具を使う。温泉中も車椅子で移動が出来るのか。プライバシーを確保する(更衣)
高血圧の薬を服用。下肢筋力の低下防止。
要介護度5 コミュニケーション意思伝達装置利用
長時間の対応出来るように、移動、移乗のリハビリが必要
長時間の移動に対応できるかどうか。
移動の確保、長時間の座位保持を可能にできるように、浴槽につかることができるように訓練を行う
・入浴・移動などの回数が増え、本人負担も増えるためリハビリが必要
・全身の筋委縮麻痺・発声機能障害(意思伝達装置利用)
目的地までの所用時間が長い場合休息場所の確保、温泉に入りたい
症状が環境の違いで悪化する恐れがある
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
痴呆の有無 障害の有無
ほとんど寝たきりの状態であり、常時介護が必要です。思うように意思の訴えが出来ないこともある。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
全身の筋麻痺 発声機能障害 呼吸機能障害 消化器機能障害
全身の筋マヒ 意思伝達装置
長時間の移動は全てストレッチャーで行う
約5時間を超える、長時間の車いすギャッジアップに対応できるようにリハビリが必要 紋付き袴を着たい。
手指の屈曲や、肘、膝関節の伸展等、訪問リハビリにて、拘縮予防している。
・入浴時の姿勢や移動時間に耐えられる体作り
認知症、盲想等
意思伝達装置使用
時間移動に対応できるように、リハビリ行う。温泉に入りたい。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
・移動時の車いすでの安楽な姿勢 ・温泉に入る手段と方法

長時間の移動は困難
悪化したときの為に最寄りの病院を確認しておくこと
計画してくれた家族の気持ちが嬉しく、気持ち良く行ってきたいと思うが、体力が持つか不安がある。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動。車イス、ギャジアップに対応できる様子リハビリ必要
車イスでの移動、座位に対応出来るよりリハビリを行う
長時間の移動になるので訪問看護及びもよりの医療機関との連携も必要
筋力低下が進んでいる
全身筋肉萎縮、マヒ、呼吸心肺機能障害、発声機能障害。24時間観察を要す。
長時間の移動になるので訪問看護及びもよりの医療機関との連携
全身の筋マヒ、呼吸・心臓機能障害、発声機能障害
・ALS、体の動き・親戚との交流を楽しみ・移動時、他環境への適応
全身筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、発声機能障害
筋力低下がすすむのでリハビリがんばりながら温泉に入りたい
旅行当日までの健康管理と精神的な不安を取り除く
長距離移動に対応できる体力が必要
長時間の移動長時間の車椅子ギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
・長時間移動・意思伝達装置利用
移動時の体調管理。長時間の乗り物。環境の変化に対応出来るよう整える
長時間の移動に耐えることができる体作りが必要である。
・長時間の移動・長時間の座位に対応できる様子リハビリが必要・温泉入浴時等の移動
体力が必要。自宅での様子と出先での急変時の対応の仕方、道具の準備
会話ができない 身体が動かない
長時間の移動に絶えられる適度なリハビリ、途中寝位をとれる車を手配
意思伝達装置を利用して、ある程度のコミュニケーションは可能。
食事時間、移動時間も長時間になる為、対応できるよう座位で食事をする。温泉に入りたい。
・温泉に入れるかどうか、医師や訪看への確認。・体調管理
・ホテルまでの移動と一泊するため、体力をつけたい・温泉に入れるか心配(体力、)
全身機能低下 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
翌日に疲れが残らない程度にリハビリをする
・頭を支えることが少しでも長くできるようにリハビリが必要
気分転換・外出の楽しさを与える事でゆとりのあるそしてリズムのある生活が送れる。
発声機能障害 3時間くらいは座位がとれる
車や乗り物での移動時間はどのくらいか調べる
残存能力、潜在能力を活かした運動を促す リハビリが必要
長時間の移動のため車イスでの長時間ギャジアップに対応できるようにリハビリが必要
筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 人工呼吸器使用 発声機能障害
・筋肉の拘縮を抑えるためのリハビリを行う。・車いすなど身体にあったものを導入する。
長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要。途中、適宜、吸引等必要となる。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓の障害 発声機能障害 移動時間。
温泉に入る為の体力づくり リハビリが必要
旅行による移動距離の検討
久しぶりの温泉旅行に元気でいきたい。栄養と睡眠を摂り健康維持。
・普段は、ベッド臥床が多い為、1時間半を要す移動、または、旅館内での生活に対応できる様子リハビリが必要。・筋力低下、萎縮により、立つ事は困難であり、車椅子使用。
・移動時間・温泉滞在中の体力をつける。・妻が温泉に入れるよう介助者が必要
入浴の介助量
ALSで要介護度5 意思伝達装置でコミュニケーション 年齢68才であり、残存
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
約6H位の移動となるので、リクライニングの車椅子が最適だと思う
移動時間内の対応と介護者への援助
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
本人のADL状況を把握する。入浴の介助方法を検討する
旅行前に主治医の診察 車まで移動、座席が倒せる様に配慮 男湯に入る 長男等に介助の仕方を確認する
コミュニケーションは意思伝達装置を利用 筋力低下 全身の筋麻痺
・約5時間を超える、長時間の移動・長時間の車イス・ギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。・紋付はかまを

着たい。
本人の状態に合わせ、あまりハードな移動をしないよう、ところどころで休息をする
・呼吸器の使用（吸引も必要）・全身の筋麻痺（体位変換褥瘡予防）・コミュニケーション（意思伝達装置着用）
車での移動に耐えられるか 機材の積み込みができる車が 移動中のトイレの対処 全身状態の観察、経管栄養の管理はできるか
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用して会話をしたい ・長時間の移動、座位
ALSの特徴をとらえた介護用品の活用
意思伝達装置をご家族で理解できるようにしたい
1泊2日の旅行で、長時間の移動、長時間の車イス ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要、温泉に入りたい
長時間の車移動、車椅子に座っていられるようにリハビリが必要。入浴が問題なく行える様に家族のシュミレーションが必要となる。
長時間の移動に耐える体力つくりと、温泉に入れる体力を維持できる様リハビリをうける。
長時間の移動、車椅子での座位に耐えられるか。
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。・親戚との旅行に参加したいと楽しみにしている。
長時間の移動と長時間車イス等に対応できるようリハビリが必要。入浴に対してのリハビリも必要。
親戚の方々とコミュニケーションが図れるよう、家族で支援していく。
全身の筋肉麻痺。発声機能障害。
大浴場での入浴となる。普段介護に関わっていない長男も、介護方法をおぼえておく必要がある。
・移動時の座位保持が必要。・家族以外の方もいるのでスムーズなコミュニケーションが図れるか。
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・長時間の移動に対応出来るようリハビリが必要
・リハビリに通い機能維持に努めている・筋力低下が阻止できず、努力が報われないことにイラだつことがある。
ADLは全介助？車椅子使用？皆と同じ食事がとれるのか？
・違う環境で一泊するので健康管理・車椅子使用での座位練習
・座位保持時間を長くするためリハビリを行い、体力をつけることで不安を解消する・車酔いに対する不安あり
・長時間の移動、長時間の車イスギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要
移動、入浴に対しての訓練。普段とは違う環境になるので注意
長時間の外出が可能な身体の保持
宿泊先で急変することがあるかもしれない。地域の医療環境を事前に調べたり主治医と連携をとっておく必要がある
長時間の移動に耐えられる様、座位で過ごす時間を延ばしていく。
温泉に入りたい
長時間の移動ができるようにリハビリが必要。
長時間の移動と泊りの対応のリハビリをする
全身の筋麻痺、呼吸・心臓機能障害、発声機能障害
コミュニケーションは意思伝達装置利用
温泉に入りたいと希望があれば自身もそれなりに前もってリハビリをしてそなえる。
長時間を耐える、移動、入浴時の介助についての■■■など
全身の身体状態
要介護5、全身の筋まひ、呼吸・心臓機能障害、発声機能障害
・移動中の体勢に耐えられるか？・しんせきの集まる中でのストレス興奮
・長時間の移動と自宅風呂以外での入浴に対応できるよう、リハビリが必要・発声機能障害
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要。
長時間の移動はムリである。車イスでの移動に耐えられるか心配であるが、多くの支援があれば可能
・ハートセンターで週1回立位訓練を始めた・外出する機会を増したい
長時間の移動（自家用車）する際に座位に耐えられるか？
・全身の筋麻痺・呼吸機能障害・発声機能障害
約3時間の移動、温泉での座位の確保の為リハビリが必要。大浴場でみんなと入りたい。
発声機能障害、全身の筋麻痺
腰痛により歩行障害、難聴によるコミュニケーション不足、ワーファリン服用
長時間の移動、車イスのギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
長時間の移動はむずかしい。温泉に入りたい
・長時間の移動の方法・車の選択・リクライニング等できるもの
・3時間程度の移動と車椅子での座位姿勢が保持出来るようにリハビリが必要。・痰上がりが多く、吸引が必要。
長時間の座位（リクライニング車イス）使用し移動に対応出来るように体調を整える。温泉につかりたい
長時間安定していられる準備が出来るのか？
・全身の筋麻痺・発声機能障害・定期的な痰の吸引・車椅子対応可の温泉施設で入浴介助を受けたい。

入浴中の意思伝達が装置を外して出来るか。日常よりリハビリが必要。
介護度5・全介助・意志決定可能。オムツ交換・食事介助・着脱必要。長時間の座位がとれるようリハビリをして、デイサービスに行き、体力をつける
・長時間の車イスに乗って車での移動に対応できるようにリハビリが必要。・温泉に少しでも入りたい。
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発声機能障害
・移動の為に設備と、リクライニング対応可能な車イスが必要。
意思伝達装置利用
・全身の筋マヒ・発声機能障害
・移動中の排泄・車イス以外の対応検当。
A L S
長時間の移動を考慮し、疲れが残らない程度に体力をつけていく
・活動に耐えうる身体状況であるか
状態変化に注意、一人介助では場合によって対応がむづかしい。2人介助を考えておいた方が良い。
全身の筋マヒ、呼吸、心臓)長時間の座位保持は困難なため、離床時はギャジアップ可能なリクライニング車イス利用
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応するよう、リハビリが必要
・日中は2～3Hおきに移乗体位変換。(Bed←→車イス)を行う。長時間の同姿勢は痛みにつながる。
・できれば、看護師を同伴する。・喀痰の吸引に配慮する。
移動は長時間になるので車椅子で移動のリハビリが必要。親戚との意思の伝達もあり。体力もつける
・車椅子での座位保持が長い時間対応できるようリハビリを受ける
移動や長時間の振動など体力面も心配。ストレッチャー対応の車があるかどうか。・温泉に入りたい
・長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応するリハビリ。・入浴環境に対応するための工夫

(居宅介護支援事業所)

1泊2日と期間的には短くない。歩行等、対応できるよう体力をつけたい。意思伝達装置の活用
発声機能障害 筋萎縮 旅行の移動時対応できる体力をつくる
自宅での・離床時間を多くする・リハビリ等で疲労の軽減を計る・体調に合せた車椅子の作成
旅行先迄や帰宅する迄身体的苦痛や不安を感じず移動出来る。ゆっくりと温泉でリラックス出来る
車いす生活、心工呼吸器装着、自分でできること、支援することを考える
交通機関は何を利用するのか 障害者用の対応の宿泊場か(車椅子・入浴場・温泉に入るときの体制等)
A L Sで生活すべてに介助が必要だが意志はしっかりしている
A L Sにて動作はほぼ全介助認知症はない。
移動や入浴など環境に変化することができるようにする
コミュニケーションは意思伝達装置で行っている
急変に供う対応を考える。
・リクライニング4時間可能・右手右足指、訓練中・風呂あがりもちろん浴衣きたい着脱はF a全員可能
四肢は動かないが意志疎通可能
長時間の移動にも耐える事ができるようリハビリが必要
・病状は安定しているか。・座位がどの程度の時間とれるか。・移動中、ストレッチャーが必要か。
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動、公共交通キカンを利用する事はムズかしい
長時間の移動、車いす、ギャジアップに対応できるようリハビリが必要
入浴後のすみやかな水分補給とうの入念な計画打合わせが必要。
A L S
両四肢筋力低下拳上が困難。発声機能障害。
急変の可能性
長時間座位がとれる状態を考え、必要に応じて、車椅子等の福祉用具を利用していく。
健康状態のチェック。
移動の距離、かかる時間 移動時の姿勢は?
医師の許可がとれるか
長時間の移動に体がついていけるか?
コミュニケーション可。そのための装置の管理が必要。状態は安定している。医師から入浴可の指示あり
近くの温泉を選んだが、それでも片道30分かかり、長時間の座位がとれるように座位保持訓練が必要
A L S 発語不可、意思伝達装置を利用し会話をしている
長時間車イスに座れるようにリハビリが必要。
車イス(リクライニング)での移動、座位保持して一般浴槽に入れる程度のリハビリが必要。
長時間の移動や緊急処置に対しての家族への対応が必要となってくる。

・全身の筋麻痺・呼吸・心臓機能障害・発声機能障害
車イスでも特殊な装置のついた車イスで移動
外部バッテリーがおよそ2時間なので時間内で対応出来るよう設定する。上着だけでも正装してネクタイをつけたい。
排泄の問題有。
・リクライニング式W/C、又はストレッチャーでの移動も検討必要・通常のベッドでの起居動作困難・一般の入浴施設では入浴困難
食事ができるか？吸引必要か？排泄交換は？
長時間の移動、車の振動は大丈夫か
数時間の車の移動や、旅館内外の移動（浴室も含め）に対応できるように、リハビリを行う。ゆっくり温泉に入りたい。
温泉へ行くまでの長距離の移動に対応できるようにリハビリが必要。
吸引等安全に出来る様工夫することで、不安にならない様にする。胃ろうの栄養管理
精神的身体的リハビリが必要
・一泊二日の旅行のため、体を横たえるスペースが必要
車椅子座居は3時間が限界 常にそばに人がいないと不安 すぐに行かないと不キゲンになる。
筋肉が弱くなっているため旅行に耐えられるか医師に相談
移動時間（前もって少ずつならす外出をしてある
全身の筋麻痺発声機能障害
リハビリで座位を保てる時間が増えるように車での移動での体力アップ。意思伝達能力の維持と工夫
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるようにリハビリが必要
長時間の移動、乗り物への乗車に耐えられる体力作り
A L S 身体構造の低下。意思決定は出来る。
長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要
全身の筋マヒ 呼吸・心機能障害 発声機能障害
体調を最良の状態に保つよう準備。バイタルサイン、S P O 2等のチェックができるように準備。
長時間の移動に対応する体力の確立。温泉場を想定した入浴方法の確立。
・長時間の移動になるので、車イスだけではむずかしく、リクライニングが必要。
屋外での散歩や移動が可能なよう長時間の車いすギャジアップに対応できるように、リハビリが必要
長時間の移動に対応できるように福祉用具の検討を行う
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
・移動手段及び本人の耐久性に課題・入浴施設の状態。家族による介護で入浴可能であるか・特殊寝台に慣れているのでベッドでの臥床は対応できるか？
左全麻痺
移動による低血圧、頭痛、胃瘻を造設している。定期的な服薬、栄養剤の注入の必要がある
車での移動と、入浴できる体力をつける為、リハビリが必要。血圧管理も必要。（訪問看護、訪問リハビリ利用）
移動が快適となる移送手動が必要。
68才 判断能力ありだが、身体的に運動キノウ低下。・意思伝達装置によるコミュニケーション
・全身の筋麻痺・意思伝達装置を利用している。・食事は柔かいものやのどごしの良いもの等しか食べられない。
交通機関の選択や入浴介助方法を考える
要介護5 状態が急激に悪化する
A L S、要介5。
浴槽に入っているか（時間温度、バイタルチェック）浴槽内の介護（安全、排泄、出入り動作）
合併症の有無
意思は伝達できる
D r 指示受け
移動手段の確認・身体機能維持する為に、リハビリ・健康状態の確認、訪問看ごなど。
・座位は2時間以上は続けられないため、ギャジアップつきの車イスを利用し、休憩が必要。
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害 リハビリ必要、外気に慣れる
移動に耐えられる体力か？A L Sの他に何か病気があるか？温泉に入れる状況か？主治医に確認する
意志伝達装置使用要介護5。
福祉用具の準備
長時間の移動で坐位o r 疲れるように、クッションや、ふとんを用意する必要がある。
・寝たきりであるが、コミュニケーション装置を使用し、意志は伝達できる。・息子夫婦や妻や介護することで、気持ちはゆっくりされている。
目的地まで行けるだけ日々の生活の中で体力をつけておく。
長時間の坐位保持・ギャッチアップに対応できるようにリハビリが必要。
要介護5（全介助）長時間の座位が保てるようリハビリが必要

意思伝達装置によるコミュニケーション可 筋麻痺・心臓機能障害
長時間同一姿勢を保つ事が困難であるが、時々気分転換のため、片道2時間程度、休憩しながら、外出している。
・座位耐久性の向上を図るため、リハビリ検討・褥瘡悪化を防ぐため除圧の検討
Dr、OKか？侵襲くニーズか？
・発言が困難・意志伝達装置の操作はできる・進行性の難病（将来は人工呼吸器要）・現在は自発呼吸可
長時間の移動座位に疲れる体も痛くなる、胃ろう、介助にてトイレ使用可能医師の許可あり
・移動にはストレッチャーを用い、全介助が必要・精神的にはしっかりしている。
長時間の移動、長時間の車イスギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
・長時間の移動、車イスに対応できるよう、リハビリが必要。・旅行に対する期待や、モチベーションが低下しない様に、日頃の体調に気を付ける。
見守り、介ゴが常に必要。旅行へ行くには、緊急時の病院の手配も必要
・温泉と親族との交流への意欲を保持するよう働きかける・座位と移動時間に対応できるようリハビリする （入浴中、意思伝達装置を利用できない場合）コミュニケーションの取り方を決めておく必要がある。温泉への出入りは可能か。
・長時間の移動に耐えられるよう、リハビリが必要
座位保持の状態に応じた車イス（リクライニング、クルド式）を選び安楽に
・意思伝達装置を利用してコミュニケーションは可能・全身的には進行し全てに介助を要する・呼吸器の装着は未だが呼吸の管理は要する
実際自宅外に出てみる入浴を経験してみる・設備の違う所であっても温泉に入りたい
・車での移動に対応できる体力をつくる。・温泉に入ることでの体調変化の可能性。
全身の筋麻痺呼吸・心臓機能障害発声機能障害
要介護5、全身の筋麻痺、発声機能障害。
排便コントロールをつける 旅館で便失禁しないように、妻に負担をかけたくない
長時間の移動は困難。フルリクライニングキャリー等でギャッジアップが必要。そのための練習（リハビリ）を要する。温泉への入浴
要介護5 温泉に入りたい
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要・浴室（温泉）環境を確認し、入浴できる様介護者の指導が必要
吸引処置等医療的管理は？ADLは？（排泄、食事）
四肢麻痺、呼吸、心臓機能障害、発声障害
自宅でできる入浴方法？・外出時の方法今まで、今回各々について
長時間の移動で車椅子に対応できる機能訓練必要温泉に入浴に対しての移動の状態で訓練必要
68才、ALS、介護5。
全身の筋麻痺呼吸心臓機能障害発声機能障害
日中はベッドに横になり、生活。短時間（30分程度）の座位は保てる。歩行は介助を要し、ゆっくりと2～3mできる。
発声機能障害
長時間の移動の体力をつけるためのリハビリ。
・旅行先で訪問看護のサービスが受けられる
長い時間異なる環境下で多くの人と交わることによる体調変化、にどう対応するか
リクライニング式車いすの使用した移動、安楽な臥床確保が必要
移動時間、どの様な体位、方法なら可能になるか。温泉への入り方、食事の形態
旅行のため、長時間の移動など体力をつけるリハビリが必要
長時間の移動 長時間の車椅子ギャッジアップに対応出来るようリハビリが必要
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
車椅子に乗り移動の練習を行う。布団に寝て様子を見る。温泉入浴ができるか
・コミュニケーションがとりにくいので（意志伝達装置）が必要。・1泊2日の長時間に絶えられる様リハビリが必要。
温泉に入り、昔好きだったビールを少しのみたい車椅子専用の車で移動
全身の筋麻痺発声機能障害。
・長時間の移動・痰吸引・安楽な体位が保てる
長時間の座位が保てるようにリハビリを行う
小型の吸引機持参していく必要があり、何かあれば吸引が必要・座位や移動が長時間ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要
食事の状態排泄の状態睡眠の状態
・リクライニング式車いすでの長時間の座位に慣れる。・床ずれができないように、車いす用のクッションを工夫する。
医療機関からの情報と外出時の連携
できる事とできない事を家族全員が確認する
移動距離の関案する。見守りが必要
医療サポート

移動時体調が移持できる訓練、意欲
☆呼吸不全等、急変時の対応主治医の指示。
長時間の座位が保てるようにリハビリや体調管理が必要
装置の確認、チェック
・ALSの進行度合意思伝達装置利用＝ADL（介助必要）ごえんのリスクが高い介護5＝寝たきり状態#温泉迄の距離の移動にたえる体力があるかどうか。1泊2日が可能か日帰りか。
・温泉に入る際の安全を確認・宿泊先の対応も事前に調査。
車イスでの長時間の移動に耐えられるか？
本人が不安を訴えないよう家族が支援する。
在宅と同じようにベッドを使用して安楽を保つことが必要。
・温泉までの移動が大変である。・座位保持ができない・吸引が必要である。
移動対応・入浴対応
訪問入浴だけでなくたまには温泉で手足をのばしたい
・比較的安定したバイタル状態の時に行き。近場を、選ぶ必要がある。
長時間の移動や移乗に対して、対応を検討。
移動できる環境作り車、車イス。
長時間の移動に耐えられる体力づくり、工夫が必要
長時間の移動、長時間の車イス、ギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要
・精神面：安定性何が不安で苦痛に感じるか。・身体面：ご本人で動作（自動能力）範囲他動的稼働範囲、姿勢保持（苦痛なく）
移動時にたえられるよう離床を行かない。温泉に入れるよう筋力訓練を行う。
全身の筋マヒ・呼吸、心肺機能障害。・発声機能障害。
長時間の移動はもちろんだが、温泉に入る為の座位保持やリハビリが必要。
全身の筋マヒの状態、発声機能障害、病状の確認
ほとんどベット上での生活。車椅子にて外出している。全介助
医師の所見
精神的に安定しているか、病気のことを受け入れているか、身体的にどの位、動きがあるか
長時間の移動や座位が保てる様リハビリが必要
入浴前、入浴後のバイタル長時間の座位や移動に対応できるような、体力と健康管理、リハビリ必要
歩行困難（手引き又は車イス）移動には介助と見守りが必要（転倒を繰り返している）認知症あり
・長時間の座位が保持できる様にリハビリが必要。・入浴に介助が必要
コミュニケーションは意思伝達装置利用
移動中、排泄物の処理が必要長時間の移送に対応できるよう、訓練が必要
全身の筋麻痺発声機能障害
全身の筋麻痺発声機能障害
・長時間の移動・座位が出来る様リハビリが必要。
各ADLの状況（坐位が可能か）などの確認（移動にたえられるか）
・病歴と症状・気質、人格を知る。・身体的活動性は低下しているが精神的には前向きか・他病の有無・不安の除去？
入浴そのことは問題ないが介助が必要。長い時間、車に乗る体力がない
ADL 全介助 介ゴ者は65才の妻
休憩時間を確保する。当日までの健康管理を十分に作る。
長時間屋外や家庭外にいることにより身体機能の適応
・浴室での移動や入浴が可能か。・長時間の移動にたえる事が可能か。
・入浴の際は、高血圧に注意する必要がある。
移動時間、自宅外で過ごすストレス、温泉の泉質の確認
全身の筋麻痺あり移動・移乗動作が困難、全面的に援助が必要
現在の健康状態（バイタル・装置の状態）ADL、（移動、移座の程度、寝具が変わることで起居の問題ないか。
・長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要。・入浴したい
・移動中の車イス座位に耐えられるか
コミュニケーションは意思伝達装置
普段の入浴と異なるため事前に下調べをし、移動、体調に配慮する
握力低下 平行神経マヒ 発声機能障害
左片マヒ、左空間無視、リハビリ室で歩行練習（通所リハ）意思伝達装置をつかって、コミュニケーションは可能
リハビリが必要
・ベッドからの離床の時間を促し、日中と夜間とのメリハリをもうけるよう準備する。・食事面など本人が食べやすいように

何品かでも、工夫していただくよう旅館に相談する
移動や座位時間保持するためのリハビリや福祉用具の工夫。入浴方法、家族への指導
車椅子使用、更衣等全介助必要
・主治医の意見・必要具の手配（車イス？）
温泉地までの移動に耐えられる様にリハビリを行う。
マヒ、拘縮は？人工呼吸？自発呼吸？アンビューは必要？精神面や認知症は？排泄はおむつ？カテーテル留置？
旅行先への移動。道中の移動手段の検討と本人の身体に合った福祉用具の検討が必要。また長時間の移動が可能となるよう座位保持 e t c のリハが必要
長時間の移動、車イスでの座位に対応できるようにリハビリが必要。
体調の悪い場合はどのような症状があり、休養方法を確認。ベットや車いすの形状や配置を確認
四肢の筋萎縮及び筋力低下あり。リハビリ、ADLの援助を要す
全身症状 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
座位が保てなく落ちそうになるため座位を安定させる必要あり
・長時間移動に対応できる、リハビリの強化。・温泉に入れるだけの体力作り。
移動時間に対応できるよう、リハビリが必要。
全身筋力麻痺 発声機能障害 心肺機能障害
移動用の携帯酸素必要。入浴中少しでも酸素使わず入れる様呼吸リハ行う。みんなと一緒に温泉につかりたい
医師との連携がうまくいっているか外出着を着用する。長時間移動に関しリハビリが必要となる
座位保持が可能か？外泊中に必要な福祉用具は整えられるか。（b e d、スロープ等）緊急時に対応できる病院が近くにあるのか…
発語できない自分で体を動かすことができない
・長時間の車移動訓練と緊急時対応の用意
・車椅子に座る時間1回2時間必要・旅行当日までの健康状態（コンディション）の調整
入浴時間座位保持出来るようにリハビリ。
・数時間を超える、長時間の移動長時間の車イスギャジアップに対応出来る必要がある。・温泉に入りたい。
・麻痺の程度や改善の見込み・拘縮の程度や改善の見込み・痛みの有無や改善の見込み・意思決定判断力・歯の状態や嚥下・体格
長時間の移動により機能が低下しないように仰臥位だけでなく座位も保てるようにリハビリを行なう。
A L Sであり移動は1人では困難
自宅で常時起こしているので外出に慣れ、体力アップのための支援が必要
移動時。温泉への入浴時
長時間の移動、座位が可能かどうか。
・筋力の低下防止・維持の為にリハビリ体操して行きたい。
筋麻痺、えん下機能、呼吸機能の状況のかくにん。
旅行の移動動作にたえられる様、車椅子での座位安定、安楽な姿勢の確保。コミュニケーションツールを用いての意思伝達。
食事は何をどのように摂取するか。移動に耐えられる体調か。痰吸引は誰がどのように行うか。
長時間の移動、入浴に対する体力強化のリハビリが必要。
移動はリクライニングできる車イスが必要。温泉ではシャワーを活用する浴槽には介助者2人が必要。吸引必要
旅行中に緊急対応してくれる病院をあらかじめ調べておく。トランスは不安定な為横になられるようなスペースの確保 転倒の危険がある。
座位可能、移動は車イス、呼吸器は必要か
全身の筋麻痺、呼吸・心臓機能障害発声機能障害
・移動、座位保持に対応できるよう、リハビリが必要・入浴時の安全確保の指導を医師よりうける。
・長時間の移動にたえられるか・移動方法の検討・座位か臥位どちらが安楽で安全に移動できるか
・座位での移動時間と休けいの必要性を把握する必要がある・どのような入浴方法が可能かを本人と考えていく
・座位保持時間の延長に対応できるようにリハビリが必要・外出着を着たい・座位での入浴ができるよう
トイレ等の移動、座位保持 立位
・1泊2日の行程を無事に終了できるように離床時間の延長等のリハビリは必要・温泉には入りたい。
・環境の違いの変化食事？・車イス、リクライニング使用か・移動、移乗時の対応・入浴時のバイタルサイン・更衣の手順、注意事項
トイレ、食事、入浴、歩行等、全介助が必要（車イス）
2時間の移動に耐える坐位のリハビリが必要・家族及び親せきに吸引方法の指導が必要・旅館での特別食の献立が必要
68歳要介護5
意思伝達は装置使用 ADLは全介助
四肢の筋力低下があり歩行困難であり車椅子使用 長時間座位保持困難にてリハビリが必要
長時間の移動、長時間の車いす、ギャジアップに対応できるようにリハビリを必要とする
・ADL状況確認

温泉に入浴するためには、他者の支援はもちろん、本人のリハビリも大いに必要となる
温泉に行くまでの長時間の移動、座位保持を行う体力が必要
全身の筋麻痺長時間の移動の対応が出来る範囲の場所選び、風呂に入りたい。
・約3時間を越える長時間の移動に対応できる体力が必要
・長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要。
・上下肢筋萎縮・排泄は紙おむつ・スプーン、フォークを使用、介助必要・生活全般において介助必要・自力体動不可
長時間の移動や離床に対応する為、リハビリが必要。全身の筋麻痺、発声機能障害にて意思伝達装置利用。
長時間の移動、等に対応できるようにリハビリが必要
・意思伝達装置は移動や温泉で使用できるか？・痰吸引等の医療器機はどこまで用意するのか。誰がするのか
・筋力の低下から移動には全介助の支援が必要・関節の拘縮があり可動域リハビリが必要
温泉地までの移動手段
・長時間の移動は負担がかかり過ぎる。・温泉につかりたい
意志伝達装置を利用車椅子
全身の筋麻痺呼吸、心臓機能障害発声機能障害
急変時に対応できるか
旅先までの道のりが長時間になる為リクライニング車イスで無理なく過ごせるように日中はなるべく車イス上で過ごして頂く。
・ALSの症状その他の症状
・温泉地までの移動時間は1時間、車での移動に対応できるように用具を活用する
全身の筋萎縮 発声機能障害
移動できるようにリハビリ体を動かす。
長時間の移動が万能かどうか
長時間の車ゆれに耐えられるようリクライニングの車イスが必要。途中での水分補給、吸痰、体位変換。
車イス
負担がかかる（本人・家族）
・全身の筋マヒ・発声機能障害
現在の身体状態・使用する器具などによる体力・耐久力の評価と改善可能な項目に対するアプローチ
全身の筋力まひ呼吸、心臓機能障害意思、伝達装置有（可能）
体力をつけることが必要
・全身の筋マヒ・発声機能障害
リハビリが必要。
・長時間の移動や車いすギャッチアップに対応できるようにリハビリが必要・露天風呂に入りたい
生活意欲にむけてリハビリが必要
・全身の筋麻痺・呼吸機能低下（呼吸機装着）・構音障害・摂食・嚥下障害・褥瘡の有無・栄養状態等
本人及び介護者の不安の緩和、解消健康の維持、旅先での緊急時の対応等
参加するには、移動や入浴の状態に耐えられるかというテストを要する
・コミュニケーションは伝達装置・長時間の移動するには日々の離床訓練リハビリが必要
コミュニケーションの有無（意志伝達装置）利用
・体が温まることで、動きが楽になる。
長時間の移動や外泊が出来る様に、リハビリが必要一人では入浴出来ず、介助が必要である。吸引が必要。
旅行の日に備えて体調管理に充分気をつけ、万全の体調でいどむ
・車の移動時間、ゆれに耐える体力、筋力必要・環境変化にも耐える体力持ちたい
・温泉地までの移動に配慮必要である
屋外への移動等体力増強、維持の必要性
温泉地までの道のりに無理なく対応できるようにする為のリハビリ。
・座位が保てるか・食の状況
・体調変化に備えてリクライニング付きの車いすを使用する
・移動に対応する方法
・長時間の移動、長時間の車イスギャッチアップに対応できるようにリハビリが必要
本人の体調を考慮しながら休けいをとる。
長時間の移動に対応できるよう専属のケアが必要。温泉に入りたい。
・長時間の移動、車イス乗車の訓練が必要である・かぜをひかない等体調の管理が必要
全身の筋麻痺、麻痺の進行に伴う全身痛、自発呼吸可であるが嚥下力低下、除々に言語不明瞭・ALS発症前よりうつ病にて治療
体調の急変
移動に時間かかる 体調の変動を管理するため現地往診を確保しておく

全介助で、迷惑をかける遠慮がおこり、心身の疲労が↑
1泊2日の温泉旅行に耐えうる体力を養っていく（リハビリ等）
・長時間の移動、温泉旅行先での食事に対する配慮必要・温泉構造上、全身入浴は困難かもしれないが足浴、手浴、湯気を浴びるなど
リハビリ意欲あり。リクライニング式車イス1時間位であれば座位可能。リフト浴実施中。
温泉地までの移動距離が長い為、寝台車のレンタルをする。長旅での体力をつける為にリハビリが必要。
歩行できるのか 車椅子が必要なのか どの位の時間の移動、距離が可能か
・歩行困難だが介助があれば5～6mは歩ける・旅行では（長時間の移動（座位）では）頻ぱんに休息をとり時々歩いたり横になったりすればよい
医療、介護の対応が必要 移動手段の検討が必要
全身筋マヒ、呼吸、心機能障害、発声機能障害
移動できる体力を付ける
要介護5 コミュニケーションは意思伝達装置を利用
車イスの座位は可能だが、長時間は行ったことがない。
介護5
・姿勢保持能力は十分か・嚔下機能の状態
・超時間移動を要する道中に体力的に耐えられるかシミュレーションが必要・入浴時のトラブル発生時の対応マニュアルの作成
長時間の移動や車イスギャッチアップに対応できるようリハビリが必要。温泉に入りたい。
移動が必要。長時間の車いすギャッチアップに対応できるようリハビリが必要
・意志伝達装置利用でできる・日常生活動作は全介助
車の移動なら、その時間の体位保持の訓練 温泉入浴の介助のシミュレーション 温泉を楽しみたい
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用・寝た切りの状態
数分の座位時に吸痰が必要となるので座位の回数増やす。
長時間の移動。環境の変化に対応できる体力体制。
・筋力低下（四肢、全身）・移動：車椅子・排泄：オムツ使用・介助が常時必要・長時間移動にリハビリ必要
・全身の筋麻痺・呼吸、心機能障害・発声機能障害
・温泉に入ってゆっくりしたい。体をやすめたい。
長時間の移動に耐えられるか、体力維持の為、リハビリが必要。
・温泉につかっている時間を考える。
・コミュニケーションの障害・全身の筋麻痺
コミュニケーション意思伝達装置利用、生活自立度はC-2のレベル。
・全身の筋病ヒ・発声機能障害
生活全般のあらゆる場面で介護を必要とする。
・家族や親戚との意志疎通ができていない
・寝たきり・発声機能障害・全身の筋麻痺
温泉地に行くまでの長時間の移動に耐えられる体づくりと、長時間座ってられるような車いす（リクライニング、若しくはチルト）を利用。
長時間移動等に耐えうる体力をつける（リハビリ等）
・1泊2日の温泉旅行をするための移動ができる。・温泉に入りたい
長時間の移動や座位保持できるよう、リハビリが必要。
・入浴時の介助（更衣、洗身）や排泄介助等予想される。・安全確保と本人に気がねなく行う事が必要。
長時間の移動、車中で座位。湯舟への移動の介助が必要。他者へ意志が伝わるか。
体力づくりの必要性（外泊）意志伝達装置を利用。目的地までの体調 旅館での機器利用
・ADL状況。・コミュニケーション方法。・理解力。
・長時間の移動で座位も長時間になるため、PTより関節運動と筋肉トレーニングの実施、介護者による関節の他動運動の実施が必要
・意志伝達装置はポータルタイプか。・長時間の移動に耐えられるように
・旅行に参加できるだけの体力
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
1. 全身の筋マヒの状態 2. 体力の持続 3. 呼吸器の持参
進行性の病気である
温泉入浴と移動時間 e t c 身体反応
本人機態を勘案して車いす、又はキャスターの検討
・移動中のファーラー一位、3時間自己排泄できる
発語困難で意思伝達装置利用している。
ALS。介ゴ5 コミュニケーションは装置による移動、移乗のための福祉用具必要。

長時間の移動、座位保持、入浴動作のためのリハビリが必要。医師から許可確認が必要。
要介護5、全身筋麻痺 意志伝達可＝伝達装置利用
移動時間と浴室での座位保持時間のために、リハビリが必要
・長時間の移動を楽に行えるよう移動手段を考える。・久し振りの温泉を楽しみにしているが、同行者に負担をかけるのではと心配している
ALS 要介護5 温泉旅行、温泉入浴に対しての能力評価？
要介護5 生活全般に要介助。意思伝達は伝達装置にて可能
1泊2日にたえられるようなリハビリのプログラムを作成し実践する。コミュニケーションにも十分留意する。
移動に対する体力を維持出来るようリハビリが必要
装置を利用
外出には、ストレッチャー、ポータブル吸引器が必要。入浴は、特殊浴。
コミュニケーション可能。妻にはイライラをぶつける。トイレ時下着衣は下げられるが上げられない。排便に腹圧がかけられない。
・座位可能時間の確認。・バイタル等体調の確認。・ADLの状態。・痰の量、呼吸機能の状態。e t c
神経系の疾患であり自力での活動は望めない。気管切開カニューレ挿入を考える、と呼吸器が必要
・車での移動にたえられるよう座位でのリハビリが必要・家族だけの援助で実現可能か？又は外部の援助が必要か？
万全な体調で望みたいのでリハビリも計画的に、無理しないですすめていきたい
長時間座位が保てるようリハビリをする。
車イスに長時間乗ってられるか不安、車の揺れに耐えられるか？
・長時間の外出の為、緊急時の対応の確認。主治医に相談。
全身の筋麻痺呼吸・心臓機能障害発声機能障害
全身の筋麻痺呼吸・心臓機能障害。
・気心知れた親戚との旅行は、本人の気分転換になる。・温泉につかることは、血行をよくするなど、身体機能にも良い影響が考えられる
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
・温泉に入る為の環境整備や、介護力について検討必要。
・ADLの把握。・立位、座位について・排泄の状態について・残存能力の把握。
温泉での入浴に対応する。
・長時間の移動に、車椅子e t cでの対応が可能する必要あり・温泉での入浴時のシャワーチェア等での対応時、周囲に迷惑を掛けたくない
ADLの確認
長時間の移動や温泉での入浴に対応できる身体■能であるか
長時間移動 車イス等の安全な操作を主に誰が行うか本人の介護者に対する安心感を得られるようシュミレーション
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
要介護5 ADL 寝たきり 手は動かせるのだろうか
長時間車での移動に対応できる様リハビリをする。
・往復4時間を超える長時間の移動にたえられるリハビリ必要
・移動はできるのか
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発生機能障害
・ADLについて。・排泄
長時間の移動 家族と一緒に温泉に入りたい
Drとの調整を取る 短時間の移動での温泉をさがす。
訪問リハビリにより、手足の硬縮がおきないようにリハビリをしている 食事は胃ろうによる経管栄養である
・移動時間に対応できるように、外出の機会等をもつ。・温泉に入りたい⇒
何時間程度の座位であれば負担なく行えるのか、排泄の状況
旅館までの長時間の移動と、長時間の車イスギャジャップに対応できるよう、リハビリが必要
・移動時間に対応、出来る様に体調を整える。
要介護5
長時間、外出が出来るようリハビリ等を行う
介護を必要とする
・長時間座位が保てるか・長時間交通機関での移動ができるか
筋麻痺。呼吸、心臓機能障害 発声機能障害。
移動時間・方法・車の確認時間等に合わせた移動になれること。入浴方法の練習
四肢体■のマヒがあり、リクライニング座位保持が必要。日に車いすですごす時間がある。
移動時間を安全にする為の移動手段の確保 身体機能の現状把握と維持・向上の検討
要介護5、発声機能障害。

座位保持のくねれん。
親戚一同に会う事により心身機能の向上がはかれる
・麻痺
意思伝達装置を利用
運動ニューロン変性により、筋萎縮、筋力低下、球麻痺かねられる。統計的に、球麻痺合併がみられると、2～3年で死亡するケースが多い。
全身の筋麻痺。呼吸機能障害。発声機能障害
・疼痛。
自分の意志は伝えられる。人工呼吸器があれば、それごと温泉に入れるよう、工夫が必要 吸引器、アンビュー等
長時間のドライブに慣れるようにしていく。
近場とは言え車に揺られるので移動に耐えられる体力をつけたい
・精神機能・心身の病状安定
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
旅行に向け、健康状態の安定を心がける。座居を保てるようリハビリが必要
ストレッチャー式ベットにて長時間耐えられる。看護上に依る痰の吸引及び下の世話。
リクライニングを使用し、移動、長時間の座位は困難。
68才 介5 ALSによる筋萎縮、マヒ、発声に障害
長時間の移動に対応できる体力と心身機能の定定を図る。
旅行まで体調を整えておきたい。
移動（車椅子）いずれの交通手段にせよ、座位保持等のリハビリが必要。
5時間の移動等が必要であり、リハビリが必要。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
全身の麻痺。発声機能障害。
・排泄管理・移動介助者が必要
長時間の移動、座位に耐えられるようリハビリが必要 マッサージを受けたい。
入浴時間等のあり方 入浴時の意思伝達のあり方
医師から注意することを聴き、不安なく1泊を過ごしたい。
長時間の移動・環境の変化に対する身体状況の問題 温泉に入りたい
本人の自立度及び必要と思われる介ゴ
他者とのコミュニケーション機会のために少しでも座位保持をできるようにしたい。
・移動手段・長時間の移動に対応できるか
ALS 要介ゴ5（全介ゴ中）コミュニケーション困難であり、（意思伝達装置利用）・ハンディタイプの伝達装置を使う練習期間が必要・車イス（チルティング）長期の座位の調整が必要
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・移動手段は、出来るだけ安楽に過せるよう配慮する。・宿泊施設の設備の確認・主治医との連携、健康状態の観察
座位による疲労、バイタル変動、痰、ギャジベッド
長時間の移動に対応するためリハビリが必要（座位保持の訓練）
長時間の座位は不可
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
長い時間、体がつかれず負担ない方法での、移動、また、リハビリによる、入浴動作の向上が求められる。
旅行先までの移動時間に対応が必要
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害
全身の筋麻痺 発声機能障害（今後スイッチの押せる場所が変更となる可能性あり）
・移動での体力をつける。・常に変化があるかもしれない。見守り必要
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
68才 要介護5
ADLは全介助 認知症はなし
・ほぼ寝たきりの状態ではあるが、家族の協力で在宅生活が維持できている
全身のマヒ等 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
移動に対応できるようにしたい 温泉に入りたい
車いす・ギャジアップに対する、リハビリが必要
転倒しないような脚力のアップを図る。
ALS（要介護5）
少量で必要な栄養がまかなえるよう、高カロリー高たんぱくの食事をする。（体力をつける）食事の回数を増やす。食べ物の形態を工夫する
長時間の移動、長時間の車イスギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。温泉に入りたいが、一般浴は困難である

長時間の移動や、長湯によるめまいに対応できる様、リハビリが必要。
・長時間の移動、車いすギャッジアップに対応できるリハビリが必要。
A L Sによる在宅酸素をしているかも知れない。現在はしていなくても、近いうちにそうなる。寝たきり状態に近いが、或は、寝返りができず、時間毎の体位変換で老々介護状態が進む。
長時間の移動、長時間の座位が必須となるため、リクライニングの車いすが必要。入浴など対応できる介助者が必要。
移動等に車椅子が必要となるため、ギャッチアップに耐えられる事が重要。
全身の筋麻痺 発声機能障害 呼吸、心臓機能不全 体調管理と主治医との連携
全身の麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
身内の者に負担をかけず参加出来るのであれば行きたい
車椅子必要で宿泊所がバリアフリーになっているか
A L S。
入浴動作・浴室内での動作 入浴時の体調、旅行内の移動・座位・ベットなどの問題、食事内容
移動時リスク、座位保持、リハビリ評価必要
移動時間を考慮した温泉旅行を企画し、主の過ごしやすさ、入浴できるか？準備確認必要
拘縮状態 可動減 力の強弱 コミュニケーション機器使用 聴力、排泄、移動状態
要介ゴ5 コミュニケーション可能。
主治医意見書
長時間の移動にたえられるように行く前から、リクライニング車椅子でならしてから行く。
全身マヒ。排泄障害。発声機能障害。
長時間の車イスの移動や温泉入浴時の介助等、車イスを使ったシュミレーション訓練が必要。温泉に入りたい。
全介助により車椅子座位は可能 数時間であればリクライニング車椅子にて対応出来る。
長時間の車イス離床にも対応できる体づくり。
・長時間の移動、長時間の車椅子座位に対応できるよう、リハビリが必要。・夜間ニップを行い呼吸苦改善を図る。・大浴場に入りたい。
座位、身体の移動のためのリハビリが必要
外出は車イス（介助用）長時間の坐位姿勢困難（右に傾向してしまう）姿勢の矯正が必要 リハビリによる指導必要。
筋萎縮、筋力低下、手指の細かな動きの障害。呼吸機能低下。えん下障害
・A D L困難・意思伝達可能
・1泊2日の温泉旅行、そして、長時間の移動出来る様に体力、リハビリが必要。
長時間の座位が保てるよう、又健康管理が大切。
A L Sで体が動かないコミュニケーションはツール使用
どんな体位が安楽であるか。移動時間。
長時間の移動に関する状態の負担に対する軽減にて、同一体動の確認とリハビリを行う。
・呼吸、筋の低下・発声機能障害・全身筋力麻痺
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 コミュニケーション・嚥下障害
長時間の移動、ギャッチアップに対応できるようリハビリが必要。温泉に入りたい。
・目的地往復の移動に無理はないか・浴槽の形、段差、宿の環境は適しているか。
長時間の移動に対するリハビリが必要
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
コミュニケーションに装置必要。長時間皆など行動できない。入浴介助の方法を得る。持久力をつける。コミュニケーションを高める。
リハビリを強化し車イス、イスに座れるようにする
全身の筋力萎縮。呼吸・心臓機能障害。
移動や宿泊（温泉に入る）時の車椅子使用に対しての身体的負担を軽くする工夫。温泉に入りたい。
全身の筋麻痺介護5。・障害ではなくできる事を知る。
・長時間の移動に対応できるよう体力維持のリハが必要
寝台付レンタカーを利用して長時間になるのでクッション等利用し、声かけ、時にはマッサージ等をしてあげ、リラックスをさせる。
・長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要。・側臥位で自己吸引の練習が必要。
・温泉での入浴介護はどの様にするのか。・息子のみでは不安、他に介助者は？温泉設備は？
全身の筋麻痺。発声機能障害。リクライニング式の車イスで移動
長時間の移動等困難
耐えられる移動時間を目的にリハビリが必要
要介護5。発声機能障害
A L S、呼吸障害、たんの喀出障害、身体的苦痛、不安
長時間の移動に対応できるか、滑りやすい温泉場で問題なく入浴できるか、座位保持が安定するように努めたい。

長時間移動にたえうるのか。
全身の筋麻痺（要介5より推測）。発声機能障害
意志伝達装置使用
寝たきり
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
・温泉旅行に出かけられる体調と体力が必要。・温泉に入る事での循環等改善
・ADL＝全介助。・コミュニケーションは伝達装置が必要。・バイタルが安定しない。
・要介護5。・服薬の種類、方法など検討。・長時間の移動となる為、途中で排泄をどのように行うか、リハで検討し訓練する。
座位は保てる（？）（温泉施設までの時間は？）常食は食べられる（？）排泄状態は（？）
・長時間の移動が困難なため、リクライニングの車椅子が必要。・それに耐えるリハビリも必要
・寝たきりでコミュニケーションは伝達装置が必要。・温泉地まで1時間。それに耐える車イス、ギャジアップ、車内ですごせる体力必要。
一泊二日旅行に対応できる、・介護体制の確認。・入浴介助体制、温泉旅館との確認（事前）
温泉へは車イスにて利用出来るが、温度や水滴などにも注意を払う。浴衣を身にまとうための工夫。宴席は皆椅子で同じ視線を。
・要介ゴ5・コミュニケーションは意思伝達・年68才
移動に日耐えられるように、座位時間を長くすることが必要
約2時間を超える車での移動、長時間車イスギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要、意思伝達装置が必要
ねたきり、意志伝達装置によるコミュ不可、排泄、清潔、精神状態
・長時間の移動はさける・呼吸状態の観察・筋萎縮があるので服装も考える。（楽な服装・・・）
・長時間の移動、長時間の車椅子ギャジアップに対応できるようにリハビリが必要
発声機能障害。全身の筋力麻痺
・リクライニング車椅子・PEG・尿導カテーテル・紙おむつ
全身の筋麻痺 呼吸、発声機能障害
長時間の移動や座位保持にむけてのリハビリが必要。
・温泉まで、車で長時間の移動、長時間の車いすでの座位確保ができるようにリハビリが必要。
長時間の移動、長時間のギャーチアップに対応できるリハビリ必要
移動にたえられる体力をそなえるように。温泉入浴は大丈夫か？
・外泊時間に体力は維持可能？・入浴対応可能な体力作り・リハビリを長時間行っているか
・車での移動時間の延長が出来る体力作り（リハビリ）が必要・温泉に入りたい
コミュニケーションは意志伝達装置 要介護5
寝たきり状態、全身筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 コミュニケーションは意志伝達装置使用。認知なし
長時間の移動に対応出来るようリハビリ必要
歩行困難
要介護5。意思伝達装置を使用
ALS：全てにおいて介護が必要である。
医療住治医の所見 1. 付き添い看護上の有無 1. 急変に対する医療 1. 機器の問題 等をクリアする。
要介護度5 意思伝達装置
旅行先までの移動ができるよう座位時間が延長できるようリハビリが必要
長時間の移動に耐えられるようリハビリが必要
・皆と一緒に温泉につかりたいのでシャワーチェアが必要。
常に不安である。
ALS、68才
・麻痺等の部位、程度の確認
・全身の筋麻痺の状況・呼吸、心臓機能の状況・発声機能障害
・全身筋力麻痺・呼吸、心臓機能障害・発声機能障害
動作時の呼吸苦 筋力低下
長時間の移動が予想される為日常生活の中での状態の確認が必要
・日常の入浴状況と手段。・日常の生活活動状態
車での移動は持久性があるか？座位保持ができるようリハビリが必要。
コミュニケーションは、意思伝達装置を利用している。ALSのため、要介護度5
ALSとの事なので介護体制を作る
コミュニケーションに意思伝達装置を利用。家族（長男夫婦）の介護を要する
・長時間の移動、長時間の車椅子ギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。・温泉に入りたい。
・長時間の移動に対応できるようにリハビリをおこなう。・温泉に入りたい。

長時間の移動に耐えられる様、リハビリが必要。体調を整える
車イスに対応できるようリハビリを継続し体力をつける
・全身の筋力低下。・意思伝達装置の利用。・呼吸、心機能低下
長距離移動、長時間の車イスギャジアップに対応できるリハビリが必要
要介ゴ5
車での長時間の移動。車椅子。体力作り
全身の筋麻痺があり、長時間の車イスに対応できるよう、リハビリ必要
3時間を超える移動、長時間の車椅子ギャジアップに対応できるようリハビリが必要
全身的な運動機能障害。意思伝達装置。
自分では移動出来ないが意志は伝達装置で伝える事が出来る。温泉に着くまでの服装として着替えが楽に出来る服が必要
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要
・長時間の移動や車いすのギャジアップに対応できるようリハビリが必要。・浴衣や丹前を着たい
要介護5である。コミュニケーションは装置を使っている。生活全般に介助必要
・認知症によりもの忘れによるコミュニケーションが難しい。・両下肢筋力低下の為一人では外出できない。居室内は杖歩行 伝い歩き移動可
・長時間の移動に対応できるようリハビリが必要。・入浴時の注意点を医師に確認
意志の伝達は、伝達装置を使用し口唇でキーを打つ。体は自らは動かせない。温泉迄の車での移動に自信がもてるようリハ ビリ必要。
・長時間の移動、長時間の車いす、ギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
精神面のケア、生活に対する生きがい作り。循環をよくする。
・長時間の車イスギャッチアップに対応できるようリハビリ必要。(約2時間)・ゆかたを着たい。
・車の移動に対応出来る様、リハビリが必要。・露天風呂に入りたい
全身の筋マヒ 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
全身の筋麻痺。発育機能障害
発声障害 全介助 (ADL)
ストレッチャーを利用し移動することが必要と思われる。
旅行なので、移動中の心身の状態が気になる。対応できるリハビリが必要。
馴染みの関係の人たちとの旅行に行って時間を共有したい。移動、食事、入浴と旅先での介護体制がないと不安。
長時間の移動、長時間の車イスギャジアップに対応できるようにリハビリ必要
移動時の体勢や滞在時の環境に対応できる為のリハビリによる機能訓練が必要 意思伝達
全身の筋マヒ、呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
安全かつ安心して、車イスなどで移動が出来るよう、座位の時間を長く出来る様なりハビリが必要
・ADLの確認・旅行に行く為に、何が必要か(福祉用具 リハビリなど)
・親戚一同で楽しい思い出を作りたい!・長時間の移動に心身共に耐えられるかわからない・入浴は出来るだろうか?旅館で は家族風呂を使いたい。
・移動にたえられるか・温泉に入りたい(入浴が可能)か
・入浴できる体づくり・呼吸、心臓キノウ・筋マヒ、リハビリ
全身筋麻痺、発声機能障害、嚥下障害あり トロミ食
・長時間の移動や宿泊に耐えられるかの確認が必要
全身の筋力低下により、介助なしでは自力での移動は困難。他者に気を使う。
・長時間の座位は困難・痰吸引の介助が必要
温泉の入浴方法について本人の意向や用具について検討する。首を支える事ができず、手足も脱力状態の為。
長時間の移動、長時間の車椅子 ギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
・長距離の移動・宿泊先での動作について
長時間の移動のためのリハビリを強化
全身の筋麻痺 発生機能障害
温泉に入りたい
長時間の移動、長時間の車いす 座位に対応できるようにリハビリが必要。温泉に入れるように介助が必要。えん下障害にて 軟食やきざみ食が必要。
温泉に入りたい。
・車や車イスで移動ができるよう、リクライニング式の座位に慣れる為のリハビリが必要。
介ゴ5
長時間の移動において対応できるようリハビリが必要。
1. 精神機能は正常
・ALS、要介ゴ5の状態・声を出せない

・長時間の移動、長時間の座位に対するリハビリが必要・温泉に入るための協力者が必要（練習して家族が行う）
イライラ、手指の関節硬縮
長時間の移動、車椅子ギャジアップに対応できるようにリハビリが必要。
移動手段
依存心が強く、歩けるのに歩かない。食事も介助を要求する。排泄も自力可能なのにオムツ
・入浴時には全介助必要・専門的介助必要
意思伝達装置にてコミュニケーションがとれている。長時間の移動のためのリハビリが必要。
長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要
リクライニング車イス使用、家族の医療対応知識、看護師等との随時連絡調整要する。医療対応要素高い
・長時間の移動であり、車いすは背もたれ付のものであるが、座位時間が長くても問題ないようにリハビリを行う必要あり。
温泉旅行に行きたいが長時間の座位が保てるよう、リハビリが必要
長時間の移動をするにあたり定期的に休息を取り本人の状態を常に把握する必要がある
ALS。コミュニケーション障害
・長時間の移動、長時間の車いすに対応できるようリハビリが必要・温泉に入りたい。
移動中や入浴時の痰の吸引ができるかどうかの確認。留置カテーテルが抜去したり、詰まった場合の対応
・長時間の移動・リクライニング車椅子で対応できるようにリハビリを行なう。
コミュニケーションは意思伝達装置利用、要介5
・体力増強・入浴時の注意・移動方法
四肢麻痺、拘縮、デクビがしやすい、HOT1.5リットル、座位訓練、リハビリ、マッサージが必要
長時間の外出が可能か
長時間の移動に対応出来るよう体力をつけておくことが必要。
長時間の座位は苦しい。オムツ等の排泄、介助が必要。移乗、移動に介助者が全介助。
長時間の移動への負担を考え、車椅子での座位、姿勢へのリハビリ必要。
車で移動するのであればどのような状態で車に乗っているのだろう。
コミュニケーションが出来る意思伝達装置がある
長時間の移動、座位時間が長くなっても対応できるようリハビリが必要。温泉に入りたい。
外泊する前からリハビリを続ける
意思伝達は装置が必要
筋麻痺状況は？
コミュニケーションキノウ低下。全身の筋力低下。関節いしゆく。移動時間の座位保持。
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発生機能障害
車イスを入れる入浴方法の検討、介助方法
68才要介護5
・リフトでの入浴となる為、座位保持が出来るようリハビリが必要である。
要介護5
長時間車いすの対応になる リハビリが必要
移動時間にたえられる体力の低下
ALSによって全身の筋力低下ありほぼ全介助だが意思の疎通は伝達装置により可能
全身浮腫、痛みがある、顔面のまばたきのみできる、胃ろう造設、
長時間の移動の為にリハビリが必要
全身の筋麻痺 呼吸障害 気切による発声 機能障害 意欲気力はある
ALSである 車いす必要 長時間の座位 移動に耐えられない
長時間の移動、座位保持に対応できるようリハビリが必要
要介護5 ALS
・移動（車使用）に堪えられる ・時間を延ばす必要あり ・自宅外での宿泊環境を確認 ・介助がないと入浴できないが温泉に入りたい
ALS筋委縮性側索硬化症 意思伝達装置 着
寝たきり。コミュニケーションは意思伝達装置利用
どこの部位を気をつけなければならないか
車イス（リクライニング）が必要。人工呼吸器も必要。
・移動に時間がかかるので体力的に大丈夫か。・緊急時の対応。
ほぼ寝たきりで、全介助、発言なし、コミュニケーションは意志伝達装置
・車での移動に対応できるようまた、座位保持が長時間できるようリハビリ必要
手足こうしゆくあり。外に出たくない。床づれあり。意思伝達装置使用
全身の筋麻痺

コミュニケーションは意思伝達装置を利用
長時間移動のための、リハビリが必要
移動、温泉への入浴が問題なく行えるように、健康管理をしっかり行い、状態をチェックしておく
・長時間の移動が可能になる様なリハビリを行う・バリアフリー対応かどうか分からない場合の、入浴の介助
車イスでの移動に対応（ギャッジアップ）出来るようにリハビリが必要。
長時間の移動。長時間すわれる車いす、移動用車輛が必要、露天風呂に入りたい。リハビリにより車いすに慣れる
ADLは低下し、車イスでの移動も介助が必要
座面の圧迫があり、長時間の移動には、てきど、除圧と休けいが必要。
全身筋マヒ要介5発声機能障害
移動には時間がかかるためその移動に対応できるよう日々のリハビリが必要
自宅から温泉までの移動にたえられる体力。座位保持能力の確保
要介護度5なので日常生活動作に介助が必要と思われる。温泉に入りたい
全身の筋麻痺 コミュニケーションは意思伝達装置を利用
長時間の移動に対する体力作り・目的意識を高めるような声掛け
長時間の移動及び長時間の車椅子キャッチアップに対応できるよう、リハビリが必要。温泉浴をしたい。
支えられる人がいるか
・ほかの医療機器の使用はあるか・長時間の移動や座位可能か・床ずれ等あるか
座位、立位可能時間 拘縮、筋委縮の程度 自力での体動可能範囲 食事摂取状況
車での移動になれる為に2～3ヶ月前から外出をして練習する。意思伝達装置の使用の案内を親戚にも送付する。
・身体系の生理的機能（心理的機能）。・器官・肢体その構成部分などの身体の解剖学的部分
トランスファーの状態と浴室での移動方法活用器具の選択、介護力の確保、入浴時間の事前取決め、温泉浴室の段差確認、長時間座位リハビリが必要
移動は車いす。リクライニング車いすを使って長時間の座位の負担を和らげたい。
ALSにより筋力低下。ベッド上の生活
意思伝達装置利用、全身の筋麻痺
全身の機能低下による全介助必要状態 要介5
認知症なし 褥創なし リクライニングへの移動可能
・入浴時間を短めにする。・温度の配慮
全身の筋麻痺
・どこまで自立できるのか？・ADLは？IADLは？・できないところは何か？
全身麻痺、呼吸・心機能障害、発声機能障害あり、1泊2日の旅行に堪えるか、温泉に入ることは可能か
長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要。
長時間の移動、普段寝ている事が多いので、それに耐え得るリハビリが必要
ADL
温泉で入浴できる、特浴並みの設備や、スタッフが必要。緊急に備えての対応ができていないか、意志がスムーズに伝わるか。
食事もキザミ等の事を宿としっかり打ち合わせる。夜間はギャッジアップ出来るベッドがあった方が良い。
心肺機能の低下により無理な移動、長時間の対応は難しく訪看の対応にて。
・参加の為のリハビリメニューの作成 ・体調管理
入浴、食事、臥床、移動等の体力の有無
日常動作全般に介助が必要。・訪問介護を利用している ・訪問看護が定期訪問し、病状管理している。
・移動の時間に耐える体調が保持できるか。・温泉に入りたい。
わずかな身体動作で他者に思考を伝えられるよう、リハビリが必要。
・ADLに援助要
・温泉にできるだけ長くつかりたい せっかくだから当日と翌日と2回温泉に入りたい。
・旅行先まで、帰宅までの移動時間。交通機関への乗降。車椅子使用するための介助者。・温泉でゆっくりしたい。
長時間車イスでの座位保持が可能か 意思表示ができるか 痰の問題 食事摂取の問題
要介護5：日常生活全般に渡り介助要。
車イス対応の車で4時間の移動に耐える体力の維持。旅館の風呂も予め調べておく。
・全身の筋マヒ（座位が保てない）・呼吸・心肺機能低下 ・発声機能障害
ADLが低下しており座位保持が長時間困難。
リクライニング車イス使用
要介5
皆と一緒に旅館の浴衣を着たい
・旅行に行き、温泉に入りたい。・家人、親せきで、入浴時介助するのは、心配、痰の吸引も心配 ・座位、移動に対応できるようにリハビリ必要。
長時間座位の保持できるよう生活リハが必要である。

車での移動を考えているがゆれが少なくなる様に考える必要あり
・コミュニケーションのリハビリ また身体機能の強化
全身の筋麻痺 呼吸・心機能障害 発声機能障害
・移動時間に合わせ、長時間の車イスで座位が保てる様リハビリが必要・入浴に合わせたリハビリ
リクライニング等で移動時の、身体的負担を軽減する必要がある。
長時間の移動、車イスギャジアップに対応できるよう訓練が必要。入浴できるように座位が少しでも保てる必要がある
リクライニングの車イスで日中は長座位と座位が保てる。体力安定して意欲的
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要
・全身の筋麻痺。・発声機能障害。
本人、温泉を利用するとの意気込みもあり、出来る限り外部との接触を計る
全身の筋麻痺 呼吸心臓機能障害 発声機能障害
A L S、どの程度医療行為が必要か？
要介護度5
親戚とのコミュニケーションが図れるように意思伝達装置の利用を旅行へ行く全員ができるようにする。
・温泉に入りたい。・長時間の移動や座位保持が出来るようリハビリが必要
全身の筋マヒ、呼吸・心肺機能障害、発声機能障害
・長時間の車イス及び移動に耐えるだけの体力が必要・久々に温泉に入りたい
温泉の場所にもよるが、長時間の移動や車イスのギャジアップに対応できるようにリハビリが必要。親戚との交流に意思伝達装置が必要。
・リクライニングの車イスであれば3時間程度の移乗は可能。・デイサービスの特浴で入浴している。
・長い時間のドライブは心身の負担が多い・吸痰が必要な時間の間隔が30分～1時間
頸部保護、長時間移動の問題、温泉に入る時の介護力の有無、異常時の対応
温泉地までの移動、体力をつける必要がある
食事形態
座位は可能であるが、長時間車で移動するため、リハビリとして端座位の訓練をする。口腔ケアを行なう。
長時間の移動に耐えられる準備、対応。能力の
未知の病状に対する不安や混乱。全身の筋麻痺 呼吸・心機能障害・食事摂取困難
安全な入浴動作を行うため家族の介助方法の指導を受ける
旅行にたえることができるか
・リハビリにより座位時間を増やせるようにする。・入浴中、意思伝達装置を使用できない為、まぶたの開閉で意思表示して頂く等の練習が必要。
・四肢及び体幹の筋力低下・発語困難
お風呂までの移動も介助が必要
車イスでの移動、長時間の座位が出来るような訓練が必要
温泉に入って調子が悪くならないように医師に確認必要、また近隣の病院も確認していく
長時間の移動・長時間の車イスギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。訪問看護も必要。
長時間の移動、車イス、ギャジアップに対応できるリハビリが必要
車での移動、長時間の座位保持のためのリハビリが必要
・全身の筋麻痺・意思伝達装置使用
長時間の移動困難
全身の筋麻痺 呼吸心臓機能障害 発声機能障害
医師との連携を計り入浴可能なバイタルを知っておく。場合によっては手浴、足浴、シャワー対応も思慮に入れる
A L S 意思伝達装置
・全身の筋麻痺により長時間の座位保持不可・発声機能障害あり、意思伝達装置使用
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害 長時間の移動・移乗に対応できるようリハビリが必要 おしゃれもしたい ギャジアップできるようリハビリが必要
O T・P T・S T リハの程度・段階の確認
全介助、ベット上生活
長時間の移動に対応できる車椅子への移乗している時間を増やすリハビリ必要。
・温泉にたどりつくまでの長時間車イスに座っていることができるか？・入浴後のバイタル等
車イス座位は可能 本人自身も疲労感を伝達装置により伝えることができる
・こまめな吸引が必要・自宅外での入浴に慣れておく必要がある・病状が安定している
移動や移乗が行われるようリハビリが必要
・長時間の移動、長時間の車イスギャジアップに対応できるようリハビリ必要。・臥礼したまま入浴できる環境整備必要。
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
人工呼吸器を外れ、気管カニューレ（カフ）を調整し入浴する必要がある。

長時間の移動、入浴をするため、体力をつけることが必要・久々に温泉に入りたい
長時間の移動や旅館での寝具で対応が可能であるか・温泉へ入る際の体制について
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
座位維持などの程度出来るのか、食事は経口かPをGからか
・移動中、座位が保てるように車イスに工夫が必要・身体を動かせるところは動かすようリハビリが必要
・ALSによって寝たきり状態・発語困難にてコミュニケーション方法は意思伝達装置利用
移乗、移動時間の長時間に身体が耐えられる様子リハビリをする。
・久々の外出、自宅外でのとまりなので楽しみと不安。・温泉は部屋付又はかきり風呂を楽しみにしている。
長時間の移動に対応のリハビリ。車イスのキャッチアップの時間を長くする。
リハビリを行う
長時間の移動に耐えられる体力をつける必要がある
要介護5の為、長時間の移動が気になる。意思伝達装置での本人の体調をよく確認する。
全身の筋力麻痺 呼吸、心機能障害 発声機能障害
身体機能レベルはどの程度か、介助量の把握。温泉に入りたい気持ちに対して、体力はどの程度か。
・長時間の移動に耐えられるか。・トイレ、食事の形態等予め準備や情報提供が必要。
・座位の時間を長く保てる様にリハビリが必要・タン吸引の指導（親戚）・救急の時の受け入れ先の確保
・全身の筋肉マヒ・呼吸、心臓機能障害・発声機能障害
全身の筋麻痺 呼吸障害 発声機能障害
・長時間の移動・車イスギャッチアップに対応できるようリハビリが必要・温泉に入りたい
長時間の移動・座位がとれるようリハビリが必要。温泉気分を味わいたいため、浴衣をきたい。痰や食事形態自由がきかないため、吸引器の使用 食事の大きさなどの食事リハビリ
2時間すぎ位に体位変換が必要
・長時間の移動、長時間の車イスに対応できるよう、リハビリが必要
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
長時間移動の持久力と移動の方法の工夫が必要で何としても本人の意思を尊重してやりたい。
全身の筋麻痺 発声機能障害 呼吸・心臓機能障害
全身まひ 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
移動に対応出来る様体調を整え、リハビリ
寝たきり 人工呼吸器使用 意思伝達装置を使用して会話 車いすでの移動が長時間可能か
長時間移動に対応できる体力が必要
本人の体に合わせた頭部固定の車椅子で過ごすことあり。
寝たきり
長時間の移動のため リハビリやマッサージをおこなう
簡単に意思を伝えられない。
不安 Drの指示
・長時間移動にたえるよう、リハビリが必要。・座位にて安楽保持ができるようにリハビリ
要介護5
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声キノウ障害
全身に筋麻痺があり、長時間の移動に耐えられるように、離床時間を増やす必要がある。
長時間の移動に対応できる、心体機能のリハビリが必要
リハビリによる移動能力向上の必要あり。
嚥下障害はどの程度か、呼吸障害は合併していないか、食事内容について調理法は工夫できるか、コミュニケーション障害はどの程度か、対人関係は保たれているのか
長時間の移動、座位が厳しい。自から動けない為リハビリ必要 温泉に入りたい（全介護）
コミュニケーションは意志伝達装置を利用 要介ゴ5
長時間の移動の為車イスギャッチUPに対応できるようリハビリが必要。温泉に入りたい。
関節可動域のリハをして、更衣動作がスムーズにできるようにする。排泄状態の確認をして、安定した排泄ができるようにする。
移動の時間すわっているリハビリ。移動手段（車イス対応車）の検討。入浴への対応。ゆかたの着用（浴槽はどうか？）寝室の対応
ストレッチャーの介護タクシーが必要。人工呼吸器、痰の吸引の為、車内に電源が必要。片道30分以内で行ける温泉を探す。機械浴の装置のある温泉を探す。
入浴許容範囲のバイタル 呼吸器有無 排泄コントロール 拘宿有無 外泊先で必要な医療処置
全身の筋麻痺（呼吸、O2吸入 嚥下障害、何とか、口から食べている。発声機能障害。排泄は妻の助 ポータブル保持、吸機持参→長時間座（ほこう困難：近隣の場かり車椅子（リクライニング）食事：誤飲のリスクの為可能なメニューで予約。入浴：個浴で2人つきそう。緊急事態：対応可能な診療所等手配しておく
長時間の移動に対応出来る様子リハビリが必要。

長時間の移動にて
病気はあるが、皆となんとか行動を共にしたい。以前行った旅行早紀にもう一度たずねたい。一生の思い出にしたい子供達と共に旅をしたい。孫の喜ぶ顔が見たい
久しぶりに親戚の顔がみられる。自分も会話を楽しみたい。温泉に入り、サッパリとし、皆と思い出をつくりたい
長時間の移動入浴に対応できるようリハビリが必要 特殊寝台必要 楽しく入浴したい
全身の状態 意志伝達的手段
車での長時間移動となる為車での移動に慣れる必要有
全身の筋麻酔 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
長時間の移動により、常時の介護が必要。妻だけでは限界あり、新せきの手伝いが必要。(布団の移動) (泊まるホテルが設備されているか)
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要。安楽に入浴出来るよう入浴の訓練を行う。感染症をおこさない様健康管理等が必要。
主治医に入浴時の留意点を確認しておく
旅行の移動にたえられる体力があるか。
・長時間の移動、入浴時間に対応できる体力をつける ・温泉に入りたい
移動や入浴、宿泊施設で動作や介助がスムーズに受けられる
車イス坐位、移送ができる状態にリハビリ
何ごとにも介護が必要 意思伝達装置を利用 リハビリ、移動にたえる体力が必要
上下肢の能力低下。排泄のコントロールが困難。食事の工夫。嚥下に障害あり コミュニケーションがとりにくい
・コミュニケーションは意思伝達装置利用 ・全身の筋麻痺 ・宿泊先までの移動時間にたえられるようにリハビリが必要
・長時間の移動に座位は困難 ・休憩が何度も必要
長時間移動、車イスに対するリハビリテーションが必要である
長時間の移動・座位がとれる様リハビリが必要。水圧に反して呼吸ができる様な呼吸リハビリが必要。
・ALS ・移動時、身体の負担軽減 ・トイレ(オムツ交換必要)
・全身の筋麻痺 ・呼吸機能障害 ・発声機能障害
・長時間の移動に対応できるようリハビリが必要 ・1泊2日にたえられる？
・全身の筋力低下があり、移動動作は介助が必要。ベッド、車椅子では支えが必要。座位時間は2～3時間は大丈夫との事。明るい性格である。
要介護5寝たきり
変化時の対応
・呼吸状態、離床の方法 ・どのくらいの時間おきていれるのか ・寝たきりの状態で温泉に入りたい
・長時間の車移動ができる範囲の把握とリハビリ訓練 ・一人での入浴困難 ・不随意運動がある
目的に向って徐々に体をならしてもら
長時間の移動、長時間の座位に対応できるようにリハビリが必要
寝たきり、要介ゴ5 意思表示できる 意思伝達装置を利用しコミュニケーションができる
コミュニケーションは装置にて
・親戚一同と温泉旅行に行くことを楽しみにしている ・移動、移乗に介助が必要であるが介助の手がいつもより多くある。
長時間の移動に耐えられるようリハビリが必要。
慢性関節リウマチのため、各関節痛あり。意欲はあるが痛みのため低下傾向
移動時間に対応できる体力保持座位時間の確保、要介ゴ5
・約〇時間の長時間の移動
車や新幹線での移動に対応できるよう(車イス使用ティルト式)リハビリが必要。
移動時の身体への負担を考えてリクライニング、ギャッジアップの訓練をしていく。親戚の方々と晴れやかな顔で会いたい
要介護度5 ・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・病気や体で痛いところはないか？
要介護5 コミュニケーションは意思伝達装置
座位を維持できるリハビリが必要
要介護5 コミュニケーションも意思伝達装置を利用し、ほぼ全てのことにおいて全介助を要する。
入浴できる体調の維持 移動中の体調の維持
移動時間を検討し本人、家族と福祉用具ティルトタイプ車イスの利用等の検討の必要性有り
・長時間の移動ができるようにリハビリが必要
・長時間の人口呼吸器装着しての車移動に対応できるようリハビリが必要・温泉に入りたい
長時間の車いすが困難
皆さんの前で寝ているわけにはいかないので、起きている時間を長くできる様にする
移動の時間、入浴時の体力に注意が必要。
・長時間の移動と入浴が出来る様座位保持の為のリハビリが必要・食事、水分の摂取状況、呼吸状態の確認が必要

・長時間の座位保持は無理がある。・体調不良等により体力低下があると回復するまでに時間がかかる。家族との時間を大事にしている
・温泉までの約2時間の移動が可能となるよう訓練を行なう・リフト浴が可能となる訓練を行なう（リフト設備のある温泉を捜す）・むせもあるため、きざみ食（旅館に依頼 トロミ剤も考慮）
・全身の筋麻痺・呼吸、心臓機能障害・発声機能障害
長時間の移動はリクライニング式車イスが必要。発汗が多いため、皮ふ状態の観察が必要。
・ALS・発語によるコミュニケーション不可
長時間日常生活空間以外ですごすので、本人の苦痛を招かない環境設定
車？での移動？負担のない体位での移動
全身の筋麻痺、発声機能障害
長時間の移動・座位がとれるようにリハビリ必要
長時間に及ぶ移動方法、安楽な姿勢保持の手段、移動中の特痰対応方法
・体調管理し、体調を崩さないこと。・体力をつける為のリハビリ、人の中で過ごす機会を持つ
介護が必要
長時間の移動、座位に対応できるよう人が必要。入浴方法の検討必要
移動、座位方法 身体状況
・長時間車の移動での車いす、ギャッジアップに対応できるようリハビリが必要。・意思伝達装置を移動中等、利用可能なのか
全身の筋麻痺（立位保持困難）呼吸、心臓機能障害（風邪をひきやすい）発声機能障害（だんだん声が出ない、聞きとりにくい）自尿できない（一日4回導尿）食事が一人でできない（全介助）
長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要
コミュニケーションは、意思伝達装置を利用
・長時間の移動・車イスにたえられる体力をつける。・入浴を安全にする。
・車での移動に耐えられるようリハビリが必要
旅行先が遠い場合長時間の移動にたえられるのか？
・全身の筋麻痺の状況・呼吸状態・心臓機能
・全身の筋力麻痺・呼吸、心臓障害・発声機障害出現
移動中の体位の確保ができるようにする 確実な痰の吸引
身体機能の低下 意思伝達に装置が必要
・1泊2日の長時間の移動、長時間車イスギャッチアップに対する対応が必要・温泉に入りたい
長時間の車イスギャッジアップに対応できるよう訓練する。
長時間の移動が行える車イスの選定が必要である 入浴後、痰の吸引が必要であり、車酔いに注意が必要である。
全身の麻痺、発声、呼吸、心臓機能に障害がある。
・車イス座位や移乗のリハビリを行う。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用して可 呼吸苦は今の所はない 軽介助にて食事、排泄、入浴等は可、移動も軽介助を要する。
・温泉に入るために室内温度になれていくようにする。
・入浴中の意思を伝える為の合図を練習することが必要・同じ姿勢でいる時間を増すためのリハビリが必要
長時間の移動に対応できるようにする（本人・家族とも） 外出先での食事の摂り方の再確認 温泉に入りたい（特殊浴槽じゃなくても大丈夫？）
入浴（訪問入浴）やシャワーに慣れている状況をつくっておく
介護5の状況
アイコンタクトはとれる 寝たりの生活から長時間の離床 呼吸苦時はネブライザーを使用する
・ALSの為介助なしには何事も自分で行うことは難しい・旅行に行きたいという気持ちがある。
キンキュウ時の対応等、あらかじめ医療機関とも連絡をとって、旅が安全安心にすごせる様にしたい
長時間の移動、長時間の車イスギャツでアップに対応できるようリハビリが必要
・外泊に向けて排便コントロールを図る。（外泊中は排便がはいように）・長時間の車での移動になるため、日頃から座位時間を長くするリハビリを行っていく。・温泉に入る時の移動、浴槽に入る時の手順を考える
・長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要・温泉に入りたい
長時間の移動、長時間の車イスに対応できるようリハビリが必要
座位が保持しやすい本人に合った車イス（リクライニング式）
身体機能が長時間の移動にたえられる様にリハ必要
長時間の移動に対応できるよう身体機能の向上をはかる
・久しく外出していない。移動に対応できるようにDr、NSに相談・温泉に入りたい
意思伝達装置にてコミュニケーションはとれる。全身のマヒ（全て介護受ける）
要介護度5、移乗は全介助、歩行困難、温泉好き
・ALS

・全身の筋麻痺・発声機能障害
移動、入浴動作、座位などリハビリ必要性あり。
長時間の移動となるため座位保持できる体力が必要。温泉に入れるための体力作り。ADL向上リハビリ必要。
移動中の安全の確保
・移動時間を考慮し、座位保持ができるようにする。（リハビリの必要性）
意思伝達装置を利用すればコミュニケーションできる。入浴するには全介助が必要
・長時間の移動にどう対応するか
筋麻痺、呼吸心機能障害、発声障害
車で行く為、移動や車いす対応できる様子リハビリが必要
長時間の移動、外出に対応出来るように、リハビリが必要。温泉に入りたい。
妻にだけ、介護負担をかけないで「2人の温泉旅行」実現の為に機能向上を心掛けたい。
リクライニングの車いすが必要。介護タクシー（福祉、タクシー）ポータブルの吸引器も必要。常に家族がつきそう
2回の休憩を入れ、片道5時間の長時間移動。長時間の車いすギャッジアップ耐力は参加者全員の支援でカバー
・長時間の移動や入浴などに対応できるようにリハビリが必要。
長時間の移動に対する体力が必要 全身マヒ、時々吸引等必要
全身麻痺 発声機能障害
コミュニケーションは意思伝達装置を利用 全身の筋麻痺 呼吸・心機能障害 発声機能障害
・長時間の移動に対応できるようにリハビリが必要。
68才。要介護5
ALS、68歳、要介護5。
自宅の浴室との違い入浴時間帯の混みぐわいをさけて、負担がかからない様に、事前調べ。
・長時間の移動に耐えるよう、リハビリが必要。
温泉までの移動が可能か。可能であればどのような方法で可能であるかの検討。温泉での過ごし方（座位を長時間とれるか、入浴できる温泉施設か）
・四肢の動きはない。・コミュニケーションは意思伝達装置を使用
コミュニケーションは意思伝達装置を使用
車での移動の時間、入浴の方法についてシュミレーションし、訓練 吸引頻度や、疲労度チェック
衣服の着脱に要する時間、排泄。
離床し、目まいやふらつき等がない状態にする必要あり。
・長時間移動にたえられる健康状態を保つ ・温泉入浴時の介助の安全性→家族への指導
環境の変化に対応できるか
・入浴の際の身体介助が必要 ・本人の苦痛を最小限にする座位での良肢位を確保する
本人様は久しぶりに温泉に入る事を楽しみにされている その日に向けて、ベッドから車椅子移重し日中はリクライですごす
・機能低下の進行 ・移重移動の体力が必要（リハビリ等）
・コミュニケーションに装置使用 ・体幹、下肢筋力低下 ・バランス低下 ・食事能力の低下
長時間の移動ができるだけの体力アップ。宿泊時の緊急対応の確保。温泉に入る為の練習・介護力・介護する男性が必要。
移動困難
全身の機能低下 意思伝達装置を利用
全身の筋麻痺 発声できない 呼吸障害 むせることあり 長時間の移動に対応できるリハビリが必要
「また来れる」と自信を持てるようにする必要がある 移動・入浴・食事などADL全般においてふだんと異なる介助が必要
温泉に入るための体力、体調管理、又 どうように入るか
長時間の座位保持のため体位保持用クッション等利用する
・移動時間等の長時間の座位にたえられるようリハビリが必要 ・浴槽へ入る際リフト、又は抱えるなどの介助が必要
長時間の移動等
ALS 徐々に機能低下していくのがみられる 精神的には、家族との同居で落ちついている。
筋肉要縮、呼吸障害、発生障害、排泄障害、えん下障害
ALSによる機能障害
外泊に耐えられる様に親戚の人達との時間もつくっていく。乗り物に乗る時間を作り乗り物に慣れる様にする。
移動中はリクライニング型の車椅子で休みながら目的地へ。温泉でたくさんの人々との入浴は可能なのか。心理的なことも配慮して家族風呂も考慮してみる。緊急時に対応して下さる医師の連絡は可能か。
移動時の方法・介護者
・入浴時における一連の動作をご自分でできるようにリハビリが必要
・ALSの進行も把握しながら、今、出来ることを支援していく。
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害、発声機能障害、寝たきり
長時間、片道数時間の車移動 リクライニング移乗の必要あり。
全身の筋麻痺 発声機能障害 リハビリにて筋力アップ

日頃外出していないので、移動や離床に対応できる訓練必要。
長時間の移動。温泉に入ることでの、湯あたりが不安になる
長時間の車の移動にどの程度たえることができるか。入浴の方法、姿勢はいつもどのようになっているのか。
長時間の座位移動ができるようリハビリが必要。浴室での更衣ができるようリハビリが必要
・食事、排泄とも介助が必要。・食事のときは、座位をとるが、その他は、寝たきり。
1人では動けない。温泉に入れない可能性もある 緊急時の対応。主治医の許可
本人のできること、できないこと。疾病の今後の予測
長時間の移動、車イスの対応、車内外や入浴、温泉施設側との入念な打ち合わせが必要。温泉に入りたい思いをかなえられるようにしたい
・全身マヒ：座位耐久性↓ ・呼吸、心機能障害：吸引必要 ・発声機能障害
温泉地までの移動時間、温泉の浴槽までの車イスから下りての移動に不安。
座位での入浴ができるようリハビリが必要。旅先での緊急対応に備えて医師の紹介状を依頼。
長時間の車いす座位は難しい。常に体支必要
温泉に入るのを楽しみにしているので、日頃の会話にとり入れる。
長時間の移動に対しての体力は？
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
目的地への移動、と滞在、入浴ができる心身キノウがあるか。
午前、午後にベットで休む時間が必要
温泉、移動の身体的負担
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害 嚥下障害
・長時間の移動に対応出来るか・装置をもって移動出来るかどうか
長時間の車での移動の際座位が保つ事が出来るようリハビリの支援・温泉に入りたい。
全身の筋麻痺 発生機能障害
IADLについては全介助
入浴時間に気を付けてみんなで協力しながら実施する
温泉までの時間を保持できるようリハビリが必要
ALSに伴う筋マヒの状況 心理的側面
旅行の間の移動や環境の変化に対応できる体力が必要。体調を安定させて参加しないと御家族の心配が大きくなる。
機能回復訓練、基本動作訓練ADL
・いつも感謝しているが中々妻に表現できない。・温泉旅館への移動が体力的にはしんどい。
長時間の移動、長時間のギッチアップに対応できるよう、安全に入浴できるように、リハビリが必要。
・主治医より外出（車移動2時間）リクライニング許可有り。・水分（水呑で可能）・食事（トロミ、キザミで可能）
・寝たきり・移動時間にどの位耐えられるか？
移動方法、座位時間
長時間の移動では、座位を保つのも困難、痰の吸引も必要になり、リクライニングチルド式車いすと家族が吸引器を自参する必要がある。
毎日だるい為動きたくない。トイレは自立、排泄困難自宅での入浴は不安にて不可妻も高齢で支えられない。
寝たきり状態である。
ALS。意思伝達装置を利用。他者とのコミュニケーションをとりたい。
温泉に入る時には、マヒ等があればお湯に浮く事があったり、石けん等ですべる事があるため介助者の確保を行う。
意思伝達装置を利用してコミュニケーションを図っている 今後呼吸機能の低下に伴い人工呼吸器が必要となる可能性がある
・ホテルまでの安全な移動手段 ホテルでの食事・排泄方法・温泉への入浴方法の検討が必要。
能力低下があるが疲労度や
長時間の移動・長時間の車椅子ギャッチアップに対応できるようリハビリ必要。
全身の筋マヒ 呼吸、心機能の低下 発声機能障害
・長時間の移動、長時間の車いす、ギャッチアップができるようリハビリが必要
移動時間の間、車イスで対応できる体力をつける必要がある。
長時間の移動や入浴に対応できる状態かみきわめが必要
全員の理解と協力
全身機能の低下 ADLの低下
・全身の筋麻痺・呼吸、心臓機能障害・発声機能障害
68歳 コミュニケーションは意思伝達装置を利用している、体の緊張が強いため、リクライニング出来る車イスが必要
長時間の移動に対応できるよう機能訓練が必要 車内での吸計ができるよう訓練する
移動時間を考え、対応できるリハビリメニューが必要。温泉に入れる体力作り健康管理をしていく。
・長時間の移動に耐える体力・医療的な行為？
・四肢機能の把握・コミュニケーション能力の把握・精神状態、問題行動等の把握

・日常生活すべてにおいて介助が必要である。・コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
・全身の筋マヒ・呼吸、心臓機能障害・発声機能障害・全介助必要
1泊2日という、自宅以外での生活に対する課題を把握し状態に応じての対処対応ができるよう本人家族指導が必要。
・長時間のギャッジアップに対応できるように、リハビリが必要。・湯ぶねにつかる為には、介助が必要。
・長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要。
長時間の移動に対応できるようリハビリが必要。
・酸素等準備・長時間の移動に耐えられようかどうか
かろうじて電動車椅子の操作は可能。体調により、外出時の疲労感が増す為、健康状態を良好に保つ。
長時間の移動に耐えうるリクライニング車イスが必要。座位を取る訓練を必要とする
長時間の移動、長時間の車イスに対応できるように、リハビリを必要とする。
リハビリ、健康管理
長時間の移動は疲れる 体力をつける為に毎日のリハビリを行う 温泉に入りたい
食事、排泄など全般に介助を必要とするが家族、親類で対応可能か？
・胃ろうで誤嚥など逆流に注意が必要 ・温泉で気分よくなりしたい
リハビリ 健康管理
四肢拘縮があり、移動、起居動作には介助が必要
・ストレッチャー又はリクライニング式車イスの移動が長時間できる様にリハビリが必要 ・親戚に会いたい
全身の筋麻痺、発声機能障害
・移動は1時間弱であるが、褥創が出来る、等、不安があるので、医療機関等相談する
要介護5であり、基本動作も難有り。介助を必要とする。温泉に入りたい（食事介助、排泄介助、移乗・移動介助、意志の疎通、入浴介助）
車での移動にたえられるようにしたい。
安楽な体位の確保。維持できる体力・筋力をつける。排泄。
おこりっぽい。左マヒが有り、ヒザに力が入らない。
全身筋麻痺あり。呼吸状態不安定。発声不可。
旅行中急変した時の対応も予め調べておく
コミュニケーション可能。意志伝達装置利用。
車で長時間の移動に対応できるようリハビリが必要。写真を写りたい。
医療処置の有無。障害の程度。
トイレや寝室等の部屋には車イスが入り、介助が受けられる
・入浴をするのに補助具が必要ではないか。・温泉に入りたい。
全身の筋麻痺が進行している。発声機能障害。
長時間の移動。長時間の車いす座位に対応できるようリハビリ必要。
温泉までの移動キョリと体位（安楽な姿勢）の確保。リハビリを途中組み込む。
外出に対応できる体力作り。
・移動時間に対応できるよう離床促進を図る・健康チェック（血圧、体温、脈拍）・浴衣を着て温泉気分を出す
全身の筋マヒ呼吸障害コミュニケーション装置。
歩行困難な為本人の負担や苦痛のない温泉への移動、浴そうに入る手段の検討が必要
臥床したまま移動事になるためリクライニング式の車椅子を後方に倒して乗る事が出来る様リハビリを行う
ベッド上。
筋力低下。呼吸機能低下
長時間の移動にたえられる様、頭を固定する車イスを利用。外に出る事が少なかったため、毎日少しづつ外の空気を吸うため散歩が必要・温泉に入りたい
全身に及ぶ筋力低下、音声発生、心肺機能障害有り。
・長時間の移動、車椅子のギャッチアップに対応でき、痰の喀出ができるようリハビリが必要。
長時間の移動に耐えらる乗りもの、泊まり先の環境整備が必要
・全身の筋麻痺・発声機能障害・2時間を超える移動に対応できるようリハビリが必要
・30度リクライニング車イス移動で2時間に対応できりよう、リハビリが必要。
意思伝達装置を使用痰が多い、呼吸不全全身の筋麻痺
温泉に入りたいという楽しみで気分は明るくなっている。でも不安
長時間、同じ体制でも大丈夫な様、日頃の栄養管理
・体力をつける為、リハビリを行う。
長時間の移動、座位保持（車イス）（ストレッチャー）リハビリ必要、温泉に入りたい（シャワーキャリー e t c）身体状況の安定。
・長時間となる移動の方法・慣れない寝具で十分な睡眠がとれるか
経過中に人工呼吸器を利用しなければ呼吸が出来ない状況になる

残存機能を活用できる様、筋力の低下をふせぐ、リハビリを開始
長時間の移動、長時間のリクライニング車椅子に対応できるようにリハビリを要する。
長時間の移動（車椅子座位保持）と入浴方法を検討しリハビリが必要
安楽な座位の工夫が必要（専門職の助言）※身体状態に対応できる温泉施設の確認必要。
移動時の負担に備え、車イス等の選定と調整が必要、入浴の支援の検討
構音障害の為発語困難上・下肢・体幹の麻痺は重度自力での体動は困難
・リハビリ必要・温泉に入りたい
コミュニケーションは意志伝達装置が必要
長時間の移動で体に負担にならないようにしたい
・身体が大きめで同性の介護者2名は必要である・身体が浮くので注意する
・要介護5・呼吸心臓機能障害はあるか・全身マヒ
長時間の移動、車椅子に慣れるようリハビリが必要
車イス、生活すべてに支援必要、長時間にたえられる車イスか確認
全身の筋マヒ発声機能障害
安楽な体位に■なり移動しないと呼吸苦がある、車イスの工夫、マットの工夫が必要吸引機、呼吸器の点検やバッテリー、発電機が必要アンビューカ必要
入浴中に息苦しさ出現しないように呼吸筋リハビリが必要。
長時間の移動の姿勢、車いす又はストレッチャーで車で揺られても対応できるようにリハビリが必要
・長時間の移動、座位に耐えられるよう体力の向上が必要です。
全身の筋麻痺 意思伝達装置の利用
・車の乗降、移動、移乗時介助が必要
・長時間の移動、宿泊に負担がある、疲れないようにする。
移動に耐えうる体力があるか
機器管理がスムーズに行く様徹底して行く
・長時間の移動に耐えるクッションパットを使用したりリハビリをする・意思伝達装置の動作確認・通常使用する薬品物品をコンパクトにする・入浴中の安全について検証してもらい安心したい
・長時間の移動に対する体力・外泊への不安感
A L S 要介護度5
・妻が介護のほとんどを担っている・コミュニケーションには装置が必要
自立移動不可…介助者・車イス等必要。発語困難…意思伝達装置必要。
長時間の移動に対応できるよう長時間車椅子ギャッシュアップリハビリをする
長時間の移動や入浴ができるだけの体力が必要、その為のリハビリが必要
長時間の座位とギャッチアップに座っている状態のストレスの緩和
長時間の車に揺られながらの移動に耐えられるような体力をつけ体調を整えていく、車内での痰吸引などがスムーズにできる工夫、意思伝達装置が車内、旅館内でも利用でき、コミュニケーションが図れる
車椅子での長時間対応ができるか？意思伝達装置はどのセンサーを使用しているか？
・長時間の座位困難・リクライニングタイプ車イスに対応・介助で温泉に入浴できる、長時間、熱い湯不可
車での移動はストレッチャー対応
交通機関での移動にたえられる体力が必要。久しぶりに外出したい。親せきのみんなども会いたい。
・長時間移動に対応出来る様リハビリや身体機能の強化（リハビリ含）必要・温泉に不安無く入れる様な身体作り
長時間の移動に対応できるリハビリ浴衣を着たい
・安楽な体位をとれるベッド・排泄排尿じょくそうの管理安楽な座位姿勢のとれる車いす栄養管理拘縮予防のためのリハビリ
長時間の移動、車イス座位保持は難しいリハビリが必要
長時間の移動に対応できる体力が必要
・座位保持ができるよう、訪問リハビリテーションの検討・「ストレッチャーではなく車イスで景色を見ながら移動したい」
・基本ファーラー位が楽な体位・リクライニング車イスに座って過す事は可能・意志伝達がスムーズにできるようになってきている事により精神的にも安定している。
長時間の移動に対応できるよう、リハビリが必要
長時間の移動、車椅子での座位に対応、リハビリ、途中での休憩 温泉に入りたい
長時間移動等に対応できるようリハビリする
長時間での座位を想定し、日頃より座位の実施を行なう。
・長時間の移動は可能か・座位は保てるのか・その他の疾患はあるのか？
発声機能障害となってしまったが意思伝達装置にてコミュニケーションとる事ができる・筋麻痺による筋力の低下あるがリハビリは受けている・呼吸機能障害
・寝たきりの移動を克服するリハビリ・バルンの対応
・長時間の移動で車椅子でも座位の時間が長く保てるようにリハビリが必要
2～3時間の移動、チルド式車イスでの座位の確保の為のリハビリが必要。おしゃれな服を着て出かけたい。

温泉にはいりたい。シャワチェアに座位安定できるリハビリが必要
A L Sでリスクが高い
筋マヒ、発声の障害
・ヘルパーにより定期的な体位変換を実施
長時間のギャジアップに対応できるリハビリが必要
・温泉に入る事ができる様一緒に入浴する家族の介護指導を行う必要が有る。
現在の身体の管理を確実に行う事と・予想出来る苦痛（体動時、温泉利用時）場面を設定しながら負担を最少にする為のリハビリをする
意志伝達装置要介護度5
全身の筋麻痺呼吸心筋機能障害発声機能障害
主治医のOK出ているか？F aの介護力、どこに支援が必要か？
温泉地までの長時間の車での移動に対応できるようにリハビリが必要となる
長時間の座位を保てるようにリハビリを行い、リハビリの一貫として自宅で家族の手を借りながら入浴する
全身の筋麻痺呼吸、心臓機能障害発生機能障害（意思伝達装置を使用）
旅行中の体力が維持出来るよう評価、対策（リハビリ）が必要
久々の外出・外泊で長時間の移動、温泉への入浴などの体力が必要。
車いすの利用可能、長時間の移動は不安
全身の筋麻痺、発声機能障害
全身の筋麻痺 発声機能障害。
道中や温泉に入れる体力づくり。リハビリ。
ベットから車いす等の移乗を安定されるようリハビリが必要 疲れてしまうとやる気がなくなり、継続出来ない。
・長時間の座位が保持できる様にリクライニングの車椅子での座位訓練・安楽にすごせる様に意思伝達装置で伝えることができる様にする・外出への不安と喜びを汲み取り本人の外出意欲をたかめる
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害
・長時間の移動に対応出来るようリハビリを行う。
機械浴等安全設備が充実しているか。
・座位保持は、可能であるが30分程度しか出来ない
A L Sによる全身の筋麻痺コミュニケーションは意思伝達機能装置を使用
・一泊2日の体力があるか移動時間含めて
・周囲の目を気にしない配慮必要。
全身の筋麻痺（A L S）意思伝達装置利用
全身の筋麻痺、呼吸障害、発声機能障害、長い時間車いすに座ってられる様にリハビリが必要
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
車イス移動できるか。耐久性
できること できないこと 本人の気持ち 家族の気持ち
長時間の移動、長時間の車イスに対応できるようリハビリ。
・長時間移動の姿勢保持困難。・移動車椅子・発声機能障害
リハビリで座位保持と旅行用のおしゃれ着を着たい
意志伝達装置A L Sによる状態
長時間の車での移動・温泉入浴が出来ようになる為のリハビリが必要
長時間の移動に伴い体力をつける よそ行きの服を着たい
長時間の移動は体の負担になる。車での移乗移動は身体の状況から介助が必要 入浴も介助なしでは困難
長時間の移動、車いすでの同姿勢に耐えられるようリハビリをする。旅行を楽しみにしている。長男夫婦との同居で、安心感がある。
全身の筋麻痺 呼吸、発声機能障害
温泉まで移動でき、温泉にいれる体力が必要。車イス座位時間の訓練
・長時間の移動のため長時間の車イスギャジアップに対応ができるようリハビリが必要・温泉に入りたい
食行動について摂取できる食品と形態。すいみんの状態（良好なすいみんがとれる）
A L S、要介護5、排泄移動が一人ではできない
・移動に対応できるようリハビリが必要。
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。・宴会にも出席したい。・入浴をしたい。
移動時間が長いと疲れる為、対応できる様にリハビリが必要。
介助により座位等可能か 移動中の座位保持 移動手段 特殊車両の必要性 入浴時の体調管理 介助が可能か
・ベット上で過ごすことがほとんどで車いすで過ごすことがあまりない。
長時間の移動、座位に対応できるかの
移動時間が長い場合は、本人の体調を確認しながら安楽な体勢で対応できるようにする。

・身体状態に応じた、温泉旅行に参加出来る体力をつけるためのリハビリ。
介5、意志伝達装置
全身の筋麻痺 呼吸、心機能障害、発声機能障害。1泊2日の温泉旅行に行きたい。
・68才・リクライニング車・ストレッチャー対応の車・長時間の移動による負担・姿勢の保持・吸痰・衣服の着脱・排泄、食事の支援
自立して温泉施設を利用できるのか…できない部分は、〇〇さんにサポートを依頼しておく。
長時間の移動と座位保持が体力的に難しい。温泉に入りたい。
・車で2時間はかかる。・座位を維持できるようにリハビリを行う
移動、移乗は全介助 長時間の車移動時は苦痛なので頻回の休憩が必要 温泉に入りたいと思っているので浴室までの移動での負担の■が必要
全身の筋麻痺 移動時間が長いいため安楽な姿勢保持が必要。
近場で車イス対応可能な温泉場を設定。移動の心身の負担軽減を目ざす。入浴時の安全確保のためのリハビリ。
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
・両下肢にむくみがある。・車イスに何とかうつれる。
・温泉旅行にいける体力がある。
歩行でき、入浴できる身体状況である事
車の手配や長時間の移動に体がもつか先生との話し合いや、リハビリが必要
発声機能障害要介護5
・運動神経のみ障害を受け視覚、聴覚、感覚、内臓などを制御する自律神経は保たれている・人工呼吸器、胃ろう・全身の筋肉低下
近距離の温泉を選び移動の負担を減らす
運動はできなくなるが、知覚神経や自律神経は侵されない
・長時間の移動で身体が心配。耐えられる為の体力づくりが必要。
コミュニケーションが取りづらい全身の筋麻痺
全身の筋麻痺、呼吸、心臓機能障害、発声機能障害
・長時間の移動に極力支障が出ないようにする必要がある。(リクライニングの車イスに慣れる。)
全身の筋麻痺、呼吸、機能障害、発声機能障害
・約5時間を超える長時間の移動 長時間の車いすギャジアップに対応できる様に毎日日中は車いすに移乗し生活できるようにする。・温泉に入りたい。
2時間の車の移動は経験がない。車椅子へ座って長くすごす練習が必要か。長くすわっているとおしりが痛くなる→マットのレンタル?
・長時間の移動への対応・バイタルチェックの励行
・長時間の移動に耐えられるよう、移動方法の対策が必要。
・リクライニング式の車椅子を使う・自宅での入浴の練習をする
2時間の移動、長時間の車椅子ギャジアップに対応できるようにリハビリをして行く。
長時間の車移動に対応できるように、リクライニング車イスでの座位が保てるようリハビリが必要
長時間の移動、座位時間に対応出来る体力づくり体調管理が必要
・移動にたえられるか
入浴についてのDrの許可は?座位保持に必要な時間宿泊先の食事はどこまで食べられるのか。車イスでの移動は可能か必要な体交の頻度
・長時間の移動や山道の曲がりくねった道などに支障がない様対応が必要
要介5なのでほぼねたきりに近い
・長時間の移動のためリクライニング式の車イス
長時間の移動に対応出来る様、体力の向上が必要。温泉に入浴したい
食事・排泄は一部介助があれば出来る。移動は車椅子介助が必要。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
温泉旅行に行き、温泉に入って楽しむ体力をつけることができるか
長時間の移動、ギャジアップ、車椅子に対応できるリハビリが必要
・車で移動もリフト車で移動は可能・入浴は浴槽出入りも親せきに手伝ってもらって可能と思う。シャワーキャリーの用意
・温泉での入浴を踏まえ、身体が固定できるシャワーチェア
・全身の筋力麻痺がある為長時間の車イスの座位、移動が安楽に出来る様リハビリが必要。・温泉に入りたい
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるように体力が必要。
座位時のバランス訓練座位時間の延長のための訓練。装置がなくてもコミュニケーションがとれる方法を練習
発語できないため意思伝達装置で意志を伝える
長時間の移動、慣れない寝具等に対応できるか?
全身の筋マヒ 発声機能障害 泊まりがけの外出は15年ぶり
・2日間の行程なので長時間の移動に耐えられるようリハビリが必要

宿泊先のベッドはギャジアップでき、意志伝達装置を置くことができるか。入浴環境はどうか。
長時間の移動が苦痛なくして頂けるよう車イスなどを見直す。本人の症状の確認を行う主治医からの注意点を行う
性格は明るく片マヒであることを気にしていない。残存機能をふるに活そうと努力している。リハビリを行っている。
・座位を調節できる車イス、それに対応できる車輦が必要。・前日から排便コントロールし途中便意による座位不安定を招かないようにする。・旅行を楽しめるか心配。
手足の動作の程度、呼吸器の障害、出来る動作は？理解力
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害
浴そうに入れるように、リハビリが必要
温泉での動き。自力での入浴時運動ができず、介護者の安全も必要。
1泊2日の外出にて長時間に対応できるようにリハビリが必要・入浴できる楽しみ。
筋麻痺のため、長時間の座位は難しい
車の移動に慣れる必要がある
全身の麻痺状態 医療行為の必要性
車などでの移動、車イス座位が保持できるよう、リハビリが必要
全身の筋麻痺。誤嚥の危険
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
近くの温泉場にする事により、身心の疲労感を和らげる
・コミュニケーション困難意思伝達装置利用・食事摂取方法一経管瘻が多い
・1泊2日の旅程に耐える体力向上、耐久性向上を図る・コミュニケーションを図る為の装置利用について親族も周知が必要・温泉に入りたい
全身の筋麻痺 意思伝達装置 痰吸引
2時間の移動に車椅子座位保持及び列車での休けいに対応できるよう日頃からのリハビリが必要
温泉に入れるために車椅子座位で過ごせる時間を増やす。車椅子に長時間耐ええるためにリハビリの実施
身体、心の状態
・ALSあり、介助必要・自分では動けない、ねたきり・コミュニケーションは可
車での長時間の移動や浴槽に入るための用具介助人が必要。温泉に入りたい。
長時間座位、離床に対応できるリハビリが必要・一般浴槽に入りたい
長時間の移動、入浴時の負担がある
・立位はできるのか。長時間の座位はできるか、車での移動になると思うが、乗り降りはどうするか
移動がどのような体位で行うことができるか。本人の体力面についての主治医の意見を聞き、それに沿って外出の訓練を行う。
(+)尿意あり、感覚障害なし→痛み訴え可 (-)誤えん、息切れ、坐位保持困難、易疲労性(↑)
長時間の移動に加え温泉での衛生面など身体に対する影響を確認することが必要
入浴時の座位の介助が必要 身体に負担を掛けず、また切開部分がぬれないように配慮が必要
同一体位で疲れない様メンタル的にも自主性や楽しい雰囲気作り、必要と共にマッサージなど取り入れて行かれる方向性も希望。
ALSの為、人工呼吸器は常に必要。緊急時の場合の対応。
長時間での車の移動や座位での宴会等に対応できるよう、リハビリを含め、調整していく
・移動・温泉に入れるよう体力をつける事が必要
・旅行に行きたいと意欲的・長時間の移動・普段と違った環境で過せるようリハビリ必要・入浴可能な時間の長さ・入浴の仕方一般浴へ入れるのか？
意思伝達装置の操作に時間がかかる。長時間の移動は行ったことがない。→リハビリが必要。飲みこみが悪くむせこみあり
医療関係者と連携
・長時間の移動、長時間の車いすに対応できるようリハビリ必要・リラックスできる服を着たい・入浴後は十分な水分補給をしたい。
週一回の訪問リハビリメニューをこの日に合せたものにする。ギャジアップ、車イス時間の延長
長時間の車移動のため、長時間車イスでの座位保持や振動のため疲労があり、途中休けい等が必要で、体調管理が必要。温泉に入りたい
・温泉地までの長距離の移動、温泉に入る為のリハビリが必要
筋力低下予防のリハビリ必要
・移動時に体調不良なくすごせるよう移動手段の方法に慣れる。・かかりつけ主治医に相談報告
・旅行先への移動に本人が耐えられるような方策(体に負担をかけないような車イスを準備。毎日座って長時間座れるようにする。・急変、機器のトラブル等の緊急時のバックアップ体制を整える。
長時間の移動に対するリハビリ温泉に入る時の呼吸の確保
要介護5
移動時間が長時間と旅行先の居場所が異なり不安感を取り除き、車イス介助ができるように練習をおこなう
温泉までの距離・時間に対応できるようリハビリが必要。
片道2時間程度のため、車イスの座位時間に対応できるようリハビリ中

A L Sで全身麻痺。発声機能障害
長時間の移動、座位に対応できるようリハビリが必要
・長時間の移動に対処できるよう車いす上にて座位保持のリハビリが必要
・左半身マヒ・移乗、移動に介助が必要・認知症
小柄なので比較的介護しやすい
・A-E間を補えるのか、補えないならどんなサービスが利用できるのか
・長時間の移動に対する車イス、車の準備。・宿泊先に寝台があるか。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
意思伝達装置による会話が可能文字盤や合図により会話が可能。吸引リハビリが必要ではある。r身体リハビリが必要で維持している。人工呼吸器による呼吸ができています
食事、排泄、移動に介助が必要
主治医より、紹介状を頂き近くの病院でも対応がして頂ける安心などの考慮、本人も家族も体調管理をして、異常を感じたら無理をせず対応する。
車いすギャシアップでの長時間の移動は難しい。久しぶりに外出着を着用
M r s c l e a t r c p l y ・呼吸管理・上肢機能…頭部コントロール
・長時間の移動に対応できる対応
・A L S ・経管栄養・寝たきり・エンゲ障害・発声機能障害
・外出方法は何かを利用するのか・長時間の移動に耐えられるリハビリが必要
・車イス対応の自動車移動可能
長時間外にいるため負担が大きい
・移動に際し対応できるか
車イスのセレクト、移動手段に耐えられるか等、再度心身のアセスメントをする
近郊の温泉旅行、移動時間車で約1時間であるが、旅行に備えて姿勢矯正と呼吸訓練のリハビリを継続する。(過労にならないよう短時間の訓練と休息をよりながら)
1泊2日での移動に対応できる様リハビリが必要となる。皆と温泉に入りたい。その為妻の協力も必要となる。
温泉までの時間がどれだけかかるのか、体位が続けられるか。
自宅から温泉までの移動時間の確認し、安楽な方法で移動出来るよう配慮する。
・体調変動時の対応が行えるように医療体制を整えることが大切・慣れないところでも入浴をしたい
コミュニケーションは意思伝達装置が必要。車椅子、ギャジアップベット上の保持能力の確認必要な能力の維持向上を図る
頭部のカラーを使用して座位保持のリハビリ。温泉に入りゆっくりしたい何をしたいか訴えをきく
心機能維持の為定期的なデイケアの利用が必要。
車内での意思を伝える機器の点検をしておき、車と車イスの点検もしておく。薬や服装の準備も大切。
・4時間位座位保持できるよう、リハビリが必要・皆と共に温泉に入りたい
・寝たきりの状態・温泉に入りたい
・長時間の座位、移動に耐えられる体力か
長時間の移動、長時間の車いすギャジアップに対応できるよう、リハビリが必要。
・医療的装置を使いA L Sを維持していく。(対応がどの程度できるかが問題)
・移動時間による疲れや痛み等出現時の対応が必要。・温泉に入りたい。
移動時、車いす等長時間乗るため、リハビリ必要、嚥下訓練
・痰の吸引が瀕回に必要なので、移動時間はできるだけ短く1時間以内に。・車イス移動に慣れるよう、リハビリを続けていく・夜間
・痰の吸引が、移動中もできる様にバッテリータイプの吸引器を携帯。・クッションをいろいろ持っていき、車いす上での苦痛を軽減
温泉に入る為に、旅館の風呂の形状で、本人動作とすれば何が必要か？
全身の筋麻痺 発声機能障害 呼吸・心臓機能障害(?) 吸痰などある!
座位訓練にリハビリ。介助訓練にリハビリやN sによる指導が必要
腰部脊柱狭窄症(歩行不安定) 糖尿病性網膜症及び腎症(視力ぼんやり見える)
・長時間の移動に留意・入浴等についての医師の指示・環境の変化に耐える心構え
移動に関し、呼吸抑制しない体位での工夫 車いすの選択が必要
要介護5
全身の筋麻痺、発声機能障害
長時間の移動車イスのギャジアップに対応できるようにリハビリが必要
全身の筋麻痺呼吸・心臓機能障害発声機能障害
長時間座位で大丈夫なのか?入浴時の付き添い、バイタルチェック、緊急対応のチェック
リハビリ
ストレッチャー・車イス対応できる、車にて移動
全身の筋麻痺 呼吸・心臓機能障害 発声機能障害

・約1時間半程の移動時間対応できるリハビリが必要。・移動中の状態について、リクライニングの車イスなのかストレッチャーなのかの検討必要
・経管栄養である。・午前中くらいは車椅子です。・体の抵抗力が弱く感染しやすい・マヒ硬直がある
全身の筋麻痺呼吸、心臓機能障害、発声機能障害
長時間車イス移動による疲労増加
・移動時の体調の変化・座位が長時間はむずかしいかもしれない
長時間の移動に耐える体力つくりと温泉に入れる体力を維持できるようリハビリをする
音声での意志伝達が出来ない 話したい気持ちを抑えるのが難しい
1時間以上の座位になると首を支える。リクライニング式の車椅子に寄りかかる必要がある。長時間座位の練習。
移動時の体調の変調に不安あり。入浴後の体調、入浴の方法検討。
・全身の筋力が弱く、自分で動く事が出来ない為全介助
車等での長時間の移動と座位保持は可能か？入浴はどの程度の介助で入れるのか。
車椅子乗車可能ではあるが長時間の座位は現在行っていない。・他全身の筋力低下あり。
・温泉に行くまでの長時間の移動。お湯につかれるまでの体力長時間の車イスギャッジアップに対応できるよう、リハビリが必要。温泉に入りたい。
車イスに何時間座位ができるか移乗時の意志伝達装置の管理、入浴時のコミュニケーション方法を事前に確認しておく
温泉地で温泉や車イス観光を楽しめるよう、長時間の座位保持練習が必要。
進行性の難病
要介護5 ねたきり 発語ができない 経口摂取ができない 胃ろう・リクライニング車いすに乗ることができる
座位での血圧、脈の変化がないか訪問看護を入れ観察
全身の筋麻痺。発声機能障害。嚥下機能障害
・移動には、チルト・リクライニング機能のついた車イスを使い、楽に過ごせるようにする。・言語トレーニングを旅行に向けて行う。
ほぼベッド上での生活か？
現地迄の移動及び温泉旅館内入浴時の介助が必要。人手と物品の確保要。移送方法の工夫要 呼吸管理全身管理が必要 事前の家族への指導要
全身の筋麻痺 呼吸、心臓機能障害 発声機能障害
・全身の筋麻痺。意思伝達装置を利用。・体力の低下で疲れやすい。座位保持訓練の実施。・認知症
温泉は片道2時間の場所に決定 車内リクライニング式車椅子を使用クッション等の活用
日中の活動性UP拘縮予防のためにデイサービスを毎日利用（月～金）立位は支えてできる 歩行できない
全身の筋力低下 発声機能障害
・ADLの状態・全身の筋麻痺、呼吸、心肺機能障害・移動方法の検討ー疲れにくい方法。
戸外に出る機会を持つように車イスギャッジアップに対応できるようリハビリ等行なう
温泉に入れる、血圧等バイタルかくにん
・離床時間を増やしていく・補助具の使用・リハビリが必要
一日1回手足のマッサージを妻が行っている。ホテルの浴衣を着たいと希望してる。
・発声機能障害・長時間の移動ができるようにリハビリが必要・温泉入浴が可能な体調管理・誤嚥事故を防ぐ
移動方法の確認と時間ルートの確認で負担の少ないスケジュール作り。
リクライニング車イスで5時間程座位を保つことが出来る。
通常の生活ではどれ位の間かくでギャッジアップをするか
ALS 生命にかかわる看護ADL、生活全般に介護が必要な状況
・移動や温泉宿で1泊する為のリハビリが必要。
・現在の状態安定度・留意すべきところ。
長時間の移動に耐えられるか。体に負担のない方法は？
長時間の移動に慣れる
ALS 意志伝達装置
座位が長く保てるように練習していく 体調に気をつけていく
全身の筋マヒ 呼吸・心臓キノウ障害 発声キノウ障害
移動、長時間の車イスでの座位に耐えられる機能が必要
・車での移動ということで、少しでも安楽に負担の少ない体位を確保・車移動による普段とは違ったゆれや体位の負担が考えられる為、リハビリで少しずつ動きなどに慣れてもらう
・旅行に行ける体力の維持、向上・リハビリが必要
全身の運動障害（呼吸・心臓・発声等の機能障害）
・全身の筋麻痺・発声機能障害
・1泊2日の旅行での移動に対応でき温泉に入るためのリハビリが必要。
温泉に入るのも移動にも体力が必要。リハビリする。
入浴時安定した立位を取るためにリハビリが必要。温泉に入りたい

長時間の移動、長時間の車いすに対応できるよりリハビリが必要。えん下訓練も必要（宴会料理が食べたい）
・長時間の移動に耐えるように心身ともにリハビリが必要
往復4時間をこえる移動にたえられるようリハビリが必要
旅行中の心身状態の確認。普段の状態の把握
・片道1時間であるが、本人にとっては初めて（発症後）である。本人の不安はある。どのようなことをしたらよいのか、支援者達に教えてほしいと思っている
移動時の方法を考え必要なリハビリをする。
・長時間の移動に対応出来るよう座位時間を増やす
2日間の移動は介助車で行く。移動や車のしんどうへのリハビリが必要温泉のユカタが着たい
全身筋麻痺、呼吸障害、発声機能障害、考える力はあるが伝えられない。
長時間の移動に対してギャッチアップできる車椅子を使用。救急病院等の確認
全身の筋麻痺。呼吸・心臓機能障害。発声機能障害。長時間移動のためのリハビリが必要
旅館の風呂に入浴したいが足が上がりにくい。少なくとも2名の介助が必要。
全身の筋麻痺（温泉入浴の際、貸切りでないとき妻の介助ができない）発声機能障害（伝達装置を常にそばに持参する必要がある）
自立では体動不能
長時間移動、座位に対応できるか。リハビリ必要。起き上がり等でギャッチアップ必要。移乗全介助。入浴全介助
・体力的に問題はないのか・座位はどのくらいとれるのか・温泉に入りたい
全身の筋麻痺 発声機能障害
・長時間の車の移動。・リクライニング車いすに慣れる
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
同じ姿勢でどの程度座位が保てるか。リクライニングを利用しながら移動時可能になるようリハビリする。入浴の希望あり
どこかに行きたい。温泉に入りたいという気持ちが、どこか心身機能に効果がある
・長時間の移動に対応できるよう、車イスへのスムーズな移乗等の事前のリハビリ必要
注意事項の指示
・麻痺・発声できない・寝たきり？
寝たきりで嚥下反射が低下 誤嚥性肺炎を起こしやすい 寝がえりがむずかしい状態 認知症あり
長時間の移動に耐えうる体力が必要
宴会の席で参加できるよう車での移動や車椅子での座位が保てるように、体力の向上や安定を図る為リハビリが必要
温泉での入浴の方法。福祉用具などの使用は可能か。
一泊2日の旅行に備え、体力を維持。・宿泊先での緊急受入れ先・主治医に健康面の相談。
長時間の移動に対応できるよう座位保持のための車イス（ティルト）リハが必要
・自宅以外での宿泊や入浴環境の変化への身体能力の適応を評価していく必要がある。
全身筋麻痺。呼吸、心機能障害。発声機能障害がある。温泉旅行が体調に負担なく行けるための体調管理
・健康管理面でサポートしてくれる人の同行・リハビリを行い、体力をつける
車での移動を考に車椅子使用に慣れる、リハビリをする
移動キョリの負担車イスでの移動が可能か？（入浴しせつなど）
・長時間の移動に対応できるようリハビリが必要・温泉に入りたい
・温泉地までの長時間の移動長時間の車いすに対応ができるようリハビリが必要。・おしゃれして出かけた
・発声機能・意思伝達装置利用
A L Sによる全介助
車での長時間の移動。車いすに対応できるようにリハビリ必要
・長時間の車イスでの生活ができるようリハビリが必要。・食事、入浴排泄に必要な、自分でできる事をする。
・車椅子での長時間の移動が負担となる為、座位保つリハビリ要する・親族と同席で食事し、シャワーキャリーで入浴も楽しみたい
全身の筋麻痺。発声機能障害。コミュニケーション障害。外出し宿泊できる温泉に入りたい。入浴時の体調管理。移手段の確保により安全に移動できる。入浴時の一連の動作の安定
・発声機能障害・マヒの状況はどうか？→温泉地までの移動→座位が長時間とれるようリハビリ訓練
日常生活における状態。出来る事出来ない事
車イスの活用
・全身の状態、伝達能力。・精神的ストレス

問9 【C 活動】

(在宅療養支援診療所)

・行く前に炎症を抑える。・宿泊先での受け入れ（医療機関も含め）体制・温泉での入り方の検討
移動について検討
全般に支援
挨拶
旅行
W/Cは使用可かどうか
宿泊施設への事前の調査と依頼
装置の十分なる点検
介護サービスによる活動
ギャップをうめることのリハビリ及び、介護の支援力
入浴するときの、障害者のための浴槽の準備、入浴の確保
長時間の座位を保てるよう日々座位の時間を増やしている
あつまりへの参加（しゅみ、同好会など）
日常での座位時間を長く楽に保てるよう活動時間を長くしている。
座位を保てる様リハビリをup
ALSのための車イスを用意
入浴中の全身管理は？
ALS、要介護5では殆んど歩けないのではないかと思います
人工呼吸器の有無やO2投与の有無などがわからないので管理できない
どのような姿勢を取れるか要確認
・自宅での入浴時の状態時間・移動の際の体調管理
×
・車での移動になれるように身体上、精神上の問題を解決する。・リラックスできるよう、周囲との意思疎通を心がける
屋外で過ごす時間を少しでもふやすようにしている
排便（ポータブルトイレ）食事（摂食状況）
可能なことを無理しない。
ベッドに常時臥床すべての動作に介助要
？
入浴にて心肺機能の低下がないか事前にチェック
移動や移乗の練習（本人及び介助者とも）
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行
家族のモチベーションの程度
終日臥床、長時間の座位は困難
不確定
長時間の座位が保てるように座位訓練必要。温泉にはいる訓練も必要。
家族内でも立場があり時間を共有できる
つかわないようにする
長時間座位が安楽に保てるより、座位の時間を増やしている車で移動する時間を増やしてやる。
温泉入浴の段取り
休みながら目的地へ移動する事が必要
移動時のケア（体力的疲れ注意）
背もたれ付イスで座位を保つ事ができる様練習をしている
家庭での生活
移動時座位を長時間取るなどが可能か
移動ベッド■
・長時間座位を可能となるよう少しずつ訓練・屋外での散歩、移動時間を増やす
日記、メール
・温泉の湯にたえられる様に家のフロアの温度でならしている・座位持続が出来る様にする
親戚一同交流 長時間の座位が必要 屋外での移動、座位保持時間を増やす
出来るだけ車椅子で野外活動
全面介助、できることはなるべくやらせる
旅行先への事前準備する。
温泉旅行

装置により意志伝達
・温泉旅行・入浴
長距離移動中の休み時間確保について検討しておく外気にふれるとセキ込みが生じやすい姿勢保持能力のレベルup
？
全介助では困難
意思伝達ができる装置も持参する
要介護5では自分で努力するのは精神面しかできない。身体的なものは全て要介助であるから。他動的なりハビリにはガンバります。
時々、旅行したい
意志伝達装置を使うコミュニケーションを増やしている
・親戚との旅行を楽しむ・会食等に加わることが可能であれば輪に入る・可能であれば入浴
人手はあるのでなんとか出かけられそう。
長時間の座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やす。屋外での散歩や移動時間を意図的に増やす。自宅での入浴を試してみる。
移動、宿での入浴、食事、就寝、等に備えて訓練、演習を
ほとんどBest上生活
移動に要する機具、人員費用などの分担、計画訪問先の調査、受け入れ状況、何人で協力体制の有無の確認
長時間のリクライニング式車イスでの苦痛をどうするか？
公共の交通を利用するのがベスト。しかし車でも可。
車での移動のトレーニング
・コミュニケーション方法・日常の生活状況
日々入浴で、からだ慣らし。
長時間の車移動 温泉入浴に対してリハビリが必要
座位保持時間の延長、移動訓練
本人も積極的に旅行に参加する気持があることの確認
妻の負担をへらす
長男に介護能力をしっかりとつける
日常生活以上の事はできない
移動中は頻りに休みをとり、本人の体調の変化を確認、食事は普段と変わらないように（窒息に注意）
温泉旅行に夢を持っているそのためなら座位の時間を増したり、車での移動を練習したりしている。
移動の際の電源、食事の手配は？
座位時間の確保 外出離床を増やす
温泉入浴時の介助
排便、排尿、食事に注意
過度な身体負担にならない様見守り要。
入浴時の介助 トラブルへの対応
移動時の安全確保。妻と親せきの介護分担（体変、吸痰、着かえ）
パソコン、メールで友人関係を作っている。福祉についての知識、障害者運動へ関心強い
介助にて入浴、移動が可能かどうか
移動（座位）が安楽に保てるよう、座位の時間を増やす。
・長時間の移動でもつかれないようリハビリすすめる・旅行先の有事の際の病院を確認
トイレの問題 コミュニケーション
・すべてのADLについて介助
補助のスタッフが必要
呼吸状況 筋力の状況の調整の為に栄養や感昌などの感染症に備える
風呂に入る練習、座位の訓練、介護者になれてもらう
・食事摂取困難で流動食。・移動は車椅子orストレッチャーを要する。
排便、食事）介助 入浴介助
ふだん車椅子使用。ポータブルトイレを使用しているが、旅館のトイレを使用できるか？息子、妻が介助予定、簡易トイレを持参して行く問題点（今回の旅行も、本人の希望によるところ多く妻、息子夫婦の息抜きにはならない）
食事は、とろみ剤をもつてく。呼吸の楽な姿勢で移動させる。
長時間座位が保てるよう、日々座位の時間を増やしている屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
座位を保てるか、意思伝達装置は移動可能か。
電動ベッドで座位にして長時間座位ができるようにする。介助で移乗移動し、屋外にでる練習をする
・車内でも吸引が出来るよう、また、万が一の気切カニューレトラブルに対処出来るように、妻をトレーニング。・異常時は瞬きするなど、本人とサインを決める。

ゆったりとすごせるように起位の時間を増やす
座位の練習
移動に耐えられるようリハビリを実施
外出機会をふやし、車での移動になれる
座位時間を増やす
座位や移動の訓練
長時間座位が安楽に保てる様に坐位の時間をふやす、屋外への散歩をふやす
自家用車の助手席。弁当持参。トイレ（ポータブル）
スタッフは確保できるか？施設のうけ入れは？
・デイサービスなどの利用で車での移動には不安がない・インターネットで温泉地の情報に触れている
自立歩行不能
親族の介助で一泊2日の旅行は充分楽しめる
座位の時間をふやす入浴や介助・時間をふやす
・意志伝達装置をもっていく・入浴の確認リフトなど
ゆっくりお湯に入れたという感覚を大切に宿泊の過ごし方、他の宿泊客からの視線も異和感をもたれないような関り方を考えておく
自宅で入浴時間を延長する。又は頻回に入浴する
長時間移動に対して屋外で散歩、移動の時間を増やす（練習）
読書好き。最近ではガラパゴスを使用する。車椅子に乗り、他操でよく外出する。
・ねたきり状態から・bed上での体位変換は・座位は保てるか・車椅子の型態は、移乗にかかるスタッフの人数
歩行器等で移動可、屋外での散歩移動時間を増やし力をつけている
・意思伝達装置の使用法について、親戚にも指導する。・屋外での散歩の時間を増やし、旅行中も外の空気に触れたい。
可能な範囲なら可とする
リハビリ
・普段入浴時の動作、作業を家人と確認・乗物への乗降を想定して、近場への外出練習をする
家族の支援がある
台所に行って、ヘルパーに指導し、家族のために自分の意見を出して係わりを持ちたい。このため週2回程度車イスが台所へ行っている。
座位を保つ時間を増やす。
座位可（短時間）
1泊2日の温泉旅行どれ位の移動時間にたえるのかの事前確認。
・意思伝達装置による妻とのコミュニケーション・新聞や読書への意欲
座位の長時間
筋力をつけるためリハビリ
要介護5なので家内での活動状況の確認
車椅子、外出支援の利用
介助により移動できる
夜食の宴会時途中で切りあげられるように配慮する。タバコを喫わせないようにする。あまり子供がドタバタしないようにする
複数のマンパワーを要する
・全介助（要介護5）・コミュニケーションは意思伝達装置で可。
意志伝達は可能
下肢の筋トレ？緊急時の対応可能な病院や医師の確保
社会参加。家事、家庭内作業。社会活動。
・車なら寝台付き・列車なら長時間坐っていられる様座位時間を増やす
意思伝達装置を活用する
温泉に慣れるよう自宅で入浴。
湯舟につかれるかどうかかわからないが、屋外での座位、維持の時間を伸ばしている。
排便（薬物、介ゴが必要）食事（介助が必要）意思伝達（装置の利用）
慣れぬ場所での機器のあつかい
移動手段 食事（胃ろう）
不問
・日常生活の様子は？・趣味等は？
定期の外出目的にも通所リハなどの維持期リハを利用。他者との交流をはかる。
・1時間程度の車での外出は日常的にしている・訪看と家族による介助で自宅の浴室での入浴をしている。
長時間の座位の保持と外出、移動を行い可能か確認

長時間の移動が可能となるよう1～2回は行ってみる
・長時間の座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やしたり、リハビリを取り入れている
全介助状態
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位時間を増やしている
屋外に出て身体を慣らす。
・入浴時間は普段短めにしているが、温泉に備えて少し長めに、浸かって慣らしている・長時間の移動が楽にできるよう、屋外での時間を増やしていく
・家族同伴で外出する機会を作っている。
体力増強のためのリハビリ コミュニケーション能力の向上
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
毎日の生きがいとしての仕事、活動
日々、ギャッチアップを試みて長時間体位が保つように訓練する。屋外での散歩を増やしている。
移動は座位で時間が長くなる日中座位保持時間を長くする長男夫婦と機器の取扱いに習熟する練習。
軽い腰上げ動作が出来るのでADL維持及び拡大が出来る様に1日数回腰上げ運動をしている。車椅子での外出の機会を多くし、意欲の向上に努めている。
長時間の移動に耐えられるよう、座位の時間を増やしている。・入浴介助を家族も行う。
1泊2日の温泉旅行
チルト・リクライニング可能な車椅子、コミュニケーション伝達装置の持参が必要。
長時間座位が安楽に保てる工夫をしている 温泉に入浴する為自宅での入浴で意思伝達をはかれる様に工夫する
ADL IADLの評価 認知症
座位が安楽に保てるように、座位の時間を増やす。入浴時間を伸ばして入浴に適応しておく
長時間座位が保てるように入浴動作の練習をしている
屋外での散歩、移動時間を増やしている
入浴装置の工夫が必要
呼吸状態を把握し呼吸リハビリを実施し吸引をしやすくする
心肺への負荷、それを高めるためのリハビリを増やし、散歩などを意図的に多くする
・長時間の移動により安全安楽に移動ができるよう屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
温泉に入るといふ目的を達成するためその介護をする人と手段方法を予め充分検討する入浴時間、湯温についてもチェックする
温泉旅行まで、近場の外出をし慣らしている。リハビリを強化している。
在宅で療養生活
日常の座位保持や、食事の際のギャッチアップの時間の延長などをはかっていく。
・車乗車に慣れておく
寝たきりで食事、排泄着替え等には介助を要する妻だけにたよれないので、親戚に役割分担をしてもらう
・長時間座位が安楽に保てる様日々座位時間を増やしている。屋外で散歩・移動するなどの時間延長している。
ジャッキアップの時間、車イス移動等の時間を多くとる
シュミレーション必要
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用・ADL（食事 排便移動
親戚一同1泊2日の温泉旅行
座位の状態でも楽な方法を取る普段より移動の時間を意図的に増やしていく
車イス コミュニケーション装置利用
座位を保たれる時間を増やすようにする。
会食：親戚一同との会食もテーブルにしてもらい、車椅子のジャッキアップで同席し妻の介助があれば会話にも何とか参加できる、入浴：息子が支えていれば一時的に入浴用の車椅子も使用可能で湯船にも入ることが出来る
実践的なりハビリ
交通手段は
少なくとも座位で1時間、耐えうる様、屋内外での散歩、移動時間を毎日訓練により少しずつ増やしていく
排便ができない。ポータブルが必要（夜間）
リハビリ強化し体力の保維増進に努め入浴回数を増やし慣れておく
日常時に座位時間を増やす。外出をする。入浴介助の練習。
コミュニケーションのみ？旅行への移動法、急変時の対応
電動車イス利用、介護保険による介護タクシーの一部利用 長男、妻の介助
意志伝達装置を用いたコミュニケーション 電子メール インターネット} などを利用した社会参加 趣味の活動
コミュニケーション＝意志伝達装置経済力（年金）。妻の精神的支柱になっている。
入浴中もせめて決ったパターンだけでも意志疎通がはかれるよう工夫している。
意思伝達には、機械必要車イスの時間を増す

日頃から、温泉入浴に対してのリハビリ
主たる介護者は妻で装置を利用し、日常生活を送っている。
1泊2日の温泉
参加者がどのように援助の仕方を考えているのか
パソコンで絵を書く
・移動方法を選択（時間、介助法など）
・長時間の移動が安楽に保てるようリハビリを行う。
車椅子を用い屋外に30～60分居られるよう体を徐々に慣らしていく。
・ベッド上（or車イス）生活・コミュニケーションは意思伝達装置が必要。
疼痛緩和のための支援をし、ADLが何とか保てるように支える。
・宿泊場所での入浴を設定して介助方法・手順をシュミレーションする・なれない環境での不安や想定される事に対する対応についての打合わせ・旅行に対する注意事項etc主治医へ相談・必要物品の確認・装置の点検
・対話による脳フ活・受動的体位変換による褥創予防等
長時間の坐位。外出の訓練など入浴の練習。
・長時間坐位の訓練・入浴の練習
・移動する手段・介護力の確保
外泊と外の移動に耐えられるよう散歩 移動の時間を増やす。
外出先でのトラブルに対応できるよう、妻への事前レクチャー。妻もリフレッシュできるよう、長男夫婦へのレクチャーも同時進行。
長時間車での移動や公共交通機関の利用を試みる。
移動介助のシュミレーション宿泊先の受け入れ体制の確認。緊急時搬送先医療機関の確保
・車イスでの座位保持の可能な時間・吸引器の必要性
旅行に参加する人数の調整。最低介助者が4～5名は必要なのでは。
ADL状況
コミュニケーション 家族旅行（親戚一同）
座位が保てる様離床時間を少しずつ増やしている
移動時間。温泉での過ごし方。入浴時はどのような介護が安楽、安全か
意志伝達装置での活動、ブログでの自己表現へ
一日の生活動作は、食事排泄の状況
気力を充実させて体調を整えて行きたい
左記欄、記載事項に要件を充たすよう予め準備有能随行員とともに訓練する
・全介助のお客様が温泉利用可能か調査する必要あり・長時間の移動に出来るだけ安楽が保てる工夫をする必要あり
長時間の坐位が保てるように練習
サービス提供者（プロ）が日常していることを家族一同でやれるように訓練しなければならない
入浴が呼吸状態の悪化にならないか入浴の練習、座位で移動時間を増やしてなれるようにする
温泉に入る際に車イスを使うのか
日常動く様につとめる
意思伝達装置
長時間座位を保てるよう、毎日車イスに乗る練習を始めた。お尻の皮疹が悪化しないよう車イス乗車前後で皮疹の状態を確かめている。久しぶりに会う親戚の伝えられるメッセージを書き溜めておこう。
・長時間坐位で転での移動を目標に座位時間を延長している・排泄についても時間で可能な様に訓練
上肢はあるていど動くので、積極的にリハビリをしている。
これまでも外出はよく行っているため家族も対応になれている。これまで外出は好まれなかった。外出に対して不安がある。家族もなれている。
・コミュニケーション状態・ADL状態
坐位訓練 入浴時の問題点の点検
旅行先への移動温泉に入りたい。
座位時間の延長。排便、排尿はおムツ
普段の入浴でも湯船に入っているように訓練。熱いのが苦手か等確認。
旅行に行くまで、座位の時間を増やす。散
移動中の休憩が大切
・普段の生活状況
理学療養士の評価後移動に耐え得るようリハビリ計画。
移動じは車イスベッド（ストレッチャー）？
車イスでの移動。外出などを試る

(在宅療養支援病院)

・週1回、ボランティアに協力してもらいながら、車いす用機械浴をはじめた。・メインマシンは、旅行に持っていけない為、外出用サブマシンを準備し、使い馴れるように練習している。
・可能な範囲のセルフケア実施・意志伝達装置の操作
入浴の動作介助、医療処置をする人はいる？→自費で看護師を雇うか？（いつもの訪問看護師に相談する）もともとお風呂好き
■症療法と介護が中心
・長時間座位が保てるよう、ギャッジup時間をふやす・屋外散歩の時間をふやす
温泉に入りたい。家族旅行に行きたい。定期の受診。
長時間の座位が安楽に保てるよう日々の座位時間を増やす。屋外での散歩、移動する時間を意図的に増やしている。
参加する意欲がある。みんなの力をかりたいのでその気持ちを伝えることができるか。

(臨床研修指定病院)

意欲的に生活しているか
意思伝達装置が必要、一泊の前に普段の外出でなれることが必要、食事、排泄面での問題は？
家族の行事に参加フロに入る。
温泉への入浴
座位の時間をふやし、歩行移動の訓練中
座位を保つ時間を増してみる
意思伝達方法は伝達装置が必要
温泉旅行に行き入浴する。
・入浴後ゆっくりできるよう、脱衣所にサポートを置く。・日々の入浴でつかれる時間を計測しておく。どの位が目安か自分でも分るようにする。
・長時間座位が保てるよう座位の時間を増やしている
・1日の生活パターンの把握、坐位でいる時間、移乗時の介助方法、食事時間。・最低2～3時間坐位を保つ工夫。
長時間の移動に耐えられるよう、散歩や外出の機会を増やす。
・長時間の移動に耐えられるよう、訓練する・物品の確認を家人が行っている
・車イス座位の保持時間を長くする←どの位の時間可能か・どのような状態で入浴可能か
急に1泊旅行にしないで外出して日帰りはどうか
普段はベッド上で寝て過ごすことが多い。ギャッジアップでテレビを見たり、会話を行うのを日課としている。週一回デイサービス利用し外出している。
・旅先で各地を廻るためコースを入念に練る。・各施設が車イスやストレッチャーに対応しているか抱付→本人、協力者、介助者が行う
・要介護5度でほとんどベットでの生活・温泉旅行のためにリクライニング車椅子乗車練習
長時間座位が保てるよう、日々の座位の時間を増やしている。
車いすでの移動は（リクライニング）可能。介助で数歩は歩ける。安定性はない
・一泊旅行に行ける様ベッド上での座位時間、車イス乗車時間を増やすようにしている。
1泊2日の温泉旅行、趣味、楽しみ活動性の低下
・車いすの坐位保持はできるが、移車の介助は必要

(訪問看護事業所)

日中座位を増やし、又旅行と同様の手段で移動を試みる
できるはんいのみ行う、むりしない
家族と共に温泉へ入りたい
思いきり活動枠を開けられるよう、話し合いを行う
近い所にする
1泊2日の旅行が楽しめる様に必要なことを考え、それに向けての練習（イメージトレーニング含め）、リハビリを行う
車イス乗車時の座位訓練を行なう
ベッド上安静で座位はとれない。「でんのしん」が口唇の動きでようやく使える
乗り物は、何を使えるか、温泉の施設（階段・Bed・トイレ）
・自宅内での座位や通所サービス等で、日頃より活動性を高める。
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩・移動する時間を意図的に増やしている。
昼間はなるべく車イスですごすようにしている
・長時間座位が安楽に保てるよう日々の座位時間を増やす。・屋外で散歩、移動する時間を意図的に増やす。・入浴の湯温等、温泉地の温泉に対応できるか、湯の温度の検討をする。
温泉には入りたい
W/Cに乗るリハビリをしている。訪問入浴にて入浴はできている。

家で臥床していることがほとんど。リクライニング車椅子使用し、座位の時間を増やしている。
長時間の外出に対応できるように■位時間を増す。
ねたきり、ベッドでねたまま食事は胃ろう。おむつ内排泄
・移動の際の体勢を考慮（安楽を保持できるような）・出来る範囲で屋外の外気にふれてみる
座位保持時間が長く保てるよう、時間を増やす。
長い時間、座位保持ができるようリハビリ必要。主介護者のみではなく、副介護者（多い方がよい）も介護に参加し、本人の不安が増大しないよう配慮する。宿泊先の所との事前の情報共有必要。
・食事（胃ろう？）は3回／日車イスで行っている。・TVを車イスで見たり、1回／月介護タクシーで受診している。
・長時間座位が安楽に保てるように座位時間をのばしている・屋外の散歩時間をのばしている・移動時間にあわせてリハビリ・リフトでの入浴練習
・温泉旅行に参加、1泊するには問題なし・温泉に入るにはどんな手段があるのか
旅館の協力
・長時間座位が保てるよう、補助具の活用も検討し、出かける前に、訓練する。・F a たちに、入浴方法や、介ゴ方法を（妻以外）伝え指導する。
親戚と一緒に何かをしたい家族に協力してもらい意思を伝えて活動したいが
病院にて日々、パソコンを使っている（本を書いている）
長時間移動に合せて、安楽すごせる車イスの使用を行う。
・温泉での座位保持を、安定するよう、座位訓練30分毎日する。
親戚に会いたい。温泉に入りたいと意欲の向上
・行動の便少化
・途中休憩をはさみながら実施
長時間の移動に体力が持つようにする、運動等
意思伝達装置でのコミュニケーション
・宿泊に向けて自宅近辺からの外出（ドライブ）の励行。・屋外に出てみる時間を増やす
外出時の移動、交通手段、介助する人、普段出なれているのか？
福祉用具を調整座位時間を保つためのリハビリ自宅での入浴
・家族の中で父親としての精神的役割を果している。自分の生きる後姿でもそれを凄く表現している
長時間移動にたえられる様に日々のリハビリを増やすが、疲労が残らない程度にとどめる
生がいに向けての調整（楽しみ）車イス移動支援
・長時間座位保持のリハビリ・妻や長男への吸引、緊急時の対処方法の指導
車イス座位の時間を多くしている。・立位の練習
食事・排泄・移動すべて全介助が必要
1泊2日の温泉旅行
入浴サービス利用時に温度を上げたり時間を延長して慣れてみる
屋外活動による、心身疲労がどの程度なのか、旅行前より外気にふれるような形態対応が必要となるのでは。
患者会や、講演会、など数回／月の外出がある。毎日、車椅子にてパソコンをメールやブログなど10時間くらい行う。
普段寝たきりの生活で移動に鍛えられるか。どのような手段をつかい移動するか
意思伝達装置が使えない時の代替ツールを考えている。
車椅子で過ごす時間を長くし、移動の練習や入浴時の問題点をチェックしている。
移動時間が安楽に過ごせるよう、日々の生活に散歩や移動する時間を増やす。
・ADLレベル
座位時間を増やすようにする。入浴介助方法を家族と検当し、安全に行なえるように練習する。
移動中や、座位を保つ。安楽な体位の保持を考慮。温泉に入れる様に工夫が必要。
温泉に行く、入る、出る、更衣など、アセスメントし、安全、安楽に入る事ができるように話し合う。
一泊できるだけの体力が必要であり、移動や屋外で過せる時間を増やす。
・短時間、短距離の外出で移動、練習をしている。・妻以外で入浴の介助練習をしている。（同行する人達）
痰が多くなったときの対応を、家族を含め指導。
ベッド←→車イス←→浴室はリフト（つるべ）を使用しており、人力によるトランスをしていない。気切で温湯入浴可能が。
長時間座位又はねたまま車にゆられても平気であるか体験してみる。又、練習していく。屋外への散歩などベットから放れる練習が必要
・長時間の移動に耐えられる体力の保持。・入浴のできる身体の状態を保つ
体調を整える。移動等に合わせたリハビリ。
吸引器を持参して車イス（リクライニング）の散歩を週2回行っている。月1回車に乗って病院での検査受けるため外出している。
コミュニケーション意思伝達装置を使う
入浴時の介助は長男が可能かどうか、他の介助者を使えるかどうか確認が必要
上記では不明？Bの回答

長時間坐位保持を日中より行う。車での移動として、当日利用する車輛の確認。
・日中の過し方・外出の有無・リハビリ・意思伝達装置の使い方
・移動時間は短い方が良い。・臥床出来る様に工夫が必要
意志伝達装置の利用。要介護5。
長時間の車移動。入浴（温泉）
・コミュニケーション…可能であるが呼吸筋低下で負担あり。・入浴…訪問入浴で支援。・嚥下には問題ない。・その他すべてに全介助。
長男夫婦と同居、妻65才・コミュニケーションは意思伝達装置利用
・車での移動等機会を増やし散歩等している。
・長時間坐位、車外出ができる様日々の訪問の中坐位訓練する・家族協力の元車外出のきかいを保つ
・1泊2日で温泉旅行に行く・坐位時間を増やし、体調調整
病院受診時のみ外出
座位時間を増やし、屋外への散歩を増やす。
・長時間の座位、移動に慣れるよう外出、座位の時間を増やしている。又アンビュによるシュミレーション行い安全確認している。
・入浴時シャワーキョリーあり？かかえるのか？食事・PEG～。H、KG・家族対応。S、L・家族
座位になったり、体位交換をしてもらう
・長時間の座位保持が安楽に保てるよう。車椅子や補助具を選定し、日々座位の時間を増やしている。
リクライニング車イスを利用して座位時間を増やしている。訪問入浴を日ごろから利用している。
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
車中で、温泉で安心して行動出来る様、坐位を増やす。良好なコミュニケーションを保つため、意志伝達訓練をする。
・車の中での車イスでの安楽・入浴動作の確認
・長時間車に乗っていることが可能なように、坐位時間を増やしている・自宅での入浴時に、温泉での入浴を想定しながら、入る練習をしている
・ADL上車イス等の使用可能か？
・移動や入浴に介助が必要。・長時間坐位でいられるよう坐位訓練をしている
長時間坐位が保て会話も楽しめるよう、毎日の調整をする
・道中臥床していても外の景色がみえるよう、坐席の位置を考える。・装置を利用して親戚の人達と近況を語り合う。
1) 本人の能力次第
外出頻度、耐久力
担送車、リクライニング車椅子でなら、長時間の車での移動も可能。不安解消のため、戸外へ出て、散歩をしている。
移動時間にたえられる体力づくり座位訓練を増やす。移乗や入浴介助のやり方の訓練、リハビリを行なう
・室内、屋内での過ごし方やどんな活動に参加しているのか、またはしたいのか。・本人の希望・温泉場の構造
・移動中吸引器が使えるよう充電機能つきを購入・外への移動等を考え家族全員で移動訓練・車中コミュニケーションは文字板とし家族間で練習
・坐位での吸引訓練・湯舟での姿勢保持の為のサポート強化
起居移動動作困難
長時間坐位が保てるよう日中の坐位じかんを増やしている。
・移動時間との本人の体力的問題・自動車がゆったりしている
車椅子坐位が可能か。（時間）
・胃瘻にて栄養を摂る。・意思伝達装置使用にてコミュニケーションを図る。・離床や座位の時間を長くしている。
意志伝達装置で意志表示 外出は少ない。
長時間移動での安全対応必要 温泉入浴の介助の手必要
宿泊先での入浴をする環境を考える
長男の介助で、入浴を少しづつ実施していく。長時間座位の時間を増やしていく。
長時間の乗り物での移動に対応できる、リハビリ訓練介護者の負担軽減の対策
ADL全介助？コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・入浴方法の検討・車椅子使用の有無
・長時間の座位に慣れるよう、日々調整している・屋外で過ごす時間を増やしている
・移動方法、時間の検討。
ADL重介助
リハビリにより、どの程度の活動が可能なのか
長男と散歩する時間を1日30分程度作っている
ADLは全介助。主に、65才の妻の介護により生活。
在宅リハビリにより、柔軟性を保持するように努めている。屋外での排泄にも対応できる練習もしている。坐位での流動食摂取。電動ポータブルトイレでの排泄の練習。コミュニケーションツールもいろいろと取り入れ、練習している。
・週に1度程度、妻と外出している。（買い物、ドライブ）

・寝たきり（全面介助必要）
外出を増やす 乗り物での移動を経験する。温泉での入浴方法を練習しておく。
移動、入浴などの方法をシュミレートし、安全に行えるようやってみる
本人が温泉に入りたいという意欲を大事にしたい。
長時間苦痛なく座位が保てるよう姿勢を工夫する。
普段は臥床で過ごしている
・長時間座位が保てるよう離床時間を増やしている・コミュニケーションは伝達装置でとることができる（他Ptとのメールのやりとり）
旅行先でもすぐ対応してくれる医療機関の確保ボランティアをつくる（人手がいる）
・少しづつ外出して体を慣らす。
長時間の移動と違った環境での宿泊に向けての体力作り
Bed上での生活（普段）。温泉に入りたい
移動は全介助だが日中座位で過ごすことが多い。車イスでの外出もしている。
車イスで散歩、移動する、離床時間を少しづつ長く保てるようにする。
・コミュニケーションは意志伝達装置を利用・リクライニング車椅子、福祉車両で移動
食事：胃瘻管理（咀嚼不可、水分可）排便：浣腸。殆んど臥床状態
車イスでの移動、長時間座位は4～5時間限界
・体位変換ができるようスペースの確保をする
・日々の生活で屋外で散歩。移動する時間を増やす。・周囲の出来事に関心があり、家族を大切にしている。（お祝、手紙、プレゼント等）
・週に1～2回は、屋外へ出て散歩している。・サークルにも参加している。
親戚1人同いるので、だれかしらの援助はあるが、トイレ、入浴時、安全にできるかどうか。
・どのような介護用品（リクライニング車イス等）があれば温泉旅行可能か？
・温泉に入る時介助必要。家族で分担して介助できる様に行っている。・衣服の着脱が自分で行える様、行える範囲外で介助を分担している。
意思伝達装置にてコミュニケーション
寝たきり、ストレッチャー介助、意志伝達装置持参
・車イス移動になるので坐位時間がのばせる様に練習する。
・温泉旅行をする為に、長時間座位が安楽に保てるように、時間を増やす・温泉に入れるように、移動時間を増やす訪問リハビリを定期的に利用し、座位保持の延長を促す。
介護者による吸引。食事介助（経管栄養）。排泄介助（オムツ）。衣類交換（更衣）等。
車イスの使用 意志伝達装置の使用
・座位にて日中は新聞を読んだりTVを観たりしている。・音楽を聞くことも好き。
意思伝達出来る
・屋外への移動や散歩など増やす・シュミレーションを行う
坐位可能時間、屋内での移動があるのか
移動距離を考えての安楽な姿勢確保。離床時間を意図的に増やしていく。
・ある程度坐位保持が必要な様に日中坐位時間を増やす。・屋外への散歩を心みる。
・自身で行える動作を保持できるよう、日頃から自発的動作を行っている。・困難な面はFamが介助できる。
・日中、w/c乗車を時間を決めて行なう。・介ご状況を訓練していく。
ベット上寝たきり（オムツ）排便コントロール必要。自宅と病院の移動のみ（車）食事は胃ろうより。移動入浴車サービス
・体支に全介助を要す。・床上生活。普段ほとんど車イスにのっていない。・旅行先での移動が多いので介助が必要。
温泉旅行
・温泉に入るため体調を整えておく（ベストコンディションを保つ）・屋外で散歩、移動時間を増やし外出に慣れておくようにしている。
座位の時間を延長できるよう訓練中。コミュニケーションは可能
排便。食事。移動。入浴
？
コミュニケーション装置
意志伝達装置を利用してコミュニケーションをとっている
要介護5
・長時間座位を保持できる様にリハビリが必要・外出できる回数をふやしたり、車で移動するなど練習が必要（ヘルパーや、Ns）
・入浴介助方法をシュミレーション。人間的なことなど含め、医療機器をどうするか
長時間の移動に耐えられるよう、体力に合った移動手段選択滞在先の設備、構造について確認しておく（諸対応可能か否か）又、散歩、外出の機会を増やしておく
・必要な装具の準備・業者と打ち合わせ

・長時間坐位保持できるよう、座位の時間をふやしていく。・体交も、できることは自分でやるようにしていく。（柵をつかもうとしたりe t c）
長時間車移動に座ってられるようにリハビリをする
パソコンで絵をかく。個展をひらく
経管栄養、吸引、1日1回車イス乗車し屋外散歩、訪問訓練を受けている
・温泉旅行にむけて散歩、車椅子の時間をふやすなど活動にむけての調整が必要。・主たる介護者+長男夫婦の活動に対するアプローチ、協力が必要。・活動時間を意図的にふやす。
全介助
・長時間座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やしている。・屋外にも出るようにしている。・長男にも入浴介助を手伝ってもらう。
排便尿：オムツ交換介助により必要。食事：胃ろう注入（妻の介助
・短時間外出を増やす。・坐位訓練。
長時間、座位、が保てるようにする。屋外での散歩、移動する時間をふやしている。
温泉に入りたい。
・長時間の移動等、耐れるような、坐位保持訓練。・自身を目標に向かって頑張らせるようなサポート支援。
体力保持。疲労度を観察。
A D L の状況 車椅子での坐位の保てる時間 車での移動にたえることのできる時間
・長時間座位訓練の導入・車イス移動等の時間を増やす
1泊2日の行事に対してどれだけの人の手助けが必要か
日中、坐位時間をとるように心がけておきたい
・長時間座位で褥瘡を作らないよう工夫・屋外刺激に慣れる。・日々の運動を続ける
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている
移動長時間で日頃～旅行にむけて十分に行動をチェックしておく
移動や環境の変化に対応できるように、座位時間を増やす。
意思伝達装置でコミュニケーション
・長時間の移動や食事排泄の時間の確認・入浴の方法等チェック誰が介助するのか
日々の生活を坐位中心へ 入浴の方法を温泉にあわせた形へ検討。
離床時間を長くし、外出・外泊へ体調を整える。散歩など行って外の空気に慣れておく。
ベット上生活。排泄はオムツ使用。排便は看護師がコントロールベット上にて、自力でできることは行うようにしている。
温泉旅行に行く
温泉旅行2～3時間の車中移動にたえられるようにしていく
A D L
1泊2日の温泉旅行への参加
・体動、移動時の苦痛・排泄・栄養
意思伝達装置が外泊先でもつかえるか。
移動に耐える体力増強訓練、喀痰介助法の獲得、坐位保持訓練
・長時間座位が安楽に保てる様、日々、座位の時間を増やしている。・屋外で、散歩、移動する時間↑
長時間、座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。
自宅では安全を考えリフトでの入浴を行っている。3ノリハビリを施行し、トランスファー訓練実施中
1泊旅行、温泉に入るとい嬉びの活動
パソコン利用など、生活歴の記録
参加者がどのように援助の仕方を考えているか
・移動は自家用車・坐位姿勢が長時間保てる・褥瘡予防の手段を持っている
坐位保持して、パソコン操作を行う時間をとっている
宿迄の移動が安全にできるよう坐位の時間を増やしている。コミュニケーションツールが問題なく当日使用できるよう調整
・温泉地までの移動が長いので離床の時間を増している・旅行にあたり、どのような準備が必要か考える
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしていく・屋外散歩等で移動する時間を増やしていく
・車イス又は、デイクライニングチェアでの長時間の移動
・長時間の移動に耐れるだけの座位保持が必要となり、座位時間延長を図る。・普段と異なる浴槽、トイレ等の動作を確認し、介助法も確認する。
・普段はベッド上臥床が多い・2～3時間おきの体位変換が必要
ROMを行い関節をやわらかく保つ。
せっかくの温泉を満喫できるのか…環境がどこまで整っているのか。
長時間座位 k e e p の訓練屋外へ出る訓練
ベット上で生活している。
A D L 全介助レベル

・長時間座位保持のため少しずつ座位時間増やす。・屋外での散歩等の時間をふやす。
・車椅子に長時間座れるように座位時間を増やしていく。・散歩や車でのドライブの時間を増やしていく。
・長時間車イス利用できる様子リハビリが必要・伝の心の持参、使用状態確認・家族風呂貸切りとし事前の長男夫婦による下見が必要
・入浴方法・移動
日頃から車椅子での外出の機会を作る
48時間の中での生活、活動が必要になり、屋外、移動を少しずつ増やして行く。
・意思伝達装置をつかい親戚一同に温泉旅行のおしらせをしている。
体位変換がスムーズに出来る様にスペースの確保
長時間座位姿勢が保てるよう日々座位時間を増やしている。車での移動の練習している。
・長時間座っても安楽な姿勢の方法・除圧のタイミングの検討・意志伝達装置以外の意志表示方法の検討と練習・家族風呂に入り、介助しやすくする。・医師から情報提供書をもらい、急変時に対応できるようにする
・車イス移・乗は可能？
温泉施設への移動、温泉への入浴
温泉に入るための支援者が何人必要か、移動の仕方などの練習、準備の調整、本人座位姿勢の練習、食事の調整
・長時間の移動が可能ないように日中の車イス時間の延長などを行う
外出にたえられるか、又、休息をとれる場所は確保できるか。
長男夫婦や妻とのコミュニケーションを測るため伝達装置の利用を行っている
・移動による疲労・安楽な体勢の保持など慣らすため屋外移動訓練・活動するための物品確認
・長時間の移動が安楽に行える様に外出の時間を増やす・温泉に安心して入れる様座位保持訓練
・長時間座位を安楽に保てるよう行っている事は何か・普段の入浴状況
・長時間の移動、座位にたえうる体力作り、リハビリの継続
要介護5、1泊2日の長時間の車の移動、車～室内～温泉への移動、人工呼吸器装着での入浴
・食事の自立の程度、食事形態・排泄の自立の程度・使用している下着・入眠の状況
長時間の座位が安定して保てる。移動方法、安全性、旅行先、伝達方法はあるので自立しているところは自分で行う
長時間の移動に耐えられるよう、日常での車イス乗車時間を増やしていく。
1人では動く事も出来ず常に介助が必要である。
・入浴の時の状態・移動する時間を増やす
・長時間座位を保つ為のギャシアップ、車いす座位など座位時間延長を図る。・屋外など外出する時間を増やす。
・長時間の同一体位が安楽に保てるようにする。・屋外ですごす時間をつくる
日常はお嫁さんと妻に介助してもらっている。入浴を温泉で出来るように息子さんに家で介助の練習をしてもらう。
温泉への往復の移動。温泉への入浴。食事
疲れない車イスの準備、医療器具の準備
長時間の座位保持に耐えられる様、座位時間を増やしている。散歩なども、とり入れている
食事をきちんととり、運動にも気をつける
入浴についての心配点やメリット等、相方で話し合っておこう
旅館での食事が調整してもらう必要がある。入浴時や、移動時に介助が必要である。
全介助なら人手が必要。親せきの人の協力は？
・呼吸器の管理指導・介護者への介護指導・長時間の安楽が保てる姿勢の工夫
・移動時間に耐えられるように時々、ドライブをしている。
長時間の座位が保てる様に車イス保持のリハビリ。
いつもと違う環境に対応できるか？身体、精神、自分の思いを相手に伝えること
長時間、座位が保てるよう時間を（座位の）増やす。
・移動時姿勢の訓練を重ねる・外出して移動に対しての練習をする。・意思伝達方法の練習
外の空気に触れる時間を増やす。旅行の予定作りにも声かけする。
平素と変りない。
自宅にいて家族において生きているという安心感が得られる
平日の入浴は？
入浴は全介助。歩行もつきそい必要。食事介助
リクライニングの車イスで、散歩に出かけている。（3回/W位。散歩は1時間位）
日中はリビングで、ほとんど座位で過ごしている。妻が、1時間おきに、座り直しの援助を行い、安楽を保っている。
・移動・入浴時の注意や工夫を日常生活の中で行い、行くための準備をしている
コミュニケーションは意思伝達装置にて保っている。
・日常で座位時間を長くしている
意志伝達装置を利用し自分の意志を伝えることができる。日常生活は全て全介助
ベッド上

・旅行先、手段の検討・何かあった時の手段
意思伝達装置をうまくつかうことができる。ふだんから周辺の散歩を楽しんでいる
A L Sだが、親戚一同にて旅行に参加したい。一緒に温泉に入りたい気持ち
日中は車イスですごすなど離床をはかっている。近りんの場所へ外出して予行れん習を行っている。
フルリク移乗を実行し屋外散歩を増やし自信をつける。
・長時間の坐位や移動にむけリハ時間を積極的に行う。
・ギャジアップの時間をいつもより長くとり訓練する。・地元の支援団体にアドバイスをもらう。
移動・宿泊の練習をして外出やショートステイを利用してみる。
リクライニング車イスに呼吸器、意思伝達装置、吸引器等をのせて福祉車両で出かけることができる。
・坐位保持訓練・車イスでの外出
リクライニング設定の車いす移動は日頃から2時間程度は可能。移乗介助は長男夫婦で行える。入浴は介助槽の入浴が可能な施設であれば介護で行う。宿の食事は形状工夫をして欲しい
一般的車イスの移乗困難、呼吸器、吸引器を乗せたリクライニング車イスを準備。
車いすで移動できるよう移動、長時間坐位、を行うようにする。妻だけでなく、長男夫婦の介助でもできるようにしておく。
意志伝達装置を装作する。車での移動なのか、交通手段をどうするのか。安楽な体位、リラックスできることはどんな事？
・旅行出来る体力作りのため2/wデイサービス、1/w訪問リハビリを行っている・日中、座位時間を増やしている
・入浴動作を確認・体調を整える・座位くんれん
・長時間坐位が安楽に保てるよう車椅子坐位の時間を増やしている・意思伝達装置を利用
長時間坐位はむずかしいので横になれる場所のかくほ。
温泉に入る手段を検討
・コミュニケーション意思伝達装置
・長時間の座位の安定を目指す・屋外等への活動を増やす・入浴・会話
・要介護5・体力は
1日の過し方、リハビリのとりくみ程度、たのしみにしている事。
外出訓練、移動車の慣れが必要なので訓練を日々行う。但し、当日に疲労しないように、コントロールをし、体調を整えておく。
屋外での散歩、リハビリによる筋力アップ、車に乗る時間を増やしていく。皮膚トラブルの改善。
・坐位が安楽に保てる様訓練する・散歩などを行い体力の保持
・長時間の座位保持出来るよう、普段から車イスでの時間を長くする。
自宅でB T P A Pをつけたままの入浴ができるかためしてみる。車での外出を週に1回とり入れてリハビリをする。
ベッド上生活であるが、日中はギャラUPですごす時間を作ったり、訪問看護や介護のサービス利用で散歩する時間も作っている。
長時間の坐位をとるため、坐位時間を伸ばす。宿泊先のおフロの形状に合わせて入浴方法を検討。
屋外で散歩、移動時間を増やす
公的サービスの支援による週1回の外出。
感染予防、体力の保持
・意思伝達装置を温泉まで持っていけるように計画。・自宅での入浴時に問題はないか検討。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やす。
・長時間の移動や座位が、楽にできるように、日々の座位時間を増やしている。・久々の外出（長距離）にむけ、体力増強を行っている。
長時間の移動が必要の為リハビリをしている。
意志伝達装置を使って本人の希望する場所を選ぶ、窓の外の景色も見られるよう座席にするか、リクライニング車イスにするか選択
普段臥床中心である。

(訪問介護事業所)

意志伝達装置を用いてコミュニケーションがとれるか確認
日中、どの様にすごしているか
・長時間座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やしている。・みんなとの会話に加われるよう、コミュニケーション装置を用意。
温泉旅行なのでしっかりと介助しつつ、湯船には全介助でもちろん入浴していただく
食事、洗面、服着脱、歩行、入浴、毎日のスケジュール、トイレ、本人のやりたいこと、移動手段
・長時間の座位が保てるよう日々の座位時間を増やす。・自宅内でも入浴を試みる。
入浴方法、移動時座位保持？排泄
・妻の介護負担の軽減・移動、散歩にて練習・入浴の方法の確認や・体調、意思伝達の方法・ボード（持ち歩ける様な工夫）
食事、入浴への配りよ
長時間座位が保てるように日頃から座位時間を増やし散歩・移動する。

なるべく離床し日中は散歩し意思疎通がうまく出来るようにする。
行程チェック（車両利用がベスト）WC場所等のチェック。
車椅子に座意、外出移動で長時間座位出来るよう
・短時間の外出においてのリハビリ・居室での移動移乗の増加
外出トレーニング
・2時間以内で移動できる温泉地を調査する・衣類の着脱をしやすくするアイテムを探す・簡便な意思伝達アイテムを作る
長時間の座位ができるように座位時間を長くする。また車イスへの移乗を多くしリハビリする
意思伝達のみ
温泉入浴を本人希望している為リフト付風呂のある施設を選択し家族の協力をえて入浴をさせる
長時間座位が保てるように自宅での時間を増やす。
・日光浴の時間を設けている（散歩時々）・日中、家族と過ごす様に居間にいる
意思伝達装置でコミュニケーションは妻とは何とかとれている
行きたい場所があれば出かけていく
車での移動が安楽に保てるよう座位の時間を増やし、散歩、移動する時間を検討して生活している
旅行の移動距離と時間の問題
？
おフロは手短かに又たまにしか入ってなかったので、浴槽に浸かり温度に慣れていく
ベットに横になっている時間が長くなっている。屋外で車イス移動時ズリ落ちに注意し昼・夕の散歩を確保します。
長時間の移動、入浴に対応出来るよう、日中座位の時間増やし、散歩などの外出時間も拡大する。訪問リハ必要
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やし、屋外で散歩・移動する時間も意図的に増やしている。
・長時間の移動に対応できるように日々の座位時間を増やしている。
日常より車椅子の時間を長くしている。
意志を伝えられる
座位の時間
ほぼ寝たきり状態の為長い時間の移動により体力を消もうしてしまう。体力の維持
体力の維持ができるような日々の訓練
・意思伝達装置・吸引器等必要とされる補助具などのリストアップ
・口からの食事がメインであるが、きざみ食でないと無理・体位変換は必要
長時間の移動が安全に行なえるように、体力と健康維持できる様できるリハビリを行なう
・移動の手段・介助者の有無
長時間座位が出来るように日々座位時間を増やしている。屋外での散歩移動の訓練やシュミレーションを行っている
寝たきりでの生活。排泄は紙パンツ使用。起き上がりは自立。車イスへの移動は介助すると可能。着替はボタンはできる。両側介助での歩行ができるようになる
温泉旅行のため車の長時間座位が保てるよう日々の座位を意図的に増す（屋外での散歩）
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
援助で入浴など
テレビを見るのが好き 車椅子での散歩を欠かさない
・介護度5では長時間の座居が不可能・少しでも外出させたい
食事（外食？） トイレ 温泉入浴
移動に際してのシュミレーションが必要
PM14：30～14：15ベットから離床し日光欲を楽しんでいる
・座位の時間を増やしていく
座位維持やPT可能かetcできる部分を積極的にがんばる
在宅日中ベッド生活 食事時車いす移動 食後40分座位保持目標
楽しみにしている温泉に気分よく入浴できるようにハード・ソフト面の調整と本人のADL維持リハが必要
本人は電動車イスではあるが介護事業所を営んでいる
趣味や好きなことは何か？
毎日、座位保持訓練を計画的に行なう。
状況によっては、車イスでの対応も考慮
パソコンを使って○○○の活動を行っている
難病という事もあり、日々の活動や参加も少ない。
長時間の座位に耐える、安楽に保てるよう、少しずつ、座っている時間を伸ばす。散歩や移動する時間を増やしていく。
・長距離移動に備えて体調を整えている。・家族も旅行に向けて医師に確認をしたり、旅行先の医療機関を調べたりしている。
・ほとんど行われていない。
・温泉での座位が保てる座位時間を伸ばしている。・外出活動する機会を増やしている。
周りの多くの人の手を借りて長時間の座位が保てるようにする。移動することにより日常生活と離れて、気分を変える

大学への通学 家事等
・長時間座位の練習・屋外移動の練習・意志伝達装置の調整
妻は日中仕事。・車イスにて日常を過ごし、看護師、ヘルパーの介助を受けて排泄はトイレにて行っている。・食事は、朝、昼は看護師、ヘルパーの介助でとっているが、夜は、同居の長男夫婦、妻ととっている。
座位を保つリハビリを行う
・他者との会話により刺激、伝わることの感動。・着がえ、食事により日々の時間感覚をつかむ。
リハビリ
・食事の確認・排泄・入浴方法・日常生活での活動量と時間、とり組み。
妻に介助してもらいながら、車イスから、自家用車に乗れる
入浴介助や移動介助が必要
長時間の座位を保てるよう座位時間を増やし、ギャッジアップ調整を行う事で安楽な時間を伸ばしている。現在利用している訪問入浴時における、更衣介助等の介助方法を家族と共に学んでいる。
意思伝達装置でコミュニケーションをとる。
日々座位や、足の動きをふやし、少しでも安楽にできるようにしたい
家族で温泉旅行し、温泉に入りたい
車イス移動時の安全性
F a が近所の散歩や歩いていけるスーパーなどに連れていっている。入浴等はデイサービス利用、リハビリも行なっている
活動は車イスで移動他動的リハビリ施行。
かかわる介護者とのスキンシップ
自分でできる事、又したい事を皆さんに聞いてもらう。その上活動するかどうか決める
・長時間の座位が安楽に保てるよう、日々の座位の時間を増やす・安全に入浴できるよう、入浴用車イス使用
長時間の移動に対して座位確保、移動中の意思確保等の練習
入浴用の椅子の準備。散歩や、ドライブ等を積極的に日常生活に取り入れる。自宅入浴時、妻以外の介助にての入浴を行う。
排泄（介助によるポータブルトイレ使用又は紙オムツ、又は尿■、便器使用）・コミュニケーション（意思伝達装置）・移動（車イスにより介助）
旅行に行く気持ち
・食事・排泄方法・今後の意向・妻との関係と妻への想い
長時間、座位を保てる様、日々座位の時間を増やしている。・屋外での散歩や移動時間を意図して増やしている。
日中は座位保持、車イスに移乗後の座位保持が可能になるよう・入浴について主治医に相談の上、体調管理を行う。入浴方法について、検討し、介護方法を見直す。
100km圏内とし、こまかなトイレ休憩を必要とする
長時間対応できるように身体負担を極力おさえ温泉を楽しんでもらう
排便ポータブル使用可食事（柔らかなも可）
体調を整えて、旅行に備える。家族特に妻の健康管理など
座位やADLの機能維持を図りながら旅行中考えられる問題を洗い出す
意思伝達装置によるコミュニケーション（食事、排泄の状況）（車イス他介助用具の使用）（及びそれによる体位の維持の可否）
・休み休みで動く
出先での入浴となるため、アンビューバックを使用する。慣れたヘルパー2名を自費利用で連れて行く
ベット上でギャッジアップする時間を増やしたりすることで座位をする時間を増やしている。・屋外での活動の際はリクライニングの車椅子を用い長時間の外出でも安楽にできる様工夫をしている
・食事や移動は自分でできるのか？・移動の際の姿勢を保っていることができるか・普段の生活の中での外出や移動などの機会はありますか・食事、入浴、移動などについて、どのくらいの支援が必要であるか
制約を強いられる
座位が保たれるように、リハビリとしての時間を増やしている。
長距離車移動ができるよう、ドライブの機会を徐々に増やしている。
日中ほとんどをベッドで過ごす。通院時のみ外出の機会の為、長時間の活動（移動）は負担が大きい
長時間の移動に耐えられるように、毎日少し座位（移動時間）が増加するように訓練する。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用して行う。親戚一同で行く参加する
座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やしている
座位時間の確保外出し移動する時間を増やしている
一泊2日の温泉旅行
車椅子の利用が可能か？移動先での行動に支障はないか
1泊2日の温泉旅行
日中散歩する時間を意図で徐々に増やしている。
長時間の外出が出来るように、毎日散歩や移動の時間を入れる。
食事、排泄

排泄、食事が可能？
筋肉の萎縮と筋力の低下をきたし、自力で動けない。
共同作業
ベッドから車椅子移動し、屋外へ出る時間等増やす
道路状況も考えて少々の外出を増やして移動になれる様増やして行く
・身体機能が落ちない為散歩等を行っている
長時間の移動が楽に保てるよう、日々外出をし練習をする。
・宿泊施設のバリア・移動時の手段・入浴前後の健康管理
車での移動になれる。近くのスーパー等に車で移動している。
特になし
・移動方法、手段車椅子、リクライニング、車、電車、タクシー・お風呂のづくり
・毎日決まった時間は座位を保持する・週に何かいかは湯舟に入るようにする
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増している。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増している。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
宿泊しての温泉旅行を楽しみにしている。介助をうけ温泉に入れるよう時間をかけ話し合っている。
意思伝達装置を利用しコミュニケーションをとっている。
・長時間座位が保てるよう日々、座位の時間をふやしている。・散歩や銭湯など支援してもらって外出になれる。
・意志伝達装置によるコミュニケーション
温泉に入れる体力や長時間の移動時の体力をつけるため座位の時間やリハビリが必要
活動することで自信がつく
1泊旅行をする
・長時間座位保てるよう日々リハビリをしていく・屋外での散歩等を少しずつ増やしていく
・長時間座位が安楽に保てるよう日々の座位時間を増やす。・離床時間を増やす。
・ストレッチ・リハビリを継続し、長時間の移動、移乗、入浴に備える。
・介助されながらも温泉につかれる・1泊する程度の体力はある・誰かがつれだせば人との交流はできる。楽しみが増える
・良志伝達装置を利用しコミュニケーションを図る・車いすによる移動
座位を保てるように練習していく。ご家族などの協力で安全に入浴できるようにする
体調を整える努力をする。風邪をひいたりケガをしない様気を配る
・長時間車イス上で、安楽に保てるように意識できるように心の準備をする。
・介護タクシー等による長時間の乗り物訓練を行っている・デイサービスでの車椅子入浴体験を実施
長時間の座位が保てるよう日頃から座位の時間を増やす 散歩などでの移動時間を増やす
体調確認を細めに行う。
普段から体力をつける為に起きあがり、座ったり歩く練習をしている
長時間座位が安楽に保てるよう日々の座位の時間を増やしている
自宅近くを車で乗せてもらい車に乗る感覚をつかむ又、増やしていく
長時間座位を保てるよう、家族やヘルパーの協力を訓練する
長時間座位に保てるか
座位の時間が長く保たれるよう訓練している
・長時間の移動に絶えられるよう、屋外での移動する時間を意図して増やしている
長時間の移動。日々から訓練。
現在の生活の中で、車イスでの移動・外出、座位の機会を増やし、体を慣らす。
温泉は大浴場は無理でも家族風呂に長男の介助の元入れないか、考える。
車イス等利用し、できるだけ座位が保てるように。座位での入浴が可能になるよう訓練。
訪問リハビリを利用しリハビリを行って、長時間の旅行に対応できるよう毎日がんばっている
温泉に入る
長時間の移動、外泊、宿での過ごし方をどうするか
座位時間を増やし移動にたえられる体を作る
座位保持が可能か？移乗に負担がないか？
可能
日々の座位保持時間での調整やリハビリ
日常生活の見直し 長男への介助指導
・長時間での移動方法・体力・食事内容
現地状況の把握
交通手段、乗降方法 施設内の移動 施設のサービス利用 意志伝達手段
家族との旅行
・ベット上での生活・意思伝達は可

長時間の車いすに慣れるべくトレーニング中
長時間の座位が安楽に保てるように日々の生活の中で少しづつ取り入れる
長時間座位を保てるように日々座位の時間を長くしている
座位保持の訓練を行う できるだけ、人とコミュニケーションをとるようにする
家にとじこもらず定期的に外の空気に触れるよう継続的に外出する。
離床時間を増やす（移動時間たえられる位）
温泉旅行（1泊2日）
・施設で本人に合った食事の対応をしてもらえるか
・長時間の移動が楽にできるよう、リハビリする。
要介護5→寝たきり食事介助、排泄介助
・座位を保てるように日々座位の時間を増やしている・訪問入浴での呼吸の様子を観察、医師からの助言
不明
・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。みんなで食事が摂れるように座位時間を増やしている。
？
車イスの活用や、クッション座布団を使い座位の体制を工夫する 移動中休憩をとり気分転換、体のリラックス時間を確保する
温泉に入る
・座位に慣れるようする・屋外で、散歩、移動時間を増やす
長時間移動に対する入念なリハビリ 散歩や、移動する時間を増やす。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
自分では活動不可 長男夫婦からの援助が必要
休けい時起こして水分補給と会話する もう半分以上きたので残り1時間30分運転に注意する
・車の移動時間に慣れるよう時々練習する。・旅館という場から車イスを考慮した筋力トレーニングも必要である
・長時間座位が保てるよう、日々座位の時間を増やしている・車で移動する時間を徐々に増やし慣らす。・長男に入浴の介助を協力してもらい、スムーズにいくよう練習する
・長時間座位が保てる高くリハビリを行っている・着脱に関してもF aが行える様に、医師C P Tから、具体的な指示をもらっている
・長時間座位が安楽に保てるよう日々の座位時間を増やす・屋外で散歩・移動の時間を意図して増やす
温泉旅行に向けて、座位の時間を増やし、屋外での散歩の時間を増やしている。
1泊2日の為準備期間に労をついやす必要
屋外での散歩、移動する時間を意図して増やしている
・温泉旅行・意思伝達装置を利用してコミュニケーションをはかる
・移動する時間 移動時の体位
いつもと違う場所での1泊、何がおこっても、あわてなくてもいいように主診医との調整 温泉に向けての体力作り
定期的に屋外の散歩を訪看の援助を受け行なっている
旅行に向けての移動できる様に体力をつける
長時間座位が安楽に出来る様、屋外で散歩、移動する時間を増やす
1泊2日の温泉旅行
移動する時間を増やす 移動時本人の安楽、介助人の位置等を確認する
散歩や行動する時間を多くとり、体力をつける
コミュニケーションは意志伝達装置を利用中 長時間座位が保てるよう、座位の時間を増やす
旅行に行ける様に車イスに座る時間を増やし、座居の時間を長くしている
1泊2日温泉旅行
温泉旅行に参加する
車椅子での移動
・日々、坐位での時間を増やしていき、慣れておく・家族による入浴介助にも慣れておく
温泉は家族風呂を使用し、家族介護 車で移動時は、座位か臥位にするかで、車輛を選択し、決める。 宿泊先では、バリアフリーの部屋を利用する事で介助が楽になる。 食事も部屋食にすると良い一人数によって宴会場も可
・現在の体調で、一泊二日の旅行に出かけること、温泉に入ることなどが可能な状態であるかを見極める必要性
・車椅子と介護者の協力で外出ができる・外出で気分転換と交流を図るプランを行う
長時間座位が保てるように座位の時間を増やしている コミュニケーションを増やして意思伝達装置の利用を多くする
座位が保てるよう離床を促している
コミュニケーション意思伝達装置を利用
屋外で散歩や移動する時間を出来るだけ増やす
・旅行先がバリアフリーかどうかの確認・移動の交通手段の確認
妻が前向きな性格で、昼間車椅子生活。ピアカウンセリングで先人の知恵を、活用している。

旅行時間リズムについて、本人が負担なく行動できるよう活動をうながせるようかかわる。
・長時間座位が安楽に保てるように少しずつ座位の時間を増やしている。屋外で散歩、移動など、外出する機会を増やし、外気にふれたい。カゼなどひかぬよう気をつける。
長時間座位が保てるよう日々の座位の時間を増やしている。散歩の時間を意図的に増やす
排泄 食事 移動
長時間座位が安楽に保てるよう散歩、移動する事を増やす。
状態によって入浴方法がことなる
長時間の座位が保てるよう日々の座位の時間を増やす
日中の時間を活用して座位の時間を増やしている
長時間座位が安楽に保てるよう、日や座位時間をふやしている。入浴リフトがどんなものかシュミレーションをしておく。体をつける為、また外の環境や空気になれる為、外出する。
食事、排泄介助が必要 本人がたべている物の把握
・ベッドにねたきりの状態で自力での移動はできないので、妻が介護している
コミュニケーションは意志伝達装置利用・妻が介護
・日頃の状態から介助にたずさわる人達のトレーニングが必要であり、本人も意識的に指示できるようにする。
あまり時間のかかる場所に行かない
・車イスでの座位の時間を増やす・屋外の散歩や乗り物での移動を増やす
家族と会話 景色 温泉を楽しみたい
・血圧の安定を図る為の定期的な服薬をする。・今現在の入浴時のALSの取扱いと安全な入浴方法を理解する。
少しでも長い時間、座位がたもてるように、リハビリをしている。入浴介助出来るように家族に指導。
生活関連活動 排泄（リフトによるトイレ移動）（又はオムツ使用） 食事可（調理不可・ヘルパーにて調理）咀嚼可能（ミキサー食）
・長時間座位が保てるよう座位の時間を増やす・屋外での散歩・移動する時間を増やす
1泊2日の温泉旅行なので、車椅子とか車両での移乗、移動の機会をもつ
意思伝達装置の持ち運び
温泉に入る、人員の確保、宿泊先の確保
長時間の座位が保たれるよう、少しずつ時間を伸ばしながら当日の移動に耐えられる機会を増やす。一度仮想の移動機会を設け、体の状態を観察する。
翌日に疲れが残らない程度のリハビリ（座位）
1日中自宅ではぼ寝たきり
車での移動、長時間安楽に保てる様
1泊2日の温泉旅行
・長時間座位が保たれる様に日々座位の時間を増やしている・屋外での散歩、移動する時間を増やしている
・小刻み（2時間位）に振動確認・体位交換も30分に1回必要・休憩を小刻みに入れてやわらかいクッションの確認が必要
座位の安楽姿勢が1日中定まらずにかなりの頻度で体位変化している。
・誰がサポートして入ってくれるのか
コミュニケーション意思伝達装置、経口摂取できない場合、胃ろう等。排泄（オムツ使用夜間、日中ポータ）本人の体調を見ながら経口摂取経管栄養QOL維持の為
・全身筋麻痺のため車イスにて座位時間保持の練習を毎日続ける。
入浴できる（温泉）
長時間の移動にたえられるように坐位保持の訓練をしている
意思伝達
・意思伝達装置使用
温泉に入るための体力が必要となるので体調管理をしていく。
・屋外で散歩に、人手をかりて行うことが出来るようにリハビリを行っている。
・普段の生活は？
意思伝達装置
風邪を引かない様注意している。移動する車はどうする（車椅子かベッドか）その為の準備。
親戚一同での1泊2日の温泉旅行
家庭内では自立。但し、買物などは子供。
体力の維持。筋力維持。入浴訓練。
・1日の活動状況の把握。・離床（座位）休息の時間などのスケジュールを作成。
体調が安定している日に少しずつ外へ出る時間を作る。緊急時対応の出来る病院を確認しておく。
1人では行動できないけど温泉旅行をしたい。
意思伝達装置を利用し、家族、親戚とコミュニケーション。生活関連、食事可（柔らかいもの）、排便（介助によるポータブルトイレ）
複数の介助者がいれば問題ない。

温泉に安心して入浴出来るよう、親戚一同と温泉スタッフにも疾病の情報を伝える。
本人が安楽に移動、温泉で過ごせる様座位、その他の動きを続け体力維持を図る。温泉までの距離を考えある程度の長さの座位。
・活動全般において制限あり。
主治医や家族が把握しているはず
外出、気分転換
化者との交流の為め発語の
・日々の座位の時間を増やす。・入浴の介助方法を訪問看護と検討し、妻と介助する。
・長時間の座位が保てるよう、座位の時間増やす。・散歩等行い、体力をつける
長時間移動に対応できるよう屋外で散歩移動する時間を意図して増やす
排便（介助によるポータブルトイレを使用。食事可（柔らかい調理）
本人中心の活動範囲を心掛ける。妻か、長男がいつも付添うこと。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々の座位時間を増やしている。・屋外で散歩・移動する時間を意図して増やしている。
・長時間座位が安楽に保てる様、日々座位の時間を増やす。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
移乗等介助行えば車椅子で外出可
・毎日、さみしがるので、散歩等一緒にいる時間を過ごす。・身体機能の低下を防ぐ様、リハビリを行う。
途中横になれる大型車の確保。旅館ではベッドがあるか確認。食事内容の確認
親戚一同での1泊2日の温泉旅行。食事（介護職の準備）。排泄設備。旅行先での体調不良の際の医療体制。入浴方法
遠距離の旅行だと耐えられるか不安
車や電車などの長時間の移動のため、座位が楽に保てるように座位の時間をのばす
できる事、したい事の把握
長時間の座位と身体が安全に安心して活動にたえられるよう、移動時間等を増やす。温泉に入ることができる
旅行に向けて、座位時間を延ばす。外気を取りこむ。外出等の刺激。関係者とコミュニケーション強化。緊急時を想定した話し合いでシュミレーションしておく。
体力、本人の意志・意欲・要望、家族も同
車での座位の時間が長くなるので、長時間の移動が安楽に保てる様に、座位の時間を意図して増している
・長時間の座位が安楽に保てるよう日々の座位の時間を増やしている。・外出する機会や時間を意図的に増やしている。
温泉旅行ができるよう屋外での散歩や移動する時間を意図的に増やす。
移動時の身体的負担
長時間の外出に対応出来る様体力作りしている。不慣れな環境での入浴、就寝が出来る様のためにためしてみる
主介護者である妻は女性の為、温泉入浴中は介助がむづかしい事から嫁さんに入浴中の介護を勉強し練習してもらおう。入浴中の車椅子の座位が保てる様に練習する。
・外出できるよう徐々に体力をつけていく取組を行う
移動は車で2時間だが、延びたときのため車椅子での座位を少しずつ長くしていく。背部圧迫に留意する。
座位を取って移動の為の訓練
温泉までの長距離ドライブに耐えられるよう、外出の機会を作って慣らしている。
長時間の座位が保てるように離床時間や屋外活動の時間を増やしていく
歩行は5分程なら可能の為車椅子を持って行く温泉に入り、屋外の散歩をする。
・リクライニングの車椅子を使用し、日々少しずつアップ。又、その時間を延す。・いつも使用しているベッドでない家のベッドで寝る。・家族でどのように入浴をするかミーティング
全身を使って、表現をしていく
長時間座位が保てる様座位の時間を少しずつ増やしている。出来る事を努力している
・長い時間座位が保てる様リハビリ・日々の生活の中で、車イスでの移動の回数を徐々に増
要介護度5は車イスの可能性があるので移動時間の割合を知る。
排泄（紙オムツ、全介助）食事（胃ろう、全介助）生活全般（介護要す）
浴槽へのへの出入りのリハビリ屋外での移動、長時間の外出の機会を増やす
・長男夫婦の協力を得て、座位にて屋外散歩する時間を増やしている。・装置の扱い方を練習中（自分、妻）
・屋外に出る訓練（外気・温泉になれること）・移動のリハビリ・コミュニケーション訓練
意思伝達装置でのコミュニケーション
・長時間の座位保持訓練をしている・デイスービスを利用し外出に慣れ、一般入浴方法を検討している
・長時間の座位が保持できる様、毎日の座位の時間をのばしている・入浴を長男が対応できる様練習している
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
長時間の移動にたえられるように日々のリハビリを増やす、当日の移動手段やホテルの様子を事前に確認バリアフリーか？
本人の気持ちを大切に活動が可能となるように何が障害なのか確認する。
長時間座位保てる様に座位時間を長くする。座位時車イスにクッションを当て安楽姿勢を保つ様にする。
温泉に入りたい

移動中のバリアフリーはどうなっているのか？・宿泊先での対応は？
・長時間の車イス移動にたえられる体作り。・車での移動にも慣れていただく。
旅行に耐えられるよう、体をすこしづつ動かす。
長時間の座位や移動のため、徐々に外出の時間をのばす。
・生活関連活動（排泄、食事等）ご本人のレベルに合った対応ができるのか（温泉旅館で）
移動、入浴や平常とちがうのための動きを予想しての対応考慮
A L Sをどこまで理解しているのか 参加者が。
外出 A L Sではあるもののできる範囲での日常生活動作
・排泄、入浴、食事、更衣等の方法確認 ・移動方法の確認
一般の浴そうに入るための下肢筋力があるか。
・車いす、移動介助、必要 ・排泄介助必要 ・食事→本人が食べられる形状 ・入浴できるバリアフリー浴場 ・意思伝達法。
・体調を整える ・緊急時対応や、受け入れ時の注意点など旅館側と相談 ・必要物品の準備 ・関連機関との調整
◎長時間の座位保持が出来るか。出来ないのであれば、ストレッチャーやリクライニング車イスが必要。
移動時間や入浴時も座位が保てる様座位の時間を作ったり移動したりする時間を作る。
・長時間座位が保てるように、座位の時間を増やしている
・O時間の移動中、車イスに座位保持できるよう訓練しておく ・皆と話しをしたいので、意思伝達装置による会話も練習しておく ・食事可のものを依頼しておく 補助食品など持参。 ・排泄は旅行中は紙オムツなどで対応
1泊2日の温泉旅行に行けるよう、親戚の方へのアドバイス 注意点を家族と話し合っておく
・意思伝達装置によるコミュニケーションの活発化 ・意思伝達装置による創作活動意欲の喚起
屋外で移動する時間を意図して増やす。入浴方法も学んでいく。（NSやリハビリで教えもらう）
自宅にて手すりでの歩行訓練
長時間、座位が保てる様に毎日、座位の時間を増やしている。訪問看護による、リハビリを行っている。屋外、車椅子ごと乗車をして座位で、車での移動時間を少しずつ増やしている
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やし、車に乗れるようにする。 ・屋外にて温度感を体験し外出に添える。
座位の長時間である為に日頃から座位保持に努める。
長時間の座位（車乗車）が保てるようになる。
長時間座位が保てるよう、日々座位の時間を増やしている。屋外で過ごす時間を増やしている。定期的に入浴している。
・食事可 ・トイレは何とか自分でできる。 ・パソコンはできる。
温泉での入浴にむけ自宅で入浴し対応できるようにする
・長時間の座位姿勢が保てる様に座位時間を増やしている。 ・入浴に伴う昇降・移乗動作を行える様にリハビリを行う。
意思伝達装置をうまく利用し、いいコミュニケーションがとれるように、練習している。
座位が長時間になるため安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。屋外の空気にふれることをしていく。
長時間（車）に乗るので安楽に保てるよう座位の時間を増やしている。
少しでも自分で動けるよう歩行や座位の時間を意図して増やす
温泉に入る（介助要）旅先での動き方をどのようにするか
長時間の移動する時間を考えて座位の時間を増やす。入浴を希望しているので介助方法を検討する
外出する意欲。温泉に入る意欲。親戚の人と意思疎通ができる。
・コミュニケーションの意思伝達装置が上手に伝えられる様日々練習（誰にでもわかる様に）を増やす
ギャッチUP車イスの座位時間を増やしている。屋外に出る機会を意図的に作っている。
おみやげを買ったり、自然を感じる活動をする。
・手足をなるべく動かすようにして日中少し家の回りを散歩する ・食事は量を決めてよく噛んで食べるように心がけている
食事・排便・入浴等、日常生活は介護必要。コミュニケーションは装置を利用し可能である。
体調を整えておく 屋外での散歩、移動する時間を増やし、体を慣らす
車椅子で長時間座位が保てるように座位の時間を増やす。
楽しみにしている温泉入浴なので体調を整え旅の計画を本人に立ててもらう。
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。屋外での移動時間を増やす。
テレビ、ラジオをよく見聞きし、世間の出来に関心を持っている。
移動 排泄 食事
久々に温泉に入りたい
意思伝達装置を活用し家族・親戚とコミュニケーションをはかる
長時間の外出（外泊）に耐えられる様に日々に生活で座位にて起きている時間を増やしている。
排泄（蓄尿袋）移動（リクライニング車イス）食事（いろいろ）
自宅から温泉までの移動。温泉内での移動介助。食事、排泄、入浴介助。体調急変時の対応。
・座位保持の為に日々の軽運動・外への外出、散歩する。
コミュニケーションがとれる様ふだんからのアイコンタクト等にもなれておく。

排泄、食事等、移動、全介助。
長時間座位が安楽に保てるように日々座位の時間を増やしている。屋外での散歩、移動時間を増やしている。
本人に負担がかからないように移動ルート、移動手段、休憩地点の事前調査。
介助者が同行しない場合は看護師や介助員にチェックメモをもらい注意してよく見る
・歩行困難と車イス状態であり、外気にふれるようにしている。
少しでも当日、体が動くように、散歩をする時間を増やす。
結婚式参加
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。・風呂の入れ方等、支援のし方の練習
長時間座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やす。車椅子に移動し散歩をするようにする。
・体力面の強化 座位の時間を増やす ・入浴の際のイメージ作り、介助者とのすり合わせ
・短時間の車の移動や外出をして、体力をつける
・入浴方法
・移動方法の確認 ・移動時間の確認
リハビリ状況は？
移動時の安楽な姿勢の確保、訓練
長時間車に揺られるので座位を保てる様座位の時を増やす
福祉用具を使いこなすよう外出の機会を増やす。 移動きよりを短めにした場所えらびを考える
日常生活にメリハリをつける為と座位に慣れるよう車椅子にて散歩したり外出したりする。 訪問介護、自立支援。
長時間座位が保てるよう日々の座位の時間を増やす
長時間座位が出来る様に座位の時間を増やす
座位のリハビリと入浴の際の注意点を普段の生活より考える。
決まった時から旅行にむけての体調管理
長時間の座位が保てるよう日々の座位の時間を増やす。
右手でベッド柵をつかんだり、清拭時、協力的な姿勢。
安楽の姿勢確認（保持）
・意思伝達は伝達装置を使うためスムーズに装置の調整が出来るようにしていく ・日常の座位保持が安楽に保てるよう、日々の座位時間を増やしていく
長時間の移動になることが予想されるので、安楽に保てるよう考慮する。
長時間の移動が安楽に保てる様屋外で散歩、移動する時間を移図して増やしている
安心、安楽な入浴ができる様付き添いの家族も、シュミレーションが必要である（温泉の下見を行う）
・長男の介助で入浴ができるよう、一緒に行く。 ・長時間座位が保てるように座位の時間を増やしている。
長時間の外出ができる様少しずつ座位時間を多くする 温泉旅行の楽しみ方を色々話し合いながら行くまでの時間を楽しく過ごしたい
なるべく安楽な姿勢でいられる時間を増やす
個立しないようにつねに話かけ自分の出来る事を最大限に生かせるようにする（援助）
長時間の移動について、安楽な肢位が保てるように事前に枕などを入れて試してみる
温泉旅行
本人の出来る限りで本人の意思をふまえて行動する
長時間座位が保てるよう座位時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を意図的に（本人に相談して）増やしている。温泉につかるための練習を家族と一緒にしている。
旅館内部での移動はスムーズに行えるか 段差や階段、床面や分配等
温泉旅行
長時間座位がとれる様座位の時間を増やす
・コミュニケーションは意思伝達装置をつかっている ・長時間の座位が保てる様に増す
・体調を安定させておく 感染症にかからないようにする。 ・参加家族との旅行日程の相談
本人がどうしても花見をしたいと希望
座位を増やす練習 近隣の大浴場を利用したの練習 外出の機会の増加し練習
・長時間座位が保てるように、座位の時間を増やしている。 ・移動する時間を意図的に増やしている。
・近い所へ散歩をかね外出するなど機会を増やす ・日中も短時間の座位をとる
・家族フロの手配 ・旅館のサービス内容の確認（食事、等）
長時間の外出が出来るよう屋外に出る時間を増している
コミュニケーション（意思伝達装置） ・食事はどうするのか？ ・排便はどうするのか？ ・移動はどうするのか？
・ホテルでの食事が食べられるよりえん下の機能を高める。
デイサービス利用し入浴はしているかもしれないが、訪問サービスは妻65才なので、あるいは受けてないかもしれない。
旅館までの移動中の支援 ・旅行中のトイレ、コミュニケーション
立位保持が出来る様に日々座位の時間を延長 時間を長くする

長時間座位が安楽に保てる様日々座位の時間を増やしている。外出する際、移動時間を設定して少しずつ増やしている
・車での移動（本人には、少し長いゆれや、カーブもある為）しながらの円滑な意思伝達くんれん。・ふだんより長めの外出を行ってみる。・ふだん行かない所についてみて、本人と、何が不安か相談する。
日常生活（排泄や食事、入浴、外出等）趣味、活動量
1泊2日の温泉旅行 電車での移動は無理なのでワゴン車利用、車椅子の準備
・日中の離床時間を長くし旅行に行く体力をつけている。・パソコンで日課として日記をつけている。
・安心して外出ができるような説明と屋外でのリハビリ
・座居での移動は困難・家にこもることなく、機会を見つけて外出したいと思っている・介助にて家の回りに入るよう心がけている
温泉旅行に行く交通手段等の確認
温泉旅行
長時間座位が安楽に保てる様に座位の時間を増やしている 屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
旅先までの移動時の安全の確保
移動に要する体力をつけるために食事や運動に気をつける
座位の時間を増やすようにしている。
・長時間座位がとれるよう座位の時間を増やしている ・体力が維持できるよう体調管理していく
長時間座位が楽に保てるよう日頃から座位の時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やす。
座位の長時間を伸ばす。自宅で長男による入浴介助の機会を増やし、温泉に入れるように練習する。
排泄や食事のことについても対応がどこまで可能なか確認しておく。温泉へ介助にて入浴できるか入念に確認しておく
旅行に行く目標をもって積極的に身体を動かす。リハビリなどを意識的に行い、身の動きが少しでもスムーズに出るよう心がける 自身も家族も。
長時間の座位保持の為にリクライニングを利用し離方時間を増やしている 本人の希分や体調に合わせての外入浴
長時間座位が安楽に係るよう日々座位の時間を増やしている 屋外で
新せき一同で温泉旅行に参加する（一泊）
日々座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やして
意思伝達装置でのコミュニケーション パソコンインターネットによる買い物、読書
・長時間の移動に対応できるようギャッジアップの時間を長くしている
座位が安楽に保てるように日々の座位の時間を増やしている
長時間の座位が保てるよう日々練習している
意思伝達装置で会話 介助があれば動ける
外出（日帰り）の機会を持つようにしている。
温泉旅行をする 温泉に入りたい
・日々座位の時間を増やしている・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
入浴の方法？排泄？移動？食事？
親戚一同で温泉旅行へ参加し温泉に入る。
座位での時間をふやす 外出の回数をふやしていく
本人に付き添い介護が出来る。吸引等、安心して外出出来る状態に持っていく活動
・迷惑をかけないようにできるところへ共に行きたい。
家族とのコミュニケーション
全介助
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
・デイスサービスや通院等でどれぐらいの離床が可能か・他者とのコミュニケーションはできるか・理解はできるのか
温泉旅行
・温泉場の散歩も楽しみ・屋外散歩、移動する時間を増やしてみる。
日々の生活リズム。1日の流れ習慣、入浴回数等外出等
・車イスを利用しており、外泊時には排便のポータブルトイレが必要。
温泉に行くにあたって体力を付ける。長時間座位が保てる様に練習している。飲み物食べ物に誤嚥しない様に口腔体操をしている。
・長時間座位が保てるよう座位の時間をふやしている。・意思伝達装置（キーボードを使った）を使つてのコミュニケーションができるよう訓練
・行き先、ルート、ホテルに確認する事項を自分で考える。・入浴方法についても妻と相談する。
自宅にて少しずつ座位による呼吸器の利用。本人の体調等伝達装置にて確認
・長時間座位が保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で車イスでの散歩、移動する時間を計画的に増やしている。
・極力、屋外での活動時間を増やす。
車イス座位時間の延長や車イスに座り屋外移動や散歩をする時間を増やす
屋外活動

車いす離床の時間を少しずつ長くしている。旅行先の資料を集め、事前に見て楽しみを持ってもらうようにしている。
屋外での時間を増やし座位、移動に慣らしていく
座位の保持
・長時間座位が保てるよう座位の時間を増している・出来るだけ外に出る時間を増やしている
1泊2日の温泉旅行をする為の体力の維持向上や健康管理
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行 本人も参加し徐々に温泉に入りたい
座位保持が長い時間保てるよう日常生活でのリハビリを継続して行く
排便：介助により可 食事可 入浴：介助により可
座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている・屋外へ移動する時間を増やしていく・家での入浴時の温度を確認しておく
車又電車、バスでの移動介助 排泄介助 食事介助 入浴介助など
入浴がスムーズにできるよう、日々、ヘルパーさんの介助を受けながら、練習している。
温泉への入浴
コミュニケーションは意思伝達装置を利用し、QOLを向上
座位時間を増やす為、移動・散歩等、家族の協力が得られるか
・車での移動に堪えられるよう、少しずつ車で外出し慣れるようにしている。・温泉に入れるよう、血圧を測り、体調を整えている。
・長時間車に乗って座位が保てるか。・散歩、外出にできるだけ行っている。
排便（介助によるポータ使用可）、食事可、調理不可、咀嚼可能（やわらかめのもの）など
散歩（電動車イスにて）
長時間車での移動が出来る様、又入浴の対応も行なえる様、リハビリ又家族様も練習する。
長時間の座位が楽にできるよう座位の時間を増やす。屋外での散歩、移動する時間を毎日していく。
寝たきり状態の為、一般の温泉には入るのが困難である。
・長時間の座位保持について・移動、移乗について・装置について
・外出の時間を増やし体力をつけている・デイサービスも好んで利用
・座位保持、外出・温泉に入りたい。
車イスに移乗介助してもらい日中は過ごし、暖かくなると外出も介助してお日様に当るようにしている。
外出へ活動を自らの意志を伝えて活動が出来る。
徐々に外出の機会を増やす。
長時間の移動と考え、安楽に移動できるように、屋外の散歩、車椅子での移動、入浴をためしてみる。
室内で座位を保つことができるよう座位時間を増やしている。
温泉に入ることができるよう介護もしくは器具のトレーニングが必要（本人・家族）。親戚との交流のために装置が必要。行く先の温泉のサービスのあり様と近くにある医療・交通手段を確保。
排便（なんとか行けるが介助が必要。転倒に注意）。食事（ご自分でできないので介助が必要）。嚥下状態（柔らかめの食事をお願いします）
1. ベッドから離れる時間を増やし、家族との食事をする。2. 屋外で車いすの散歩を増やす。
久々の外出だけに車イスのトレーニングをこれまで以上に増やす。ウォーミングアップを兼ねて、市内の公衆浴場に行く計画をたてる。
屋外で散歩・移動する時間をなるべく増している。
リハビリで座位の時間を少しずつ延長して行く。
車での移動や座位の時間を増やしている。
親戚の方々と妻の介護で行動出来るか
体調を崩さない為にも少しずつ体力をつける様にリハビリ運動を行なう。
温泉に入る（入浴）、装置を使つてのコミュニケーション
・長時間乗り物での座位が保てるよう日々座位の時間を多くする。・車イスでの屋外の散歩を多くし、移動する時間を意図して増やす。
出来るだけ毎日外出を心がけている。
温泉に入りたい。
車イス移乗し長時間座位が保てるようリハビリの回数を増やす。
・家族以外とのコミュニケーションが取れる訓練 長時間移動に耐えられるように座位保持の訓練
安楽に入浴できるように日々、座位や離床の時間を増やしている。
温泉地までどうやって行くか？入浴方法、排泄は？食事（内容・方法）
・ディサービスを利用して出る機会をもうけ、座位、ギャッチアップはできるだけ自分でやってみる 外出はヘルパー利用して1時間程度出掛ける
ALSでも、夫としての権威と誇り、尊厳の確立であり、十分活動が見受けられる（それ自体が）
・温泉整備や行動範囲の環境確認。・目的地での行動しやりたい事、出来る事の確認。
長時間の座位が安楽に保てるよう、日々の座位の時間を増やしていく。屋外への外出の時間を増やしている

食事可（配膳すれば自力で摂取）移動、移乗（Pトイレ、ベットから車イス自力で可）
座位等の時間を増している
長時間、座位が安楽に保てるよう、日頃から座位の時間を増やしていく。
在宅での入浴介助や意思の疎通は普段から行っている。
移動時の手段 ・車イス使用し公共の乗物を利用、自動車の利用の確認 ・座位可能な時間を把握。
・長時間の座位が可能になるように日々訓練をしている
座位を保てるように日々の座位の時間を増やす。散歩・移動の時間を増やす。
・文字盤の練習を始める。・ポータブルサクションを使用し慣れる。・入浴できるための準備
座位を保ち、散歩等を増やす。
長時間の座位が保てるよう少しずつ座位の状態の時間を延ばしている。
日常生活の中でできることはないか。俳句・短歌・文章を書くなど、耳から聞く、目で見ることのできる事（趣味など）
車イスを使つての移動。意思伝達装置を用いて、人とのコミュニケーションを図る。
会話→意志伝達装置を利用して、会話OK
・電話を設置し、自分から外部に連絡が取れるようになった。・天気の良い日には、バラ園や、映画館に出かけている。
・座位保持の時間をふやす。・屋外散歩、移動の時間をふやす。
温泉旅行 温泉へ入りたい（寝たきり）
・日常の中での動作について軽介助で行えるよう取り組む。・コミュニケーションを出来るだけ多く取り、意志を伝える会話を楽しめるようにする
医療、ケースワーカー、介護事業所（各）、移送業社、家族、本人とカンファレンスを行う
体制保持の有無、可能、リハビリ、温泉での温度、効能にたえられるか
・離床時間を増やしていく ・入浴法などを主治医と相談 ・本人の好むカラオケの楽曲を親戚にリクエストする
日常での座位時間の調整
安心・安全な長時間移動と入浴
座位が長時間保てるように日々から座位の時間を増やす。屋外での散歩や移動する時間を増やしてみる。日常的に装置を利用し会話する。
温泉に入ることを目的とし、車イスでも対応できる場所、他人にできるだけ迷惑がかからないよう貸切は可能か？又、自身でもできるだけ座位が保てるようリハビリしている。
温泉に入る
車いすで過ごす時間と車での移動を意図して増やすようにする。
・定期的に外出して、外の環境になれていく。・移動時の座位保持ができる様に日中帯で練習している
屋外での散歩・移動する時間を意図的に増やしている。訪問入浴やデイサービスでの入浴の機会を作っている。
・リハビリの状況 ・日頃の外出の状況
・旅行に出かけるための体力づくり ・座位の時間を増やしていく
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やす。移動する時間を意図して増やしている。
長時間の移動に対応できるよう億台で、散歩、移動する時間を増やしている。
長時間座位が保てるよう座位の練習を行っている。温泉に入るといふ事もあり訪問入浴を導入し定期的な入浴の練習も行っている。
みんなに負担をかけるのをできるだけ減らそうと思うが、みんなの助けをかりて観光もし、温泉にも入りたい。
・食事前後座位を長い時間保つことができるように起床時間を増やす。・天気の良い日は窓側にて日なたぼっこをしていく。
体力の程度は 四肢の動きは
長時間の座位、移動が保てるように、日々座位の時間を増やしている。かんたんなコミュニケーションは合図やサインで分かるようにしている。
下肢筋力低下しないように意図してトイレまでは歩くようにしている。
電動車椅子での外出の機会をもうける。旅行のスケジュールを作成し休憩、介助する人など決めておく。
外泊に耐えられる体力づくり 入浴時の介助方法を家族で習得する
週に3回車イスにて座位がとれるようにしている。
長時間移動し易い様に日頃離床している時間やベッド上でギャッジアップして過ごす。外出の機会も増やす。
座位可能時間の確認と延長のためのリハビリ時間をもつ
日々、外出を通して、屋外で長時間過ごせる様に無理なく行って行く必要あり
・できるだけ、体力を向上させる様日中、在宅でのリハビリを行う・坐位で過ごす時間を少しずつふやす
・食事が普通食でいける。・コミュニケーションボードにより感動を共有する。
排便は、どのようにするか 食事は、普通でよいか
外出できる体力をつけるため少しずつ座位が保てるなど気を付けて生活していく。・車いすで屋外に出るなどの時間を増やしていく
1泊2日温泉旅行（車椅子使用可）温泉浴
IADL状態 生活状況
・拘縮予防の為の訪問リハビリを行っている・意志伝達装置を利用して家族とコミュニケーションを取っている。

・親戚との意志伝達をスムーズにするため、装置での練習を増やしている。
温泉が楽しめるように介助の手順を家族本人共両度把握しておく。宿の下調べ（バリアフリー・ベッド対応）
親戚一同と温泉旅行に行き入浴するために、戸外へ出て移動の時間を増やす
・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
妻だけでは1泊2日は無理が出るので、トランスや夜間の介護を行うスタッフが必要 予備バッテリー等の準備、入浴法のもさく
屋外での散歩や移動する時間を多くとり意図的に体力を作っている。
・座位時間を増やしている。
1泊2日の外泊（旅行）。
温泉地までの移動に耐えられる様子ハビリをする。
・長時間の座位が保てるよう、日々の座位時間を増やす。・入浴に関してできる事を確認し座位で浴そうに入れる様にしていく。
・自分の意思を伝えることはできるが自力でおこなえることが少ない
妻の介助にて排泄や食事、着がえ等、行っている 車イスにて外出は行える。意思伝達も行える
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・入浴がスムーズにできるよう家族が介助の時間を増やしている。
長時間座位が保てるよう、離床を行う努力をしている。
温泉旅行ということで、移動時間がかかる。日中短い移動などして、慣れるようにしている。
段差や移動に手助けが必要になる。
座位が安楽に保てるように、日々座位の時間を増やしていく。（散歩を行ったりする）
・座位保持のため、日々座位の時間を増やしている。・外出の機会を増やしている。
コミュニケーション可 意思伝達装置利用 温泉旅行で温泉に入る 全介助、安全面の確保
移動時、親戚の協力が必要。注意点など事前に話しておく必要がある。
屋外での散歩、移動の時間を意図して増やしていく。
日々の座位時間を増やす 屋外へ出る時間を増やし体を慣らす。
・リクライン車いすになれる為にリハビリが必要
一人では出来ない
移動する時間を意図して増やしている。
同行する親戚に日頃の様子をみてもらうため、事前に訪問してもらったり、移動に慣れるよう、外出の機会も増やす。
・移動の時の体位保持。・移動、入浴についての体力増強。
座位で安楽に移動出来るよう、訓練。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やす ・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々の座位の時間を増やす。屋外で散歩、移動する時間を意図的に増やしている 試しにデイケアサービス等利用する
・長時間座位が安楽にできるよう日々、座位の時間を増やしていく ・屋外で散歩、移動する時間を意図してふやしている。
近場で介護施設が整っている宿泊先を探す。
屋外での移動する時間を作り車の乗降などもスムーズに出来るよう介助者と連携をとる。
・屋外で日頃から散歩。移動する時間を日頃から増やしている。
・長時間の座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やしている・温泉に入れるよう、移動等の時間を増やしている。
座位が安楽に保てる様日々座位の時間を増している。・筆談や文字盤で話できる時間を増している。
・日々、家族と意志伝達装置でコミュニケーション計っている。・子供達や妻と車イスで散歩している
家でいる間はなるべくベットをあげて、座位を保つようにする
・普段と違う体力を使うことになる。それに備えての何か訓練を？（生活機能の向上）
・長時間の座位がとれるよう日々座位の時間を増やす。
日中の座位時間を増やし、長時間の座位が安楽に保てるようにする。散歩や外気浴を行い、外出に対応できるようにする
・長時間車イス利用になる座位を安楽に保てる様日々座位の時間を増やす。・屋外での散歩・車イスへの移動を増やす。
・座位保持の訓練
毎日3～4回座位を保つ為、がんばってテーブルですごしている。
定期的にデイケアを利用している。ヘルパーの訪問により、自宅でも離床ができています。
長時間の移動ができるように、屋外に出るきかいをふやす
排便（介助によるポータブル）等が困難なため、移動時の対応に留意する。
要介護5で活動困難
・他者との交流として週3回デイへ参加・外出の機会を増やし座位時間の延長車などの移動練習も行う。
・長時間の座位が安楽に保てるように座位の時間を増やしている。・屋外での散歩や移動時間を徐々に増やしている
旅行をする。温泉に入る。
意思伝達装置を普段から利用しているので親戚の方たちにも伝え、コミュニケーションをとる
・日々の体調管理を行う。・長時間の座位保持の為に車イスや疲れたときの体位を安楽な姿勢にするための体位のとり方を考

える。
屋外で散歩・移動する時間を意図して増やしている。
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしていく。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしていく。
精神活動は有り
温泉旅行
日中はできるだけ車イスで過ごすようにしていく。屋外での散歩、移動する時間を増やしていく。
・日中はできるだけ車椅子で座位を保つように生活・椅子・車椅子などの移乗も行う。
・長時間座位が楽に保てるよう日々の時間を増やす。・屋外への移動する時間で増やす
長時間座位が保てる様、日頃から時間を増やし、外出に慣れるように心掛ける。
・妻と温泉旅行のシュミレーションをする。
排便・オムツ交換食事全介助嚙下困難（トロミ食）
・外出時でも痰の吸引ができるよう家族の援助体制確立。
屋外での散歩、移動する時間を意図して増やしている
1泊2日の温泉旅行
日々の座位時間を増していく。簡易コミュニケーションツールの活用
・外に出る準備をする。外の空気にふれる。・入浴方法の確認
長時間車中（車か、電車か）に座位できる場所の確保ができるかどうか。意志伝達装置を使って自分の意志を伝える。
・昼間昼食後デイサービスを利用する。
座位保持訓練を行なっている。床ずれ予防用の福祉用具を選定している。温泉地の宿泊場所のリサーチ
・行くにあたっての心の準備。・親戚と会ったときに話す内容を考える。
長男と1回／月程度長男の車で旅行に行っている（旅行に慣れている）
長時間の座位が保てるように日々、座位の時間を増やす。家族が入浴介助出来るよう介助方法を確認する。
・座位が安楽に保てるよう、離床時間を増やしている。・散歩や移動時間を少しずつ増やしている。
（・コミュニケーションは意思伝達装置）・普段の生活状況は？（臥床時間が長くないか、入浴時はどうしているのか。
皆と楽しみたいと思う気持ちを持ち少しづつだが体調に気を使い、悪くならないようにしたいと思う。
日頃から、座位時間を増やしていく。
親戚一同で楽しい時間がもてるよう、本人がどこまで自分ででき、周りはどこまで協力できるのか、その上で足りない部分を補う方法を考える。（ヘルパーの同行など）
・旅行の移動時間を安楽に保てるよう、屋外で、散歩・移動する時間を意図して増やす。
排泄・食事・更衣・清掃
・温泉のDVDをみながら長時間座位保持訓練をする。
車イス等へのトランスができるか。ヘルパーの介助で買物散歩等が可能か
ALSのADL
・安楽な姿勢で座位が長時間保たれるよう日々、リハビリを行う。・屋外へ出て、移動時間を増やす・専門家よりコミュニケーションのと리카たを指導してもらう。・妻の介護負担を軽減の為長男の介護力（入浴）をつける。
・長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増やす。・散歩や移動時間を増やす。
・少しずつ、日々の座位の時間を増やす。・ワープロの入力に慣れる
長時間移動への対応 屋内・外移動の考慮
車イスでの活動になるが、場所によっては、スロープの有無の確認、介助者力？
日常生活関連活動 摂食、入浴、排泄行為 コミュニケーション、全介助 食事は軟食
長時間のギャッチアップが可能ないように、日々その時間を増やす必要性や、リクライニング機能付き車椅子で、屋外の散歩・移動する時間を増やす重要性を説明し、実行する。
目の動きで訴え、意思の伝達ができる様訓練する。
・旅行に向けて、体力をつけるべく、できる範囲の運動をしている
長時間座位が保て排泄等安全にできるようにする
外出にあたり、座位や移動ができるかどうかの確認そのための訓練など事前に行なってみる必要あり。
・屋外での散歩を増やす。・日光によくあたる。・体温調節に気をつける
車椅子座位で短時間のドライブを試みる。
長時間の移動が出来るよう日々座位の訓練や車に乗って移動する訓練をする
・座位が少しでも長く保てる様、時間を増やしている・入浴に慣れる様週2回の入浴を週3回に増やしている。
屋外での移動、移乗する時間を増やす。
長時間移動に対応出来る様、リハビリ
・長時間の移動などが保てるように体調を整えている。・温泉に入れるように体調を整える
長時間座位が安楽に保てるように日々、座位の時間を増やす。屋外で散歩、移動する時間を作る
・車中での座位が保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・入浴時の体力維持ができるようリハビリしている。
コミュニケーションが十分取れる様、日頃から意思伝達装置を常に使用している。

外への関心をむけさせる
意思伝達装置を全員が理解出来るか。車イスにのる時間を少しづつながくする
座位保持の時間を増やす
車椅子の使用（介助要） 排泄介助、移乗介助 食事介助にて活動を維持。
・日々座位の時間を増やす。・屋外で散歩、移動する時間を増やす。
旅行
日々座位の時間を増やす。屋外での散歩・移動する時間を増やしていく
現在の心身機能は？
介助により車イスで外出（家族やヘルパー、介護サービス）家事等
・長時間の座位が安楽に保てるように座価確保。・移動時間を増やす。・入浴方法？（いつもの方法ではない方法）
本人のムリの内容きちんと確認する。散歩戸外に出ると大変疲れやすくなる。
親戚一同で温泉旅行を計画
長時間の移動、座位が保てるよう、家でも座位の時間を増やしている。車で出かける際は少しでも一緒にでかけるようしている
長時間の座位が保てるよう、少しずつ座位の時間を増やしている。
・排泄、便意尿意ありベット上介助・食事不可、胃ろう設置・リハビリによる運動機能低下の予防、全身痛の緩和
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩移動する時間を、意図して増やしている。
座位が安楽にできるよう日々の訓練をする。外出を試みる。
長時間の座位が安楽に保てるよう日々の座位の時間を増やしている 屋外の散歩時間を延長している。
外出機会を作り、移動になれる時間を増やす。入浴出来る施設で入浴体験する。
・短時間なら座位が保つことができる。・装置を使えば意志伝達ができる
屋外で散歩や移動の時間を増やす。
座位保持訓練のため座位時間の確保
・長時間座位を保れる様に、座位時間を増し・長距離の移動を出来る様、散歩距離を増し。
長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩移動する時間を意図して増やしている。
排泄介助 食事介助）必要
・長時間の移動に耐えられるよう、日々の座居時間を増やすようにしている。・屋外で、移動する時間を意図して増やしている
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。
・シャワーチェア（移動可）を利用し、移動の練習を行い、長男に入浴介助をしてもらう。・日頃、湯舟に入り、長男に介助してもらう・車で移動する、練習を行う。
旅行の日まで、なるべく、車椅子を利用し、室外に出るようにし、外気にふれ、体をならすようにする。
本人もそうだが、妻65才を支える体制作りを考える。
尿意、便意があるのでトイレの場所の確認 バリヤフリーの浴室の確保
・ベッドアップ、車イス移乗など日頃からリハビリとして体をつくっている。日常使いたない安楽物品（マクラ）等、準備。目的地や周辺の下調べをPCで行い楽しむ。
・車イスでの屋外移動は介助・1日1回は外に出るようにしている。・車イスでの座位時間は2hまで
①長時間車に乗って耐えられる様にまた、意志伝達装置を上手く作動出来る様にして慣れておく②屋外bの空気に触れ身体の抵抗を小さくしておく。①②を達成する為に実際車に乗って近くに外出してみる。
・温泉でのまたぐ姿勢が安全に出来る様、長男たちと練習する。・日々座位でいる時間を増やす。
長時間の座位に耐えられるように座位をふくめ車椅子での散歩を多くする
屋外での散歩、移動する時間を増やしている。訪問サービスのスタッフに介助方法を指導してもらっている。
・長時間の座位が安楽に保てるよう、日々車椅子へ移乗し、座位の時間や散歩を増やす。
・長時間移動に耐えられるよう同様の姿勢を日々体験する。・入浴をどのようにするかを同行者と決めておく。
生活面における介助がほぼ全介助
意思伝達装置で伝達は可能
車で出かけて温泉に入る
安全に温泉に入れるように座位保持、入浴できる（車イス等で）施設が必要。移動のための環境の確認
座位がとれるようにリハビリをする
・体が安楽に保てるような車イス、のりものが必要・外出の機会を増やしていく
体調を整え車イスに移乗、座位の時間を増やす。
妻の介護により自宅での生活の維持
・座位の時間を増やしている。・屋外へ出ることを増やしている。・人とのコミュニケーションを増やしている。
温泉旅行（旅行+現地での入浴）
・長時間の外出に耐えられる様、起きている時間を増やす・介助者による入浴・親戚との行動ペースが異なる
・車椅子に座っている時間をふやしている。・温泉やホテルの場所を探している。（パンフレットやパソコンで）旅行の計画を練っている

温泉に入りたい。家族と食事共に摂取したい
コミュニケーションの意思伝達装置を屋外へ持ちだすことは可能なのか？
リクライニングの車椅子にマットも合う物も色々試している
長時間の車椅子での移動にたえられる様車椅子での時間を増やしている。
温泉旅行温泉に入る
長時間の移動が出来るよう日々の生活に外出の機会を入れる
生活上での活動状況。ADL等の評価により、宿泊に向けた体力作りを検討
旅行
温泉に入る。移動
・食事可（調理不可、HHサービス 配食サービス 息子が支援 ・ちょっとした食器い、片づけ
散歩等、外出の機会を増やし移動時間を意図的に増やす。出来ることは生活リハビリとして取り入れる。
主治からの情報をもらい具体的、できる事をはあく
外出に慣れていない・寝たきりで入れる温泉があるか。
食後1時間の座位保持だけでなく 10時、15時にも増やしていく。車いすでの散歩も日課に組み入れる。コミュニケーションは意思伝達装置利用であるので少しでも早く動かせる様練習する。
・状態悪化防止の為にリハビリを兼ねた日常生活を行う。
意思伝達装置を利用 排便（紙オムツ使用）
ベットから離床し車椅子に乗る時間を増やしている
車イスの意思伝達装置の固定法、又は移動時の装置の移動
・屋外での移動を増やす
長時間座位保てるようリハビリし座位の時間を増やす
温泉旅行にいく 生活関連ほぼ介助要 車いす移動 入浴 訪問入浴利用
長時間の座位が安楽に保てるよう座位をとる時間を長くしている
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。 ・屋外で移動する時間を意図的に確保している。
屋外での移動時間を増やし、座位保持の長時間確保が必要
体力をつける
移動時間と毎日のサイクルの時間で、ADLをくみだてる時のずれをどうするか
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々の座位の時間を増やしていく。
外出するにあたり自宅においても起位時間を増やすために離床時間を増やし体をなれさせるようにしていく
・長時間座位が安楽に保てるよう日々時間を増やしていく・日々の散歩も増やす
排泄（オムツ全介助）、食事（胃ろう）
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている・車イス対応の自家用車で移動する機会を増やしている
・意思伝達装置にてコミュニケーションがとれる。・座位が楽に保てる様に日々の生活で慣れる。
自宅においてもベッドからはなれて車イスでの生活を時間を延ばして行い体力をつける
屋外での散歩、移動する時間を意図して増やしている。
・大学教授をしている・本の出版をしている
（妻）介助者、同行の支援を受けて外出、温泉に行きたい
・日々座位時間を増やす。・介助者の技術が必要な為、適切な入浴方法の検討。
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やす。食事内容の検討。
食事を摂るのも座位がいいのか横のままがいいのか検討する。移動中も車イスよりはストレッチャー、及び車へのベッド搬入を考え疲労を減らす。
屋外に居る時間を増やす。座位時間を少しずつ増やす。いつもはシャワー浴だが浴そうに入るようにする。
長時間の座位が保てるよう日々時間を増やしている。室外へも出ている。
・長時間の移動に併う体力維持の為、日々の体力作り
・長男夫婦に口の動きで判断出来るようにしている・入浴時の合図の注意、入浴手順など練習すること
食事（PEG使用）、排泄（オムツ介助）、入浴（リフト浴・2人介助）
移動中も休憩を取り入れながら身体の負担軽減を図る。乗り物から見える景色で気分転換をはかれる。
・ヘルパーの声掛けにより毎日忘れずに薬を飲み血圧を安定させる。・歩行器使用し毎日歩く。
移動時の体力作り
座位が出来るよう日々の生活で座位が出来るようにしている
長時間、車イスでの座位を保てるように。
・長時間座位保持できるようにする。・屋外での移動時間の確保
・座位に慣れるよう日頃から安楽な姿勢にて長時間の座位を保つ
・温泉浴が楽しめる。・外出ができる
移動中も楽しく過せる様コミュニケーション装置以外の意思伝達方法も確認。
食事 排泄は介護者に全介助してもらう形になる

車椅子での長時間の移動の為座位が安楽に保てる様座位でいる時間を増やしている。屋外で散歩、移動する機会を増やしている
1、歩行可能か 2、交通機関の活用
日常の食事、排泄も介護要す。阻しやく可能（食事の形態）日中の生活パターン
意思伝達装置を使用してますが、コミュニケーションを多めにとっている。
電動ベットの利用 リクライニング車イスでの外出 リフトを利用した入浴 家族や介護者とのコミュニケーション
温泉に行く
ベッド→車イス（ヘッドレス付） 座位が保てる様、リハビリを行う
・長時間座位が安楽に保てるように日々座位の時間を増やしている ・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
・天気の良い日は車イスで屋外に出かけている。 ・意思伝達装置を使用して、使用するものがんばって練習している。
・入浴時、移動時の介助レベルの軽減
排便（介護によるポータブルトイレ使用可） 食事可（ヘルパー利用）
・親戚との交流
長時間の移動する時間を意図してふやす。
排泄（オムツ、Pトイレ介助） 食事可（食事介助やわらかい物） 入浴（移動入浴利用）
・当日、安心して出掛けられるよう体調の自己管理 ・移動中に困らないよう態制のシミュレーションづくり
安全に温泉に入れる様に専門職に指導を受け日常生活に取り入れる
特に入浴の際、手伝ってくれる人がいるのか、どう介助するのか、打ち合わせておく
旅行先の情報を得てイメージを膨らまし、楽しいことを想像する。
温泉旅行（一泊2日） 温泉に入る
車イスでの座位時間を増やし旅行に万全でありたい。日々散歩や家でのリハビリを増やしている。
不安なく温泉に浸れるよう自宅の浴室でシュミレーションしておく
ボランティア等の協力者が必要となる
起きている時間を増やすようにしている
家族と共に温泉旅行を楽しみたい。温泉にも入りたい。
ボランティア等の協力者が必要
意志伝達装置を利用しコミュニケーション可
・旅行の移動 ・入浴 ・親戚との交流
温泉旅行に行って温泉に入りたい
長時間の座居確保ができるよう離床時間を少しでも増して慣れておく
・ベットを離れた活動を増やす
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。他の利用者様と積極的にコミュニケーションする様働きかける
・安定した体制を整える ・旅行日程を吟味し、楽しく参加出来るようにする
・長時間、安楽が保てるよう移動する時間や屋外に出かける事を増やしシュミレーションが必要
日々の生活の中で機能訓練を取り入れ座位の時間等実際を想定する
・長時間の座位が保てるよう座位時間を少しずつ増している ・屋外での散歩、移動時間を増やし下肢筋力をつける
・タイムスケジュールにあわせた日々の生活のリズムを作り、観光、移動時間ホテルの受け入れなどのチェック
移動するための手段 入浴するための手段
旅館までの移手段
複数の男性陣による温泉での入浴方法を想定、練習、脱着衣の練習。お料理によってはトロミ剤刻み食を用意してもらえるか確認
家族、周囲の人に対して自分の意志を伝えようと努力している
長時間座位が保てるように、日頃から座位の時間を増やしている。 主たる介護者は妻なので、長男夫婦にも今以上に介護に協力してもらい、長男には入浴介助を頼んでいる。
・近い所まで車での移動の練習をする。
・車での外出してみ、どの位のところまで行けるか試してみる ・車椅子で過せるように
移動時間を増やす
・自宅入浴を2/w 2人対応で行っている（ヘルパーと家族） ・日中はできるだけ座位で過せるよう座位時間を長くしている
妻への介護疲れが見受られるも不安軽減を図る為にも老人会等の活動への意欲も出る。
昼間は出来るだけベットから離れて過ごし、夕食時は孫たちとコミュニケーションをとるようにしている
長時間の座位の安楽が保てるよう日々の座位の時間を増す
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やす 移動時間を増やす 入浴介助
長時間座位が保てるよう日々の座位の時間を増やしている
・長時間座位が保てるように日々、座位の時間を増やす。 ・屋外での移動時間を除々に増やしている。
・生活を楽しむための時間を増やすようにしている。 ・コミュニケーション装置を活用して「会話」する時間をたいせつにし

ている。
規則正しい生活の継続により健康状態の維持。日中活動（散歩・移動）を少しずつ増やし体力をつける
温泉旅行を行う 車による移動 旅館及びホテルでの滞在
親戚だけで温泉旅行する 温泉に入りたい
コミュニケーションがスムーズに出るようにしたい。
食事の時間を、朝8時30分昼12時夜6時 夜睡眠がとれるよう食事時間の調整を行なっている
・在宅でも離床時間を少しずつ増やし、なるべく座位保持に心がけている。・自身でも、手や足を動かし、リハビリを行なっている。（家族と）
・妻が温泉に入れるよう身内の中から介助者としての協力が必要。意志が伝わるよう、事前に装置にも慣れてほしい。
どの程度なら、入浴できるのか。
寝た切り
外出と入浴にそなえ、心臓の機能を事前にチェックしておく。温泉の食事メニューも確認し、キザミやミキサー食などにした際の状態も確認。介助のため、親戚やボランティア等人手を確保。
日中はベッドより座位を多くとっている 筋力もつけなければ
温泉旅行に行くことで自分にもできるという自信につながる
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている ・屋外で散歩、移動を増やしている
体調の管理 車での外出の時間を取る 伝達装置の使い勝手を確認しておく
意思伝達装置を利用しコミュニケーションを密にとる
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
健康状態が安定するように無理のないよう外出の訓練を行い、できる事を少しずつ増やせるようにしていく
外出の練習（本人・家族他）
楽しい思い出になるように全員が楽しめる計画に もう一度行きたいと思えるようないい旅にしたい
親戚と行く、1泊2日の温泉旅行
旅行に先立って、野外活動を増加、気分を高揚の為 会話の中に温泉旅行の話を取り込む
入浴で体力維持できるように、散歩、移動 屋外での活動をふやしている
日々 座位の時間を増やす 屋外で散歩、移動する時間を増やす
座位の時間を増す。入浴のシュミレーションをする。屋外移動の時間を増す。
家族も介護に参加し、旅行のスケジュールを無理のないよう計画を立てる。
長時間の座位が保てるよう座位の時間を増やしている。
皆の協力を得て外出することができる。
長時間の座位が保てるよう座位の時間を増やし、温泉の浴室等下調べをしている。
・自宅での入浴介助を息子に参加してもらおう。・外出の時間を少しずつ長くしていく。・コミュニケーションがスムーズに行なえるようにする。
旅行に出かける。
長時間の座位保持が保てる様、日頃から時間を増やしている。
安楽な体位での長時間座位保持ができる様にしていく。
外部と常にコミュニケーションをとっている。
・座位が無理なく出来る様にリハビリし、時間を増やしていく・ストレスがたまらない様に屋外での散歩や活動する時間をふやしている
・杖歩行でリハビリ職員の介助をうけて歩いている・口の動きのリハビリと歩行のリハビリを積極的に行う
緊急時対応できる医療機関の有無は？
・食事・入浴・排泄・移動
・移動時間の座位を保てるよう日々座位を行う。近くへの屋外の散歩を行う
日中も座位をとる時間をふやし座位に慣れる。座位が保てる時間・休憩が必要な時間を把握できるように近隣への外出を増やして車に慣れる
・長時間座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やしている
移動に耐えられる様に日々の訓練
外出が可能な身体機能を接種いじするための運動の機会を作る
長時間車に乗ることは殊んどないので、デイなど利用し、車での移動を体験しておく
・温泉に入る事が出来る様、ボランティアの介助者を手配する。
・1泊するため、長時間の外出を相定した動きをしている
長時間の座位がとれるように日々座位体勢を増やす。シャワー浴に慣れるようにする
デイサービスで皆さんと過ごすことになれておく
温泉旅行
1泊2日の温泉旅行
A L Sなので設置的にも前もって調べて、本人にムリのない様支援する。
・長時間の姿勢を耐えられるよう、リハビリの目標を設定。・移動時間中の介護の要点をチェック

散歩等の外出
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・長時間の移動にたえられるよう少しずつ外出の機会をもつ。・行先のパンフレットなど読む。
・散歩や移動の時間を増やしている。・家族による入浴介助での入浴をしている。・意思伝達装置を利用してコミュニケーションをとっている。
日々の座位の時間や屋外での移動を増やしている。
リハビリの時間を増やして体力をつけたい。
・自分と同じ境遇の人と交流を持ちたい・ハートセンターに行くのを増やして行きたい
車イスへの移乗や長時間坐位でいる為の訓練
コミュニケーションは意思伝達装置を利用。
座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やして。屋外で散歩・移動する時間を意図的に増やしている。
1泊2日の温泉旅行、温泉に入る
自立
日々座位時間を増やしている
移動に耐えられるように起きて座位の保持が長時間出来るように訓練する。
・長時間の移動（車中）に対応できるよう普段から少しずつ座位の時間を長くし、練習（リハビリ）を行う
・移動中の座位が安楽に保てるよう、日中に2回、車椅子に座っての栄養注入を設けている。・筋力保持、ROM訓練をしている。・排痰訓練をしている。
長時間の座位保持が保てるように日常生活の中で座位の時間を持っている。長男夫婦に手伝ってもらいながら入浴している（車イス）
主たる介護者の体力で外出外泊での介護はどうか？誰か補助が必要である。
・リクライニング車椅子にて近所を散歩・訪問入浴利用2/W・訪問介護利用6/W
温泉に入れる様リハビリを進んでやっている。温泉までの時間座ってられる様自宅で座位の時間を増やしている。
意志の伝達装置利用して自分の意志を伝える
・長時間坐位が安楽に保てるように日々、坐位訓練をしている。・屋外での車イス散歩を増やしている。
家族を心配し要となる。家族をできる形での声かけ。家族への気づかい、言葉として伝える。
安定した姿勢が保てるよう、旅行先に設備がそろっているのか。活動が可能か確認が必要
1泊2日の温泉旅行
温泉への一泊旅行。温泉に入りたい。楽しみたい。
・長時間の移動のため本人の状態に関して、訴えを伝えられるように、リハビリを行う。
意思伝達装置
旅行の移動～無理なく保てる姿勢を増やしていく
意思は伝達装置が必要
1泊2日の温泉旅行には別に介護者を1名付ける必要がある
自宅では食事時、リハビリ時に車イスへ移乗している。リハビリで時に自宅近くの公園まで散歩している。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々の座位の時間を増す。・温泉入浴デモ
・長時間のオムツ着用は肌が弱くすぐかぶれる為、リハビリと外出時以外は尿器をあてている。・導尿（妻orデイケア）で排尿コントロールしている。・移動は電動車イス自操
ボードを使って会話をし、食事やカラオケも参加可能になるのではないかな。
乗り物での移動が必要になり日々車や車椅子での移動で屋外に出る事を増す
・長時間が移動できるよう普段から外出するきかいを増やして行く。
・ベッド上での生活
・長時間座位が安楽に保てるように日々の座位時間を増す。・調べた入浴環境に対応できるように、入浴手順をシュミレーションしてみる。

(居宅介護支援事業所)

体力をつける
食事 排泄（介助で）咀嚼 入浴（介助で）
移動中車の中で安楽が保てる。サービスエリアでの休憩時間の確保・温泉旅館での福祉ベットの準備・休む時間の確保・旅館内外の散歩時間の確保・プライベート浴室の確保し温泉をたのしむ
日常的な運動を継続し体力をつけていく
長時間の乗車、移動時間をつらくさせないようにする。車いす用クッション、リクライニング、振動などの工夫。
安楽体制で移動する時の問題点を抽出して、安全に外出できるようにしてから実施する。
意思伝達装置でコミュニケーションが出来る
65歳の妻の介助で生活している。
・座位が長時間可能にする・外出機会をもつようにする
要介護5

24時間、介護を必要とする状態の中で、出来る事を探す。
・半日デイケア入浴・リハもなれリクライニング車イス使用で生活・電動Bed、右手指にてコールはおせるが、日中だれかしらそばにいる。
意志伝達装置を使いネットでコミュニケーションをとる
「長時間の移動にも耐える事ができるよう、起きている時間や座位の時間を増やしたい」
介護に対する本人の協力姿勢。
温泉旅行 温泉入浴 主治医に確認 ケアマネとの連携
移動でのルート、時間に余裕をもち、トイレの確保に万全を努める
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
長時間の座位が安楽に保てるよう日々座位の時間をふやしている。
意思伝達装置により会話可能
ディサービス等への参加し日常生活での運動をとり入れている。
寝たきり
長時間の座位姿勢がとれる様、福祉用具や体力作りを考えていく。
入浴介助は、ご家族のみでは、負担大きい。
普段から外出など行っているか。
福祉用具の活用
排泄や食事は対応できるのか？入浴など清潔保持。
室外に出ることは可能。移動用具の点検をしてリスクを低減する
車イスで移動は可能も、長時間は体調悪化の要因となり、じょくその可能性もある。座面、クッションは必須。
日々座位の時間を増やしている。
・長時間座位ができるよう、車イス乗車の時間をふやし、屋外にもでている。・股関節他各関節の硬縮を予防、可動域を広げるリハビリを行っている
長時間の移動に対して、身体キノウが保つ事が出来るよう座位時間の増加。少しずつ外の環境に慣れていく。
・1泊2日温泉旅行・紙オムツ使用、おむつ交換・食事介助
ALSの患者が自動車移動出来る装置について自動車
週3回位車椅子でギャッチアップし散歩に出かけ慣れる。
座位時間が増えるためのトレーニング
・デイスサービス利用し入浴、食事は座位で行っている。・W/Cでの外出の機会をデイスサービスの他家族も時々援助している
車椅子？施設の設備は？設備は整っているか？入浴できるか？部屋は？
試みとして日帰り、入浴施設に行ってみる
移動をどの様に行えば本人の苦痛が少なくすむかりハビリスタッフと検討。
長時間座位が安楽に保てるように日々座位時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を増やしている
座位、リクライニング、チルド等車椅子での安心した利用を時間に合わせ、工夫する
長時間の移動に耐えられる状態を保つクンレン
・せっかくの旅を楽しめるように、前もって活動の時間を増やしておく。
食事もベットから車椅子に移乗し日中車椅子
移動に車イスが必要である。
ヘルパー達との、ミニ外出をかさねてゆく
意思伝達装置を利用。
座位の維持。屋外に出る機会を作り体力アップに努める
・長時間座位が保てるよう日々、座位時間を増やしている・安全に入浴できるよう通所施設における入浴についてカンファレンスする
体力作り向上の為に起床時間を増やすよう日々努力している
意思伝達装置を利用してコミュニケーションをとることが可能
長時間の座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている 公衆浴場での入浴のしかたを考える
・息を使って、PCを操作する。・専用のキャリーを使って入浴する。
必要な福祉用具の準備。環境整備。そのための下見。必要な、人材の確保。
少しずつ時間を増やした外出の確保。介助者を含めた入浴方法の訓練。
・デイ利用時は、なるべく座位でいるようにしている。・自宅での食事は、なるべくベッドから離れて、とるようにしている
長時間の座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。
・移動、移乗が安楽に出来る・排泄がスムーズに行える
・外出頻度も皆無に等しい為、フォーマルインフォーマルでの外出支援を計画している。
杖歩行車イス併用
長時間の座位が保てるよう心がけて座位をとっている屋外へ出かける機会を作っている。
・ベッドでの生活からチルト式車イスに替えている

旅行ができる為にも健康状態を安定させる
全介助により活動性が低い
・食事は妻の介助で嚥下可能。・排泄はオムツ使用。
集団に慣れておく
外出の援助力が少ない。楽しめる場所が少ない。
意思伝達装置。
コミュニケーションをすすんで取ろうとする。家族に感謝している。
援助者の有無
寝たきり 意思伝達は装置利用
注意点を家族に説明・理解を得る
・座位の時間をふやしている・外気になれる練習。
(介助要) 外出 体力面が心配されるので、外出、車に乗っての移動など練習するためにも機会を作っている
屋外での散歩や外出の頻度は？自宅ではベッド上のみの生活なのか？
気持ちが、前向き
制限
長時間座位に、慣れてもらう。
旅行に行くことを楽しみにされ体力をつけようと座位保持や起きている時間を長く出来るよう頑張っている。
本人の移動能力や食事排泄等どこまでできるか、外出を想定して練習しておく。
浴室で出来る限り座位が保てるようにリハビリを行っている。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
外出機会を増やす
・長時間座位が負担にならないように座位時間や離床する時間を確保するため、リハビリなどを行う
・座位時間を日常的に増やす・Faへの褥瘡処子指導
ADL評価 IADL評価 介ゴ力評価
ALSがあっても出来ることが多いQOLの向上に向けた活動への取り組み
意思伝達装置を利用し皆と会話を楽しむことができる。足浴を楽しむ又は温泉がある部屋にて介助にて流し湯等を楽しむ
・自宅内ですごす時間が多い。
・長時間座位が保てるよう日々座位時間を増やしている。
・) 長時間の座位が安楽に保てる様に車イスに乗る回数を増した。・) 屋外散歩を増し、外気になれる様にした。・) 車で近所の公園に散歩に出かけた。・) 生活リズムを崩さないようにし、カゼ予防をした。
コミュニケーションOK。意思伝達ができる何かしたいという気持ちがある
長時間の移動や座位が保てるよう日々おきている時間を流やす。デイスサービス等利用して車の移動になれる。
・意思伝達装置によるコミュニケーション・座位保持の姿勢が保てるよう、なるべく座位をとる
旅行先で温泉に入る方法はどの様に行うのか？宿泊先にも協力してもらう事が必要
・旅行での移動が可能な様にリクライニングの車椅子の利用に慣れる様に乗車する時間を増やす
何時間の移動が出来るのか負担はどれ位双方にあるのか
・近所へのドライブを試行。
排泄食事移動
旅行
・座位時間を日頃からのばしていく・ひげをそり、いつも小ざれいにしていきたい
・長時間の座位、移動が安全にできるようリハビリをしている。・コミュニケーションが家族とはスムーズにとることができる
コミュニケーションは意思伝達装置利用
長時間の移動が安楽に保てるよう、日々座位時間を増やしていく・入浴行為が、少しでも介護者がへるよう、又、病状悪化にならない様症状管理をしていく
姿勢の保持は？体力的なことは？外出、普段されているか？移動手段は？
読書、困ご(パソコン) 食事、排泄全て妻に依存(親戚にも介助を少し助けてもらう事になれる必要あり)
コミュニケーション装置でOK。
移動する時間をふやす、散歩をふやす。車椅子の座位時間をふやす。
・排泄・食事・咀嚼可能
・外出を好み、他者との関わりを希望。・体の動きはゆるやかだが、行動的である。
座位が安定する様毎日数時間の移動も含めての訓練。
屋外、車の移動などに慣れる。
障害者用の入浴設備(車イスのまま浴槽に入れる)があるのが望ましい。
入浴：介助は家族で対応。事前に何度か、介助練習を要す。(一人では困難、二人対応) 着替え、その後の対応に一名計3名
座位時間の保持装置を使用したコミュニケーション廃用症候群の予防的リハビリ

普段の生活（食事、排泄、着替え、コミュニケーション、入浴等）
長時間の坐位時間確保
移動時間が安楽に保てるよう日々座位や車の揺れに対応できるようにしていく
ADL全介助
移動時間が長くなると本人の負担が多くなる。一泊するのでベットが変わり睡眠がとれるか調整
・散歩・移動時間を増して訓練している。
活動は車イスで移動他動的リハビリ施行
・食事も誤嚥があり注意・ベッドで寝たきり。
・座位保持ができる
日中、離床する時間を多くつくり、体力をつけるようにしている
長時間の座位が保てるよう日々の座位時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間も意図して増やしている
・安楽な体位の確認
・寝たきりでも入れる温泉を探す。・シャワーキャリーを使用し、足だけでも温泉浴ができるようにする。・訪問入浴の人に、洗身の要領を教えてもらい、家族で対応できるようにする。
移送手段の確保
他の参加者との接点について家族間で話し合っておく
常時車イス介助移動。自動運動は見受けられない。
移動手段（ストレッチャー）
持久力をつける為日中座位をとる生活
☆長時間の座位、移動ができる体力を養う。
座位時間の練習
同じ場所、空気の下コミュニケーションを図る
コミュニケーションは意思伝達装置を利用#温泉までの移動、手助がどのくらい必要か#経済的にはどのくらい可能か
・長時間座位が安全に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。
他所への移動等の戸外活動を増やして長時間座位が取れるようにしている。
・温泉地までの移動途中で休憩時間を設ける。・入浴する時の介助方法
温泉に行くことを楽しみに長時間の坐位を保つ訓練をしている
・長時間の移動にたえられるように訪問リハビリにて訓練中
意志伝達装置を活用。
長時間座位が保てるよう座位の時間をふやしていく
環境の急な変化を避ける為、外出機会を何度か設け、状態観察も行う。
・長時間の座位が安定して保てるよう、日々の練習が必要
介ゴする人達の介ゴ技術、（親戚も含め）の習得
リハビリ、栄養状態、ジョクソウ対策への気配り
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増している。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
一日の活動、衣、食、住・臥床：どの体位が安楽か？・坐位：何時間可能？・外出頻度
離床、散歩、下肢筋力車イスでの訓練、少しずつ移動が可能になるように増やす。
温泉に入る。
・日常生活の中で、外に出る機会を多くしている。
ADLの確認一日の過ごし方、ADLの確認
自分の意思を伝達機器等行い、外部との交流が行われている
急変時の対応法
一日でどの位、起きているか。排泄、食事、入浴の状況は？
・散歩、日光浴等外出する時間を作る
長時間の座位等の体力作り 入浴時の対応 コミュニケーションを進んで皆と図れるようにする
排泄（全介助でトイレで排泄、尿失禁、便失禁あり。食事（自力摂取）、むせあり
・長時間の座位が安楽に保てる様に日々の座位時間を増やしている事。安楽な姿勢保持の確保
活動全般に支援が必要
温泉に入りたい、入浴用車イスで入れない時、親戚や長男の介助で入浴できる方法を考える
意思伝達装置を利用してコミュニケーション可能。
・家族、親せきとの交流（来訪を受け）
・旅行にむけて、座位時間を増やしている。
普段のADLの確認
残存している「可能」は何か1、意志の伝達OK2…音楽をきける3…
閉じこもり
日中は車イスとベット、3食の食事は体調によるがイスに座って介助にて妻と食べられる。朝・夕は家族全員で食べる。

・日中、居間で車イスに座りすぎず？・テレビ、雑誌等外部のことにも興味あり？
長時間の座位訓練や散歩で体力をつける
食事・排泄・入浴の日常生活屋内で起きている時間の姿勢
・自宅での入浴時に確認が必要。
・時々のお外出により、社会性を維持している。・デイケアの利用により、友人を作る事等に心掛けている。
移動ストレスにたえる座位や外で過ごす事のリハビリ目標
意思の伝達はできる
長時間移動は体力により旅行を楽しむことが出来ない…！本人が動ける施設の状況か？全て一緒に行動することには無理がある？
・長時間の座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やす・外出する時間を意図的に増やす
車中の体位の考慮をする 施設内の移動は階段の少ない部屋
意思伝達装置使用の練習をしている。
①している活動 車イス自走可である トイレへの移動が、左側のカベにぶつかりやすい②できる活動では口頭指導が多い
散歩等をふやす
・リクライニングチェアのまま移動できるよう、車の手配。・自宅で臥床の時間を少し減らし座る時間をもうけ訓練する
座位時間を増やす。安楽体位や補助具の検討を行ない、よりよい方法が維持できるよう指導をする。実際に自宅入浴できるか試る
温泉利用時コミュニケーションがとりにくい、意思伝達装置は使用しづらい
・看病人やヘルパーの手配なしでは×（？）なら準備・スケジュールのリハーサル（現場を見ること）
普段から体力をつける為に起き上がったり、座わったり、歩く練習をしている。
〈できる〉座位保持は可能？車での移動は可能？趣味は？興味は？〈している〉コミュニケーションは意思伝達装置利用で可能。栄養摂取の状態は？普段の入浴は？
日頃より外出等行うことで座位保持できる時間を徐々にふやす。温泉に入るための介助方法環境の確認。
・旅行に向け座位保持が保てるように心がける。・屋外に出る機会を増やす。
温泉に入る際の医療処置を行い、ストレッチャー浴又は介助浴で足だけでも温泉につかれる様にする。
よく関わり、信頼関係を築く気分が落ちつくように家族や親しい人と一緒にいられるよう働きかけ温泉旅行を楽しむ
排泄 食事 座居保持 移動時間
意志疎通装置での会話のみ 以前から旅行が好きだったので行って元気になりたい
・座位時間の確保・意思伝達装置を利用しての友人家族とのコミュニケーション
・屋外での活動・活動する時間を意図して増やしている。・自宅での入浴回数を増やす。
旅行に出掛ける
・少しでも呼吸が楽になる様呼吸リハを行っている。・オムツに頼らず自ら採尿器を使用し排泄している。
屋外にて散歩、移動する時間を増やし、外出になれる
・車椅子坐位が可能か。（時間）・移動時の姿勢等を保てるのか。・坐位訓練要。
寝たきり
体力に不安
・日中の座位時間を増やす・車での外出の練習
・外出の時間を増やす。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々の座位の時間を増やしている。
ADLの状況 IADLの状況
座位の時間を増やす。外出できる環境に対応できるように日々の生活に外出できる機会を取り入れる。
屋外に出て散歩する等の時間を増やす
長時間の移動 同じ姿勢への慣れ
座位時間を日常生活で摂る
・薬の服薬、進行止めて行き・通所介護利用・散歩
ADLの状況・日中どのように過ごしているか
温泉入浴が可能となる様、福祉用具の活用。協力者のインフォーマルな介護力の発掘。
移動の方法、時間は親せき以外に、誰か手伝いは必要か。
車いすギャジにて、車での短時間の移動可能・入浴には介護を必要とする。
・移動中吸引器が使えるよう充電機能つきを購入・外への移動等を考え家族全員で移動訓練・車中コミュニケーションは文字板とし家族間で練習
親戚といきなり会うのではなく普段から家に来てもらったりと親交を深めておく必要がある。1泊2日という無理な旅行はひかえ近くの温泉から初める方が良い。
何が課題になっているのか分からない
移動：起坐位は可：介助で車いすへ食事：Bed上に用意自力摂取清潔：入浴全介助（巡回入浴）排泄：介助でポータブルトイレ可
・意思伝達装置利用にて、コミュニケーションは家族ともてている。・温泉までの移動に対応できるように座位・立位時を増

やしていく。
・長時間の移動が可能になる身体的リハビリ
・旅行にそなえて家族の車でドライブにでかけてみる・ふだんは移動入浴を利用しているが、施設入浴をためてみることに する
・座位時間を増やす・長男夫妻にも協力していただき、散歩等移動時間を意図的に増やす。入浴介助の練習（長男、親戚） 車の乗降や座位保持のためにも、日中の車椅子の利用時間をふやしている。
・呼吸苦の対応の介助対策・長時間の座位が保てるよう車イスの準備・コミュニケーションの取り方
みんなで食事したり、入浴したりして、できたら一緒に見学して回りたい。
長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増やしている。口腔ケアと吸引方法を家族に指導している
久々に温泉に入りたい。
ADL全介助 えん下のむせ込み有
・車椅子使用し時々屋外の散歩を行っている。・デイスーツを週3回使用している。
入浴：うまくできるように日頃より湯舟につかることにしている
・普段の外出頻度と外出の際の方法・自分で行っている事の確認
できるだけ日中は離床し生活にメリハリをつけようとしている。
長時間の座位保持が安楽に保てる様日々増やす。他の方とのコミュニケーションがスムーズに図れるように意思伝達装置の活 発的な利用
座位時間を増やす。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている・屋外散歩、移動する時間を増やしている
コミュニケーションは意思伝達装置を利用。リクライニング車いすで座位保持可能。
・臨床時、体位変換できないのでエアマット使用。・離床時間をつくり座位を保つようにしている。・在宅内で車いすを使用 し移動し、気分転換している
・長時間車での移動が安楽に行えるように、リクライニング車イスでの離床時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時 間を意図して増やしている。
長時間座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やしている
移動手段、時間、距離、温泉の設備等本人に適しているか。
座位時間の確保や姿勢の確保につとめている。外気にふれる機会をもつ様にしている
・長時間の座位が安楽に保てるよう、座位時間を増やしていける様にする。・屋外で過ごす時間に慣れる。
寝返りと起き上がりは一部介助移乗・立位は不可全介助
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
どれくらいの行程を計画しているか
長時間の車の移動に耐えられるように起きて過ごす時間を作っている。
旅行、ADL IADL
・温泉地の情報を集めイメージする・移動時間を考え体調を安定させる
車椅子での移動
歩行時間を増やす。
車椅子にて長時間過ごすことが可能になるようにしておく
リグライニング使用し長きよりに耐えられるよう普段から少しづつ距離をのばしていく。
コミュニケーションは意思伝達装置
移動はどうするか
・家族との交流
旅行日程までのタイムスケジュールをたて、逆算して安心して旅行の日を迎えられるよう日々の生活の中で準備していく
自分では活動不可、長男夫婦等からの援助が必要
温泉旅行に参加するを目標にリハビリにはげんでいる
・意思伝達装置にてコミュニケーション可・リハビリを行っている
座位の時間を増やす。
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている
屋外での移動する時間を増やす
・口角を利用して意思伝達装置を操作している。・家族との団欒の時間を増やしたいので、少しでも楽な座位をとれる工夫を している。
状態の安定をはかり、移動、入浴（温泉）栄養、排泄、その他の場面での対応が行なえるように支援者がシュミレーションを 行なう
移動に必要な体離や入浴についてのテストも必要である
離床して過ごせるよう屋外での散歩を増やしていく（車イス）車への移乗移動の練習をする。入浴ができるように坐位での生 活に慣らしていく
普通食可全介助による移動。
・親戚との交流で、気分が良い・温泉の入浴で血行が良くなる

長時間の座位が保てる様に日々、座位の時間を増やす。
体調管理に気をつけ基礎体力が少しでもアップできる様毎日散歩をし外気浴を増やす
・リハビリを増やしている・移動に耐えようよう医師の指導いただいている。
・車イスの介助車必要・温泉に入ることができる・妻と動ける
屋外への移動、坐位保持
・外の空気にふれる時間や・移動する（車？電車？など）時間をふやし本人に少しずつ慣れてもらう。
・温泉に入れるために日々の活動に入浴方法を取り入れる。
・温泉情報誌を読んでいる・屋外の環境に慣れておくため長男が休みのときに散歩に出ている
・ゆったりとした計画を
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
座位や移動がしやすくなるよう、リクライニングの車椅子をレンタルする。着やすい服そうにする。
長時間の姿勢が安楽に保つ事が出来るよう、ケアの時間を増やしている
・車イスの時間や、短時間～の移動の体験（練習）をする・1泊2日出かける事に対して主治医から気をつける事などをきいて、何かの時の病院を紹介してもらっている
・排便…排便、尿意あるがオムツ使用・食事…胃ろう、コミュニケーション言語により可など
移動手段の確保
家族ものんびりできるように2～3時間のヘルパーを確保して自室で入浴できるよう部屋に温泉ある宿を予約
できるだけ休める体制を作りながら、しかし、観光もできるスケジュール作成
温泉旅行に行けるように、可能であれば座位も練習して行く。コミュニケーション装置を使い、自己活動意欲を高める。
・家族、親戚（男性）による身体介護の実施、反復訓練、見直し※パワーウェイトの占める割合多い。・屋外で過ごす時間を増やし、内外気への抵抗力UPや環境変化、順応力訓練
ベッド上で過ごす時間が長い。外出（車への乗降）は数ヶ月前よりしていない。
元々体力があり、毎日坐位訓練をする等している。手指の力もありトーキングエイド（持ち運び可）で意志伝達をしている。
移動、活動がどの位できる状態なのか？介護力はどの程度あるのか？
・週2回のデイケア・週1回の訪問リハビリを受けている→体力をつけ、歩行キノーの低下を予防している
妻による主介護で旅行に備えた準備をする
テレビをみたり、家で過している
車椅子で屋外へ出る練習をする。・長時間座れる訓練をする
ねたきり 全介助
移動時間に耐えられるように、ベッド上や車イスでの座位時間を増やしている
コミュニケーションは意思伝達装置
・姿勢保持時間の延長に向けた訓練・当日に向け、意図的に外出する頻度を増やしている
・タッチパネル式電子機器で文章を打ちこむ訓練をしている
長時間の座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。屋外で散歩、移動する時間を意図的に増やしている。
長時間の座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やしていく。
・温泉旅行に参加したい。・温泉にも入りたい。
長時間の移動や坐位の訓練 温泉地を調べ活動状況を予測する。風景をみながら移動したい
意思伝達装置を利用し他者とのコミュニケーションが取れる
長時間移動が安楽に行くように、意思伝達の再確認や練習。
屋外での活動時間を少しでも増やす
日常生活の様子
・毎日、散歩はしているが、旅行に向けて体力作りのため週2回位は、3時間位の外出をする。
コミュニケーション（意志伝達装置）を利用して、本人の意図や希望が伝わるようにしている。
・長時間の外出に必要な、体力の維持。・コミュニケーション装置使用を意図的に活用。
・親戚と電話などで話をする。
・温泉に入りたい
要介護5から全介助でおむつ使用、寝返りできない。（自力では）
自宅内（ベッド上）で過ごす時間が長い。
車での移動、移乗に慣れるように近場へ何度も行ってみる。
コミュニケーションは意思伝達装置利用している
一日のうち、数時間は車いすに座り、離床を促している。また、外出（散歩や買い物）する時間も、作っている。（長男夫婦がいる時）
・日常の生活（活動）状態・外出状態や、デイサービスやリハビリ等のサービス利用意欲有無
・温泉旅行のため車で長時間移動が医者・看護師の同行なくできる。
・座位保持の時間をのばす訓練を行う。・外出を意識的にふやす。
日常的にコミュニケーションをとれる様に、意思伝達装置を利用。家族とのつながり、協力態勢良好

長時間座位にたえられるよう日々の座位時間増やす。湯舟への移動のための足の力をつける。
要介護5 事前にDrに体力、体調について確認。
内服状況 金銭管理など
・長時間座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やしている・外出の機会を増やしている
・長時間■位が保てる。・温泉に入る介助が必要
・移動時間を想定した座位時間。
長時間の移動にたえられるよう、外出の時間を増やしている
1. 温泉に入る為の用意 2. 温泉地の往復の移動時間 3. 緊急時の対応
要介護5 食事、排泄、入浴等、全介助 温泉旅行をして、温泉へ入りたい。
旅行のための特別なリハビリを行い準備協力者（介護者）の練習
外出可能な地域、距離も検討に入れて旅行地を選択する。
・リハビリで意志伝達装置の利用訓練、呼吸訓練、排泄訓練・坐位訓練関節可動域訓練
長時間の移動のリスク。
移動の手段についていろいろ検討する 泊まるということなのでどのようにしていきたいか検討。試してみたい
長時間座位保持ができるように今から訓練し、湯冷めにも注意するため寒さに慣れる。
コミュニケーションは意志伝達装置使用 温泉に入る
温泉施設までの移動時間や温泉に入るためには座位保持時間に耐えられる筋力をつける
・車での移動に慣れるよう長男の休日にはドライブしている。
普段の活動？
介護者とのコミュニケーション
移動や移乗が安楽に保てるよう坐位訓練を行う。（1日2～3回）外出する機会を増やす
・屋外で散歩・移動する時間を増やしている
・寝たきりで全介護状態であるが、意志伝達はできる。・外出に耐え得る体力づくりのためベッド上座位の時間を試している
2階までの階段昇降が辛じて可。週2回訪問看護で屋外散歩。車イスと歩行半々。
・リハビリ回数、ADLの程度・旅行先までの移動距離。・宿泊先の受け入れ体制。・旅行先の近くの緊急時の受け入れ病院。
温泉で入浴したい 気管カニューレから水が入らないように工夫。呼吸器、O2吸入が必要
・短い距離から車での移動を体験してみる。
家族や周囲の人達、あるいはインターネットなどで、参加しやすい状況か？。温泉場迄の移動時間、途中下車先等を調べておく。
長時間の座位が保てるように日々座位の訓練をする。
長時間座位が安楽に保てるよう普段から座位の時間を増やしている。
・コミュニケーションのやりとりを増やし、家族以外の人とでも交流できるようにする・長時間、車イスに座れるか確認。
意志伝達装置で妻と会話している
大学への通学。
・温泉宿がバリアフリーか。・体を休めることができるか。・起き上り移動が安易にできるか。（ベットなど）
・眼の動きを使って、文字盤やパソコンのソフトなどを利用。
・在宅での入浴法を温泉でも可能か、温泉の下見を行っている。施設へ相談し対応策を検討中。
・旅行に行けるように在宅でのリハビリを行う。・意欲の有無（向上を目指す）。・移動手段（旅行時）の把握
外気に慣れるようにする。
・座位保持の訓練を行い座位姿勢時間の延長を図る・散歩等の外出回数を増やしている
日中の生活の様子 外出時の様子
問題なし 温泉にも入れる
・1泊2日という長期間の移動に耐えられるか・事前に運動量を増やす
移動手段、自家用車か交通機関の利用なのか、座位保持がどのくらい可能かなと旅行前に実施してみる
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
会話ができる？（口又は眼で合図） 屋外に車イスやストレッチャーで出る機会がある。
長時間の座位保持ができる様座位時間を増やしている。
・長時間座位が保てるよう、日々座位時間を増やしている。・屋外での散歩、移動時間を増やしている。・意思伝達装置利用。
・車イス利用できるぐらいになれるといい。
温泉旅行へ出かける 呼吸する
・自宅以外でどのようにしているか・屋外では、移動、移乗は？
座位保持を一日の中で確保するようにしている
体調に合った、希望の温泉をいっしょ話し合いさがす。
長時間座位が安楽に保てるよう日々、座位の時間を増やしている。訪問リハビリ、ガイドヘルパーの力を借りて外出・移動時間を作っている
長時間の座位確保ができるように座位の時間を増やす。

活動量が低下していると思われるため、少しずつ外出の機会を作っていく。場所、方法等相談。
・妻と一緒に車イスで散歩に行ったりする時間を増やしている・訪問リハビリの利用
体調管理をし、旅行期間の流れを家族共に考える
コミュニケーション可
座位等も保てるよう外出の日数を増やして行く
限定的
・長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増やす・息子さんと一緒に入浴となると思われるので援助の仕方を練習する
移動時の座位保持時間が長い為、福祉用具の見直しを行う。準備として座位時間を増やす。
座位保持時間を延長。
移乗や食事に介助がいるか福祉用具を用いている 妻が長男夫婦と散歩にも行く。
一緒に行くことの喜びを伝え親戚の一員であることを確認させる。パンフなど旅行先の情報を知らせ共有する。
ベッド上の生活 食事可（柔らかい物）
屋外への移動の準備を意欲的にする。
座位ができるだけ長く保てるようにリハビリをしていく
コミュニケーション可
唯一の社会との接点ともいえるコミュニケーションボードを■使用して、その人らしい、生き方ができるよう、F a等、全関係者が協力する。
座位の時間を増やしている。屋外で散歩する時間を増やしている
・生活動作（歩行、排泄）。入浴動作・咀嚼状況
ねたきりであるが温泉旅行ができるよう移動時間、等たえられるかな？
室外での活動量をふやしていく 身体をならしていく
車イス入浴が可能な温泉宿を探す。
・食事（咀嚼）・排泄・移動手段・（温泉の構造）
・装置を利用して、コミュニケーションを図かる。・食事は流動食 胃ろう造設
日中、座位を保つ時間を増やす。
長時間のドライブと耐えるリハビリを施す。
伝達装置を使用し、家族とコミュニケーションをはかる。リクライニング車椅子にて、体調の良い日は外出。
座位保てるか、車の移動？
散歩や、行動する時間を多くとり、体力をつける。
移動は休憩を多くとる。
・長時間の座位（車椅子）が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
移動、座位の時間の延長。
親戚一同で温泉旅行（1泊2日）
テレビ、ラジオ等を聞く。
・温せんの楽しみ方の支援
座位の時間を増やし、腰痛の様子をみる。マッサージも試しに受けてみる
■■を体験する。入浴を体験する。
・温泉の出入りの確認。・食事（形態・量）のチェック。・バリアフリーで危険がないか、事前に調べる。
外の環境に対応できる様生活をなれさせる
自身で行える活動と援助があれば行える活動の区分
妻の介護力も必要だができる限り外出機会を持ち、コミュニケーションの機会を維持したい。
・本人の移動方法の練習・介助者の援助力の確認
・チャルティング車イスですごせるように座位訓練を行う・親せきのうち仲のよい息子いとこおいにも訪問してもらい移乗移動・着脱など練習しておく
・長時間の座位が保てるよう、できる限り日中は離床をうながしている。
温泉に入る。景色を楽しむ。家族親戚との交流を図る。
入浴介助のマンパワー 福祉用具の準備
長時間座位が楽に保てるよう日々座位の時間を増している。屋外での散歩を増す。
座位訓練中。意思伝達装置の操作の訓練中
コミュニケーションは意思伝達装置利用
コミュニケーションは意志伝達装置を利用
長時間の移動（外出）にたえられるように、自々の起床、座位時間を増やす。散歩などでの外出機会をふやす。
半日位の外出で徐々に身体をならしていく
移動中の体位を保てる必要がある
親戚等との交流

・介護（妻、息子夫婦）・送迎はジャンボタクシー依頼、登別の温泉にいきたい。
意思伝達装置を利用 排泄、食事、移動 e t c
入浴には、特殊浴槽の場所が必要。旅行には行くことが出来る。
家の中でBed上
・旅行に行ける体力がつくように毎日散歩にでかける
意思伝達装置によるコミュニケーション
1泊2日の旅行中、座位が伸臥位で移動できる体力をつける。
移動する時間等を考えて、日頃からの運動や座位が保てるようにする。
温泉に安全に入れるよう脚力のリハビリを行う。
親戚一同で旅行をする。
長時間の移動に耐えられるよう、リハビリをしている。屋外で散歩、移動する時間を増やしている
長時間座位が安楽に保てるよう少しづつ座位の時間を増やしている 屋外で散歩・移動する時間を意図して増やしている 風邪等をひかないように、健康管理を行っている
座位保持：30分程度であれば可能 徐々に座位時間を増やしている。
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位時間をふやす。
実際の経験がないので分からない。何かをして頂く様、介護者依頼する事になると思われるが、殆ど、家族協力を得られるケースが少ない為、説明が活動の感覚
・短距離から車の移動に慣れていく。・介助者の、入浴の介助のシュミレーションを行って安全に実施できるよう備える。
・座位やギャッチアップする時間を増やす。
意思伝達装置使用 排便、摂食、咀嚼、整容、着替、移動手度は適切か万が一の緊急連絡
自発的に活動はしない
日常の暮しを長時間の移動に対応できるよう座位（車イスの工夫）本人の目的にむけての気力を周りの家族が支援
遠距離の旅行だと耐えられるか
長男夫婦、妻と家庭生活を営む力はある。
・体力を維持する活動・入浴時の動作習得
家のベッドで臥床が多い。リハビリで座位時間ふやしている。
親戚とコミュニケーションが持て、長時間、楽しむ事ができる。
家族との会話、相談 趣味や好きなこと 出来ること 自信のあること
1泊2日の温泉旅行に行きたい。
家族からの情報
温泉に連絡して、介助者も、入れるように時間帯をあけてもらう。
・長時間座位、離床訓練・旅中の注意事項等、主治医・看ぶ師に相談
・長時間座位が保てるよう、日々座位の時間を増やす・屋外で散歩、移動の時間を増やす。・屋外でのコミュニケーション方法を工夫する。
長時間座位・安楽が出来る 車椅子にて、妻の全介助にて屋外の散歩、移動が意図的であれば可能
・リハビリ・妻と一緒に散歩を行っている。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増している。
・意思伝達装置を利用し会話できるよう練習・座位の時間、排せつの時間のコントロール。
自力での歩行練習を日中行なう ムセ込みに対して声の発声練習等指導をうけて練習する。
・関節拘縮、呼吸機能低下予防のための適度なリハビリ・意思伝達装置を使ったコミュニケーション
・コミュニケーション可能
・体力の向上に対し、日々座位の時間を増やしていく。・環境の変化に対応出来る様外出する機会を増やしていく。
長時間の座位が保てるよう、リハビリの実施。（通所リハ等の活用）
車いすかまたはベット上の生活。奥さん、家族の援助なしでは動けない
ふだんどの位、座位を保っていられるのか。
・長時間姿勢状態に対する体動難での姿勢維持を増すようになる・室外での時間を増して、気候への対応と本人の気分を整える
食事 更衣 排泄 入浴 移動手段
意思伝達装置を利用しコミュニケーションをとる
座位が保てるよう日々座位の時間を増やしている。
・人口呼吸器、吸引器などの電源確保。・親戚と会って話がしたい。
温泉に入れるよう入浴工夫。
屋外で移動する時間を意図して増やしている。
・道中、安楽に行ける様に。・温泉に安全に入れる様に。・快適なすいみん、食事。
長時間安楽な姿勢が保てるように時間を増やすプログラム 移動距離もそうとうあると考えられるのでその分も増やしていく
・咀嚼可能（やわらかいもの）・食事可（■不可）・排泄不可

車椅子で外出する機会をつくっている。車椅子から車への移乗の練習をしている。お風呂に入る手順、方法などを家でしている。コミュニケーション意思伝達装置で話ができるようにしている。
・コミュニケーションの範囲
・介助にて入浴できる。意思伝達装置を使用できる。
温泉旅行を目標にたのしみにしている 迷わくをかけたくないと座位時間を増やしたり、近くの公園で妻と散歩をたのしみに時間も長くられる様にしている
・日々座位の時間を増やす・温泉の湯けむり等で疲が多くなる事を考えて自己吸引の■かいを増やす。
車での移動や自宅とは違う環境での就寝に対応できる様に。
・コミュニケーションは意思伝達装置。・旅行参加に対する意欲あり。・旅行に向けて座位の延長
妻と共に外に出る機会を持つようにしている。
座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増している。屋外活動する時間を意図して増す。
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用。・移動は車イス
移動、コミュニケーション、身体的問題のため外出しにくく、活動の機会がせめられている。
両手指の屈伸など積極的に行っている。起床後はパジャマから普段着に取り替えるようにしている。
長時間座位をとれるようにするため、どんな活動が可能か。
ADL全て全介助。コミュニケーションは意思伝達装置で可
温泉旅行参加する方法
・屋外で散歩、移動する時間を増やしている。・長男が事前に現地を下見し、自宅でシュミレーションを行っている。
・車イスでの移動等が長時間保てるよう訓練が必要。・温泉での入浴等手順の確認
・車いす全介助で移動。・流動食。・排泄、入浴、全介助
・コミュニケーションは意思伝達装置。・途中移動したりする為、座位、移乗、臥床動作など行えるよう旅行までに。・旅行の時期を検討（気温、天候、体調）
長時間の座位の維持
移動時又は滞在中の急変時の対応を事前に予測し、医療機関との連携を考慮しておく。
・寝たきりで妻の介助が必要のため常に介助者がいる。・温泉にシャワーチェアで入れるよう30位は端座位の訓練が必要。温泉旅行に参加する際の移動、座位、臥位を考えてシュミレーションしてみる。・意志はきちんと伝えられるか確認。・体調は万全かととのえる。
車での移動を安楽にし、出入り時の温度の変化にも対応できるように、呼吸の仕方も訓練しておく。意思伝達装置の安全操作
・温泉に入りたい
座位時間を長くする
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている
温泉旅行 意志伝達装置によるコミュニケーション
・移動手段も念頭におき、本人・妻必要な訓練を行う
・長時間の移動が安楽に保てるように、日々の座位の時間を増している。・屋外での散歩、車椅子での移動を増している。
車での移動に慣れる。
・入浴は全介助なので、家族と一緒に入浴できる・洋室（ベッド設置）の宿を探す。
排便（介助により排泄） 食事可
・常に妻の介助をうけて生活。体をおこしている時間を増やすよう心掛けている。
・長時間の車いすへの乗車ができるように日頃から長い時間に慣れるようにしている。
長時間安楽に保てるよう座位の時間増やす。意思伝達装置も必要時使えるよう、確認しておく。
入浴介助方法の確認をする。意欲を保つ。
・温泉の移動（入浴）可能な為の体調管理・外出時間延す
・座位時間の延長・温泉の環境を調べ、入浴、就寝の活動が出来る様に方法を検討する
温泉に入っている
普段の生活 一日の過ごし方 室内中心の生活
長時間座位を保つために座位時間を増す
安楽な姿勢で、長時間移動に配慮している
ポータブルトイレ使用 食事介助
ベット上での生活が主である。車イスへの座位は保持できる。
施設の確認。詳細な計画。
家族旅行
・旅行先までの道中の移動ができるよう毎日2時間の座位訓練を行う。・浴室で意思が伝達できるよう長男と、サインを決めて練習する
・長時間の座位が保てるように座位の時間を少しずつ増やしている
・屋外で車イスにて外出時間を長くしている。
介助者不在では、困難である
温泉が好き

・移動、交通手段・食事・排泄>方法・座位保持の可否
温泉に入りたい
・意思の伝達は行えている。・通常の浴槽で入浴している。(出来ている)
移動介助必要(車イス利用)日常生活一部介助
起きていられる時間を調整する
・日常生活スケジュール。・外出頻度と外出時状況
座位保持ができるよう訓練時間を伸ばす。温泉に入る動作の確認と移動動作の訓練
事前に温泉施設について、調べる
日は見えるので、景色や入浴は楽しめる筈。(車イス持参)
温泉旅行に参加し温泉に入りたい
・長時間の移動、長時間の車椅子ギャジャップに対応できるように、屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。時々車で遠出している。・体力がつくよう留意している
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。・屋外での移動時間を増やす
少しでも介助者の負担を軽くするために、座位の時間を増やすなど、積極的に身体を動かしている。
体調管理しながら座位時間保持する。
・床上で横になっている事が多い。・ポータブルトイレに介助移動。・食事介助(とろみ食)。・車イス利用。・会話を楽しむ。
家族の介護(入浴介助)がうまくできるよう支援
コミュニケーションできる
・移動手段。・入浴手段
長時間の座位を保つ事ができるように、毎日、時間や回数を少しずつ増やしている。
温泉旅行に向けて、座位の時間を少しずつ増やしている(屋外の散歩)
旅行に出掛け温泉に入る
自分で体を動かす事は出来ないがコミュニケーション装置で自分の思いは伝えている。
・長時間座位が安楽に保てるよう座位の時間をふやす。・入浴方法をためす
・現在は、臨床時間が長いので座位時間を少しずつ増している。・屋外での散歩・移動する時間を増している
温泉に入る(誰が介助するか)。旅先に行くのにどうするか(手段)
一人で排泄できるか時々失禁ある。食事可。入浴時一部介助必要。
長時間の移動に対応できるように日頃から移動の機会や時間を増やすようにしている。
体は自らは動かせず、介助にて車イスで外出は可能。家族の介助で通院。4時間程度は車イスで過ごせる。病院へ車での移動は30分程度。
・長時間、座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
排泄、食事について、本人の状態を把握し、情報を共有する。本人の五感を養える
・離床時間を徐々に延ばし座位の時間を増やす。・外出する機会を増やす
週3回デイサービスへ参加。妻の介助で近所へ散歩 自宅へ友人や弟が来て話し相手
・意志伝達装置でのコミュニケーションをとっている
座位(リクライニング式車イス可)
意思伝達装置を用いてコミュニケーションを保てるようしている。
自宅での入浴時の状態を把握し、入浴時間の調整等、前もって確認。又、長時間座位が安楽に保てるよう日々座位時間をふやしている
離床時間の延長を図り、体をならす。旅先の介護者と関係づくりをする。
長時間の座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やすようにする。屋外で散歩、移動する時間を意図して増やす
旅行の行程や、アクセス手段の確認と、吸引
・入浴できるように在宅での入浴を家族様共々介助方法を学ぶ機会を増す。・外出する機会を増やしていく。・在宅でも座位の時間を増す
電動車イスで自宅内外移動できる。
・コミュニケーションは意思伝達装置をつければOK。・温泉旅行にむけ、日々座位の時間を増やしていく。
・ベット上座位時間を増やす 車イスなどで屋外に出る時間を増やす
・現在の1日の生活の流れ・外出の頻度
・座位保持が出来る様に日中訓練する。・意思伝達装置は自分で扱える。
・移動時の座位保持が保てるよう座位時間を徐々にのばす。
旅行するために座位時間をのばす。意思伝達装置の活用、旅行できるようにいどうするようにリハビリする。
週3回療養型デイサービスに通っている
・意欲も低下しており、日々の生活に元気が見られない。・温泉旅行を意識して少しずつ外出に合わせてやれることを考えている。
他者の足を引っ張ることを教えると、控え目になりがち。
・座位が保てるようにリハビリを意欲的に取り組んでいる。・カレンダーに目標記入し志気を高める。

温泉旅行までに、生活リズムを整えて、離床時間や体調を整えておく。普段はフルクライニングに1時間程度起きているが、その他はベッドで過ごしている。
・入浴時の姿勢が保てるよう、筋力の保持に努める。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
・移動手段について ADLの確認をする・意思伝達装置でのコミュニケーションについて
車イスでの外出（支援要）をふやしていく。
外出できていない
要介護5で入れる温泉をさがす
・長時間座位が安楽に保てるように日々の座位の時間を増加していく。・屋外で散歩、移動する時間を増やす。
・温泉旅行・一泊2日
・他者とのコミュニケーションが、スムーズに行えるよう近隣への散歩や買い物を行っている。・妻以外でも介護ができるよう家族を対象に介護教室を行っている。
制限される
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やす。・屋外での移動する時間を増やす。
1. 身体機能、生活動作の介助 2. 認知機能はある
・自宅外での宿泊・温泉施設での入浴
・長時間の座位が身体に負担をかけないよう、座位の時間を少しずつ増やす・意思伝達装置の座位でもできるように練習
座位時間を増やすトレーニングが必要。座位での安全物品の選択。移乗動作のサポート体制の確得。
長時間座位がとれる様に離床時間の拡大をはかっている。
本人自身、やる気がないので自宅では1日中布団、又は椅子上で過す。月～金迄ディに行き、ディでは日常生活動作はやらせて出来ている
・安定した座位が保てるように・電動車いすの操作が上手にできるように
長時間座位がとれるようにしていく。
座位の時間を増やす。屋外の散歩、移動する時間をふやす。自宅内でもできることをふやす。
リクライニング車イスで安楽できる姿勢での移動を行なう。本人の体調を考慮しながら観光を行なう。
・背もたれ付車いすに座っている時間を毎日少しずつ長くしている。・家族に屋外へ連れて行ってもらっている。
座位と移動が安楽に保てる時間を増やしている。
安全に移動が行え姿勢保持が安楽に保て、本人の思いを受けとめながら目的地まで移動する
移動の際、長時間座れるようになる、温泉に入りたい
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・外出する機会を増やしている。
・長時間の移動に疲れないよう体力をつける。・屋外で散歩、移動する時間を増やす・家族が入浴介助できるように練習
・屋外に散歩、移動する時間を作り大気に慣れる。
温泉に入りたい
・妻、親戚による健康管理・介助入浴の方法を習得（本人、家族）・移動方法による体力訓練
ベッドからの離床時間を増やす。安定した座位が保てるように体圧分散クッション等、身体に合う用具を見付ける。
？
・移動においての事故に注意すること。
人とのコミュニケーションを意図的にとる。人とかかわることが好き。
車椅子での座位の時間を増やす。
温泉入り、みんなと食事をする。にぎやかに過ごす。
不可
長時間座位が安楽に保てるように少しずつ座位時間を増やす。入浴後の疲労度等、日頃からチェックしている。
年齢的にもまだ若い事から外出する機会を増やす
排泄 移動・移乗 入浴介助 食事（形態・摂取状況）
社会的活動は可能か？ 自己摂取（食事）は可能か？
要介護5 65歳の妻が介護
ほぼ寝たきり状態で妻の介助を受けている
長時間座位、移動へのリハビリ
温泉旅行に行く。温泉に入る
・座位の姿勢が保てるよう毎日座位の時間を増やしている・訪問入浴サービス利用時に座位の姿勢を練習している。
移動困難 意思伝達装置の利用
・温泉に入る・温泉までの移動（外出のため車いすでの時間が長くなる。入浴方法の検討）長時間の車いすに対応できる様リハビリをする。
日中の過ごす時に、座位の時間を増やしている
車イスでの長時間座位が保てるよう訓練中
昼間はTV観賞 排便のみ便答（さしこみ便器）
散歩等運動する時間を増やしている

伝達装置を使い、意思を伝える 食事はペースト状摂取可
長時間の移動、坐位が保てる様、日常生活において心がける
長時間の移動が行えるよう車イスへの移乗時間を増やしていく
普段は自宅 ベッドのみ よくわからない
・友人や親戚とのつき合いは活発 ・趣味も多彩（旅行など）
長男夫婦と同居
全介助であっても家族親戚一同との1泊旅行に参加
本人の訴えを傾聴して、行なえることを実行する
できるだけ起きて外を眺めたり、好きな相撲をテレビで見たりしている。
・まずは1日外出からはじめてみる。・事前に下準備のために環境を確認する。
意思伝達装置によるコミュニケーション能力の向上。・長時間座位が安全に保てるよう、ポジショニング含め時間の調整。
・長時間の座位保持のため日々少しずつ時間をふやす・風呂（湯につかる）ことに慣れる
排せつは全介助、おむつ使用。食事は自分で食べられないのが、半分くらい、あとは介助。えん下は問題なし。
・意志伝達装置を利用し家族とのコミュニケーションをとる意欲ある・自分の意志を伝える力がある
全介助
移動の時は体調に合せ余裕のある、日程、時間を組む。全員が共に楽しむ
移動時に、転倒など危険を防止する為に両下肢の歩行の練習をする、筋力を少しでもつける。
・長時間の座位が行える様に毎日自宅で座位の時間を増やす。・息子と共に入浴の方法について話し合い、自宅での入浴時に介助の練習を行う。
リクライニングの車イスで座位の時間が充分とれるように日々座位の時間を増やす。
車の移動中が楽なように座位に慣れる。外気に慣れる為散歩を取り入れる。かぜなど病気になるよう注意
PCを使ってコミュニケーションをとれる
長い時間の座位が安楽にできるよう、座位の時間を増やし、不都合を伝える事ができるよう、その時間も意志を伝えられるようにしている。
旅行
長時間の座位、移動にたえられるよう日々時間を増やす、屋外での時間も増やす、妻の介護レベル向上
座位保持を保てるよう、普段の生活活動のなかで、起きている時間を増やす。
意思伝達装置が必要
長時間の座位が安楽に保てるよう日々の座位時間を増やす・屋外で散歩・移動する機会を意図的に増やす
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。・温泉で入浴を介助する人は、宿泊予定の浴室、浴槽を確認し、安全にできるよう準備する。
その人に適した交通機関を選べるか
・長時間の座位に耐える活動を日頃から行っているか・活動を増やすことができるか
座位可能時間 屋内での移動をしているのか？
親戚一同とコミュニケーションを出来る工夫をする。食事のとき以外にもコミュニケーションする時間をもうける。
課題や行為の個人による遂行
・徐々に車でドライブに行く時間を増やしている。・屋外での移動や散歩時間時間を増やしている。・入浴時間を徐々に増やす。・自宅浴槽に温泉入浴剤を入れて雰囲気にならしている。
リクライニング車いすも慣れる。
温泉に入りたい。旅行をしたい。
座位時間を増やしている。
意志伝達装置の活用
・食事、排泄、入浴、移動移乗。・リハビリ（訪問）マッサージ
入浴時など意思伝達方法を作る
・日中どのような生活をしているか。・どこまで自立できるのか
社会参加のための通学を行ない、家族においてはできることを行なっているが外出時間を増やしていく
長時間座位が保てるよう日々座位時間を増やす。
・長時間の座位が保てるようリハビリをする。・外に出る機会をつくる
長時間の移動時間に苦痛なく過ごし、屋外で楽しむ時間を作っている
・温泉での入浴が可能か、意志の確認や状況を確認。・意思伝達装置がスムーズに使えるよう、使う頻度を増やしていく。
休憩等をはさみながら、水分をとったり吸痰する事が必要。
日中の時間での座位保持ができる様日々時間を増やしている
・日々の座位時間の延長 ・健康状態を把握しながらイメージトレーニングをする。
温泉への移動 温泉入浴 食事の形状・状況
旅行先の景色、温泉を楽しむ。
・福祉用具を活用して、居間で妻と過ごすようにしている。

・外出にむけて、どういう事が大切か、体力作りをする。・外気浴を取り入れる等。
屋外で過ごす時間を増やしている。
・長時間の座位が安楽に保てるよう旅行にむけて座位訓練をしている ・多数とコミュニケーションが図れるよう意思伝達装置の操作の訓練をしている
・奥様の介助により外出（散歩）の時間を増やす。・コミュニケーションを親戚の方とおこなう。
・日中の活動時間はどの程度か。・入浴する
意思伝達は装置利用で可。
車イス乗車で4時間の間に少なくとも1時間毎に休憩を取り負担が軽減するように行動する。
・胃ろうへの注入時は、車イスに移乗して、注入を受ける事ができている。しかし、首の保持ができない。・病院へは車イスにて対応できている。
・少しでも長く座位が安楽に保てるよう、座位時間を増やしている。・文字ばんの利用を練習しはじめている。
自宅で座位時間保てる様時間つぶす
要確認。意思伝達装置を活用しコミュニケーションを図る。
・妻、長男は第3者との装置を使った会話が行えるよう本人との打ち合わせを予め行っている。・入浴が親せきの人と入れるための段どりを旅館と打ち合わせ本人親族にも前もって説明している。
・長時間の座位を保持できる様、時間を日々増やしている。・浴室での介助の仕方の吸引の仕方指導を看護師より指導を受けている。
要5、ほとんど寝たきり状態であり日々の生活にて、座位を取れるよう屋外散歩や日光浴などを増す
温泉の場所を近くにしてゆっくり散歩等の時間を増やす
・できる限り楽しんでもらえる時間を増やす。
1泊2日の温泉旅行 排泄、食事、更衣、全介助、移動（リクライニング介護タクシー）
・長時間の座位が保てるようリハビリを行っていく・入浴のリハビリ
日常とは違った景色が楽しめるよう、移動手段の手配を行うなら、本人も旅行を楽しむことができる。
長時間の座位が保てるように座る時間を増やしている。入浴動作も自分でできることは自分で行う。
温泉旅行の企画は、本人も行程や場所えらびなどにかかわっている。主体的に参加。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしていく。屋外で、散歩・移動する時間を、意図して増やしていく。
・車いすを使い移動可・装置を利用し意志伝達できる。
介ゴ者の妻の介護を支援する方法を見当して行く。（精神的援助をも含めて）
意思伝達装置を利用しコミュニケーションをとる。
座位はどれくらいとれる？
一泊2日の旅行を目標にまず短時間の外出から始め時間をのばしてゆく。
車での移動（長距離）が安楽に行えるようにドライブをする機会を作っている。
・リハビリを行ない、今の状態が出来るだけ長くつづくように頑張っている。・自分で出来ることは継続している。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
意思伝達装置を用いて他者とのコミュニケーションができる
温泉に入ることが出来るよう介護もしくは器具のトレーニングが必要。（本人・家族）親戚との交流のために装置が必要。行く先の温泉のサービスのあり様と近くにある医療、交通手段を確保。
・日中はリクライニングの車イスへ移乗する時間を意図して増やしている。・リクライニング車イスの背を上げて座位時間を増やしている。
・妻や家族とよく旅行に行っていた・ドライブが好きだ・インドアよりアウトドア派だった
・座位の時間、移動による身体負担を考慮・散歩、移動（車）ためしてみる
座位の安定をはかっている
他者への意志伝達は大丈夫なのか
毎日午前、午後2回ベッドサイドで端座位になり長時間座位がとれる様訓練する。口腔ケアを行ない肺炎予防に努める。
宿泊施設の状況を事前に調べ入浴等の移動、生活方法等を訓練する
食事摂取困難 自己呼吸困難 身体を動かせない
久しぶりの旅行に行くので体調をくずさないように注意して生活している
旅行に行くために訓練しているか
移動の長時間の座位が安楽に保てるように座位時間を伸ばす練習をしている。
旅行中の移動
安全で安楽に入浴ができるように本人が介護者の入浴時の困難部分の本人が介護の入浴時の困難部分の把握
旅行に向けて日々座位時間を多くして慣らす様にする
車に乗って長い時間いることがないので慣れるようにする。
訪問リハビリで座位が安楽に保てるように散歩等を意図して行なっている。
・長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増している・意思伝達装置によるコミュニケーション技術向上を図っている
・座位が安定して保てるようリハビリ・食事の加工（やわらかめ）・排泄時の移集介助・意思伝達装置によるコミュニケーション

家族と共に温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
座位時間を増やすよう日々リハビリをしている
本人の役割自覚と参加
長時間の車移動にならないよう、なるべく近くの温泉を選び所要時間を把握
温泉旅行
・寝たきりにならないよう座位姿勢を保つような時間をもつようにする・車椅子へ移乗し、散歩する時間を増やすようにしている
家事、親戚付き合い 座位の時間を（できる範囲で）増やしている。あるので家族への 屋外で■■■指示が多い、できる 排泄、食事、入浴全て全介助で行ってもらいが少しでも自力で 体力をつけたい できることを増やしてゆきたい
本人の意欲
・長時間座位保持訓練・外出介護のシュミレート（家族）
移動時の安楽姿勢の確保のため、移動の練習（車に乗る）を増やす。
・長時間座位保持可能か？・温泉に入った後の様子。いつも。入浴しているのか？
週1回のデイサービス利用を行っており屋外ですごすことに対しては慣れている
家族・親戚が協力的で障害に対する知識がある
長時間の座位が保てるよう座位の時間を増やしている
・長時間座位が保てるよう、座位の時間を増やす。・体調不良時に意思の伝達ができるよう意思伝達装置の活用方法について家族と確認する。
1泊2日の旅行に行きたい
入浴に1時間程度要する。この自発呼吸が保てるよう自宅にて訓練している。又長時間座位が保てるよう、座る時間を増やしている。
・屋外で散歩、移動する時間を意図的に増やす・車椅子に移乗し長時間座位をする練習をする
日々座位の時間を増やし、外出を心がけている。親戚も平らな場所からの車椅子への移乗等を練習する
排便（介助によるトイレ） 食事（家族による介助） 咀嚼可能
移動時の身体状況、精神面の苦痛はないか 入浴時の体位の確保は？ 移動は？ 介護力は？
・安全に温泉に入れるよう、長男、主治医の協力・親せき一同とコミュニケーションをとる工夫をはかる
・コミュニケーション方法は意思伝達装置利用・リハビリをしている
屋外での座位姿勢での時間を少しずつ増やしている
・座位が保てるようにリクライニング車いす。・操方について長男夫婦に協力を得る。・自宅でも座位保持練習を行う。
・長時間在位保持が楽にできるように日々訓練・屋外での散歩で外の環境に慣れる
体力をつけるために座位や移動時間を増やしている
・入浴時は長男に介護をしてもらっている・食事可、柔らかいもの、咀嚼、嚥下問題なし・排泄ポータブルトイレ使用可
長時間の移動が安楽に過ごせるよう、日々、座位の時間を増やす。
・日常生活動作・全介助・食事、排泄、移動
活動に対する意欲はあるか。趣味、楽しみは何か。持久力、長時間の座位が保てるか。
長時間の座位が可能か。衣服の調整や伝達装置の作動、電源等はどうなるのか。
・座位の時間を増やしていく・親戚に病気の事を理解してもらおう。処置（タン吸引）の指導をもらう・宿泊先付近の医療機関とのレンケイ
・TVを見る・パソコン操作
1泊2日の温泉 年に1度の花見
長時間の移動に耐えられるように屋外の散歩、移動する時間を意図して増やす。
・長時間の移動になれるよう、座位の時間をふやす・食事の形態も温泉地では自由がきかないため、大きさがあつものを食べられるようにする。
一日のうちリクライニング式の車いすにこしかけてほぼ日中はすごしている。
・長時間の座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。
・嚥下可能（やわらかい食品）・排泄可能（移集介助、移動介助）・座位可能（背もたれにて）
体力、気力が勝負なので、食事や運動に注意しつつ、旅行日程に合わせて、体調調整をしている。
車いすに乗せてもらいTVをみたり音楽を聴いたりしている
意思伝達装置
・車でのドライブの機会を増やしていく・近くの温泉に入ってみる
長時間の車椅子座位が可能か確認 温泉での入浴方法
長時間移動が可能になるよう座位保持の練習を行う
・受診は妻の車でかけている・妻の歩調に合わせ背負った形態で移動外出可
旅行
・長時間座位が保てるように、日々座位時間を増やしていく。・意思伝達装置をつかって、コミュニケーションをおこなう時間を増やしている。

温泉に入るまでの介ゴ。
交通手段、食事の確保、身のまわりの世話
・離床時間を少しづつ長くし体を慣れさせて体力をつける。 ・屋外での散歩、移動する時間を意図として増やしていく
装置を利用すればコミュニケーションはとれる
・旅行を楽しむ。 ・意思伝達活用。
毎食事時には離床し、食事されている。
自宅⇄目的地までの移動方法 目的地での環境は合わせ練習を行う
屋外での活動時間を増やす
PTによる専門的な訓練を受けている。
日々座位の時間を増やす 屋外での時間を作る DVD等での鑑賞 ガイドブック等での説明を受ける
意欲あつ
コミュニケーションは意思伝達装置を使用すれば可能と思われる。本人の意思に添った外出等の検討。
長時間座位が安楽に保てるように日々座位の時間を増やしている。 車での移動に慣れるように、意図的に乗車時間を増やしている。 安楽に座位保持できるようにクッション等を使用。 排泄のために障害者用トイレが必要
外の空気にふれて、気持ちよく過ごせるようにする。外の空気にふれる時間を長くして、長時間の移動時にも変化がみられないようにする。
たたみにすわって会話できるよう座イスリフトの検討（会話をしたい）
意に伝達装置で希望を妻に伝える。残存機能の残る、右手指の機能訓練
旅行をする（長距離の移動）外泊をする 温泉に入る
地域の障害者の会に妻の協力で参加。仲間と共に生きる意味を問いつづけたい。
リハビリも兼ねて、意識的に外へ散歩に行く様にしている。
長時間の座位 g 安楽に得てるよう座位時間を増やす。
親戚一同で温泉旅行に参加する（一泊）
車で移動する数時間の座位が保てる様日中は起きる時間を増やしている。
長時間の移動、入浴に備え、体調調整える
温泉に入りたい
妻が近所へ買い物に行く時、一緒に車に乗り、移動に慣れる様にする。
家族で外出（温泉に入りたい）
温泉へつかる際、何名かで介助が必要。湯へつかれるかどうか？
長時間の座位、車になれるよう日々のリハビリで車に乗る時間を作っている。感染症をおこさない様主治医と健康管理をおこなう
介護者の外出先での役割分担を決めておく
日帰り旅行や外出からのならしが必要
・長時間座居が保てるよう日々の座居の時間をふやす ・入浴動作について親戚との動きの確認をする
トラブルなく旅行ができるようルートのチェックや旅先でのサービス内容など調べている
温泉旅行
日々の座位時間を増やしている。自宅の風呂、近くの入浴施設での練習を行う。
ヘルパーさん・訪問看護スタッフ同伴で外出し、買い物や時には専門の病院へ外出
温泉で入浴できる座位保持
・長時間の座位が保てるよう訓練する
長時間座位が安楽に保てるよう日々の座位保持時間を増やす 行動範囲の拡大を図る
・長時間の座位が安楽に保てる様、日々座位の時間を増やしている。 ・屋外で散歩・移動する時間↑
・温泉まで移動（車or電車？） ・温泉に入っている。（要介護、同性？）
・意思伝達装置による他者とのコミュニケーションのみ ・生活関連動作は全て介助が必要
コミュニケーションが保てるように意思伝達装置を利用している
・座位時間を長くしている。 ・着脱し易い衣類を選んでいる。 ・時々、長男にも手伝ってもらう。
コミュニケーション可（意思伝達装置利用）
移動（車イス） 手段、入浴 e t c 動作
・温泉旅行に行けるだけの体力を保つ事 ・負担の少ない計画を上げる事
・1日外出している ・屋外で散歩、移動する時間を増やしている
援助者も体力が必要
要介ゴ5、日常生活動作は全介助
座位時間を増やす
長い移動に堪えられるように外出する機会を多くし、時間も増やす。
日中、車イスの乗車時間を増やす。
デイサービスで入浴（イロウより注入のため食事の自立はありえない）

外出できる体力を必要とする
・移動する時間を予測し、ベット上での、車イスでの離床時間を増やしている
・座位でいられる時間を延ばすよう、日々訓練している。・意図的に散歩等外出し、車イスでの移動に慣れるよう訓練している。
(家族)入浴時の様子を見学、介助方法を学び実際に介助できる様にする。移動時の刺激に慣れるため屋外散歩やドライブを多くしている。
食事、排泄、入浴等介助が必要
・仕事は何をしていたか・趣味は？
移動の状況等 生活状況等
長時間座位が安楽に保てるよう座位の時間を増やしてやる
車椅子に乗って過ごす時間を増やしている。
1泊2日の温泉旅行
・本人の状態を把握・座位保持 移動移乗時のADLについて訪問リハビリを利用し、維持向上
・身障者でも温泉に入れる場所を確保・状病の安定を図る・長時間の座位が保たれる様に日頃より座位時間を増やす
走る車中での座位が安楽に保てるよう、車利用による外出の機会を増やす
安全、安心に移動する。
排泄や食事が環境が変わってもできる様に外出になれておくようにする
長時間のドライブにも耐えられるよう、日々の座位保持時間を訓練する。
・安全に長く入浴が出来る様座位保持の時間を増やしている・散歩をしながら、屋外で過ごす時間を増やしている
・家族の介護により散歩(リクライニング椅子使用にて)が日課である・訪問リハによりリハビリを受けている
・温泉での入浴が可能となるように訓練を行なう(親戚の看護師さん、同行される者、留意点を医師から指示をうけておく)・意志伝達装置の整備
・排尿、排便(紙パンツ使用)・行動(車イス使用)
座位が保てるよう、リハビリを行う。外出を行う機会をもつ(長時間は困難な傾向)
・外出できるように、生活レベルは維持している(寝たきりか判断つかない)
移動介助を受け温泉に入りたい。活動時間を計画的に測り活動時間を超えない
リクライニング又は車椅子に移乗する時間になれる。
他者との交流には意欲的
なるべく起きて、日中は座位で過ごせるようにし、外に出る時間を増やしている。
旅館では横になって休みながらも親族と共に過ごせる体調管理を日々行う
・温泉までの移動手段(リクライニングかストレッチャーで安楽姿勢をれるもの)の配慮。・急に外出する前の準備段階として屋外へ出る移動、人の中で過ごす機会をもつ。
コミュニケーションは装置をつけてできる
長時間座位が保てるよう非違b座位時間を増やしている。入浴動作の練習をしてみる
・食事、排泄方法
・長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増やしている。・屋外で、散歩、移動する時間を増やしている。
・週に2回のデイサービス・2~3カ月に1回のショートステイ・自宅では訪問介護のサービスを利用し他は家族が行っている。ほとんどベッドの上での生活をしている。
・長時間安楽な在が保てるように日々在時間を増やす。・温泉に入るためのシュミレーション訓練を同行者が行う
温泉施設への移動 温泉への入浴
・長時間座位が保てるよう1日の食事時間の座位を増やす。・デイサービス等の利用をし、楽しみながら活動業を増やす。
・苦痛を伴わない座位時間の考慮、体圧分散機能の皆あての考慮など検討・外気になれる様訓練・車での移動訓練
普段の生活との活動から大きく変わる為外出に慣れておく必要がある。
食事 排泄 移動・歩行状態
・自宅療養中であるが、温泉に親戚と一緒にいきたいとの希望あり。座位訓練が必要。
・外に出る準備をする・入浴方法の確認
自宅で寝たきりと考えられる。屋外への外出もほとんどないと思われる
・長時間座位が保てる様、日々、座位時間を増やす。
意思伝達ではワープロを使うが、PCの入念な調整が必要
長時間が保てるよう離床を行う努力をしている。
日常生活の中で外気浴、買い物等、外に出る機会を努めて行うようにしている。
長時間の座位が安楽に保てるよう、座位の工夫、練習をしている。
どの様な生活の中でやりたい事、したい事の有無
・日々の生活の中で座る時間を増やす。
・不安なく安全・安楽に入浴するために長男に下見に行ってもらい、手順や流れを確認し、介助者とともにイメージトレーニングする・リクライニングに座る時間を意図的にふやす
特殊浴じゃなくても入浴が出来る様に妻に施設で入浴に慣れてもらう。協力者の確保 長時間の移動にたえられる車の確保

必要なシャワーチェアやリクライニングチェア用意。下見をして、時間配分を考え、本人にも説明
コミュニケーションは意思伝達装置を利用し行っている
・車の乗降移動 ・入浴 ・排泄介助、オムツ交換
車椅子に移乗する時間を増やし、宅外に散歩に行く練習をしている。
この温泉旅行を無事終えたら次に又、目標をめざしていきたい。
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしていく。屋外で散歩、移動する時間を増やしていく。
家族でのかかえての移乗の練習をする・座位時間を長くするよう図る
・屋外で散歩、移動する時間を意図的に増やしている
移動する時間を増やす
長時間の座位が保てるよう座位の時間を増やしている
日中の生活量を増やすデイなどを活用し身体機能を上げる
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている・屋外で過ごす時間をふやしている
・どんな温泉に行くのか家族に確認している・毎日ベットから離れる時間を作っている・屋外へ出ることを積極的にしている。
家族旅行
・車イスにて外出可能・日中は車イスで過ごしている
・排泄・移動・意思伝達装置
・コミュニケーションは意志伝達装置を利用
車での移動、座位など日頃の訓練の必要性あり。
長時間座位が安楽に保て外出に耐える体力を維持できるよう日々リハビリ訓練を行っていく必要がある。
リクライニングの車椅子等での移動の支援
・意思伝達装置を利用すれば、コミュニケーション可・リハビリや在宅生活における活動量を増やしている。
長時間の移動ができる体力をつける為にリハビリを行っている。
・外出のシュミレーション・入浴時の対応、環境
意志伝達装置の活用
長時間の座位が保てる様、座位の時間を増やす事や、屋外での散歩、移動する時間を増やしている
長時間の座位が維持出来るように日々の座位をふやして、屋外、車での移動を意図的に計画する。
「移動」に耐えられるように、座位保持の、訓練を意識する。リハでも背筋力のメニューをとり入れ、ヘルパー利用で車椅子散歩を励行する。
リクライニングの車いすに慣れる。外気にふれる練習。
日々の座位時間を増やしている。屋外での散歩・移動時間を増やしている ホテル内の活動は居宅と同一視する
・短時間の外出を少しずつ増やしていく。
F a とのコミュニケーション（装置使用） 車イスにて外出
温泉旅行
家族の援助にて温泉で入浴
外出できるよう屋外・移動する時間を意図して増やしている
外出をしたい意欲と、外出できる状態にある。
在宅生活とかなり違いこうふん状態に成りがちでしょう
・車の移動に耐えられるよう、長時間座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やしている。
・長時間座位がとれるか・入浴できるか・食事はとれるか
身辺動作は全介助
移動手段の確認と耐久性の向上をはかる。・車に乗れる・ホテル内移動が出来る。
本人の体力に伴う、移動手段。
・リクライニング車イスをレンタルし、離床の時間を増やしている。
離床時間を増やせるよう訓練
温泉へは誰がどのように入れるのか、浴場はどのようにになっているか 車イス可？
・意思の伝達を良好にするため常に介護者の援助が必要 ・筋委縮の防止のために定期的な他動運動の実施
近頃ではあるが、リクライニングの車椅子移重にて移動、介助要 長時間の車椅子は、身体的に負担が大きいと考えられる
長時間座位が安楽に保てる様日々、時間を増やす
・食事の確保 ・のりものに乗る ・車いすでの長時間の移動 ・入浴の実施
体力アップ・温泉に入る為のリハビリを開始。長男も介護指導を受けている。Drと相談をして緊急時の対応を決める。診断書の作成。
自分で行える事は日頃から行う
妻と2人で自宅で過ごしている
電動車椅子にて室内移動可 食事は介助を必要とする 排便はポータブルトイレで出来る
息子の介助で入浴できるように自宅での入浴介助をヘルパーさんと一緒に行っている 毎日散歩にも妻と出かけ、外の空気にふれるようにしている

旅行の移動にたえられるよう 座位をとることになれる
宿泊先の設備に合わせ入浴動作の訓練をする
・長時間の座位が保てるよう、普段の生活で座位の時間を増やしている ・温泉で入浴時の介助を想定し、長男を中心に入浴の介助を実践した
移動時間の問題等
日常生活全般に介助を要す（食事・排泄・入浴・整容）
APLの状態、食事、排泄、移動、動作
親戚一同との旅行参加。コミュニケーションは装置を使用し可能。
座位の訓練。温泉に入る為の入浴の際の工夫。乗り物に乗る時間を多く作る。
リクライニング型の車椅子を準備して横にもなれるようにする。思うように食事が取れない時も想定して高カロリーの流動食も準備する。排泄にトラブルがあっても困らないように紙パンツを使用する。
長時間座位で保てる様、日々生活している
・長時間の座位が安楽にできるように日々の生活の中で座位時間を増やす。・車イスでの移動時間を定期的にもつ
・長時間の移動、座位保持が可能か？・活動範囲を拡大していく必要がある
意思伝達可能
毎日、家族（息子夫婦、妻）や近隣に住む兄弟達の訪問あり。親戚みんなと1泊の温泉旅行で思い出を作りたい。
座位の練習 外出の練習
・外出や離床できるように毎日、時間を決めて離床している。散歩も行っている。
長時間座位が安楽に保てるよに、日々座位の時間を増やす
座位を保つためのリハビリは普段どのようにしているのか
座位保持ができるよう車イス 座位を増やしていく 拘縮しないよう日々のリハビリ時間を維持する。
・旅館を調べ、親戚と相談しながら決める。・移動時間は座位を保つことができるよう、日々座位の時間を増やしている。
長キョリ、体動にかなり制限がある。温泉以外に楽しみが必要。
現在の活動状況と困難としている現状
長時間の移動・手段の確保・車内外の対応がスムーズにできるように車イス移動動作 等のリハビリが必要。家族指導等の調整を図る
・長時間座位耐久性↑
自宅浴槽にての出入りの介助シュミレーションが必要。
長時間座位が安楽に保てるよう通所系のサービスを利用して練習している。
1日1回はヘルパー介助で車いすにて散歩したいと訴える。
車での短距離移動の練習をしている。
日常どのようにすごしているのか。寝たきりor車イスの生活か
コミュニケーションは意志伝達装置利用。排泄（ベッド上にて）はオムツ内失禁 食事（介助必要）
・移動（乗り物、屋外、建て物の中）・姿勢保持・食事、排泄、睡眠、・コミュニケーション、
屋外に出る時間を増やしている
イベントを張り合いに生活の自己管理に意欲的になる。楽しむ。
意思伝達装置を利用したコミュニケーション
・意思伝達装置でコミュニケーションをとっている
長時間座位が安楽に保てるように座位の時間を増やしていく。親戚、家族、本人とのコミュニケーション装置を使用した意志伝達の理解の機会をつくっていく
日中は介助により離床し、リクライニングの車イスで経過する、意思伝達装置で会話可能 経口的に食事摂取可能
伝達装置を用い、会話を行う
皆とのコミュニケーションは入浴時でも意思伝達装置を利用する
長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。
意志伝達装置を用い疎通が可能 日常に於て、行っている活動
伝達装置を用いて家族とのコミュニケーションを大切にしている。病気であってもできるだけ積極的に生活したい。
車で出かけて温泉に入る
・屋外へ出る機会を増やし座位の時間を延ばす。・ヘルパーの協力で家族へ内緒で手紙を作成している。
・リクライニングの車いす等での長時間の移動に体力を使う為、日々の座位の時間を増やしている。・温泉に入れるように入浴の機会を作る。
・外気にふれる車になれる・リクライニング車椅子まで座位に確保（45°位）訓練している
温泉旅行
入浴方法（自宅で）
入浴を二人介助で通常の浴槽に入る方法を試みる・車いす移動時間を長く持ち適度な休憩の間隔をつかむ。
週1回のデイサービスにて入浴している。通院はタクシー券利用し妻介助にて月1回昼はコタツで過ごす。
意思伝達装置を利用コミュニケーションができる。
日中は座位で過ごすようにしている。トイレ、食事等自分で行える事は行うようにしている。

車イス等に長時間乗れるように事前に散歩等を行い、外気にふれる事に慣れて頂く。
温泉に入るといふ目標があるので自宅で息子さんの支援を受けて入浴する練習をする 現在のADLを把握する
車での移動に合わせ座位時間延長を行っている。
車など乗り降りに注意、歩いても段差などにつまづいて転倒のおそれもある、
長時間の移動や座位が保てるよう屋外散歩や移動する時間を増やす。
要介護5で生活 すべてに全介助 親戚などと旅行へ行きたい
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位時間を意図して増やしている。
日中の車イスの時間を長くしたり、外気浴をする回数を増やす。
・旅行時を想定した生活になれておく、
移動に耐える準備
意思伝達装置を利用した家族とのコミュニケーション
・排泄・食事・入浴・日中の過ごし方
・車イスに乗る時間を増やす、移動時間が長いので安楽な体位を探す
・長時間の座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている・車イスの再評価を行い長時間の座位保持を可能にする・屋外の散歩移動の時間を増やす・入浴介助ができるようデイケアでの家族指導を受ける
・少しでも座位が保てるよう日々座位の時間を増やしていく。・屋外で過ごす場面を増やしていく。
入浴介助で、温泉に入れるか？
・趣味、特技の把握。・ADLの把握。
・家庭の中での役割。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・温泉地への移動が負担なく行えるよう外出状況見て外出時間拡大している。・入浴の機会をもち、安全な入浴方法を習得している。
・座位が安定するように、訪問リハビリを受け、自宅での座っている時間を増やしている。・どうやったら温泉につかれるのか、PTとも検討している。
・長時間の座位が安楽に保てるように座位の時間を増やす。
・車中での座位が保てるよう日々座位の時間を増やしている。
・移動等、練習が必要
自宅内の移動は自立。家事もできるだけ手伝っている。
座位訓練を行ない、旅行に備える。車イスへの移乗訓練
・長時間の座位が保持できるよう毎日座位の時間を増やす。・車イスでの散歩時間・距離を増やしていく。
座位の時間を増やす。外出の機会を増やす
長時間の移動を安楽に保てるよう、起きている時間をのばす。外出を増やす
移動方法の安全性は？ 景色を楽しむ為、座位はとれるか？
・座位が長時間できるよう日課としての車いす移乗をしている・他者との交流が盛んである
座位の時間を増やす 外出の機会を増やす
日中は車イスへ移乗し、趣味の音楽鑑賞をしている
・リクライニング式車イスで移動する機会を増やしている
食事、排泄、入浴、移動についてすべて全介助 意思伝達装置利用
・自宅で過ごしている時、等、痛みを訴える場所に注意
・日々座位の時間を増やしている。・屋外への外出機会を増やしている。
長時間の移動ができるように外部になれる。
・日々の離床時間を増やす。・屋外に出る機会を作る。・移動時の排泄の対応を考慮しておく。・食事摂取できる環境。
車いすが必要。在宅酸素が必要。食事に制限がある。
・デイサービス利用(週5日)・座位にてパソコンの操作行う
家族の一員として意志決定等に加える
リクライニング車イス移乗の時間。意図的に増やす。
食事の場と一緒に座れるよう毎日座る時間を作っている。
日常の行動範囲。できていること、介助されていること。
温泉には妻も一緒に入って介助してもらう必要があるので、家族風呂のようなものがある
入浴するのに必要な介助具等使用し、介助で入浴を自宅でしている。外出ができるよう座居保持など筋力トレーニングをする。
ベッド上がほとんど
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位時間を長くしている
座位はどの位の時間可能か又、温泉にも入るため活動量を徐々に増やし帰宅後に体力が低下しないよう取り組んでいく。
外出や移動する時間を多く作る。
・日常的に活動できる範囲を確認する

日常生活動作関連動作食事排泄入浴 e t c
A D L 低下防止の為訪問リハビリを実施。天気の良い日に屋外へ車イスで出かけている。コミュニケーションを図る練習を行っている。
リクライニング式の車椅子に慣れるため、1日に1回は外を散歩する
意思伝達装置によるコミュニケーション
コミュニケーションは意思伝達装置にて可能。車椅子移動
長時間の移動と、外気にふれるため座位の時間と散歩をふやしている
会話、摂食、入浴、排泄、(日常生活関連)活動は全介助食事は軟食。
・長時間座位ができるよう座位時間を増やしている。・屋外の散歩時間を作っている。
負担の少ない範囲で皆と同じ活動がしたい温泉にも入りたい
・座位時の呼吸困難が軽減するよう呼吸リハを行っている・休日には長男夫婦の協力を得て車椅子で屋外へ出る時間を増やしている。
24h室内で過ごしているので屋外への散歩、移動する時間をつくり、意識して増やしている
日常生活の中に散歩や、車椅子座位を取り入れる。
長時間の移動に耐える様現在出来るリハビリを実行。
屋外での移動、移乗する時間を増やす
・体調を整え、散歩の機会を増やし外出に慣れてもらう。
座位保持が安楽に保てるよう座位れんしゅう。呼吸器をつけたままの移動れんしゅう(本人、介助者)福祉用具活用。
・長時間移動に対応できる様リハビリ
少しずつ座位を保つ時間を増やす
親戚の中で体力のある男性に入浴の際の介助等をお願いする。呼吸器のあつかい方等、皆が連携して介助できるようにする。何かあった時の連絡先等を確認
少しでも長座位が保てるように、訪問リハビリを実施している。
長時間座位保持が保てる様に毎日座位時間を増やす。
意思伝達装置をスムーズに使用できるように練習している。
日常生活の中で、移動時のシュミレーションも兼ねて、外への外出など試みている
家族とのコミュニケーションは装置を利用したらできる他者の介助があれば車椅子で外出し、二時間程度は座位の耐久性はある
日頃から座位の時間を増やしている
普段の生活、1日スケジュール、1年のビッグイベント
・安楽な姿勢が保てるよう体位変換器マットの工夫・外出の機会をもつ・車椅子での移動、公共機関の利用
・元気なころは親戚と温泉に行っていた。仕切役。・起きている時間を増やす。
・意思伝達装置を利用
移動を安全に行なえるよう、座位に慣れる。屋外での移動を行なう。自宅での入浴に慣れる。
座位時門をのばす
旅行する、温泉に入る
移動の間呼吸苦や不安があり、看護師の見守りが必要、車イスに長く座ってられるように車イスでの座位確保
入浴時、文字盤を使って呼吸困難等を訴えることができる。また、意思伝達装置を利用してコミュニケーションを取ることができる。
・本人が入ることが出来る温泉かどうか・移動の時間も考え、座位を増す
・車イスに座る時間を作っている。
・家族(妻、長男夫婦との)コミュニケーション・介護、看護者とのコミュニケーション・趣味(音楽、絵…)
・体調を整える
・長旅が出来るよう座位を確保できる。・入浴が旅館できるよう相談する。・意志が伝達できる。
日中の活動量、ベットからはなれてすこす時間
介護を受けられる様に支援者を幅広く受け入れやすい様にしていく
温泉に入るためのグッズを準備する浴室、脱衣場の大きさ等を旅館に確認する、アンビュウ等準備
・普通の浴槽での入浴・外出の機会
コミュニケーション意思伝達装置入浴方法
・外出する機会を少しでも増すことにしている。(さんぽ、通院等)・妻以外の人とコミュニケーションを取る回数を増している。
意思伝達装置の装作ができるよう訓練が必要。長時間の外出が楽にできるよう車イスでの座位保持時間を延ばす訓練
長時間座居が保てるよう外出する時間を増やす。普通ベッドでの生活を試みる
長時間座位保持ができるよう、日常生活の中で座位保持の時間を増やしている、入浴ができる様、長男夫婦は入浴の介助の仕方を学習している
宿での入浴の際の介助者が適切な方法で行えるか。バリアフリーの家族浴室が利用できるのか
・座位保持時間を延ばす訓練・屋外に出かける機会を多くする

・外出に慣れるため練習している・普段ベットから離れて活動している時間はどれだけか？
リクライニングタイプの車イスで移動できる。パソコン等で意思伝達可能
座位時間が長くなるように様子をみている
装置をつかい、まめにコミュニケーションをとるようにしている。
・長時間座位が保てる様に少しずつ毎日時間を増し対応出来る様にする
・屋外の散歩、移動する時間を増やしていく
座位をとりながら妻との会話散歩、外出をし季節の移りかわりを楽しむ
長時間座位が長時間できるようにリハビリを週2回デイで行っては
浴そうに入っている時間を調整している。外出の回数も増やしている
・長時間車イスに座ることになるので、日々座位の時間を増やしている・ベットから離床するよう、居間への移動を行う
・介護サービスを利用、日中リクライニング車イスへ移動し過す。・パソコンを習いより円滑にコミュニケーションが図れるように努力している。
座位の時間を増やしている。散歩を増やす
長時間の座位が安楽に保てるように、日々の座位で練習して、安全安楽に行えるようにする
長時間座位・外出時の手はずの設定
入浴場所に応じた介護方法、外出移動時の身体負担軽減方法。・入浴時の介護者の確保と役割分担（親類）・本人とのコミュニケーション方法の説明、
普段の外出頻度時間旅先の温泉に入れる身体レベルなのか。
生活関連動作においては全てにおいて、介助を必要としているが温泉旅行に参加したいと活動意欲は持っている
・毎日、少しずつでも車イス（リクライニング）に移ってみる・少しでも外の空気を吸い体力をつける
・移動の時間を考え座位が長時間保てるように日々の中で時間を増やす・散歩やリハビリをする。
座位の時間を午前と午後1時間ずつとっている。その他、車イスでの散歩を1時間弱行っている。
・入浴は2人介助、湯槽はリフト浴使用。・日中、リクライニング、ソファで座位ですごす。・排泄は2人介助によりPTイレ希望
移動手段をどうするか
介護者（妻）による生活
・ギャッジにより体を起こす事ができる・「文字板」での会話ができる
日々の座位保持の時間をのばす
・車イスでの移動時間に耐えられる・夜間のベッド確保・緊急時の連絡の確保
旅行までの交通手段を本人の安楽を第1に薬、福祉用具の活用などを行う
コミュニケーションは、意志伝達装置を利用
・1泊2日の温泉旅行・意志伝達によるコミュニケーション
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位が時間を増している・屋外での散歩、移動する時間を意図して増やしている
・いきなり長時間座位を取ることは厳しいため普段から座位を取る時間を作るようにする・自宅のお風呂で入浴の練習をする
親せき一同で1泊2日の温泉旅行に出かける
長時間の座位・外出が保てるよう、日々座位時間を増やしていく家族以外の人と意思伝達が行えるよう配慮していく
車いすでの移動が可能。バス利用は困難だが、それ以外は利用可能。入浴時は長男、甥が介助
コミュニケーションは意思伝達装置を利用。パソコン操作可能。
家族団らん。
温泉に入れるように日々の生活の中での座位保持時間をふやしていく。
外に行ったり、人と話すことは好き。他人の事が気になり、好き嫌いがあるため、一度拒否してしまうと次の対応が難しい
・長時間の座位が楽に保てる様にするため座位の時間を少しずつ長めにする。・散歩などにて戸外に出る練習をする
自宅で過ごす間でヘルパーが来ている間は起きて過ごしている 気分転換もかねて外出し、徐々に外出する時間を伸ばしている。
・屋外で移動、散歩する時間を増やしている。・長時間座位保持の練習をする。
移動手段が整っているか。
座位保持をすこしでも長く出来る様に背もたれの形を工夫されている
意志伝達装置を利用してコミュニケーションをとっている。
・長時間の移動、外出に伴う体力を作る。
自宅から温泉までの移動、手段大丈夫か。
温泉旅行に参加宿る
意志伝達装置を利用するキカイが増えると思われるので、介護者である妻と、打ち合わせと、屋外で散歩する時間を意図して増やす、温泉場の病院などの確認 主治医より温泉旅行近くの病院を紹介、連携をお願いする。
排泄、移乗、移動介助 食事可（調理不可） 咀嚼可 着替え介助
日常生活の様子
1日の生活リズム 福祉・医療器の種類等
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしていく。屋外での散歩、移動を増やす

・体を動かすことはしていない。・コミュニケーションは意思伝達装置使用
温泉まで所要時間を計算してその時間の座位の保持訓練
温泉に行きたい
日々の生活で少しずつ座位保持の時間をのばしていけるように心がける。まずは座位保持が保てるように筋力をつける。
長時間座位が保てるよう座位保持時間を増やしている
入浴方法等、家族みんなで話し合い、実際色んな型で入浴を実施している。(自宅にて)(温泉で入浴する事を想定して)車での移乗移動の方法を家族で話し合い実施
座位時間を徐々に増やしていく。室外に出ることが少ないので、外の空気に慣れていく。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行で徐々に温泉に入りたい
長い時間の座位訓練中。最初は、Bedアップ→車イスでの乗車時間を徐々に長くしている現在は、1時間可能。目標は2時間位とす。自宅外でも、散歩も検討
・長時間座位が安楽に保てるよう日々の座位の時間を増やしている・入浴時に自分で出来る事を増やすため前身を自分で洗う努力をしている
・意思伝達ができる・温泉に入るための体力の維持。
・意志伝達装置を利用すれば、コミュニケーションがとれる介助すれば車イスが使える
・移動に対応できるよう日々の活動時間を増やす。
・長時間座位が安楽に保てるよう座位の時間を増す。・屋外、散歩、移動する時間を意図して増やしている。
屋外の散歩や移動時間を少しずつ増やし、耐久力をつける。
一泊旅行 温泉入る
温泉地までの移動、自宅以外での宿泊、入浴など、可能にするための体力、能力 介助者の確保
親戚たちとは普段から交流しており、コミュニケーションはよく図れている。
長時間座位が保てるよう、日々時間をふやす
・長時間座位が安楽に保てるよう、座位の時間を増やす・散歩等、外出する時間を少しずつ増やしていく。
・日常生活で可能なリハビリ・家族の介護力・今現在出来ている活動についての確認
・乗物での移動ができるように外出の機会を作っている・車椅子使用ができる障害者受け入れのできる温泉場をさがしている。
・長時間の移動、体位・入浴時の姿勢保持・日々の座位時間を長くし、対応できるようにする。
温泉旅行を目標にリハビリにはげむ。
長時間の座位が安定して行えるように座位時間を増やす。入浴介助の仕方を介護者が訓練する。
・座位時間を長くする・外出の時間を作る
・コミュニケーションは意思伝達装置で行っている。・今後は旅行前に外出の機会を増やす事が必要。
温泉に入りたい。コミュニケーションは意思伝達装置利用
免疫力低下防止、感染症にかからない様に栄養状態のチェック。車イスでの移動時の体力保持の為の訓練。
散歩等にて離床
日中は座位時間をふやしている
・日頃より、外出できる。
・小さな変化にも精通できる、馴れた介ゴ者・家族の他に専門職のつきそい、1人→緊急時の対応
車の移動時座位の時間が長くなるので日々座位の時間を増やす又、移動の時間があるので外出の機会を増やす
コミュニケーションはとれる。
徐々に会える親戚の人と話しがしたい
温泉に入る
・無理のない体力づくりを考え、本人に促す。
あまりない
車での移動に慣れるため週末は長男の車で30分程度のドライブを体験する。
長時間の移動に対する座位、意思伝達に達する配慮
・長時間座位が保て、日々本人が安楽な状態が続けられるように相談していき、時間を延ばしている。・外出の機会を増やしている。(買い物、公園に行く等)
車椅子座位練習、行っている長女夫婦がお休みの日に車でのドライブを試している。
・車いすから浴槽への(特殊浴槽は設置されていないと思うので)
・なるべく同じ体勢をとり続けられないようにしている・体調が良い時は屋外に出るようにしている。
浴室のついた部屋を選ぶ、家族風呂のあるところ
座位時間を増やす事で3時間耐えられる自信を付ける 近くの施設浴室を利用させてもらい入浴を試みる
・日常生活の中で、座位が長時間保てるよう、体調みながら座位時間を伸ばしている。・天気の良い日は車イスでの散歩もするようにしている。
温泉に向け 日常生活での座位時間を増やす
・温泉の場所(ホテル内移動)・介助者の確保
経済面、行き先の環境の問題主治医の許可、危険時の対応、移動、入浴就寝時の付きそい。介助体制をクリアして、本人が楽しみにしている活動、話したいことを重点的にまわりが支援する。

近くの温泉場へ入浴をして皆との入浴を楽しみにしている
全介助をうけながらの移動、日常生活動作の全介助
・長距離の移動にそなえて座位時間の延長をはかる
日中の活動時間を増加し、移動等に耐える体力を得る努力を行う
週4回デイサービスを利用中で、4～6時間、坐位姿勢で過ごしている。長時間の坐位は可
旅行に行けるだけの体力をつけるには
・長男を中心に入浴時の動作がスムーズにできるように移動練習、洗身・介助など家族での役割決める
日中ベット上での時間、車椅子（リクライニング）上で過ごす時間も設けている
長時間の移動が安楽に出来る様車イスの調整を行い座位の時間を増す為座位の時間を増していく
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位の時間を増やしている。・洋服の着脱が楽になるよう着脱の回数を増やしている。
温泉に入れるために座位時間を長くする。背もたれがあれば左右に倒れないよう練習する。食事、排泄を介助を受けて行う
近所の買い物や散歩に出かける
長時間の移動、座位が安楽に保てるよう散歩や座位時間を意図して増やしている
座位保持時間を少しずつ長くする。日光浴をする。シャワー浴を浴そうにつかる入浴に切り替える。
・長時間座位が保てるよう日々座位の時間を増やしている。・屋外で活動する時間を増やしている・旅館の情報を見てイメージ作りとチェックを行う
移乗介助はどのようにされているか。安全に移乗できる手立ては整っているか。
移動、排泄、入浴、食事、面に関し細かい配慮が必要
地域で人望も厚く友人が神社、お寺のこと、又いきいきサロン老人大学、田畑の作物のことで相談に来るそのアドバイスをする。
・デイサービスで座位の時間を増やしている。・長時間座った場合のシュミレーションをしている。
移動移乗の能力、方法は。コミュニケーションをとる意思伝達装置を使用する能力は？移動移乗に使う装置を使用する能力。理解力。
コミュニケーションは意志伝達装置 排便オムツ全介助
浴そうに入れるように、上下肢の筋力維持訓練を行っている。
寝台の変化に耐えられるようにする。ベッドから離れて過ごす時間を増やす。
長時間の移動、外出する際の負担を準備。・屋外で移動、散歩をする時間をつくる。
意志伝達装置による会話であるが積極的にコミュニケーションされる 意欲的である
長時間のパソコン操作でも
温泉に行く手段
・座位の時間が少しでも保てるようにリハビリをしている。
誤嚥の危険。入浴中の事故の危険
要介護5。日常生活すべての面に介護が必要
旅行を楽しみ思い出作りにする。
排泄、食事、入浴} ADL状況
・旅行中、長時間の坐位を保てるよう、安楽な姿勢の調節とスムーズに移動できるように宿泊施設や事業所等との打合わせ。
温泉旅行
家族へ介助方法を日頃より指導し、長時間外出の安楽な姿せいが保てるよう移動する機会を増やす。（散歩など）（入浴方法も含む）
長時間座位が保持できる座位時間の確保 屋外で移動する時間を増やし、徐々に耐久性を増やす。
実際に出来ている活動
旅行にたえうよう体力をつけるべく離床時間をふやすことが必要。安全に移動できる車イス手配
車移動に座位が保てる様に座る時間を長くする。・息子又はヘルパー支援者を探す。
・日々、離床時間を増やし車イスで生活できる時間をつくっている・食事、排泄は離床し食卓、トイレで行っている。
・長時間の座位が保てるように訓練を行う・入浴時に気をつける事や介助方法を家族と考える
・車に乗り降りするため下肢筋力低下を防ぐよう運動する。・夢がかなえられる様努力する。
移動すること、外出する練習をして、外に出ることに慣れる。痰がでやすくなるか、食事はどのような形でとることが可能か？外食も試みて排泄に関しても実際にできるか考える。
(+) リクライニング車いす使用(介助型) (-) 機械浴使用、食事形態はきざみとろみで、旅館に依頼必要。
久々の温泉という事で体力の維持に努める。前もって外出してみる。
温泉旅行
車椅子での座位時間を増やし、また車椅子散歩を行なう。また入浴も普段から行なう
ドライブ、外の景観、四季の体感なるべく変化している社会参加を取り入れる。野外活動によるコミュニケーションを取り合える環境も持たたい。
車で移動、長時間の道のり。戸外に出る為の車いす（リクライニング式等）
長時間リクライニング座位やギャッジUPの時間を多くもっている
・午前、午後3時間は座位で過ごしている・屋外で過ごす時間を増やしている・入浴時間を増やしている

・トイレでの排泄は困難なのか？できるのか？・食事嚥下困難なのか？・車での移動にあわせ、座位保持の時間を増やしていく
なるべく起きている時間を増やすようにしている。
本人の希望に沿う
・長時間座位が安楽に保てるよう日々座位時間を増やしている。・屋外で散歩等行い、移動する時間を意図して増やしている。
入浴が大好きで温泉浴を楽しみにしている、息子親戚の男性で入浴介助をする。前もって長男に介護方法伝授
・体調管理のための定期的な往診。・長期間の座位保持のため、日々から座位の時間をのばしている
・長時間の移動が安楽に保てるよう、日々離床の時間を増やしている。・入浴が安全にできるよう定期的に入浴していく
屋外で散歩や外にいる時間を増やす・意思伝達装置で多くの人と会話出来る
・温泉（旅館？）の浴室の設備について確認・安楽に入浴できるよう準備
・車イスで移送できる車輛を準備。短時間ドライブで外出することになれる。・想定される車イス乗車、入浴時間と換算して計画的に離床を行う。・長時間の座位保持ができるように、毎日少しずつ時間を増やし訓練する。
入浴時は文字盤を活用できるようにする。座位が安楽に保てるようポジショニングの工夫
コミュニケーション（意志伝達装置利用）
1泊を旅行先で向えられるように長時間の安全な準備と外泊先への受け入れ体制を聞いておく
座位の時間を長くしたり、散歩等、外に出る機会を増やしている
・座位時間を伸ばせるよう日中は訓練している。・温泉の知識を深めたいと長男がパンフレットを見ている。
温泉旅行に行く。温泉につかる。親戚との交流。家族そろっての行動
旅行に対応できるよう体力維持・向上に向けベッドから離れて過ごす時間を増やしている
・長時間の座位保持が安楽に行うことが出来るよう日々座位の時間を増やしている。
・食事の一部介助・排泄介助（2人にて）日中トイレ夜間オムツ交換
・同居家族以外（親戚）は近くに住んでいるので旅行までにコミュニケーションツールや本人に対する介護により慣れておく
B同様
移動時間にたえられる体力をつける。
温泉に入りたい。
姿勢保持が必要、リクライニング車イスで移動すれば福祉車輛にて少々の外出は楽しんでいる。
電動車イスにより移動はできる
本人も参加により行動範囲を増やすこととなる。閉じこもりにならない様、参加出来る時には参加をして体験出来る様にする。
移動時間や温泉で皆と過ごす時間を少しでも多くもてるように、座位の時間を増やす
温泉に行きたい
・屋外への移動、外出に慣れておく
・温泉旅行・DS利用
・外出の機会を持ち時間を延ばしながら屋外に慣れている
・親戚家族と旅行をして温泉に入りたい。
長時間座位が大変
・体を動かす時間（起居）を作る
旅行の際、移動や同一姿勢の保持について説明、スタッフと検討し、体力増強についてやアイデアを集める
座位がより安楽に保てるよう日々、座位の訓練を継続する。屋外での散歩、移動する時間を意図的に増やし、身体的にも精神的にも旅行に備えていく
長時間の移動に対応できる様、日々起きて座位の時間、散歩など移動の時間を増やしている。妻に移乗の仕方を教える
乗物酔をしない様短距離を車に乗っている（入浴介助の方法を長男が学んでいる）
日々の生活の中で自信が持てるよう、活動の時間を増やしていく
・旅行先、移動時も安楽な姿勢が保てるよう準備する・車への乗りおりの練習
1泊2日間の活動に対する必要時間に対応可能な能力の確認。不可能な部分を補う手段の確保
外出する（散歩など）機会をつくる。移動する時間をもち、体力の維持、活動性を増やす。
体力維持の為普だんよりデイケアにて個別リハビリを行っている
宿泊施設内で車イスが使えるよう問い合わせ、温泉の湯舟に入る方法もよく聞いておく。
・入浴についての注意事項等を医療関係者に相談、助言をもらい学ぶ・一日何回か外出（車イスで）して外の空気になれる
・人とのかわわりを多くしていく・外出の機会を増やす
・温泉への出入り・温泉の刺激・入浴できる体力づくり
長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。野外で散歩・移動する時間を意図して増やしている
・温泉に入るための準備の（体力、食事など）ため医師と相談を予め行ってTrainingをする。
・入浴方法の検討。
座位保持の訓練 移動手段の確保
・長時間でも車イスを楽にすごせるよう座位、外出時間をつくり慣れる
・バッテリータイプの吸引器の購入を検討する。・車いすで痛みを軽減できる様に適当なクッションを購入する。

旅行のスケジュールが本人の状態に合わせたものとして、本人参加で計画されるか？
食事←介助が必要かどうか排泄（紙オムツ e t c）←介助で行えるか 入浴（介助方法及び可能かも） 睡眠 移乗 移動（車いす介助）
離床し車イスで過ごす時間を増やしている
車イスを自走する様に練習する・電話で会話は出来る・旅行プランをたてる
・外出機会の増加・医療機関との連携
温泉に入る手段を検討していく
日常生活は全介助が必要な状態
移動に伴う手段、排泄、食事等日常生活動作、意思伝達不可
長時間の活動が維持できる様離床時間を増やしている。屋外での散歩移動する時間をふやす。家族支援で入浴介助をうけられるようにしている。
温泉旅行家事等
近所への外出の機会を増やしていく
温泉に入れるよう座位練習をする
座位が保てるように、日々座位の時間を増やしていく。車によわないように、練習する。
家族
・長時間の外出にたえられるように日頃から、近所への外出を増やす。・親戚や長男夫婦に協力してもらえよう状態を知ってもらう。
・妻が押すリクライニングの車椅子で散歩をする・車椅子で過ごす時間を増やしていく。・定期的に外出し、外気にあたる
援助があれば、日常生活はなんとか暮らせる。
屋外環境に慣れるため、散歩、外気浴等、呼吸筋リハビリを行なっている・自宅では、入浴をNs介助にて実施
温泉での入浴設備や環境旅行中の食事
家族も介護に参加し旅行のスケジュールをたて無理のないようなプランとする
介護タクシーを利用して、外出の練習をしている。
・短距離の移動を試してみる・一回座位の訓練を行ってみる、シャワーチェアの体験
・音楽を聞きながら座っている時間を増やしている。・外食に行く機会を週一回作っている。
・胃ろう栄養時座位保持を行い、座位の耐久性をあげるリハビリをしている。・週2回、訪看にてR O m訓練
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている。
主治医と移動時間や入浴時間の確認をしておくが、できるならば自宅でリハーサルをしておく
意思伝達装置を使用し、ALS患者仲間とのメールのやりとりをしている。屋外での散歩、移動する時間を意図的に増やしている。
意思伝達装置を利用してコミュニケーションしたい 1泊2日の温泉旅行
・意思伝達装置で伝えることができる・排泄を伝えることができる
座位の時間を徐々に長くする。車イスでの散歩をし外気ふれる時間を作る。
車イス（リクライニング）移動。食事（形態の工夫）
・コミュニケーションは意思伝達装置を利用している
・妻の介助で入浴する・えん下できる食事を準備してもらい、味を楽しむ。・車イスで周辺を散歩する。
コミュニケーションは意思伝達装置を使用。
徐々に親戚一同で旅行ができ生きる意欲が増す
排便（オムツ内排泄）食事全介助（妻介助）咀嚼（柔らかめのもの）
・座位保持が長時間できるように食後は30分位ギャッジアップして起きていられるようにしている。
離床時間を徐々に長くし座位（車椅子）ドライブで慣れていく
デイサービス毎日利用して座位くんれん きのうくんれん拘縮予防のうんどうをおこなっている
体力をつけるのにデイケアに通う 又は訪問リハビリを受けて体力を改善させる
・訪問リハビリ訓練を受けて体力をつける・入浴方法の確認（介助方法の指導をうける親戚の人達も）・会話は伝達装置を利用
・長時間車に乗って座位保持ができるよう出かける機会を増やす。・屋外で散歩、移動することに心がける
・補助具の活用・旅行プランを本人中心に立てる
・温泉旅行が決ってから、拒否感あった訪問リハビリも嫌がらず受けていた・天気の良い時は妻と散歩に屋外へ出ている。
・車での移動に慣れる・食べ物はどうするかあらかじめ宿泊先で食形食材等整えていただく・意思伝達装置の理解を妻以外でもできるようにしておく
入浴、食事、移動、すい眠など、その度に必要な援助を考え統一しておく。
日中車イスへ移乗し2時間～5時間程座位保持も出来、屋外へも介助で1時間程の散歩が出きる
日々の散歩をする中、外出する事をなれる様にしている
コミュニケーションは意思伝達装置を利用して行っている。自己決定している。行いたいことを示すことができる
・座位保持訓練
この旅行で何を一番やりたいか？どんなふうにそれをやりたいか？

意思伝達は、装置がないとできない？それにかわる方法はないか
長時間の座位や外出散歩を行い体をならしている。訪問入浴により湯船の中に入っている事に体を慣らす。
ベッド上の生活 コミュニケーションは意思伝達装置を利用
温泉に入る
座位の時間を少しずつ増やして長時間にたえられるようにする
コミュニケーションは意思伝達ソウチ 移動リクライニング車イス そしゃく可
週3回デイサービス利用長時間座位が保てるよう車イスで過す時間を増やしている
少しでも日頃から刺激に対して慣れてもらうよう、外への移動や座位のある程度の持続を行なう。
・長時間移動に必要な体力、座位保持能力の維持、向上。・スムーズなコミュニケーション
意思伝達装置を利用してコミュニケーションをとっている
・自宅より目的地まで長時間の移動がある
・コミュニケーションは意思伝達装を利用し可能。・長時間座位が安楽に保てるよう訓練中。
・旅行に行くための体力をつけるため、離床時間を拡大していく
介助が容易にでき、安定した立位を保てるよう、立ち上りの練習をしている・戸外で生活をする時間をつくり体力をつける。
・長時間座位が安楽に保てるよう、日々座位の時間を増やしている。・屋外で散歩・移動する時間を意図して増やしている。
・温泉旅行に行く為の体力をつける。
・長時間座位がたもてるよう日々の座位時間をふやす・屋外の空気にふれる時間を少しずつふやしていく
移動。外部での家族との行動範囲を共にできるか？
・見たいもの、散歩したい所を自分も考え、探して、それを伝えている
・車での移動に必要な座位ができるよう日ごろから座位の時間をふやす
◎意志伝達装置を利用しコミュニケーションを図り社会参加◎車いすでの散歩時間を増やす
長時間の移動や座位ができる様に、少しずつ座位の時間を増やしている。屋外での時間を増やしている
伝・心でコミュニケーションを図りたいと、練習している。
装置を利用してコミュニケーションが可能。車椅子を利用する時間を延ばしている
・長時間座位が安楽にできるように、少しずつ座位の時間を増やす。
長時間座位を保てるよう座位の時間を増やす。訪問リハビリで身体のバランスを整え足が上がりやすいようにする
コミュニケーションは意思伝達装置を利用するので装置の持参
意思伝達装置を利用してコミュニケーション可能
・外出の機会がどのくらいあるか（普段）・入浴はどのようにしているか？・食事はどのようにしているか
・移動時車イスかストレッチャーか
温泉に入りたい
・長時間安楽に座位が保持できるよう、座位時間や屋外での散歩、移動時間を増やしている
・長時間車椅子で過ごせるように練習する。・近場で温泉に入ってみる。
疲労の程度を見ながら活動していく
・座位が安楽に多少でも保てるよう、座位の時間を増やしている・屋外での散歩や、移動時間も増やしている
入浴の仕方
・移動は？・福祉機器の利用？
トイレ（おむつ）のこと衣服のよごれ、食事がほしいことは伝達装置を使用する 入浴の楽しみを伝えられる 長男夫婦との会話も伝達装置を使用する
長く起きていられるように生活する
・体調を整えるように日々食事等注意している。・車椅子での移動が可能なように週一回の
温泉に入れる・長時間の移動時。安楽に移動ができる。
長時間の移動が楽にできるよう練習する。
座位時間を増やす。
・1泊2日の旅行を楽しみにしている
日常生活動作すべて全介助。旅行の移動時間座位が安楽に保てる様にする。家族とともに温泉に入れるように入浴への援助
・旅行中、安全な移動ができるような環境の場を検討・温泉（旅館）に入る手段を検討
日／1回車椅子での外出散歩をしていく
家族以外の人とふれあう為疲れないか？
・長時間座位が保てるよう、日々座位の時間を増やしている・屋外で散歩、移動する時間を増やしている
・屋外で散歩、移動する時間を増やしている・久しぶりに親戚の人に会うので、会話がはずみそうなので、意志伝達装置がうまく使えるように。装置を使う時間を増やしている・入浴環境に対応できるよう手順などシュミレーションしてみる。
・座っている時間を増やしている・段差昇降や着脱等日常生活動作訓練を行っている・規則正しい生活を送り健康に注意している。・病状変化や注意点等主治医と相談している
コミュニケーションに時間を要すが補助具等で自立可
入浴の仕方を家族で話し合う必要あり

・長時間、座位が保てるよう生活に座位時間を増やす・食事は自力で食べられる物にする・排泄はトイレに行けるようにする
・旅行に向けて、モチベーションをアップさせる為、家族で旅行計画や親戚との再開の話をしている・車椅子に座る時間を増やしている
・屋外で散歩、移動する時間を意図して増やしている・入浴の着がえ等・宿泊先までの移動の座位保持・意思伝達装置を使い人とコミュニケーションがとれる
・食事、排泄状況がどうか？座位はどうか？それに対してどう支援していくのか？→どのような活動を促がすか？
体力、筋力の状態。マヒの有無
気分転換
一日の生活動作は食事、排泄の状況は。

問9 【D 参加】

(在宅療養支援診療所)

・ 支援体制の確認
温泉に入る
希望している
子供達の就学・就労にアドバイス
1泊2日の温泉旅行
皆と同じ車にのれるか
家族の他に看護師の参加が必要か検討
不参加
時々外出
参加のうむ
家族との団らん、旅行の満喫したい
長男夫婦家族の行事に参加できるように努力したい
コミュニケーションは意思伝達装置を利用して可能
家族との小旅行と温泉は楽しみであり、皆の支援を受けて参加したい。
o k
生きることへのモチベーション
入浴時の介護は誰が行うか
連れていきたい人を呼ぶ
温泉に入りたい
前述のように重度の障害があっても出来かぎりのことはしてあげたい
基本的にはできないができるとするなら条件が考えられる
「親戚と共に徐々に温泉に入り、親ぼくを深めたい。」
本人・家族の意思が重要。主治医は許可以外の選択肢はないはず
親戚に久しぶりに会いたい。
○
「元気だった頃と同じような雰囲気皆と心をかよわせ、入浴をしたい」
本人が親族一同で旅行参加することで皆を楽しくさせたい
参加の意志
自己決定であること
温泉旅行にみなで行く
?
移動には親せきの協力が必要
旅行に行き温泉に入る
心身機能の低下を家族等の助けをかり温泉旅行に参加
移動・滞在での対応
温泉に入りたい
家族と温泉に入りたい
いつも世話になっている妻に、家族に少しでも良い思いをしてもらいたい。皆さんの支援は必要。
体調が悪い場合、当日のキャンセルがあり得る
家族の協力
紙おむつの使用を安心して使えるよう又身体のマッサージも、してやりたい皆さんの支援を得て。
本人意志の尊重
親戚一同が集まるのでぜひ参加
参加者皆（本人も含）が楽しめる様に
親戚と一緒に温泉に入り、生きている事を実感したい
温泉旅行
家族の一員として皆とコミュニケーションを取りたい
外出入浴の楽しみ
・ 家族、親戚の支援を得て久々の旅行に参加し、温泉につかりたい
メーリングリスト BBS
温泉へ参加したい家族との融和
親戚一同の交流 親戚での世話を必要
旅行先の地方の人々との接点を

やる気があれば援助
家族、親戚の一員として活動したい昔のように。
本人の希望かなえさせたい
温泉に入りたいという気持あり
親戚一同看護師できれば医師
広々とした開放的な風呂に入りたい旅行したい
近場でさがす
親戚一同に事前の同意を（迷惑がられないように）
参加することが周りの人の喜びになるなら参加したい。
親戚、家族と温泉に入りたい。食事も皆としたい
家族と一緒に温泉旅行をたのしみたい
「家族・親戚の輪に入り“旅”を楽しみつつ身内の心にふれたい」
家族とのきずな、大事な思い出を残す
家族の長として一員として一緒に行動したい。車の中では音楽も聞き会話にも参加したい。温泉でのスキンシップを期待したい。
「久しぶりに親戚一同と楽しくすごしたい、皆様のご支援を得て。」
インターネットなど
本人の意志の確認家族の希望と本人との接点をどのようにするか、連絡体制の確認人員と場所
1泊2日の温泉旅行
温泉への入浴をどうするか？
あたりまえの事。
参加したいという動機は何か
温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。会食に参加したい。
みんなと楽しい時間を楽しみたい
皆などと温泉に入りたい 坐位保持。喀痰管理
親戚一同の温泉旅行に参加したい
旅行を共に楽しめる配慮と役割の分担、確認、非常時の対策
温泉に入りたい
温泉での意思伝達法を考える
可能な限り、参加する
入浴時は腹式呼吸が困難（or 障害となる）となり易いので短時間とし、近所の医師も（救命処子の行なえる）確認
親戚の方々と共に楽しい時間を過ごしたい
家族と過ごす時間は重要である。
希望あり…？
入浴
本人の思う様にできる限り浴って参加したい。
移動中の吸引
外出、旅行を親せきと共にし、温泉に入りたい
温泉旅行がしたい
温泉旅行に行きたい
参加したいという意志があり、家族も協力的
みんなと共に協力してもらい入浴したい。
旅行 温泉に入る
希望をかなえてあげたいが
温泉旅行に行く 一泊2日
・家族外のスタッフの援助
スタッフの経費の問題
旅をする事、温泉に入る事など人生を豊かにすることが出来る 思い出もつくる事が出来る 写真もとろう
協力してもらい、温泉に入って、たのしみたい。
親戚と一緒に旅行に参加し温泉に入りたい。
温泉旅行
温泉好き 観光もしたい
大変なイベントだが親せき一同で成功させる
親戚一同の旅行に参加し、元気な姿を見せて安心させたい。温泉にも入りたい、皆様のご支援を得て
本人が行きたいと言うのであれば、かなえてあげたい。
親戚一同での一泊2日の温泉旅行に参加する。

・親戚一同の旅行に参加。・「夜の宴会に参加したい。」「一杯飲みたい。」吸引器を横に置いて許可。
より多くの親戚一同で楽しい時間を共有したい
楽しむため必要、介助の人とのコミュニケーション
浴場が混浴でなければ妻以外に男性の介助者が必要で、トレーニングも必要
家族の一員として家族旅行を楽しみたい 周囲にかける負担が気がかり。
温泉旅行
温泉に行く機会はなく親戚とも一緒に過ごしたい
家族の一員として参加したいし、妻も行かせてやりたい。
温泉旅行
「ゆったりとした温泉につかりたい。親戚のみんなと語らいたい。」
家庭内のみ
意志の伝達は前頭用のセンサーで病院■■■力行の■■■で意志伝達ALSは病状進行緩慢である。■■■でパソコンをTV画像本■■■■へ手紙を送っていた。
家族の一員として温泉旅行を楽しみたい
・宴会への参加・移動時の景色や会話
臥床状態が日常であっても、たまに楽しみが出来たという本人の喜びとそれを支える家族の他者を支え、役に立ったという充実感が一致する
家族の手助けで一族の温泉旅行に行きたい
温泉を楽しめるよう、入浴、食事管理をうまくやる。
友人は多い。種々の会にも参加し、ワープロで意見を述べる。旅行もしたいが、障害者を受け入れる施設を捜すのに苦労する。
・自宅だけか・■■なしの利用があるか可能か
久しぶりに孫や子供達とゆっくりできるのが楽しみ。しかし皆の足手まといにならないか心配。
・ひさしぶりにゆっくりと温泉につかりたい。・おいしい食事を皆で食べて、楽しい時間を過ごしたい。
左記同様
本人の意欲
皆と一緒に楽しい旅行を思い出として残したい。温泉につかって元気になりたい。
温泉に入浴したい
人の手を借りても家族と一緒に生活を楽しみたい。家族と一緒に温泉旅行へ行きたい。
久しぶりに親戚の集りに参加したい食事と一緒にしたい
支援があればOK
家族の一員として、親戚一同の旅行に参加したい。温泉にも入ってみたい
親戚一同で行われる一泊2日の温泉旅行への参加
家族にめいわくがかからないように、がんばる。
温泉でゆっくりしたいという希望のため、家族での支援介護に訓れた人も必要。
親せき一同と久々に一緒に旅行、温泉をたのしみたい
・温泉入浴の期待・外出への期待
無理すれば可能
最後の会になるかもしれない。しっかり皆と話をする
意志伝達をより頻回にしてどうにか旅行を完遂したい
・久々に温泉に入りたい。(・親戚や介護者に迷惑をかける心配。・慣れない場所での入浴に対する不安。・長時間の移動に対する不安。
温泉に行きたい
ゆっくりと温泉につかる。よければ家族風呂も考慮
グループ活動への参加
旅行が楽しめる時間を有意義に過すひとつとして温泉へ
旅行の感想を知らせる
温泉に行けるよう、家族以外のスタッフの援助が必要
久々の旅行皆と同じように温泉にゆっくりつかりたい
温泉旅行
生きるためのモチベーション
参加希望あり
最大限、希望を採用する。
親戚一同で温泉に入りたい。
親戚一同の旅行を楽しむ。親族との交流を楽しむ。
ALS協会の■■■医師の集まりなどにも参加
本人の温泉に入りたいとの意思の確認

親族と参加することによって、社会的な位置を再認識し、協力を得ることによって、生きていることのありがたさを感じることができる
「親戚一同で旅行をし、温泉に入りたい。」
親戚との旅行への参加
親戚一同で行く温泉旅行に久しぶりに参加したい
プランから一緒に入って、意見を言う。父親として子供達を楽しめさせるようにしたい気持ち、行動を支援。
親戚の一員として、温泉旅行に参加して、皆との時間を持ちたい。日頃お世話になっているお礼も云えれば…妻にもゆっくりしてもらいたい
家族と温泉旅行で心身を癒したい。
妻以外の人へ、自身の状況が伝えることができるようにする必要
「久しぶりにみんなと楽しみたい。たまには気分転換もしたい。」
サークルなどに参加する意欲などあるか
親戚一同での温泉旅行に行つて「温泉に入りたい」
妻と一緒に風呂に入りたい。長男は背中を流したい。
「こんな体で親戚達にも迷惑をかけるかも知れないが、昔の様に親戚一同で集い楽しみたい」
親戚一同で、旅行を楽しみたい
車イスでの入浴
温泉に入るにあたり機械浴が必要になる。他の客と一緒にいる事をいやがる可能性高い
親戚の人と1泊2日の旅行に行きたい 温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行
親戚との行事に参加したい
親戚付き合いもしたいし温泉にも行きたい
「温泉を楽しみ、旅館でくつろぎたい」
家族との団らんを楽しませたい
温泉旅行に参加することで家族とくつろぎ感謝したい
「久々に温泉に入りたい、皆様のご支援を得て。
久々に親戚一同で温泉旅行をして気分転換してできるだけ交流を持ちたい。（関わって行きたい）
久々に親戚と旅行したい温泉に入りたいとの希望を家族親戚挙げて支援
自分も参加することで楽しみ、良い思い出を作りたい。
1泊2日の温泉旅行に参加したい、温泉に入りたい
温泉にもつかり、家族旅行に参加したい
周囲の協力を得る事で不安なく過したい
親戚一同で温泉に入ることを楽しみに思う
せつかくの温泉。ゆっくりと入浴ができなくても、入浴することでその時間を皆で共有し楽しい思い出を作りたい。
家族、親戚とのつながりを！！
人との交流が大事。相互支援が必要
温泉旅行
本人も久々に参加し、温泉に入りたい
本人も親戚と合う事で非常に喜んでいるので全員で普段通りにしていく
温泉旅行しにと目標がある。・温泉に入りたい
温泉に入れるようにしたい。
最後のチャンスとして本人は是非参加したいと考えている。
温泉に皆で行くという希望を叶えたい
入浴は
親戚一同に会える楽しみを目標に、親戚各位の協力を得る
参加は大変難しいと思う。家族の負担が大きい。
温泉にゆっくり浸かり親戚との親睦をはかりたい
入浴介助者が必要（自宅とは浴室などがちがうことへの対処）
マンパワー3人は必要 吸引器、O2持参か？
参加する その為の対策を考える
温泉旅行に久しぶりに参加したい
1泊2日の温泉旅行ショートステイ。ALS友の会
親戚の会に参加して是非皆の顔を眺めたい。
旅行に参加したい
家族の一員として参加 楽しめるように皆さんで支援
参加（久々）温泉に入りたい。

■
旅行に行きたい皆と一緒にいきたい入浴をしたい
個展を開き新聞に掲載
久しぶりに皆と会いたい。意思伝達装置を使って会話したい。
親戚一同で温泉旅行に参加。みんなと温泉につかる。
長男夫婦の介助により共に仕事をして温泉につかりたい。
・長男夫婦と同居・温泉旅行に親戚一同で一泊2日する。
他の環境に入れ精神的に不安感を取り除くため、日帰り自動車旅行をさせる。
今後親戚一同で旅行する機会はないかも知れないので旅行に参加し、久々に温泉に入りみんなと一緒に楽しく過したい。
あらかじめ希望を聞きスケジュール作成しておく
父として、家族と共に温泉旅行をする
・本人の希望をかなえる・公共入浴の是非
施設の受け入れは？具体的にどのように温泉に入るのか？
親戚一同で温泉旅行をし温泉に入れてやりたい、楽しませてやりたい
普段なかなか会えない親戚に会いたい。温泉に入り、リフレッシュしたい。
親戚一同で楽しく温泉旅行をする。家族以外にヘルパーや各種交通機関の職員ホテル職員の協力を得る。
「みんなと一緒に楽しい時間を過したい」
・本人の意志確認・なにかあった時などの対応・危険性の認識
宿泊施設側の設備等の確認。協力状況。
日頃の社会参加の状況
温泉での入浴 観光等の楽しさ
久しぶりに親戚一同で温泉旅行に行ってみたい
一家の主人として参加する
旅行へ参加。ALSの仲間への報告
自宅から温泉までの手段や時間温泉（浴槽）への出入り
家族旅行に参加し、久しぶりに社会をながめてみたい
支援する皆さんの好意に感謝の気持ちを忘れず自分なりに、明るい気持ちで温泉旅行を楽しむ
親戚と温泉旅行をして温泉に入りたい
「親戚の人々との楽しいコミュニケーション。久しぶりの温泉でのリフレッシュ」
温泉に入れるのに何人必要か入浴後もみんな楽しく食事できるよう設定する
親戚との交流の場としての温泉旅行にみなさんの協力で参加
親戚一同に挨拶して、握手をしたい。
たまには親戚と同行したい
妻の負担をなるべく減らしたい息子たちにもゆっくり温泉につかってもらいたい。
家族との旅行は久しぶりであり特に温泉に入ることは発症以来の希望である
今のサポートしてくれているみんなに感謝の気持ちをのべたい
ケアマネや主治医のすすめで外出、旅行を決断した。本人は旅行を望んでいるが家族は介ゴから離れてこの間は入院してもらいたいと考えている
・意欲の有無・旅行
参加する人の入浴時、移動時の点検及び支持支援
親戚と1泊2日の温泉旅行
温泉旅行に参加。温泉にも入りたい
親せきと一緒に旅行をして楽しい時間を過ごしたい。
久々に親戚一同と会い、温泉に行ってみよう。
家族での旅行のため、できるだけ楽にしてあげたい
・家族と温泉に入りたい。
看護師医師も支援し、同行を調整。
入浴はどうするかどの様な介助があれば入浴できるか
親戚の中に入り、人との絆や社会参加の喜びを感じる
移動手段

(在宅療養支援病院)

男性が介ゴしないと温泉に入れない。
・ボランティアの協力を得て、親戚皆で、温泉に入ったり、ビールを飲んだり語りあいたい。
・温泉旅行
親・夫としての役割がある。旅行に出かけるのは久々。以前は旅行が好きだった。本当に行きたい場所は新婚旅行で行った温

泉
久々に温泉に入ってゆっくりしたい
親せきと旅行に行きたい
デイ・サービス
親族の一員として温泉旅行に参加して楽しい思い出をつくりたい。妻も参加させてあげたい。皆さんの支援を得て。
一生の思い出になると思うがかなり難題である

(臨床研修指定病院)

希望が一致するか
温泉旅行に行きたい(温泉に入りたい)交通手段は?
行事に参加
宿泊施設への移動
「久しぶりに親せきと一緒にフロロに入りたい。旅行が楽しみ」
温泉に入りたい、親戚一同と過ごしたい
親戚一同で一泊旅行をする○問題点、旅行中は移動への配慮(交通機関・日程調整など)親戚の支援はどこまで得られるか。支援の程度が旅行の充実感に影響する可能性がある
親戚一同と温泉旅行に行きたい。
「ずっと温泉に入ってなかった。悪いけど手伝ってほしい。
・親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
「親せき一同で1泊2日の温泉旅行。参加して久々に温泉に入りたい。」
病気になってから、ゆっくり温泉に入る機会はほとんどなくなってしまった。久しぶりにみんなと一緒に温泉に入りたい。
・久々に温泉に入りたい・親戚の方達と楽しみたい
親族間の旅行に参加することで、兄弟間の交流を深めたい。兄弟に自分の状況をしっておいてほしい。・参加することの意味あいの確認
久しぶりに温泉に入りたい
日帰りを繰り返して、OKなら、次のステップに行く考えはどうか
病気を発生してから、家族と旅行する機会がなくなった。久しぶりに家族でゆっくり温泉につかり、大切な時間を過ごしたい
装置を使って、多くの人と話したい。多くの感動を得たい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をすることになり本人も久々に参加し温泉に入りたい。(家族・親戚の支援を得る)・宿泊する所との連絡調整を行なう。必要時下見を行ない温泉に入れる状況の確認
親戚一同集まることは久しぶりで、みんなとゆっくり話をしたい。
短時間でも温泉につかりたい。近くの観光も行きたい
親戚一同で出かける1泊2日の温泉旅行へ自分も行きたい
久々に温泉に入りたい
温泉旅行
一泊二日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい

(訪問看護事業所)

親戚一同で集まり、みんなとゆっくり話をし、温泉にも入りたい
病状変化なければ可
本人の意欲が最も必要。それに対し家族も気持ちが支えられる
本人の希望が強ければ
・親戚一同の集まりに参加したい・温泉に入りたい
久々に親戚に会いたい。温泉にも入りたい。親戚の支援してもらって。
久々に親戚に会い温泉でリフレッシュしたいが、寝たきりで、レスピレーターも必要で、医療スタッフの同行が必要。誰が、手伝うか。
社会参加の期会を作る。夫婦、長男夫婦だれでも対応出来る体制
「父として娘の結婚式に参加して、できるだけことをしてやりたい。皆さんのご支援を得て
温泉が好きだったのでぜひ一度旅行にいきたい
本人のリフレッシュ。親戚の一員として、親戚つき合いかわり交流をもちたい。温泉気分を味わいたい。
温泉旅行
みんなが集まるこの機会に参加し、楽しみたい。
温泉旅行へ行き、温泉に入りたい。
家族と一緒に時間を過ごし、家族も自分も外出の機会を持ちたい
外出はねたきりになって以来、していないので、本当に外出できるかわからない
参加し、久々に温泉に入りたい

皆に支えてもらい楽しみたい。
温泉に入るのが楽しみ。旅行は大勢で出かけるためみんなの手を貸してほしい。医療スタッフの参加ができれば望ましい。
・自分が病気になって、妻や子供と行っていた温泉に行けなかった。妻、子供と親戚も一緒に以前のように、楽しい温泉旅行としたい。
家族で温泉旅行をして楽しいひとときがすごせる
・温泉旅行は久々なので参加
移動手段の確保、乗れる車の手配
「みんなで楽しく」入浴をしたり「みんなの手助けをうけ、楽しい旅行にしたい」
旅先で、急変した時の対応が不安
院内の行事等にも参加しない。
長男夫婦・妻を支援を受けて本人が望む旅行をさせたい
久々に温泉に入りたい
家族の支援をうけて温泉旅行をしたい。水いらずの時間をもつことで楽しい思い出を作りたい。
皆んなに会えた。ゆっくり温泉に入りストレス解消。外に出る自信につながった。
・社会活動への参加・ボランティア活動
・みんなとの会話、久しぶり気分をもちあげる
久々いく楽しみたい
「久々に温泉に入りたい」
姿勢の維持（座位？臥位？）食事は？
親戚の助けを借りながら温泉に入りたい
・親族で温泉旅行に参加して、安全に楽しみたい（進行する病気なので可能な思い出を作りたい）
親戚との旅行で参加できるプログラムにする
妻、長男夫婦、ボランティア
皆さんの協力をえて、もう一度温泉に連れて行ってあげたいと長男夫婦の希望
みんなと一緒に旅行に行きたい。リフレッシュしたい
親戚、家族と一緒に温泉へ行きたいとの思いがある。家族も協力的
Cと同様
支援を得て温泉につかりたい
どのような形態であっても、社会とのつながり、人々の援助交流は、身内や他者とも関わりは必要。
同じ病気、患者のために自分のできることをしたい。
温泉に入りたいともルート類はどうするか。介ゴする人はいるか可能なのか
家族と一緒に旅行して共に楽しい思い出を作りたい。自分が行かないと家族も残ってしまうことが考えられる。
症状が進行する前に親戚一同と旅行して温泉にも入りたい。介助していただきながら。
親戚一同で、温泉旅行をし久々に温泉に入りたい。
・車、車イス（リクライニングの有無）・高リスクの把握説明
手助けしてもらいながら温泉旅行を楽しみたい
温泉に入りたい
本人の温泉に入るといふ思いや願いを達成できるよう、支援の方法を考える
親せきの人とのつき合いは家族（長男夫婦）のこれからのつき合いでもあり大切にしたい。
「世話になっている妻にお礼をしたい」
安心して支援を十分得られるなら参加したい。
本人の参加が、親戚のじゃまにならないか。自分がさらし者になる。
一泊2日の温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。だれの手がかりれるのか
気のおけない一同で入浴しさっぱりとした気分で過ごしたい。
旅行先でのベッド、移動車、食事のセッティング。温泉での洗身等のセッティング
毎年恒例の旅行。できる事なら今年も参加したい。車イスごと入れる温泉をさがす必要がある。
親戚と交流を深めたい。温泉に入りたい
温泉に入りたい
上記では不明。Bの回答
親戚一同で一泊二日の温泉旅行に行きたい
食事の場所など皆とできるところで支援を施設にお願いする。
親戚の温泉旅行に参加し温泉に入りたい
またとない機会なので思い出を残したい
1泊2日の温泉旅行
親戚との旅行
・発症前は自営業で今は息子と妻が行う・ベッド上臥床が主。・車イス坐位40程度。・外出は無い、近くに住む娘と孫が頻

回に会いに来てくれ、楽しみとなっている。
親戚一同で一泊2日の温泉旅行が楽しみ
家族旅行なので楽しく過ごせる様、何事もなく。
・お風呂へみんなと行き楽しみたい
温泉に入りたい
意欲的
親戚付き合いをしたい。コミュニケーションの場を持つ。
「障害があっても、他の人と同じように温泉旅行がしたい。温泉に入りたい。皆の支援を受けて親戚と交流したい」
温泉に入りたい
家族・看護師の手伝いが必要
親戚の協力を得ながら妻と旅行に行き、皆と一緒に温泉に入りたい
親せき一同で旅行し、温泉を楽しみたい。バリアフリーの旅館を予約できそう。
親戚一同と家族と温泉旅行をし、温泉に入ってリフレッシュをしたい
安心して旅行に参加出来る様、親戚からも協力を得る。
・旅行には行きたいが、皆様に迷惑をかけてしまう
・親戚が一同に集まっての旅行なので、その中の1人の人間として一緒に旅行を楽しみたい。妻もいつも介護で大変なので、楽しんで欲しい
・温泉湯舟につかりたい。・コミュニケーション
親戚と一緒に1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
いつも家族にはお世話してもらっているので親戚との交流も持ち顔を合わせたい。皆の気分転換もできるような温泉に行き、入りたい。
久しぶりに親戚一同で楽しく語らいゆったりとした温泉に入り、気持ちよくなりたい。温泉旅館などの支援も必要。
1) 能力、やる気なければデーサービス参加
本人の思い
妻や長男夫婦と共に、親戚一同の温泉旅行に参加して、絆を深めたい。
親戚の人達に会って、話がしたい。温泉にもはいるりたい。みんなの手をかりて温泉旅行がしたい。
・誰が参加するのか
夫・父として家族と温泉旅行に参加し、家族の協力で温泉にも入る
・家族の一因として楽しみを共有したい。
外出機会の減少
親せきとの温泉旅行に参加し温泉に入りたい。意志伝達装置にて意志を自ら伝える。
・沢山参加し楽しめる
温泉に入れる設備であるか。介助方法と介助者の人数。安全性の問題。
・親戚が揃うのは久しぶり温泉旅行は楽しみ
温泉に入りたい。人の手を借りて外出したい。
父として、夫として扱う 家族の支援の手が必要 温泉での入浴に対し先方の理解必要
旅行
親戚一同での温泉旅行に参加したい。
温泉に入浴するのに適切な対処方法・入浴時間・入浴後の注意事項を検討する。(意思伝達方法)
1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい
・家族間の役割分担
親せきといっしょに1泊2日の温泉旅行に行く。
・親族の集まりに自分も参加したい。・久々に温泉につかり、気分転換したい。
旅行
親戚との関係は
温泉旅行に参加したい。できることは自分ですが親戚はどの位フォローできるか?
1泊2日の温泉旅行。温泉に入りたい。
こういう機会が今後ますます少なくなると思うのでぜひ参加したい。
みんなと一緒に温泉に入りたい。
親戚一同と長男夫婦、妻の協力、温泉入りたい
温泉旅行
行ける時に行ってみたい
親戚一同で楽しい時間を過ごしたい。妻と長男夫婦以外にもサポートしてくれる人がいて心強い
親戚一同で温泉旅行に参加したい、温泉にも入りたい。
親戚一同で行くことで自分もその中の一員であること
家族の協力を得て温泉を楽しみたい

ショートステイの利用
生きている楽しみとして家族旅行を楽しみにしている。
・自分も社会人の一員と自身を持つことができる
親戚一同での旅行と温泉に入りたい
一泊2日の旅行に参加したい
親戚一同で久々に1泊2日の温泉旅行に行きたい
親戚と温泉旅行に行く温泉にゆっくりと入ることにより気分転換を図る。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行。親戚一同の支援援助を得て。
A L Sの会一回参加したのみ。その後は拒否（衰えて行く自分の姿を見るようで嫌であると）
親戚そろってのイベントに共に参加したい。家族旅行の思い出を残したい
温泉に親戚一同で参加したく、ゆっくりしたい。家族の協力のもと
親戚との付き合いは大切であり喜び。
気分転換も兼ねて、旅行へ行きたい。
温泉に行つて、1泊する。
・今までに温泉旅行したことあるのか？どうだったか？
親戚の人と、旅行したい。みんなで、久々に温泉に入りたい。
温泉旅行
1泊旅行に行きたい。
親戚一同で一泊二日の温泉旅行に行きたい。
・親戚一同で1泊2日の温泉旅行に出かけ、温泉にも入る
旅行が好きで元気な頃は良く家族で行っていた。もう一度、行ってみたい。
温泉に入りたいという意志確認。
家族、親戚との交流をはかりたい 温泉に入りたい
・普段は自室内で過ごす。・自宅周囲はリハスタッフと散歩に行ったこともある。（車イスで）・集団はあまり好きではないが親戚の人には会いたい。
本人の希望を適えてあげたい（家族皆なで支援して）
「一泊二日の温泉旅行に行きたい」
外出機会、屋内での家族との会話、だんらんへの参加状況
参加して親戚一同と同じ時間を過ごしたい。参加される方の支援を得る。
家族風呂へ入れるよう、温泉旅館のリサーチ、風呂へみんなで入りたい
・御本人の参加意欲↑ ・今回の参加で更に自分の活動範囲を拡大したい
「みんなと一緒に温泉に入りたい。」
参加意欲あり
・介ゴサービス、医療サービスの受け入れ。
1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行へ出かけた
久々に温泉に入ることを楽しみにしている。
親戚1泊2日旅行。外出
・妻（65才）だけの力では困難・長男夫婦の参加。
親戚の旅行に参加したい。温泉に入りたい
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行をし、温泉に入りたい
公的サービス利用以外なし
親戚一同と温泉に行く（親戚の人にもA L Sの事を理解してもら）長男夫婦と同居
・親戚が集まることで自分の存在の確認・時間の共有
親戚と共に旅行し温泉に入りたい（必要な支援をうけて）温泉入浴介助は妻以外にも介護者を決めておく
付き添え可能な訪問N s等の選別
・親戚と交流を深めたい。・外出することが少ないため温泉でゆっくりしたい
久しぶりの親戚に会い、装置を使い、いろいろ話をしたい。
個展をひらく
1泊2日の温泉旅行を親族で楽しみたい。
・親戚一同の協力で、支援で一泊2日の温泉旅行を実現する。・インフォーマルなサービスの調整を行う。
1泊2日の温泉旅行
「親戚と裸のつきあいをし、温泉に入ることでもリフレッシュしたい。」
1泊2日の温泉旅行に参加。温泉に入る。親戚に会える。
・1人でも多くの参加（長男夫婦、妻、ボランティア等）・N s参加
親戚があつまる1泊2日の温泉旅行に参加したい。家族の協力を得て、入浴したい。

温泉旅行。温泉に入る。
家族、親族の一員として、旅行の参加したい。同伴する家族も楽しく過ごせるよう気遣い。
楽しく過ごし、気分転換を図る。
「親戚一同での旅行に参加し、温泉に入りたい」
温泉に入り、家族と過ごす時間が楽しみ
宿泊することは可能か温泉に入れるか
久しぶりに親戚に会うが、コミュニケーションが関りにくいが、思いがうまく伝わるか
・家族・親族の一員として旅行を楽しむ
親戚一同で温泉旅行に行ってゆっくり温泉に帰りたい
本人にあまり気を使いすぎて、親戚がふりまわされないようにする
親戚一同で旅行
奥さんひとりの介護にたよらず、周りの親戚の方々にも手をかりる。
親戚と温泉旅行に出かけ、温泉に入りたい
家族の一員として役割を感じたい。
温泉に入りたい。
温泉に入りたい。家族と旅行したい
久々に親戚と一緒に一泊2日の旅行をしたい
介護経験者の有無
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をすることとなり、本人も参加し久々に温泉に入りたい
親戚の集まりに参加したい、温泉も入りたい、みんなとコミュニケーションもとりたい
・参加への意志表出
介護者のマンパワー。
安全に入浴したい。
せっかくの温泉。ゆっくりできなくても入浴の気分を皆と共有し、楽しい思い出を作りたい。
・久々に温泉にみんなと一緒に入り、みんなとすごしたい。
1泊2日の温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。
意思伝達がスムーズに出来る事が大切
デイサービスなど、集団への参加
旅行に行きたい、皆と一緒にいきたい、入浴をしたい
・温泉に入りたい・思い出をつくりたい
皆と楽しい時間を過ごしたい、皆の支援で入浴がしたい
親戚と温泉旅行に行き、温泉に入ったり、皆とコミュニケーションをとりたい
・親戚の一人として、温泉に参加したい・旅行に関しては、妻だけでなく、他者の手もかりながらになる
・親戚一同で1泊2日の温泉旅行をし温泉に入りたい
温泉旅行に参加したい。温泉に入りたい
たとえ会話は出来なくとも、親戚一同と顔を合わし、同じ時間を過ごしたい
1泊2日の温泉旅行に参加したい
家族とともに温泉に行きたい。
行きたいけど家族だけでは厳しい。
・親戚一同の1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行に参加して、参加者の協力を得て、温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行。久しぶりに温泉にはいりたい
「皆の援助を得て、けれどできる限り皆にめいわくをかけず温泉旅行に行きたい」
親戚一同で温泉旅行をして、楽しいひとときを過ごしてきたい。
・親戚一同で旅行をしたい・温泉に入りたい・コンドミニアム利用し、全員で過ごせる空間を作りたい
温泉、宴会、参加
外出することで本人の自信をつけて、今後も色々なことに参加できる様にする
親戚と顔を合わせる事が少なくて若くして寝たきりになった。本人を和ごませ妻の介護疲労を軽減させ介護支援を共にする。
「親戚一同で温泉に行けることになりうれしい。久々に温泉につかってみたい。」
温泉に親戚一同で参加したく、ゆっくり過ごしたい。家族の協力も必要
温泉旅行に参加して皆んなで温泉に入りたい
家族旅行に行き、温泉に入りたい
家族とともに温泉旅行に参加したい
温泉旅行へ参加したい
・家族との団らん・温泉に入りたい
一泊二日の旅行で温泉に入りたい、親族として参加し、役割発揮したい、コミュニケーション手段の確保が必要

みんなといっしょに夕食など、食事同席できるのか。入浴はスムーズにできる手助けしてもらえるか。
車イス（電動）使用で散歩や、旅行、など楽しみにしている
周囲の人の協力を得て、親戚と一同で、温泉旅行をしたい
久しぶりに、温泉旅行に行き温泉入りたい
親戚たちと旅行して温泉に入りたい
親戚一同が来る旅行に参加し、皆で温泉に入る
親戚一同に手伝ってもらって温泉旅行に行き、温泉へ入りたい
・趣味
家長としての参加、温泉に入り目的を達成したい、家族との旅行をできるうちにしたい
親戚と顔を合わせる事で本人の楽しみ、生きがいになる
・親戚一同で1泊2日の旅行に参加して、温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行をし、久々に温泉に入りたい
・外出をしたい。温泉に入りたい。・家族、親戚の協力を得て。
親戚との交流をしていきたい。
親戚一同で行く温泉旅行へ自分も参加して久々に温泉に入りたい
親戚との交流（社会参加）外出の機会
外出出来る環境作り、援助者の確保
親戚一同での温泉旅行はとても楽しみ。久々の温泉はともうれしい
家族と一緒に参加楽しく過ごす
温泉は身体面にもよく気分もリラックスさせる
家族の力をかりて旅行に参加したい。
本人も参加したい。■に入りたい。
親戚一同で協力して温泉に入れてやりたい
久々に温泉に入りたい。久々に親戚と会って楽しく過したい。
1泊2日の旅行に行き温泉に入りたい 親戚一同で1泊2日の旅行に連れて行きたい
親戚の中での個人の位置（本家、兄弟の長男）
親戚で協力できるかぎりの援助をする。
温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
家族や親戚が集まる旅行へ協力を得ながら温泉に入りたい。
意欲がある
温泉旅行1泊2日温泉に入りたい。
久しぶりの親戚との出会いが楽しみ
友人との旅行は妻つきそいで時々行える。友人とののみ会も参加
久々の旅行なので、参加したい
居間にベッドあり家族の団欒に参加している。温泉旅行に行きたい。親戚一同と合うのは楽しみ。
もともと旅行好きで、温泉旅行によく行っていた。ALSを発症してからは、旅行には行っていない。親戚とは発症後も交流があり、意思伝達装置でコミュニケーションもとれている。ALS家族会の集まりに妻と一緒に積極的に参加している。そこで、同じ症状の方でも旅行をしているなどの情報収集をしている。
「楽しみたい、自分も68才、妻は65才、1つ1つの思い出づくりに協力を得るが行って楽しんできたい。」
家族や親戚との関係は良好
久さしほりに親戚と一緒に旅行がしたい
以前から親戚で温泉旅行に行くことを楽しみにしていた
気分転換
参加出来る時に参加して思い出をつくりたい
友人や会社仲間が時々自宅訪問し親交深めている
妻と長男夫婦その他の子供に協力を得て、外出を楽しみたいと思っている。
温泉に入りたい意思の尊重。家族旅行は久しぶりであるが不安も大きい
長い闘病生活で制限されるなか、妻も旅行などままならない。皆の協力を得て妻の喜ぶ顔がみたい。
・会に参加したい。・温泉に入りたい。
親戚の力を借りて、家族もゆっくりした時間をもってもらい、自分も楽しみたい。
親せきの一員としてみんなとの思い出を残したい。達成感の共有。
親戚一同で、温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。
意思伝達装置にて会話に参加できる。介護者も家だけでなく気分転換できる。
できるだけ本人の希望にそって参加させたい
親せきに迷惑をかけるかもしれないがよい状態の時に参加し楽しみたい
親戚の和に入りたい。意思の疎通が困難、伝達装置は移動途中使えない

親族の一員として参加したい。温泉に入りリラックスしたい。
親戚一同の温泉旅行に参加したい。
親戚とのつき合いを大事にしており、思い出の地へもう一度、親戚一同で旅行をしたいと思っている
久しぶりに家族と、一泊旅行をしたい
・家族の一員として、親戚と一緒に温泉旅行に行きたい
体調が急に悪くなくても安心な状態で皆に会いたい。医療スタッフの同行。
インフォーマルな部分での援助も検討していく。
親戚の人といっしょに温泉に入りたい
皆さんとのコミュニケーションを楽しみながら、遠出と温泉を楽しみたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行する事になり、本人の参加して久々に温泉に入りたい
社会とのつながり社会参加と意欲の強度。しんせき付き合い。
家族の一員として、親せきの中での位置づけが大きい。
親戚との付き合い外出し、旅行が出来る喜び温泉に入る。
みんなとたのしく旅行をたのしみたい
久しぶりの家族との温泉旅行、家人だけでなく親戚と一緒に行動が出来る
親戚、家族の力をかりて旅行に行きたい。入浴は兄弟息子に頼ることになるが周りが“がんばろう”と言ってくれているので自分もやりたい。
皆の支援をうけながらであるが、親戚一同で温泉旅行に行き、久しぶりに温泉に入りたいと考えている。
親せきともコミュニケーションをとる機会がある。どの手段でとるか確認（携帯するのに文字盤など）
温泉に入りたい
家族旅行への参加。
介護者の協力体制、計画
・思い出を作りたい。
「久々に親戚一同で集まり、楽しく温泉旅行がしたい。いろんな話もしたい」
サービスや家族等の介護をうけて、温泉に行きたい
久々に温泉に入りたいと積極的。外に出ることに意欲的
親せきが集まるから温泉に入りたい。

(訪問介護事業所)

温泉に入れる環境が整えられるのかを施設に確認
サポートできるスタッフの体制
旅行をして温泉に入りたい
「久しぶりに家族皆んな、親戚の皆さんとも一緒に温泉に行きたい」
親戚一同との温泉旅行はよき思い出となる
親戚一同での1泊2日の温泉旅行に久々に参加し、温泉に入りたい
一家族として参加し同居家族の支援を受けながら。
外出しているか
親戚との温泉旅行に参加したい！！温泉にも入りたい！！
温泉施設側の協力で快適に行く
久しぶりに温泉に入ることを楽しみにしている。回りの人々の協力支援を受けて
親戚との一泊旅行。久々の参加に加え温泉に入るので皆さんの支援を得て楽しみたい。
参加の意思確認
家族、親戚一同と温泉旅行を楽しみ、気力が出るように
最後と思えば是非参加させてやりたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい
・久しぶりに親戚の方々と交流を深めたい・ゆったり温泉につかりたい
旅行に行きたい 温泉に入りたい
社会参加なし
家族全員で本人の精神的不安の軽減を計る
親戚と一緒に自分も参加出来る事で意欲・生活のはりが出る。
体調を整い、絶好のコンディションで出かけた
温泉旅行に参加して温泉に入りたい
参加を希望している 意欲あり
皆と一緒に温泉に入って楽しみたい
旅行に行きたい。
自分の居場所をもう一度示したい。親せきの行事に参加したい。妻がいると助かる。

ディ・サービスも言葉がしゃべれない為か拒否。現在の体調で、温泉旅行をする為には時間的に余裕を持って行う必要がある
親戚一同、1泊2日の温泉旅行参加、入浴したい
身障者対応可能な、温泉施設もあるので体に負担のない方法を考えて、家族と一泊旅行を楽しむ。
「久々に温泉に入りたい」「旅行に参加したい」
親戚一同の旅行できて満足している。
介助者がいれば参加できる。
家族で旅行
親戚と会いたい。入浴(温泉)をしたい。
長男夫婦、Ns、主介護者
親戚一同と温泉に行くのを楽しみにしている
家族で旅行するのが夢だった
久々に親戚と会い温泉につかり、交流を温めたい 皆さんの支援で
・親戚とのコミュニケーション・温泉に入る
親戚と一緒に久しぶりに、温泉に入ったり、楽しい時を過ごしたい。
週2回デイサービスに通われている楽しそうにされている。外出は好きです。皆様の支援が有れば温泉旅行もできる。
親戚一同で温泉旅行で本人も参加し温泉に入るため皆さんでご支援をする。参加のよろこびの確認
親戚一同の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
家族とともに、温泉旅行を家族と仲間の力を得て楽しみたい。
親戚の力を貸りてでも昔好きだった温泉入浴を楽しみたい
温泉に入りたい
親戚一同交流温泉旅行をしたい 温泉に入りたい
親せきとのコミュニケーションがうまくいか不安である
家族、友人、親戚等の日頃の付き合いを好んでしている
家族・親戚共になるべく参加する。
同病者の会 e t c
親族交流
周囲に迷惑をかけてしまうけれど協力を得て温泉へ行きたい
介護事業所の研修にはボランティアの手を借り参加している
家族会議 希望 ニーズ
親族との交流をすることで生活意欲を向上できる。
温泉での入浴も妻がつき添えない場合も考慮し、長男に気をつけることを伝えておくこと。
温泉に入りたい
親戚一同で温泉へ行く久しぶりの余暇活動温泉でゆっくり過ごす。
親戚一同の集まりや旅行には出来る限り参加し、ともに楽しみたい。
・家族と一緒に1泊2日の温泉旅行に行きたい。・温泉に入りたい。
・介助を受けながらも温泉に入りたい。・親戚と一緒に旅行へ行きたい。
親戚の支援を受けながらも自分でも出来る事をして温泉に入りたい。
多くの支援を得え、実際に入浴の実施をする浴そうにつかり、温泉を楽しむ
大学での理論物理学の研究等
・久々に親戚の人々に会いたい。・大きなお風呂、温泉にゆったりとつかりたい。・家族にも、介護を忘れ、温泉で非日常を楽しんでもらいたい
・月1回土曜日は妻とともに家族の会に参加している。・町内会の役員をしていたので、近所との交流がある。・パソコンを使って、SNSでできた友だちと日中交流している。若いころから、ドライブが趣味だったので、同じ趣味をもつ人と交流し、今回も、温泉の情報を交換し、旅行先は本人が決めた。・自分の病気についてSNSで日記を書いていることが励みにもなっている
みんなと一緒に旅行に出かけ久しぶりに温泉に入りたい。
皆の協力で参加させてあげたい
親類と1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
思い出づくり
・どこの温泉に行き、外湯か内湯か・名物料理は？
・普段から他者との交流が、積極的。妻の介助にて意志伝達装置を使いこなせる
親戚との久々の関わりが楽しみ
「旅行に行く機会がなかったので何としても参加したい」「親戚一同という事もあり、皆々の支援を得て大好きな温泉に入りたい」
1泊2日の温泉旅行をする。
親戚一同で旅行がしたい、温泉に入りたい。
家族に支援してもらい温泉に入りたい

温泉に入る
家長として親族への対応をし、自分の役割をはたす
親戚一同で行くので、久々に自分は参加して温泉に入りたい。
一緒に旅行を楽しみたい。温泉に入りたい。
1泊2日の旅行に参加し、温泉に入る
さまざまな問題を（条件）クリアできるのならば、温泉にもう一度つからせたい
参加する方法で実行手段をシュミレーションを行う
久々の温泉旅行で親戚の人に会わせてあげて、温泉にも入れてあげたいので支援して欲しい
久しぶりにゆっくり旅行を楽しみたい
親戚の方の力をかりて、旅行を楽しみたい。親戚に会いたい。
温泉旅行に行く
温泉に入りたい皆家族と出かける
・1泊2日温泉旅行・コミュニケーションは装置でOK・親せき一同での支援
・親せき一同と共に1泊2日の温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行に親戚一同で行きたい。久しぶりに温泉にも入りたい
家族だけでは入浴時に大変なので、ヘルパーの同行が必要かもしれない（家族が介助になれば別）
できる限り一般と同様の活動を支援し参加できるよう、意識的にも支える。
外出意欲あり
親類との旅行を楽しみにしている。温泉にも行くことができる間に行きたい。
親族にも手伝ってもらおうこと。
親戚と1泊2日の温泉旅行をしたい。（日常的な外出等の様子）
・出来るかぎり皆の力をかりながらいろんな部門に出させて上げたい
日々の生活を離れ親戚と楽しく語り合い心身のリフレッシュをはかりたい
子供の頃と違い家族そろって旅行する機会も少ないので動けるうちに出来るだけ家族で行動したい
・本人は温泉に入り、家族との交流を楽しみにしている様子・普段の入浴は、どのような形で行っているのか・温泉での入浴を楽しむことができるか
久々に家族での温泉旅行なので、長男夫婦の力を借りて妻にはゆっくりさせてあげたい。
親戚と久しぶりに泊まりがけの旅行に参加し交流したい
現行の介護保険制度を利用しての旅行は困難だが、自費サービスで看護師ヘルパーの協力を貰えるのであれば可能。また旅行先での体調急変も考慮する必要あり。
親戚一同に対して、障害があっても、それを受け入れて生きている姿を見せたい。
温泉に入りたい家族旅行に行きたい
コミュニケーション意思伝達装置（利）
親戚一同で温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
親戚にも手伝ってもらい本人の好きな温泉につれていってあげたい
親戚一同、本人
療養者が参加することで家族の行程に支障はないか
温泉に入りたい
家族としての一員なので参加して普段かぞくで出来ない事をして思い出を作る。
家族の支援を得て、温泉旅行がしたい
親戚との温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
旅行へ行くのが可能か？
久しぶりの温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
喜び
大好きな温泉に入りたい。家族と共に楽しい旅をしてみたい。
外の景色や他の交流に疲れない配慮をできるだけしてやりたい家族や外泊先の皆さんの協力を得る。
親戚の集まりなので支援を受けてでも、参加をしたい
温泉旅行に参加し親戚に会いたい。
・家族の負担
「家族での旅行を楽しみにしている。温泉につかり心身ともにリラックスする」
同じ病気の方と交流してる。
・本人の意思確認・協力者確認
「久しぶりの温泉で身も心もリフレッシュしたい」
親戚一同での1泊2日の温泉旅行なので皆様の協力を得て参加したい。
親戚一同での1泊2日の温泉旅行なので皆様の協力を得て参加したい。
親戚一同で久しぶりに温泉に入りたい。社会的交流を保ちたい

親戚一同で一泊2回の温泉旅行に参加
親戚一同で一泊旅行に参加し温泉に入りたい。
「温泉旅行に行きたい」「妻や家族にゆっくりして欲しい」
久しぶりの温泉を楽しみにしている。
家族間の絆が深まる
みんなと温泉に行き温泉に入る
親戚一同で温泉旅行する
親せき一同で、1泊2日の温泉旅行に参加する。温泉に入りたい。
・最後になるかもしれない家族旅行。皆に楽しんで欲しい。極力迷惑（手をかけないよう）かけぬよう、自分で出来る事は頑張る。
・親子、親せきが病気を含めて本人の支援を協力し受け入れている・機械（伝達装置）以外でも（アイコンタクト）肉親の中ではコンタクトが図れる。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行へ行く
1泊2日の温泉旅行
久しぶりの家族旅行を楽しみにしているが、迷惑をかけることの心苦しさも感じている。
親戚一同で、温泉に行ける機会がなかなかないので、皆さんには世話をかけるが、皆で楽しく過ごす機会を作りたい。
・同行者の協力で環境の変化に対応した・親戚の者とコミュニケーションをとりたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい
本人の希望もある為。できるだけのことをしてやりたい。
親戚一同で温泉旅行に行く
思い出をつくりたい いつも介護をしてくれている妻にも楽しんでもらい、のんびりしてもらいたい。
若い時の体験談を準備して親戚一同に披露する
父として家族と参加し楽しみたい
親戚一同の力を借りて温泉旅行を楽しみたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、迷惑をかけるだろうが、親戚の人達と久しぶりにふれあいたい
親戚一同での旅行。
家族と一緒に湯につかりたい。
親戚一同との温泉旅行へ（1泊2日）行きたい。温泉にも入りたい。
久しぶりに親族とコミュニケーションをとり、温泉に入りたい。
ぜひ参加したい。
温泉旅行
みんなの協力を得て行きたい
温泉に行き気分を変えたい
温泉地の為、温泉に入りたい。
支援があれば可能
楽しい旅行になるようなりハビリと支援
親戚の方々とのコミュニケーション 遠出、大きな風呂での入浴をして、できることを増やす 自信・喜びを得る
親戚皆で温泉旅行したい
親戚の人の支援を得て徐々に温泉に入りたい
動けるうちに、みんなに会っておきたい。
外出への不安
家族、親戚とのコミュニケーション
・参加意欲あり・意思伝達であれば可
親戚に会えて、旧交を暖めたい。温泉にも入りたい
皆に協力してもらい行きたい。
出来るだけ本人の参加で温泉に入ってもらいたい
家族の支援を得て温泉に入りたい
家族とともに、楽しい時間を過ごしたい。
無事ホテルに到着して温泉に入ってゆっくりしたい。
旅行に行きたい 温泉に入りたい
温泉旅行
親戚一同で温泉旅行に行きたい。
徐々に温泉に入りたいという意欲がある
親戚の人達と温泉に入りたい
家族旅行で徐々に温泉に入りたい
親戚一同でのイベントに参加して温泉に入りたい。

？
昔からの顔なじみと会い、温泉でゆっくり過ごしたい。
親戚一同で一泊2日の温泉旅行をする。
親戚全員と、会える機会を大切にしたい
めったに実現することのない親戚一同の一泊温泉旅行に是非参加して楽しいひとときを過ごしたい
1泊2日の温泉旅行で温泉に入りたい
温泉旅行
一目標一親せき一同で温泉旅行に行く 温泉に入りたい
片道4Hrの距離排泄はギリギリのキヨリ声かけをしてみる。汚れがあればリフト車内で交換も可
・親戚一同の支援を得て、温泉旅行に行く
・温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。・えん会に参加したい。
楽しみである、温泉旅行を親戚と一緒に温泉に入りたい
・広い温泉の風呂でゆっくりしたい。・親戚のみんなと合える事も楽しみ
久しぶりの温泉、とっても楽しみ、みんなとたくさん会話がしたい。一緒に温泉に入りたい。
風景、倉庫、温泉、会話思いづくり、出来るだけお世話に支援して育むような準備
徐々に温泉に入りたい
温泉に入る
親戚一同で温泉旅行をし温泉に入りたい
介護いっぺんとうの妻に久々の妻こうこうをしたいと思われている。又、自分も徐々にゆっくりしたい。
親戚一同と温泉に行きたいが
温泉旅行1泊2日
久しぶりに温泉旅行に参加したい 温泉に入りたい
温泉に入浴
親戚一同で安全に行えるよう支援を得る。
参加することにより家族の輪を深め絆を強くする
親戚一同での温泉旅行に参加し、徐々に温泉に入りたい
親戚の皆に会えるのが楽しみ 久しぶりの温泉も楽しみたい。まわりから話しかけて欲しい
温泉に入りたい
皆と一緒に旅行へ行きたい。温泉にも入りたい。
「久しぶりに家族・親戚と楽しい時間を持ち、充実感を味わいたい。温泉も楽しみたい」
親戚の集まりに参加したい。温泉にも入りたい。
・食事や温泉など親戚と同じ場で楽しめる場や必要な道具は整っているか
・親戚一同と外出したい意向である・温泉に入りたい
皆さんのご支援を得て温泉に入りたい
意思伝達装置を利用してコミュニケーションを図る 温泉での入浴事、親戚の協力はどれ程得られるか 移乗など、介護の指導ができるか？
温泉に入りたい
親戚一同で温泉（1泊2日）に参加
介助者付で入浴できる温泉の確認
患者交流会等に、家族で参加できるようにしている。自家用車あるので、本人次第（それが大変！）
楽しみをもった参加になることを期待したい。
親戚の皆には迷惑をかけるが1泊2日の温泉旅行で、自分も温泉に入って、徐々に楽しいひとときを過ごしたい。ベストの体調で旅にいどみたい。
親戚一同での温泉旅行を楽しみにしている。
参加意欲はあるが、主たる介護者も高齢であるため、なかなかできない。
支持を保つ。参加したい。
久しぶりに温泉に入りたい
「親戚一同とコミュニケーションをとりながら浴槽に入り温泉を満喫したい」
親戚一同で旅行がしたい。みんなの力をかりて温泉に入り少しでも体が良くなればと思っています。
参加の希望はある。みんなと一緒に楽しみたい
・自分がしたいことやりたい事を伝える事ができる。・親戚の人達との交流を持ちたいと思っています。
・親類、家族で一泊の温泉旅行をして温泉に入りたい
・親戚一同に現状を知ってもらい一緒に楽しい時間が持てることを実感したい。
体の負担が大きく温泉に入れるのか
徐々に旅行に参加し長男夫婦や親戚の方々に支援を得て
温泉で入浴したい 家族で思い出など話したい

「久しぶりの温泉なので入りたい。しかし、皆に迷惑を掛けたくない。」
温泉に入れるように下見をし親戚が安心して介助出来るように本人と練習を行なっておく
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
久々に親戚一同で一泊2日の温泉旅行に行き、支援を得て温泉に入りたい。
親戚一同での旅行なので皆でのコミュニケーションを充分とれる支援と温泉に入浴を全員で介助することが必要
温泉に入る
家族旅行に参加したい、車の手配、受け入れの確保
温泉へ行く事で、その他の社会参加（体の負担がかからない程度）を実現したい。
久しぶりに親戚に会い、思い出話などをしたい。みんなの元気な姿を見たい。
親戚一同と温泉へ行きたい。
旅行へ行く
・皆の支援を得て、久々に温泉に入りたい
家族としてもヘルパーを参加させても一同の思いでを作りたい。
実家の親戚と合いたい、妻にも機会をあたえたい。
・何人の参加なのか？・交通手段は？
・親せきと会うことを楽しみにしている・ときどき散歩に出る
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行く等家族内の交流あり
短時間でも良いので皆の手を借りて温泉に入りたい。
旅行の実現
「温泉に入りたい」
旅行
・温泉旅行で温泉に入りたい。
久しぶりの温泉旅行をみんなで楽しみたい。「支援を受けながら」
・親戚との交流がなかなか持てないので、ゆっくり温泉に入り会話も楽しみたい。
・温泉旅行・本人の意志は？・移動、入浴、旅館の状況は？・食事は？
親戚と旅行したい
親戚一同で、温泉旅行をする。参加して久々に温泉に入りたい。
久しぶりにて本人参加意思あり。温泉へ。
食事会などへは同伴者が一緒のときはどこへも行く。
親戚一同で楽しい時間をすごしたい。最後になるかもしれない。
参加することにより、積極的緩和。家族とのつながりをあじあわせたい。
たまには家を離れて気分転換したい。久しぶりに親戚の方とも会いたい。
意思伝達装置を利用。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加。座姿勢が半日位とれるよう訓練する。
本人の希望であれば参加させるべきだ。
家族、親戚一同と楽しい温泉旅行に行きたい。
目的を持つ事により日々の生活意欲が持てる。
・親族との交わりを持ちたい
旅行、温泉
家族と一緒にいきたい
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。久々に親戚一同と顔をあわせ、話をしたい。
親戚との交流ができ楽しい時間が過ごせればよい。
親戚一同での温泉旅行に介護者である妻と一緒に自分も参加し久々に温泉での入浴を体験したい
たまには温泉にはいってゆっくりしたい
1泊2日の温泉旅行に参加したい。
最後になるかも知れないと思い、なるべく本人主体の旅行に心掛ける。
・親戚一同と会って楽しい時をすごしたい。みなさんの支援を得て温泉に入りたい。
・皆の力を貸りて、温泉に入りたい。親戚と久しぶりに会い交流をしたい。
社会参加は（外出）は気もち的に引きこもりがちだが難病の集いなどの参加は促すことが可能
・久しぶりの温泉なので、・皆と一緒に楽しみたい。
家族との会話を楽しみ、周囲の気づかいを求め、家族だけでゆっくりしたい。旅館の対応に協力してもらおう。
一緒に旅行したい
親戚一同の中であしでまといになるのが不安
久々に家族でゆっくりとし、妻にも楽しんでもらいたい。自分の温泉に入りたい。
どのようにして■■■を得るか
健常者と同じ様に旅行に行き、この世に生きた、生きているという実感を味わう。親戚、介護士（看護師）等の協力を得る。

親戚一同での旅行に参加し、温泉に入りたいので、叶うように皆さんの支援を得たい。
家族の一員として旅行に同行したい。温泉に入りたい。
本人の同意のもとに体力と相談しながら、医師・看護師の調整、許可得ながら無理のない範囲で親せき一同で、温泉旅行に参加するので、できるだけの事をしてやりたい。皆様のご支援を得て。
1泊で温泉旅行に行き、旅館でゆっくりとお風呂に入りたい。支援を得ることで。
・温泉に入りたい。・旅行したい
介護者の介護力を考えると
久しぶりに親戚一同で温泉旅行に行き温泉に入りたい
旅行に参加して温泉に入りたい
・親戚一同の協力のもとで実施する意義を確認し合う。
病気以前は、旅行の計画をまとめたり、友人たちとの交流もよく行っていた。何年も忘れていた、かつての楽しみをみんなと共有したい。
家族、親戚との交流の中でコミュニケーションを取る
自分も徐々に温泉に入りたい。自分の介護をしてくれる妻にもゆっくりと温泉につかり疲れをとってもらいたい。
親戚一同の温泉旅行に行き、一緒にお風呂に入りたい
温泉旅行に参加したい、息子と2人暮らしの為、親戚の中の女性の支援を得る
・旅行先での医療対応先をかかりつけDr. と相談・旅行先でのボランティアグループがないか長男夫婦がさがす。・温泉に入りたい。
楽しくすごせる様+指向で考える
久しぶり親戚一同集まる事を楽しみにしている。
・外に出て、久しぶりに外泊できる喜びを感じたい。
親戚皆さんに会い温泉に入り、楽しみたい
希望している
1泊2日の温泉旅行を安全に参加する事ができる
「体調が整わなければ温泉は無理としても、親戚と近況を報告し合いたい。」
・親戚といっしょに旅行・温泉に入る。・みんなと会話、コミュニケーション（妻を通して）
親戚一同での1泊2日の温泉旅行
久しぶりに家族で温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行を家族に支援してもらいながら楽しみたい
「親戚一同集まり、楽しい時を一緒に過ごし、いい思い出を作りたい、皆様のご支援を得て。」
本人、妻ともに参加し気晴らし気分転換したい、親戚に元気なところを見せたい
本人の希望を聞く、本人がプランを積極的に作成していく
温泉に入浴設備があるか。
親戚の人と一緒に温泉入ったり、料理も食べたりし、楽しい時間過ごしたいです。皆様のご支援を得て。
1泊2日の温泉旅行（親戚一同）
温泉に入れる為に、風呂場の構造、人はどうなっているのか
みんなの助けをかりて温泉に入りたい。
親戚の人達のぬくもりをはだで感じ、親戚の輪の中にあることを、身内の一員であることを！
親戚一同と1泊2日の温泉旅行を楽しむ。温泉に入る。
親戚一同の温泉旅行に参加し、徐々に温泉に入りたい。
親戚一同で一泊二日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
徐々に温泉に入りたい。
近隣の医療はALSに対応可能なのか？
長男夫婦との会話
旅行に行けることの不安の解消→自信、楽しみ、期待への移行
なかなか逢えない親戚に合うのを楽しみ、温泉にも入りたい
温泉旅行に行きたい
親戚一同の集りに久しぶりに参加し、温泉に入りたい
◎親戚一同の、1泊2日の温泉旅行に参加したい。◎温泉に入りたい。
新戚の人と温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
温泉旅行で、温泉に入りたい。
・本人は、外出、温泉に入ることを楽しみにしている ・親戚が集まるのはめったにないことなので、皆と話しをしたいと望んでいる。
親戚一同で、温泉旅行に参加し、温泉にも入りたい
・生活参加の状態把握 ・家族としての機能向上
温泉旅行に参加して楽しみたい。温泉に入りたい 親戚の協力も得ながら

余り旅行に参加したくない
父母や親戚と一緒に1泊で旅行につれていきたい。又温泉に入れたい
温泉に入り、気持ちをもっとリラックスさせ、楽しい時間を持ちたい。新戚のご支援を得て。
親戚の人達にも支援受け旅行に行きたい。
家族での温泉旅行。温泉に入りたい。
・病院と家の往復だけではなく、違った景色もながめてみたい。・ゆったりと温泉につかりたい。・親戚とゆっくり会いたい。
・親戚と共に食事したい。
親戚との会話や交流を大切にしたい。
・本人も久々に1泊2日の温泉旅行に行きたい。
新戚一同で、久々に温泉に入る。楽しみたい 皆さんのご支援を得て。
温泉に入って、皆人とゆっくり話をしたい。車いすで入れる温泉を深す。
皆と一緒に温泉に入れる喜びと、なるべく迷惑かけず思い出作りしたい近所人との交流
久々にみんなと旅行する楽しみにより周囲と会話が増える
親戚と温泉旅行に参加
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい。
旅行に出かける。温泉に入る。
家族(妻)の介助にて1泊2日の温泉旅行に参加したい
親戚一同で旅行できるなんてめったにない。最後になるかもしれないし、是非行きたい。
温泉に入る事を楽しんだり、皆との、外食を楽しむ
・なるべく自力でお風呂に入れるようにしたい。食事内容もあらかじめ確認しておきたい
温泉旅行に行くことになり、本人は温泉に入りたいと希望がある。
皆で行く旅行なら久々に参加したい
親戚一同で温泉に入り楽しく過したい。
移動や入浴に際しての家族・親戚(男性)の協力が不可欠である
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
自分の意思はしっかりと装置使って伝えてくる。家族とのコミュニケーションは比較的とれている。
温泉に入る
家族と一緒に温泉に出かけることができる
親戚一同で楽しい時間を過ごす 温泉に入る。
家族の援助で1泊2日の温泉旅行を何とか実現させたい
温泉旅行に行つて温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
・家族や親戚の協力を得ながら楽しく参加。・旅行し温泉に入る。
久しぶりに家族 親戚と楽しくすごしたい。
回りの方の支援を得て参加
温泉旅行を家族にめいわくをかける事なく楽しみたい 温泉にゆっくりとつかってつかれをとりたい。
親戚一同が参加するので、多くの方とのコミュニケーションどとれる。
長男夫婦が中心になって状況判断を伝達し温泉のよさを満喫する様家族全員で入浴する
・家族はこの機会に親戚とのふれあいを満喫し、温泉での開放感を味わせたい。
回りの方の助けも借り、参加。
温泉にいきたい
温泉に入る為に皆さんの支援を得て
家族で協力して1泊2日の温泉旅行に連れて行ってやりたい。本人も参加して温泉に入りたい。
1泊2日で温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。
・久しぶりに旅行をして、親せきの人たちと話をする。
本人も久々に温泉に入りたい
親戚一同で楽しみを増し、親ぼく交流ができる 優しさの確認
参加したい理由、意欲はどうか? 温泉地で行いたい事は何か?
久しぶりにみんなと温泉に入りたい。
親戚一同で集まる機会があまりないのでみんなの力をかりて参加したい
お風呂は大好きなので楽しみにしている。妻の休息にもあてたい
これが最後の旅行になると思うので長男夫婦や他人の手をかりても参加したい。
久しぶりに温泉に入る為にしっかり準備したい
家族で旅行が出来るのがとても楽しみ
支援を得て親族との温泉旅行に参加したい。
皆とゆっくり温泉に入つてかたり合いたい

親戚一同での行事であり是非参加して温泉にゆっくり入りたい。
キーパーソンの娘さん、次女さんとは協力的で？信頼関係がある。週1回デイ利用社会参加は積極的。
長男夫婦 妻 親戚
温泉旅行に家族や親類と出かけて、いっしょに楽しく過ごしたい（以前と同様に楽しみたい）
久しぶりに親戚が顔を合わすので、一泊旅行に参加したい。
親戚一同での旅行に参加し温泉に入りたい。皆の支援を得て。
家族には、大変な迷惑がかかるが病状の安定しているこの時期に実現させたい
親戚一同、一泊2日の温泉旅行をすることとなり、本人も参加し徐々に温泉に入りたい。
家族みんなと旅行できたことの充実感を味わいたい
なるべく外に出て気分転換を図れるような機会を作る
いつもベッド上に、自宅にいる事が多い中、皆の支援を受け久々の外出を楽しみたい
温泉にゆっくりつかることでリラックスしたい。又家族ものんびりさせてやりたい
親戚一同での旅行に参加し温泉に入りたい
参加して温泉に入りたい
久しぶりの温泉で本人のストレスの解消になる
親戚一同で行く温泉旅行に参加したい 家族や親戚の支援を得て
気分は積極的か 誘等、手助け、トイレ、のどのかわき等の対応は可能か
温泉につかりたい
温泉旅行したい
みんなの協力を得て、温泉旅行に参加して温泉に入りたい
・泊り（1泊2日）で温泉旅行参加 ・温泉にも入りたい
検討をした結果階段を下りるシュミレーションをして、体勢を調える
皆と一緒に旅行に行き会話やおふろを楽しみたい
温泉旅行をして、徐々に温泉に入りたい。
久しぶりに親戚一同に会いたいし温泉にも入りたい
1泊2日の温泉旅行
親戚皆に会いたい（なかなか機会がないので） 妻も高齢なので皆の協力を得て、温泉に入りたい。
一泊2日の旅行に行き温泉に入りたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行。
・泊まりがけでの外出は久々の事である。
寝たきりで、自ら「参加」する気力が少し劣えているかもしれない。
・温泉に入りたい ・親戚一同で楽しく旅行（入浴介助必要か）
温泉に入り、皆と一緒に過ごしたい
親戚の人達の支援を借りて温泉旅行へ参加したい。家の中から外へ出る事で気分をリフレッシュしたい
・しんせき一同と徐々に楽しみたい。 ・今日の協力のかんしゃと、楽しみしていた事を伝えたい。 ・必要以上の支援もありがたいが、今回は楽しい雰囲気をこわしたくないので、自分からうったえ、なれた家ぞくに、主によみとってもらいたい。
今回なら、温泉旅行、本人の希望する催し事趣味の項目をあげる。
久しぶりに親戚で集まり昔話やふる里の話に花をさかせたい。温泉入浴は身体も心身ともにいやされる
「病気になるでも家に閉じこもらず、外に出る機会を増やしたい。親戚などの集まりにも参加したい」
・温泉に入りたい
父、夫として家族旅行し、家族のつながりを深め温泉に入り、ゆっくりしたい
親戚と一緒にいくこと（親戚の協力が求められる）長男夫婦の協力
旅行に行く
妻や長男夫婦とで、1泊して温泉旅行がしたい。家族への負担も大きいですが温泉にも入りたい。
長男夫婦と妻と親戚と一緒に温泉旅行に行きたい
家族・親戚の一員として参加、妻との時間も楽しむ。
主たる介護者へのリフレッシュも兼ねて、参加したい。その為に対応策を練る。
家族と温泉に行きたい
「介助の必要な利用者にも対応できる旅行会社に依頼して家族みんなですぐに温泉に入ることによって家族の絆が深まると良い」
親戚一同で温泉旅行
家族と共に思い出に残る旅行がしたい。温泉でゆっくり温まりたい。少しでも妻の介護負担を軽減。
家族風呂とか数時間の間、借しきりにできるのか確認してできれば景色の良い温泉にゆっくりと入れてあげたい
親戚中が集うことはめったにないだろうから楽しい思い出を残してやるためにも参加者全員で協力（支援）し、父を中心にしながら親戚の絆も深めたい
F aの協立を得て温泉旅行に楽しみたい 出来れば温泉に入りたい

「父として、娘の結婚式に参加してできるだけのことをしてやりたい。皆さんのご支援を得て」
緊急時主治医連けい旅先緊急先に決定 連絡確保 医療の万全配りよ
みんなと風呂に入りたい支援を得て
皆さんの支援を得て温泉一泊旅行に参加
・親戚一同が集まる場に出席し、久しぶりに皆の顔が見たい ・温泉に入りたい
久しぶりに親戚一同が集まり顔を合わせることを楽しみにしている
家族に助けをもらいながら温泉につかりたい
以前 温泉に入りに行っていた。久々に温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行を無事に行きたい。親戚一同皆さんの支援を得て事故なく温泉に入りたい
親戚一同で旅行に行く
家族の一員として、一緒に楽しさを分かち合いたい。色々な物を見たり、聞いたり話したりしたい。妻を休ませたい
意思伝達装置にてコミュニケーション他の参加はないか？
温泉旅行へ参加
家族と旅に出て温泉に入り体をほぐしたい
回りの支援を徹底する
・食事時共にできるようになっているか
温泉旅行で温泉に入りたい
コミュニケーションは意思伝達装置を利用し参加の希望あり
親戚と会い、自分も参加して一緒に温泉に入りたい
ゆっくりお湯につかりたい
久々に温泉に入りたい。家族、親戚の皆さんの支援を得て良い思い出となるようにしたい。家族の慰安にもなるように。
リハビリ等活動参加の状況
・介護スタッフや皆さんの支援を得て、出来る限りの事をしてやりたい。・妻の労働を軽減したい。
久々に集まった親戚の方や長男とゆっくり温泉につかりたい。皆さんの援助が必要になります。
参加した親せきの人達と多くの会話ができるように家族に協力してもらおう。
「家族と一緒に温泉旅行をするのが楽しみ」
夫としていつも介護してくれている妻に他の人の支援を得て少しでもゆっくりさせてあげたい。
・本人も長い旅行をしたことがないので、楽しい温泉旅行になる様に皆さんで支援していきたい。
1泊2日の温泉旅行に、参加し、温泉に入りたい。
久々に温泉に入りたいと思っている。家族、親せきの支援をうける必要がある
温泉旅行に参加する
そうある機会ではないので皆と一緒に旅行し、温泉に入りたい。でも迷惑をかけるのではという不安もある。
久しぶりに温泉に入りたい
親戚一同との久しぶりの参加
・親戚一同が集まる機会は減多に無いので是非共行かせてやりたい・普段介護している母の骨休めにもなると思う
温泉旅行に参加し、久々に親せきの人々と楽しみたい
妻の介助で、夫68歳は温泉にも入りたいとのこと
参加したい 家族の援助により1泊2日の温泉旅行に参加したい
参加に対する拒絶 家族は進めるが本人が拒絶
皆で旅行に行って温泉に入りたい
温泉旅行
「病気になる前はよく温泉にも行っていた。皆さんの助けをかりて、久しぶりにゆっくり温泉につかりたい。」
旅行
温泉旅行
1泊2日の旅行に対応できるか
「久しぶりに親戚一同で旅行をし、1泊し、温泉にも入りたい。」
温泉旅行（家族旅行）というイベントに参加することの意義を大切にす。
月～金デイサービス、機能訓練
温泉旅行
親族と一緒に旅行をし、温泉に入って気分をリフレッシュしたい。
家族、親戚一同と一緒に温泉に入り、楽しい時間をすごしたい。
親戚一同、長男夫婦、夫、妻→温泉旅行をすることとなる。
・親戚を楽しみたい ・温泉に入りたい
親せきと一緒に温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
旅行に行く。
皆まで話している所を見るだけでも楽しい。

・家族、親類の支援で旅行に参加出来る。・自立支援、移動支援を利用し、外出先の援助を受けれる活動出来る。
・温泉旅行に行きたい ・皆と一緒に
親せき同志、顔を合わせて楽しい旅行をしたい。皆んなの手は借りるが。
温泉旅行で温泉に入りたい。
親戚の人々と久しぶりに会うので、温泉だけでなく思い出話をしたい。各方面にお礼も伝えたい。
久々の家族旅行なので、親戚には迷惑をかけるかもしれないが、みんなの手をかりながら楽しい旅行にしたい。
久々の温泉旅行、いい湯を存分に楽しみたい。妻や親戚の協力を得て。
久々の温泉に気持ち良く入り、リラックスしたい。
1泊2日の温泉旅行を楽しみたい。
妻の為にもゆっくと親戚一同で温泉に入りたい。
本人が参加したくても、介護者である妻が全てに参加出来るか
どこの温泉にしようか、場所や交通手段等の話し合いにも参加。
一泊旅行への参加（温泉）
親戚一同で温泉旅行に行きたい。そこで温泉にも入りたい。また行きたいという希望にもつなげたい。
親戚一同で温泉に入れてやりたい。
親戚一同での温泉旅行に本人も参加したい。
親戚一同で旅行を楽しみたい
温泉旅行に参加し親族と楽しい時間を持ちたい また、一人では困難だが温泉に浸かりたい
親戚一同の支援を受け温泉旅行を家族と一緒に過したい。
協力体制は？（家族・親せき・医師・看護師等）（主たる介護者である妻以外の）
年1回親戚一同旅行している 今年に参加したい。伝達装置を利用しているがなれない人達とのコミュニケーションが心配だが、顔をみたい 温泉にも入りたい 雰囲気だけでもよい、出掛けてみたい
妻に対する2日間のプレゼント 家長としての立派な参加になる
・誰と一緒に参加するか ・家族の負担を考慮し、長男夫婦も同行。
家族と一緒に旅行して楽しい時間を作りたい
昔（若い時）はクラブ、行事に参加していたが今は拒否がみられる。
親戚との交流も図りたいし、温泉へ入りたい。
家の主として、面目を保つ。
広々とした温泉に、家族と一緒に入りたい。
親せきとの旅行に参加し温泉に入りたい。
たのしく親せきと一緒に温泉旅行をしたい
久しぶりに温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
久々の旅行に行き自分も温泉に入りたいが妻をゆっくりさせて上げたい 皆さんの支援を得ながら。
家族の一員として、楽しく旅行がいき、がまんせずつらい時は、話す。
旅行は久しぶりなので皆さんと楽しみたい。温泉にもゆっくり漬かりたい。
参加に意欲的
旅行に参加して、久々に温泉に入りたい。親戚一同の支援をいただきたい。
皆の支援を得て久々に温泉に入りたい。
普段と違う場、食事をすることを楽しみにしている。
家族といっしょに旅行し、できれば温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
久しぶりに皆と会い、交流も含め、自身も妻も温泉に入ってリフレッシュをしたい。
医療スタッフ、移送スタッフ、ケースワーカー、介護ヘルパー、家族、旅館スタッフ
親戚一同で思い出作りをする
・家族の介助で温泉に入りたい。 ・親戚一同で宴会、カラオケを楽しみたい。
家族と一緒に楽しくすごしたい。家族の一員としての役割を感じたい。
安心・安全で入浴旅行を楽しんでいただく
温泉旅行に参加し、親戚一同にあう
親戚一同と楽しく旅行したい。皆に支援してもらいながら行けそう。心強い。
親戚一同の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
「家族との一家団らんを久しぶりに味わいたい。孫と一緒に温泉に入りたい。」
親戚一同で旅行に行き久しぶりの温泉に入りたい。
久々に温泉に入りたい。希望がある
・温泉旅行に行きたい、温泉に入りたい ・妻にも寛ぐ時間を作ってやりたい
親戚一同で集まり温泉に入りたい

皆の支援を得て旅行に行き、温泉に入りたい
久々に親戚一同でお出かけをしたい。もっと弱ってくると思うし、今のうちに出かけたい。
参加したいが皆に負担をかけるが是非いきたい
本人の行ってみたい温泉場を聞きだす。温泉の思い出をきく。温泉の写真やパンフレットを一緒にみる。(家族と一緒に)
支援体制は何名位いるのか
親戚一同の温泉旅行に行き温泉に入りたい。
孫の野球の試合を見に行きたい。
家族や親戚と旅行に行き入浴、会話を楽しむ。
家族で旅行を楽しむ 温泉で暖まる。 楽しい思い出を作る
めったにない事なので、家族で参加したい
家族と一緒に温泉旅行を楽しみ。温泉に気持ちよく入りたい。温泉場の配慮
久しぶりに親戚と親交を深め温泉に入ってリフレッシュしたい。
温泉旅行に行き温泉入りたい。
親戚の協力を得て外泊し、温泉に入りたい
家族の支援をうけて以前の健康であった時と同じ様に温泉旅行に行きたい 家族と旅行を楽しみたい
・温泉旅行に参加し・家族との時間を満喫する。
旅行に参加したい
温泉旅行に参加して温泉に入り、親せき一同で楽しみたい。この機会に皆さんの力をおかりしたい。
1泊2日温泉旅行 温泉に入る
コミュニケーションは意思伝達装置を利用 社会とのかかわり
親戚一同と共に旅行に行きたい。
「温泉に入ることはできないかもしれないが、旅行の雰囲気を感じたい。」
外出する機会があまりないので家族みんなで楽しみたい。支援を受けながら温泉に入りたい。
温泉旅行に参加し、支援を受けて、入浴したい
・親戚に囲まれてゆっくりすごしたい・妻の介護疲れをいやしてやりたい
親戚の集まりを元気の時から楽しみにしていたので温泉に入ることを非常に楽しみにしている。
親戚一同の温泉旅行に久々に参加し、温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行
親戚一同の温泉旅行に参加する。
・親戚の集まりに参加し、皆と顔を合わせ、互いを確認し、楽しみたい。
・最後の旅行になるかもしれないのでどうしても行きたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に久々に行きたい。
久しぶりに、親戚一同で温泉に行くので楽しみにしている。温泉に入る際世話をかけるが、家族の介助で入りたい。
旅行先の選定を行い、温泉に入りたい。
久しぶりの温泉旅行。病気の不安もあるが、介護サポートあれば問題なし。
楽しみにしている入浴は、一人では入れないので介助が必要。
温泉に入りたい。
親戚の一員として旅行に参加したい。手伝ってもらって温泉に入りたい。
温泉旅行 親戚との交流を深める。
他者とのコミュニケーションにより、気分転換が図れる。
温泉旅行に参加し妻にもリフレッシュさせてあげたい。親戚の皆と楽しい時を過ごしたい。
外出する機会がないのでぜひ旅館に行き温泉につかりたい。
思い出に残る温泉旅行にしたい
良好
親戚一同と温泉旅行に参加して、久々に温泉に入りたい。皆様のご支援を得て
「大好きだった温泉に支援を受けながら入りたい」やりたいことが出来ることは嬉しい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい。
家族で温泉へ行くという楽しみを持ちリハビリに意欲を持つ
「親戚一同で行くなら自分も一緒に行き、久々に温泉に入りたい。家族だけでは無理なので親戚の人にも手伝ってもらって」
親戚の方々の力を借りて1泊2日の旅行に参加し温泉に入りたい。
・温泉旅行へ参加して、家族と楽しく過ごし多くの思い出を作る。
久しぶりに家族や親戚と温泉でゆっくり過ごしたい。
久々に温泉に入りたい。旅行気分をしっかりと味わいたい。妻以外の人にも(息子とかまごとか)介助してほしい。
皆に支援してもらいながら、快適に過ごして行きたい。
・親戚一同に会い、楽しんできたい。・温泉も楽しみ
次にはいつ行けるか分からない。皆と一緒に温泉に入りたい

家族と温泉に行き久々に温泉に入りたい
親戚一同との温泉旅行に行き、思い出を作って自分もゆったとした時間を作りたい
親戚一同が寄りあう喜びに加えて温泉旅行の楽しみを是非実現させたい
温泉の他家族旅行を楽しむ。
迷惑はかけるけれど、めったに旅行に行けないので、家族との思い出をつくりたい。
・家族・親戚の方々へ感謝の気持ちを伝えたい
環境変化で、気分転換
年に1回位、家族旅行に行き、温泉に入りたい。
温泉旅行に行きたい。親戚とゆったり会いたい。
久しぶりに温泉に入りたい。
親戚とともに温泉旅行にいく意欲あり。
温泉旅行
・好きな温泉に久しぶりに行きたい。親戚との時間を楽しく過したい。
久しぶりの温泉旅行で、本人も久々に温泉に入りたい。介護者である妻にも温泉に入ってもらいたい。
親戚一同と一泊2日の温泉旅行に参加
久しぶりの温泉なので皆さんのご支援を得て楽しんでもらいたい。
・久々に温泉に入りたい。・旅行に行きたい。・皆の顔を見たい。・昔話もしたい。
兄弟が温泉旅行の計画をしてくれた。バリアフリーの温泉だという。皆に迷惑をかけるが体調を整えて参加したいと思う。
親戚一同で久しぶりに温泉に入りたい。
旅行に行きたい
温泉旅行
本人も皆と楽しくすごしたいと考えている。ただ、周りにあまり手間をかけても申し訳ない。
1泊2日の長時間の外出に備え、必要物品、介助者の交替なども考える。
・久しぶりに親戚等とも話をしたい。・温泉も楽しみである。
親戚一同があつまるので本人も皆さんにお逢いしたい
温泉旅行を励みに生活の目標をたてる。
親戚一同と交流し温泉を楽しみたい。
参加はしたいが、なかなかむずかしい拒絶などではない皆の支援を得て
親せき一同の集合、また温泉に入れることが楽しみ。
家族と共に温泉に入りたい
参加には積極的
支援を受けながら、近場の温泉に入り、泊まれる
本人も温泉に入ることを楽しみにしている。
親戚一同の中でも他の皆と同じように楽しく、なごやかに、気を使わせないように参加できるか。温泉にも一緒に入り楽しむことができるか。
・久しぶりの温泉で妻にも長男夫婦にもゆったりして欲しい私も団らんしたい
1泊2日の親戚一同での温泉旅行に参加し温泉に入りたい
・親戚とのコミュニケーションをはかる。・外出して、社会との接点を持つ。
意思伝達装置を用いて積極性がある。親戚と交流を深めたい。
久しぶりに親戚と温泉に行き楽しみたい。皆さんとコミュニケーションを取りたい。
長男夫婦として、親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加して、社会のさわやかな風を味わってもらいたい。皆さんの支援を受けて。
(・1泊2日の温泉旅行で久々に温泉に入りたい。)
車イス、移動中のことについて体調に合わせて希望や考えを話し合う。
親戚一同で、1泊2日で温泉旅行する。
親戚一同の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。「皆さんのご支援を得て」
1泊2日の温泉旅行(親戚一同で)
・親戚一同の輪に入りたい。
レクリエーション等地域の行事などの受入れは、ボランティア、自立支援サービスを受けてくれるか
・1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい
・親戚一同で楽しい旅行をし、思い出を作りたい。・温泉に入りたい。・家族の協力が必要。
親戚一同での旅行の為、皆さんの支援を得て参加したい。
・親戚一同での旅行は、最後になるかも知れないので、いい思い出をつくりたい。皆には迷惑かけるかもしれないけど・・・。
親戚、家族で温泉に行き、温泉に入りたい
親戚一同の協力を切に申し出る。参加意欲有り
久々に温泉に入りたい

親戚の皆の顔も見たい。妻へも外出しストレス解消させてやりたい。広い温泉でゆっくりしたい。
親戚の人と一緒に温泉に行きゆっくりと楽しみたい
日々の生活から外へ出かけて親類とのコミュニケーションを増やしたい
親戚一同で協力して介助にあたり、移動、入浴など実現できるよう協力してもらう。
「親せきの人や家族と久しぶりに温泉につかってみたい」
温泉旅行に参加したい。
今回のチャレンジで温泉に行けたら、今後も長期の旅行も行ける自信になる（親戚一同支援が必要）
親戚の一員として、皆さんと同じ様に楽しいひとときをすごさせてやりたい。
親戚との温泉旅行を楽しみたい。
・家族での思い出を作りたい。・自分にも家族にも思い出を残したい
親せき一同で、1泊2日の温泉旅行をして、久しぶりに温泉に入りたい
温泉旅行に参加して温泉に入りたい
自分も、家族といっしょに旅行することで、一致団結できる。思い出づくりができる。
出来る限り家族と一緒に過ごしたい。
前任の声かけ 身守り 気づき
奥さんの慰労を考えると全員でかかわる
久しぶりに親戚の方々と会って話が出る
1泊2日の温泉旅行に行きたい。楽しみたい。
「史跡歩き合いをし、親睦を深めたい、又、旅行し家族といっしょに温泉に入り楽しい時間を過ごしたい」
・温泉旅行。・温泉による入浴
家族のぬくもりを生きるささえに感じる
援助はどこまで必要か？
介助者の協力を得ながらパソコン・意思伝達装置を使い、コミュニティー参加
新せきなどの協力で温泉に行き入る。
本人の気持を尊重してたくさんの手を事前に準備する。ボランティア
参加して温泉に入りたい
「久しぶりに親せきとのんびり話をし、一緒に温泉につかりたい」
久々に集まりたい。楽しみゆっくりしたい。
・息子の結婚式に出席・自分のブログへの書き込み
家族として皆さんと一緒に楽しい時間を、皆さんの支援を得て温泉旅行をしたい 温泉にも入りたい
コミュニケーションに難しさはあるが、外出などをして気分転換を図る。
温泉旅行の参加 温泉に入りたい
大好きだった温泉旅行にもう一度、家族皆で行きたいし、入浴してみたい
・親せきの人に伝えたい・参加したい。・温泉に入りたい。
親戚が集まる場所で楽しく過ごしたい。
いつも介護で世話になっている妻や長男夫婦に温泉旅行を楽しんでゆっくりしてもらいたい。
これで最後の家族旅行になるかもしれないと張り切って頑張る。
親戚一同での1泊2日の温泉旅行に皆さんのご支援を得て参加したい。
機会があれば参加したい
・しばらく温泉に行っていないので出掛けたい。温泉に入りたい。
親戚一同が会するので参加したい。久しぶりなので温泉にも入りたい。
・久しぶりの温泉入浴してリラックスしたい。・親戚一同で楽しみたい。
久しぶりの家族旅行、温泉に入る事も、出来るか、不安はあるが、皆で出かけるので、助けてもらいながら、出かけたい。
温泉につかれるか？家族もしくは親戚と一緒に温泉にはいれるか？
家族と過ごすことを楽しみにしている
長男夫妻と又親類と諸に参加できることで、より身体（ALS）への理解をしてもらえるチャンス。妻へのごほうびが出来る
・男性2人介助なら、胸まで湯舟につかる。家族で楽しむという意欲はある。
・普段静かに過していることが多いので、この機会に家族、親戚との語らいやおつきあいを大切にしたい。・普段の不義理を解消したい。
「久しぶりに親戚一同で集まり、皆とお話がしたい。」
親戚一同と一緒にに行ける喜び。一同が手を貸してくれる喜び。
1泊2日の温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。
気分転換が図られ、家族、親戚の方々とゆったりとした時間がもてる。「支援を得て」
皆さんの支援を得て、親戚と温泉旅行に行き、温泉にも入りたい。
家族と一緒に温泉旅行に行きたい。
温泉の1泊旅行に参加したい

・外出する・温泉に入る
親戚一同が皆協力できる。楽しい時間が持てる。
長男夫婦、家族全員が行けるように計画する
親せきに会うことで気分転換になる
親戚と一緒に旅行へ久しぶりに温泉に入りたい。
自分で行える部分は参加し行える部分がある。
久しぶりに親戚集にあいたい。温泉旅行は何年ぶりか？
旅行への参加（移動、入浴の手段？）
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
・肉親の暖かさに触れ、みんなと楽しい時間を過ごしたい。・みんなとこれからもきずなを深めながら障害があっても自分なりの生活をして行く。
家族との1泊2日の温泉旅行参加希望
心身機能をアップするためにも参加して、楽しんで欲しい。
・今行かなければもう行けないという思いがある・長男夫婦も介護方法等積極的に考えてくれている
親せき一同の旅行に参加したい。温泉にも入りたい。
1泊2日の温泉旅行久しぶりに多勢との会話に加わる
親戚、家族で旅行をし、楽しみたい。
普段の社会活動や参加状況の確認
1泊2日の温泉
温泉旅行
・痛みによる意欲低下・ひきこもり（病院受診、散髪以外は外出しない）
迷惑をかけないようにしたいが楽しみにしているので協力してほしい。
周りの協力があり可能であるがどこまでできるか
・親戚と交流したい・温泉に入りたい。
親戚一員としてみんなと同じ様に参加することにより、難病者である意識をとり払っていく
・他者とのコミュニケーションを円滑にとる為、意思伝達装置の使用、機能を考える。
親戚一同で温泉旅行をする
親戚の支援など受けて温泉に入り交流を楽しみたい
温泉に入る際にはどのように介助を受けようか家族のめいわくにならなければよいと考える
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行をすることとなり、本人も久々に温泉に入りたい
皆と一緒に温泉に入りたい
温泉に入りたい 親戚の人との交流
親戚の力を借りて温泉旅行に出かけ温泉に入ることができる
1泊2日の温泉旅行し温泉に入りたい。
温泉にはいる、皆とコミュニケーションをとる
親戚との交流の喜びをしたい
入浴はいつもの状態とかなり違うので、準備物などの不足がないか
・支援を得て、温泉に入りたい。
本人も温泉に入りたいとのことで親戚一同皆の協力を得て実現させたい
親戚とのつながりを大切にしたい
重度障害がある為参加が難しいが、今回は支援を受けて旅行したい。
・久しぶりの温泉へ行き親戚一同で会える機会を逃がしたくない
・親戚一同の温泉旅行に行きたい。・温泉に入って気分転換したい。
親戚の人達との会話、笑顔を楽しみたい、皆の力を借りて
気の知れた親戚同志の旅行なので皆さんのご支援を得て楽しみたい。
温泉旅行を楽しみにしている
親戚間の楽しい親睦会に出たい。参加の喜び。話し合いたい。
温泉旅行で宿泊し温泉に入りたい。皆さんのご支援を得て。
温泉に入りたいが、入浴の2人介助者が必要。シャワーチェア等福祉用具もない為、打ち合わせをしっかりとる事。
入浴、会話、食事、の時間の配分をし楽しい時間の配分を本人の意見を出来るだけ聞く。
久しぶりに兄弟や従兄に会いたい。旅行の気分が味わえるよう支援を。
親戚のみんなと出かけ久しぶりに会いたい。交流したい。
皆さんの力をかり旅行を楽しむ
家族の旅行に参加し家族との時間を増やす
外出は福祉タクシー介助にて時々行っている。
親戚との集りと温泉に入る事を楽しみにしている。

親戚と会うことを楽しみにしている。歩行時見守ってもらえれば温泉に入れる。
1泊2日の温泉旅行したい
皆と温泉に入りたい。温泉につかりたい。
親戚の人達と一緒に温泉に入りたい。
温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
親せきの人達と久しぶりの旅行を行う。
「みんなと温泉に行きたい」
1泊2日の温泉旅行に行きたい
親戚と一緒に旅行に参加し温泉も久々に入り楽しみたい
1人になりたくない。孤独感を味わせてしまうので、参加させるようにする
今迄なかなか機会が無かったがいつも世話をかけている妻にもたまには温泉でゆっくり過ぎて欲しい
行事の参加 趣味の活用
参加できないのか、意思がなく拒絶しているのか
久々に温泉に入りたいとの事
自宅周囲や近所への外出、年に2～3回の旅行
親戚一同旅行に参加 温泉に入りたい。
普段は外へ出る機会が少ないため、親戚が集まる場へ参加したい
父として娘の結婚式に参加してできるだけのことをしてやりたい 皆様のご支援を得て
久しぶりに会う親戚とゆっくり温泉に入りたい。
・1泊2日の長期外出泊 ・入浴
デイサービス利用
・時折、家族で旅行へ行く。
家族との旅行を支援をうけてでも行きたい。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行を楽しみにしている。移動は車椅子。温泉はプライベート利用で入れて貰いたい。
1泊2日の温泉旅行にみんなと一緒に行きたい 温泉に入りたい
親戚の人達との楽しく、又、本人希望の温泉にも入れ、今後の生活にプラスになっていく
観光のルートなど車イス対応出来るのかなど念入りなチェック
家族との思い出を作りたい。
温泉に入る為一泊旅行
親戚一同が集まり旅行するのでみんなの支援も借り楽しい旅行にしたい
食事も入浴も会話も安全に楽しみたい
親戚一同とのより深いコミュニケーションを計るために一致団結する事が必要
親戚一同で温泉旅行に行きたい。皆の力を借りて温泉に入りたい。
特別機能の車椅子で移動。（寝台車）依頼。家族以外に専門的技術のある介護者3名。
親戚と一緒に出掛けたい。たまには温泉に入りたい。
家族とも一致団結
参加に対する拒絶
・親戚との交流 ・温泉の方々とのかわり
親戚一同と参加したい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。皆様のご支援を得て行きたい
家族の協力を得ながら楽しく過ごしたい。親戚とのコミュニケーションも図りたい
家族の一員として、意思伝達装置を利用し、皆さんと交流する
気分転換を以前から強く訴えられており息子さんの協力も必要。
・一泊2日の温泉旅行
同行する親戚で男性のキーパーソンを決め、常にコミュニケーションを取り安心出来る環境作りを行う
親戚の協力を得て、夢を叶えたい妻との思い出を作りたい。
親戚で集まり温泉に皆で入りたい
男性である事酸素をつけての入浴、リフトなども必要か？家族親せきで入浴介助が可能になる。介助の勉強していただき協力を得る。
久しぶりの外出、家族、親戚1同
親戚一同に会しておしゃべりを楽しみたい。皆さんの支援を得て温泉に入り旅行気分を満喫したい
みんなの笑顔が見たいと本人が温泉旅行を提案。
親戚一同の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
・長男夫婦は一緒に行ってくれるのか？・親戚の人たちの協力は得られるのか？
・親戚の人と久しぶりに過したい・温泉にも入りたい
温泉旅行に行く

みんなといっしょに時間を過ごしたい 温泉に入りたい
久しぶりに親類と会い食事をしたり温泉につかりたい
社会参加・親戚・地域活動参加
家族の中で父としての役割
主介護者の妻にも旅行を楽しんでもらい親戚との交流をはかりたい
温泉旅行に参加し家族の支援を受け温泉に入り楽しみたい
家族や親戚一同とできるだけ楽しく過したい、皆さんのご支援をえて
・親戚に会いたい 話をしたい。・久々に温泉に入りたい
・温泉旅行に参加し親戚と楽しみ交流したい。
久々の親戚一同での温泉なので、みんなとの楽しいひとときを過ごしたい。
温泉旅行で、温泉に入りたい
家族、親戚と旅行を楽しみたい。ゆっくり温泉に入りたい。
入浴したい。
今回の旅行は、親戚一同が集まるとの事で長男夫婦の進めも有、参加を楽しみにしている 妻も同じ気持ちでいる
1泊2日の温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。しかし、1人では困難である為に、いろんな方のサポートを受けたい。
親戚との一泊旅行による久々の交流が楽しみ。迷惑をかけることにもなるが協力してほしい。妻にも温泉でのんびりしてほしい
F a mだけで良いか 何らかの支援は必要か！
親戚との触れ合い参加意欲
親戚と一緒に一泊二日の温泉旅行に行きゆっくり温泉につかりたい。
長男夫婦と嫁も温泉に入れてやりたい いつも世話ばかりかけているので
温泉が楽しみだ
親戚との交流をはかりたい 楽しみにしている
・大好きだった温泉にもう一度入浴させてあげたい ・親戚との思い出を作ってあげたい
親戚との1泊2日の温泉旅行に参加したい。久々に温泉に入りたい
家族との思い出作りに温泉へ行き温泉に入りたい
父として、娘の結婚式に参加して、できるだけのことをしてやりたい。皆さんのご支援を得て。
ひさしぶりに思い出ができる 妻には少し負担がかかるが、少しでも妻の笑顔が見れるように助けて下さい
・1泊2日の温泉旅行に行く・温泉に入る
生活に対する意欲・積極性がみられよいことだと思える。積極的に生活を考える良い機会になればよい
親戚みんなと一緒に旅行し楽しい時間を過したい 皆の助けを得ながら入れる
そのための意欲をもつ
久々に温泉に入りながら親せきとしんぼくを深めたい
親せきと親こうを深める 皆と温泉に入り楽しむ
だんだん体的にも障害的にも困難になってくるので、最後かもしれないので、親せきの人の手をかりて行きたい。
家族の支援で旅行に参加できるよう協力してほしい。
温泉旅行に行き、皆さんに支援をしてもらって温泉に入りたい。
親戚一同で温泉旅行をし温泉に入りたい。
親戚一同での温泉旅行に参加して、温泉に入れるようにしてあげたい。みんなの支援を得て。
親戚の一員として旅行に参加し、息子の介助を受けながら温泉に入りたい。
温泉旅行に行く。
親戚一同が協力して父親との一泊旅行をかなえてあげたい、温泉に入れてあげたい。
家族、親せき一同で1泊し、温泉地へ出かける。温泉に入る。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
・親戚の人に協力をしてもらい温泉に入りたい・車での移動で長時間の座位が疲れるので休けいを多くとる
・A L S勉強会に参加している・車いすで趣味のサークルに参加している・友人の誘いで、集まりに参加し、飲んでくる
日程は十分に余裕があるか？温泉内、施設内のバリアはどの程度？
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
親戚と1泊での旅行に参加して人を一緒に温泉に入りたい。思い出話を語り合いたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
支援を得ながら皆と楽しみたい。
家族で旅行に行くこと意識、参加する楽しみ共に共成すること
殊んど出かけていない。息子たちとなら安心して温泉に入れそうだ
家族の一員として久々に家族皆なで温泉旅行をして1泊したい
久々に親戚と一緒に旅行し、温泉に入りたい
親戚一同で温泉旅行に行く

1泊2日の温泉旅行に行き皆と楽しみたい。温泉でシャワー浴をしたい。
親戚一同の1泊2日の温泉旅行に参加する
親戚一同と
久々に温泉に入りたい。
家族と一緒に旅行する事の喜びの顔を周囲の者も支援してみたいと思う。
温泉の楽しみをもう一度味わってもらい、親せきの人々の理解を深めたい。
楽しみにしている温泉に家族でいきたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行く。温泉に入りたい。
・無理なく、たのしむ。
・親戚とのコミュニケーションをとり親睦を深めたい。・大好きな温泉に入りたい。
親戚での旅行に参加したい。
家族で旅行は夢のようである。妻の負担を考えると少し心配ですが、皆さんの協力で実行したい。
・介護している両親にも楽しみを持ってもらいたい
旅行や温泉を楽しみにしている
温泉に入りたい。
親戚一同での、一泊二日の温泉旅行に参加して久々に温泉に入りたい。皆さんのご支援を得て。
親戚一同との交流
参加はよい
皆さんの支援を受けて久しぶりに温泉につかってみたい
親戚一同で旅行する事により思い出にひたり思い出を作りたい。温泉に入りたい。
・体調が安定している時期に、親戚一同で同じ時間を過ごしたい・みんなの協力を得て楽しく過ごしたい
「久々の温泉旅行に参加し、温泉にも入りたい。親戚の皆の支援を受けたい。」
親戚や、長男夫婦、妻らと一緒に色々な所を見てまわりたい。話してみたい
久しぶりに親戚一同と同席し、社会参加をしたい。
・意思伝達装置を利用し妻や息子夫婦との会話を楽しむ又、散歩に出かけた際、近所の人達とのコミュニケーションを図る。・ヘルパーや訪問入浴介助者とのかわり
親戚一同での旅行。久々に温泉に入りたい。家族との時間を大切にしたい。
親戚との1泊2日の温泉旅行に久々に参加しみんなの顔を見て交流したい
・夫として、いつも苦労をかけている妻（主介護者）に温泉でゆっくりさせてあげたい。・家族との思い出作り。
家族と一緒に旅行に温泉に入る。
・みんなでお風呂に入りたい・親戚の交流を深めたい
温泉に入りたい。
「親戚一同でなんて久しぶりみんなにあいたいし、一緒に温泉にも入りたい」
本人が参加することで何か、迷惑がかかるのでは？この部分の確認。
温泉旅行
温泉に入る事を実現する為、福祉用具の活用や周りの人達の支援を得ていく
本人も温泉での入浴を希望してる
参加は健康状態によっては可能
体調が少しでもよい時に家族と旅行できればいい。
親戚一同で行く温泉旅行を楽しみにしている。
・元々、旅行をすることが好き。
・温泉につかることを、楽しみにしている。・何種類かは、楽しみたい。
1泊2日の旅行に行く為には長男夫婦や妻の支援が必要となる
・家族と一緒に温泉へ行かせてあげたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に本人も久しぶりに参加をしたい。温泉にも入りたい
「久しぶりに親戚に逢いたい」「温泉に入りたい」「話したい」

(居宅介護支援事業所)

親戚と温泉に行きたい
温泉に入り気持ち良く過ごしたい（親戚の支援を受けて）
・親戚と一緒に旅行をして温泉に入浴できる。・妻にも楽しんでもらいたい。
親戚の人達の力をかりて、旅行を実現する事
本人、家族の意向をかなえる。
家族・親戚の方だけでなく、ケアをしてくれる方も同行していける体制で。
親戚と一緒に一泊二日の温泉旅行に行き温泉に入りたい
機器を使えば訴えられ、自分の望む形での支援を求めながらの参加ができる。

妻と一緒に温泉旅行に行きたい。親せきでまた集まって楽しみたい
1泊2日の温泉旅行
・久々に温泉に入りたい・身体的不担のかからないように温泉に入りたい。
・いつも通り温泉にいて皆と楽しくすごしたい。・訪問入浴のお湯でなくやはり本場のお湯がいい。
ネット上の掲示板利用し情報交換
「なかなか親戚で集まる事がないためぜひ参加したい」
家族の一員として参加したい。温泉にも入りたい。
家族親戚が多方面での援助 入浴介助 車椅子専用の車利用
車イスで移動できる車もしくは、移動手段の確認 車イスのまま入浴できる風呂があるかどうか、食事の設備又トイレの状態
家族親戚一同で温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。皆さんのご支援を得て。
温泉に親戚と入りたい。皆さんのご支援を得て。
他者と交流や家族入浴して楽しみたい。
旅行 温泉
親戚の方々との温泉旅行なので、楽しく参加していきたい。
温泉までの移動はストレッチャーでの介護タクシー利用。
親戚関係、どの程度行き来して本人の状態とその方々の理解度は？協力性は。
入浴（温泉）したい。親せきのあつまりに出たい
参加したい
主に家族中心であるが本人は社会的であるため積極的な意欲を引き出す。
最後の旅行になるかもしれないので何とか参加したい。家族も、親戚も皆そう思っている。また、何でも手伝いたいと言っている
家族とのコミュニケーションや周りの人とのコミュニケーションをより鮮明にとりたい
娘の結婚式に参加して、できるだけのことをしてやりたい
息子や親せきがいれば男湯に入れてもらえる手がある。妻にはたまにゆっくりしてほしい。
外出する事もあまりなくご本人の意思を尊重し旅行へ参加させてあげたい。
・協力者・酸素ボンベ手配
温泉施設に機械浴の出来る設備があり入浴
子供に対しての最後の親の努めと思うので自分の出来るだけのことをやってやりたい。
親戚と集まり話がしたい
・親せきの強いきそいがあり決心がついた。助けてもらう事は多いと思うが旅行を楽しみたい。
吸引、呼吸管理が必要。この状態で皆が楽しく過せるか？
この旅行に行くのが最後の大きな外出かもしれないので行きたい
家族と一緒に過ごせる時間を大切にしたい。思い出をつくりたい。
皆に迷惑をかけず楽しい一泊2日の温泉旅行にしたい。
家族と一緒に楽しみを持つ。温泉に入りたい。車椅子→シャワーキャリーに移乗する。
親セキとのコミュニケーションをとりたい
・旅行の準備、計画の段階から、当人も参加していく。
家族に囲まれて過ごす事が一番楽しい。特に長女がそばに居ると上キゲン
共通の場を作ってあげる。（食事・入浴）
親戚と密に交流
自ら、介ゴ方法等や福祉用具検討に参加
家族で旅行も今回が最後かとも思えるため楽しくできるように参加したい。家族の支援を受けて思い出を増やしたい
親戚一同と共に温泉旅行をし、楽しみを共有できる事で、生き涯いが持てる
久しぶりの親戚の集まりに参加し、入浴も楽しみたい
親戚一同温泉旅行いきたい。
皆さんの支援を得て、温泉に入りたい
久しぶりに温泉に入りたい。
同行する親セキの理解を得る。必要な知識の共有
親戚の一員として行事に参加する。
久しぶりに旅行に出かけ、温泉に入りたい
久しぶりに親戚一同が集まり、温泉につきり、昔のように楽しく過ごしたい。
旅行し温泉に入りたい
趣味活動
・諦め気味な趣味も今回の旅行を機に少しずつ企画していきたい。
意欲あり
いつも心配してくれている家族との時間を大切に過ごしたい

親戚一同の支援で、温泉に入りたい。
久々の旅行で温泉に入りたい
リクライニングの車イスが必要
自宅外に一泊する旅行は久しぶりのこと。楽しみな、期待する気持ちと不安な気持ちがある。
身内との交流と温泉入浴をしたい
コミュニケーションがとりづらい
親戚一同 1泊2日旅行。
久々に温泉に入りたい
(本人家族、援助者
家族と同居
出来るか(行けるか)の判断をする
親類と楽しみを共有するコミュニケーションがはかれる。
・親せきと交流したい・温泉にゆっくり入りたい。
人生を楽しみたい。
1泊2日の温泉旅行は妻のみ同行するのか?長男夫婦の協力も得られるか?
温泉に入って親戚の人達と楽しく過ごしたい
周囲の拒絶
みんなと、ゆっくりすごしたい
旅行する機会がない為、親戚一同と会い、また、旅行し、温泉に入ることを楽しみにしている。
旅行で支援できる人の確認。本人と旅行の時の打ち合わせや決めごとをしておく。
久しぶりに気の合う親戚一同と温泉旅行に参加し、思い出を作りたい。
親戚との温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
みんなと一緒に温泉に入り昔のように楽しい時間を過ごしたい
短時間の外出を繰り返し、本人、家族が安心して自信が持てるように周囲の支援を得たい。
「温泉旅行に参加して自分もゆっくり入浴したい。」
希望は強いのか?
親戚や家族の中での父親としての役割の遂行QOLの向上のための旅行が楽しめる
親戚の暖かいサポート受け入れ体制あり、姪が看護師、甥が医師である、介護福祉士の資格をもった人もいる。
・精神的にも前向き。・何事にも積極的
久しぶりに親せきの中で過ごしたい
「親戚一同で旅行に行く事はめったにない事。体調の良い時に旅行に行き温泉に入って、みんなと思い出に残る楽しい時間をすごしたい」
旅行に行きたい。温泉に入りたい気持ちがある。
親族の集いに参加し久々に温泉を楽しみたい。
親戚一同で温泉旅行に行き、温泉に入りたい
親戚一同で温泉旅行をして温泉に入りたい
食事、排泄、移動時親せきとは違う特別な配慮が必要なので参加者に協力をしてもらう
家族の一員として家族旅行を楽しむ。
温泉旅行に参加したい
親戚と会い、久々に温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をして温泉に入りたい
皆の負担にならないように、温泉の楽しめる設備のあるところで、おいしい料理食べたい
家族、親戚といっしょに旅行したい。
旅行に参加し温泉に入りたい
家族の一員として、温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
支援者は?自分のニーズを伝えられるか?
デイ、デイケア プライドが高く自分自身のリハビリのために通うという意識強、利用者と交流少
温泉旅行参加したいな。入浴方法は?本人のイメージしている旅行とは?
親戚と一緒に旅行に参加したい。長男夫婦とも一緒に参加したい。
温泉に入りたい
・病気を考えると、家族の配慮がうれしく、家族の世話にはなるが温泉へ、行こうと結意。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に本人も参加したい。
温泉旅行で、みんなと楽しくコミュニケーションを図りたい。
家族と一緒に美しい景色を楽しみたい。
親戚一同の行事に家族全員協力のもと参加することで家族の絆が生まれる。

親戚と一緒に温泉旅行に行きたい温泉に入りたい
温泉旅行に参加し温泉に入る
温泉につかって気持ちよくさっぱりしたい
親戚の一員として温泉を楽しむ 親戚の協力を得て
温泉旅行に参加し温泉に入りたい
親戚一同の旅行には行きたい 温泉に入りたい
・親戚一同で宿泊し温泉に入り楽しみたい。
1泊2日の旅行に参加し、温泉に入る
デイサービス温泉旅行に行く、そして温泉に入りたい
・コミュニケーションをとり、楽しみたい
親戚みんなで旅行に行く機会も少ないので是非参加したい。
皆の(親せき)支援のもとで久しぶりに温泉に入りたい
家族と温泉に行きたい
温泉で心身ともにリラックスして楽しく過ごす時間を持ちたい。妻にのんびりしてもらいたい。ドライブも楽しみたい。
意欲の確認
本人の気持ちやりたい事を話し合う
同じALSの会に参加していたが今は家族のみが参加している
温泉入浴が可能な方法検討(人員、親戚の援助力)
親戚一同の1泊2日の温泉旅行に参加し徐々に温泉に入りたい
☆親戚と一緒に温泉へ入りたいが、親戚等の介助、援助が必要。
「温泉に入ってゆっくりしたい」
旅行をする入浴する
「徐々に温泉に入りたい」温泉に入りに行けない状況であり、社会参加が以前に比べ減っている#普段の社会参加はどの程度か
「親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に参加し、徐々に温泉に入りたい」
親戚一同で日々の温泉旅行で皆に協力してもらって徐々に温泉に入りたい。
・親戚一同の集まりに参加して楽しい時間を過ごしたい。・必ず息子が参加できる日に設定する。
親せきと旅行することで親せきの集りに参加したい
・親戚一同で集まりたい。・温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行
家族に迷惑をかけるかもしれないが気分転換をしたい
・なるべく本人の希望に添える形を模索する
温泉に入りたい。
ALSの人でも入れる温泉を見つける
・家族旅行に参加する・温泉につかりたい
家族の一員として、温泉旅行に参加したい、皆さんのご支援を得た上で
家族との旅行：過去どのようにしていたのか。知人との交流：方法、場所、時間、その時困ったこと工夫したこと含めて
家族と一緒に温泉に入るには、皆の支援を受けて楽しく過ごしたい。
1泊2日の温泉旅行への不安。
親戚一同で、久しぶりの温泉旅行、なので、楽しみたい。
今後してみたいこと、行ってみたい所。サービス利用についての意向。
御自分のかかえる問題の集団に積極的に参加活動が出来る
した方が良い。
「久しぶりに温泉に入りたい親戚にも会いたい」
親戚一同の集まりに参加したい
親戚一同や家族皆とコミュニケーションを図る
デイサービス利用(月～土)
親戚・家族の一員として交流への参加を支援を受けながらしていきたい。
温泉旅行に行き、温泉に入りたい
親戚の行事に参加したい
親戚との温泉旅行に参加したい温泉に入りたい。
・ベット上の生活のみ
「親戚一同での旅行に参加して温泉に入りたい」
本人の参加への意欲(拒否がないか)
参加意欲は高いが申し訳ないとも感じている 感謝と共に悔しさも増悪する。一人でいたいとも。
旅行に行きたい

家族みんなで温泉に行きたい気持ちでリハビリ等はガンバリタイ
いつもの生活の場とはちがうところへ行き気分転換したい
皆で一泊の旅行に行きたい
家族以外の人とのコミュニケーション
・ひさしぶりに旅がしたいと思っているであろう。
・親戚一同、温泉旅行により、リフレッシュさせてあげたいと考えている。
親戚一同と温泉につかりたい、楽しみにしている。
1泊2日の温泉旅行で温泉に入り、コミュニケーションを望んでいる
同行する親戚等の協力・支援理解をもとめる。本人の参加意志を支援出来る様前向きにけん討
「久しぶりに親戚と会って、温泉につかって楽しみたい」
温泉旅行に行きたい
温泉旅行したい
温泉に入りたい 受け入れてくれる宿の確保 スロープや個浴タイプ
最後の旅行になると思うが温泉に入りたい。
温泉旅行をしたい。そしてお風呂に入りたい
・親戚一同の参加なので、妻や長男夫婦以外の方の病識への意識付けを行う
旅行への参加・温泉入浴
温泉旅行に本人も参加し温泉に入る
・緊急時のシュミレーションの確認・保険等の加入
親戚一同で温泉旅行に行く。
温泉に入りたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい。
意志伝達装置の活用によりコミュニケーションを図る
久しぶりに親類とも会い温泉に入りゆっくりしたい
親戚との思い出作りで写真やビデオを作成する
仕事や家庭での役割が果たせなくなったが今できる役割があることに目を向ける。
温泉に入ることが出来る 旅行に参加出来る
好きな温泉につかり生きる意欲を維持してほしい
親戚と温泉旅行をする。
・長男夫婦を中心に、本人にかかわる時間を増やしていく、できれば親戚の方も協力できる方は。
温泉に入る
家族の一員として旅行を楽しみたい。
支援できる人数病気の事はある程度はあくできている人が何人いるか。対応できる温泉施設をさがす。
温泉に入れる設備があるか。介ゴ方法と介助者の人数。安全性の問題。
介助、温泉に出掛けたい
一泊2日の予定は短かすぎて危険と思う。ゆっくり時間を用意
「しんせきと気がねなく楽しい時間を過ごしたい。自分だけ特別扱いされたくないののでできるだけ介護者の手をわずらわせない」
家族、親せきの役割を果たしたい。
「親せきと一緒に、温泉旅行に参加して、温泉に入りたい。」
皆に迷惑をかけるが、参加したい。
・社会的役割・社会参加など
親戚一同で行く温泉旅行に参加し、交流を深め、温泉に浸かりたい。
皆と一緒に温泉に入りたい。
親族の旅行にぜひ参加したい
温泉に皆んなで行きたい。
1泊2日の温泉旅行で温泉に入りたい。
・自治会での催し参加・趣味
温泉旅行するため（することが可能か）日常的に外出したりすることや参加している活動等あるか
親戚一同での温泉旅行が安全に行える様支援。旅先での協力も計画。旅行前の持ち物準備
温泉（ホテル）の協力は、理解は。入浴の方法は。
親戚一同集まることもあり久しぶりに皆に会って温泉も楽しみたい。
夫、父として家族と温泉旅行に参加し、家族の協力で温泉にも入る
気道閉塞→の危険・身体可動性障害の為本人にとって、人の手を借りなければいけない事に遠慮や羞恥心はないか。
徐々に旅行して温泉に入り、親せきの方と会話を楽しむ
・コミュニケーションは意志伝達装置を利用・親戚一同で、1泊2日の温泉旅行にいき、温泉に徐々に入りたい。

「親戚・家族には迷惑をかけると思うが、旅行に参加し楽しみたい。」
「温泉に入りたい」・旅館が受入れをできるか・ヘルパー等の同行が必要か
・皆と温泉にいきたい、いっしょに移動したい・皆でフロに入りたい大きなフロにとっぴりつかりたい
親戚の一員として行事に参加したい
長男夫婦ともゆっくり一緒にすごせるし、妻にもいくらかの休養がとれるようにしてほしい
「温泉に入りたい」親戚と過ごしたいとの思いを叶える
各サービス担当者のアドバイスや支援をうける
温泉につかりたい親せきと楽しく交流したい久しぶりに飲酒したい。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行
親戚で1泊2日の温泉旅行で本人は温泉に入りたいと意欲的
温泉旅行を親戚一同で行くことを楽しみにされ付き合いを大切にしたいと思っている
これまで世話になった、親戚と一緒に、皆様の協力の下過ごす時間がほしい
・普段の社会交流の状況
久しぶりに親せきにも会いたい。
家族、親戚と共に1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
久しぶりに家族と一緒に旅行し温泉に入りたい。
家族や親戚の支援を得て、一泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい
「親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい」
家族や親戚といっしょにすごしたい。できるなら、皆と温泉に入りたい。
・親戚一同の行事を一緒に楽しみたい。
久しぶりに親戚と温泉旅行に参加し、温泉にはいりたい
中心となってケアを行い（受け）安心して参加できるように誰と誰の支援が必要か又、親戚一同にはどのような協力やよびかけを行えばよいか
温泉に入るために、支援者の支援を得る。
親戚の方々の支援、介護力の大小。心もちや満足感への不満
親戚や家族と一緒に過ごすことができるのが楽しみ
支援を受けながら温泉に行きたい。町内会、通院、友人関係、サークル
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
役割分担がしっかりしているか
1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
温泉旅行
「たまには旅行にいきたい。」
・親戚一同の集まりに参加する事で自分の存在を確認したい・親戚と交流したい
皆と一緒に旅行に行きたいし、温泉にも入りたい
温泉に入りたい。
親類に迷惑がかかることを理解してもらう。
温泉にゆっくり浸る。食事は皆と同じ物をミキサー食として経管栄養する。
温泉旅行
本当に行きたいのか メリット・デメリット
・意思伝達装置を利用した他者とのコミュニケーション
久しぶりに親戚との旅行を楽しむものにするため、自分自身で今できることはしっかり準備し、家族・親戚の協力を得ていく
親せき一同で旅行に行く温泉に入りたい
子供、まごと一緒に楽しめる時間を作りたい。
・親戚といっしょに温泉旅行に行きたい
温泉に入りたい。
「親戚一同で温泉旅行することは本当に久しぶりなので、皆に手伝ってもらいながらゆっくり温泉を楽しみたい」
親戚との交流したい「皆さんの支援で」
家族、親戚の協力を得て、1泊2日の温泉旅行で、皆と一緒に温泉に入ることを実現したい。
主介護者、別介護者が元気で対応できること。その他現地での協力者
家族、親戚、本人の意志を確認する必要がある
親戚一同と一緒に旅行に行き温泉に入る
ストレッチャー付移動用車の確保移動可能か？
・久しぶりの面会で、ストレスも減る
親族と一緒に温泉旅行に参加し、入浴したり、交流を楽しみたい。
親戚との温泉旅行で良い思い出を作りたい
・楽しみを持ちたい・気分転換したい・おいしい食事食べたい。

自分が元気で温泉に入れることを見せたい。親戚と話したり楽しみたい
親戚との交流ができる。
・親戚一同の力をかりて本人が楽しく1泊2日過ごせるようにする。・安全に気もちよく温泉に入ってほしい。
・1泊2日の温泉旅行へ参加し、温泉に入りたい。
「妻や息子夫婦の支援を受け、好きな温泉につかりたい」
親戚と、familyとゆっくりとした時間を過ごしたい。
親戚一同と、楽しく旅行に参加したい
本人や家族の負担も考えスケジュールを立てる。
家族の一員として、温泉旅行に参加し、楽しい時間を持ちたい。
元気な時にも家族旅行をおこなっており、楽しく親せきと旅行をしてみたい 入浴（温泉）も支援をえておこなってみたい
温泉に入りたいと思っているが、不安だ。不安因子：全く動けない状況で家族に負担をかけること、旅先での浴室の環境、道中での体調など
移動手段の確保
家族みんなで旅行したい
温泉旅行に参加したい。温泉に入りたい。観光もしたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行くために、少しづつ外出の機械をつくる。
・意識のある内、人口呼吸器を使用する前に旅行したい。※他者（身内）の負担が大きくなる程度
友だち、親戚などの訪問あり。若い頃より温泉旅行へは参加していた。
みんなと一緒に温泉旅行を楽しみたい。
親戚という事もあり参加しやすいのか？ALSという病気についての理解が得られているのか？（コミュニケーション）
時々家族で外食に出かけている。家族が一緒だと心強く、宿泊も出来るかも知れないと考えている。
親戚一同で旅行に行きたい
1泊2日の温泉旅行希望
親せきの方々と交流をしたい。温泉につかりたい。
親戚一同の1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
久しぶりの温泉に家族と一緒に入りたい。
親せき一同の1泊2日の温泉旅行
親戚一同での温泉旅行に参加し、自分も温泉に入りたい
・小説を書いて、何らかの形で発表することを目標にしている。
親戚一同と交流したい。1泊2日の温泉旅行に参加したい。
久々の温泉を親戚の人と楽しみたい。
・積極的な意志表示がある。
親戚一同と会い社会的役割を果したい
温泉に入りたい
親戚一同での温泉旅行「温泉にも入りたい」
親戚のみなさんと一緒に一泊旅行に参加
・温泉旅行に家族で行きたい・誰とどのようにして行くか？
久しぶりの温泉旅行に参加したい。家族には、大変お世話になります。
親戚と交流したり外出したり、楽しみを持ちたい。「日頃、妻が介護で疲れているので、休暇をあげたい」
・家族の一員として参加したい。
・親戚一同顔を合わせる場に参加したい。
・1泊2日の温泉旅行
温泉に入りたい。旅行に行きたい。
親戚一同で旅行や温泉に入りたい。
家族や親戚等と一緒に時間を過ごしていく機会をもつ
親戚一同が何かにつけて集まり、話の和に入れるようにしている。
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
家族の一員として、旅行に参加し、温泉に入ってくつろぎたい。遠出をすることで、自分自身の自信にもつながり、意欲もわく。
・親戚と温泉に行きたい。・趣味や、したいこと
・家族と一緒に温泉に行き温泉に入りたい。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に行き、久々に温泉に入りたい。
本人の「温泉に入りたい。」という希望を尊重し、家族、親戚のマンパワーで、隊行する。
親せき一同での温泉旅行に参加したい。みんなに援助してもらって。
親戚一同で1泊2日温泉旅行 親族に会い意志を伝える。
温泉に入りたい。

「久しぶりに親戚一同で、温泉旅行をしてゆっくり温泉に入りたいので皆さんの協力を頼みたい。」
みんなと一緒に楽しみたい
・親戚一同での1泊2日の温泉旅行
親戚の行事に参加したい。親戚付き合いを大切にしたい。
温泉旅行楽しみ
1. 社会参加 2. 人との交流 3. 気分転換
コミュニケーションは意思伝達装置を利用。
本人は楽しめば良い。周囲の人達が本人の参加を喜んでいる事を知ってもらう
・兄弟家族、自分の家族と久しぶりの旅行に行ける。・旅館でみんなであつまり、話せる（装置で）
1泊2日の温泉旅行に参加したい。
家族と共に温泉に家族の介助や他のサービスを利用して外出（家族イベント）参加したい。
親戚と温泉旅行に行く。沢山のひとコミュニケーションをとって楽しく過したい 長男たちにも手伝ってもらって
「長男と会話はできなくともゆっくり一緒に温泉につかりたい。」
親戚一同で一泊2日の温泉旅行をする参加して温泉に入りたい
親戚一同で一泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい 入浴の際には介助も原則したい
・久しぶりに親戚に会い温泉も楽しみたい。
温泉旅行に行って温泉に入りたい。
旅行、温泉に入りたい。
親戚一同で、一泊2日の温泉旅行を楽しみにし、温泉に入りたいという希望がある。
皆さんの支援で楽しい思い出をつくりたい
コミュニケーション可
親戚との久々の温泉旅行に参加温泉に入りたい
温泉旅行に行きたい。
・他人に、自分の現在の状況を見られる事への抵抗感などないか本人の思いの確認
親戚一同と1泊2日の温泉旅行、家族との思い出を作る。
・親戚一同が集まるのだから自分も参加したい 温泉にも入りたい。でもまわりの援助が必要
できるだけ、皆と一諸に行動が出来、親睦を深めてきたい。
親戚の人々と交流したい。温泉に入りたい。
病気があっても健常者と同じ事をやってみたい。皆さんには迷惑をかける事にはなるが
外出して普段なかなか会えない親戚に会うことができる。
長い時間でなければ車椅子（介護）で近隣を一廻りしている。
大学での理論物理学の研究。
・久々の温泉旅行に親戚一同で参加したい。
親戚との温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。
久々に参加したい。親戚という事もあり気をつかわず、行ける。
親戚の支援を得て、温泉に入り、楽しい1泊2日の旅行にしたい。
親戚との交流を図りたい。
・親戚一同の旅行に、自分も、参加をしたい。
本人の意志・意欲
親戚一同での温泉旅行に参加してどうやってコミュニケーションを取っていくか 回りに負担をかけないか？
親戚一同で協力しながら参加できる様全員の意識を共有する。本人も自立できる部分を意識して支援してもらう
本人も参加し久々に温泉に行かれる。
夫として、実の兄弟姉妹と久しぶりに楽しく温泉旅行に行きたい。状態が安定しているうちに行ってみたい。
親戚と温泉旅行に行き温泉に入りたい。
・久しぶりに親族と温泉に入りたい。・楽しみたい。
入浴したい。
温泉旅行へ行く
・社会参加はしているか・コミュニケーションは？
家族皆んなで旅行ができる。
家族といっしょに旅行を楽しみたい。
家族、親戚の力を借りて、温泉旅行を楽しむ
親戚一同での1泊2日の温泉旅行に久しぶりに参加し温泉に入りたい
温泉旅行に行くという楽しみを目標に意欲を増進させる。
温泉にゆっくりつかりたい。
親戚一同が、協力体制を取る
夫、父親としての役割

本人の意志を一番にみんなで温泉に行けるようみんなで支援していく
コミュニケーション装置を利用して可能
・家族に迷惑にならないよう自分の動きがスムーズにできるように練習して移動や観光をする
温泉への出入り。他者との交流。入浴中の意思伝達装置が使えない時間帯のコミュニケーション方法。
温泉に入りたい。
親戚と会いたい 温泉にも入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行し、温泉に入りたい。専門的技術をもった方々の支援を得て。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行。
妻にもたまにはゆっくり温泉につかってほしい。
温泉に入浴したい
・温泉旅行
温泉旅行に行。
F aの協力や、綿密な介護に対する準備ができていても、身体能力が極めて低い（と考えられる）ため、温泉への参加は、慎重にならざるを得ない。
久しぶりに旅行に出掛け温泉に入りたい。
・参加に対する不安
親戚一同で一泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい
家族の一員としての確認をし、よろこび楽しみを分かち合う。
皆に迷惑をかけてしまうのが心苦しい。でも温泉へは行きたい。
参加に対する拒絶。
親戚一同で1泊2日温泉旅行に行きたい
親戚の集まりに参加して楽しみたい
最後の旅、リムジン車使用 各スタッフ同乗：医師、看護師
親戚一同の支援を得て、温泉に行く。
親戚と一緒に旅行したい。温泉に入りたい。
参加することにより、家族の和を深め絆を強くする
家族旅行に行き、温泉に入りたい。
久しぶり、皆で一泊二日の温泉旅行へ行きたい。
温泉旅行。
温泉に入りたい
家族や親戚と一緒に過ごす時間を多くもちたい。
一家の長として親戚一同の旅行に参加したい。家族風呂に入れば安心
親戚の集まりに参加する 温泉を通じ他人との交流
本人の意向が優先。本人の意向に沿ってプランを立案したい。
温泉旅行をし徐々に温泉に入りたい
同居家族の行える介ゴ 家族外の必要な介ゴの量の判定
「親戚との観談、温泉にゆっくりつかりたい。」
親戚一同の旅行に参加したい・温泉に入りたい
・親せきの旅行へ自分も徐々に参加したい。・旅行先で入浴（温泉）したい
・親せき一同で、1泊2日の温泉旅行に参加したい。
・本人の行いたい事の確認・出来る限り、意向に添えるように対応するための調整
温泉入浴、家族との食事、団らん。
家族の一員として参加したい。（皆さんの協力を得るから。）
家族の温泉旅行に参加
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行きたい
親せき一同で1泊2日の温泉旅行に行きたい
家族と一緒に旅行■行き温泉を楽しみたい。
1泊2日の温泉旅行をして温泉に入りたい
親せきで温泉に入りたい
親戚や家族のイベント
親戚一同で行く1泊2日の温泉旅行に参加したい。
・登別温泉に行きたい。・家族支援のもとで行きたい
・1泊2日の温泉旅行をして、温泉に入りたい・親戚つき合いの継続 e t c
温泉旅行に行く。
家族内で父親、おじいちゃんの立場
久しぶりにみんなと一緒に温泉に入りたい。

親戚との1泊2日の温泉旅行
家族と共に1泊旅行をし、温泉に入りたい
親戚一同と温泉を楽しむように心掛ける。全員の協力が必要
温泉旅行に参加し皆さんとのコミュニケーションや温泉を楽しみたい。
本人が温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、思い出作りをしたい 温泉にゆっくりつかりたい
父もとても楽しみにしているのでできるだけ思いを実現させてあげたい。しかし、家族だけでは難しく、力を貸してほしい
親戚一同で温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
親戚一同で行く温泉旅行に参加したい。そして徐々に皆の援助をうけて温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行で温泉に入りたい。
久しぶりの親戚一同との外出を楽しみにしている。
・親戚一同で温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
親戚と1泊2日の温泉旅行をしたい。温泉に入りたい
医療面での不安がない様、主治医との連携がとれるよう事前に注意事項を相談しておく
親戚一同の旅行とはいえ迷惑をかけることになる
旅行に参加したい。温泉に入りたい。
温泉に入ること、楽しみ 生活意欲向上
温泉がすきで、久しぶりに外出し、気分転換したい。
温泉に入っている。(楽しみにしている)親戚・家族の支援を受ける。
出来ること 昔の趣味や好きなこと 今の趣味や好きなこと 日課
温泉に入りたい。
本人の希望
温泉旅行に行き好きな温泉に入りたい
家族と一緒に旅がしたい。
・親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に参加したい。・家族と共に温泉浴を徐々にしてみたい。
皆さんの支援を得て、1泊2日の温泉旅行に参加する。
親戚一同での1泊2日の温泉旅行に参加したい。
親戚一同で行く徐々に1泊2日の温泉旅行。家族親戚の支援で。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行 徐々に温泉に入りたい
介助をうけて温泉湯に浸りたい。(手すり、バリアフリーに対応している旅館を調べる
親戚一同の1泊2日温泉旅行に参加したい 温泉に入りたい。
・家族と旅行
・親戚一同で旅行したい。・徐々に温泉に入りたい。
1泊2日の温泉旅行に参加する。
家族や親類との温泉旅行を希望
本人は温泉に徐々に入りたいと考えている。
・楽しみを見つけ、家族との時間を温泉旅行とした形で味わいたい。
温泉に入りたい
家族旅行(親戚一同)温泉に入る
「温泉に入りたい。妻にも旅行を楽しんで温泉に入り疲れをいやしてもらいたい。」
意思伝達装置の持ち運びは可能か?普段は行けない温泉地で楽しく過ごしたい。
親戚の一員として参加したい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をしたい。
親戚に対等に接したい。家族の協力と、親族の理解を得て。
温泉旅行に参加 温泉に入りたい
・参加への身体的負担大不参加。
親戚の人たちとゆっくり旅行を楽しみ、温泉に入ってくつろぐ。親戚の人たちと話をする。
・交流関係
親戚と一緒に温泉旅行を楽しみたい。
ひさびさの温泉旅行をとともたのしみにしている。親きみんなの支援を受けて広い大きな温泉に入りた〜い
久しぶりに親切に会える事。温泉に入れる事が楽しみ
大好きな温泉に皆と一緒にいきたい。援助してほしい。
1泊2日の温泉旅行
妻の支援を得て温泉に行きたい。
同居の家族との思い出づくりをし、家族の力強い応援を心で感じたい。
親戚の温泉旅行に参加し、自分も久しぶりに温泉に入りたい。

参加の機会が少ないが、本人の外出したいという希望、温泉にも入りたいという気持ちがある。
外に出ることはデフやショート以外にないので、外部との交流を図りたい。親戚とも顔を合わせたい。
本人参加したい意欲ある。
親戚一同で温泉に行く予定（一泊）
温泉旅行に参加
1泊2日の温泉旅行に行きたい。
「久々に親戚が揃い、温泉旅行に行くので、自分も温泉に入りたい。」
親戚とのつきあい、交流、役割
本人の意欲を評価
・家族の協力を得て楽しみを待つ。・外の景色を楽しめる。・家族の信頼関係が深まる。・家族以外の人との触れ合いができる。
温泉旅行に参加したい。親せき一同と話したい。温泉に入りたい。
入浴時に介助が必要であり、旅館の従業員にも協力を得られるように、事前に連絡しておく。
温泉に行くためには介助者が必要。又入浴時にも介助が必要。親せきと一緒に楽しく温泉に行きたい。皆に協力してほしい。
親戚一同と一泊二日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
皆と一緒に行動を部分的にもかなえられるように、親戚一同の理解を得て、介護の手伝いをしてもらいながら楽しく参加したい。
新せきと一緒に旅行に行きたい。
久々に温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行に参加し久々に温泉に入りたい。
温泉に入る 温泉旅行 利用しているサービス、地域との交流
皆さんと一緒に温泉に入りたい、行きたい
以前は温泉が大好きでよく夫婦で旅行へでかけていた。みんなに助けてもらって、久々に温泉に行きたい。
親戚一同が集まる旅行なので参加したい。
障害があっても温泉を楽しみたい。
1泊旅行に行くなど活動的
「親戚との交流を楽しみたい」「温泉に入ってゆっくりしたい」
・親戚のみんなにも会いたいし、温泉にも入りたい。
数人の手をかりながら温泉に入りたい
親戚一同の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
・外泊
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をして温泉に入りたい
親せきと1泊2日の旅行
親戚一同の一泊2日の温泉旅行に参加したい 温泉に入りたい。
親類といっしょに温泉を楽しみたい。
親戚との温泉旅行に行きたい
参加の拒絶なし
温泉旅行への参加
1人で外出などすることはできないが他者との交流は好きである。意思伝達装置を利用してコミュニケーションがはかれる。
本人の希望がある。（参加したい）
家族活動
親戚一同と一緒に湯舟に入り、温泉を楽しむ
親戚一同の温泉旅行に参加して、温泉に入り楽しい思い出を作りたい。長男夫婦の協力も得たい
・周囲に支えてもらいながら温泉につかりたいがバリアフリーの設備がどうか不安
介護者支援が必要
コミュニケーションは意見伝達装置で可
・温泉旅行（1泊2日）に行きたい。
・親戚一同での1泊2日温泉旅行
温泉旅行
外出を好む
久しぶりの親戚との旅行が楽しみ
・親戚との関係
みんなと同じ楽しみを持ちたい。交流を図りたい（温泉に入りたい）
親戚の温泉旅行に参加して、皆と話をしたりしたい。温泉にも入りたい
導中他の人と話す又聞く楽しみあり。車イスは交替で押す。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい

「親戚一同での1泊2日の温泉旅行に行き、久々に温泉に入りたい。皆様のご支援を得て。」
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行くので、本人も参加して、久々に温泉に入りたい。
みんなと温泉に入り楽しみたい。
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
たまには温泉に入りたい。妻や周りとの親交を深めたい。
温泉旅行
久々に温泉に入りたい
本人も、久々に参加し温泉に入りたい。
皆の協力を得てぜひとも久しぶりの温泉に浸りたい。
旅館の承諾。入浴設備の確認。
家族、親戚一同に会って久しぶりに外の空気にふれ今まで楽しんでいた旅行。温泉に入りたい。
しんせき一同と温泉に入り、くつろぎたい。皆様のご支援を得て
温泉が大好きなため、又、久しぶりに親戚一同で集まれるのを大変、楽しみにしている。
親戚と温泉旅行に参加する
とじこもりがちになるのでデイサービス等に通う
温泉にゆっくり入って旅行を楽しみたい。
「親戚と一緒に久々に温泉につかりたい。」
病気で自由がきかないが、親戚の方々と会えるので行ってみたい。
・今後の生活への活力になるようにする。・障害をもっても、温泉に入れるという喜びを得る。
「皆と一緒に温泉に入り、楽しい時間をすごしたい」
好きな事をあきらめる事が多かったが、好きな事を出来る様にしたい
温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
家族親せきの協力を得て温泉にゆっくり入りたい。
家族の一員として、温泉旅行に行きたい。
親戚との交流を続けて、役割意識を持ち続けたい。長男夫婦の協力を得て気分転換をしたい。
家族の一員として、温泉旅行に参加させてやり、介助のもと久しぶりに温泉に入らせてやりたい。
新戚、家族と夕食の宴に一緒につきたい
温泉に入りたい
新せきとの連ケイ。
親戚が集まるので参加して久々に温泉に入りたい
ほぼとじこもり状態
親戚一同で温泉旅行をし、温泉に入る。
親せきと一緒に温泉旅行し温泉に入りたい。妻にも、安心して旅行してもらいたい
親族一同で1泊2日の旅行に参加し温泉に入りたい。
・親戚一同で行く時に自分も参加したい！・移動は家族にお願いしたい。
親せきと共に温泉旅行に行きたい
いっしょに旅行プランを作る。親戚の関係を深める
久々に温泉に入りたい
久しぶりの親戚の集まりに参加させてあげたい。
積極的に参加しようという気持ちにはなりにくい。
・久しぶりに親戚に会える。うれしいが、できる限りは自分でしたい。
親戚の中で入浴介助を手伝っていただけの人を決めておねがいます。親戚・家族・ヘルパーとの交流が主。
・親戚が集まる旅行に参加し、久しぶりに温泉に入りたい。
・親戚一同で、温泉旅行をすることとなり、本人も参加し久々に温泉に入りたい。
親戚一同との和を重視して参加する
親戚一同で一泊2日の温泉旅行をしたい。
パンフレット、旅行代理店などに情報を収集する
1泊2日の温泉旅行をして久々に温泉に入って、皆と楽しく過ごしたい。
1泊2日温泉旅行
・1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたいが、今の状態になってからの旅行なので、いろいろと迷惑をかけないか心配
コミュニケーション機器
家族の一員として参加したい。皆様のご支援を得て。
1. 1泊温泉旅行参加の意欲
・久々に温泉に入りたい。。親戚と集まり過ごしたい。
「親戚と久々にコミュニケーションを図りたい」「温泉に入りたい」

かつては親戚の集まりや行事の仕切り役だった。皆の信頼が厚い。
せっかくなので、皆と楽しい一時を過ごしたい。
どこまで一緒に行動できるか？
自宅に日中1人で居るよりはディの方が安心と思うのかディには喜んで参加する
・自分なりの参加の仕方が可能なようにする・周りの人が受け入れてくれる
親戚の人達と久々に会って楽しみたい。
地域交流あり。ネット交流
家族・親戚が本人の心身状態の細部にわたり把握して緊急時の対応を熟知する。
親戚とは会う機会を持たなかったが、久々にみんなと温泉に入りたい。
同居長男夫婦と妻と共に助けもらい、親戚と久々に合い意思伝達装置を活用し会話をしたい
親類での温泉旅行には何としても参加したい。みんな迷惑をかけたくないがぶじに帰ってきたい
旅行に参加したい
「親戚一同で温泉旅行をして、自分も温泉に入りたい。」
本人も一緒に旅行に連れて行き、温泉に入れられるようにしたい。
体調を万全にして親戚との温泉旅行を思い出深いものにしたい。
親せき一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい
・親戚とのコミュニケーション・介護教室への参加・積極的な生活を心掛ける
親戚の支援を受けながら、1泊2日の温泉旅行に参加したい。
久々に温泉に入りたい
・できるだけ、たくさんの方の力を借りる。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をし、風呂に入りたい。
親戚一同の中でなごやかに過ごしてもらいたい
親戚一同が参加。自分も参加する事の喜びが大きい。
支援があれば参加したい
家族、親戚そろって一泊旅行しかも温泉に入ることができる。皆さまに世話をかけると思うが機会をのがしたくない。
家族といっ緒に外出できる事で生活へのハリがもてる
希望
社会参加は可能か？
親戚一同で一泊2日の温泉旅行へ行く
親類とともに1泊2日の温泉旅行に参加し温泉にも入りたい
みんなと一緒に温泉に入りたい！！家族風呂ならなお良い！！
旅行に参加したい。
今後も親戚にお世話になりながら交流を続け、楽しみの1つにしたい。
温泉旅行
新戚一同で1泊2日温泉旅行。
温泉旅行にいき、温泉に入りたい
普段外出する事は殊んどないが久しぶりに親戚に会い元気な姿を見せたい
意欲なく何事も拒否
久々に温泉に入りたい
温泉旅行に行きたいとの希望
温泉旅行に行き、久々に温泉に入りたい
親戚一同で温泉旅行へ行き、温泉に入りたい
温泉旅行希望
・親戚の中の一員として親族旅行に参加し友好を深める
親戚一同 長男夫婦 嫁
コミュニケーションは意思伝達装置利用で出来ている
どのような形で参加できるか、安全、安心の配慮
親戚といっしょに温泉へ行って温泉にも入りたい。
・1泊2日で温泉に行きたい。・温泉にもゆっくりつかりたい。
親せき一同で行く温泉旅行と一緒にいき、久々に温泉にも入りたい、みなさんの支援を得て
・親戚一同で温泉旅行に行き、温泉に入りたい
サービス利用は拒否すること多い。
親戚一同で泊まりがけで温泉に行くことを楽しみにしている。温泉が好きだ
1泊2日の温泉旅行で温泉に入りたい。
時には家族みんなで旅行し、とじこもりの生活をやめる、生活のわくを広げる、温泉に入りたい。
親戚一同と会うのは久々でぜひとも参加して、楽しく時間を過ごしたい

・温泉で入浴を行いたい。・親戚と会いたい。
久しぶりに旅行にいき温泉につかりたい。
親戚一同の温泉旅行でできれば露天風呂に入りたい
親戚一同で温泉旅行に行きたい
久しぶりに皆と一緒に外出したい。ゆっくり温泉に入りたい。
温泉旅行（1泊2日）温泉へ入りたい希望がある
他者と何ら変わりなく温泉に入り楽しみたい、親戚一同の力を借りて
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に支援を受け参加したい。
親戚の支援をうけながら温泉に入りたい。親戚一同でひさしぶりに一緒に参加できる
親戚一同で温泉旅行をして本人も温泉に入りたい。
親戚一同と1泊2日の温泉旅行
久しぶりに親戚一同と一緒に温泉に入りたい
親戚一同で、同じ楽しみに参加し体験を共有したい。家族をはじめ皆さんのご支援を得て。
本人が本当に参加したいと思っているか
「親類との温泉旅行に参加し入浴したい」
外出機会 屋内での家族との会話 だんらんや、家庭での行事への参加状況。
ここ何年も温泉にも行っていないので出来るだけ参加をさせあげたい。季節の良い時期5月等が理想です。
生活・人生場面への関わり
久々に会う親戚とコミュニケーション取れて充実した時を過ごせる
親類といっしょに温泉に行って援助してもらって温泉に入りたい。
親戚との交流
温泉旅行に参加し楽しみたい。
親戚一同で温泉旅行
1泊2日の温泉旅行
親せきの人たちとの行事に久しぶりに参加することで自分の状況、思いを伝える
親戚との関り 1泊2日の温泉旅行に行く
・社会参加はどうか。・外出はどのくらいしているのか？・気分転換はしているのか？
大学において自分の役割を行なっている。今回の旅行も家族の一員としてあたり前に参加する。
家族の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
久しぶりの新戚一同の温泉旅行なので、皆と一緒に食事をし楽しい時間をすごしたい。
家族と外出してすごしたい
今回の温泉旅行に参加し皆さんと一緒に温泉に入り旅行を楽しみたい
久々に親戚一同で一泊2日の温泉旅行に行きたい。家人等の協力をお願いするがあまり迷惑がかからないようにしたい。
しょっちゅう企画出来るわけではないので、チャンスがあれば、よほど体調が悪くない限り参加したいと前向きに考えている。
支援はあるが、協力を得ながらいつも支援してくれている妻と共に以前行っていた様に旅行にいき楽しみたい。
久々に親戚一同と会合できる。温泉に入れる。
温泉旅行、家族皆での食事？
久々に親戚一同と出かけることができる。
・家族での旅行を心から楽しみにしている
・親戚一同に対して、元気な姿を見せたい。病気に負けていない姿を見せたい。
「温泉旅行に参加して久々に温泉に入りたい」
・温泉に行きたい。
・親戚一同で旅行することでみんなに元気な姿を見せたい。・みんなの協力も得て気持ち良く温泉に入りたい。
・以前は温泉もよく行っていたが久しぶりで心配な部分もあるが今回は皆で行きたい、行けたらうれしい。
温泉旅行に行き温泉に入りたい。
温泉旅行に参加したい 温泉に入りたい。
親戚の人たちとの対話や温泉入浴が魅力で。気分転換する機会を逃したくない。
温泉旅行に行き温泉に入りたい。
妻や、長男夫婦の協力を得て温泉に行きたい。
温泉へ参加 親戚と交流をもつ
旅行に行きたい。親戚との。
久しぶりの親せきと会話を成立させたい。一緒に温泉に入ったと振り返りたい
「1泊2日の旅行」は本当に久しぶりなので親せきの皆さんの力を得て行きたい。
1Weekの家族の週会があり、施設プログラム以外での、日中活動を、協力していただくよう家族へ協力をうながす。
親戚の人との会話を楽しみ、ゆっくり温泉に入れる様に
温泉に入れるよう親戚一同で支援を行う。

温泉に入りたい
・外出できる・外との交流があると思える・目的を持つ事で意欲がわく
可能であれば当地の食事など楽しめるよう、外食の機会も検討、その他のショップ等にも立ち寄ることを計画
親戚一同の協力を得て久しぶりにみんなと会い交流を持ちたい。また温泉に入りたい。
「同居家族以外の面々にも協力してもらえば、外泊温泉旅行が楽しめる。」と意欲向上。
親戚とも、長く会っていないので、行きたい。支援をお願いしたい。
・親戚と1泊2日の温泉旅行に行きたい。・温泉に入りたい。
体力、精神力が、持続出来るよう、色々な動作を踏まえ活動する場を作って行く。
テレビや音楽を楽しむ 車にて、日帰りのドライブや花見を楽しむ
1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい
温泉旅行に行きたい。
親戚との1泊旅行へ行くことが楽しみである。
親戚一同と楽しい時間を過ごしたい。
親せき一同で温泉旅行
親戚一同で行く1泊2日の温泉旅行と一緒にいきたい
親戚の人々と久しぶりに会うので、温泉だけでなく思い出話をしてほしい。各方面にお礼も伝えたい。
「皆と一緒に旅行をしたい。久しぶりに温泉にも入りたい。」
・久しぶりに親せきの人に会う・大好きな温泉旅行がしたい
親戚の中での自分の存在に悲観する事ないように、思い出作りができる
親せきと1泊2日の温泉旅行を行いたい
交通手段、移動手段
親戚一同での1泊旅行に参加して、温泉に入りたい。長男夫婦はじめ、親戚のみんなに助けてもらいたい。
親戚一同が集めることは久しぶりなので楽しく過せるようにしたい
延命に対する拒絶
親戚一同で集めるのは久しぶりなのでどんな話ができるか楽しみにしている
親戚がどこまで支援できるか
A L Sとなってからなかなか旅行に行かれなくなってしまった為、今回の旅行を楽しみにしている。
親戚一同で旅行し温泉に入りたい
温泉に入りたい
・親せき達と久々に交流したい・温泉にも一緒に入れたらいい。
久しぶりに温泉に入りたい。
親戚と一緒に温泉でのひとときを楽しみたい。
・親せきと一同に会って近況を知り交流も深めたい・温泉にゆったりとつかりたい
・親戚に会いたい・久々に温泉に入りたい
・家族と旅行に行く・温泉に入る
リクライニング車イスにて皆と交流したい。皆の協力で全介助にて温泉に入りたい
温泉旅行に参加 温泉に入りたい
家族や兄弟たちといっしょに外出し、和気あいあいと観光気分を味わいたい
温泉
家族や親戚の皆さんに協力してもらい、1泊2日の温泉旅行に行き、ゆっくりと温泉に入りたい。
なんとか行けるうちに・親戚一同と1泊2日の温泉旅行に行く。行きたい・温泉にも入りたい、・家族とも久しぶりに行ける、行きたい 温泉に 生活機能
社会参加への意欲
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をすることとなった。
親戚との交流、温泉で心と身体をいやしたい。
・「親戚一同で、1泊2日の温泉旅行をする。本人も行きたい。温泉に入りたい」
親戚での旅行に今の落ち着いた状態の時にいきたい
親戚一同の集まりで本人も久々に参加し、温泉を楽しみたい
親戚と一緒に参加し楽しみたい
・親戚一同で交流を深め楽しさを共有したい。・自分の病状。身体機能等についてより理解してもらいたい。
温泉に入りたい。
旅行先では親戚の皆さんと楽しく過ごしたい。
親戚一同で温泉旅行に参加し温泉に入りたい
久しぶりに親戚一同と会いたい。温泉にも入ってみたい。
家族とのだんらん
多くの人の援助にて外出できる楽しみは図りしれないと思うが、その反面、人に迷惑かけるのではと・・・

妻、長男、親せき一同と一緒に温泉に行くことによって、労をねぎらう
・温泉に入りたいとの思いがある ・リハビリを受けている
親戚が集まるので楽しく話をしたい
・長男夫婦、親戚、妻 ・車いす対応の車輛の手配
親戚一同との交流により支援を受け温泉に入れるよう介助方法を検討
・久しぶりに親戚の人々と歓談したい。 ・まわりの人に心配をかけたくない。
「親戚が一同で集まることは少ない。この機会に温泉に入って語り合いたい。」
日々に温泉に入り家族と楽しみたい。
みんなで施行し徐々に温泉に入りたい
意思伝達装置を利用してコミュニケーションを図る。1泊2日の温泉旅行に参加して楽しく過ごせる。
親戚の意向はどうか。介護者の確保はどれくらいか。
親戚といっしょに温泉旅行をしたい。親戚の協力をお願いします。
・家族や友人とのコミュニケーション ・ネットで交流
レスパイト年2回
久しぶりに親戚一同の温泉旅行に参加したい。皆さんの支援を得て
「親戚一同と集まる機会がない。温泉に入り、昔話をして楽しみたい。」
「家族の一員として、私も温泉旅行にいて皆さんのご支援を得て温泉に入りたい。」
「久しぶりに親戚一同で自分も1泊2日の温泉旅行に行きたい。」
・移集、移動の介助による外出 ・家族と一緒に食事 ・温泉旅行計画への参加
本人の意思確認を確定的なものにすると共に、受け入れ先の再確認も不可欠である。（入浴・宿泊等）
長男や妻と一緒に近くのスーパーなどに出かける 家族と過ごす日常がいちばん好き
久しぶりに温泉旅行をする（親戚一同で）
・温泉旅行に参加して親戚との交流を深めたい
親戚と一緒に1泊2日の温泉に徐々に参加して、温泉に入りたい。
久しぶりに親戚と交流し温泉にも入りたい
参加することに本人は楽しみを持っている
旅行への本人参加
親戚一同で出かけるのは、なかなかないので、皆と色々な話がしたい。温泉に入る支援をしてもらい、はだかの付き合いをしたい。
親戚の受け入れ。迷惑とならないか。
本人の意欲、希望
皆の支援をかりることで すきな温泉に入ることが出来る。妻と一緒に親睦を深める事が出来る。
長男夫婦と同居
・1泊2日の旅行。 ・日常会話。
以前はよく温泉に入りに行っていた。以前までとはいえないが、また親戚と一緒に楽しい時間を過ごしたい。
親戚との温泉旅行に参加して温泉に入りたい
親戚一同で温泉旅行に参加する
「病気が進行していくので、可能なうちに行きたい。多少無理があっても」
父親としての家族旅行は最後になるかもしれない。息子達と一緒に温泉に入り絆を深めたい
温泉に入りたい。（支援をうけ）
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をすることになり、本人も参加し、徐々に温泉に入りたい。
徐々に温泉に入りのんびりしたい。
親族の人たちとひさしぶりに合って楽しい時間を過ごしたい。
新類のあつまりに以前と同じように参加したい。
父として、夫として、親戚一同の長兄として、1泊2日の温泉旅行と一緒にいきたい。温泉に皆と入りたい。
受け入れ可能な温泉や旅館をさがして旅行をする
親戚一同で温泉に行きたい。現状では入浴も介助で、食事も介助で可能。時期を選んではない。
久しぶりに温泉に行けるのでとても楽しみにしている。普段自分の世話をしてくれている妻も息抜きをしてもらえればいいと思っている」
家族として親戚一同の旅行に参加する事で旅行に参加する事で今まで関係を続けていきたい
緊急時主治医と連携。旅先緊急先決定、連絡確保 医療の万全配慮
労作が行いにくい時のため吸引を手伝ってもらえるよう家族にも方法を伝える。生活のリズムをなるべく変えないように旅先でも注意する。
なかなか集まらない親戚みながら楽しい時間を過ごしたい
本人は親せき一同と温泉旅行に行きたい。
親戚一同が集まるので参加したい。徐々に温泉に行くので、皆の支援を受けて入りたい

家族で温泉旅行し、温泉にも入りたい
新戚一同への参加をさせてやりたい。また、久しぶりの温泉へも入れたい。
「久しぶりに親戚一同で楽しい旅行へ行きゆっくり温泉につかりたい」
外出することで、久々に人との交流をしたい。
自分が社会にでていくことが、他の人への励みになる。それが生きている糧と原動力。
親族として皆と旅行に行き、温泉も楽しみたい。皆のご協力をえて。
温泉に入りたい
温泉宿泊
親戚一同での旅行に参加することのよっての意義、役割を確認
入院中の母親の面会へ福祉社協の車にて外出。月1回程度兄弟が集まる
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
家族と一緒に温泉に行きたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をし、温泉に入りたい。支援を受けて。
せっかくの温泉。ゆっくりと入浴できなくても皆と共に入浴の気分を共有し、楽しい思い出を作る。
・親戚一同と温泉旅行に行く ・温泉に入りたい
親戚と一緒に温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
なるべく妻に迷惑をかけたくない
・観行地にも行きたい。 ・長男や親戚に協力をもらって温泉に入りたい。
協力体制 入浴参加
・温泉に入る ・一泊2日を親戚一同と過ごす
・大浴場に入る ・旅行に参加して無事に帰って来たい ・宴会場で食事をとる
楽しく過ごしたい
温泉旅行に参加して温泉に入りたい。
久々に温泉に入りたいと思っている。家族との外出行事に意欲的姿勢がある。
温泉旅行へ行きたい
・親戚一同に会える・コミュニケーションの機会になる・自分の思いを伝えられる
親戚と一緒に旅行に行きたい
・座れるように時間をかけてなっていきたい
親戚に会いたい 温泉に入りたい
・親類と一緒に温泉へ行き、久しぶりに話しをし、楽しみたい。
できるだけ家族へ負担をかけずに、みんなで楽しみたいと思う。
親戚一同と1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入る。
親族間の交流を楽しみきずなを確かめたい。温泉に入る楽しみを味わう。
「1泊2日の親戚一同の温泉旅行に久々に参加し、温泉に入りたい」
・今後何をしたいか？ ・何ならできそうか？
温泉に親せき一同と行きたい。
家族と旅行にいき、温泉に久々入りたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、久々に温泉に入りたい。
温泉に入浴 移動 観光
家族、医師、PTと協力しリハビリ、療養上の経過観察
・親戚に会う・久々の温泉に入る
家族の一員として、親戚一同での旅行に参加したい
安全、安心に温泉旅行に行く。
色々な方と交流ができる様デイなどを利用する
家族との旅行で交流を持ち久々の団らんを味わう。支援を得て。
・皆なの支援を受けながら一緒に入浴がしたい
・難病の会に家族と出席している・病院通院（家族の介助）により月1回行っている
・久々の温泉を楽しみにしている・同行する親戚の協力を得て楽しく過ごしたい
参加に対する拒絶
家族と一緒に旅行に行き、温泉に入りたい。
・温泉など他者交流に参加する意欲はある
家族全員が本人を温泉に連れていくことに参加し、計画を理解して実行する
温泉旅行と温泉に入りたい。
親戚との集い 旅行
親せき一同と諸侯に行き、温泉にも入りたい。
親族の一員として、又、一家の家長として旅行に参加したい

1泊2日の親戚一同の温泉旅行に参加したい
家族の一員 旅行の希望
親戚一同の旅行に一員として参加したい。温泉にも入りたい。
・親せきとの関係
・親戚一同で1泊2日の温泉旅行をすることになり、久々に温泉に入りたい。
・手芸や絵が好きである。・人の中にいるのが好きである（新しいものを見たり聞いたりしながら楽しんで生活したい・外出をもっとしたいと思っている。
親戚一同で入浴を楽しむ。宴会も一緒に楽しみたい
温泉旅行へ参加したい
温泉旅行に連れて行ってもらい久々に温泉に入りたい。
・家族は勿論親せきの方が協力体制にある。皆で支援したいと考えている。
久々に旅行へ行き温泉に入り楽しみたい。
外出 親戚一同での旅行参加
・あまり外出の機会がないため、家族の支援を受け親戚と一緒に温泉へ行く
本人も温泉に入ることを楽しみにしている
家族旅行に参加し温泉に入りたい
親戚一同での温泉旅行なので、皆さんの支援を得て参加したい。温泉に入りたい。
親戚一同が加わり協同して本人を支援できる体制をつくる
旅行先の選定を行い、温泉に入りたい。
久しぶりに親戚の人達と逢えることを楽しみにプレゼントも用意している。
親戚の人と久しぶりに会い、元気な姿を見せたい。みんなに迷惑をかけるかもしれない。
参加に対する拒絶はなく1泊2日の親戚一同の旅行に参加し、温泉に入りたいとの意向ある。
皆と一緒に温泉に入る。
「これで最後だと思うので楽しい思い出を残したい」
親戚と久しぶりに会いたい。温泉に入りたい。
協力してもらい温泉に入りたい。家族全員特に男性協力者で分担を決めておく
1泊2日の温泉旅行に本人も参加したい
・家族や親戚、皆の支援で旅行に参加できた
久しぶりに家族と旅行したい。温泉にも入りたい。皆に会えることが楽しみ。
親戚とも交流をつうじて良い思い出が沢山作っていきたいです。
皆さんの支援を受け久々に温泉に入れてあげたい。希望をかなえてあげたい
久しぶりに親戚たちとゆっくり話をしたい。家族の支援を受けて温泉に入り、リラックスしたい（最後の思い出としたい）
・久しぶりに会う親戚と一緒に温泉旅行を楽しみたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい
温泉旅行に参加し温泉に入りたい
できる限り、近親者とのかわりを持つ
親戚一同の行事に参加し温泉に入りたい
「いつも心配してくれる家族親戚の皆さんと楽しいひとときを過ごしたい」「まだまだ元気だと皆さんにわかって安心してもらいたい」
家族旅行に参加、楽しみ
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行きたい
温泉旅行
・親戚一同で行く1泊2日の旅行に参加し、久々に温泉に入りたい
久しぶりの温泉に出かけることができるので、楽しみである。温泉にどうにか入りたい。
親戚一同で旅行を楽しみたい。コミュニケーションの場の工夫。
温泉職員業へも状況の説明必要
「温泉旅行に参加し久々に温泉に入りたい」
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい
温泉に入り、楽しく過ごす
妻の介助にて車イスで出かける
1泊2日の温泉旅行に行って、温泉に入りたい
家族旅行、親戚との交流の実現にむけて外出の機会をふやす。
「温泉につかりたい！」「久々に親戚の面々と旧交を温めたい」
温泉に協力してもらい短時間でも入ることがしたい。
親戚の勧めを支援付きで受け入れ、積極的に参加
自分を支えてくれている家族や親戚に感謝の気持ちを伝えたい。

家族の支援で温泉にはいる
温泉に入る。
1泊2日の温泉旅行
久々に温泉に入り家族だんらんを行いたい。皆さんのご支援を得て。
親せき一同と、一緒に旅行に参加をして温泉に入りたい。
年齢はまだ若いので次回につなげるように長男夫婦の協力と、主の介護者である妻へのいたわり
久しぶりに、親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に行き、温泉にも入りたい。周りに心配かけるかもしれないが楽しみだ。
親戚と楽しみにしている、温泉で過ごすことができる。
1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
家族で楽しい旅行をしたい。
妻以外にも、移動や介助など、協力してくれる方がいるのか。介護の指導。
要介護状態になってからは、通院以外の外出はした事がないので、旅行ができたならうれしい。
家族と共に参加し
親戚と会って楽しい時を過ごしたい
なるべく、最小限の介助量で利用できるバリアフリー施設を利用する
温泉に行って、家族湯に入りたい
親戚一同が久々に集まるので参加したい。久々に温泉に入りたい
親戚と久々に会い旅行する
「久しぶりに親戚一同で、温泉旅行に行って、温泉にゆっくりつかりたい。その為に介護に協力してもらいたい」
温泉に入りたい
温泉旅行に参加し 温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行に行って、温泉に入りたい
「これで最後かもしれない 行けるか自信はないけれど今行っておかないと」
温泉に入りたい
家族と一緒に旅行し温泉に入りたい
親戚一同での温泉旅行に昔と同様参加したい
支援を得て
意志伝達装置利用で日常的に家族とのコミュニケーションをとることに意欲的 今回家族旅行に参加希望
外出したい
1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
長男夫婦と同居 親戚一同で温泉旅行をする。意思伝達装置で会話ができる。
親戚一同との旅行なので、人手は確実にある。介護は家族の指示で他の人にも手伝ってもらいながら装置を用い親戚との会話も楽しむ。
久々の温泉に入りたい
しばらく外出や外泊をしていないので、久々に温泉を目的として旅行に行きたい
・家族との交流を持ち続けたい気持ちが維持できるようにしたい・同じ境遇の方との交流もすすめてみたい
一泊二日の温泉旅行
自分が助けてもらい、大事に思う人達と温泉で楽しい時間を過ごしたい。
みんなといっしょに旅行に行きたい
「家族と一緒に旅行に行って、楽しく温泉に入りたい」
温泉旅行に参加したい 温泉に入りたい
温泉旅行に参加し、温泉に入りたいというご本人の気持ち
F a 親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
・長男夫婦に協力を得ながら、1泊2日の温泉旅行を実現させたい。・旅館までの景色も楽しみたい。
意欲はあるがニーズが満足できない可能性が高い
参加することに対する本人の状況。今までの経過
家族、親戚の支持をえて1泊2日の温泉旅行にいかせたい
温泉に行きたい 温泉に入りたい→入浴時の介助方法の指導要
親戚の方々の力を借りて前向きに参加してもらおう。
身出しなみには配慮し身綺麗にして出掛けたい。
親戚一同での温泉旅行に参加したい。
家族とのコミュニケーションの機会を意図的にもうけるようにしている。
親戚と共に楽しみたい。
温泉に入りたい。親戚一同の1泊2日温泉旅行に参加。
対人関係（家族、親せき）
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行にでかけ、温泉に入りたい

コミュニケーション装置を持っていく。
親戚一同での1泊2日の温泉旅行
「親戚一同、1泊2日の温泉旅行に参加したい」
本人「家族、親戚一同と久しぶりの旅行を今から楽しみにしている。皆に迷惑をかけてしまうかもしれないが、温泉にも入りたい。」
親戚との再会。温泉に入りたい。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行
親戚の集い
皆と温泉に入りたい
温泉につかりたい。
社会参加活動
家族との旅行に久々に参加したい。温泉に入りたい。楽しい時間を持ちたい。
外出する。温泉に入る。親戚と話をする。
仲良しの兄弟、親戚一同で宴会をしたり、温泉に入りゆっくり肌のきあい、コミュニケーションを図りたい。子供達、親戚の協力を得て。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行をすることとなり、温泉に入りたい。
・身体的には安定している。・親戚一同と共に温泉旅行に行きたい。そして温泉に入りたいと思っている。
コミュニケーション意思伝達装置を利用して温泉に行きたい意志を伝達できる。
温泉での入浴方法
皆と一緒に旅行に行って、観光地でビデオをとりたい。長男夫婦に記念としてとって欲しい
妻の妹さんの協力で温泉に昔は良く旅行していた。温泉は好きなので行きたいが、体調、食事、排泄に不安あり、行きたいが迷惑かけたくない為、参加迷っている。
親戚一同で一泊二日の温泉旅行に参加。温泉に入りたい。
「親戚一同で温泉旅行に行って、温泉に入りたい。皆さんの支援を得て。」
家族との思い出作りのために親戚と楽しく行きたい人の集まる場にできるだけ参加して頂く。
親戚一同で一泊二日の温泉旅行をするが それに本人も参加したいと
温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。
気分、体調がすぐれないことがある為、皆と共に行動ができない。
本人も久々に温泉に入りたい。
親戚での温泉旅行
・家長として親戚とのコミュニケーションを図りたい ・皆さんの支援を得て
親戚が皆参加してくれるので、とても楽しみにしている。
・旅行に参加することでいい思い出をつくることことができる。・今後の生きがいを見つけるきっかけができる。
生活に意欲が出る様に参加に楽しみを作る
温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
みんなと一緒に温泉に入りたい。
大好きな温泉でのんびりすごし親戚と楽しい時間を過ごす温泉に入りたい
家族及び皆さんの協力を得て温泉に入りたい。皆さんで行く旅行は楽しみにしている。
・親せきとのコミュニケーションをとり、親睦を図る。
・地域活動等への参加状況・外出状況（サービスも含む）
・親戚一同の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。
・1泊2日温泉旅行へ行く・温泉に入る
温泉に入り（入浴）たい。親せきと久々に沢山の交流をしたい。
「久しぶりの親戚との旅行を楽しみ、温泉にもつかりたい」
・温泉に入りたい・みんな（親戚）と交流したい。
・家族と一緒に旅行する事で一致団結できる。
・外出する意欲がある
妻と一緒に講演会や、コンサートに行く事が好きだが年々回数は減っている。皆に会いたい。親戚と一緒に温泉に行き、楽しむ。
「親戚と交わり、温泉も楽しんで皆に、自分が健在である事をアピールしたい。」
・久しぶりに親戚の人にも会える。 ・温泉にもゆっくりと入りたい。
家族との思い出を作る
親戚一同で温泉旅行に行く温泉に入りたい
本人が入る事ができる温泉か？ 食事場所はどのような環境？
福祉車での移動ができるようになり、宿泊をして温泉に入りたい。

家族との思い出を作りたい。
親族と温泉旅行へ行きたい
・自分も温泉に入りたい。親戚の集まりなので自分も参加したい
温泉旅行に行きたい
「親戚に久しぶりに会いたい。発症してから温泉に入っていないので楽しみにしている。」
・普段から、外出の機会を増やし、社会参加出来る場を設けている。
・気分転換に外出したい。・家族、親せきと話しをゆっくりしたい。
・適した移動手段や温泉施設（入浴施設）を選択。・意思伝達装置の活用。・排泄の対応。
外に出たがらない。
・デイサービスでのレクレーションへの参加・自信のブログ作成・メール交信
身体的には困難があるものの会話の輪の中に参加は可能である
親戚一同での温泉旅行参加したい
「いつも介護してくれている妻と一緒に旅行したい。温泉が楽しみ」
サービスの利用状況。サークル等への参加。
迷惑をかける事になるかも知れないが、親戚とは仲よくしていきたい
親戚一同のご支援を得て、久々の家族旅行を楽しみたい。
外出することがほとんどない為、今回参加し久しぶりに親戚に会ってみたい。
親戚一同で、一泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入る
親戚一同で温泉旅行に行く事を大変楽しみにしている。一泊であるので不安もあると思うが、嬉しい方が大きいのでは。
温泉が好きで家族旅行をよくしていた。久々に温泉に入りたい。
・親戚のみんなと会い楽しい時間を過ごしたい。・ALSへの理解の場になるよう促す。
通所系サービスの利用友人、会社OBとの交流の有無地域のかかわり
親戚一同で温泉旅行に行きたい。
温泉の人達にも協力を得て（事前に相談）湯舟には入れないがリクライニング可能なチェアでシャワー浴を行うことで温泉の気分を味わいたい
外出して、親戚と旅行したい温泉に入りたい
介助があれば社会参加可能。家族の相談役。
思い出作りのために親戚一同で温泉旅館に泊り、皆の協力を得て温泉に入れてあげたい
主介護者の妻と、親戚一同の協力を得て、参加の意欲→強
・温泉旅行の計画を立案する。・車椅子の操作方法や援助内容を親戚に教える。
久しぶりの社会参加なかなか会えない親戚に会いたい
・親戚みんなで出かけることはこの先難しくなるので、今回は手伝ってもらって行ってみたい。・ALSの会の外出活動に年1回は参加している。
久しぶりに親戚が集まる。次女の結婚の報告もあるので参加したい。移乗、移動、吸引など手伝いが欲しい
久々に温泉に入りたい親せき一同で一泊二日の温泉旅行へ行きたい
皆に会えるのは嬉しい。その気持ちを伝えたい。
親戚との温泉旅行を楽しみたい
・カラオケ宴会が大好きで親戚と楽しく過ごしたい。・みんなの喜こんでいる顔が見たい
親戚一同と泊りがけの温泉旅行をしたい。「呼吸器、たん吸引の管理など皆の支援を得て」
・家族での思い出を作りたい・自分にも家族にも思い出を残したい
温泉に行きたい
皆の支援を得て親戚一同と温泉に入り、リフレッシュしたい
親戚一同で温泉旅行へ行きたい気持ちが強い。
親戚一同で温泉旅行に行く。温泉に入る親戚の人とのコミュニケーションを楽しむ
町内活動等以前は参加していたが現在は閉じ込めることが多い。久しぶりの親戚の集いに参加したい。
親戚と温泉に行けることで、色んな話しをしたい、温泉も久々なので、楽しみだ、
家族の中では相談役として大黒柱的存在である
親せき一同での温泉旅行等久しぶりなのでぜひ参加したいと思っている
本人が楽しんで行ってこれるようにしてあげたい
・役切。皆に感謝され温泉につれていってあげたいという気持ちにさせている。・デイサービスに行き、施設の入浴になれる
・興味もてるものがあるか・温泉に行きたいと希望
皆と一緒に温泉に行きたい。できる事を増やしたいという意欲
親戚一同での温泉旅行に行きたい
温泉に入る。家族とのコミュニケーション
親せきで温泉につかり楽しみたい、気分を味わう為に温泉に入れる工夫を援助してほしい

温泉に入りたい。家族や親戚一同と楽しい時間を過ごしたい。
「久々に温泉に入りたい」家族（親戚）での温泉旅行に参加
せっかく親戚で集まるので旅行にはぜひとも行きたい
温泉旅行で家族と温泉に入る。家族で外出（旅行する）
家族や親せきといっしょに旅行へいきたい
・久しぶりに親せき一同で温泉旅行へ出掛けて団らんや温泉を楽しむ
温泉に入りたい
出来るかぎりの事の支援を用いる
親戚一同の中に参加出来る事で家族としてのつながりを再確認する・同居家族以外の人に自身の状態を知ってもらいA L Cを理解してもらう・家族が慰安出来る
親戚一同との旅行温泉へ入りたい、楽しみたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい
・親戚の集りに参加したい。・いっしょに入浴したい。
親戚との付き合いに積極的
妻の介助や親せきの協力を得て外出や旅行ができる。
家族と共に温泉に入る
「自分も長男夫婦と温泉に行きたい」
屋内でデイ等の決まった場所に行くだけでなく、家族等協力して外出する事に意義がある
・親戚一同と楽しく交流できる。
温泉旅行に参加し温泉に入りたい
家族・親戚一同で一泊二日の温泉旅行に行きたい。
疾病後は検査入院以外は外出していない
一緒に出かける皆んなに少し力を借り、助けてもらい温泉旅行を楽しみたい。
・久しぶりに親戚一同で旅行に行き、温泉にも入り楽しく過ごしたい。しかし妻だけでは無く皆んなの助けを借りて
介護をしてくれている、妻や息子夫婦にも温泉につかり慰労したい、費用は本人が持つ
温泉に入りたい。親せきと一緒に過したい
夫として、妻の仕事のアドバイスや相談を受けて対応している
親戚一同で楽しめるようにする。
「これまでお世話になってきた、家族や親戚のみなさんと温泉旅行に行き、感謝の意思を示したい」
・身体は不自由だが意志伝達装置を利用する事により他者とのコミュニケーションがとれるようになった。その事により前向きになり、人との関わりを増やしたいと思っている。その為今回の温泉旅行はぜひ参加したい。
親戚一同で、旅行ができるのは年令時に最後かもしれないので、参加したい
家族、親戚の方達との交流を計り、本人の希望をなるべくとり入れて、支援しながら有意義な時間を過ごす
「皆さんの力を借りて、一緒に楽しみたい。」
親族との交流を楽しみながら入浴を行なう
温泉に行きたい
温泉旅行に参加して温泉に入りたい。参加するには協力が必要不可欠である
親戚と楽しい旅行をしたい。
本人も参加したい気持ち強い
親戚一同での温泉旅行に参加して温泉に入りたい
減多にできない温泉旅行を大いに楽しみたい。温泉にゆっくりつかりたい。
温泉旅行に参加し温泉に入りたい。親戚の皆と楽しい時間を過ごしたい。
久々に温泉に入りたい
・PCにて友人らとメール・「ALS協会」の方々との交流（訪問）
親せきと久しぶりに温せんに入りたい
家族と一緒に旅行へ行く事で自身の家族としての一員である喜びを感じることができる。
親戚と会う事で共通の話題で気分転換が出来血のつながりや絆を感じ人生の安心感を味わう事が出来る。
旅行に参加温泉に入りたい
・親戚と一緒に旅行に参加・意志伝達装置によるコミュニケーション
・久しぶりに皆んなと会い温泉に入るのを楽しみにしているので皆んなに助けてもらって元気に参加したい
・久しぶりに温泉に入ることにより気分をリフレッシュする・普段あまり話せない親戚と話をする
親せき一同で旅行に行く（親せきとのコミュニケーション）
久々に温泉に入る
家族の気持ちと困りに迷惑をかけるのではと心配
親戚一同で温泉旅行を楽しみたい。
久しぶりに親戚と寝食をともにしたい。

本人の意欲が強いので助けてほしい
親戚一同で温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
温泉旅行
妻1人では大変なため長男夫婦の協力をえて、温泉旅行にいきたい。
外出が好きなので、温泉に行くためにリハビリに積極的に取り組む。
・親戚一同での1泊2日の旅行に参加し、徐々に温泉に入れる様にみんなの協力を得て実施
親戚一同で温泉旅行に参加し温泉にも入りたい。
家族の一員として親戚との交流をたのしみにしている。
参加者に過重な負担がかからないか。
温泉に入りたい親戚一同で旅行に行きたい
温泉旅行をし温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行を楽しみたい。(親戚一同の応援を得る)
入浴後、皆さんと一緒に食事会に参加できる。
温泉に入る温泉旅行
親戚一同の一員として、妻と2人で参加したい
デイサービスの利用
本人の意向
不足としているものの導入の検討
久しぶりなのでぜひ参加し温泉に入りたい
・親戚との温泉旅行に参加し、楽しみたい。・温泉入りたい。
家長としての最後の旅行かもしれないので本人の希望をできるだけかなえる。
親せきづきあい長男夫婦と同居
妻も高令だが、親戚の人の援助を得て、旅行に参加し、皆と楽しく過したい
親戚とのつきあいを継続していきたい 旅行に行きたい
親戚そろっての温泉旅行なので楽しみである
久しぶりに顔見知りの親せきと会えるので楽しみにしている。
温泉に入り親ぼくを深めたい
久々に、親戚の人達と会えることを楽しみにしている
・親戚一同で旅行に行きたい・温泉に入りたい
温泉に入りたい1泊2日の旅行に参加する
・親戚と一緒に温泉旅行がしたい・温泉に入りたい
・みんなと一緒に旅行に行き、温泉に入りたい。
楽しく参加し、思いで作りたい。皆さんのご支援を得て。
親戚の集まりに参加し、自分でもできる世話があればしたい。(写真撮影でも…)
気心の知れた人達との旅行を心から楽しみたい。皆さんのご支援を得て
長い間家から出たことがないので久しぶりに外の空気を吸いたい
親せき一同に会い温泉に入りたい
ご本人の温泉に行きたいとの希望に、できるだけのことをしてやりたい。皆さんの支援を得る。
・本人の希望の確認・家族の思いを確認・意思伝達装置を使用時のコミュニケーション能力
親戚の方たちと旅行し絆を深め、自分自身も温泉に入りたい。親戚の方や皆さんの支援を得て。
できるだけ皆と同じ事がしたい妻にも楽しい思い出を残したい親戚の助けを受けて温泉に行きたい。
親戚の行事に参加することを決意した気持ちを尊重し、皆と楽しく過ごせるようにしたい。
親戚の人達との旅行に参加し、家族や親類と過ごす時間を楽しみたい。
・親戚の人と一緒に旅行を楽しみたい。
・親戚での行事に参加をしたいと思っている。
親戚一同で一泊2日の温泉旅行。外出しリフレッシュしたい。介護で疲れている妻も休ませ、ゆっくりさせたい 楽しませてあげたい。
本人の温泉旅行の楽しみもさる事乍ら、主介護者(妻)にゆっくり温泉につかって疲れをとってほしい思いが強い。訪問看護師さんの同行を依頼。
温泉旅行への参加
親せき一同で温泉旅行に出かけたい。温泉に入りたい。
親戚と交流する。
お風呂に入りたいので息子たちの支援が必要
親戚一同で行く温泉旅行に参加したい。
親戚一同と、1泊2日の温泉旅行へ行く
温泉旅行に出かける温泉に入りたい

親戚一同と一泊2日の温泉旅行に行く
・外出サービスを受けデイサービスに参加し入浴し、最終目標温泉にとことん入る。
なし
久しぶりに親戚の皆に会って、ゆっくり温泉に入りたい。
親戚一同で温泉旅行に参加し、温泉に入る事
親戚と一緒に1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい。リフター付の施設を探す。
最近調子もよよし、長男夫婦と一泊旅行に行き、大好きな温泉に入りたい。
親戚一同と一緒に旅行し楽しい一時を共有出来るようにしたい
・久しぶりに温泉に入りたい・旅行に出かけたい
親戚の皆など顔をあわせることができる、温泉に入る
日の出湯温泉の家族風呂を利用し海をながめながら湯につかる 夕食はえん会に参加し楽しむ
「家族や身内と一緒に泊まりで温泉に出かけたい。お手伝いをください」
親戚一同との温泉旅行に参加して温泉に入る事親戚との楽しいひとときを過す思い出づくり
「家族と共に旅行したい」
外出を恐がらないか、不安にならないか。入浴と親戚との交流ではどちらが旅行の目的に近いのか？外出する目的の中でモチベーションが高いと思われるものは？
親せき一同かいする事はめったにないので、色々積もる話もしたい
温泉
「病気になるでも楽しみを味わいたい」「ゆっくり温泉につかりたい」
「家族と共に、温泉を楽しみたい。」
人との交流を楽しみにされ、相手は見えてないが、しっかりと聞き手にまわり会話を楽しみにしている。どこでも積極的に出掛け参加したいと考えている。
温泉旅行
1泊2日の温泉旅行に参加 温泉に入る
「家族の協力で温泉にも入れてほしい、久しぶりの旅行、道中も楽しみにしている」
親戚一同と久しぶりに会って温泉にも入りたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に行き、皆と楽しく過ごしたり、入浴したい
親戚一同で行く1泊2日の旅行に参加し、徐々に温泉に入りたい。皆様のご支援を得て。
温泉旅行に親戚、妻長男夫婦の手を借り行きたい温泉に入りたい
親戚一同が集まることはめったにないので、ぜひ参加したい。諦めていた温泉に入ってゆっくりしたい。
少しでも動けるうちに親戚等との楽しい思い出を作りたい
久しぶりに兄弟や従兄に会いたい。名所見物もできれば。
・久しぶりの温泉に入り気分良くなりたい。長男や親戚の人にも手伝ってもらって
妻の負担が多くならないか協力があって、妻も一緒に旅行を楽しめるか。
親戚と一緒に温泉旅行がしたい。
高齢にもかかわらず地域で実施される老人会には参加している。
・親戚と一緒に旅行できることを喜び、楽しみにしている。
本人の職業、地域での役割家庭での父としての役割。旅行等趣味については価値観は？
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい
家族みんなで一緒に温泉に入りたい。特に孫と一緒に湯舟につかりたい。
親戚、家族とともに旅行し、外泊する。温泉に入りたい。
親戚一同で、旅行と久々の温泉に入りたい。
親戚の人達に会いたい 皆んなの助けを意志伝達装置を使い一緒に歓談したい 温泉に入りたい
温泉に入り、親戚の人達と交流したい
温泉旅行に行く 家族対応可能状態確認
久しぶりに親戚で旅行に行きたい。温泉に入りたい。
温泉に入りたいが介助が必要
一泊2日の温泉旅行に参加して温泉に入りたい
親類の方達なので気を付かわない、旅行になる
家族関係がよく、旅へ参加
・親戚一同で、温泉に徐々に入る為に、家族や皆の支援を受けたい。・妻の負担を軽減する為に訪問介護員の手配
温泉に入りたい
なつかしい温泉旅行に家族や親せきと行きたい。皆の支援を受けるが、子供のすゝめがあり、思い出の場所へ行きたい。
好きな温泉に入りたい泊まりたい。そのためには親戚みんなの支援を受ける
日常生活での行動
「みんなと旅行にいきたい温泉に入りたい」

楽しい旅行にしたい。温泉にゆっくりと入りたい
親族で同じ湯舟につかりたい思い出となるような温泉旅行にしたい。
温泉に入りたい。みんなの力をかりて。
・親戚と一緒に旅行に行きたい。・ゆっくり温泉に入りたい夢をかなえ思い出をつくりたい
親戚一同がそろそろ席に参加して、本人が今どういう状況であるか知ってもらいたいとともに、自分の存在感を家族の力をかりて示したい。
・（週に2回デイサービス週に2回デイケア・月3回の通院
親戚一同の温泉旅行に参加するので体調をくずさないようにする。
「親戚の人たちの協力を得て入浴をしたい」息子に協力して欲しい
自分の状況を、他の方へ迷惑かけるのではないかなどの気遣いの多分参加となろう。なるべく楽しめるように、皆で協力してもらいたい
親戚と温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
親戚一同と温泉旅行したい
発症後は、あまり人前に出ることはなくなったが息子一家の助けをかりて久しぶりに親戚に会いたい
親戚一同が介し関係を深めたい。
・親せき一同の旅行に参加したい
みんなで温泉旅行にいきたい。みんなの力をかりて温泉に入りたい。
ガイドヘルパーの存在
「親せきと一緒に温泉旅行に参加して温泉に入りたい」
・スピーキングバルブで自分の声を出しこん談に参加、不足分は前もってパソコンで記載したものを用意
久しぶりに会う親戚と楽しくコミュニケーションがとりたい。
「自分1人ではできないが、せつかく親戚一同で集まるので一緒に旅行をし、楽しい時間を過ごしたい」
親戚一同の一泊2日の温泉旅行で温泉に入る
他のお客さんに気がねすることなく家族の支援を得て、温泉でしっかりぬくもりりたい
・「親戚のみんなで1泊2日の温泉旅行に行き、大きな温泉に入りたい。みんなの顔を見たり話を聞いて楽しい時間を過ごしたい。・車イスでの移動やベットがある温泉を選択。入浴の際に必要な機材を準備する。・親戚全員の病気に対する理解、協力を確認する。
温泉旅行に参加しゆっくり温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行温泉に入りたい
長男夫婦と妻との旅行になる家族にも楽しめるように支援者の協力依頼を呼びかけ求めたい
久しぶりに親せきと会って話がしたい、温泉に入りたい
母親と父親が7年前に他界し長男が久々の親孝行をしてくれるので、皆の好意に甘えたい。
1泊2日の温泉旅行に参加。親戚一同の交流
久々の温泉旅行に家族・親戚で行きたい 親戚をはじめ皆さんの支援を受けて
・親戚一同（家族）と一緒に行事に参加できる。・温泉に入ることができる。・コミュニケーションを楽しむ。
・デイケア週2日・ショートステイ週4日・訪問リハビリ週1日
何ととっても温泉がメイン。なるべく車イスで露天風呂に入りたいが、ダメなら親戚長男（男性陣）がかついででも入れます。
本人の意向
ひさびさに親戚一同での交流を行いたい。病気の進行によってはできなくなる心配がある。今ならできるかも。
親戚一同の1泊2日の温泉旅行に参りたい。
親戚一同の1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の旅行をして温泉に入りたい
親族一同での温泉旅行にて、親族の一人として参加交流を持つことで本人の意欲、親族の協力も考える良い機会となる。
久しぶりに家族と一緒に（介護をうけて）に温泉に入りたい。親せき一同に日頃の感謝のことばをのべたい。
・日常的な通院・訪問リハ・往診率
・親戚一同と旅行がしたい・温泉に入りたい
・温泉旅行
・親せきの一員として久しぶりに参加したい。・可能であることを知らせて安心してもらいたい
親戚一同で温泉旅行をする。
他の人に負担がかかる
・久しぶりの温泉に入りたい
みんなと同じように同じ事をしたい。妻の介助が大事であるが、妻にも負担がいかないようにする
「親戚一同の温泉旅行に自分も参加し、温泉に入りたいし、妻には日頃の介護疲れを少しでも癒してほしい。皆様のご支援を得て、いい思い出をつくりたい」
久々の親戚の集まりなので参加したい。せつかくの旅行なので皆に迷惑をかけず楽しみたい
親戚一同で1泊2日温泉旅行に行き温泉に入りたい。
皆人と共に行動出来ることで生きる喜びを味わえる。

「久しぶりに温泉旅行にいて、温泉にはいりたい。」
本人の気持ちを尊重し参加するとして温泉旅行への参加、入浴の有無と分けて行く。緊急時の対応機関（者）
親戚と久しぶりに会うことでなつかしい話しをできるように手伝える協力者がいるか
外出する事で気分転換ができる。
親戚の方々も一緒なので頼りになるような方には事前にお手伝いいただけるよう話しておくとい。
親戚の一員として温泉旅行に参加したい。ご支援をお願いしたい。
皆で温泉に行く
親戚と温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
久々に温泉に入りたい。親戚一同で食事をしたり、会話をしたりして過ごしたい。
・温泉旅行に利用者が参加・送迎手段、体制〔人員機材など・施設（温泉）の状況（予め要確認）
親戚一同での温泉旅行を楽しみたい。
温泉に入りたい。
皆に助けをもらうが、何とか温泉にゆっくり入り、外出を楽しみたい
久々に家族、親戚で温泉に入りたい。
温泉に入りたい。
1泊2日の親戚一同との温泉旅行に行きたい
・親戚一同での楽しい時間を過ごしたい・温泉に入るのは久しぶり
皆んなに協力してもらい久しぶりに旅行して温泉に入りたい。時間体力に余裕をもつプランにしたい
・親戚の皆さんに久しぶりに会える。楽しみにしている。・和やかなひとときを持ちたい。
久しぶりの旅行にてインフォーマルな部分での援助も検討していく。
温泉旅行に参加し温泉に入りたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
昔の様に親戚家族と旅行をし息子と一緒に温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行
久しぶりの集まりに是非参加したい
温泉旅行に参加
思い出に残るように、家族のサポートを得たい。
親戚との交流
・親戚とコミュニケーションがはかれるよう介護者である妻が仲介する（長男も）・写真なども持って行き、昔話が盛り上がるよう工夫する。
・近所の人とコミュニケーションをとる・親戚の人たちとの食事を楽しみたい・親戚の男性の協力で温泉に入りたい・親戚の人に気遣いもあるが皆さんの理解と協力で旅行に参加したい。・普段から家族や親戚の集まりには参加している
1泊2日の温泉旅行で温泉に入りたい。
親戚一同で温泉旅行に参加したい
しんせき一同で旅行できるのは楽しい、よい思い出になる
家族の支援で旅行に参加できるよう協力してほしい
久しぶりの温泉旅行に参加したい要望は大きい！
親戚一同で出かけ、皆の助けを借りながら、思い出をつくりたい。妻をねぎらいたい。
10年ぶりの兄弟の対面。甥や姪に会う。久しぶりの温泉
・温泉に入りたい。・大勢で食事をして、おいしいものを食べたい。
久々に温泉に入りたい。親戚一同ででかけたい
・意志伝達装置でコミュニケーション可能・時々友人が自宅を訪れる
「皆さんには、迷惑をかけるが久しぶりに元気な頃のように皆さんと世間話しをしたい。」
一緒に旅行し一緒に入浴する楽しみを味わっていただく
最後の旅行になるかもしれないので、誘ってくれた家族や親戚と楽しい思い出を作りたい。
久々に温泉に入りたい
・デイスービスで入浴を楽しんでいる。・地域のボランティアが話し相手にきてくれる・温泉旅行に行く
気分転換にも温泉へ行きたい。
親類と温泉旅行に行きたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をしたい。温泉にも入りたい
親戚一同との交流を行う。
温泉旅行、目的地までの道中。
家族・親戚と行動を共にする事で絆を深めたい
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
・親戚一同行く温泉旅行に参加する。温泉に入る。
温泉旅行 久々に参加し温泉に入りたい 妻、親戚の協力

温泉旅行にいきたい人のあつまるところに行くのは好き
親戚一同で温泉旅行に行きたい
・親戚一同で温泉旅行をし久々に温泉に入りたい
家族に協力してもらいゆっくり温泉のお湯につかりたい
温泉旅行に参加。温泉に入りたい
5年ぶりの温泉旅行を楽しみにし、長男と温泉に入りたいと思っている。
家族、親戚と温泉旅行を楽しみたい。
集団の中で、自分の参加できる場面づくりと援助
1年前、家族の介助で温泉へ行くことが出来た。久々に温泉へ行き入りたいと思っている
大好きな温泉に入りたい 回りの手助けを受け
・1泊2日の温泉旅行に行きたい・家族とコミュニケーションをとっている・看護医療の支援や協力を求めて生活している。
以前のように温泉旅行を楽しみたい。親戚にも久しぶりに会いたい。
・だれとどんなことをしたいか？
・家族といっしょに外出したい・温泉で体をあたためてリラックスしたい
久しぶりに温泉に入りたい。親戚との交流を図りたい。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行 温泉に入りたい
温泉旅行
親戚一同がつどうので皆の顔が見たい ゆっくり温泉に入りたい
公演活動など自分の病気に関して、積極的に知ってもらいたいといろんな所へ出る機会を望んでいる
家族で温泉に入りたい
「久々の親戚との旅行。手をかけることにはなるだろうが温泉に入りたい」
旅行に今後行けるようにしたい。
1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
旅行に参加して、久々に温泉に入りたい。
親戚一同での1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい（親戚一同の方の同意と協力が必要）
久々に温泉に入りたい。親戚一同で旅行がしたい。
皆んなの力をかりて、久しぶりに温泉に入り気分転換したい。
なかなか親戚の方に会うこともできないし、旅行も何年と行っていないので参加したい、皆の支援を得て。
親戚と温泉旅行に行き楽しみたい
「親戚と一緒に温泉旅行に行き温泉に入りたい。
コミュニケーション意思伝達装置利用。温泉に入りたい
・親戚の方のご支援をいただき、温泉旅行に行く
温泉旅行に参加して温泉に入りたい
親戚一同で久しぶりに旅行を楽しみたい。温泉に入りたい
「皆に迷惑はかけるが楽しい旅行になる様に、心配をかけないようにしたい」
久しぶりに親戚と出かけられ、しかも温泉なので、楽しんで来たい。
親戚一同で旅行がしたい温泉にも入りたい。
1泊2日の温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。
久しぶりに旅行をして親戚の皆と一緒に食事をしたり温泉にはいたりして楽しくすごしたい
1泊2日の温泉旅行で温泉に入れてあげたい個浴か介助者が男性に限られる
温泉旅行
久しぶりの温泉を楽しみにしている
親戚の人たちといっしょに楽しく過ごす時間をもちたい。皆さんの支援を得て
1泊2日の温泉旅行参加
・皆の援助を受けて温泉に入りたい。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい。
本人の気持ちを尊重し楽しい家族旅行にしたい。温泉に入れるよう協力をお願いする
できれば、ツアーじゃなく、時間の余裕がもてる家族旅行がいい
久しぶりに従兄や親戚と会い、楽しく過ごしたい
協力者
親せきと一緒に温泉に入りたい
1泊2日の温泉旅行に行く楽しみが出ている 親戚一同に会えることがうれしい。
親戚の集まりに参加する
親戚一同で集う温泉旅行に参加し自分も家族として認めてほしい。回りの協力を得ながら。
皆と一緒に温泉に入りたい。
親戚と一緒に旅行したい。

是非、みんなと旅行したい。帰ってきたら、感想文を書きたい（ワープロ）温泉に入りたい
・親戚一同の旅行にぜひ参加したい。
家族、親戚との交流。親戚一同で1泊2日の温泉旅行への参加
「1泊2日の温泉旅行に行き温泉に入りたい」
親戚のみなさと一緒になれ日を楽しみにしています
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に参加したい。
・好きだった温泉に今一度入りたい・洋服選びは自分でしたい
・温泉に行って大きなお風呂にゆっくり入りたい。
温泉旅行へ行き温泉に入りたい
介ゴがあれば可
親戚と久々に温泉旅行がしたい
・親せきの人と久しぶりに会って昔話をしたい・温泉にゆっくりつかりたい
親戚の集まりに参加したい。温泉入浴を楽しみたい。
「親戚一同で温泉旅行をし、温泉に入りたい」親戚や家族と一緒に集まって過ごしたい（コミュニケーションもとりたい）
・親戚一同との会話を楽しむ・温泉に入ることができる
何がしたいのか何が出来るのか。過去にしていた事。趣味等
家族としての意味
自宅から温泉までの距離や時間。温泉（浴槽）への出入りの手段

問9 【E 環境因子】

(在宅療養支援診療所)

・時間の検討(できるだけ近い所)・温泉に入れる条件の検討
移動手段、移動時間、旅館の設備
家族、親戚の支えあり、妻が主介護者
W/Cの通路リフター交通路・キ関
家族、同行者の支援。公的援助、サービス。現地、周辺の医療環境。
第三者の好奇の目が多いかどうか
周囲の意欲、本人の意見を尊重するが遂行能力の検討→能力足りない場合は専門職の支援が必要
廻りの温度に注意
家族の支え 主治医特に麻酔医
できるだけ本人及び介護者の負担のかからないように設置する
・温泉地までの移動に長時間を要する。・宿泊施設での受け入れ対応が可能であるか、確認
親戚等との行事に参加する為、近隣の場所であれば
車イスでの移動可能な環境作り。
サポート体制(温泉での)
自宅以外でベッドにて就寝したことがない。最近長距離の移動をしたことがない。
介護者の不足
移動、自宅外での入浴など介護者も慣れと、体力が必要
肺炎など入浴旅行後の健康への影響
天気のよい日を選ぶ 妻の健康状態
旅館かホテルでの一泊は問題ないか
1泊2日旅行ですが余り遠くは無理かも知れません。片道車で2～3時間位が無難かと思えます
家族の希望や本人の希望がどの程度かなえられるのかは全くわからない受け入れ側の対応も不明あまりバカな質問をしないようにして下さい
温泉での温度変化で急に体調を崩さないか注意。
親戚一同の理解があれば人手の問題はOK
・旅行まで移動時間
○
・長男夫婦と同居といっても、介ゴ中心者が妻なので、妻の苦労も大変・車での移動は当然のことながら、入浴させるにも介ゴが必要なので有料ヘルパーなどの第三者の協力を考慮
自宅から温泉旅館までの往復は3時間から4時間にわたる
家族の支え 人的資源(行政・医師・ケアマネヘルパー等) 公的サービス
可能なことを
同居人が多いため身体介助は可能宿泊地までの交通キカンの確保と事前相談(JRなど) 必要ならば
?
旅館内の移動ができるか前もって調査を要す
慣れない環境で一泊するため多くの物品を要する
家族の支え、主治医より、筋力低下による急変、対応について聞いておく
1. 家族 2. 移動、滞在 3. 緊急時の対応?
宿泊となるとポータブル以外の(在宅)人工呼吸器の吸度他、移動・搬送の順備、車の手配
不明
温泉までの移動時間が2時間を越える。宿泊施設の設備が充足しているか。
移動、機材、用具の搬送、費用、旅館の対応
急変時温泉地での医療機関の協力が可能か
自宅から温泉地までの移動時間を出来るだけ快適な旅行にしてやりたい。
移動に要する時間? 食事が口に合う?
旅行先での人工呼吸器が利用出来るか? 宿の人の理解が必要
移動時間を含めてできるだけ疲れない様に
温泉は車イスに対応しているバリアフリー型温泉である 底の浅い湯舟がある
家族の支え介護サービス利用医療サービス利用
目的地までの移動方法、所要時間、入浴方法介助
長男夫婦の■■■、妻の■■■
・自宅から温泉地までの移動時間・旅館での意志伝達装置が使用可能か・親せき家族以外のボランティアの参加は?
家族他、人的資源は十分にあり
一泊の温泉旅行という長期にわたる

温泉地までの時間入浴中での体調の変化
あらゆる障害に対して対応する
家人の支え、公的サービスの利用
短時間で到着出来る場所を探す。
移動時間長時間？温泉地の選択近くに
入浴時に特に注意管理を要する
交通手段は大丈夫か入浴設備はあるか
慣れない環境急変対応の出来る病院の確保入浴介助
施設側の理解が必要
団体でいる時間は少し短かめにする
人工呼吸管理下にある
家族のささえ、親戚との対話、コミュニケーション旅行先の医療環境、介護環境
温泉までの移動時間、車？電車？の移動手段
・旅行先の喀痰吸引、専用ベッド、入浴システムの確認・移動時本人へのストレスをかけないような移動手段
旅館の受け入れ状況は？入浴の際のシュミレーションを行う
自宅から温泉旅館までの車での移動時間が長い。温泉につかることによるストレスや疲れが生じる。
・受け入れてくれる宿の確保・緊急時の救急病院の確保
温泉による感染R i s tは、介護職の関与は
身障者を受け入れる体制、設備運搬に必要な手段と人員の確保救急事態発生についての対処法介護者の力量
家族（妻）の支え、公的援助、病院（診療所）
ふだんと異なる環境への対応に対する不安
何の問題もない！
温泉の受け入れ他の客と関り
・移動時間・泉質や湯温・バリアフリーの有無・近隣医療機関について
移動時間に耐えられる体力を
車移動中臥床（睡眠）し、体力保持できるか（車の振動等）
2日間自宅外で生活する。器具の運搬、調整入浴用機器
車あるいは列車などの移動手段での準備、受け入れ先の準備が万全か。
妻、長男夫婦と同居介護者は妻意志伝達装置によるC o m m u n i c a t i o n可
・移動について・急変時、受け入れ病院の確保
目的地までの移動時間と態勢
生活の場が変わる事を十分確認しておく
・移動時間が3時間程度・入浴はできたら、大浴場を希望し・施設側の受け入れ体制
環境の変化に耐えうるか？感染をおこさないか？
長時間移動、入浴が対応できる施設かどうか。介助者は誰か…
浴場の構造
家族の支え、気遣い
妻の合併症の有無（介護に与える影響など）
診療所やステーションが対応可能な距離か？
施設での受け入れ状況。ねたまの姿勢で入れる温泉か（浴室か）温泉の温度湿度 急変時対応を依頼できる医療機関はあるか。
妻が明るく、協力的だが非力である。親戚も反対する人がいる。温泉旅館が旧く、バリアフリーでない
移動手段、温泉施設の受け入れ体制、設備が十分か
移動時間を少なくして本人の意思がみたされる温泉を選択 親戚との調整が必要
1泊2日別のところですよ ぶだんはつからない温泉に入る
湯船に入れられるか・気切部o r T u b eの先端は・入浴後の湯ざめ人工呼吸器が温泉で設置操作可か、移動可能可
宿の問題 距離時間の問題 人工呼吸器の問題
・家族の支え、人的資源 公的サービス援助
疾患増悪に対応できるかどうか
旅館の設備、移動の車の件 介護者、つきそいの体制など確かに調査する
妻の介護必要。通常の温泉には入りづらい。家族風呂が良いか。
・家族（主に妻）の協力はあるが温泉は車で約1時間のところである。・移動は意思伝達装置につなぐ電源確保。・宿泊所での食事に留意。・入浴時補助具の検討。
妻による介護、公的援助サービス ケアマネ、ヘルパー介助、介護保険、医療保険利用
家族（妻、息子夫婦）の支え、気遣い 医師、看護師の訪問 ケアマネージャーは訪問しているが、ヘルパーの介護はあまり入っていない。家族の負担の軽減が必要。

急変に際して温泉の近くの医療機関に主治医から連絡入れるか前もって紹介状を用意しておいてもらう
自宅から温泉旅館まで往復2時間は越える。風呂の場がバリアフリーになっている。他の入浴者に迷惑にならない
日常の活動範囲が解らない。
車での移動に耐えられるように平日頃車への乗り降りを訓練しておく。浴槽への入ったり出たりの訓練をしておく。
・温泉までの車移動は、普段のショートステイ入院時の移動時間から大変さを想定。・入浴は障害者受け入れ対応のホテルか旅館 フロにリフトがあればベター。介護に慣れた妻も入れるように、特例か家族風呂をセッティング。
温泉までの距離、移動時間が長いと危険
旅行施設全体の観察
・移動距離に合わせ、リクライニングや寝台を用意する必要あり。・ホテルのバリアフリー化、特に浴場の状況のチェックが重要である。
・旅行先での呼吸器トラブルに対する対応、近くに対応してくれるところはあるか。・浴場の環境
移動手段。宿泊所の設備。医療機関
自宅から温泉までの移動距離、手段、入浴介助？食事の介助？褥瘡予防？
自宅から温泉までは休みをとりつつ無理がないように行く。旅館にも要介護5であることを伝えておく。温泉に入れるかも調査しておく
往復4時間、山路、ホテルベッド使用、車椅子からの移動。
食事はどうするか？経管？
・長男夫婦も介護には協力的で今回の旅行にも同行する・宿はバリアフリーで近距離な所を親戚が手配してくれた
子供兄弟による介護 病院の治療
温泉旅館の電源の提供ベッド車椅子での介人工呼吸器の搬入の可能
自宅から温泉までの移動は片道2時間をこえる一泊予定であり居在の管理必要
・距離で疲労がどうか・食事トイレ介助のできる所の確保
本人と家族に無理のいかない時間設定を考えたスケジュールとホテル、旅館
温泉地まで移動に時間がかかる 入浴も慣れない場所で看護介護がその場での対応になる。
先づは、余りに遠くない温泉地として、安全を最優先とす。
長男夫婦、妻ともよき理解者であり、介護力は大きい。体調管理をよくしてくれる医師に恵まれている。
移乗に必要なこと 緊急時に何の対応が必要か
バス・汽車では臥位とりにくい。タクシー利用、高くつくので長男のマイカーでゆっくり走る。
別府・温泉までは、片道1時間を車で移動するため、ねたまま移動できる、介護タクシーの手配をする・バリアフリーの温泉をネットにて探す。
(交通機関、天候。温泉地の受入状況。把握←当地での医療環境？
温泉施設の選定
車等への乗降。車イスの固定。
旅館の設備(家族風呂)緊急時の対応(病院との連携)
種々の装置を持つての旅行となるが、看護師の同伴の可能性は50%である。3stと関わっているので、何とかなると楽感している。介護者は全て職を持っており、昼間は手出しでヘルパーを利用している。
温泉旅館ホテルに可能な設備があるか。
・Faがいる
移動時間。設備の問題がある。
日常での介護者は妻。長男夫婦は共働きのためなかなか介護に参加できない。外泊には公的援助サービスによる支援も必要。→介護タクシーの手配急な変化が生じた場合の対応の方法を事前にケアマネ等と相談。シュミレーションしておくなど。主治医による病状把握と急な変化が生じた場合の対応の話し合い。
長時間
受け入れ先があるかどうか
輸送手段の確認(車?) 酸素、吸引(入)装置 急な入院、処置のできる場所の確認
移動の方法、旅館の受入、介護者の妻の負担
家族、周りの人達の支えあいが可能であるか、主治医、訪看の協力体制
皆が楽しめない
移動のときもいつも誰れかが見守っていてやるよう気を配る
3h/位が車での限界か？
・移動や、温泉に入るのに介護力が必要。・全介助の方が入れる温泉施設を探さなくてはいけない。
協力的な家族がいる(医療側の協力が得られる)
・長時間の移動・宿泊先のバリアフリー、風呂場のバリアフリー・緊急時の対応
家族の支援。人的資源。公的支援サービス。かかりつけ医及び救急医の支援
要介護度5を受け入れてくれる温泉は移動時間は長い入浴に際して介助者の支援が必要
家族の支え、親戚一同の援助ボランティアの参加。
温泉地に医療機関があるか確認

家族（同居）の介護人的資源（医師、ナース、ケアマネ、ヘルパー） 公的サービス（医療保険、介護保険、特定疾患）
温泉のバリア
同行者の介護力 宿泊施設は？
周囲の人も望んでいる
・温泉までの移動手段、時間は？・浴そうに入る介護者の確保。・急変時の近所の医療機関との連携
・1泊2日の旅行中の移動、身体ケアについて。入浴についての介助者の受け合わせ。・親戚も理解あり。
・旅館まで往復2時間・旅館はバリアフリー（浴室も）浴室付きの部屋を確保・訪看の随行が可能・リフト付き自動車のレンタル可能
自宅からの移動時間が長い入浴に対して心肺機能への負荷
・温泉の移動の時間、車の大きさによる体位の変化がどうか、確認
・長時間の移動・温泉に入るために介助支援が必要。・バリアフリーの温泉、施設が必要。
移送、及び、旅先でのケア環境。入浴の手段
・温泉までの移動時間がある・対応出来るレンタカーが必要・温泉の設備
旅行の細かい工程を下調べ。（1泊する環境）休憩をどこで入れるか。気候の確認。
・温泉までは片道車で1.5時間の距離である・車は寝台車を手配してあるので仰臥位で移動できる。・主介護者は妻だが長男夫婦も介護方法を習い、少しずつ妻をサポートしてくれている
温泉なので、浴室構造が自宅と異なる。
介護者（妻）の負担 長男夫婦の介護参加とその指導 移動にかかわる環境調整 宿泊施設の選択
・自宅から温泉までの移動時間が片道1時間ほどである。・入浴準備～入浴後の着がえまで、1時間ほどかかる。
本人をささえるスタッフおよび環境本人をささえるためにスタッフ自体が環境状態をおとしていないか
・妻と長男夫婦による介護支援・ヘルパーによる介護支援・医師、看護師、歯科医、薬剤師による療養及び介護指導支援
温泉地までの移動時間が長時間に及ぶ。峠を越えるため車酔いなどの可能性も。
温泉（宿泊）場合は遠位であるが、客室露天風呂があり、兄弟や息子が入浴介助をしてくれる。又、宿泊施設にも段差の工夫のお願いをしてある
移動時間が長い 宿泊先での対応 温泉への入浴が可能な環境か
家族（妻、息子一家の支え） 人的資源（医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー等） ボランティア・近隣・友人 公的サービス（医療保険・介護保険） バリアフリー環境
長距離移動は困難。（往診医が必要。訪問看護師が必要。）
一泊する旅館での急変時の対応を考える 宿泊施設に車椅子等で入浴ができるか確認 主たる介護者が常に見守りができるか
・妻、長男夫婦、しんせき・温泉しせつのサポート・そうげい・緊急時の対応など
移動時間が長い。温泉には特別入浴装置がないので入浴は困難である
温泉のため滑りやすく、転倒の危険性が高い。段差があり出入りにくい場所もあるかも
移動時間が長い、旅館での動線がうまくいくような設備が整っている。
移動、入浴等に介護が必要
・自宅から温泉までの移動時間が往復3時間程度かかる・いつ急変が生じるかわからないため旅行先の病院と連絡がとれるようにしておく
・1泊2日である・回りは親戚一同がいる。
・自宅から旅行先（温泉）までの移動が往復2時間を超える。・1泊すると言うことで環境が変わりとてもつかれやすい。
温泉までの移動距離、運搬手段を考え実行可能か、主治医とも相談しておく
温泉の場所が山奥にあるので急変時の対応が難しい。移動時の整った環境
家族、親戚の支え 公的援助サービス 介護、医療サービス
温泉までの移動時間 旅館のバリアフリー対応の程度 浴場の構造
・往復時間が長くなった場合の援助
一泊旅行のため、道中の移動には寝台車が必要である。長男夫婦や他の親戚がいて安心である
・入浴を共にできる長男や、別居の次男が当日サポートしてくれる。・長男の嫁は看護師で、義父の症状を把握していて、主治医とも連携図れるが、当日同行してくれる。
移動時間は、旅館の設備はOKか
長男夫婦と同居→家族のサポート。キーパーソンは妻 主疾患に関し、専門医療機関との連携、情報共有、提供する。
長男夫婦同居、主たる介護者妻65才
目的地までの移動時と滞在時間を考える
長男と同居 介護者は主に妻（65才）
浴室までの移動や、入浴時の体の保持に努める。
家族、親戚は協力的である、介護タクシーを準備し自宅から温泉街まで約2時間の移動距離で今までも可能な範囲、温泉街に救急医療機関もあり急変時にも対応できる、気候も5月であり、晴れの予想、旅館の協力があり車椅子可能な大きめの家族風呂を貸し切ることが出来た。
移動時間、温泉側の対応。緊急時の搬送先。付き添いの必要性
受け入れは

自宅から温泉までの往復の時間、滞在時間、介護タクシーを利用し、運転手に料金を払って協力してもらう
一泊二日となると、事情をよく知る医師がいない為不安。認知症が進行する可能性あり。
車での移動時間が長い段差が多いため常にマンパワーが必要となる。
コミュニケーション方法の代替（意志伝達装置を使用しない）宿泊先の事前把握（バリアフリー）
本人のメンタル的に行かせたい（気晴らし）
長男 妻の介護、一部介護保険で何を期待利用するか
・温泉旅館、浴場での装置の利用の可否・濡れなどもしもの時の対応準備
家族の支え。人的資源。公的サービス。医療サービス。
長距離移動。初めての慣れない環境での入浴。かなりの準備が必要だろうと推測できる。
・移動時間・宿泊先の環境
季節を考える（時期）
温泉宿泊地まで移動に時間かかる。交通手段等。
家族、親戚の支え 公的援助 ■■、緊急対応の■■■
往復の移動の手段と時間。宿泊の条件入浴の条件
家族の支え。医療公的介護の支え。24時間体制
・自宅から温泉まで移動が長い。・バリアフリーのホテルを選ぶ。
・自宅から温泉までの距離、時間、季節・介護者の体調
温泉旅館まで休憩を入れて片道2時間かかる。入浴するのに最低2人は介助しなくてはならない。吸引器を持参しなくてはならない。
・長男夫婦と同居・親戚一同の協力体制・呼吸抑制が起きた際のバックアップ体制
無理なスケジュールを組まず、臥床できるように配慮する。
・宿泊施設の浴場は広さ、手すりの位置 e t c 自宅とは異なる・宿泊施設の設置、どの程度の協力・対応が出来るか確認（部屋・浴室・食事 e t c）・緊急時の対応・医療機関の確認（宿泊先・移動中）・主治医への協力依頼（緊急時対応・情報提供書・宿泊先の医療機関の紹介 e t c）・安全な移送車の確保・親戚一同への協力依頼
移動に相当時間要する。要対策
移乗、移動の問題。車での移動、温泉滞在中の人工呼吸機、吸痰処子。胃瘻注入の体制作りなど
・入浴許可
・変化があった時の対応法
自宅から温泉地（旅館）まで2時間かかる・外泊となる。・風呂入浴時の介助
・旅館の受入体制を確認しておかなければならない。・ご本人の体調により、スケジュール変更を検討する必要がある
移動に長時間かかる。一泊2日の旅行のためベッドやトイレ等の確認が必要。フロ、廊下等のバリアフリーも確認。
移動距離移動手段。宿泊施設のバリア
同行する介護にあたるマンパワー。それを可能にするため人をやとう場合の金銭的よゆう温泉場のバリアフリーの有無
移動時間等も綿密に検討して場所を選定。仮に何かあった場合の近隣医療機関の c h e c k。
家族状況 公的サービス利用状況
家族の支え（長男夫婦）親戚一同 車椅子 医療ネットワーク 介護ネットワーク
自宅から温泉までの移動に約2時間を要する。宿泊ホテルはバリアフリー車椅子のまま風呂場まで行ける
移動時の環境（あたたかいか寒いか）妻以外に誰が本人の介護を協力してくれるか、そのための練習は必要か
住宅環境不明
介護者の身体状況。主介護者以外の介護力の有無
移動時間が気になる
体位の保持に苦痛や身体的負担が最小限になるよう移動時、安静時、入浴時食事時を配慮した環境を整備。救急時対応策
・コミュニケーションは意思伝達装置が必要である・温泉までは遠く、移動に長時間かかる。・温泉に入るには補助具が必要である
・長時間の移動・温泉施設の設備
休けい時間と休けい場所をどうするか決めておく。経口摂取少しでも可能な人なら訓練続ける
移動についての協力体勢入浴時の協力体勢 旅行先での急変時の対応受けいれてくれる宿泊施設の選定
移動中に介護する側が体力的に大丈夫か、旅館がバリアフリーになっているのか
往復の時間が長いとつかれる
長男夫婦と同居妻が介護（65才）
疲れを減らすために、今回は自宅から数時間の温泉にした。車いすで入浴できる旅館を探している。介護用ベッドも使用できるか確かめておこう。移動用の車はレンタルにする。
自宅から近い温泉も1時間かかるので車の選択が必要。自宅での食事ばかりでよく多食をしたいので可能なメニューを
温泉は比較的近くにあり、在宅医、訪問看護の協力も得られる状態
長男夫婦も協力的であり家も広く室温などのコントロールも良い 環境整備がいきとどいている 同居者はいるが妻がすべての介介を行っている状況 古い日本家屋で夜間になると呼吸器のアラームが鳴ることが多い
・F a との関係・支援の状況・関係者との関係

長時間の旅の為、移動時間が長い
家族、親戚の支え。公的援助サービス緊急時受診する近隣の病院
親戚一同の中で全員の理解が得られるか。入浴のための補助用具が旅館に整備されているか。
宿泊施設での対応確認。停電時など介助のサービスが使えるか等
・移動時間・温泉での移動、食事。
移動時間と入浴体制
・介護状況・家族状況・経済状況
往復が短い温泉を探す。
バリアフリーorstepが沢山
宿泊施設の受入、選択。家族の協力。病院受診の準備
急変時の対応

(在宅療養支援病院)

急変時に受け入れる病院が近くにあるか
・親戚一同は、遠方の為、今回の集まりは皆にとって、貴重な時間となる。・長男夫婦が、皆が集まれるように段取りを立ててくれた。・温泉旅行先は、車いす用機械浴の設備がある。・病院には、毎週、学生ボランティアが来ている。・外出用サブマシンは、障害者センターで、レンタルすることができる。
・長時間の車その他での移動に耐れるか。・宿泊先の設備は大丈夫か。
浴室の環境。バード浴はムリだろうから、シャワーいすが使える？リフトがある？福祉浴がある場所を選ぶ。移動キヨリも考える。
親戚一同ということで、大型の車での移動になる
・一泊2日の温泉旅行、移動時間も含めて長時間の外出になる
家族の支え。施設の設備。人的資源。
自宅から温泉までの移動及び1泊2日という長時間の外出である。温泉に自宅と同じ介護が受けられる設備が不足する可能性。
移動、温泉につかれるか

(臨床研修指定病院)

家族の考えの一致
・交通の手段、移動の方法・温泉宿の状況（バリアフリーか？）・温泉（浴室）の状況、広さ、物理的な問題への対応が必要。
要介助、だれが介護するか問題、旅行中の介護問題
家族の身体介護、バリアフリーの宿泊施、急変時の医療体制の整備
温泉まで片道3時間（車）温泉までは部屋からエレベーターとろうかまで移動できる
・温泉までの移動距離・温泉の浴室はバリアフリーであるか
親戚一同で行動できる環境にある。長男夫婦と同居。介護者は65歳妻〇問題点、同居家族の障害への日常的は支援内容の評価が問題。本人の喜びを同居家族がどれほど共有できるか。同居家族と共有できると楽しい旅行が期待できる
妻、長男夫婦と同居。妻は高齢者、健康状態、介護力等情報収集を要する。
・入浴（浴そう）時間が1分弱（苦しくなってしまうので）。・脱衣所から浴室までの距離が長い。20M。
・長男夫婦と同居
・自宅から温泉までの移動時間が片道2時間かかる。・温泉は洋室もあるが、電動ベットは無いため、クッション等が必要・人工呼吸器、吸痰器をセットするスペースが必要・親せき一同が食事をする場所の確認。経栄養を行うスペース・温泉の浴槽の形状、入りやすさ、介助のしやすさを事前に確認する必要あり。
自宅から温泉宿まで、車で1時間程度かかる。大浴場はバリアフリーになっているが、露天風呂はバリアフリーではない。
・ある程度の移動の介助が受けられる・旅かんにも設備が整っている
・宿泊先の建物の構造（コンセント含む）・介護に必要な物品手配・提供される食事の形態・浴室の構造・宿泊先の施設の配慮がどの程度可能か
一緒に同行する家族が負担に思わないか
計画している温泉地までは、片道3時間程度かかる。障害者用のお風呂がある。
・親類全員で入浴はムリだが、近い人と、気がねなく入浴するため、個室（自室）に温泉がついている部屋を手配。だきかかえるように入浴させてもらう。呼吸器は自宅のままでよい
・自宅から温泉までは、車で約1時間を要する・車椅子で乗車出来る車の手配・温泉でも支援しやすいようにベッドを準備してもらう・意志伝達装置の器機のサポート体制を作っておく・緊急時の対応の確認をしておく
温泉までの移動時間は、往復2時間を超える。入浴時間及び着がえは1時間を超える。
自家用のワゴン車での外出。ホテル（旅かん）はバリアフリー。救急体制（QHP）がとれる範囲での場所
妻65才が主たる介護者、長男夫婦と同居。長男夫婦は仕事をもっているが、夜間、土日は介護に協力的
家族風呂等がある温泉を選び、家族からの介ゴを受けやすい環境を整える
妻（介ゴ者）65才の健康・レスパイト長男夫婦の協力、訪問医療（往診、看ゴ）ヘルパーの提供

温泉までは1時間で車はワゴンカーなので、車いすをのせることができる。男性の身内がいるので移車もOK。温泉は家族風呂があるがシャワーチェアが必要

(訪問看護事業所)

いつもの違う場所での入浴となるため不安が強い
バリアフリー等をかくにん
協力する家族がいる
長男夫婦の支援が必要である。父親のための旅行など目的意識を持つ必要あり
近い所にする
・温泉までの道のりは、時間を要し、山合いの場所のため道路状況が悪いところもある・道中はリフトタクシーを使い必要な電源を確保・支援体制の確認(妻をサポートできる協力体制)・温泉に入るための前準備で必要なことの確認(男性介護者、安全面の確保と、第一に入浴可能な宿泊施設かを確認)
温泉ホテルの室内段差ある
温泉までの移動時間が、片道1時間。医療スタッフが2名同行できる
家族の支援、具合が悪くなった時にうけいれてくれる医療機関
・外的サービス、交通機関の確認、宿泊所との打合せ・旅行先での医療施設の確認
・自宅から結婚式場までの移動時間が、往復2時間を超える。・結婚式披露宴も3時間ほどである。はなむけの言葉は、披露宴の終わりごろである。
移動時間が1時間弱温泉にはバリアフリーの設備あり
・自宅から温泉までの移動時間がかかる。・長時間の移動後の温泉への入浴となり身体負担が大きい。・温泉は公衆の場であり、介助を要する。
親戚一同の支え。人的資源。泊まる旅館の協力。
移動距離・時間がかかる。入浴できる風呂はあるのか。ポータブル人工呼吸器・吸引器の用意。緊急時に対応できる人の確保。緊急時の病院の確保。
旅行先まで車で往復6時間程度。宿泊先は車椅子使用しベッドの部屋がいいと伝え対応できるか確認済。
公共の温泉で個浴の対応ができるか、リフトなど安全に入浴できる体制の確保
温泉地までの移動。温泉地での療養場所。温泉に入ることができるか?
・長男夫婦と同居・意思伝達装置の利用・妻(65才)が主な介ゴ者
行きたい温泉を聞き、それに対し安全・安心・安楽に行ける為の方法検討
長時間の移動と宿泊により、疲労や体調の変化はないか。
・車イスでの移動が可能な交通手段と宿泊先の状況。・ベッド、浴室のスロープ
入浴リフトのある施設をさがす(バリアフリー)・宿泊先への状態報告、診療情報の準備、救急受診可能な医療機関への根まわし・家族の支え、可能なら訪問看護自費利用・車イス対応の車の確認、食事内容の確認
・温泉旅館までの移動時間考慮・温泉に入る事は可能なのか・付き添いはどうするのか
車イスでの移動は問題ないか?温泉は段差がどの程度か?個室フロなのか?電源はどうなっているのか?
温泉地の病院への連携+支援
温泉地までの移動に時間がかかる。在宅とちがい、物品がそろっていない。
専門職が、いない家族だけで、介助できるかいつもと違う環境で、事故が、起こらないか不安
夫が■■、洗濯物、取りながら、面会に見える。
・長時間の車移動。・宿泊施設の設備。・入浴時の介助者が長男のみのためヘルパーを依頼
温泉に入浴用のストレッチャー又は車いすがあるか。温泉に電源はあるか。誰がアンビュを押すか。泊まれる宿があるか
・温泉と一緒に入る男性に吸引できるように修得してもらう。・宿泊施設に世話をかける事を了解してもらう。又、配慮できる部分はできるだけ過ごしやすいよう依頼する。
自宅から温泉旅行場迄の移動に絶えられるか。重症患者を受け入れてくれる所が見つかるか。
・自宅での介護・家族等への負担
・情緒を安定させる・「楽しいなあ」と行う気持ち
長時間の移動
温泉旅行の場所はどのくらい時間を要するか。車椅子はチルト式が望ましい。移動の手段、休憩方法、宿泊先の部屋の状況。保険証持参。近くの病院も確認(救急時)
温泉の構造。バリアフリーか?車いすごと入れるのか?入浴方法は?
旅館での移動(バリアフリーになっているか)温泉に入るための設備プライバシーの確保
・医師との相談(どうすれば叶うか■■■)・受け入れる温泉や可能な場所検討・リスク回避のための連絡網や必要時医療者のつきそい・費用の問題
受け入れる温泉施設(受け入れられる…設備上)支援力(妻、家族、ボランティア)＜社会資源も含め
・温泉までの移動時間1時間・長男夫婦が協力的・いつでも医師と緊急連絡がとれる体制にある
・旅先までは車で2時間ほど座位は可能である。浴室の移動時介助がいる
介護者もまだ若く、長男夫婦も協力的である。

長男夫婦と同居
温泉旅館室内移動に段差多い。浴室移動は可能も湯船に入る際搬送手段に工夫必要。
コミュニケーションボード等利用しながらも本人の意思を尊重し、本人と皆と同様に参加している事、ありのままの状態を周囲が認められる環境
・全介助で毎日トイレや車椅子の移乗をするには介護力がない。(2人での移乗がむづかしいがキカイにたよりたくない)
予め宿泊施設の状態を確認。
発症後の旅行は初めてで温泉に入ったこともない。温泉地までの移動時間を要する。
・自宅から、旅行先までの移動時間がある・旅館での移動について、段差等の有無・家族風呂の使用で対応。
・宿泊先のベッドの状態、有無
移動時間が片道2時間かかる。
温泉はこの人が入れる設備等があるのか？親戚一同へのケアの指導が必要。緊急時の対応や病院等あらかじめ確認しておくことが大切
親戚一同の思いやりがある、長男夫婦と同居している。主たる介護者の妻がいる。
移動手段や宿泊施設の設備の確認。(バリアフリー又は浴室の状況)
・宿泊先までの移動時間を考慮・宿泊先での装置の運搬、電源、水まわり等の確認。・家族風呂・緊急時の対応。
温泉のかんきょう。移動手段。誰が夜間の介ゴをするか。使用するバッテリー
車イスで入れる温泉か。浴室も。貸し切り浴室になるのか。食堂は畳ではないか。
・移動手段、時間は確認・ホテルは車イスでOKか確認・温泉は車イスでOKか確認
・温泉までの移動時間が、体制を安楽に過ごせるか？・入浴は、ゆったりと行なえるスペースはあるのか？
移動車、移動時間、移動手段
2時間以内で車イスごとに入れる温泉をさがす必要あり。旅行先で体調を崩した場合のバックアップの病院をさがしておく必要あり(できれば訪問看護師の同行を考えても良い)
・温泉までの移動の介助・温泉(外泊)に耐える姿勢
意志伝達装置が利用できるか宿泊地の確認。ベッドで臥床できるかの確認。近医との連携
親戚は、一緒に旅行できるぐらい仲が良い。長男夫婦が、同居。ただ、主介護者江妻(65才)老々介護になっている
往復の移動就寝場所がいつもと異なり、必要な医療器具の運搬が必要。
・移動時間・旅館の設備・人的資源・緊急時の病院・家族の協力
・車輪付きのシャワーチェアが持ち込める様なホテルを探す。・泊まる部屋はベッドでないといけない。
家族親戚関係。サービス利用状況。長男夫婦と同居。介護者は妻。
家族の支え(親戚一同)の程度。公的サービスの利用。近隣の病院の状況。宿泊施設の設備内容、受け入れ状況。
・妻、母、長男の4人暮らし。・妻が主介護者で、出来るだけ介護したい意向・娘家族が近くに住み、協力・季節的に仕事が多くなるため、介護の手薄な時が生じる。・要介護5
・妻が中心的に介護しているが、遊行など必要時には長男夫婦の支援がある。・妻の介護負担を考えると人的資源の利用が考えられる
・移動時間が長い(?)・温泉施設が、どのような設備なのか。
長男夫婦と同居、妻65才、親戚の協力がある
長男夫婦と同居、公的援助サービス、かかりつけ医、新せきの協力
・移動方法、時間・宿泊旅館内の構造・急変時対応病院
目的地までの移動時間が長い。自宅以外で泊まる。
・移動に時間がかかる。・環境の違う場所で寝泊まりしなければならない。・温泉に入るには人手、援助が必要。
家族の支え。同行、H・HがNsあり?(オプション契約)急変時の旅行先の救急HPの検索と診療情報の携帯を
たまに、違う空気を吸ってみたい
温泉地までの移動に時間がかかる
長男夫婦と同居
妻は介護に慣れている。娘がNsで協力する。旅館にリフト等が設備されている。具体的に動線を確認し、どういう手段が必要か確認が必要。
自宅から温泉地までの移動時間が往復2時間を超える。温泉地に家族と共にいれる家族風呂がある
親戚一同での旅行との事で気分転換が図れる。
・温泉地まで車で、片道2~3時間・バリアフリーの温泉付ホテル
・自宅から宿泊先まで長距離移動となり、その間に身障用トイレのある所で休けいを取りながら行く。・車内で意思伝達装置が使えるように設定充電が必要
・妻、長男夫婦の支援体制・宿の住環境
・旅館までの、移動時間がかかる。・妻、長男夫婦の協力が必要。・温泉、旅館の形態(介助にて入浴させることが可能か、Bedがあるか?)等
温泉までの距離が、移動に耐えられる時間か。施設設備の確認
・親戚一同ということで、人数が多い。・居住空間がいつもとちがう。(ホテルor旅館)・浴槽が、家とちがう。
家の改善、階段の改修。

移動距離、慣れない環境で一泊二日の生活
・たくさん機器を持ち運ぶための人材、車、部屋のスペース、コンセント等含を要す。・家族も楽しめるための、ケアスタッフの同行があると良い。(費用負担について外出等も、公的に認められると良い)
旅館までの移動距離が長いと考えられる。出来るだけ近い場所でみんな一緒に移動出来るところで温泉に安全にはいれるところをさがす。
・環境の違いから何が起こるか予測しかねない。・病状悪化の際のH o sの確保と連携・長時間になることによる負担。
旅行先の環境がどの様なものかを事前に十分調査する必要がある
・ホテルまで3時間かかる・ホテルはスロープがありバリアフリーなのか。・ホテル近くに病院はあるか。
・1泊2日で旅館に宿泊。・器械設置充電等が必要。・温泉は、家族風呂などを予約。・吸引道具を2日分準備
同居家族がいなければ、介ゴカが足りない
温泉まで移動に長時間を要す。宿泊にあたり、なるべく自宅環境にちかく環境せいびが必要。(意志伝達そうち、ベッドなど)
・子や親せきが交替で介護できるかどうか・浴室や部屋が身体状態に見合っているか
温泉まで行く手段。車椅子に長時間坐ることができるか。介護タクシーなどの利用。
・家族(妻、長男夫婦)の支え。・フォーマルサービス(D r、N s、ヘルパーケアマネ等)の活用。・医療保険、介護保険利用。・特定疾患医療。
・親戚の手助けがある
自宅から、温泉までの移動時間が長い?温泉入浴に、他人の入浴を止めてもらう。
移動時間
・温泉宿までの移動時間が長い。・自宅の入浴と温泉での入浴の違いがある。
温泉地の季節変動による環境変化に対する順応力を養う。
主介護者は妻、長男夫婦と同居
・旅館内の状況確認(車椅子使用の可否など)・道程の移動手段・食事内容の確認
移動が長時間である。
・普段の様子を知らない人が参加する。・車いす利用可の温泉施設確保。・病状変化に対応できる地域病院、施設の確保。
・旅行の手段として、車イス対応の車が必要・旅の宿はバリアフリーor 段差が少なく、大きな段差がない・息子、親戚男性の協力が得られるか
移動手段
旅館の設備はどうか?バリアフリー?ベッドなどの設備は、泊まれるのか緊急時の体制は、対応できる看護介護が整っているのか。
・自宅から温泉の距離と移動手段はどうか?・温泉はバリアフリー、ベット等の設備が整っているのか?
要介護度5。公的援助サービス(医療・介護保険等)の利用。長男夫婦と同居だが主たる介ゴ者は妻。
車での移動時間が長い。慣れない生活空間でトラブル発生のおそれがある。車の中で突然何かが起こった場合、かかりつけ医に連絡はいつでもつけられる。
・自宅から温泉旅館までは約1時間。・旅館内はバリアフリーになっており、車イスでの移動はスムーズ。
旅行移動時間に耐え得る体力の調整と入浴方法
長男夫婦と同居 65才の妻が介護者
・バリアフリーの介護者が付きそえる温泉が必要・緊急時すぐ行ける病院があるか
宿泊先の受け入れ状況、安全面の確認が必要。入浴時間、混雑をさけるなど、装置や緊急時サクシヨンの準備も必要か。
・呼吸器、伝達装置、吸引器を運ぶ・経管栄養の準備・宿泊場所の協力は?
移動時間、宿泊先や浴室の状況を事前にチェックしておく
温泉での食事について検討、入浴の場所等について旅館と相談。
人的資源の活用、家族、親戚を含めた吸引等の技術の習得。宿泊する宿への説明、協力の依頼車イスの乗車する車の手配
自宅からは遠くない所に行くが、万全の装備とは言えないのでトラブル時の対応に不安あり。
・長時間の移動が考えられる。・宿泊場所の構造
長時間の移動と宿泊による負担増入浴の環境のちがい
・妻・長男夫婦の支え・人的資源(行政、D r、N s、ケアマネ、ヘルパーさん)・保険利用(医・介保)
65才の妻が介ゴしている。息子夫婦や親戚とも仲良く協力的。妻の介ゴ疲れはみられる。温泉地での宿泊設備入浴設備は整っていて介助浴が可能か。緊急時の対応が近隣で可能か。
宿泊施設まで、移動時間が片道1時間かかる。
・65才の妻の介護・長男夫婦と同居・床ずれ予防の為、車椅子用クッション、夜間のマットレスには注意が必要。又は体位変換
介護者は妻のみ(時々長男来訪)ヘルパー等の支援は希望せず(妻も本人も)訪問者はケアマネと訪問看護師、入浴サービスと受診時の介護タクシー
・呼吸器の電源の確保・温泉入浴時の介助のマンパワー・旅先での緊急対応
・移動時間がかかる・温泉での介助
介護者は妻。長男夫婦と同居。・温泉側に状況を伝え協力・呼吸器使用不加にそなえ、アンビュで一定時間保てる人力確保。
・家族、親族は協力

・移動手段・段差の有無・他のお客さんに対する配慮
・妻の他に誰が支えになってくれるのか？
自宅から温泉までの移動時間、旅行先での過ごし方、バリアフリー対応
長男夫婦と同居、主介護者は妻65歳
長男夫婦、親戚一同のサポート。移動、物品、運搬
温泉地までどの位かかるか？一般の人との浴槽に入れるか？
・温泉までの移動時間が長い・車イス乗車時間が長い。温泉に入りたい
・長男夫婦との関係は良い。・妻はヘルパー講習に参加されるなどして、介護技術を学ばれている。
・ボランティア、病院関係者、保健所、福祉系等総べてのサポートで温泉は可能。・人工呼吸器の勉強会を行う。
・移動手段（車・電車・飛行機）に合わせた調整・宿泊施設の設備、環境の確認
・移動時間が車で1時間位の所の温泉地を選びたい。
家族の支援（妻や長男夫婦）公的援助サービス利用。装置を利用しての入浴。車での移動時間
・宿泊先の旅館の設備や受け入れ体制・目的地までの移動方法・時間など・旅行中妻以外に介護に参加できる人はいるか、又は協力者をさがしケアの指導をする
自宅から温泉までの時間、交通手段。温泉の部屋の状況（1Fか2Fか、エレベーターはあるのか？布団かベッドか？緊急治療が可能か？伝の心使用時電源使用可能か？）温泉の状況（車椅子、またはストレッチャーでの温泉利用が可能か？脱衣室の状況）長男夫婦をはじめ、親戚の介護力、家族関係
自宅から温泉までの移動時間が長い。親戚一同が多数集まる。
・旅館へ身体状況を話してどこまでの対応が可能かを他のALS患者へ情報提供をたのむのも必要・移動に数時間かかる・人的資源、公的援助サービス
・温泉の浴場、露天風呂はバリアフリーか？今検討している泊場がもしちがうならば、バリアフリー対応のホテル等にするべき。
w/cがのせられるワゴン車など必要。宿泊先バリアフリーが限定。浴室もバリアフリーが限定。又は個室のお風呂が必要。
家族の協力あり（娘と夫、2人で交代で介護）HP、VNSサービス、かかりつけ（レスバイト先）あり。訪問リハビリ、医療保険、介護保険サービスの受け入れあり
・長男夫婦と同居。・介護者65才の妻。・人的資源を活用。
・妻と長男夫婦と同居
・長男夫婦と同居しており外出援助が可能である・親戚一同が温泉旅行することを望んでいる
長男夫婦・妻と同居。必要な介護が受けれている状態。妻の介護疲労の可能性
家族（妻、長男夫婦）の支え気づかい。公的援助サービス。受診病院
・乗り物への配慮・トイレ、入浴時の環境。・栄養、食事の工夫、対応。・■■■■に関する。（・かけ物・ねる環境・湿度温度など
妻が介護者。長男夫婦と同居
・宿泊先までの移動時間、移動方法を考える。・温泉施設での入浴が夫婦同伴が可能か？・介護者の介護負担は？
・介護者：65歳の妻・長男夫婦同居
旅行先で温泉に入るため環境を整える必要がある。（温泉先にも協力を）（社会資源）
・移動方法、手段、人員・医療機器の設置や電源・宿泊先の協力、バリアフリーであるか
・自宅からあまり遠くない距離での旅行先を設定する・休息がとれるようなスケジュール調整と宿泊環境が必要
・宿泊ホテルの選択・宿泊ホテルとの打ち合わせ・宿泊ホテルと業者の打ち合わせ
・温泉までの移動時間長い・温泉の施設が、要介護5でどこまで対応してくれるか不明なので入浴等時間がかかる。
自宅から温泉地までとうちやく時間
家族の支え。公的介護。医療の支え（24時間）
家族（妻、長男夫婦）の支え・気づかい、人的資源、公的サービス利用、妻は介護でうつぼくなっている。
・温泉までの移動時間が長い。（行き、帰り）・温泉自体の環境。・旅行先での医療面での調整。
・妻と長男夫婦と同居している。支援が必要。・定期的に医師、看護師の支援。
・自宅から旅行先までの移動時間2時間。・公共機関の乗りつきが2つ。・温泉に手すりがついていない。車イスでの浴室への入場は不可。
移動の車の手配、居室の環境（介護Bed）入浴の最他者のめいわくにならぬよう貸し切りの予約。バリアフリーか？食事（胃ろう注入）の準備、吸引器の設置。
・移動時間、距離・移動手段・旅館の受け入れ・旅先での緊急時の医師の受診確認
温泉地まで長時間かかる。自宅とは違う、環境の違う温泉地での宿泊や入浴と、不便さもある。
手伝、移動キョリはどうか。
・医師、緊急時の対応。宿泊先への連絡。万全を期した、準備体制。・妻は65才、妻以外の方の家族、親族のサポート。社会資源利用。・意思伝達装置持参しての移動。
季節（気候）、宿泊施設の構造－浴室。景色→気分転換。移動時間、交通情報、救急病院の確保。
長男夫婦と同居 主介護者は妻65才 親戚の協力がどのくらい得られるのか
移動時間がある。普段と生活環境が違う。

妻、息子夫婦の協力が得られる
温泉に入りたいが介護してもらって入れる場所か。長男、嫁が手伝ってくれるのか？
入浴にかかわれる人の人数確保介護力は十分か。親戚といってもどのくらい本人を理解してくれているのか不明。急変時の連絡体制、旅行先での受診医確保。
家族の支え、同居している長男夫婦がいる。介護は主に妻（65才）
自宅～現地まで移動時間長いと親戚協力をえて、途中で休みながら、本人意志を確認（疲労感、呼吸器トラブル）
妻、息子夫婦の援助で移動や入浴が行えるか。
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、かかりつけ医、訪問看護、バックアップ病院
・施設内での車椅子等の利用状況・風呂での男性の方の介助はどれ程OKか
自宅から外出するのに段差がある。道のりが長い
・移動時間 ・外泊先の環境 ・入浴中の急変時の対応。
車いすでの移気が可能。吸引器、車いすを必要とする。宿泊先の、バリアフリーである必要あり。
長男夫婦と同居
温泉旅館にはw/o使用の温泉があるか、かくにん
温泉地までの移動手段
自宅から温泉までの移動時間がかかる、旅行先の環境（部屋、浴室、浴槽、ベッド等）、家族や介護者の確保
・バリアフリー環境・車イスでの移動ができるか・温泉での入浴介助器具・家族だけで対応することができるのか
乗り物は何を使うか。
障害者でも入浴可能な場所の選定、移動方法
・入浴を共にできる、長男と、別居の次男がいる。当日サポートしてくれる。・長男の娘は看護師で、義父の状況を理解し、主治医とも連携図れる。
・自宅から温泉までは、片道2時間かかる。・ホテルはバリアフリーである。
・車での移動は可能だが温泉に入るためには段差のない風呂が必要、もしくは人手が必要
移動手段にかなりの人手が必要、排泄時の対処、清ケツを保って見苦しくなく対処出来るか
公的援助、サービス、家族の支え、医療的なサービス
往復の移動の手段と時間、宿泊の条件、入浴の条件
・親せき一同で行く・妻がそばにいる・家族風呂のある温泉
2日間に及ぶ外出となる温泉に入ることから温度変化がある
・宿迄の移動時間は本人の坐位可能時間と合わせて、目的地を決めてもらえないか・入浴時の介助の確保。又、宿の風呂の設計等調べて安全に入浴できるような所にする
・温泉までの移動時間・機械浴などの有無・長男夫婦は協力的
・自宅から温泉地までの移動時間が長い・宿泊先の環境の情報収集が必要・家族がどこまで支援できるかの検討が必要
・移動や、入浴時など親戚内でどの程度協力を得られるか・温泉宿泊先の受入れや道中の設備など対応できる状態か
移動距離、時間が長く、口語によるコミュニケーションが困難な為、移動中のトイレ（オムツ交換）等の場所確保等の確認が必要。また受入れ可能な宿泊場所の選定
・自宅から温泉までの移動時間が長時間であり、苦痛が強くなる可能性・宿泊する為、宿泊先のバリアフリー状況（車イスが可能か等）
寝台車での移動。温泉までかなり距離がある。
温泉でのトランス及び転倒リスク。呼吸管理。費用面。
・長男夫婦と同居 ・主たる介護者は妻65才 ・温泉までの移動時間がかかる ・温泉の受け入れ体制の準備が必要 ・（客室の状況、介護物品の準備）
・泊りでの外出であり、車椅子、車への移動がある。・宿泊先の環境も事前に確認が必要。（段差、エレベーター、部屋のベッドなど）
どのくらい温泉場までかかるのか。どのような車椅子、除圧のクッションにするのか。途中休憩は、どこにするかなど面密な計画を立てていく
自宅より、遠い可能性あり。宿泊所での、UPダウン移動あり。他の宿泊客との入浴時間の調整必要。又は、専ぞく風呂のある旅かんをさがす。
・温泉までの移動に時間がかかる。・温泉に入りたいが妻の介護のみでは難しい。・美味しいものを食べたい。・移動中のトイレが心配である。
・長男夫婦協力的、長男が車イス介助。・妻は腰痛あり・嫁との関係良い・親戚は見守っている、家人の心の支え
移動時間、どんな車、旅館の設備
距離、車など移動の環境、宿泊施設の環境、介護力
・外泊することでの変化、身体面での緊張。温泉に入る。・2日目のスケジュール疲労移動。
・温泉まで遠い。2時間程かかる。・車椅子用の車はあり。・温泉施設での受け入れ状況の確認。・ねながら入れるようになっているか確認する必要あり。・温泉施設のBedは？車椅子対応の設備あるか？確認する必要あり。・緊急時に対応してくれる医療機関の確保。・親戚一同の病気への理解はマチマチ。・意思伝達装置はもっていけない。
・移動に時間がかかる。・温泉側のうけ入れ・介助

・自宅から温泉旅館までの移動が3時間を越える。・自宅とは違った環境で1泊過ごすことになる
移動中意志伝達装置に代わるコミュニケーションの方法
・寝ながら入浴、浴室の広さ？・車イスで移動出来るか？
長男夫婦と同居、主介護者妻（65歳）の支え気遣い
・自宅以外での宿泊となり色々な準備が必要、宿泊先との調整が必要
・移動時間が少なくすむように旅行を計画・緊急時の医療機関の確保を行う・妻以外の長男夫婦の協力を得る体制を整える
・全く違う環境で、体調が変化することが考えられる。・急変時どの病院で対応してもらえるのか。
移動時妻や家族の介護負担が大きい。旅行先での温泉は施設の問題がある
・旅行の移動時間が長い・宿泊場所の環境・同行者の役割、緊張時の対応・旅行予定の気温等
・旅先への移動時間・温泉は、すべりやすく危険もある
・自宅から旅行地までの移動時間、・移動手段に使われる車（電車、飛行機）の情報・旅行中のトラブル・緊急時の対応マニュアル・宿泊先の受け入れ状況・フロア環境
旅館までの行程、距離、浴室の環境
妻（65才）が介護者、医療機器管理ができる介護者が必要。旅行する時期、場所、宿泊先の設備、環境の問題がある。緊急時の対応の問題がある。
・家族構成（キーパーソンも含め）・保険の種類・公的サービスの利用状況
協力体制、介護力、又介護量の確認、旅行先や栄養時対応の確認、温泉に入る→安全性
移動時間が長くなれば、リクライニングができる車イスの乗車ができる車が必要。温泉はバリアフリーなのか本人が入れる温泉になっているのか。
・自宅から温泉へ行くまでの距離・本人が入浴できる場所の確保。・家族のみではなく、医療職又はヘルパーが必要になる。
・温泉までの移動時間
・自宅の構造、外出の移動手段、温泉に入る為の手段及び、旅館の構造。・そこまで行くのにかかる時間。車いす等座位時間がどれだけかかるのか。・介護力（家族でできるのか？）
・2日間、自宅からはなれる。・温泉に入る。
予定の温泉地まで2時間（車）車イスでも対応できる温泉施設があるか調べる。
家人の介護、急変時の対応が可能な病院主治医
移動時の安全の確保、吸引の整備、呼吸器の管理
温泉までの移動時間が長い。温泉に入る事はうれしく、楽しみでもあるが、入浴時間に制限を感じる（考える）
温泉に入る時の支援者があり安心した入浴が出来る様にもっていく
どんな温泉か、場所、設備面、環境面も、調べておこう
旅館を選ぶ必要がある。（可能な場所）家族を中心に介助する人数が必要。
介5での移動は1泊2日であるが本人への負担は大丈夫か。
温泉までの移動時間が長い。温泉に入る、浴室に段差があり、介助者も不慣れである。
・自宅から温泉地まで往復2時間を越える。
長男夫婦と同居 主に妻が介護にあっている
温泉の環境、車椅子で行ける介助者の人数
移動でお互いが休憩できる場所があるか？
・泊まる場所までの移動距離・温泉設備、居室設備・移動方法、車イスのポジショニングの工夫
リクライニングの車椅子で乗降できる支援が望ましい。入浴対応にも支援が必要。
天候・交通・施設・介護者種々の条件を考慮する。出来るだけ混雑しない場所えらび利便性を考える。
主たる介ゴ者妻。長男夫婦同居。
一泊二日がどのあたりでどの程度の時間を要するのか？長時間は望めない
息子家族と同居。自宅での自営業であり声かけで常に誰かがきてくれる環境
・本人の希望は強いが、1泊2日の予定を少し減らす。・宿泊先のホテルの近くに病院はあるのか確認する
呼吸器を使つての外泊、2日間、外出は、初めて。
・温泉へ入る時は長男と親戚男性の支援が受けられる。
・温泉までの移動時間や体位などの環境に困難がある。（移動数時間かかり、介護タクシーなどの利用で体位づくりが必要）・体の拘縮があり、入浴時は2～3人の介助が必要である
近場の温泉（1時間弱）で、バリアフリーで障害があっても利用可能で介護者にもやさしい宿が見つかる。
・自宅から温泉旅館まで車で片道3時間・旅館にはバリアフリーの風呂有り
妻以外の介護力（長男夫婦）親戚の介護力、サービス利用状況
段差等、移動手段・旅館の環境・移乗・温泉の環境
休みを取り家族と共に過せる時間を長くつくり旅行先とも連携
近くに緊急時に対応できる医療施設がある。利用すると温泉に、車椅子利用（バリアフリー）可能。公的サービスの利用について積極的。同居の家族との関係。（介護への協力。）妻の介護力
自宅からの温泉施設までの移動、手段、その方法、施設側の受け入れの課題（浴室、施設内の移動方法、寝室。）緊急時の対処方法

横になって移動できる乗り物を準備。家族が24時間、見守りをする。
片道1時間以上の外出はしたことがない。要介護5で宿泊施設を利用した経験がない。
・お風呂は通常は訪問入浴。・ご家族ができるか。・宿泊先の風呂の状況はどうか。
車椅子と参加者が乗れる車の用意をする。看護師の同行が必要。
・要介護5レベルを受け入れられる宿泊施設は限られる。・旅行中必要な物品、人材の確保
24Hの介護を必要とする1泊2日の温泉までのアクセスホテルの状況を調整する必要がある。ベッドの電源
病態によって旅行先を配慮する
1時間以内で行ける場所の選択。介護が可能な施設。緊急時に協力可能な病院との連携
自宅から温泉までの移動に長時間かかる。
呼吸器を装着したままの入浴方法を家族が修得する。往復するのに数時間かかる。自宅とは違う環境の中で、自宅と同じようなケアが必要。宿泊する側の受け入れが必要。
長男夫婦と同居
長男夫婦と同居。妻の不安や希望は？現地まで医療、介護スタッフはどのような支援が必要か。慣れているスタッフの方が本人家族は安心である。親類、周辺の協力はどの程度得られるのか、現地の状況を確認。
・W/C乗車出来る車を持っていない・旅館まで片道2時間かかる・温泉は、人が抱きかかえなければ入れない・ベッドは通常ベッド
・温泉は、家人が介助できる様な環境である・移動時間が長い
・自宅から温泉まで片道2時間かかる・車椅子利用が可能な所を選択・在宅酸素業者が宿泊先に酸素等手配・長男夫婦、兄弟が介護可能
・自宅から目的地までの移動時間。・旅行先での移動の場所の状況、旅館のバリアフリー化の具体的状況・日頃使用している機器が外出先でも利用できるか動作かくにん。
安全に旅行できるよう、移動中の交通機関の中での吸引、呼吸器の外部電源の確保を必要とする。
長男夫婦と同居介護者妻65才。介護力はどのくらいあり関係性は。その他、利用可能なサービスは
・温泉地までの移動きより・宿泊日数・温泉の成分
・キーパーソンは妻65才・長男夫婦と同居・かかりつけ医の支援は、どうなっているのか。
医学的かんり状況。利用サービスとの関係。
道中の時間、機器の確認。車いすの選択（座位、臥床ができる）疲労を最少限にする入浴の方法
自宅から温泉までの移動距離と時間。車に乗降するときの体制。温泉の協力医師、看護師、ヘルパーの協力滞在する部屋の環境必要物品の移動
・一泊2日で夜間対応が問題・危機管理・旅行先の受診できる病院・身体的確認
・家族親族一同が、病気への理解、介助をよく理解している・自宅から近場で、障害者受け入れ可能な施設。
・車での移動で1～2h・到着してからの旅館内の設備はバリアフリーになっている・浴室は広いがスロープがない。
・長男夫婦は就労しているが、帰宅後や、休日など介護に協力してくれる・妻は持病を持つが、夜間の訪問看護サービスの利用をしたりで負担を軽減していきながら介護をつづけている。・親戚とのつきあひも親密で、理解もあり、心の支えとなってくれている。・主治医との関係も築けている。
自宅→温泉までの移動の手段、移動の時間。宿泊先の環境はベッド？お風呂の形状。妻の介ゴ有り、人的援助公的サービス
・近くの温泉、旅館受け入れ可能か。・緊急時対応可能な医療施設。・入れる温泉浴槽があるのか確認
長男夫婦と同居。往診医、訪問看護、介護、訪問リハ
温泉施設の設備、交通手段
・介護者は65歳の妻。
・温泉地までの移動時間が長い。・長時間の座位・移動手段（車イス）・排泄時の対処・旅館の部屋（布団、床）
・自宅より旅館まで約1時間、途中景勝地にもよってみたい・旅館はバリアフリーであるが風呂は特殊なものはないので、皆に手伝ってもらって入りたい。
移動手段（車）の選択。リクライニングできる横になれる車か、リクライニング機能のある車イスごと乗れる車。入浴時に援助できる人数、方法確認
移動時間。温泉の状況（段差等）

(訪問介護事業所)

自宅から行き先までの距離と時間を確認 移動方法の確認
親戚の構成、長男夫婦、妻)負担はどのくらい？
・車での移動時間が長時間に及ぶ。・途中、渋滞していれば所要時間が読めない。
入浴の設備が万全とはいえない。宿は室内までバリアフリーか否か
住宅環境、長男夫婦の介護の役わり、室内状況（電動ベット？など）
移動時間が片道2時間ある。自家用車での移動。
温泉までの移動手段、車？介護力、温泉施設
自宅から温泉までの移動時間が可能（体調的に）なのか？温泉に入っている為の用具等設備は大丈夫なのか？意思伝達方法の仕方？

移動時間は短い場所を選ぶ
・温泉地までの移動時間・入浴時の注意
・自宅から旅館までの時間が長い。・一泊での外泊。・温泉に入る。
長男夫婦と妻の役割分担。旅行先の受け入れ体制
長男、親戚の協力要望妻含む 体調様子を観て介護する
・旅館の設備の確認・特に風呂場の状態と車椅子移動についての確認
温泉旅行の移動 普段と違う場所で1泊2日する
・温泉地まで2時間かかる。途中のサービスエリアには旧式で車イス対応トイレが狭い・温泉のトイレも車イス用までに段差がある。
移動時間が長い 宿泊先の環境（バリアフリー）がわからない
長男夫婦と同居
・自宅～施設まで1時間位・移動中、山道のカーブが多い。
温泉側の受け入れ体制は出来ているか。移動時間、移動手段は適切か。
・家族も楽しめる場所で極力近場を選択
介護保険だけでは絶対的に支援が不足。この不足部分をサービスに求めても家族に求めても対応不可能。
・妻と親戚の介護力・医療器具の扱い
長男夫婦の支え、温泉でのサービスへの協力を得られる、主治医などの協力
自宅から温泉旅館までは2時間
温泉宿泊先での受け入れが可能かどうか
・移動時間・温泉に入る
・意思伝達装置が防水ではない為入浴中は使えない。変化に気づきにくい。・浴場の足場が悪く、車イスでは入りづらい。抱えてもらう必要がある・他人の目が気になる
長時間の外出は初めてである。本人にとって楽な状態で移動をすることが必要
温泉までの移動が長時間で温泉に入っているための介助がおこないやすい条件が必要。65才の妻だけでは無理。同行の親戚で出来るか不安ある。訪看サポート必要。家族へのサポート必要
自宅から近場の温泉地迄、介護タクシーを利用し、医療機関も確認しておく、片道3時間車中
・自宅から、旅行先までの移動が往復3時間を超える。
久しぶりの温泉に入れてうれしい。
福祉用具など生活上必要な物は揃っている
温泉までの移動 温泉内の施設設備 介助者
自宅と全く違う環境 遠方に行く為、医療機関の確認
自宅外での宿泊
・リクライニング車椅子orストレッチャー…角度・介助者の手配・主治医、看護師、訪問介護事業所との話し合いと対応策
・リクライニング式車いすで移動・入浴は介助者が2人必要
普段使用している器機の点検と異状時のことも想定しておく
移動時間を考え場所を選ぶ 移動手段、援助者を考える 自宅とは違う環境で過せる用意
主介護者の妻の他、長男夫婦同居し協力が望める。温泉への交通手段は確保され車イス等の対応も可能である。医療器具の使用も了解され体調変化時のバックアップもされる。休憩場所も確保できる。
片道2時間までの移動は可能。温泉に入るのも皆様の支援が有るのでゆっくり足も伸ばして入りたい又服装はきっちり守って頂きたい。車イスは介助が必要。
自宅から温泉までの移動時間が心配である親戚の協力と参加で記念としたい
長男夫婦と同居主たる介護者は妻65才
旅館の情況
長風呂はさける。急な温度差に注意
・自宅から温泉地までの移動・入浴場所の安全性
家族の支えだけで大丈夫？ 移動サービス 医療との連携
温泉地での段差やストレッチャーで入れるか否か事前調査が必要
家族の一員としての位置付け、自分の思いは、意思伝達装置を活用して思いを伝えている。希望も多く出せる環境
・移動時間の短い所をさがす・温泉での入浴可能か設備を点検する。
介護タクシーetcを利用し、外出を試みる。目や肌で感じる刺激を大切にする。介護も積極的に利用
受け入れ施設確認 受け入れ病院確認 車イス対応車用意
・宿泊先の設備に合わせた介護者の人数や能力は大丈夫か・旅行前後の体調管理と緊急時の対応ができるか
自宅は身障住宅で余り不便なし。事業所までの移動は介護タクシー
自宅から温泉地までの移動距離、方法 食事、入浴（浴室の状態）
・1泊するということで、体調管理に不安がある。・長男夫婦等、家族の協力を得る。
食事の対応も心配のひとつ自宅から出ると気温も変動するので、十分に気をつける。
家族の24H年中無休の介護 公的サービスの利用 24H対応の往診、訪問NS

自宅から温泉までの移動手段、温泉の受け入れはどうか？介助者は？
・近場の温泉地を選んで、移動時間は2時間ぐらいかかる。・ホテルでは家族や親せき以外の人とも出合う。
・移動中の健康状態の確認が必要。・体調の急変に備え、拠点となる医療機関等を確認しておく。
・温泉地までに約3時間必要・入浴用キャリー等がない。・宿泊施設のバリアフリー化が不十分。
温泉施設が郊外のため、移動往復3時間かかる。宿泊部屋と温泉施設が離れており段差も多い
いつもは妻に介護してもらっているが今日は親戚もいるため、周りにも配慮して行動をする
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、診察をうける近隣の病院や主治医
・移動時間が数時間になる・移動手段の検討・温泉宿の設備、対応の可否・入浴時の宿との調整（障害者の入浴への他の客への理解の求め）・観光地見学の計画、可否、対応方法・容体急変時のもよりの医療機関の確保・公的介護サービスの受給計画～宿泊の費用負担・ボランティアの活用計画・排泄の処理・食事の調整
妻がキーパーソン。長男夫婦と同居。親戚との良好な関係。公的サービスを幅広く利用している。
移動する車の中で痰が取れるか？
・1泊2日の長時間外出、遠出。・他者の目にふれることへの恐怖心（本人・家族）・初めての外出、介護者が小柄。
妻の高齢化。長男夫婦の負担
・同行親類メンバー・主治医の確認・訪問看護同行？（緊急時）・交通機関方法
車イス移動の段差によっては、妻がいても、対処しきれない所があると聞いているので不安、長時間の座位姿勢は疲れる
1泊2日の温泉旅行の移動時間身体的負担が考慮される
・自宅から温泉までの移動時間が往復2時間を超える・温泉内の更衣室のスペースが狭い。・家族、親戚からの支えが有る。・訪問看護
主たる介護者は65歳の妻
自宅から、温泉までの移動もながく温泉もいって最後に入る。
・移動形態が可能か・食事は摂取可能か・親戚は参加に対して難色を示していないか
移動時間など、泊まりをするので奥さんへの負担が大きくなりたくない様にならないといけない。
安全に入浴できる温泉か確認。ベッドがあるかどうか。入浴用のチェア必要。
・1泊2日で滞在時間が長い・旅館の建物構造に問題がある（障害者には
客室が、電源が十分に備っているか移動時の身体的負担。車いすやベッドでの移動の際の交通機関の負担や不便さ。介助者の体力的な負担がないか
外部におねがいする人達に密に連絡しかくにんする
・温泉までの移動時間が片道1時間・コミュニケーションには意志伝達装置が必要・入浴時車イス（入浴用）使用
温泉地での入浴手段の確認移動時間
旅館に着くまで長い間車中で揺られる。なれない風呂に入る（介助者は妻以外の者）嚙下のない様な食事。
家族（妻・長男夫婦）の支え。人的資源（行政・医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー）公的サービス（医療保険・介護保険等）
久々の温泉
・福祉サービス・主治医・家族との関係
・長男夫婦と同居・主な介護者は妻
・温泉旅行の宿泊先までの移動時間は〇〇・1泊2日となり、長時間である為休めるよう配慮が必要・入浴についてスロープがあり、専用車イスを持っていく。
ALSの方が入浴できる施設があるか調査が必要。
できるだけ楽な姿勢を保てるよう環境をととのえる。
長男夫婦、妻
家族のささえ（主に妻中心で）看護、介護支援等
旅行先の受け入れ状況や、施設の下準備（見学）など必要である。主な介護者（妻）への配慮など。
旅行中の安全確保、問題解決のシュミレート
68才の妻が介護（健康状態）長男夫婦と同居（介護等への協力度）（移動に伴う室内や外出先の状況）（緊急時の医療ケア）（保険外サービスの提供事業所の有無）
理解のある旅館を見つける。入浴は貸切りできるものとする。
在宅では状態に合わせた環境設備が整ってるが、外出先では、設備や備品が不十分。・緊急時にかかりつけ医院から離れている為、旅行先での搬送先が不安
・どのくらいの距離、時間の移動が考えられるか・移動の手段はどうか・介護者である妻氏からの支援・緊急時の医師との連携体制はどうか・入浴中の介護はどのようにするのか・温泉旅館側との連絡体制、対応をどうするか・親戚一同での旅行ということで、本人への支援を行える人数は多くいることが予想される
移動及び時間
1時間ぐらいで行ける旅行にすること。バリアフリーなど整備ができていない旅館をえらぶこと。また、近くに訪問看護や病院があるかなどのチェックをしておく。
自宅からそれほど離れていない宿泊施設をさがし、外泊の自信をつける
・妻および長男夫婦が交代で援助・主治医は大学病院（連携がとりにくい）・介護サービスによる支援（毎日）
自宅からホテルまでの移動時間は4時間かかる。名所めぐりは休けいを取りながら4時間かかる。

1泊2日の遠距離長時間にわたる旅行によりALSの緊急時の対応
旅行へ行き、体調変化はないか
温泉までの移動時間が3時間を超える
介護者は妻65才
交通機関は利用上問題はないか、移動中のオムツ交換等は可能な状態であるか？
旅館での入浴の際、対応する人員、家族風呂か大浴場か、車イスでどこまで入れるか
温泉地まで距離がありまた寝室浴室も家とは全く違う。
車での移動距離が長い。
移動時間 移動方法 宿泊先の環境 入浴時の介護者は誰か？
家族・公的サービス
自宅から温泉地まで2時間以上かかる。
子の協力
家族介助可能な温泉を検討する。障害者対応の施設もしくは、温泉付きのお部屋等。
移動時間と環境のちがいで疲れるが温泉のあたゝかさを味わってもらいたい。まわりの手も借りる事になると思う。
・自宅から温泉がある所は2時間かかる
・長時間、同じ姿勢での移動。・宿泊先のベッド、浴室、家族だけで浴室に入れられない
・移動手段をどうするか・宿泊施設のバリアはフリーなのか・入浴時は大丈夫か
・大浴場まで車イススロープがあるかどうか。
家族の支え 公的援助サービス 往診に来る主治医 ボランティア
・行きさきまでの時間・病院（道中）対応してもらえる所の確認・宿の協力有無
・自宅から温泉地までカーブの多い山道を通らなくてはならない・温泉のお湯の温度がその日によって違う。
自宅から温泉場までは車での移動長時間かかる。環境の道路、天候、そして温度差等を考慮する
自宅から温泉場までは車での移動長時間かかる。温泉地の道路、天候、そして温度（気温）差等を考慮する。
長男夫婦と同居され、妻の介護をうけている
家族の支え、人的資源公的援助サービス診察をうける近隣の病院や主治医
・自宅からはなれて一泊2日の温泉旅行・温泉に入浴したい・長男夫婦と同居65才の妻が介介しているの、温泉入浴に長男が介助できるように練習をしてもらっておく。
・移動手段・移動時の体調管理・旅行先での入浴対応・栄養摂取、器具などの洗浄
自宅から温泉地まで2時間をこえる 温泉の入浴は20分ぐらいである。
家庭環境がこわれる
長男夫婦同居 妻
長男夫婦、65才の妻の支え 気遣い、人的資源、公的サービスの利用がどこまで出来るのか。旅行先の受け入れがどこまで可能なのか。緊急時の対応がどこまで出来て連絡態勢がとれているのか。
・2日に渡る旅行ということで、移動時間が長い。・離床時間が長くなる。
・温泉までの距離が遠く、長時間の座位が困難。・移動時のトイレは紙オムツ使用しかし本人嫌がる。
・自宅からホテルまで、1時間かかる・移動時に本人と機械を乗せる車を用意する必要がある・入浴時の浴槽は広い場所が必要である・家族関係は良好、妻は高令。
妻による介護、意志伝達装置、親戚が本人の対して、好意的で介助を得やすい。旅先の宿の協力（バリアフリー等）
宿泊先の部屋の環境浴室の環境 移動の手段時間等の確認
温泉はなるべく近場を選ぶが移動時間は2時間程ある。車中よりの景色を楽しみにしている
・自宅～目的地までの移動時間が長時間になる。
・介護者（妻）以外の同行者も移動、衣服着脱、入浴介助の訓練が必要となる・宿泊先の受け入れ状況の確認・乗り物の選定・病院の確認
長時間の移動 更衣介助時の対応 妻の介護の程度 意思伝達装置の利用 入浴時の対応 長男夫婦の介護の手助け
移動時間。浴室環境。食事等の環境。衛生保持。
温泉地までの移動時間が長い。宿泊施設のバリアフリー化やベット、浴室の構造
自宅から温泉までの移動時間について・温泉の入浴方法について
1泊2日の温泉旅行である・休憩する場所は限られている
家にとどまらず外に出られることを知って貰いたい
長時間なる為家族が気を使う事も多い
1泊2日という長時間の移動。温泉という体調の変化に気をつける
・温泉までの移動時間・ALSが入浴できる温泉をもち、その対応ができる宿泊施設があるか
・宿がバリアフリーであるか。・温泉に入ることができるような特浴があるか。
移動時間は車で1H程。旅館が受け入れ可能か？
家族（長男夫婦、妻）の支援あり いつも状態を把握している主介護者の妻もまだ若い。
長男夫婦の支援が望める。温泉までの移動、かつ温泉の浴場がバリアフリーであるか未確認。

近くに温泉がない。
家族の支え 人的資源
家族・親戚の支え 家庭環境の充実
移動は長時間で体力が必要
車で時間がかかる。
長男による入浴介助
・バリアフリーの建物か。・移動が多い。
・移動方法、移動時間・入浴することで困難そうなことがあるかどうかの宿泊施設への確認・食事、排泄場所の確認
・移動時間・移動後の温泉入浴
移動時の座位やトイレ。入浴中の事故。
宿泊施設、交通機関などの受け入れは十分であるか
老老介護 同居家族への遠慮
・家族の協力・公的サービス利用
温泉まで片道約2時間かかる、妻も介護疲れあるため介護人必要
宿泊する旅館がバリアフリーや車イスなどでの利用ができるか？
移動時間は長時間かかる
自宅から温泉までの時間が40分位かかる
・長時間の移動時間・入り慣れない「温泉」に入る
車でホテルまで片道3時間かかる。長時間のため体力が心配
・移動手段・宿泊先の設備（エレベーター、浴室、ベッド）・外出先での排泄手段・親族の協力・急変時のバックアップ
長男夫婦・妻の介助
・一般車では、往復できないので介護車が必要・長時間（距離も）では、排泄の処理が出来る施設も必要・障害の程度に合った温泉施設を選ぶ
・自宅から温泉までの移動・温泉で一泊2日すること・温泉は、介助できる温泉か・ホテルや旅館はどんな環境か？
ALSでも受け入れることができる設備が整っている温泉があるか。家族、社会資源が整っているか。
・温泉地に行くまでの時間・入浴中の呼吸状態
不明
・自宅から宿までの移動に絶えることができるか？・温泉の環境が整備されているか？
？
温泉までの所用時間は自宅から3時間位。温泉の浴場の段差がある
車イス（リクライニング）対応できる バリアフリーに改修してある
・温泉施設の受け入れの確認・移動手段の確保・専門家の必要性・たんの吸引の為の道具を持って行く
自宅から温泉宿まで、往復4hを超える。途中休憩をはさんで移動する。妻と長男夫婦の協力
家族（妻、長男夫婦） 人的資源 公的サービス
長男夫婦の支え 公的援助サービス（訪問看ごヘルパーケアマネ訪問リハビリ）福祉用具の貸与、購入 病院、主治医
外の景しきや風景をお話する。泊まりの宿のこと等話す
・移動時間が長い・お風呂は混雑する時間を下げたい
・宿までの移動時間が2時間をこえる。・食事時間えん会は2時間の予定・温泉は1時間の予定である。
自宅から温泉まで、3時間を超える。夕食前に入浴する予定（貸切）
・長時間となるため意思伝達装置の確認・縮泊地の車いすでの移動環境も確認する
移動や入浴介助があり、疲れやすくないか
疲労の時間だけいやしの時間をもうける、充分、目と耳と体をいやせる時間準備して
長時間の移動、旅館での泊り等奥様の介助負担も大きくなる
・家族、親戚の支え・公的支援サービス・旅館での環境・旅先で受診できる病院、主治医との連携
自宅でがないカンキョウでの1泊 親戚とはいえ病気になった利用者との1泊は初めても人達がいる
・温泉に行っても特殊浴が無いと入浴できない・介護用ベットが必要
温泉への移動に電車に乗る 1泊なので夜間にも介護必要入浴時の対応（リフト浴）必要
家族親戚の支え、気遣い 主治医からのアドバイス
温泉には入れるか、浴室の中を確認 利用客の少ない時間帯など細かい留意点を把握する
長時間の移動に耐える体力をつける。外泊による環境変化に対応する
主たる介護者：妻65才 長男夫婦と同居
移動の時間が長くなる コミュニケーションがとりにくいので疲れないようにする
介ゴ保険サービス、医療保険サービス
・親戚一同で温泉旅行・長男夫婦と同居・妻65才
親戚一同での旅行なので皆の支えがある
・旅行先までの移動時間が長い・入浴中は、意思伝達装置が使えないので、本人の気持ちに気づきにくい

<p>宿泊先を片道1～2時間程度とする。体調に合わせて、座位⇔臥位に変更できるようにする。介護職の同行も視野に入れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅館はバリアフリーが整っているか（ベッド、エレベーターなど） ・温泉などでの移動時の手助けをしてくれる人材（長男など）が協力してくれるか ・旅行にはリフト車等の送迎車が必要である ・主介護者だけでは負担が大きいので長男夫婦の協力がいる ・風呂場に浸るには入浴車が必要である
<p>自宅から宿までの移動時間は1時間、バリアフリーの為宿の移動は出来るが温泉の段差や着がえに介助が必要</p>
<p>移動時間 急変時の対応を確認</p>
<p>主たる介護者（妻65才）（息子一人同居） 自宅にいる 人的資源（ヘルパー、医師、ケアマネ 公的サービス（医療保険、介護保険、自立支援法 利用）</p>
<p>主な介護者は妻 長男夫婦と同居</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行先がバリアフリーでなく、移動がしにくい。 ・介助者が必要な方の入浴拒否 ・自宅デイサービス経営なので、住環境は整っている。 ・冬期間、外出難しい。海拔1000m高原、雪積多い。
<p>必要想定されることを皆で確認理解し合いその時の対応もどうしていくか決めておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から旅行先まで移動時間、片道3時間を超える。 ・観光ということで、2時間くらいは、皆と観光地をめぐる。 ・他の皆と一緒に行動したい。
<p>自宅から温泉があるところまでの移動時間はどのくらいか？ 温泉に入る為の用具がととのっているか？又持って行けるか？</p>
<p>家族の介護協力</p>
<p>長時間の移動、座位となると気分不良等の訴えがある。その後入力となる。</p>
<p>移動の時間 体調が悪くなった時の対応（HPからの指示 e t c. ）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉地までの移動が車での移動（長時間になる可能性がある） ・温泉地での浴槽の状態 ・長時間の外出、ましてや外泊は久々である ・温泉に入ることとても久々で、また、リフトも必要
<p>介護者が妻のため、体力的に厳しい。本人が楽でいられるのり物を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から温泉までには、車での移動が必要となってくるが、ストレッチャー対応型の寝台車が必要。 ・入浴には、介助が必要でシャワーキャリーが準備されている方が良いと思われる。 ・温泉施設が身障対応がされている方が良い。 ・妻が介護・長男夫婦が同居 ・介護入浴施設のある温泉を探すあるいは、部屋に温泉付の所を選ぶ ・緊急時対応ができるホットラインの確認
<p>旅行に参加する心の安定</p>
<p>温泉に1泊2日で行き、温泉にも入りたい。移動時間もかかる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在の人的資源では実現がむずかしい ・実現に向けての検討する場がない
<p>状態悪化時の対応についても考えていく</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉への入浴が安全に出来る設備である。 ・ALSの持ち運び ・取扱いに十分注意が必要である。
<p>家族（長男夫婦同居）の支え ヘルパー デイケア 訪看</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から旅館まで片道1時間かかる ・入浴できる設備のある所で安全に入浴したい
<p>温泉旅館までの長時間の移動なので、旅の気分を車窓から、感じられるよう配慮してあげたい。</p>
<p>家族の支え、人的資源、公的援助サービス、診療を受ける近隣の病院や主治医</p>
<p>家族の支え、入浴をする為の用意、人員の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速でも片道3時間かかる。 ・温泉に入るという最大の目的を達成する前に体調が心配
<p>できるだけ移動時間を少なくするように目的地の設定。</p>
<p>同居家族の支援、会話の場がある。</p>
<p>介護者、妻以外が装置の利用方法の習得</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から温泉までの移動時間が長時間 ・1泊する事により、今までの環境とは異なった所での生活 ・何の設備もない温泉による入浴
<p>休憩しながら、移動でしたので思ったより腰の痛みがなく緩和された気がする</p>
<p>先々の異なるIADLに対応できるか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宿泊先まで何分くらいか？ ・部屋の構造は？
<p>家族（息子夫婦、妻）の支え、支援、人的資源（行政、Dr、NS、CM、ヘルパー）等公的サービスの利用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自宅から温泉地までの移動時間が長く、間に休憩を入れて3時間かかる。 ・温泉はバリアフリーでなく大浴場だけである。
<p>親戚一同での1泊2日の温泉旅行の機会を得る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意思伝達装置をどれくらいの時間だったら外せられるか。 ・車いすの支援が必要
<p>妻の介護、長男夫婦同居</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族（長男夫婦、妻）の看護・診察を受ける医師、看護師・公的援助サービス
<p>自宅から宿泊先まで往復2時間以上かかる。障害者用の設備があるところでボランティアの人がいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親戚の人手を借りることが可能である。 ・移動が長時間に渡り、途中トイレの場所を確認必要。 ・家族、親戚その他友人等の支援、どの位？ ・医療、介護との関係状況は？
<p>介護者：妻と長男夫婦</p>
<p>皆さんとお話したいが妻の助けが要るのでもどかしいが、色んな話をしたり、聞かせて貰いたい。</p>
<p>家族の支え、公的援助サービス、診療をうける近隣の病院や主治医</p>

移動時間が長い。途中の休憩場所がない。
車での移動時間。温泉に入ることができるだろうか。
1泊2日という短い期間ではあるが、移動、休養のペース配分を考える。親戚がたくさんいる為緊急時の対応は大丈夫なのではないか。
長男夫婦と同居。
妻65才の支え。長男夫婦と同居。公的援助サービス利用。診療を受け近隣の病院・主治医等の利用。人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等）利用。
宿泊施設側が受け入れてくれるかどうか。
自宅から温泉までの移動時間がどのくらいかかるのか。1泊2日の間、慣れない場所で行動する。
自宅との室温の変化に気を付ける。自宅での浴室と勝手が違うので注意。体調不良になった場合の病院やサポート状態の確認。
・家族（妻）の支え
医師や、家族の判断で弁出するはずなので、何が問題となるのか？（緊急時の対応を「心の準備」として、介護者は考えなければならない事は、当然の事と思いますし、病状が悪化の場合は、参加はしないと思います。）
受入施設、移動介助者、インフラ
近くに温泉が有っても障害者用の温泉が遠く迄で行かなければならない。
・介護用の車をレンタルする。・親戚も行くので介護を手伝ってくれる人はいる。
・移動、2時間ぐらい。・入浴時は息子が見守り安全確保
・自宅から温泉場までの移動時間が長時間となる。・普段自宅での入浴とは違う環境で入浴する
公共の場で対応できるか
家族の支え。人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー）。公的サービス（医療保険、介護保険）
あまり近くてもいけないが2時間程度の所を選び、疲れない様にしたい。渋滞はさげたい。
・自宅から宿泊施設までの移動時間が往復2時間をこえる。・旅行は1泊2日ほどである。・初日に温泉に入ります。
・家族（妻、息子夫婦）の支え。・親戚。・公的サービス医療
移乗や移動の環境を整えば居宅内から可能（自分の意思で）
・旅行先まで、移動時間がかかる。
温泉地まで半日（3時間）かかる。浴場、食事等の環境対応
家族（妻、長男夫婦）主な介護者妻。宿泊先の受け入れ。プロの旅行に同行していただける介護職員の方が、いると聞いているので、出来るならその手配をしておく
親戚一同が参加する。移動には手伝ってもらえる。
親戚の支えが必要。1泊する前に主治医に診断書などを書いてもらう。泊まる所の近くの病院をさがしておく
・家族の支援・支援体制
・自宅からの移動時間、片道2Hはかかる。夕方早目に入浴行い、時間に余裕を持つ
久し振りの一泊旅行。車で出かけることや旅館（ホテル？）での移動等、身体にかかる負担が大きい。帰るまでに、様々な介助の手が必要になる。
温泉への移動時間。車イス使用。温泉でのトイレ、ベッドなどの環境。浴室でのシャワーチェア使用。
特殊浴槽の有無。浴室・脱衣所までの車椅子行動は可能？家族・親戚に入浴介助経験者は？温泉場の協力医は？
自宅から温泉まで往復4時間越える。移動時間・食事・入浴以外は横にならなければならない。
・自宅から旅館までの移動時間が2時間を越える。・途中の観光地にも立ち寄ると、片道3時間を越える。
・家族の支え・旅館（温泉）の理解・医療機関ー主治医の理解、急変したときの対応
親戚一同で一泊2日旅行に行く事が日々である。慣れない温泉で入浴が出来るのか？
・温泉場迄の移動、旅行のプランにどう対応するか。・旅館の又はホテルでのバリアフリーの様子について一緒にゆく人達の介護者の認識について
・移動手段は有るか・受入のホテルは有るか（バリアフリー、入浴設備）
妻・息子夫婦と子供たち、妹夫婦の協力。今回参加しない弟が宿への連絡をしてくれ、加湿器を特別に設置してくれることになった。人的資源（医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー）公的サービス（医療保険・介護保険）
移動時間、温泉の環境の調整
・自宅から温泉までの移動時間が1時間を越える・温泉の浴そうにつかるのに介護者が複数必要になる
温泉での宿泊にむけて、必要な介ゴ機器の搬入、入浴時には男性介ゴ者の支援も必要
自宅から旅行先までを移動時間を1時間ほどの所に設定
・旅行先までの移動・温泉での入浴（設備がないこと）・専門の介ゴ者がいない。・環境がかわることによる身体への負担
楽しさを表現する
宿泊施設のバリアフリーが出来ているか、交通状況（渋滞等）、気候の変化
・生き帰りと移動時間が長く片道2時間程かかる。温泉施設もバリアフリーに近い環境
温泉地までの交通手段に出来るだけ配慮し、負担を軽くする。
家族（妻、長男夫婦）の支え、気遣い、人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等）公的サービス（医療保険、介護保険等）の利用
1泊2日という長期の外出により極度な疲労が予測される

・行く先を1時間30分以内で移動できる場所にした。・妻が装置の扱いに習熟してきたので、コミュニケーションを図るのに不自由はない。
・移動時本人の負担が少なくなるように車の配慮・温泉での移動などは専門職の同行
長男夫婦と同居、妻が主介護者、温泉への移動手段が必要
自宅から旅館までの移動時間が片道3時間かかり、入浴の為には最低30以上の座位保持が必要
自宅より1時間位で行ける温泉・バリアフリー対応の温泉施設で入浴可能
・自宅から温泉までの移動時間が往復2時間を越える。・温泉に入るには、温泉の方の支援が必要。
自宅から車で2時間以上あり体に負担がかからないか、長男夫婦の協力が得られないので妻に負担がかからないか
要介護5と介助が必要な温泉施設がない
車イス移動が可能か（全てのスペースにおいて）
自宅から宿泊施設までの移動時間。入浴、施設内は、車イス対応となっているのか。
・移動時の方法（車）・宿泊（ホテルなど）場所の移動が楽にできるか（バリアフリーなど）・入浴時の介助方法
自宅から温泉地までの移動時間が、かなりある。ホテル内での移動、段差、入浴方法等の問題がある。
・移動は大丈夫なのか？泊り先は、対応できるのか
・温泉までの移動時間。・施設の要介護者を受け入れるようにつくりられているか？
・温泉までの移動時間は、途中の休憩－食事・排便等－は、・親戚一同とのコミュニティは。
移動手段 入浴時の介助の方法、手の手配が必要
・温泉旅館の浴場は、本人が入浴できる状況にあるのか。・家族風呂や混浴でなければ、誰が介助するのか。
・家族・親戚とも本人を含めた仲間意識がある。・緊急時の連絡、準備。・宿泊先の理解
長時間の違った環境によるストレス
親戚の支え、家族の支え 人的資源（介護保険 医療保険）と（公的サービス）長男夫婦との同居
・ヘルパーの利用 ・主治医との連携 ・親戚の協力と役割分担 ・旅館との連携（主治医を含めた）
・家族の支え、人的資源 ・公的サービス。（緊急時にDr. Nsと連携） ・バリアフリー対応の宿（車イス対応の浴場あり）
・泊まりであり、自宅とは違い旅館に宿泊しなくてはならない。・親戚が周囲にいてくれる
◎どの位の距離を移動するのか。その手段、方法はどのようなものか。◎本人がその移動に耐えられるか。
自宅から温泉地までの移動手段を考える。自家用車であれば移動中の時間
・家族の援助 ・車椅子可能の福祉車輛の確保 ・旅行先でのヘルパーの利用
・移動手段は介護タクシー手配、片道〇時間かかる。・必要機器も持っていく ・目的の1つである、温泉入浴の介助を長男親戚の男性に依頼。
一泊2日の長時間の外泊。温泉という環境への適応が可能かどうか。
・家族の支え ・公的援助サービス ・診察を受ける近隣の病院や主治医
・車で移動だが、親しい方達ばかりの外泊で、人手は足りる。
在宅での生活が慣れているが乗物等には介助が必要
目的地の宿泊ホテルまで、約2時間はかかる。大浴場は他の客の迷惑になるので宿泊する部屋に隣接しての浴場は温泉である
・自宅から温泉旅館までの移動時間が、往復2時間を越える。・旅館では自分達だけでなく、他の宿泊客も多ぜいなので迷惑かけないようにする。
1泊2日である為、大丈夫であるかとともに心配である。
自宅から温泉までの移動 宿泊先での部室の環境。
自宅から旅行先までの距離。泊る場合の寝具（ベッド）が変わる。入浴施設、機材が整っているか。
・更衣・入浴は全介助が必要 ・障害者用宿泊施設を選択 ・移動中の障害者用トイレを確認
自宅から温泉への移動。温泉施設での入浴方法。
・自宅から宿泊先までの移動が長時間。・宿泊先の受け入れ体制 ・長男夫婦・妻の介護力
・旅先までの移動。・就寝1泊する必要がある
温泉地の訪問介護事業所と診療を受けれる病院との連ケイをして、情報を提供し、地元のサービスを受けながら、家族、本人の支援をする
長時間（車）の移動がある。温泉（浴場）に手すりがない食事メニューが本人に合うか
自宅から温泉先までの時間、体調が変化しないか注意する。温泉入浴時間の制限を決める。旅行先の緊急時対応について確認
・温泉先での医療機関の確認・介助の担当者
1泊2日の旅行のための移動などに時間がかかる。
長男夫婦と同居。家族の支え。人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等）。
・自宅から宿泊地まで移動時間が長い・温泉に入る為、介助が必要
寝台式の車イスが乗る車を調達する必要がある。旅館近くに医療機関がある。
外出することを計画する喜びや、帰宅してから、皆で、温泉旅行をした内容を話す喜びを感じる。
・自家用車で2時間程かかる温泉へ行くことになる。・車椅子対応のホテルや旅館を選んでもらったから、気が楽になった。
家族（妻・長男夫婦）の支え。人的資源。公的援助サービス。主治医・近隣の病院。
温泉までの車中が2時間ある 旅館側の環境が対応できるか心配である

自宅から温泉までは移動時間が片道2時間近くかかる。脱衣所から浴槽まで段差が多い。休日の為混み合うことが予測される
車での移動では時間にゆとりをもって景色なども楽しんでもらいたい なにより温泉は久しぶりとなるので是非、入浴してほしい
温泉まで遠い。1泊2日の温泉旅行。
家族（妻・長男夫婦）の支え 訪問介護、看護、医療あり 公的サービスの利用
親戚、家族の支え
移動手段や時間に対応出来るのか 温泉旅館での環境にADLがついてくれるのか？ 意思伝達装置を利用できるのか？
温泉までの移動時間がある。温泉に入るまでには何人もの手が必要となる。
車で移動する為長時間座位の態勢、温泉でも介助が必要である。
妻長男夫婦の支えあり
移動手段、バリアフリーの設備、福祉用具、医療面の支援。家族、親戚の支援。緊急時の対応
・自宅から温泉までの移動時間がある。・伝達装置の利用方法・排泄ケアの確認・施設内に状況
移動の車中は楽な姿勢で本人の疲れの度合いをみのがさない。
妻、長男夫婦、親戚の支え気遣いあり。移動時間の大変さ。
車イス対応者（介護付き旅行会社の選定をする）バリアフリーの旅館を選定。
温泉での移動時間が長い。宿泊先の調査（ALSの方が十分に安全に楽しめる、施設となっているか）
温泉地への往復時間中出来だけ移動しない様注意し、事後の身心状況をよくチェックする
・車での移動が片道1時間を越える。・山々に囲まれ空気が澄んでいる。
温泉地まで車で2時間、参加者は全部で6名なのでとても気を遣う。
・介護者の経済状態。身心状態。・施設の状態（バリアフリーはいりよ）
移動に難あり
・温泉に入る為には、皆さんの支援が必要 ・移動時間が長い
自宅から温泉まで往復2時間ちょっとかかる。吸引器を持参し車中も吸引をする。
・温泉がバリアフリーになっているか
・目的地まで2時間以上かかる。 ・目的地周辺の病院を探しておく
・出先の緊急時の受け入れ先 ・主治医の意見 ・家族、親戚の協力
・温泉の大きさ 広さ 深さ ・バリアフリーであるか
温泉地の場所、移動時間 宿泊先のバリアフリー状況、部屋のトイレや洗面は車イス可？ 温泉地の医療機関はどうか？専門医師の在、不在、主治医との連携は可能かどうか？ 家族（親戚等）の協力体制はどの程度か？ 病気に対する理解度含め
温泉設備の環境整備がどの程度整えているか 移動時間が長時間だと負担も増える
自宅から温泉までの移動時間が長い 意思伝達装置を運ぶ
移動時間を短めに検討し宿泊先への配慮も依頼し移動がスムーズに行える様、手配する
車椅子毎移動できる車があればそれをレンタカーする。 長時間の移動になるので出来たら車中、臥位になれる方法で移動
1泊2日で移動も長距離である。
自宅から旅先までの移動時間が長い
移動時間が長い可能性がある。入浴の際には最深の注意が必要である。
入浴設備の確認 他の客への配りよ
自宅から温泉地までの移動時間が片道1時間を超え旅館での介護も心配である。妻にもたまにはゆっくり温泉に入ってほしい。
跡とりさん他界。長女（キーパーソン）疾病あり。介ゴへの協力はあがるが体力的には限界。
移動時間を考慮 同いつ時の姿勢によるエコノミー症対応
①あまり遠い温泉地ではなくなるべく近くの温泉を選ぶようにしていく必要あり ②車イス対応の温泉をみつける ③親類へのALSの病気の知識理解必要 ④看護師等の同行 ⑤行き先は近の病院等との連携必要（急変時の対応可能とれるようにしておく）
いつもより大勢の人数で過ごさなければならない。
・泊まりがけの旅行に出かける ・移動時間が長い ・親戚一同で行く
・自宅からの移動時間が往復3時間 ・寝たまの移動である ・温泉の環境（他の客に迷惑がかからない様配慮する）
・自宅からの移動距離が長い ・温泉に入るには移動に障害が多い ・家族、親戚の協力がある
旅行に同行できる人数と役割り分担を決める 温泉の浴室を事前に確認し安全に入浴できる方法を検討する
温泉の浴槽は、本人の身体レベルで入浴可能なのか 移動時間は体調的に大丈夫な距離なのか
・移動時間 場所での行動などの計画を入念に行う
温泉の部屋から浴室まで、広いエレベーターが必要。浴槽につかるためには、介助者が2人はいる。個浴がかりれるのは1時間。入浴中、かん単な意思伝達のはかれるよう、ウイंकをつかう。
旅行先までの移動時間 旅行先の施設にハード面（段差など）
家族の支え、温泉地にある病院
湯舟に入るまでのバリアフリー化があるか 個浴があるか？ 本人が出来る行動に合わせる
・自宅から温泉旅館まで移動時間が往復約2時間かかる。 ・旅館にはあらかじめ説明し、他のお客さんのことも考えて入浴

時間を調整する。
移動時、旅館滞在時
家族の支え、公的サービスの援助
移動時間が、永くかかるので、座位の時間を増やし、永くすわれる様にする
・親戚一同と外出は久しぶり ・長時間の移動
・温泉まで車での移動（寝台リフト車が望ましい） ・入浴用、車イス、シャワーチェア（移動式）の準備が必要
当日は風が強く、花見は断念した
車での移動が3時間かかる 入浴には介助が2人必要
環境が変わった中での、健康状態の確認をする。
・移動時間が2時間以上かかってしまう
・旅行の前に医師に相談 ・緊急時の対応の確認 旅館の方に自前に相談
A L Sの為、ホテルでの介護をどうするか？
・家族（妻65歳）の支え ・介護施設は利用しているのか？ ・長男夫婦との仲はどの程度か？協力的か？ ・親戚との仲はどの程度か？協力的か？
・自宅から温泉までの移動に時間がかかる ・自宅ではない部屋に1泊する。
家族といえども、生活スタイルは長男夫婦は別かもしれない。
目的地までの移動手段 目的地までの移動方法 所用時間、途中休憩方法
妻が65才の高齢にて、長男夫婦の協力がないと、一人だけでは、支援が困難だと思う
家から温泉地まで移動時間が、往復4時間ぐらいである。温泉地では、家族風呂がある所での宿泊なので、時間を気にせず入る事が出来る。
・車での移動も、本人考慮し、1h弱程度（片道） ・トイレ休けいの（道のえき、大型スーパー→バリアフリー）場所もいくつか事前のじゅんぴかくにん。 ・宿泊場所とも、事前に協議し、温泉入浴の利欠も事前にシュミレート。
家族状況、バリアフリー等、周辺の環境、医療機関や介護事業所、移動手段
家族の支え。宿泊施設の協力。主治医の協力。訪問看護の協力。何か異常があった場合連絡とれて指示をあおげるようにしておく
・露天風呂では足場が悪く、介護者（家族）の負担も大きい為、家族湯があり、貸し切りができる旅館が適している。
・移動経路の確認・移乗方法の確認・温泉の入り方（入浴時間等）・付添時の注意確認（食事と排泄）・意志伝達装置や必需品の確認・緊急な場合の医療先の確認
・ストレッチャーでの移動に支援が必要・宿泊先では家族の支援がある
・コミュニケーションの取り方・A L S、要介護5の対応
家族の支え
・自宅から温泉地までの移動時間が長い ・客室の寝具の状態、食事形態の確認。 ・浴槽への移動は親族数人で援助する。
自宅から旅先までの移動時間が長い為本人の負担が心身ともに大きい
宿泊先の移動や寝具（ベットかフトンか）温泉に入る時の支援者は2名必要？（自分で入れる状態であっても）呼吸器を想定するなら入浴時は呼吸バックが必要
・移動時間が長時間に及ぶ上、移動手段の問題がある。 ・入浴（温泉）方法の確認が必要。段差
移動時間が長い 温泉が車イス対応になっているかわからない
湯船につかる際は、移動入浴用タンカーでヘルパーの方々に手伝ってもらって入浴する。人工呼吸器は近くに置いてビニールをかぶせて、水対策をする。
・移動時間が長い ・旅行中の体調不良などが心配 ・温泉に入れるか心配（旅館の受け入れ）
親戚の人の理解と協力が得られる。宿泊先の受け入れ、環境が良い
旅行先への移転手続き（疲れにくい）本人の意向も聞き入れながらめん密な計画を立てる
旅行先までの移動時間（長時間である）一般旅行者向けの温泉地である
自宅から結婚式場までの移動時間が往復2時間超える
交通機関、移動の手配、排泄確保、車イス対応確保
移動時間長い 安楽に入れる浴槽であるか？
座位保持が長時間できない。痰の吸引が必要である
・入浴可能な温泉施設か ・長時間の移動となる
自宅から温泉まで移動には介護タクシーを利用 宴会は約2時間、お風呂は息子さん親戚の人で対応
・長男夫婦と同居 介護者は妻 ・食事内容を確認し本人の食事型体に合わせる
妻、長男夫婦、意思伝達装置 2世帯同居 車で移動
・自宅から宿泊地までの移動時間がかかる ・宿泊地での入浴時の安全性を考え手増などの確認が済んでいる。障害者に適した宿泊地（ホテルなど）何ののかも確認している
長男夫婦と同居 介護者は妻65才
同行するヘルパーの確保は？移動時間は長くないか。宿泊場所（部屋）緊急時の対応をどうするか
要5 長男と同居 介護者65才妻→健康状態
家族の支え、人的資源、物的資源、介護が受け入れできる温泉宿 公的サービス、主治医の連携

長距離であり旅館の中での行動に注意がいる
福祉入浴温泉が出来る場所にする
・移動は大丈夫か 車、公共乗物・温泉に入れる設備があるか・トイレの場所の確保
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、病院主治医、ボランティア等
家族の支え、気遣いあり妻も高齢である。移動、移乗時の危険性は大きい
休む所をよく考えること。座りばなしは難、ベット等横になれる時間場所も必要。移動する車も考慮。担当も特定にせず分担が望ましい。ねがえり、座位なおし、食介も。排便排せつもやりやすいスペースを考える
・家族がどこまで手助けできるのか・人的資源が利用できるのか・公的サービスは利用できるか
人的、長男夫婦の理解、介護者妻の健康とサポーターの確保。移動見、車椅子や入浴時のチェアー
妻や長男夫婦と同居であり恵まれている。皆のリフレッシュになる機会である
室内、トイレまで等導線の確認、福祉用具、手すりベット等
・温泉に入るための、専門の介護スタッフが必要。・家族や親戚のささえが必要。
自宅から温泉まで5時間かかる。1泊2日の温泉旅行は久しぶりである。
・自宅から温泉までの移動時間が長い。・車イスのまま風呂に入れるか
ホテルまでの移動時間が長い
長い間外出していない。自宅以外で寝れるか不安。長時間の移動も不安（車内で尿、便のにおいなど）
・自宅から温泉地迄の時間が片道2時間を超える・温泉にゆっくりと室内風呂から露天風呂に入り、その後楽しい食事をした
い。
・温泉施設に、障害者用専用の浴室があるか・何かあった時、すぐに対応できるのか
1泊2日の温泉旅行の移動時間が長時間になると思われる。・家族、親せきの支え
バリアフリーの設備
長男夫婦が色々と助けてくれている。車への乗降、移動は長男が対応可。
・温泉までの移動に耐えられるか・宿泊時の緊急時の対応を考えておく
車での長時間移動、入浴時の介助者
・片道の移動時間が休憩を入れると3～4時間かかる
家族の支え、人的資源、公的援助サービス 診察を受ける近隣の病院や主治医 宿泊旅館
親戚一同で1泊2日の温泉旅行
家族（妻、長男夫婦）の支え、気遣い 主治医 公的サービス
・夫は家事全般をヘルパーと共にこなしている・医師による往診 ヘルパー援助・介護保険、医療保険利用
・親戚が多くいる・移動時間が片道1時間位かかる・車がある
家族の支え 人的資源 公的サービスの利用 旅行先での医療機関の確保
・医師の許可をえる・バリアフリーの旅館をさがす。可能ならば旅館にも協力を依頼する。
親戚の支え
長男夫婦の支え。公的援助サービス。環境制御装置。妻の心身の介護負担の軽減
・移動時間に対応できるか。・温泉にどうやって入るか。・他の利用客の対応はどうか。
・自宅から旅先まで2時間を超える車の旅である。・温泉に入りたいが、車椅子での入浴が可能な設備があるか。
・温泉までの移動時間にたえられるか！・温泉旅館のハード面に対応できるか。
家族（息子、嫁）の支え、気遣い、聴覚障害の嫁、人的資源（行政、ケアマネ）、公的サービス（医療、保険、介護保険）
・主介護者妻・公的サービス・長男夫婦と同居・主治医・意思伝達装置利用
自宅から温泉地迄の移動等無事に目的地に着く。
・自宅から温泉までの移動の時間がある。・入浴する際に温泉の場所について入念に確認する。
人工呼吸器を装着。コミュニケーションは意志伝達装置利用。要介護5であるということはほぼ寝たきりにあり、介護者は65歳の妻という事で、すべてがかなり危険。
・温泉までの移動時間・温泉での入浴環境
・妻も65才と高齢で夫の介護と旅行は負担が大きい・長男夫婦の協力が必須・他の人たちの協力は得られる
・家族の支え・フォーマルサービス、インフォーマルサービス
移動時間が長い。一泊する事で落ちつく。
・在宅で生活が出来ている。・長男夫婦と妻と同居（家族支援）・主介護者が居る。・公的サービス（介護保険、自立支援、移動）
長男夫婦と同居。主介護者は妻65才
・自宅から温泉までの長時間の移動があるが、移動車の手配・温泉での一泊、入浴の問題
・コミュニケーションが取りづらい。・介護者は妻のため、介護力不足が考えられる。
自宅から温泉まで〇kmである。交通手段としては〇を利用する（自家用車）。温泉のシステムとしては〇となっている。食事は〇時に行われ、親戚は〇人参加される。等々温泉のある町の医療福祉サービスは〇のようになっている。
温泉への移動は車で、車椅子で移動しながら旅行をする。長時間車椅子ではいられないので、リクライニング式又はベッドの準備が必要。
自宅から温泉地まで片道1時間を要する。車イスのまま移動できるようリフト付きの車を手配したい。温泉側にもALSが1

人いることを事前に通知しておく。
・慣れない場所で1泊する。・ちょっとした段差がある。
長男夫婦や親戚の支援が期待できる。
・対応可能な温泉の把握 ・移動時間
介護者は妻65才、長男夫妻と同居
・車での移動時間は2時間以内 ・あまりゆれないコースを走行 ・露天風呂はあまり広くはない。
家族の支え（同居者アリ）、親戚一同のサポート、意思伝達装置
・自宅から〇〇温泉までの移動時間が片道2時間かかる。・温泉地の湯舟に車イスで入れるスロープが設置されていない。
温泉地までは、2時間かかる。
家族の支え、人的資源（親戚一同）公的援助サービス 診察を受ける近隣の病院や主治医
温泉施設には入浴や移動がスムーズに行える用具がそろっているのか
・移動に時間がかかる ・自宅外での宿泊の為装置等準備物が多い ・温泉地には介護整備ができていない ・長男夫婦と同居している
家族や親戚の協力がある。
移動手段と協力してくれる方々、移動時間、宿泊先の受け入れ状況。
旅館への事前連絡と、協力をおねがいする。
・近場の温泉で障害者にも入れる設備のある温泉を探してもらう。家族風呂があれば、妻や長男に手伝ってもらい入る事ができる。・ホテルに介護できる専門の人がいればもっとよい
・妻の介助ができる家族風呂がある
おそらく近い将来、インターネットによる完備された宿泊施設又は、野外施設が装備され、できれば看護師又は自由な理学療法士等の参加が望ましい。
・自宅～温泉までの所要時間、道路状況確認 ・現地環境確認。 ・介護力（同行者）の確認。
・自宅から宿泊施設までの時間が2～3時間。
介護保険利用。ヘルパー、支援員、介護職
乗り物での移動であり揺れが続き、体力の消化もある。
自宅から温泉地への移動に時間がかかる。温泉に入るため、浴室の整備が整っているか、事前に調べる必要あり。
旅館までは、長男の車で移動。食事や入浴の介助は、交替で行える
・温泉までの移動手段、移動時間。宿泊施設でのベッドの状況 食事形状
・入浴形態（湯船の構造）によって温泉につかれるかどうかわからない ・移動しやすい車とリクライニング仕様の車イスを準備する
温泉までの移動時間が長い。温泉に入る時入字盤を使用する。リクライニングシャワーチェアを利用する。
・温泉入浴をした事がない。・コミュニケーションや痰吸引にも自宅ではないので用意がいる
移動時間の考慮。旅館内での車イス対応
自宅から現地までの移動時間 通路、交通状況、宿泊先のホテルの部屋、浴室の確認
家族の支援を得られるが主たる介護者も高齢なので、公的サービスを利用し、介護負担の軽減が必要。
・旅行での移動時間。・旅先でのバリアフリーの状態 ・浴場内で介助する人、可能なのかどうか
親戚一同の支え、気遣い。公的サービスの利用（医保、介護の利用等）
温泉旅館までの移動時間は1時間程。
・1泊2日での遠出、緊急時の対応を手配、確認の必要あり。 ・入浴する時の介助者は？1妻も高齢にて、他の協力者が必要。
家族（妻、長男夫婦） コミュニケーション（意思伝達装置） 主介護者の介護力 フォーマル、インフォーマルの人的資源の活用 褥瘡予防でマットレスの使用
・温泉までの移動 ・温泉施設内の環境（手すり、バリアフリー、浴室内も含む）
緊急時の対応について、連絡や、搬送場所などの確認。酸素をあつかうので危険場所の確認。
長時間、同じ姿勢が保てるか、酸素ボンベは温泉地で大丈夫か？
移動時間が離床時間となる。
気兼ねなくすごせる部屋の準備
長時間移動、入浴環境、車イス移動の安全性
移動時間が長いこと。親戚一同に伝達装置だけで全て会話することができるか。
・自宅から旅行先まではバスで移動となる ・温泉に入る為には多数の人の介助が必要
・温泉までの移動時間 ・家族の支え ・親戚一同の援助
1泊2日の温泉旅行 親戚一同での参加 家族風呂があるか確認
・自宅から温泉地まで約1時間。 ・ヘルパーを利用して安全に入浴できる様にする。 ・息子さんやお孫さんも協力してもらえる。
・一船の温泉で一泊しなければならない。 ・移動時間が片道3時間はかかる。 ・外泊の為の設備が必要。
・移動時間はどれ位か ・入浴方法について確認の必要 ・介助者の人数、介助方法は
家族（妻、長男夫婦）の支え 公的サービス 人的資源（医師や介護スタッフ）

自宅から遠方に出かける為、食事、宿泊先、温泉がどうなっているか？（だんさ？バリアフリー？食事は？）
・温泉までの移動に時間がかかる、片道1時間程 ・親戚一同の協力がえられる ・いざという時の為の旅行先での受け入れ病院確保できている
自宅より旅行先まで4時間ほどかかる。温泉も時間が決められており、夜か朝かのどちらかである。車、新幹線を利用する。妻や子供夫婦に負担をかける。参加する親戚の人達に状況をよく知ってもらう。やはり四六時中、見守ってもらわなければ意思伝達がわからないだろう。
・自宅からの温泉旅館まで移動時間が長い。 ・温泉旅館がバリアフリーでないところがある。 ・温泉の湯船に入るのは初めてである。
移動方法は 温泉施設的环境は
・車イスでの移動が可能かどうか。 ・旅行先までの時間はどれ位かかるか。 ・温泉はどのようになっているのか。 ・排泄する所はあるか。 ・急変時の医療機関の確保は。
家族の支え（妻、娘、孫） 人的資源（医師、ケアマネ） 公的サービス（医療保険、介護保険）
・家族での運転による移動が可能。 ・ホテルなど慣れない場所での移動が必要になる。
移動手段の確保 入浴時の設備確保 家族ないし他者の介護力確保
・呼吸器装着の為浴室の環境を確認する必要がある。環境により入浴できないかも。 ・寝具についても宿泊先と相談。 ・事前に支援者達で細かなうちあわせ必要
移動往復6時間かかる。久しぶりに親戚との交流の場に参加になる 入浴は家族風呂にする。
片道2時間中、4回以上休けいできる場所を確保する。
・自宅から温泉までの移動時間・意志伝達装置をどうするか
自宅より旅館まで移動時間が片道1.5時間を超える。入浴に関しての対応方法
温泉まで、自宅から、遠距離である
・看護師同行により、安全を確保。 ・温泉の方とも連絡・近くの医療機関確認
長男夫婦と同居 主たる介護者は妻65才
・近くの温泉ではあるものの2時間近くかかる。 ・旅館の受け入れなどをチェックする。介護用ベッドや意志伝達装置の手配など。
妻親戚、息子夫婦（長男）の支え協力。旅行関係者の協力（JR、宿等） 人的資源（医師、看護師等）
長男夫婦と同居 主たる介護者は妻65歳 居住環境、介護力
・温泉までの移動に大くの時間がかかる。 ・宿泊先の医療体制が不十分でありもその場合の対応が困難。
・人工呼吸器の稼働時間内で移動可能な温泉となる。 ・温泉の施設の点検。
・目的地までの移動時間が長い。 ・泊まる宿がバリアフリーかどうか ・温泉に入る為の準備、サポートができるか。
温泉旅行での長時間移動 温泉地での入浴
・自宅から温泉旅館まで移動に時間がかかる ・本人を見守り介護する者が要する（親戚が交代で）
状況をよく把握していない親類への説明や協力がうけられるかどうか。または理解を得られるか。
容易に入りやすい浴槽のある旅館を選んだ 家族・親族も協力的
・浴室の事前確認を行い、安全に入浴ができるようにする。
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、HP・主治医など。
・温泉地は、遠くにあり、移動手段に制限がある。 ・妻だけの支援では不足しているので、支援者の人数を増やす必要がある
・ストレッチャーが使用できる 自家用車がない ・ねたきりの自分を入浴させることができるものがあるだろうか。 ・宿泊先のベッド等は体に合うのか
日常生活すべてにおいて全介助を要し65歳の妻の負担が大きい。
自宅から温泉に、行く移動時間がかかる。妻が主介護者だが、長男夫婦も支えている
・安楽な移動が行えるように、カーブの少ない道を選定する。 ・旅館はバリアフリーであり、家族達の為に、周りの目を気にせずに済む。
・移動時間がかかる。 ・1泊2日ということで、ALSに対応できるか不安である。
1泊2日の旅行で体調が気になる。温泉に入ることが出来るか。
移動が長時間かかってしまう。温泉にリフトの設置がない。
温泉では家族風呂を予約している。現地での入浴介助者を選定する予定。
・主な介護者は妻65歳、介護の負担を感じている。 ・長男夫婦、親類の協力があるか。 ・介護がしやすい温泉であるか。安全か。
たくさんの人と会うため身体的にもかなりの疲れが出る。
・自宅から宿泊先までの移動時間が1時間を超える。 ・緊急時の対応方法
移動時間、入浴の際の補助具や人のヘルプ
・1泊2日の旅行に耐えられるスケジュール移動手段、ルートの確認 ・安全、安心の確保 施設、ホテル等の設備の確認 ・医療機関との連携 ・ボランティアの利用
温泉へ入りたいが一人では無理
自宅から温泉までの移動時間が往復2時間超える。
宿泊する温泉が移動や必要物品が使用出来るか、確認する。移動時間も1時間以内とする。

温泉地への移動時間。人工呼吸器（移動可なこと、電源の確保）
温泉への移動時間？宿泊施設内での移動がバリアフリーであるか
・障害者対応の旅館が片道2時間かかるころしかないので移動時間が長い。
・自宅から温泉地まで移動時間が往復4時間程である。・温泉では浴槽内にゆっくり入り40分ぐらいで入浴を済ませる
・家族の支えが必要である、移動時の環境をととのえる。・旅館の環境（バリアフリー）等、確認しておく。
自宅からの距離は1時間程度だが、宿泊先の温泉には介護施設が整っていない。
自宅から温泉まで福祉車両を利用（半座位で外が見える様）外の風景が変わるのを楽しみながら1時間ごとの休息をとる。
・長時間の入浴は難しい。10分程が目安。・一番近い温泉で往復20分程度の所
長時間の移動となり、1泊2日の旅行が心配。
長時間多勢の人と過し意志伝達装置は置いて行く
・念願の温泉地迄1時間要す・家族風呂で入浴・親戚一同も本人とのコミュニケーション良好
車、電車での移動に身体がたえるか、温泉での入浴が可能かどうか、受入れ体制はしっかりしているか
・温泉側の受け入れ体制は？・移動方法は？・移乗・移動補助具などは？
・車中での移動時間座位が安定できるのか。・入泉の場合、介助と浴室の環境
自宅から遠い距離を外出して、外泊するため長時間の移動となる。
・近距離で車イスのまま温泉に入る事が出来るホテルを選ぶ
1人で温泉に入る事は出来ない。介護者と一緒にフロアに入る施設が少ない。
長男夫婦も介護に協力的である。障害者も入れる温泉施設を探す。
・交通車で片道3時間
・旅行先までの距離・1泊2日の行程
長男夫婦と同居
・温泉までの移動時間・温泉内での失禁対策・温泉内での移手段の検討
・自宅から旅行先までの移動時間が、往復で3時間程かかる。
移手段が難しい。妻も高齢である
・旅行先までの移動時間。・移動中に適切な介ゴを受けられるか。・旅先での入浴は安全に出来るのか。
自宅から車で2時間程度で行ける温泉地である。
自宅から温泉までの移動時間往復どれくらいか。
家族の介護あり主介護者は高レイ
旅先での医療の連携、家族の支え。
旅館まで車で約2hかかる。旅館内でのバリアフリーが不安。
必要時、休憩時には、ベッドやソファで横になる。
・宿泊施設の協力、施設の状態等が重要になる。
・環境が整った旅かんととまる・2日間の外出長時間の外出。
家族の支え、気遣い人的資源（行政等）公的援助サービス、医療等。
・温泉地までの移動の時間や方法。・親戚とのコミュニケーション方法（意思伝達）
家族（妻介護者65歳長男夫婦同居の支え気遣い）人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等）公的サービス医療保険、介護保険等。
宿内がバリアフリ構造で建てられていなければ、スムーズな移動が困難。
自宅から温泉までの移動時間が長い温泉に家族風呂がある入浴させる機械又は人が必要である
家族の支え、ボランティア、公的支援、近隣の在宅医、長男夫婦、妻の状況
宿泊ホテルの環境チェック親戚の介ゴカのチェックレンタル福祉用具のチェック
・温泉までの移動時間・入浴の方法のカクニンが必要。
急変した時の医療機関の確保。ドクターとの連絡自宅から温泉地までどの位かかるか。可能な距離の場所を検討する。リクライニングの可能な車中か。車椅子移動は可能か。かかえて介助が可能な浴槽（温泉）になっているか。
・温泉にリフトがないので家族で注意深く入浴介助する
温泉地まで、片道4時間かかる
・移手段、時間、トイレ。温泉の施設一段差、浴そう、トイレ、寝室、食堂。食事内容。医者との打ち合わせ。旅館との打ち合わせ。
・自宅から旅行先までの移動・1泊旅行の環境を調べる。
自宅から温泉までの移動時間が長い。温泉に滞在中の支援、入浴時の介助。
・自宅から温泉までの移動時間が、往復2時間位、かかる・温泉宿周辺が、良い。スタッフの態度、部屋、トイレ、温泉に入る環境整備も整っている。・緊急時には、医師に連絡。
（長男夫婦同居）（親戚一同参加）・環境の変化により、疲労感が出るのではないか。・介護者が安まる時間がない、もしくは、親戚が介護を手伝ってくれる？
・良く医師とも相談したりして認識し、自分の体力を知る。・これからの自信になれる。
・自宅から旅館まで、片道3時間を超えるため、排せつポイントを決めておく。
温泉施設の確認。（大浴場が難しいなら、内風呂や家族風呂貸切があるか・・・等）泊まる部屋の間取り等（階段の有無、ト

イレの和洋) (緊急時の対応等)
・親戚と温泉に入りたい。
家族の支え、人的資源、公的サービス
・移動時間が2時間以上かかる・すべて車での移動・車イストイレの数が少ない
妻の介護だけでは、妻の疲労が心配
・意思伝達装置・妻65才・親戚
・目的地の設備は、障害者用(バリアフリー)でなければいけない・目的地迄の移動中の負担を考慮しなければならない・休憩場所の施設は障害者用に整備されているかを下調べする。
・1泊2日の旅行の為、移動時間が長時間である。
・自宅から温泉まで2時間弱。・バリアフリーの温泉とはいえ、数ヶ所段差あり。
・自宅から温泉までの移動時間・温泉での入浴と浴室内外の状況・家族の支援は好意的であるが固々の役割。
親戚一同の協力、協調性実行力有り
長男夫婦と同居、主たる介護者は妻65歳、事前に、親戚に概略を説明し、少なくとも男性二人の援助が必要との了解を得ておく。1) 本人の希望にもよるが、露天温泉付き個室を選定する。入浴用移動ネットか、座位調節機能付きシャワーキャリーを男性二人の援助で浴槽に浸かる 2) 入浴できる設備等のある宿泊施設を選定する。
親戚も集まるので少しでもコミュニケーションをとりたい。・温泉でゆっくりしたい。
・自宅から温泉までの移動時間がかかる・温泉に入る事はできるか
自宅からどの範囲、親せきを何人よぶのか。
・1泊2日の旅行に行くことが実現できるよう。本人さんに行って良かったと喜んでもらえるよう。親戚一同で全面的に協力する。
・車での移動が2時間・介助者が長男と親せきの男性、必要。
車椅子で入浴できる温泉があるか。
自宅からの移動時間が3時間ぐらいかかる。着くとすぐ横になれるように手配は、している。
・家から宿泊先までの移動が片道2時間往復4時間の長時間
・宿泊先でのベッドの状態。・バリアフリーやユニバーサルデザインになっているか。
・入浴施設の設備。・客室の仕様
・自宅から温泉までの移動時間が長時間かかる。・温泉に入るのに安全を確保しなければならない
温泉までの移動時間がどれだけかかるか。
目的地までの移動に要する最短時間は2時間。
・家族全員で介護をしている。・家の中を介護がやり易い様に改造している。
感動を考える言葉要
様態が急変した時の対応を考えておく
・往路1.5H。・休けいを取りながら。・皆と同じ食事は出来ない。・食事介助が必要
家族(妻、親戚、長男夫婦)の支え
・温泉は貸切風呂にし、男性家族等の協力を得て、複数人で入浴介助あたる。・バリアフリー対応の居室を貸りる。
・親戚一同の支援。・宿泊先での支え。・診察をうける病院、主治医
・自宅から温泉地までの移動時間が長い。・1泊するので温泉にゆっくり入れる。・家族の支え、公的援助サービス
・温泉迄の移動。・温泉の状況
家族の支え(妻、長男夫婦) 人的資源(行政、医師、介護ケアマネ) 公的サービス(医療保険、介護保険)
・移動座位時間が長い。・いつもの入浴方法ではない。・温泉入浴(男性入浴)のための皆さんの協力必要
本人の苦痛を和らげる為にコミュニケーションをとり、ポジョニング等の細い部分に配慮できるようにする。
家族、親戚の支え 温泉旅館の設備 移動手段の確認
・自宅から旅館までの移動時間が往復3時間を超える。・夕食は6時ごろなのでその前にし度温泉へ入る予定
旅行先までの移動に時間がかかる。
・公的サービスの利用(医療、訪問、各事業、ショートステイ)・母脳梗塞で入院中
長男夫婦と同居しており介護者は妻がしている。温泉まで片道1時間30分程かかる
自宅から旅館まで4時間以上かかる。途中、休けい場所を2ヶ所入れている。
自宅から、5時間の移動時間。温泉施設の施設状況。急変時の対応。
・受け入れ側の設備はどうか。・家族の支え、気遣い。・妻は男湯に入れない。・公的サービスの利用・移動中の 体調、人的資源・体調変化時の病院。
移動時間が長い。リフト付の入浴可能な温泉はある。
・宿泊先までの移動時間が2時間以上かかる・温泉内は、車イス移動ができない・家族は、介護に協力的である。
・自宅から温泉旅行まで3時間はかかる(渋滞も入れる)・山道なので、車の揺れも大きい
・自宅から温泉までの移動時間が長い・温泉へ宿泊をする・温泉に入る
長男夫婦と同居。妻の支え
・自宅から温泉までの移動時間が長い。・移動については車利用になるだろう・入浴には介助用具が必要である
慣れない環境での泊まり 長時間にわたる移動

・自宅から宿泊地までの移動時間。(2時間)・脱衣所から、浴場まで、バリアフリーだが、湯舟に入る際は少々段差がある。
・宿泊先の設備を事前に確認、浴室、部屋など、車椅子の対応が出来るか。・車で移動で2～3時間かかる・旅先で緊急時、対応可能な医療機関を確保する。
移動は車いすか、もしくはストレッチャーのようなものになるのか？移動は車か、鉄道か、飛行機などは使うのか？温泉は車いすなどに対応したものか？
・段差があると移動が困難・身障用のトイレスペースが必要
・ベッドや入浴など自宅と違う、下見はしてもらうこと。・呼吸機能の低下時の対応も出来る。・家でのリズムを保てるようにする。
・周囲の人は前向き。・車で1hのところに、車イス用温泉がある。以前から利用しているので、そこのご主人が介助を手伝ってくれる。
・長時間離れた所に行き、温泉にゆっくり入って翌日帰宅する。・普段目にするのこない景色をしっかりと見ることが出来る
・自宅から温泉までの移動時間が往復3時間を超える。
温泉までの所要時間。入浴時何人でお世話するか。
座位継続困難。浴槽内の座位も困難である。在宅サービス利用し、デイサービスでリフト浴、訪問入浴を利用している。リフト浴可能な旅館を予約。
・移動時間が長く、体調よく温泉に入れるか。
・移動手段を考慮し、負荷の軽減を図る。・入浴を個室風呂又は、貸切風呂等を考慮する。
昔ながらの民家で家のつくりが介護に向いてない。
家族の支え(妻、長男夫婦)公的サービス(医療、障害、介護保険)の利用
住宅改修
温泉の部屋入浴設備が整っている事が必要。移動時の安全確保。医療機関の連携(紹介状等)
・温泉も1時間以内の所を選ぶ・ベットなど安楽に出来る所を選ぶ
・移動時間・旅館のつくり・浴室のつくり・スタッフ、介護者との打ち合わせ
訪問看護や訪問介護の同行。旅先の病院。主治医との連携、緊急時対応
長男夫婦と同居、妻が介護
・家族がいる。・温泉に医師がいる。・良く行っていた温泉がある。・30分程で行ける。・温泉にはお世話できる介ゴ福祉がある。
旅行工程間の移動手段(介護タクシー、鉄道等)いずれも長時間の車いすギャッジアップを伴う→可否は？入浴にあつたでのバイタルチェック？全身の筋力低下がある場合一般の入浴施設で受け入れは可能？
・温泉の環境が自宅と異なる・他利用者との入浴時間の確認・長男だけの介助では入浴できない・移動手段(車、車椅子、シャワーチェア)
・入浴介助が安全にできるかどうか、介助者は経験があるのか。・緊急時の対応は？
家族の支え、移動手段、公的支援サービス、主治医、旅行先の病院との連携
入浴時の補助具の必要性は？温泉の成分は大丈夫か？安全面も確認？
・近くに障がい者が利用できる施設が少ない。・車椅子で長時間過すのは無理
長時間の車での移動
長男夫婦と同居。妻が介護している。
・温泉地まで遠いので長時間の車椅子での移動が耐えられるか・浴室が介護状態の必要な人に対応出来るのか。
移動手段の確保。入浴、宿泊先の設備等の確認、受入れ体制
家族の支え
家族の支え、人的資源、公的サービス、医療
家族近所に息子→毎日様子を見にきている(買い物、調理を支援)旭川の娘夫婦も良く様子をみに来て清掃など支援他、HHのみサービス利用
・家族、親戚の支援がある。・ボランティアの支援を受ける。・旅行先の病院確保。
家族の積極的なかわりがある、緊急時の対応
移動、入浴に耐えられるか
自宅から旅館まで移動時間が往復2時間を超える。親戚一同の演会が2時間かかる
・温泉へ入浴する為の設備を受け入れ先は持っているのか。緊急時対応が可能なのか、例えばH、Pが近くに無い所はNG
長男夫婦の支え 公的サービス(医療保険、介護保険)の利用 人的サービス(行政、医師、看護師、ヘルパー等)
温泉までの移動時間が3時間かかる
自宅での出発準備で一時間 移動に2時間 各場所にて1時間は環境セビで必要である
・自宅から温泉までの移動時間距離・浴場の設備、状況
意思伝達装置を持って移動する。旅館でも使用したい車イスのまま入れる温泉施設
家族(妻、長男夫婦)の支え 人的資源(行政、医師、看護婦、ケアマネ、ヘルパー、PT) 公的サービス(医療保険、介護保険) 往診、診察できる近隣の病院、主治医
・妻が介護してくれる・長男夫婦と同居・長時間の移動がある
主たる介護者 妻65歳

家族の支援（息子夫婦、妻）温泉地までの移動時間が長い、温泉に入れるかどうか
環境因子 主たる介護者も楽しんでもらう為あらゆる、ボランティア、支援者シフト組み込む
近くで実施 介護ベッドのあるホテル
・親戚や家族全員が本人の状態を理解して、協力できるか
・温泉に入るといふ、人の介助が必要と転倒の危険がある。
温泉地までの移動時間、風呂へ入るにあたっての手段、方法 室内での過ごし方等々きめ細かな計画が必要
長男夫婦と同居。主たる介護者、妻65才。公的援助サービス。
・長時間の移動、車いす・環境の変化
家族の支え。人的支援（友人がALS専門医、ケアマネ・訪問看護、友人がヘルパー）
・移動手段・宿泊場所のかんきょう
・自宅から温泉まで2時間かかる距離である・温泉にも入れるように体調の安定を保つ
・家族の支え（高齢だが協力あり）・旅館での療養者専用の設備
1泊2日と長時間の外出である
自宅から旅行先までの移動時間が片道2時間かかる。途中休けいをとりながら疲れないようにしていく。
・仕事を支えてくれるスタッフや家族がいる・介助をしてくれる家族がいる・介助をしてくれる専属看護師がいる
親戚の人、妻、介護者、同行者、施設側の支援が必要。移動その他介助のサポート。施設側の設備にも対応が必要。
移動時間。入浴場の環境。
天候・気温は自宅と旅行先では違うので、衣類等対応しやすい物を準備する。
参加者全員からの声かけをお願いする。呼吸器の点検、たんの吸引、ケイレン等の対応に注意をする。
・自宅から宿泊施設への距離は車で2時間かかる。・宿は和風旅館で布団なのでベッドの手配が必要。入浴にはリフトが必要。又は、担架で男性2人の介助が必要。
自宅から2時間位かかる。障害者が入浴できる宿泊施設を探さなければならない。
・移動片道2時間・介護者がいても入浴可能か
自宅には本人の必要な物が整っているが旅行先には何が必要かを判断しておく
主介護者：妻（65才）、人的資源（行政・医師・NS・ヘルパー・ケアマネ）、家族の協力あり
移動時間での身体に負担を考慮して体調の配慮をする。
・温泉までの移動時間が長い・広い温泉で移動時滑りやすい
主たる介護者は妻（65才）、長男夫婦と同居
交通は自動車にしても、乗っていられるように、寝る、座位をくんれんする。
旅行先までの移動方法・時間。旅先の施設に関する事。（バリアフリーか）
宿泊地までの移動、宿泊地での移動、温泉への入浴、移動、移乗 宿泊場所等の確認
・長時間の移動や入浴により、危険因子が増える。・親せきとの久々の旅行で長時間の会話になる
・長男夫婦の支え、気遣い。・人的資源（医師、ケアマネ、ヘルパー等）・公的サービス（医療保険、介護保険等）・65歳の妻が主介護者・住宅改修・福祉用具の活用
目的地までの距離によっては疲労する。宿泊場所で意思伝達装置が使用できるか
・車が車椅子仕様のものである事。・宿泊先がバリアフリーである事。・主治医の許可を得て・オンコール体制が取れている。
①バリアフリーの確保②家族との支援
長男夫婦の支援にて生活。ご家族以外での支援の有無や、長男夫婦以外の家族の支援があるか。人的資源（ヘルパー、ケアマネ他）の活用。
1泊2日の温泉旅行のため、長時間の外泊になります。
家族（長男夫婦、孫、妻）の支え 親族の結束力や支え 公的サービス（訪看、訪介、ケアマネ ガイドヘルパー利用、保健師）の援助 経済的な保障 地域の役員やスーパー商店街の協力
主たる介護者は妻 長男夫婦と同居 公的援助サービス 病院と主治医
急変時、対応できる医療機関との連携
・自宅から式場までの移動時間が往復2時間を超える ・結婚式、披露宴も3時間ほどである。はなむけの言葉は披露宴の終わりごろである。
上肢、下肢を2～3名の親せきに持ってもらい、手伝ってもらって、入浴も可能。リクライニング式ベットが設置されている宿泊場所選定する
・移動時間 ・入浴設備
家族（息子・娘夫婦）の支え気遣い 人的資源（医師・ケアマネ・デイ・ヘルパー）公的サービス（介護保険等の利用）
家族・親戚
自宅から旅館までの移動が3時間くらいになる。・旅館についたあと、浴室まできょりがある。
家族、長男夫婦と同居で支え有 主たる介護者妻65歳
・交通手段は何か適当か ・移動時間はどのくらいかかるか ・緊急時に備えた医療機関の確認
宿泊先と事前に綿密な連携をしておく 緊急時に対応出来る医療機関をチェックしておく
交通バリアフリーの設備。バリアフリーの状況などの確立
自宅から温泉まで往復4時間かかる。何かあったら訪問してくれる看護師やヘルパーを頼めない。緊急搬送先となっている病

院からも遠くなる。
家族の支え、人的資源、公的援助サービス 医療との連携 有料サービス（介護タクシー）
妻、息子夫婦、親戚の人達の支えで旅行に行くが長時間の移動が心配
車イスでの時間が長いので安全に押せれる人を確認。
宿泊先での対応の確認（人工呼吸器電源の確保、及びユマージョンシー用酸素の確保
温泉まで時間がかかる。介護用の車がない。
家族・親戚の助けと共に専門介（ナース！ヘルパー2）介護保険、自立支援制度。
介護者高齢。コミュニケーションに装置が必要
宿泊先での対応の確認。人工呼吸器電源の確保。酸素ボンベ確保
家族の支え（妻・子ども）。人的支援（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、地域）。公的サービス（医療保険、介護保険、民間の保険）。
・自宅と違う環境
家族内のささえ、人的資源公的援助サービス
車で片道2時間。旅館のお風呂は家族風呂で障害者対応になっている
移動手段の調整
近りんをさがして御本人に体力面のふたんがかからない様にプランを検討する。
・遠距離の移動・泊りがけ旅行
・温泉には主介護者は女性の為付きそう事が出来ない。・環境の変化に体調管理は大丈夫なのか
温泉旅行、ホテルには車イス対応の浴場がない。外部環境は段差が多く移動に困難を要す。予期せぬトラブルに備え準備が必要である
・自宅から温泉までの移動時間・慣れない旅館内の移動、段差等・浴室の移動・食事
親せき一同という事で人の手があり、色々なチャレンジが出来る人のすいている時間をねらうか時間をホテルに取ってもらう
長男夫婦と同居 意思伝達装置ある 妻65才
風呂援助が出来るのか？トイレは？
・車で移動時間が長い・身内ばかりで援助体制はあるが実際の介護は未経験
露天風呂に入りたいが手摺りが設置されていない
自宅から、車で温泉まで片道が、3時間位かかる。久しぶりに親戚一同も集まる為食事は時間が長く座っておられる。
・ストレッチャー又は車イスで入れる施設かどうか？・温泉施設も本人が使えるかどうか？・宿泊の部屋は使いやすいかどうか？・温泉や旅館（ホテル）のスタッフに病気についての理解をしてもらう。
・一泊二日の旅行である（車で移動が2日続く）・温泉に入るための介護力、環境
長男夫婦 親戚
部屋にお風呂が付いている 家族が入れられない場合は介助が必要
・温泉に行くのに30分くらいは山道でカーブが多い・借切り風呂は1時間と決まっている
長男夫婦の協力、コミュニケーションを図れるよう支援する。デイサービス利用。
宿の風呂にスムーズに入れるか心配だが、家族や親戚と一緒になので安心
行きと帰りのコース（観光見学）等考慮する 計画の変更案も考え計画予定する
安全性の高い環境整備 長男夫婦の心身の介護負担の軽減
自宅から自家用車を使つての2時間位の移動 1泊予定の旅館は、身体障害がある方でも利用できるバリアフリーの施設である
・自宅から温泉までの移動時間が長時間かかる。
・移動に介助が必要である。・コミュニケーション機器をいつでも使えるよう維持する。
自宅から2、3時間の車での移動となる。あらかじめバリアフリーの宿を探してもらう。一部家族による介助が必要。
親戚と家族の支え（長男夫婦） 緊急に対応できる病院等の確保 事前の医師への診察
温泉に入れる為の介助ができるか 親族への介護指導
長男夫婦と同居 ・妻が介護
宿泊先での対調不足時の医療対応先の把握
自宅から温泉場所まで2時間30分 車椅子のまま移動 道路の混雑を避ける時間帯を選ぶ
・自宅から、旅館まで、約1時間半を要す。・温泉は、健康者用に造られており、誰かの手助けなしでは、1人では困難。
・宿泊する温泉宿に滞在中必要となる介護方法・持参する介護用品 装置持込の了解と理解を得る
受け入れできる所があるか？
長男夫婦の同居（介護） 妻の介護がメイン 自宅にて介護
車イスを利用して入れる温泉 移動手段（自家用車が移送サービスか）※車イスごとで旅行先での急な受診が可能な医療体制
看護など医療ケアのできるボランティア
本人の長時間の座位も大変だとは思いますが、家族の介護力がどれだけあるか？日頃はヘルパーさんをお願いしているので
リクライニング車イス、介護タクシー 車イスで入浴できる温泉の選択
温泉の場所を本人の体力に合わせる 部屋や車内のことも配慮する
・自宅から温泉地迄移動時間が長い ・1泊2日の為、介護用ベッドがない ・宿泊施設はバリアフリーではない

温泉宿までの移動時間が長い 宿・温泉はバリアフリーではない
介護者の充実 家族の支え 公的援助サービス 人的資源
・自宅から結婚式場までの移動時間が、往復2時間を超える。・結婚式、披露宴も3時間ほどである。・はなむけの言葉は、披露宴の終わりごろである。
外泊をする不安もあるが出かける楽しみの方が増している
・家族・親戚の支え、協力、人的資源 ・医療関係者からの指導（医療器具等） ・うけ入れ側への注意点や事前の話し合い うちあわせ ・旅行先での医療機関の下しらべと紹介状持参
温泉の施設・設備はどうか、家族の介助でやれるか、寝るときは 休日に旅行するなら緊急の事態が生じた場合の医療機関をさがしておく
・自宅から旅行先までの長時間の移動 ・温泉に入る時の設備と介助者の確保
同居ご家族、親戚との意思疎通
・温泉場が遠い・入浴での介助が必要（長男に支援を行えるよう練習中）
長男夫婦と同居 主たる介護者は妻 意思伝達装置を利用してコミを図る
往復の温泉までの時間（移動）が長時間であり、座位が保てるか不安。夜ゆっくり休めるか、寝れるのか問題がある。入浴は家族の手だけでできるのだろうか。
移動手段とバリアフリーの旅館かホテルを調べる。
自宅から旅館までの移動時間が2時間はかかる。
長男夫婦の協力が必要。温泉施設に障害者専用風呂がある。主たる介護者は妻65才
・自宅から温泉までの移動時間 ・移動手段 ・入浴方法
・親戚一同があつまるため会話が多くなり、意思伝達装置を多く使う。・温泉まで移動の時間がかかる。・温泉に入るのに温泉の広さや脱衣等いつもと勝手がちがう。
・1泊2日の旅行の為、移動時間が長いと思われる。・休けいを取り、気分転換を図りながら移動を行う。
自宅から旅館までの移動に時間を要する。なれない場所での入浴。
慣れない場所（ベッド）での寝起きが必要。一般の方と一緒にのお風呂で介助も必要。
温泉地までの交通手段によっては座位保持の時間が長くなる。宿泊地がバリアフリーになっているか。
・介護者は妻65才 ・普段から親戚一同と交流をもっている。
・自宅から目的地までの移動に時間がかかる・体調をみながら無理をせずプランを立てる
自宅から温泉までの移動・時間 片道1時間強・手段 介助付タクシー 温泉旅館への相談・車いす、食事、入浴の件
意思伝達装置によるコミュニケーションは誰とでもとれるのか？温泉内の介助者は誰？
・親戚の支援・インフォーマルサービスの利用
・車椅子対応の移動手段が必要・機械浴等の設備の確認・災害時の対応
・移動に1時間、室温、湿度による車酔いへの配慮（車内）・温泉の出入りに段差あり。・温泉の湯温への適応
・自宅から温泉に行くまでの移動時間が大丈夫か。
移動して、温泉に入る。その様な方が入浴出来るのか
長時間の外出をするための道具や、フォロー。温泉にどれだけの介助用具があるか
自宅から温泉までの移動時間が4～5時間かかりそう。途中のサービスエリアで休んで行く方が良いか、急いで目的地へ行く方が良いか
温泉は、障害者対応で、スロープ、手すり付である。客室も車椅子対応となっている
・長時間の車の旅になる・温泉にスムーズに入るには何人かに介助してもらう必要がある
・一番近い温泉宿でも片道2時間・温泉を味わってもらうには旅館の下見が必要。バリアフリー化等
みなさんに囲まれて宿に1泊する
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、診察をうける近隣の病院や主治医
自宅より温泉までの移動手段、温泉へ入浴する手段、家族の支援と人的資源、近隣の病院
家族の支援で旅行が出来るという倅わせを身をもって感じると思うし、励みになると思う。
・入浴時の危険■を無視できない。・緊急時の対応の確認。
家族の支え、人的■■、公的サービス等
長男夫婦と同居、主介護者は妻、医療的処置のバックアップ緊急時の対応
移動手段ー自動車？タクシー？又レンタカー？公共交通？入浴方法。宿の部屋状態。しんせきの理解度。温泉の泉質など。
・移動時間が長い。・自宅風呂以外での、家族の入浴介助による入浴をする。・主治医との連絡。
長時間の外出である為痰の吸引等に不安がある。
長時間の移動、二日間自宅以外で過ごす。
・意識消失などの急変時に対応できる医師を確保する・長時間の移動が可能かどうか
親戚一同であり人数も多いと考えられ、一人づつ役割分担をする。
・家族、親せきの支え。・公的援助サービス・人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー）
自宅から旅行先まで約3時間大浴場の周囲は段差あり。早い時間であれば貸切可。
移動手段、温泉の環境（宿泊先）緊急時の対応（温泉近くの医療機関等）
介護者無し、夫は8年前世界

温泉の温度は42℃程で、長時間の入浴は危険である
近くの温泉に行くようにする。温泉には付き添いが必要であるが、妻だけでは不安である
・自宅から一番近い温泉地を選んだが、片道2時間はかかる・宿泊先の施設も浴室等バリアフリーとなっているが、部分的に介助が必要
・移動時間が3時間程かかる。・吸引対応出来るのは、同居家族の3名である・温泉に入るには人手が必要
長男夫婦の同行。主治医と、旅行先近くの病院との連携（体調変化時に対応する為）入浴施設への確認
本人を担う員数が常時相当数を要する。
・移動手段、時間、介助は万全であるか？・受け入れる温泉施設の環境はどうか？
・妻、長男夫婦と同居・保健師とのかかわり・医療保険、介護保険の利用・意思伝達装置のレンタル
入浴できるかどうかについて、家から自宅までの時間を調べる。宿泊する所はバリアフリーかどうか調べる。他者と入浴する事にしていこうがないわけではない。
主たる介護者は妻。長男夫婦と同居援助あり。外出手段を考え車いすが乗れる。リフトワゴン車リース手配済み。親戚も一緒に乗れる。親戚同行者に介護福祉士と看護師がいる
・自宅から、目的地温泉旅館まで片道2時間である。・旅館は、車イス対応でバリアフリーになっている。
長男夫婦・妻など家族・親戚の支援。公的援助サービス・ボランティア。主治医・診察を受ける近隣の病院。
お風呂の際には全介助が必要である
家族の支え、公的サービス、診察をうける病院
家族（妻、息子夫婦）の支え。親戚の協力。
・父親として参加したい家族として参加させてあげたいという思いが先行していないか？状況を確認する。
親せき一同、妻
移動時間が長い、温泉に入る手段を充分考える
移動時間・対応できる宿・設備
移動、乗り物、移乗、装置、新しいベッド、環境、意思伝達装置の運搬
・外出先までの往復の移動手段・（本人に負担のかからない場所の選定含む）入浴介助（安全の確保、家族の入浴介助の指導）・体調確認・緊急時対応
・1泊2日の長時間の外出・久々の温泉入浴
・妻が導尿や移乗等、今の所は負担なく行っている。・自宅では入浴困難、設備の整ったデイケアで介助による入浴・ケアマネ、ヘルパー事業所は自宅により近く、何かあれば5分足らずでかけつける。
昔行ったことのある、近くの温泉を選びたい。移動の時間を短縮することを考慮
・自宅から旅館までの移動時間がかかる・旅館での入浴、排泄・食事や、介護ベッドでない
・移動時間が長い。・家族と一緒に温泉に入る。
・要介護5とALSがある為、移動手段、などに不安がある（装置）・急変の事を考えると近くの病院など緊急事態にもそなえるように手配。
・温泉までの移動時間がかかる。・医療器具等の荷物がある。・入浴環境が自宅とは異なる。

(居宅介護支援事業所)

1泊2日の温泉旅行
妻の支え 65才 高齢 長男夫婦の支え 親戚の支え 公的サービス
・温泉までの時間や距離の把握・温泉入浴時間を、何時にするのか・食事等について旅館との相談・緊急時の受け入れる病院等の確認
・家族の負担・親戚の人達とのコミュニケーション・寝たきりの状態である本人が移動時間絶えられるのか・温泉での入浴介助はどうするのか
・自宅から宿泊地、その他観光施設の送迎時間が長いと疲労、体調不良など考えられる。・入浴設置が車いす対応でバリアフリーなものであるか。
家族等の理解・支援は… 本人の意欲を大切にもらえる…
長男夫婦と同居。在宅で妻が介助している。介護保険サービス利用。往診・訪問看護・福祉用具
温泉施設のうけいれ状況
車イスを使った外出、乗降しやすい車の環境が必要。温泉は男性の介助数人でもち上げる等の入浴となる。
・外での入浴の経験が最近はない・自宅から温泉までの移動、最近自宅内の生活である
温泉までの移動
24時間介護を必要とする状態で、親戚一同役割分担する事が出来るかどうか。
・デイ併設の福祉法人ホテル使用。・バリアフリのおへやあり・特浴・N・S対応・車→介護タクシー半日コースレンタル有資格者運転車ホテルのみでなく（こけし作成も見学道の駅）・緊急時体制、協力H.P.C.M、事前にTEL日曜日デイは休みのため祝日はさんだ4/29、30に予約スミ
妻を含めた親族の介護力
・長男夫妻や親族の理解を得て移動、入浴介助する・受け入れ側の旅館手配
温泉の浴室までは行く事可能だが浴槽に入る設備が整っていない

・温泉までの往復時間。・家族風呂、シャワーチェアなどあるか
家族全員の参加の支え（主介護者高齢） 親戚の協力 車イスのレンタル 温泉場所、内容を確認、情報提供
・移動に時間をかけない工夫 できれば車で移動・途中のトイレなど休憩点の情報を集める
自宅から温泉までの移動時間が長い。温泉に入るための入浴設備がない。
自宅から30分以内の温泉宿。都合よく介護事業も行っている。
長男夫婦と同居 妻65才
・温泉にはスロープがないため入浴は介助が必要・介護者が息子であるが手間はかけたくない
親戚一同
・温泉先で、車椅子を利用し移動出来る作りになっているか（バリアフリー）確認する。
環境の違いに対応できるか。
・緊急時の医療体制はとれるか・受け入れができるホテルがあるか・家族で対応できるか
温泉がバリアフリーになっているのか？
温泉までの移動時間は片道60分まで。居室は洋間でベッド 介助者は入浴時3名以上
個室風呂で手すりがついている部屋があるか、車イスでも移動可能な部屋か、主治医に関わる上での注意点を聞く。※その温泉自体が受け入れ可能な所か。何かあった時の協力体制はあるか。
自宅において妻の介助にて療養
移動時間が往復2時間を超え、披ろうえんも3時間ほどある。
・温泉までの車イス移動（○時間乗車）に耐えられる。・温泉では布団。一般浴槽である。
移動時間が長時間であり環境も変わる。身体状態の変化が見られる可能性が高い。
家族の支え（妻、長男夫婦）人的資源（医師、Ns、ケアマネ、ヘルパー等） 公的サービス
妻の支え、親戚の支え温泉旅館の支え
バッテリーのついてる寝台車を手配をする。全部の時間を出席することは難しい為休養出来るベットや部屋を確保する
妻、長男夫婦との関係良好で本人の希望を通してあげたいという思いがある。
・山合いの温泉で移動に車で2h程かかる・介助者がいないと入浴困難で、リフト浴が必要。・通常は介護用ベット利用している。
家族介護力があるか！設備は整っているか？旅行を楽しめる余裕があるか？施設（ホテル）の状況。
車の準備は大丈夫か？緊急の体制は整っているのか
・自宅から往復2時間の温泉街。・露天風呂もある。食事は海鮮料理が美味しい（特別食も準備してくれる）
自宅から温泉までの移動時間が長時間となる。慣れない環境で泊まることになる。
・工程に無理がないかシュミレーションが必要（途中休憩が有ると良い）・旅館のスロープ、ベッドが合うか確認する・浴室の状態を確認
家族のヘルプがとても大切
・妻と長男が入浴時の介護を行う。・旅館に浴室の貸し切りを依頼
自宅から目的地迄は3時間以内。入浴は車椅子入浴の設備が必要
移動ルート確認。クリア方法と時間を調べておく
久々の昔話などつかれない時間を考える 浴室の点検
長男夫婦の支援
自宅から近い温泉まで約1時間の移動。入浴時介助を受ける。
温泉旅館の設備・受け入れ体制が整備されているか 旅館に行くまでの交通手段は、安全かつ安楽であるか
温泉までは片道2h、温泉は介助専用でなく一般の浴室 長男夫婦は協力的
妻65才介護。親戚一同、関わりを持ってくれる。
介護者がいないと、入浴が困難である 自宅から温泉地までの移動時間が往復5時間を超える
・自宅から温泉までの移動時間が長い。
出発～帰宅までの行程のシミュレーションおこりうる危険性を学んでおく。
・温泉施設までは車を利用しても片道2時間かかる。・慣れない環境での入浴等の援助が必要である。
・大浴場がどのようになっているのか。・旅館には、部屋にトイレとベッドがある。
自宅から目的の温泉地までの移動時間は約4時間。親戚一同全員の協力得られる。
・家族の協力、介助方法の学習・移動方法（車、電車、飛行機）の確認・施設内の対応に関する情報
家族の支え（コミュニケーションは意思伝達装置を利用）
・外出に際するバリアが点在している。・旅行先までの距離が長い。
段差の問題、移動困難
娘夫婦、孫が朝夕のぞいてくれる。妻、長男はあまり手出しせずできる事は自分でやるよう声かけを行う。妻も持病あり、介ゴに限界を感じている
・自宅から温泉場まで車で5時間かかる。・妻は運転できない。親戚の者に頼む。・介護はヘルパーさんが担当
移動時間が2時間になる
・長男夫婦の協力が得られれば。・とまる温泉の近くの医療機関のチェック・旅館

・温泉地（目的地）までの移動距離が長い。普段は長距離移動していないので不安である。・普通の温泉に入れるか。宿泊施設の設備。
自宅出入り時や往復、施設内の行動を考える
妻に負担 住環境が悪い
移動手段他。
移動の手段（車か鉄道か） 食事、排泄の介助ができるか。貸切りの浴室か。
家族の援助
家族と同居
・負担が、片寄らない様にする・場所と時間周囲の環境でOKであるか
入浴に際し、補助する人員・補助具の確認
・温泉までの移動・温泉についてからの館内の移動・吸引器の状態・温泉は車イスでも入れるか・ベッドはあるのか？
・楽に入浴できる、温泉宿を探す・移動時間がかかる・家族、周囲の人達の協力が得られる
自宅から温泉までの時間は？座位は保てるのか？ストレッチャー使用か？ヘルパーも同行させるか？経済的状況は？
家族の支え（妻、息子夫婦親戚）インフォーマル・フォーマルの利用
受け入れ側の準備
温泉までの時間の往復の時間を考りよする必要がある、その間坐っていられるか体調のよい時に、早めに、出かけることが大切
・意思伝達装置の設置の仕方、コンセントの位置・移動距離の把握・移動手段・協力できる人数は？・寝たきりでも入浴できる環境であるか？
休めるスペース等の確保、緊急時の医療態勢の確保、支援者が入れる温泉の予約や確認。
自宅から温泉旅館までの移動時間が片道2時間掛かる。旅館は1階の段差の無い所に泊まれるが、浴室内は段差がある
全介助状態の方を温泉に入れることができるよう、介護方法の取得や練習を家族が学ぶ必要がある
車による移動時間の長さ 日頃と違う環境（温泉施設、人的）
自宅から温泉まで近場で往復2時間を越える・温泉に入り、帰る時は、本人も疲れているので、途中休憩しながら、移動する。
・温泉までの移動は2時間程・温泉には機械浴がついている。・親せき一同、協力的である。
F a のサポートはOKか？ハード面はOKか？
家族（妻、長男夫婦など）の協力が得られる（人的環境にめぐまれている）・意思伝達装置などを利用できる環境・情報が入取できる環境
長男夫婦、親戚の介護、支え、気づかい人的資源（行政医師看護師、ケアマネ、ヘルパー等）公的サービス（医療保険、介護保険等）の利用、移送サービス、ストレッチャー車、リクライニング車イス e t c、マッサージ、リハビリ、・緊急対応・付添・サポートスタッフ
・自宅←→温泉地までの移動距離（時間）が長い・バリアフリーの環境が望ましい
・移動時間が長い。・温泉につかる。
・）旅行は、隣の県で、移動手段は、リフト付のマイクロバスである。・）移動時間は、片道2時間程度・）温泉以外にさくら並木を見に行く予定・）参加者は、女性4名、男性5名である
妻、長男夫婦の支援がある。
・温泉の宿泊先は車イス対応可能なところを利用する又、家族プロ利用が望ましい・温泉と一緒にしてくれる男性の親族を決め、入浴介助を覚えてもらう・移動フタンの少ない車の手配。
主介護者は65歳の妻である。温泉は男女混浴が可能であるか、可能である場合、妻一人で対応できるか。不可の場合、介助を手伝ってくれる者はいるか、本人はそれを受け入れるか、入浴中、意思伝達装置は利用できるのか。
・近場の温泉地への移動時間が2時間程度かかる
体調を崩してしまった時にどこの病院で診てもらうのか？
・移送の手段・宿泊先の設備・旅行時の医療体制
移動手段、移動中の介護方法体力の限界コミュニケーション手段の外部での実用性
・病院以外で泊ったことは発病してからはない。・旅館のうけ入れ体制、近くの救急搬送できる病院の確認。・妻の介護力の確認。・長男夫婦へ、介護指導。
家族の支え、人的資源公的援助サービス主治医・入院設備のある病院。
妻65才長男夫婦と同居
2H程度でいける温泉旅館がいい。家族風呂のあるところにする。
・温泉旅行は宿泊する必要がある、宿泊する旅館には障がいのある人を受け入れる設備が整っている・いっしょに旅行する家族も本人を連れて行きたいと思っている
旅行先までの移動時間 すぐ横になれる場所があるか 主介護者は65才の妻（長男夫婦と同居）
自宅から温泉までの移動手段の検当・浴室環境はどの様になっているのか、介護者の介入ができるか確認（家族風呂等の利用は可能か）
宿は、バリアフリーか？交通は？援助者の人数は？浴室や、脱衣場は？
妻の支え、長男夫婦には心を開かない。公的援助 主治医、病院（整形、睡眠外来、脳神経他）
・長男夫妻と同居協力は？・温泉はバリアフリー？・親戚とは介護力は？

・新しい浴室での環境で入浴できるか。・移動時間車椅子で対応可能か
妻65才、長男夫婦と同居。
家族の支え、人的資源公的援助サービス病院、主治医
妻の協力、増。・自宅から温泉地まで、往復2時間。・リクライニング式の車椅子を使用し外出する。・ご本人対応の車有。・長時間の外出は、休む必要が有。
温泉までの移動距離。温泉での入浴環境
・移動時間・温泉、宿などの段差や建物の造り。・痰の吸引（コンセント）・ALSの方でも受け入れてくれる宿あるか。
実際の移動時間を相定して車イスで坐位を保つ練習をする。（携帯用の呼吸器、酸素ボンベの準備）日帰りで近場で試して自信を持つ
◎家族全員での介助予定を作成し（事前トレーニング）◎親戚一同が前もって状況を了解し参加を納得してもらうことが必要
移動時間の健康状態の悪化のリスク、緊急時の体制移動手段宿泊先の環境安全確認
親族一同の支援、障害者が入りやすい入浴施設、移動のサービス、必要な福祉用具、体調不良時に対応してくれる現地の医療機関
1泊2日の長丁場 温泉には身体的状況で入れるか
自宅から温泉地までの移動時間車の揺 温泉地の滞在時間
しんせき、家族と公的援助サービス Dr
移動する時の車内での状態 車椅子での移動、同一体位の保持、慣れない布団での睡眠。食べられない食事、入浴
・自宅から旅館までの移動時間に往復4時間を超える。・自宅と旅館の環境の違い・主治医が近くにいない→不安
・1泊2日で滞在時間が長い・旅館の建物構造に問題がある（障害者には）
長男夫婦がよくしてくれる親戚との交流もあり、妻は介護疲れがある。
・移動時間が長い
・車での移動時間が長い・温泉に入る介助が必要である。
自宅から温泉までの移動時間が往復2時間を超える・1泊2日の温泉旅行だがたまたま、障害者も入れる温泉旅館があった。（リフトつき浴室あり）
温泉までの時間温泉のバリアフリー度
・シーズンオフで近くで静かな温泉地がある。温泉地までは、介護タクシーを利用し、サービスエリアでの休息を入れて片道1時間30分は、かかる。・できれば医師、看護師も同行する。
旅行先ホテルの受け入れ確認、バリアフリーの確認
ホテル、交通機関、バリアフリーについて確認
1泊で旅行が可能であるがシュミレートしてみる。旅行先の環境評価
移動時間がどの位か確認が必要
☆車イス対応可能な移動手段☆宿泊先施設での入浴可否、入浴時の介護方法
移動キョリが長い
68歳ALS要介5、主介護者65歳の妻、長男夫婦と同居
・長男夫婦と同居←どの程度協力してくれるのか・親戚一同で集りがある（集れる関係がある）・妻65才←妻はどう思っているのか・温泉の住環境、食事形態・体調等に異変があった時に近所（温泉の）にみてる病院があるかどうか。#緊急時の対応・親戚の理解（本人の病状に対する）があるかどうか・排泄（交換）をする場所があるかどうか#介護力について介護負担について
・移動時間・宿泊先のバリアフリー
在宅時とはちがった環境に耐えられるか？合うか？
・浴場の構造を事前に調べて入浴方法を検討する。・宿泊施設の段差、部屋の使い易さを確認する
・車での移動が長く体力が心配。・胃ろうや他の器具を移動先で正しく使えるか。
・温泉までは遠くて、移動時間が長い。・同居の長男夫婦が協力してくれる。
主介護者は65才の女性・旅行中は親戚による介護も期待できるか？
・風呂は家族用の貸切風呂・車イス対応のホテル
・宿泊先の対応力や移動時間の長さ、万が一の場合に備えた近場の病院の有無など。
・温泉までの移動時間、浴室の形状の確認。・ベッド、移動、移乗手段の確認。・家族（支援者）への介護方法の指導。
長時間の移動中、体圧分散をどのようにおこなうか？入浴方法（バリアフリーなのか？別途介助者が協力してくれるのか？）
自宅から、温泉までの往復が時間がかかる。
ご本人の心身状況に合わせた住環境はどうされているか？ご家族との関係性。・旅行先はご本人の体力、能力に適した場所で、意向がかなえられる場所、設備があるか。・ご家族でケアは可能か？マンパワー支援の補充はどの程度必要か？
温泉までの時間。入浴時の浴そうとうのかんきょう。途中の休憩場所の検討。
・人的資源・介護力・温泉の受け入れ体制・設備・移動手段
・温泉までの道のりは、かなり時間がかかる。
・長男夫婦と同居（どこまで、何を支援しているか）・妻が主介護者（どこまで、何を支援しているか）・公的サービス（難病支援のために公的機関・医療機関との間でうけているサービスの有無）・意思伝達装置の使用。
家族の介護、理解により問題なく生活は出来る。ただ、妻の介護負担を軽くするために積極的にサービスを利用

あまり遠くない温泉地を選ぶ。車イスで入浴出来る、ホテルを選ぶ。
・温泉までの移動時間が長い・旅館内の移動、入浴設備
自宅から温泉までの移動時間 入浴時の福祉用具など安全に入浴できるような対応ができるのか、入浴中の意思伝達をどのようにするのか。
長女、次女の支援あり、孫うつ病発症 公的援助サービス（福祉用具、医療介護等）
・温泉の場所により移動時間を考える。・全介助を要する為バリアフリーや設備が整ってるホテル・旅館の設定。
主たる介護者は65才の妻長男夫婦と同居
旅行の移動に特殊車輛の手配温泉旅館が障害者の受け入れできる施設を利用、緊急時の医療機関の確保
主介護者は65才の妻、長男夫婦と同居
・長男夫婦と同居・意志伝達装置有り・介護保険サービス・医療保険サービス
・自宅から宿泊先までの移動時間について・宿泊先の浴室の環境・ご家族への入浴介助の指導の必要性
旅行先の、ホテルの状況、バリアフリーか、車イスが通れるか例えばじゅうたんだと車イスが押しづらい。65才の女性でむずかしければ長男夫婦等の援助が必要だが得られるか。イリゲータースタンドの代替になるものの手配は
1、妻の思いと健康2、家族の介護力、と経済力3、希望するサービスと医療連携 緊急対応の方法4、住環境5、本人にどんな風にすごしてほしいか（メンタル面で）6、本人から学べるもの（ケアマネとして）
家族と同居
夜間の体の向きをかえるためのマットが必要。介助員が入浴できる場所が必要…家族風呂でかしきりが出来れば問題ない。1時間ぐらいの場所なら行ける
・温泉までの移手段？・旅館の環境（バリアフリー？）・フロアの環境（バリアフリー？）
内服や機材のチェックを行う。家族で打ち合わせを密に行う。協力して移動を行う
本人夫婦と息子夫婦との人間関係家族の介護に対する姿勢移動時間や移動場所の環境
・移動時間は？・温泉の環境はどうか・本人は介助を受ける事で入浴が可能か・車での移動？・温泉ではだれが介助を？
・宿泊施設には、特殊浴槽があり、予約制である。・移動時には段差があるので、注意必要。
温泉のバリアフリー状況 家族風呂や、スロープある浴室 ベッドの有無、緊急時の対応
長男夫婦と同居、主介護者（妻）に支えられている、介護力が強い要介護者と一緒に旅行に行ける身内がいる。
移動車の確保、施設状況確認（浴室の広さ設備、施設内段差、寝具の状況、施設職員の対応、考え、相談が行えるか等）
・外泊になるので、寝る場所や器機の確認がいる
温泉までの移動時間が長い
長男夫婦と同居 親戚一同交流有る
環境の変化で体調悪くなった場合の病院を調べておく。バリアフリーの宿
親戚一同の支え、気づかい 公的援助サービス 主治医の理解・協力
要介護5車イス 短下肢装具装着、介護保険で訪問入浴を受けている。健康な頃は自宅近くの公民館まで歩いて囲碁をやっていた。
長時間、座ってられない→一旦退席し休むか
近場の温泉宿で、車イスが利用できる（温泉にもそのまま入れたり、シャワーチェアが供えつけてあるなど）施設を探す
苦痛が起きない程度の移動方法が望ましく、ヘルプできる人がどの位いるのか、異常時の対応法等含め、十分な検討をする必要がある
温泉までの距離
・旅先での様々なトイレやバリアフリー等の設備状況の不備・受入体制側の拒否、交通手段→各機関への連絡
・温泉地までの移動時間が長い。・宿泊施設のバリアフリーやベットや浴室の構造
長男夫婦と同居妻が主介護者（65歳）。孫は？旅行先の入浴設備は？居室の設備は？親戚との関係は？（介護できる人はいるか？）旅行の行程は？フォーマル、インフォーマルなサービス利用は？医療機関は？ケアマネジャーは？
・旅行先までの移動距離が長い温泉に介助により入れる環境であるかどうか確認が必要。
旅行の移動時間や、宿泊先の施設内の設備について事前に調べる必要がある
移動時間が2時間以上の為座位の確保に注意する温泉は人のいない時間または貸し切り風呂を使用
長時間の移動時間を考え、マスク呼吸器を使用する。孤独感を覚え、不安にかられるため訴えに耳を傾ける。
家族（妻・長男夫婦）の支え 親戚の支え 医療 移手段 宿泊施設の理解
・移動時の吸引に関し看護師の同席必要・入浴介助できる看護師必要
・温泉までの移動時間が長い・浴室はリフトつきを利用
・非常にすばらしい家族を持っている。・温泉の入浴には、他の人の協力が必要。・長時間の座位が予想される。
妻・長男夫婦の支援 介護保険サービス 難病施策
・温泉まで片道車で3時間かかる。・温泉は個浴がなく大浴場しかない
道中及び旅館での家での生活と同じでない。医師、風呂（旅館）は入れるか疲れがでない様、横になっている時間を多く持つ様にする
温泉まで行く手段。途中の休ケイ場所（トイレの場所）宿泊先の環境。（バリアフリー）介ゴカ。介ゴタクシーの利用。・電気の利用が必要な場合の確保（吸引器等）
温泉までの経路温泉地の浴槽

移動時間が心配長時間車中の経験不足
・車での移動時間片道1時間半・温泉旅館での入浴は介助で行う（家族風呂の予約）・宿泊はベッドの部屋を用意
・温泉が車いすごと入れるか・その間の吸引等は？
自宅から温泉の宿泊施設までの移動時間が、時間がかかる。
物的（建物、自助具、補装具、薬剤）人的（家族、友人、親戚、専門職など）制度、サービスなど
温泉旅館までの移動時間がかかる。親戚一同での旅行の為普段と違う環境の為体調の変化の怖れあり。
長男夫婦と同居しており妻も健在。
自宅から温泉まで片道1時間リクライニング車いすで移動する手段がない（ホテルでの車いす移動が可能かどうか分からない。ふる場の状況もわからない）
移動時間。宿泊施設の準備、状況 協力体制
・移動時間・旅館の設備不足
・長男夫婦・妻と同居しており協力してもらい安心できる
・親戚のみの介ゴで、旅行の移動、温泉に入れるか・旅先での宿泊時の施設の環境は？・旅先での親せき以外の協力者は？・移動の手段・リスク対応の方法は？・旅行中のコミュニケーションの方法は？
旅先での協力医、サポート体制の強化。移動手段、動作の支援体制をシュミレーションする。
・親せき、温泉（ホテル）の協力ベットは？・介助者の入浴技術・病状変化時の受け入れ先・移動手段、食事の提供
夫、長男夫婦は介護に献身的
・ホテルまで3時間かかる・ホテルはスロープがありバリアフリーなのか・ホテル近くに病院はあるか。
自宅から温泉場までの距離はどのくらいなのか。本人、K Pの回り人達の負担は大丈夫なのか。親戚は、疾患を理解しているのかを確認する。
自家用車でいくのか、列車利用なのか、時間はどれ位かかるのか
家族：妻（65）、長男夫婦と同居主たる介ゴ者は妻人的資源：Dr、Nrs、ケアマネ、ヘルパー公的サービス：医療保険 介ゴ保険、経済力：厚生年金、障害者手当金
温泉までの移動、入浴時の呼吸機能確保、家庭の支え・援助が必要。
・温泉は障害があっても入浴可能か、また旅館は対応できるか・親戚の理解・協力は得られるか
・温泉までの移動時間が数時間になる・温泉での介ゴ者が、息子1人となる（他の親せきは高齢で期待困難）
・自宅から旅行先までの移動時間が2時間以上・男女別浴なので、男性しか入浴時の介護ができない
旅行先の移動時間、移動方法、受入れ状況・協力者の協力状況・トイレ等の環境（対応可能か？→どこで対応できるか）お風呂の対応（息子は対応できるか？※男性風呂のみの場合）・意志伝達装置の使用状況とレベル低下の見込
宿泊施設のベット等の環境は事前に十分調査し、理解を得る必要がある・病状急変時の対応可能な医療機関の確保も必要
・移動時間・温泉の環境リフト浴かどうか・食事が摂れる場所はどこか・排泄方法は？
F aの協力もあり各サービスの利用で何とか在宅生活ができています
・自宅から温泉地まで片道2時間を要する・旅館での受入れも心よく引き受けてくれた・親せきの協力もうまくいっている
長男夫婦と同居 主たる介護者は妻65歳
長男夫婦と同居 妻が主介護者
自宅から温泉の場所まで車で2時間かかる。移動時間的に体力がもつか心配
・温泉は体力を消耗しやすいので注意する
・温泉施設の環境・自宅の環境・普段の入浴の状況・意思伝達装置の利用方法（どこでも使えるものか）・妻以外にも手伝う人いるか（長男夫婦の協力具合）
手すりや、スロープの設備はどうか？温泉までの移動が長時間かかる。他者の目が気になる
自宅から温泉までの移動時間他の方と共に温泉に入る。一泊2日と、泊まりがけとなる。
温泉まで行く時間、車イスかりクライニングが必要か
・自宅から旅館までの移動時間が片道3時間かかる・温泉先には車イスでの入浴ができる機械浴対応設備あり
・長男夫婦も協力的で家族の介護力がある。
・外出・外泊するなら医療器材が必要。運ばなければならない。・移動の手段。医療従事者の介助必要。・緊急時の対応はどうするか。・本人の生活リズムにあわせる。
・自宅から温泉旅館迄の移動が○時間・自動車の状況・温泉旅館内の状況（部屋、浴室、トイレ）・家族の支え・親戚の支え・緊急時対応する主治医、医療機関
車での移動が片道1時間を超える
活動とも重なりますが、移動時環境、温泉環境、本人のプライバシー空間
・温泉までの移動時間を考え体調管理が必要・宿泊側の支援体制をかくにんする
男、女、浴室は別 介護者の問題 特殊浴槽ではない
・自宅から近い場所で旅行気分を味わえる所・自宅以外で泊まらなければならない
親戚づきあい長男夫婦と同居（介護力）主たる介護者は妻65才住環境はバリアフリー
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、診療を受ける近隣の病院や主治医
観光地、旅館がバリアフリーであるか
車イスでの長時間の移動になる。入浴時の方法をどのようにするか。

福祉用具、金銭面・温泉までの移動手段・温泉のハード面の把握・介護者の有無、入浴、食事、排泄移動・緊急時のHP対応
・寝具・おフロ場・段差など] 宿泊施設のハード面やそこでの対応に？
・温泉旅館の環境について連絡とり、準備する・大広間での宴会に参加する
親戚一同での旅行なので皆の支えがある
移動時間が長い。旅館内の段差がある。手すりがない。
移動時間はどれぐらいか？
・自宅からホテル迄の距離。・家族と同じ料理がミキサーにかけて与えることが可能か。・温泉の中につかることができるか
長男夫婦と同居、親せきの助けあり
家族の協力、緊急時の対応などどこまでえられるのか
・長男夫婦、妻の支え
使用する車イスなどがスムーズに使用できるようバリアフリーかどうかの確認をして宿泊場所を決める。移動時間を考慮して、車イスを選定する。
長男夫婦の支え公的援助サービス〔訪問看護ヘルパーケアマネ訪問リハ等福祉用具購入、貸与病院、主治医との連携
移動に車イス及び生活動作に介助が必要だが介助（協力者）があれば目標にむけて、活動できる
・家族の支え・介ゴ保険、医療等・温泉に行く移動手段
移動時間入浴施設あるのか？利用出来るサービスがあるか？金銭面での問題
・自宅から温泉までは移動時間が往復4時間を超える。・温泉の玄関にスロープなし、大浴場には車いすで出入り可能
自宅からの温泉までの移動時間はどれくらいか。温泉の環境入りやすいか。
・自宅～温泉までの移動は車で2時間程、1泊2日間の呼吸器、吸引器使用が安全にできるか・入浴中の安全の確保と医師の許可。
宿泊施設の環境整備宿泊施設の職員の対応意識改革、緊急時の医療体制、他の旅行者への配慮
移動手段移動時間と入浴についての現状整理を十分確認する
・自宅から温泉までは移動は車・温泉にいったら入浴したい・妻親戚息子夫婦のサポートが依頼できる。・ポータブル人工呼吸器の取扱いと吸引にはNSも同行
長男夫婦と妻の付添専門職のスタッフが同乗出来るか。温泉入浴リフト必要
・自宅とはちがい、リラックスできない
温泉までの移動時間片道1時間かかる。段差がある。移動専用車が必要である。
1泊旅行という事で、普段との生活パターンががらりと変わる
・入浴、温泉で体調不良になる可能性大きい・移動時間の長さや、バリアフリーの不完全さで疲労度増す。
・天気、自然の状況（温泉）・本人が温泉までの移動に耐えられるか
移動時間が長いのではないかと…温泉施設での移動可能か
・自宅から温泉地までの道のり・温泉に入るための環境設備の確認
・温泉や、宿の状況の確認・移動状況の確認
・温泉までの移動時の体調不安・移動する間での段差の有無
・コミュニケーションは装置で大丈夫・移動中の急変…情報提供書を持つ
・自宅から、旅行さきまでの移動時間を考える・とまるところや環境が変化する
温泉に体力の負担がなく入れるような所をさがす
ホテルまでの移動時間が片道3時間かかる。旅行において専属の医師、看護師の同行が必要。
長時間の移動に伴う、身体への負担が考えられる。入浴施設や入浴方法は初めての事である為、安全におこなえるか。
家族（妻、長男夫婦）の支え、気遣い、人的資源（Dr、Nrs、NPOによる移送、ヘルパー、ケアマネ等）公的及び民間でのサービス（医療、介ゴ保険、インフォーマルサービス）の利用
受け入れができる宿
情報は地元の医師に事前に連らく
旅行の移動と旅館でのベッド、温泉に入る方法、食事内容、オムツ？排泄方法など環境の下準備が必要
家族、親せきの協力を得て移動時の介助者の確保
・自宅から目的地まで片道2時間・目的地近くに急病センターがある旨確認。・出発から、自宅帰宅まで約38時間と想定
妻・長男夫婦の介護協力あり。車イスでの移送（福祉車輛）可能。宿泊先でベッドなどの体制あり。個室用の温泉あり、入浴可能。
1泊旅行参加する親戚の中にDrがいる。健康管理はそのDrが行なう。温泉地近くの医療機関に緊急体制の依頼可能
長男夫婦が介護にどのように関わっているのか？
・近所に長女夫婦が住んでおり、頻ぱんに顔を出し介護の援助をしている→旅行の下見を長女が行なう予定→トイレや浴場の物理的な確認と介助方法の準備が出来る。・少し遠いが信頼している主治医がいる
旅行先、温泉の選定先による
家族の支え、人的資源、公的援助サービス、主治医、緊急時の近隣の病院
車椅子で乗れる車両の準備・車椅子で入れる温泉宿の手配
家族の支え、親戚の支え 人的資源 公的サービス、非公的サービス
ウェルキャブの車をレンタルし、泊まるホテルもバリアフリーを選ぶ。主治医より、注意点や、急変時の対応現地での医療機

関をしらべておく。親戚にも理解を求める。
長男夫婦と同居 主たる介護者妻
・温泉地までの移動距離、交通手段・温泉地の障害要因（バリアフリー化の状況）洋室か和室か、浴室は？・主介護者の妻は高齢。・親戚の年齢層は？協力者は？
・宿泊予定地まで超時間の移動を要する・宿泊先が日本式家屋の為、段差や廊下のスペースの狭さがバリアとなる
自宅から温泉まで往復2時間を超える。温泉場の旅館は、和室で、ベットではなく、お風呂場もかいだんが何段かある。
人工呼吸器の配置、停電時の対応。離れた場所であり、万が一の時、専属の看護師のケアが受けられない
・家族、親戚の協力・車輦の手配・医師との連携・受け入れ先の環境
旅行中の主介護者と支援してくれる人々の介護力を向上させる 往復の時間の把握
・長男夫婦と妻の支え・人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、保健師）・公的サービス（医療、介護保険、障害難病支援）
・フルリクライニング介助車を使用して安全に移動。
移動時間。方法、環境の変化
・住環境・介護力
・自宅から温泉のあるホテル迄片道2時間かかる。・ホテル内は、バリアフリー・浴室用シャワーチェア・長男が中心介護者
・長男夫婦と同居している。・介護者 65歳・本人の介護を、家族が、行っている。
1泊2日の旅行の為長時間の外出である。
・温泉の宿泊宿に、受け入れられる設備がない。
・家族の支え
妻の支えで精神的に安定。社会資源（行政・医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー等） 公的サービス（医療保険・介護保険）
・fの支え・フォーマルサービス
外泊等で自宅外で過ごすための障害が数多くある。
・温泉地まで共道車で2時間・温泉旅館はバリアフリーで家族風呂も段差なし
・妻が主介護者、長男夫婦の手助けも得られる。家族や親戚の障害に対する主理解・公的援助サービス・応診をうける近隣の医師や病院との連携
温泉地までの移動時間がかかなりあり、また、温泉に入ることが希望だが、温泉に入る際の環境が整っているか。
・旅行の移動方法 移動時間・旅館、浴場の施設環境用具、浴室での介助者・食事内容、夜間対応、緊急時医療
・優しい家族（・ボランティア）
家族の支え（長男夫婦、主介護者65才の妻。
障害のある体を、他人の目にさらす事となる。本人の精神的負担が大きい。
自宅から温泉までの移動時間が長い。温泉はすべりやすく足元が不安定。
長男夫婦と同居 主介護者妻65才 公的サービス利用（医療、介護保険）・温泉のハードが可能であるか（階段）・周りの介ゴカ（親戚の人が本人の状態を把握し、交代用員となる
長男夫婦と同居。
・温泉までの移動時間が数時間になる。・旅館内移動時にも介助が必要である。（事前に旅館内見取図を取り寄せておく。）・温泉への出入りについては、男性2名以上の介助が必要である。
・温泉までの交通手段の検討は。・入浴時介助方法
・親戚一同の理解・自立支援給付の可否・経済力
自宅から温泉までの移動時間が長い。温泉に着けば体を休めることができる。温泉はバリアフリーでリフトもある。
長男夫婦と同居 主介護者妻65歳
1. 看護師、介護士の同行 2. 主治医の同意 3. インフォーマルの支援
主たる介護者は妻 長男夫婦と同居。
・移動時間、方法 e t c について ・慣れる温泉入浴について
移動可能な距離地を選ぶ 車椅子又はキャスター寝台で入浴できる宿泊地を選ぶ
・往診、訪問看護、リハ、介護を受けている。・長男が車にのせて行ってくれ、自分の兄弟たちとあえる。・入浴も弟や、息子が手伝ってくれると。・以前もみんなで行った旅館に泊る
長男夫婦と同居 主介護者も65才と高齢。
・自宅からの移動時間がかかる ・泊まるので寝る時の手当てが必要。・環境変化ありなので考えていく。
・自宅から旅館まで長時間かかる。・温泉には介助者男性2人いなければ入る事ができない
長男夫婦と同居、親戚一同、介護者は妻65才かかりつけの病院、訪問看護ステーション。
・自宅から温泉施設までの移動方法はどうか？座位保持時間が長いと疲れる。・温泉に入るためには妻以外の人の協力が必要だ（親族や施設側）のサポート体制
・温泉までの移動時間が長い。・温泉宿での障害者の受け入れ体制を確認する必要がある。・急変時の対応を考える必要あり。
・長男夫婦、妻と同居。・温泉旅行は親戚一同で☆本人だけの意向？家族の意向？親類の意向？（介助力の評価？温泉旅館の評価？
福祉用具。主介ゴ者も高齢。長男夫婦の介護力。生活、活動への支障となるものはあるか。

1泊2日の温泉と移動時の安全、安楽ができるように体力、精神、心理面を強化。
温泉への移動時間と食事・入浴などで5時間程度・移動時間準備がかかる
・妻が主に介介している。・長男夫婦と同居。
妻、長男夫婦と同居。主介護者 妻。訪問介護 訪問看護 福祉用具を利用。妻は介護のため退職し通院援助。障害手帳1級。要介護3。
・旅行先までへの移動距離や滞在時間など・つそその者の確認 C：活動と同じ
親戚一同と、家族全員で一泊2日の温泉旅行は人手もあり、最高のチャンスである。
・浴槽・浴室が車イス対応になっているか。・温泉場までの移動時間・部屋が使いやすいか。
移動時間や座位での姿勢の時間に耐えられる状況か？温泉に入る際の環境と人手。
温泉までの移動時間が長い、宿泊するための、部屋やベッド、風呂が利用しやすいかどうか。
宿泊するホテルの状況がわからない。車イス移動がスムーズにできるか？温泉は短時間で済ませた方がいいと思う。
・車イスで入れる、バリアフリーの旅館、温泉を探す。・介護の負担を家族みんなで分け合う。
家族の支え、(妻、長男夫婦)在宅診療の医師、看護師ケアマネ、近隣の方々
家族の支え、人的資源公的援助サービス。
・慣れない環境となり、温泉に入る為の設備なども整えることが必要。・コミュニケーションの為の装置を持ち込む必要がある。
家族の介護。公的援助サービス 病院・主治医
・意思伝達装置の使用法。・入浴介助法。
・家族や親戚の介護疲れが懸念。・長時間の移動に耐えられるか？
自宅～温泉までの移動が長時間となる。
・移動時間が長く、負担となるのでは？・宿泊施設での電源の確保・移動時の呼吸器の安全性
温泉までの移動手段や時間 温泉の施設・設備環境 援助者の状況
1泊2日という長期間で、医療体制をどう整えていくか 移動時間の長さが体調悪化につながらないか
旅先までの身体、心身ともに疲れない様に出来るか。介護されるというおい目やえんりよがなく旅行を楽しいものにする事が出来る。
家族の支え、公的援助サービス 診察をうける近隣の病院や主治医
旅行先までの移動時間は？車はどのようなタイプのものを選べば安楽に行けるだろうか。途中、具合が悪くなった場合近くには病院があるか。
・温泉までの移動に片道2時間かかる。・寝たきりで入浴できる浴室・協力的な親族。
・自宅から温泉までの移動2時間かかる。・温泉がバリアフリーの設備あり。・家族の介助協力、訪看より家族への入浴介助レクチャーおよび注意点レクチャー・リフト付車両のレンタル。・長男夫婦、妻と同居。
・温泉の設備はどうか
長男夫婦と同居 妻は65歳
・住宅改修の必要性。・介護力は。
往復移動時間の問題、旅館の中の移動がスムーズにできるか？
家族、温泉のスタッフとの事前の話し合い 主治医との相談、連絡。温泉近くの病院もチェックする。安心して、入浴できるよう準備を。
・長時間の移動に体調変化が起きる。・車イスごとに入れる温泉を見つける。
家族(妻65歳長男夫婦)が援助したい 親戚の援助 温泉施設の設備(段差等)
温泉であるため入浴時の介助者は何人いるか、介助方法などについても事前の指導が必要。
・移動時間が長い。・温泉に入るのに1人で入れない
・移動時間を考える
妻、長男夫婦と同居
温泉に行く為に入念に時間やアクセスにどれくらいかかるか十分に時間計算をし体力が保てるか確認する
労老介護
・温泉までの時間耐えられるか・交通機関は何か、それに対応できるか・吸痰装置、パソコンを上手に移動できるか・旅館での体制は整っているか。
温泉までの移動きよりが長い。入浴中の身体保持が長時間。
・泊るところの確認をする 入浴方法。
訪問看護ゴ介ゴや長男夫婦の協力が保られている。近くに温泉があり、介ゴタクシーなども利用できる。
自宅からの移動距離の確認、旅館での環境の確認・介護の必要人数の確認
家族の支え。公的サービスの利用。
温泉地までのいどう
同居
長男夫婦と同居
主な介護者は、妻によるもので、介護力は強いとは言い難い。
目的地まで移動に時間がかかる 宿泊先の寝床が電動ベッドではない。温泉の環境がバリアフリーではない。

・介ゴ者の介ゴ力・精神的不担。・車イス使用？
・車で移動、時間。・旅館での設備、コンセント、ベッド等→尿器・オムツ吸引器一式・物理的、移動介助、意思伝達装置のセッティング
1泊2日の旅程の中での休息を十分に作る。無理なスケジュールは組まない。
久々の温泉並びに親戚一同と会うので気負いすぎないか心配
・家族の支え・人的資源の活用・公的Sの利用
長男夫婦と同居 妻は65才 人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネジャー、ヘルパー）公的サービス（医療保険 介護保険）
・1泊2日の旅行なので急変時の対応など注意点がある。・介護者が妻以外にも複数いる
車輛のゆれ等で痰の吸引が続くと思われる。体力の限界が近づく。事故の可能性。
温泉地周辺の医療施設を確認する。移動に時間がかかる場所は控える。ベッドが必ず必要である。
温泉までのきより、設備
長時間の移動に耐える体力をつける。外泊による環境変化に対応する。
宿泊先まで距離があり、移動に疲れてしまう。
・近い場所を選ぶ・家族湯で入浴する。
・家族の支え（妻・長男夫婦）・人的資源（行政・医師・看護師・CMヘルパー等）・公的サービス（医療保険・介護保険等の利用）
移動には時間を要す。
家族、温泉職員の支え、人的資源公的援助。診察をうける主治医や宿泊先、近隣の病院
長男夫婦・妻の支え。親戚の協力。介護保険の利用。
本人
温泉地までの移動時間が長い 家族風呂があるかどうか。どんなベットか。（ギャッジアップできるか）介護用か。
温泉地までの移動時間 温泉の状況 介護者の健康状態
移動・移乗が困難ではないか、長距離すぎないか、緊急時にはどうしたらいいか把握しておきたい。
温泉までの移動必要に応じ伴う介助、介護、医療的処置
本人の居住地に必要な介ゴサービスが存在するのか。
温泉までの移動距離がどの位あるか。入浴時は、長男に介助してもらおう事になるのか。
・温泉までの距離・温泉旅館での入浴方法 旅館側の受け入れ
長男夫婦と同居 介ゴ者妻：65才 アクセスや温泉の任■■の確認が必要
・主介護者65才の妻・長男夫妻は介護に協力的。
人的資源の確保 旅行付き添いヘルパーサービス、看護師の同行等
リクライニング車椅子での車送迎温泉施設乗り入れ、浴室、利用、ギャッジベッド。
自宅から温泉場までは時間がかかる。
・人工呼吸器装着の電動車椅子に体が乗ったままでの移動手段が必要・入浴時の介助者が必要
家族（妻65才、長男夫婦）
家族（妻、長男夫婦）の支え 人的資源親せき一同
自宅からの車で移動時間が長い 温泉に入りたいが、一人では身が不十自で入れない手すりない 介護を受けての入浴が必要。
家族の協力が得られる
自宅から旅行先までの移動時間 温泉場の環境
・家族の支援・公的援助サービス・旅先での緊急時の対応
主たる介護者は65歳の妻 長男夫婦と同居（妻の負担大）
・玄関の段差、解消する。・送迎が出来ない・浴室、玄関の手すり設置
長男夫婦と同居、キーパーソン妻 人的資源、公的援助サービス 病院関係や主治医。
介護保険が利用できない。自主支援法の利用が可能。
妻や長男夫婦がいる
・入浴環境が整っているか、事前の調整を行う。
家族の支え。人的資源 公的援助サービス 病院・主治医・公共の福祉環境
親戚、家族の介護力 旅行行程・宿泊先の環境 医療連携体制
移動時間が長ければその対応をする。（準備等）温泉にゆっくり入り気分をほぐす。
温泉までは2時間ほどかかる。布団での起き上がりをスムーズに行えるよう努力する。
家族と親戚の人的支え。泊り、施設のサービスの充実 妻への負担を軽減する。
自宅から温泉までの移動時間が長い 身体障害者対応可能な温泉を選ぶ 温泉側と綿密な打ち合わせをする
移動に5時間以上かかる。移動は、リクライニングが出来る車イス使用 入浴時には、二人の介助者が必要である
4人暮らし、65才の妻が主介護者。長男夫婦と同居。妻は長男を相談相手として頼りにしている。自宅から温泉地まで車で往復移動が2時間かかる。
・自宅から温泉地までの移動時間が長時間となる・温泉施設、ふる場の設備がととのっていない

移動手段中の急変対応を考える必要がある。生活環境の変化（1泊2日間の）。
・温泉は車で3時間ほどの所にある。・一般の浴場なので、入浴の際は安全も確保する必要がある。
移動距離が長い。
家族（長男家族、妻）の支え 気遣い 人的資源（行政・医師・看護師 ケアマネ ヘルパー） 公的サービス（医療保険・介護保険）
・自宅内に段差がある。・移動（自宅から温泉まで）の手段
近くの宿泊施設の設備、浴室・トイレの環境が整った所の情報収集、食事提供の配慮やサポート体制を確認し決める
・親戚一同が参加する。・移動には手伝ってもらえる。
・1泊2日。・家族・親戚が同行。
・移時の距離、時間・入浴室の環境・客室内の環境
移動が2hかかる。宿にバリアフリー、ベッド必要。入浴での介助、バイタル
一泊二日で、移動時間等工夫が必要。温泉介助 家族の支援・人工呼吸器の管理 伝達装置の調整他
住宅環境 家族状況 介護状態 経済状況
親戚一同で見守りがある。受け入れ温泉がある。
温泉までは2時間であり、途中で休める場所を確保する 温泉に協力を得てホテルの中で移動しやすいようにする
妻、長男夫婦の支え。主治医、訪問看護の支え、相談相手
・自宅から、温泉地までの往復時間は約3時間掛かる。・食事や温泉入浴を家族、親戚と共にしたい。
久し振りに皆さんと交わり、コミュニケーションを図りたいので意思伝達装置を持って楽しい時間にしたい。
温泉に入る際に、誰かが側につき一緒に入らなければならない。
・自宅から温泉宿までは往復2時を超える・浴そう内ではコミュニケーションツールが使用困難である。
長男夫婦と同居。
家族の介護力あり。協力的であるが農作業がある為日中一人ですごす時間長い 坐位ですごす。床にねると一人ではおきられない。
・主介護者がいる・協力的な家族・サービスが利用できる（介護、障害、特定疾患）
・家族の支えがある
・1泊2日で泊まりである。・移動に時間がかかる。・温泉に入るのに介助が必要である。
車での移動時間 温泉への入浴時間 長時間である。
A L Sで自力行動が出来ない 旅行で長時間の移動が困難ではないか 旅館や施設の設備が整っているか。
家族が介助できるのか。入浴の介助ができるのか。ベッドはギャッジアップが必要か。
車移動か電車移動かになるが、同姿勢維持の時間を考慮しながら対応する
家族の支え 公的サービス 主治医 旅行先の施設・病院
・温泉までの移動に片道2時間はかかる。・温泉には機械浴がない
・介護者の協力体制は充分か？・緊急時の対応はOKか？
温泉までの移動。1泊2日。
自宅から旅行先までの移動時間が2時間を超える。
長男夫婦と妻の支援。親戚との良好な関係。経済的なゆとり。・温泉に入る人（支援者）は？
親戚一同なので手助けもできる。フォローができる。
家族（息子夫妻・妻）の支え 人的管理（行政、医師看ご婦、ケアマネ） 公的サービス（医療保険、介護保険障害手帳）
宿泊場所が家と違っている。温泉場所がはなれている。温泉施設が必ずしも車椅子対応になっていない。
・家族のサポート体制・医療体制・公的サポート内容・経済面・インフォーマルサポート
・コミュニケーションの援助が必要。・妻以外の介護者、ヘルパー等公的サービス利用 救急の医療機関の
移動時間には時間がかかる。着替えやタオル類は自分で準備する 普段口では言えない事を手紙にしたため場で伝えたい。
・自宅から温泉宿までの移動・自宅以外の場所での宿泊。
・移動時間の短い温泉地を選ぶ。・温泉利用時の介護方法は。・道中での休憩のとり方
妻（65才）、長男家族と同居。親せき一同の温泉旅行参加→親せきの手伝いを得られる。旅行に向けて車輛、宿泊施設の確保。・旅先での医師の紹介、安全を確保するために材料の運搬。・困った時の解決リストの作成
温泉まで3時間かかる、移動時のアクセスも困難
・自宅から温泉までの移動時間を考える。・温泉の入浴時間、その他の時間の配分を考える。
・旅行での移動時間は？移動手段は？介助者？人工呼吸器等の物品の確保、目的地、温泉施設の構造。・家族（長男夫婦、妻）の支え
制度の利用（移送サービス、移動用リスト）、車イス・Bed・日常生活用具の給付、温泉施設の対応
温泉宿での協力も必要。車イスで行けることができるかの確認。車イスでの車内移動は可能か？
温泉の環境は安全といえるのか。長男夫婦は同行できるのか。
妻65才、主介護者。長男夫婦と同居。親戚との関係良好
現地の支え、主治医のアドバイス
妻が主介護者。長男夫婦と同居

・自宅から温泉地まで長時間の移動となる。・普段とは違う環境での入浴となる。・長男や他の親戚（男性）が計画に協力的である。
・自宅から温泉までの時間確認。・宿泊施設の浴室内環境調整
・ハード的に受け入れ可能か？・緊急的に対応できる医療機関はあるか。・家族だけで2日間すべての介助は可能か？負担が大きすぎないか。
（長男夫婦と同居、介護者は65歳の妻）家族の協力はある。しかしサービスも必要か？・車椅子対応など障害者でも入浴できる施設を検討する。・移動手段を検討
車イスでも乗車できる車か（？）温泉施設は車イスでも入れるか（？）長男夫婦はどの位支援できるのか（？）
移動時間は片道2時間が限界
車イス、車イスの乗る車の手配。常時の介護者が必要。
65才の妻が主介護。長男夫婦も同居して支援をたのめる。
温泉での入浴の際の温度差に対応すること。皆と同じ席に居る時間の本人のペースと疲れ
・介ゴ者は65才妻で長男夫婦と同居
宿泊先までの移動、体けい、館内での動きを事前に確認する
・自宅から旅行先まで移動時間が2時間超える・車イス対応の車や旅行先での環境が問題となる
長男夫婦と同居 妻65才
・自宅から温泉までの時間を調べる。長時間にならないよう注意・移動手段がスムーズに行えるルートを選ぶ・長湯にならないよう手順をしっかりと学ぶ
・目的地まで自宅から2時間以上ある・子供は3人おり、関係は良好 今回の旅行は孫も一緒に親戚でたくさん集まることになっている。
長男夫婦と同居、妻が主に介護をしている。
温泉までの移動手段、距離等、本人の大きな負担とならないように。
家族の支え 公的援助サービス 診療をうける近隣の病院や主治医 長男夫婦と同居
・自宅外での宿泊となる。部屋の環境が問題となる。・車イス対応可能か。
・自宅から温泉までの移動時間が往復4時間を超える。・温泉に入るのも、介助なしには入れない。
1泊2日の旅行のため、夜間も吸引の必要かもしれない確認 旅行先の環境状況も把握しておく必要あり
温泉旅行での移動について、温泉旅館、浴室がどのような状態か？
・外泊時間に体力維持出来るか・緊急時の対応策
・車での移動距離が長い・温泉の環境が自宅の浴室と違う。家族以外の人も参加する
・長男夫婦と同居・介護者は65才
・長男夫婦と同居・妻が主介護者で65才・妻の介護負担は？協力体制は？
親類の支え気遣いあり。甥にDrがいる。
長男夫婦と同居 妻が介護している
長男夫婦と同居 妻65才（主介ゴ者）
長男家族の協力。医療機関との連携 介護保険サービスの利用
支援の配分、誰れが何をするか急変の対応、受診が出来る病院の有無、宿泊先きの対応等、確認しておく。
長男夫婦と同居 妻65才
長男は協力的である。施設についても、事前に調べし、介助すると、浴そうにつかれることは確認している
・移動時間が長い（2日連続）・1泊2日の温泉旅行中、体調管理が必要である
・周囲の温泉に問い合わせるもバリアフリーで源泉に入れるところはなく浴槽がまたげない
移動には、介助が必要である。
長男夫婦と同居 妻は65才
・館内の構造・移動中のトイレ・家族の介ゴ力の評価・病変時の受診先の確保
・家族、親戚の支え・移動時間
・家族、親類の協力・意思伝達装置・医療体制の確保・移動の困難さ
家族（長男夫婦）支援 人的資源（医師、ナース、ケアマネ、DSスタッフ）長男夫婦は仕事で昼間は一人ですごす。
長男夫婦と同居しているので協力は得られる
・対応できる支援者状況。・温泉旅行の場所、移動時間や方法
温泉までの移動距離が体力保持できるか、宿泊施設が車イスで対応できるか？食事は形態のオーダーができるか？Bedや車イスのスペースがとれるか。
温泉までの移動に時間がかかる。温泉施設の構造がバリアフリーになっていない
家族のみが負担せず、他の参加者に車イスを押しもらったり、おぶってもらい分担のよさ。
家族（長男夫婦）の支えを要する。公的サービス（医療保険介護保険）
・自宅から温泉地までの移動時間が往復3時間を超える
・温泉まで遠い。・1泊2日の温泉旅行
・車での長きより移動となる。・宿も完全にはバリアフリーになっていない。
車での移動は大変だが、家族の協力がある。主治医にすぐ連絡がとれる。

・介護に積極的。・長男夫婦と同居。・キーパンソン65才妻。・人的サービス（看護、介護、Dr、ケアマネ、訪問入浴）。・公的サービス（医療保険介護保険）。
意思伝達装置
・主介護者は長男、嫁である。・介護力は弱い
自宅から温泉まで2時間かかる
宿の設
自宅～温泉まで片道、3時間ほど。旅館はバリアフリー対応
家族の協力。公的援助サービス（福祉タクシー等）。主治医と緊急の場合の連絡網（旅館の近くの病院を含む）
・自宅から温泉迄の移動。日常の生活場には整っているが車に普段使っている道具などの準備が必要。・24時間に必要環境を移動する車に行なう。・何かあった時の病院をリサーチしておく。
温泉施設が、ALS患者にも対応しているかどうか
・自宅から温泉まで往復3時間をこえる。・入浴する温泉内（洗い場）は比較的ゆとりがあり、バリアフリーになっている。
・温泉先での医療機関の確認（万一の為）。・介助の担当者を決める
家族（義息子、取婿、取嫁、孫3人）同居しているが関わり希薄（義息子、嫁多忙）。人的資源（医師、看護師、デイサービス、ヘルパー、CM）公的サービス（医療保険、介護保険等）利用
日頃の生活圏外での活動で緊急時対応できる病院・医師がない
温泉は車で1時間。温泉に入浴するための施設の条件を確認。家族・親戚・施設スタッフの協力体制。
・自宅から温泉迄の移動時間がかかる。・温泉には、長男夫婦などに手伝ってもらい、入りたい。
事前に下見しておき、温泉に入る方法を旅館側と調整する。
・バリアフリー対応の温泉は自宅から片道2時間の場所にある。・交通の混雑も考えられる。
・大浴場や露天風呂の構造が障害者向けになっていない・男性浴場には、主の介護者は入れない
長男夫婦への気遣い。人的資源（医師、Nas、ケアマネ、ヘルパー）公的サービス 自宅の住宅改修
家族、妻、長男夫婦の協力、思いやり。親せきの協力、旅館側の受け入れ体制
温泉宿までの移動時間がかかる。緊急時の病院や訪看との連携。
親戚一同への調整をなるべく早く行う。駐車場も確保し、玄関に停められる旅館を探し負担を軽くする。
・旅行での移動時間が2時間をこえる。・長男夫婦は母親（65才）の状態も確認する必要あり。
自宅から温泉までの移動時間が3時間近くある。1泊の荷物、エアーマットを必要品がたくさんある。
奥さん、長男夫婦の支援 公的援助サービス 主治医のサポート
・移動時間が2H以上かかる。・ホテルの環境の違いが対応できるか・入浴の際安全に行えるか
自宅バリアフリー 長男夫婦と同居、主の介護者（妻）も高齢。
長男夫婦と同居。主たる介護者は妻65才 病院や主治医…主治医に許可を得、緊急時にも対応する様おねがいがいる。長男夫婦、妻が好意的であり、支援力が高い。
・温泉地まで車で2時間かかる・温泉に入るのには、親せきの人数人の支援が必要である
温泉までの交通手段は？どこまで行くのか？
・自宅→旅館までの移動時間がかかる・送迎は車で行なわれるか？・温泉は気管切開をされた状態で利用出来るのか？
・温泉までの距離。・入浴介助を親せき 家人だけで行なえるか
サポートしてくれる家族 移動手段、旅行先の環境
家族の支えがある 公的援助サービス 主治医との連携
・移動距離、移動時間・温泉宿がバリアフリーか・湯舟にどうやって入れればよいか・食事の問題・緊急時の医療
親子であれば、ある程度の無理なことも言えるが、親戚となるとつい遠慮してしまう。
・入浴は介助が必要。（リフト浴などの設備の確認）・温泉宿でヘルパー等が自費でも提供できるように調整。
機械浴での入浴は可能であるが、温泉への入浴方法を検討する。本人にあまり負担のかからない距離の温泉から本人に選んでいただく。
・自宅から温泉までの移動に時間が掛かる。・温泉施設の環境に応じた介護が必要。
・妻の介護負担について・温泉旅行の移動手段について
車と電車との最適の組みあわせを検討。充電式吸引器を持参
長男夫婦と同居。妻65才が介護者。医療保険、介護保険の利用。行政・Dr・NS、ケアマネ、ヘルパー
・行き先で診てもらえるHPがあるのか確認する・家族でどれだけ出来るかけんとうする
・自宅から温泉までの移動時間、車いす移動が可能な場所であるか。・介助にて温泉に入ることができる所か。・食事形態（きざみ食、軟食）・意思伝達装置の使用可能な場所
ALS コミュニケーション意思伝達装置 長男夫婦と同居
・温泉は隣県であるが、片道2時間かかる・宿はバリアフリーで必要であれば、仲居さん等が、移動支援などの介助をしてもらえる。・食事の加工も可能。
高令者介2 長男夫婦同居
・温泉まで長時間の移動がかかる。・本人も久々である。
1. 家族による介助があるが老令化2. 親戚も援助してくれる
・移動手段・入浴設備・緊急時の対応

・温泉までの移動時間・痰吸引を妻だけに頼らず、交代できると良い・温泉に入るための協力者が必要。できれば家族や親戚の中で練習・旅館側への協力体制・近隣の医療機関の確認
温泉旅行の移動時の介助や入浴時の介助をサポートする体制が必要。
・自宅から現地までの移動時間が往復2時間はかかる。
障害者対応できる浴そうの有無
昨年死去した夫が、何もかもやっていた。ディでは自分で出来るからと指導していたが、夫は何んでもやってくれる。なぜやらなければいけないのか？と怒り出し、食事も受け付けない。夫が死去して、長女家族と同居したが長女は仕事で、放り出したまま出勤、朝食は自分で食べないのでディで世話、亡夫と同じように放置と全介助で本人の意欲が出ない
・旅行中の介助者・全介助入浴の手段
自宅から温泉まで長時間の移動となる。長男夫婦も一緒に行ってもらおう。
・自宅から宿泊先までの移動時間が長い・宿泊先のベット、浴室の環境が充分ではない。
長時間の旅行であり、随時担当医療従事者への連絡体制の確立、現地の応急医療機関を事前に把握する。万一の事も考慮する。
・自宅から温泉までの移動時間が往復3時間を超える。・温泉は広く、入浴は慎重に行う必要がある。
・自宅から温泉までの移動が出来、自宅まで家族の支援が出来る・親戚一同と久々に合うことができる
旅行先までは長い道のりである人の集中する場所でもあり本人の体力も心配
・長男夫婦の協力が必要・妻は65歳
・自宅から宿泊施設までの移動時間が長い。・温泉に入りたい。
・自宅から温泉までの移動が片道2時間・温泉浴場に段差あり・意思伝達装置と吸引器の電源の確保・リクライニング車いすが入る車の手配
・自宅から温泉まで往復3時間・機械浴利用できる施設である。
長男夫妻と同居、主たる介ご者は妻65才・移動時間
・旅行先への移動方法と時間の確認・慣れた入浴環境ではない・介助者は確保できる様子
温泉場までの移動時間、車イスのまま入れる入浴場、アンビュールが必要
主介護者妻65才
旅行になると、長時間の移動となる（乗り物）。温泉入浴は、体力、必要。
入浴の介助者と車椅子（シカクチェア）の必要性。移動、移乗の介助者。介助者（妻）交換要員。
自宅から温泉地までの移動時間。温泉の浴場の施設の状況を確認する。
知らない場所におることの緊張感がある。
家族支援
温泉地にまでの移動時間が往復2時間以上。入浴時の介助方法など旅先でのアクシデントがないように旅行先に問い合わせる。
慣れない場所での環境に不安がある
家族の支援あり 温泉場の受け入れ状況 医師の許可と注意点 緊急時の体制
家族の支えはどこまで可能か？ 人的資源の範囲は？ 公的サービスの利用は？
主介護者65才妻 長男夫婦と同居
家族（妻、息子夫婦）への気遣い 人的資源（行政、医師、MS、ケアマネ等） 公的サービス（医R、介護保険）利用 妻が65歳だが神経質
長男夫婦と同居で妻（65才）の介護を受けている。介護認定要介護5のため介護サービス提供可能
移動方法、介助（男性）者の確保。部屋に浴槽付の温泉をさがす！人口呼吸器やサクシヨンの持ちはこび。
長男夫婦と同居 65歳妻が介護者
・自宅から1番近い温泉までは、約30分・温泉に階段や段差がある。
長男夫婦と同居 介護は妻65歳
・自宅から温泉までの時間車いすで対応できるか。交通機関の選択・温泉場のホテルのベッド各機器の持ち込みスペースの確認 浴室、脱衣室の確認
・移動の時間・妻の介護負担
・外泊する事でどんな状況になるかわからない為事前に行程、旅館設備を調べ打ち合わせておく・医師と緊急時の対応を打ち合わせる・65歳の妻の介護負担を軽減できる様検討
一日中家政婦が付いている 旅館介護師、ヘルパー、医師の定期的訪問あり、息子が2人いるがたまに帰ってくるのみ 夫は他界
宿泊先までが3時間を超える
妻は65才とまだ体力的に大きな問題ない 長男夫婦の支えもある 人的資源（ケアマネ、ヘルパー、医師、看護師）医療保険介護保険利用
移動方法や旅行先の環境確認、入浴時の支援や方法の検討
・移動が長時間・温泉での入浴体制
長男夫婦と同居
・一泊2日の長期外出・外出先での緊急対応体制・意思伝達装置を自宅外で使用する必要がある
介護者は65才の妻が主にされている。長男夫婦も同居。

・障害者を受け入れることのできる宿泊施設の予約 ・旅行介護、ガイドとの打合せ
温泉までの移動に時間がかかり、浴槽も介護用の物がない。
・往復の車の移動が長時間である。・温泉にはリフトがない。（入浴方法の問題）
・自宅から温泉までの移動時間が長い。緊急時の連絡体制。・温泉に入るために、バリアフリー介助入浴ができる浴室か。
・温泉までの移動に時間がかかる。一泊するため通常使用している機械等全て運ぶための車の準備
ねたきりであり、車イスもリクライニングしないとだめ。日常的には、妻以外には、介護する者がいない。本人ののぞむ生活をたすけてくれるサービスがない。
・家族（妻・長男夫婦）の支え・温泉宿の協力
長男夫婦と同居
自宅から宿まで、往復3H、高速をつかうと、スピードによる体力を使うので普通道路をつかうか休息を出来るだけふやす。
・車で移動だが、4時間程かかる。温泉場は、段差がある
・自宅からの移動手段は車か、列車かの選択で、状況が変わる。・いつもと違う寝具を利用する。・緊急時の対応、温泉がバリアフリーかどうか
温泉までの往復の時間や旅館のバリアフリー化されているかどうかまた、入浴の際のツール等の確認が必要である、また旅館の協力者がいるかどうか
できるだけ近場の温泉で、家族風呂で露天風呂があり、障害物が少ないところを探す必要がある、同行者に男性が4人おり、かつげば風呂の中も移動はできそう。
介助者は妻と長男夫婦、移動は手伝わってもらえる
近くの温泉でも往復、1時間はかかる。その温泉には、特別、障害に応じた工夫はなされていない。
家族の支へ長男夫婦の同居妻の介護
・1泊2日の温泉旅行、移動に時間がかかる。・温泉先で受け入れてくれる所を探す。・温泉に入るまでの移動移乗がスムーズに行える場所が必要
自宅から温泉までの移動に関して、環境の変化に対応できるか。温泉への出入りが大変。
自宅から温泉先までどの程度かかるのか。
妻、長男夫婦の支え
・自宅～温泉までの移動手段と時間・入浴の方法と温泉施設的环境・介助者（男性）の確認・意思伝達装置持ち込みの同意
自宅から温泉までの移動時間が、片道2時間程度。旅館の周りに散策コースがある。
最初からムリだとあきらめさせられていないか
・意思伝達装置や医療機器の持ち運びは可か、また宿泊先に設置できるか・現状の身体状態で移動や入浴等の実施が可能な設備はあるか・緊急時対応できる医院が近隣にあるか・親戚からどの程度の支援を得られるか
自宅から温泉までの距離、移動手段、移動時間、温泉旅館の状況（1Fか2Fか、エレベーターはあるのか？布団かベッドか？緊急時の対応は可能か？食事内容は？伝の心使用時電源使用は可能か？）温泉の状況（車椅子またはストレッチャーでの温泉利用が可能か？）脱衣室の状況、長男夫婦をはじめ、親戚の介護力、家族関係
温泉までは片道一時間程度であるか行楽地なので車がこむので比較的すいている日時を選びたいが親戚の都合もあるのでそのあたりが心配である。
人々が生活し、人生を送っている物的な環境や社会的環境 人々の社会的な態度による環境を構成する因子
・入浴時の介護力の確保。・移動距離と移動時の体位等を考える。
自宅から温泉までの移動時間が長時間になる。
親戚が集ることで、人的資源が増
温泉の宿泊場所の段差が心配。
家族、親せきの支え 公的サービス医療機関との連携。
妻、長男夫婦（介護力、仕事による）、各事業所スタッフ、ケアマネ、介護保険、医療保険利用
・温泉施設の受け入れ場所。・施設の段差や広さを確認。・息子さん夫婦以外参加者のマンパワー
長男夫婦と同居
・住宅環境はどうか。・ギャッジアップのベットはどこまでアップしているのか。・車いすはどれくらい入るのか。・座位保持の時間は？
旅行先迄の移動時間とポイントポイントでの医療機関の調整。旅先での医療機関の調整。医療機器の確認と、人的支援の調整
・温泉の環境はどうか。・介助する人数はどうか確認
介護設備のない場所では妻の介助だけでは不可能である。
・温泉に入浴可能な設備がととのっているか。・温泉まで移動
止まりで出掛けることは久しぶり、泊り先での入浴に必要な物の確保、息子夫婦はとても協力的で思いやりがある。
メインは温泉に入る事なので、宿のバリアフリーや、車イスごと入れるような浴槽とかの確認が必要。医療施設の確認や連携も考える。
移動時間が少なくとも2時間ぐらいかかる。
ベッド、椅子、車（電車）等の有無 浴室、部屋等の状況 屋外の空気にふれる。
温泉の浴槽 車輦、飛行機 寝具
・温泉は県外なので、車で3時間以上かかる。

・自宅から温泉施設までの所要時間を考える。・移動手段をどうするかを考える。場所を選定するにはドア to ドアが本人、介助者の負担が少ないと考え近くの車でいられる所
・自宅から温泉までの移動時間が長い。・温泉場の設備、部屋の環境
・介護に対して家族は協力的
・目的地までの移動時間（車の乗車時間）が片道2時間と長い。・温泉地は山間部で平地との温度差がある。
・自宅からわりと近くの温泉へ行く。・旅館内の様子の把握。・季節の良い時に行く。・親戚の協力。
・車イスかストレッチャーでの移動が必要 入浴できる環境が整っているか 親戚一同で介護の手はたくさんある
主たる介護者は妻、長男夫婦も同居 旅行には親戚一同で参加
車イス着座で行き・帰りとも4時間の移動。風呂場の構造の熟知、寝室の状態。食事場所の状態。
・ストレッチャー付きの介護タクシーにて温泉まで行くことができる。・NSや介護職のボランティアが必要 ・主治医よりの注意事項確認
・1泊2日で旅行にできるのは久しぶりであり緊張している。意思伝達装置がもっていけないので心配。・片道2時間は移動にかかる。
親戚参加する事で見守り、付き添いが安定する。
妻、長男夫婦と同居。CM。（利用サービス要確認）医療面の関係キ関含
車椅子で入れる浴槽となっている 長男が主として付き添うが甥も更衣など手伝うこととなっている
旅行での移動時間が長い。一般の大浴場では難しいため、貸しきりのお風呂だと、気持ちもゆったりと入れる。
温泉旅行への体力を必要とされ、座位のトレーニング、また、家族間夫婦間を深め、精神的な活用向上になるたのしいひとときをすごし
温泉までの時間がかかる 親戚一同理解があり、手伝ってくれる
・旅行先までの移動時間。・旅行先の介護設備。・温泉に入るための環境
家族の支え（妻、長男夫婦、他）人的資源（医師、看護師、ヘルパー）ボランティア 公的サービス（移動サービス、障害）医療器機（人工呼吸器、酸素吸引器）医薬品の準備 緊急対応処置ができる体制 緊急入院先の病院の場所確認（旅行先の施設）
・温泉が段差がある・温泉までの移動時間が2時間・旅館に段差がある・病院など対応できる機関を探す
リクライニングチェア、福祉車両、バリアフリーの施設の必要性、費用の負担、妻のみの負担にならないよう、介助者家族の協力
自宅から温泉までの移動距離が長い。温泉の風呂の構造が本人の身体機能では1人で入れる構造になっていない。
車イス対応できる宿であることはもちろんだが、食事や移動などで、事前の打ち合わせがかんじん。
・自宅から宿泊地までの移動時間は、往復2時間を超える。・温泉の介助入浴を整えたい。
・家族、親戚の支援がある。・温泉施設がバリアフリーである。
・家族の協力もあり、移動等に対して苦にしていない。本人、妻の生活に対しての前向きな強さが、能力を引き出している。
家族（夫、養子）の支え、気遣い、人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、PTなど）公的サービス（医療保険、介護保険）
移動手段、福祉車輛のレンタル？宿泊場所は？エレベーターバリアフリー、温泉へはどうやって入る？Faの介ゴカ？
長男夫婦と同居、主介ゴ者は妻65才
車で長時間の移動となる。入浴に対してのリスクは高い。
・温泉施設が障害者対応になっていない。・一人での入浴は困難。・主たる介護者も高
長男夫婦と同居、主たる介護者は65歳
旅行の移動に要する時間、手段の確認・旅先での入浴介助に当たる人の確認
自宅から温泉まで〇kmである。交通手段としては〇を利用する。（自家用車）温泉のシステムとしては〇となっている。食事は〇時に行われ、親戚は〇人参加される。等々。温泉のある町の医療福祉サービスは〇のようになっている。
・自宅から旅館まで片道2時間かかる。・旅館には家族風呂がある。
・家族が多く本人の居室によく顔を出してくれる・妻も多く、趣味をもっているが最近介護に追われ、なかなか自分の時間がない
外泊をする事のリスク、温泉という他人も多くいる場である事のリスク、ADL的に入浴するのに必要な温泉場所を下見する。
移動時間の長さが問題
バリアフリーは大丈夫か、どうか
・自宅から温泉まで2時間車で移動する。・部屋からお風呂まで車椅子で移動する。
長時間の外出移動等環境変化の対応が必要である
家族の支え 公的援助サービス（医療保険、介護保険、その他の行政サービス） 人的資源（医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等）
1泊2日の旅行に行く
旅行先の住環境
・旅行先までの到着時間がかかなり長い。・泊まる旅館にシャワーキャリーが無く、又、浴槽に入れる手段もない。・ペットが介護用では無い。（旅行先）
・長男夫婦の心身、精神的な支え・かかりつけの医療機関
お風呂までの環境を把握し安全な移動を困る

温泉地まで遠く不安がある（本人、家族）
温泉地の状況によっては道路状況が悪い可能性もある。また長時間の移動に耐えられるか。
自宅から温泉までの移動時間が片道で1時間半ほどである
・自宅から温泉地までの移動時間が2時間を超える・車イス意思伝達装置の持ち込みによる利用環境の整備
・車イスでの移動介助・温泉施設の設定構造が障害者対応となっているか
・介ゴ者が高い・介護の必要度が高い・移動の方法（車イスの乗れる車・休けい時間）
温泉までの移動時間が往復2時間をこえるとたえられない。
・家族の支え、人的資源・公的援助サービス
酸素吸入器使用、容量チェックをしておく 緊急対応にそなえ、連絡先を把握する 路線、天候の調べをする
家族の支え 公的援助 主治医
・家族（妻、長男夫婦）の支え・人的支援…行政、医師、看護師、ヘルパーケアマネ等・公的サービス…医療保険、介護保険
・65歳の妻が介護者。第2として長男夫婦がいる二人とも支え、気づかいある。日中は仕事。・介護サービス・医療面で診察を受ける。近隣の病院や主治医がいる 自宅から温泉には移動時間が往復2Hかかる。温泉に入るには、貸切とする。（1時間の）親戚の人達は協力的である。
・長時間の移動がたえられるか？・外出介護で家族が支えられるか？
・自宅から温泉場まで2H以内の所にする。・温泉も室内についているか個別で借りることが出来るところにする。
・温泉旅行先までの時間が長時間になるかもしれない。・妻65歳・長男夫婦
温泉での浴室環境の確認 貸し切りで浴室が使用できる
・温泉旅行に行く際の交通手段を考え、家族、親戚の支援が必要・温泉場も障害者が利用可能な所を選ぶ必要がある
自宅から温泉まで移動時間がかかる 入浴する時の浴槽の環境整備
・宿泊先には介護スタッフが常駐している。・自宅から旅館までの移動時間2時間である。
家族の支え、人的資源 公的援助サービス 民間のサービスの活用
自宅から〇〇温泉まで2時間を要する。温泉先ホテルでの痰吸引は妻又は長男夫婦が行ってくれる。ホテルの部屋も障害者用である。（人工呼吸器の設置も出来る。）
・温泉地までの移動の時間がかかる・入浴の環境整備ができるか？・緊急時の対応が可能か？
・移動時間が往復で2時間かかる。・温泉には手スリ等がなく、複数の介助者が必要である。
・長男夫婦と妻と同居・行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、公的サービス（医療介護保険）
・出かける場所が自宅からどれ位離れているのか・ホテルでのBedの状態がどうか（高さ調整が出来るか、Bedアップが出来るか等
・家族の支え・公的な援助サービス・主治医の支え、協力
・長男夫婦と同居、主介護者は妻（65歳）・介護者と一緒に入力できる温泉選びが必要・急変時、対応可能な医療機関を決めておく
温泉旅行までの移動時間、宿泊施設での就寝等家とは違う場所で過ごす
・自宅から温泉は1時間以内で移動可能。・部屋もバリアフリー。・主治医に協力依頼→近隣医療機関との連携。訪問看護の手配
宿泊する所に必要な物品を依頼し、緊急時の対応を前もってしておく
・長時間の外出を行っていない。・自宅以外での宿泊はない
入浴設備のある所でないと難しい。泊まる施設の設備、対応、スタッフの教育が出来ているか、介護スタッフの援助
長時間の座位、移動と温泉への入浴への体の負担を考え、休憩をしっかりと取る。
・目的地までの移動時間・移動方法・緊急時の対応・家族の支えがどこまで出来るか
自宅から旅先までの距離
移動手段や時間は？受け入れる旅館はあるのか？（バリアフリーになっているか）
・近くの温泉でも1時間以上かかる・温泉宿の部屋までキヨリも長い
・家族の支え・人的資源（行政・医師・看護師・ケアマネ・ヘルパー等）・公的サービス
家族の支え 公的サービス ボランティア 主治医の往診
自宅から温泉場所までの長時間の移動がある
・長時間の移動・ベットはあるか（介ゴベット、エアマットの必要性）・段差、車イスの使用は可能か・温泉のかりきりはできるか・温泉側が受け入れてくれるか
長い時間、家から出ていない。少なくとも旅行先には車で3時間位はかかる。
・宿泊施設が入浴できるかどうか？・移動時間はどれくらいか？
・妻の食事介助、調理、家族の支援・尿びんの使用・訪問看護、通所介護の利用・意思伝達装置の利用
温泉宿の受入条件は、確認済。（全てクリア）泉質も湯治者向きとの由。本人は100%乗気。移動も、近くでゆったりできるよう変更。
主介護者も高齢 温泉旅館の従業員の不安感がある（ALS患者の宿泊は初めて）浴室の造りが障害者に対応できる状況としては不十分 介護者の負担、本人の恐怖心も残る 遠出は1年以上していない 旅館が少し山奥に入ったところにあるため緊急時の対応が遅くなる可能性がある
長男夫婦 妻 公的サービス 主指医

・温泉までの距離、時間 ・移動手段 ・温泉内の移動、設備 ・医療情報の確認
・自宅から温泉までの移動時間 30～40分 ・温泉ホテルはベットはあるが電動ベットではない ・移乗用リフトなし ・ホテル内はバリアフリー ・室内に家族風呂あり（温泉
自宅から宿泊先までの移動が長時間かゝる。温泉に安全に入れるか設備面での確認が必要
・移動距離が身体の負担となる ・温泉での入浴時の介助が必要 ・吸引、栄養摂取の問題
家族の支え ボランティア
・自宅から2時間程の山奥の温泉 ・緑がきれい庭で30分ほどながめていた。
ベットやその他必要物品の管理・準備。
・自宅から現地まで移動に数時間を要する。 ・大浴場が家族風呂かで、精神不担が異なる。 ・まわりの人達の働き
・移動に介助を要する。 ・身体的に旅行に行けるかどうか判断が必要。（医療キカンの協力）
・長男夫婦との同居 ・妻の介護 ・親戚との関係
・自宅から温泉までは往復2時間 ・温泉内にはスロープがなく、2人以上の協力がいる。 ・同町に介護タクシーがある。
障害のある方が入れるお風呂があるか
旅行に行く時の交通手段が問題となる。食べ物の形態。宿泊施設の浴場設備どこまで高齢者や障害者に配慮しているか
近くに温泉があればそこに行くようにする。福祉車両のレンタルを借りることができる。呼吸器の酸素会社の職員に協力を得る
移動の方法の検討 入浴の方法 在宅以外での過ごし方
屋内、屋外の住環境について。場合によっては住環境整備が必要と思われる。
移動 旅館と自宅の違い 旅館の設備
自宅から旅館までの移動時間が往復4時間を超える。1人では入浴できないから貸切風呂を予約する。久しぶりに家族と旅行ができる。
受け入れ可能な温泉施設を探す。移動時間が短くてすむような施設にする。バリアフリーで車イスでも移動可能な施設にする。
自宅→温泉は2時間程度。温泉は身障者にも対応しているか本人に適合するかは不明（検討）
寒い季節なので暖房、乾燥、湿度を考慮する。医師、病院との連携を前もって相談しておく機器の点検、不具合の無い様メーカーとも相談しておく。
家族、親戚の協力 受け入れ可能な温泉や旅館情報提供 外泊先で必要な医療処置や急変時のバックアップ協力 受け入れ先
旅行先までの移動時間は往復2時間程度。温泉の中には妻は付そえない（男女別）意思伝達装置も持ち込めない。
自宅から温泉まで移動時間が長い
交通機関 移動の手配。排泄確保。車イス対応確認
妻も高令であり慣れない場所での介護を一人で行うのはむづかしい。同居家族および親せきの交流をもつには一緒に行動することが必要。
温泉地まで移送する必要あり 1泊するだけの医りょう行為のできる物品必要 意志伝達装置の取り扱い
長男夫婦による介護の状況
旅館までの移動時間がかかる。入浴の際、介助が必要である
寝たきり状態で本人の体力や家族（妻）への身体的負担が大きい。
温泉ホテルまでの移動時間が絶えられるか？湯へつかれる設備となっているか。男湯、女湯へは困難。室湯の利用が望ましい。
温泉施設まで、移動時間が往復5時間を超える。温泉は個浴だが手すりが無い。介助する物はたくさんいる。
旅行先に緊急時に対応できる病院はあるかどうか旅館の浴室は安全かどうか
親せきの介護力、理解、旅館の理解、配慮
・旅行が1泊2日と長時間である。 ・温泉に入浴はちょうど間くらい
・移動時の交通手段 ・宿泊施設の環境、整備状態 ・体調悪化時の対応について確認しておく必要がある
介護者 妻65才 長男夫婦同居。親戚の支援
移動に時間がかかる。旅行先での介護が可能か。温泉施設の形状の確認
・移動時間が長時間とならないよう配慮 ・移動時、外の風景が楽しめるよう座席を検討
・主たる介護者は妻（65才）長男夫婦と同居 ・親戚の集まりなので介護の手伝いをしてもらえる。 ・温泉は家族風呂の利用ができる ・ベッドの
・温泉までの移動時間 ・宿泊の体制 ・近くの医療機関の状況と連携
自宅から温泉地までの移動時間が長く、旅館に1泊することになる。
・入浴を共にできる長男と別居の次男が当日サポートしてくれる。 ・長男の嫁は看護師で義父の状況もわかっていて、主治医とも連携が図れる。サポートHPも手配済み
・自宅外なので、細部にわたり確認要（食事、トイレ、寝具） ・急変時の病院の確認（紹介状の準備）
・同居の長男夫婦を中心に親戚一同の支援 ・医療、ケアマネ、各種介護サービスの利用、他のインフォーマルサービスの利用
・1泊2日の旅行である ・介護者も65才と比較的高齢である
・ホテルの浴室まで車椅子で行けるか。（バリアフリーか） ・大浴場へ入れるか。家族風呂があれば回りを気にせずすむ。 ・入浴中の会話をどうしようと思っている。
妻、長男夫婦と同居

自宅から温泉までの移動時間。温泉施設でのバリアフリーの状況。親戚の介ゴ力の評価。
・温泉地、宿泊地はどのようなところか？「介護者はどの位いるか？」
・一泊2日をすごす。場所は温泉であり、介ゴ環境が充分ではない
安楽に入浴や臥床できる環境が整っているか
途中で休憩出来る場所の確保
受け入れ旅館への確認
長男夫婦と同居している。主たる介護者は65才の妻
自宅から温泉までの移動時間 旅行先での設備
・温泉までの移動手段 リフトカーの手配・温泉浴のための準備・宿泊先の施設の確認・リクライニングシャワチェアー
・車イス（シャワーキャリー）で入浴ができる温泉があるか・ホテルは、スムーズに移動できるか
在宅にて子、子の妻、妻、孫3人とおだやかに生活できている
温泉までの移動時間、送迎車種 宿泊施設の車イス移動の可能範囲（温泉に入浴可能か）緊急時の病院
・自宅から、温泉旅館までは〇時間かかる。
・障害者の受け入れ可能な宿泊先を確保。・車や新幹線を使用し、片道3時間かかる。・旅行中の介護は全て家族が担う。・旅行先の医療機関（緊急対応等）の確認。
長男夫妻と同居
自宅から温泉まで近場の所を選んだため片道1時間程である。宿は洋室を頼む
・主介護者は妻（65才）・長男夫婦と同居・1泊2日の温泉旅行には親戚一同参加
・家族の支えはあるか？・家族の病気はないか？・障害に適応した自宅か？
長男夫婦と同居、住環境 妻（65才）主介護者 医療面の支援体制
温泉まで行く、時間が長い
障害者にやさしい環境の整った旅館を捜す。近いところを捜す。家族湯など
移動手段の確保 宿泊施設、風呂等の状況 受入体制 入浴前のバイタルチェックおよび必要に応じてバイタルチェックをする
自宅から温泉までの移動時間を短かくし本人の座位保持能力にそったプランの検討
・長男家族の支援が必要
人口呼吸器装着 喀痰吸引しながらの車移動が長時間となる。温泉に入るための施設の環境が必要
温泉が遠方にある。長時間の移動になる。
入浴がスムーズにできる様一般の浴槽に慣れておく
温泉までの移動時間の耐久力。移動と入浴での体力確認
・温泉までの移動時間が長く、2時間かかる・入浴の為のイスや移動や洗身等に家族の協力が必要・浴そう内の座位保持の確保
・僻地で医療機関も遠く緊急時の対応が容易ではない・訪問看護等のサービス利用にて健康管理が行なわれている・在宅医療による訪問診療も月一回行なわれている
・自宅から温泉までの移動時間が、片道約2時間 温泉の近くの病院にあらかじめ緊急時の対応について主治医より紹介状を届けておいてもらう・主治医より親戚の中の看護師に注意点を伝えてもらう
家族の支え 気遣い 人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等） 公的サービス（医療保険 介護保険等）利用
移動に時間と介護者の人手が必要。旅行先での宿の住環境。
・主介ゴ者は妻であり、老老介ゴ。妻の負担軽減も必要
本人の状態を維持すること、コミュニケーションをとることに機械操作を伴う。本人の変化を予見して自宅以外の環境でも変化に対応する。
移乗・移動・食事・排泄の方法。入浴（温泉）の状況
家族・親戚の人的資源 主治医・病院 公的援助サービス
長時間の移動 外泊
・温泉までの移動時間が長い・温泉（大浴場）への入浴方法・旅行先（旅館）との連携・緊急時診察できる医療機関の把握
・寝たきり状態でも入れる温泉がある事・家族の付き添うがある（安心）・温泉宿の部屋は移動しやすい（ストレッチャーリクライニング）現場でベッドがある事。パソコンの電源があること
家族と同居で同じ環境もととのっている
移動時間が長い。温泉の浴室は手すりなくせまい。
・意向・不安点・家族、親せきの介護協力、どれくらい可能か・温泉の状況、旅館内の環境・移動手段
・交通手段は何を利用されるのか。それによって違うと思われるが、たぶん車による移動と考えると時間がどの位かかるか。・温泉は家族風呂なのか・緊急時の場合を考え、可能な病院を確認しておく。
家族の支え、人的資源（夫、長男、長女）介護保険サービス（デイサービス、ショートステイ）医療保険サービス（訪問看護）主治医の往診（2回/週）近隣の病院（1回/月）・夫や娘は毎日食事の支度や買い物等一生懸命行ってくれる。申し訳ないと思っている。・年頃の娘なのに介護に時間をとり結婚を考えないでいる。幸せになってほしい。
自宅から温泉までの移動時間が3時間をこえる。1泊2日間自宅を離れる温泉が要介護対応になっていない
長男夫婦と同居 主介護者妻65才の支え・気遣い。

・自宅から温泉までの移動時間の確認。・宿泊先の環境確認。・緊急時の受診先確認。
・自宅から温泉施設まで移動距離は30分 ・温泉施設の車イス移動装置の確認 ・宿泊施設の療養環境
温泉施設のハード面の確認
家族・親戚の支え 主治医の支え
・長男夫婦と同居 ・人的資源（行政、医師、訪問看護ヘルパー、ケアマネジャー） ・公的サービス（医療保険、介護保険）
・温泉までの移動の時間 ・入浴の方法のカクニンが必要
自宅の構造 温泉への移動と旅館の構造と設備
・自宅より温泉地迄は距離があり、移動時間がかかる。 ・温泉に入るのには危険が多い
温泉宿の位置や地形を調べ、移動方法や移動時間を調整する
安楽な移動が行えるように、カーブの少ない道を選定する。旅館はバリアフリーであり、家族達の為に、回りの目を気にせずにする。
家族（妻と長男夫婦）の支えがある。 人的資源（医師、看護師、歯科医、ヘルパー、ケアマネ） 公的サービス（医療、介護保険、障害者自立支援）
・温泉までは車イスで乗れるワゴン車をレンタルする。片道2時間半かかる ・温泉は、露天風呂を貸し切りにする
長男夫婦と同居（孫等の交流もある） 親戚等との関係も良好である。 主介護者を支える人もいる、1人ではない。
・長時間の移動がある。 ・多くの人と入浴することに慣れていない。 ・呼吸苦が心配。
・自由がきかない狭い車内で長時間同じ姿勢でいなければいけない ・浴場の構造や設備が整っていない
特殊車輛を手配しても本人に長時間が関わってくる 食事の摂取の仕方 入浴の仕方
エレベーター、スロープがついている。できればスロープ浴そうがあればよい。施設の協力を得ておく。家族協力
主たる介護者は妻65才 長男夫婦と同居している
ホテルの受け入れ設備移動部屋浴室移送車の手配（リフト車）や、緊急時に受け入れ病院への情報提供を主治医へお願いする
家族が協力的。若い介護力もある（期待できる） 親戚同志の信頼関係が強い
・移動や宿泊の際の支援ポイントと課題をあらかじめ確認して準備をする。 ・妻に過重な負担がかかるとなく、夫婦が楽しめるスケジュール作りをする。（親戚の協力）
温泉地への移動時間、往復時間が長時間にならない様な経意が必要。温泉に入れてあげたい。
・生活環境が変化する・介護手順が変化する・移動時間が長くなる・急変時の対応確認医療機関の確認
・長時間の移動・車イスでも入浴できる設備・バリアフリーが整っている部屋
宿泊場所での車イス移動車イスでの温泉入浴
温泉までに時間がかかり施設内はバリアフリー、介護ベッドもあるリフト浴も可能
親せきと協力的である。移動時間が長時間である。宿泊先の設備などの問題点
旅行に行く場所までに車でも1時間かかる
・自宅から温泉までの移動に往復2時間かかる ・しばらく外に出ていない
家族の支え、知人の支え（多い）公的サービス、主治医
・長時間、車での移動可能・妻は今のところ健康
妻
・家族（妻、長男夫婦）の支え、気遣い・人的資源
温泉の構造や環境など家族の介助だけで入浴可能か下見の必要性あり。
自宅から温泉までの移動時間、距離がかかる。温泉での入浴に対し援助が必要。
途中休憩等を多くとりながら環境の変化への対応が必要
・長男夫婦と同居・妻の介護・旅行先での住環境の把握
旅行の移動時間が長い旅行先の浴室や浴槽が身障者用であるか
・移動・入浴
家族 主治医 訪看
・温泉地迄の移動が4～5Hかかる ・温泉に入るのには、介助が必要である（男）
自宅から外に出る機会が少ない。車イスでの外出も、高齢の妻の介護にゆだねられている。長男夫妻は、仕事をもっている。
・一泊二日の旅行には「移動時間」の日常レベルを超えた体力が要る。 ・ふだん逢わない人との会話や食事に耐える体力が要求される。
できればバリアフリー介護付きの旅館かホテルの下見をして十分準備する（民間企業あり） ナースつき
今回の旅行は対象者に余後の思い出に参加者全員の意欲と覚悟を確認して企画。人工呼吸器の操作は日頃、操作習熟の長男の妻 車移動中の緊急医療発生時は2ヶ所の休憩地を起点に手配準備・日常医療情報等は所持 宿泊先も受け入れに万全を期してくれている。
・自宅から宿泊する旅館までの移動時間が往復2時間程度。 ・親戚10名とヘルパーが1名NS1名が同行予定。
主介護者の体力 介護に対する環境の変化
家族の支え
家族の支え。公的援助サービス 移動、移乗にも長男夫婦他の援助あり。
・温泉までの距離
主介ご者は妻 65才 同居者 長男夫婦 サービス内容 医療 主治医等

妻と長男夫婦と同居。介護者有り、旅行は親せき一同と参加。要介護⑤介護サービス利用できる。
温泉地までの道のり時間のはあくを、長男夫婦に確認して頂き本人に安心感を、会話をやさしく、事前に行う。
・自宅から旅行先まで、片道2時間。・宿泊先は、障害者対応施設。・利用について、協力的、シャワーチェア入浴用車イスの準備。・協力医療機関の確保（緊急時）
・移動時間が長いこと。・温泉施設で安楽に過ごせるか。
・長男夫婦協力あり・家族の外出への積極的な支援がある。
移動時間、移動ルートの確認。（最短コースとする）入浴時間1時間、浴室の確保、スタッフの確保
宿までどの位の距離、時間でいけるのか。ゆっくりと温泉に入れる体力はあるのか。
・座位が保てない為、移動は大変。・温泉に行った所で、寝たきりの状態で、どのようにして入れたら良いのか。
・温泉までの距離 ・介護力の有無
移動時間 移動手段
・移動の際、本人の苦痛がないような移動手段を選択する ・入浴の安全を確保する
家族が協力がされるも、車での移動、温泉での体温調整、移重時の負担等、課題はたくさんある
主たる介護者は妻であるが、長男夫婦の協力は不可欠である。移動時、入浴時は特に長男の役割が大きい。受け入れ先の温泉の環境が整っているか事前に調べる。
長男夫婦と同居 妻は65才
旅館まで片道2～3時間かかるが、体力が保てるか。温泉に入りたいとのことだが、気持ちよく温泉に入ることができるか。
温泉旅行の宿泊先を検討
家族、親戚の支援 介護サービスの利用 主治医の往診
自宅から温泉までの移動時間が往復3時間かかる リクライニングの車イスが乗る車輛がある 携帯酸素、旅館で使用する酸素の手配
大浴場に入るには同性介助が必要 食事のための用具の用意（きざみ、トロミ） 車イス対応トイレの場所のかくにん（インターなど）吸引、吸入器を持ちこめるよう consent かくにん→那須のナカガワ苑を利用することにし事前に状態を伝えておいた
移動時間、移動方法。温泉旅行先のうけ入れ体制 ベッド、スペース、入浴場
前もって宿泊先設備（ベッド 浴室）等の情報をとり要望できる所は要望する
・自宅から温泉まで車で2時間 ・温泉にはリフト等の設備はない ・長男をはじめ、みな、本人の旅行参加に協力的
妻の支え、又それを息子家族が支えている ヘルパーサービス利用で妻の介護負担軽減をはかり、在宅がいつまでも可能と思われる。親せきも暖かい目でみている。
主たる介護を妻が行っているので介護負担が大きい
日常生活において、人的支援が必要。状態変化時には医師による対応が必要。
1泊2日という長時間であり乗り物にも乗る必要がある。
宿舎に温泉の様子を問い合わせして入浴に必要な用具の有無を確認する。食事の注文も事前にする。
移動時間が長い
自宅から旅行場所までは、3時間かかる
・車椅子使用が可能な施設となっているか？・家族風呂が設置している宿が望ましい。
家族、親戚の支え、人的資源、公共援助サービス、インフォーマルサービス、主治医、ケアマネ、地域包括支援センター、行政
浴槽へつかるのに、シャワーチェアの使用は難しく、人的な援助が必要。旅館の理解、了承必要。
家族の介護能力 移動方法 安全確保
・車での移動時間片道1時間・ホテルでのベットや温泉などで対応可。
自宅から温泉まで、移動時間長い 意思伝達装置利用できる
温泉旅館での風呂場の設備、バリアフリーの環境
宿泊先が遠く、ベットが特殊寝台ではない。浴室に手すりがなく車イス対応が可能か 車イスで移動できる車がない
・障害者を対象に建てられた旅館を選ぶ。（リフト入浴）・長男夫婦が、休日、介護に参加している。
本人、家族共疲れがピークになる可能性が高いので、介護側のスケジュールも考える。家族周知などのスケッチもしておく。
介ご状況。支援していること。負担となること。医療関係者、地域のかかわり 友人
家から温泉旅行先のスケジュールの調整。旅館内・外の環境把握（浴室内、部屋内のベット対応、他）
・温泉に行くまでの移動時間・旅館内・移動・居室・浴室の環境
自宅から温泉地までの移動時間 温泉地駐車場から1泊する旅館がバリアフリーか？車イスのまま入浴可能か？
ベッドと入浴用の車椅子、スロープの設備がある宿を選ぶ必要がある。
介護タクシーを予約して、親戚みんなで本人を温泉に連れていこうという意志あり。
疲れやすいので、大浴場での入浴は無理である。
移動手段
家族（妻と長男夫婦）の支え、気遣い妻（65才）：主介護者
・親戚の態度（本人が旅行参加に協力的か）・旅行の間の介助者の人数と必要な介護量が充分か・温泉施設は宿泊、入浴が可能か

往復3時間ほどあるが、道中休憩場所が多くある。
移動時間 妻の負担 移動方法 宿泊先の寝具等の状況。
家族の支え、人的資源 公的援助サービス 近隣の病院や主治医
・移動手段の検討（自宅から温泉地まで）・旅館の造り（おへや、風呂場）の確認
・自宅から旅館までの移動時間が3時間を越える。・温泉に入る時は意思伝達装置を装着して出来るのか？妻が付き添っての入浴が出来ない時は代わりに支援できる家族、親戚の体制、浴室（個別の浴槽のレンタル）の環境設定
・移動時間が長い。・入浴のための援助 旅館の設備状態、安全に入浴を行うことができるか。
家族のささえあり、訪問看護、訪問入浴、ヘルパー、訪問診療、訪問リハビリ、
日頃の日中は、妻のみで介護力としては不足がある。集う親戚については、みな、介助については、素人。
・身体的に長時間の入浴は困難・皆の協力が必要である。
温泉の場所を決める。部屋から温泉が入れる所を探す。
長男夫婦と同居 親戚の協力や理解 介護者は65才
移動時間が長い。温泉で入浴する際、長男以外の男性も介助をする必要がある（長男ひとりでは介助が大変である）
住宅改修、福祉用具
・近くの温泉旅館まで移動時間が約1時間車にかかる。・大浴場での入浴は難しいが貸切り風呂を利用できる。
自宅から温泉までの移動時間が数時間かかる。
・介護は妻が主になっている・同居の長男夫婦は就労している。介護はのぞめない・往診がある。療養型ショート利用できる。
親戚長男夫婦、65才の妻（主介護者）医師、看護師、CM、ヘルパー、医療保険、介護保険
自宅から旅行先までの方法、時間・宿泊先の環境（出入り、居宅、浴室）・近くに緊急対応してもらえる病院があるか・親戚の人たちの協力
・自宅から温泉地までは車で片道3時間長男夫婦は運転が出来るが、通常の外出は妻と、車いす特車が簡単な介護タクシーを利用している。
妻、妹さん行きたい願望はあるが具体的な計画が立っていない。本人の倦怠感あるが病状は安定している。今が参加できる時期として最適である。
主たる介護者は、妻65歳長男夫婦と同居
・自宅から温泉まで往復3時間超える。・家族の支え、訪問看護師・近隣の病院、主治医
全てにおいて介助を要する為皆がしんどい思いをしないよう、又、トイレ誘導を容易にしよう。
65歳妻と長男夫婦と同居している 経済状況 住環境 家族との関係性と介護力 交友関係 制度の利用状況
家族や介護保険・医療保険・公的サービス、親戚一同からの協力で支える。又旅行先での緊急時の病院の確認ができています。
急変した時の病院が近くにあるか？
主たる介護者は65才の妻で一人だと不安だが、今回は親戚一同の協力が得られる。
家族の支え（妻・長男夫婦・親せき）行政のサービス利用
・自宅から温泉旅館までの移動時間2時間を超える・旅館では親戚とゆっくりくつろぐ
・自宅から温泉地までの移動時間が往復2時間を超える。・温泉に入れるように介助者の協力が必要。
主に家族による介助ができるのか。あらかじめ宿泊先などの調査が必要となる。
体調に変化が出た時の対応
家族の支え→介護負担 公的サービスの利用
・主介護者について・介護力、協力者・利用中のサービス
家では妻が主介護者であり、温泉旅行の際は親戚や息子の手を借りての入浴となる。
・移動時間に負担がかからないよう近場の温泉、移動手段の工夫・旅館の環境を確認・家族風呂があるところ・同じものが味わえるようミキサー持参
本人が移動時間に対応できる、温泉地を選んでいく。移動手段の検討必要。
・自宅の環境・移動方法（外出時）・家族の協力
・家族関係、協力者の状況・住宅の状況・公的サービスの利用状況
・妻、長男家族と同居している。
・介ゴ者は妻、65歳・長男夫婦と同居・親戚の理解
・温泉旅行先までの移動時間の検討。・泊まる所（旅館等）での協力体制や設備の検討。
・自宅から近くに宿泊施設があり、車イス対応のレンタカーを借りて、移動する予定になっている。・温泉につかる為に介助が必要。身内だけでは不安がある。
・妻、長男夫婦の支え、気遣い。
・目的地までの移動に要する最短時間は2時間
親せき一同の中で介助に携わる事の出来る人の担当確認
親戚と顔を合わせる事が減っている。温泉が何処まで障害者の支援を行ってくれるか。子ども達にも手伝ってもらおう事で現状をわかってもらう。（長男に）
温泉までの行程が長い。温泉設備が、本人の入浴に対応できるのか？万一の為に診療先を旅先でも確保
・車イスでも対応できる温泉での入浴。・自宅から温泉までの移動時間が、2時間ほどかかる。
・受け入れ先の環境・旅館、旅行先での緊急時の受け入れ先（病院の確保）・家族の支援・車の手配

温泉までの時間がかかる 入浴時の介助を必要とする
ストレッチャ、車いす対応可能な施設？ 緊急対応を決めておく
・宿泊先は車で30分のところで一番近い温泉を選ぶことができる。 ・介護者がおいや兄弟で、人数は確保できる。
受け入れ先の旅館 旅行先での緊急時受入れ先（病院）の確保 家族の支援 移動手段（車の手配）
自宅は静かな住宅街である。温泉へ行くには乗車時間が長時間となる。
・自宅に近い温泉地をさがす ・温泉地で機械浴で入浴できる施設をさがし入浴できるかどうか、検討する
長男夫婦と同居、親戚との交流もある
・温泉まで1時間弱である。 ・事前に医療機関と連携をとる。
自宅から外出先までの移動中に、介助をする際の環境が整っていない。
機器を持っての移動となる。
温泉までの移動方法、入浴方法の検討。移動時間。
家族の支援。介護保険、障害福祉サービス、訪問のDR、PT、看護師の利用。
デイサービス以外は妻が主に介護、長男夫婦の協力あるも長男夫婦は共働き
無理のない計画を立て、負担を少なくし安全を計り楽しいものにする
自宅から温泉までの移動時間
・自宅から近く、室内車イス移動可能な温泉を探す。 ・主治医と連絡の取りやすい日程にする（土・日はさけて旅行プラン作る）
住宅環境。近所付きあい。友人との交流。
移動で乗りものに長く乗る為、身体への負担がかかる
・移動時間・浴室の安全性の確保
家族（妻、長男夫婦）の支えや協力と医療・介護サービスを利用して温泉までの往復と入浴の支援
自宅から温泉までの移動時間が、往復2時間
・温泉までの移動手段と環境・入るまでの温泉側との受け合わせ調整
・自宅から旅館までの移動時間・温泉の設備 家族のみで対応できるか、機材が必要か
・自宅より離れての温泉地の為、道路状況・緊急時の対応・病院等の確認する。
家族の介護力、協力者、移動・搬送の介助方法、緊急対応可の医師・看護師、公的サービス、ボランティア、温泉施設的环境、受け入れの問題、携帯用酸素・吸引器の確保。
自宅から一番近い温泉は車で30分。長男は就労あり。長男の妻はパートしながら介ゴしている。
移動中も体位交換を行う必要あり車椅子の介助が必要入浴時に使用するチェアが必要
旅行先の受け入れ状況急変時の対応移動の手だて
長男夫婦と同居。介護者は妻65才
・自宅から温泉旅館まで往復3時間を超える。 ・温泉旅館の家族風呂のスペースが狭い・浴槽の中までは入れない
主介護者の妻へ親戚一同協力的で協調性が有り実行力有り
・温泉地までの移動時間が長くなる。 ・入浴できる環境が必要。
自宅とは介護や生活環境が何もかも異なるので、配慮を要す、妻1人の力では限界がある。
・温泉という公共の場での入浴（段差、浴室環境、設備） ・2時間以上の車での移動
・自宅から鳴子温泉までの移動は1.5時間・吸引、呼吸器、ベッドの設置は確認済み。 ・親類の経営する温泉宿。
妻が65才で介ゴ力がある。長男夫婦と同居し、協力者がいる。親せきの中に看護師がいる。
親戚皆で、元気付け、本人の今日を大切にす。
宿泊先でのベッドの状態バリアフリーやユニバーサルデザインになっているか
・自宅から旅館までの移動時間が片道1時間かかる ・旅館は、障害者用の建物である ・移動はストレッチャー付きの介ゴタクシーを利用する ・緊救時対応を確保している
長男夫婦と同居、キーパーソン妻（65才）1泊2日の泊りがけ旅行、温泉に入る。
・入浴施設の設備・客室の仕様
・急変にそなえ、旅先での医療機関を把握・途中休ケイ場所の把握・移動支援など公的サービスの利用
自宅から高速道路を利用し、旅行先まで一時間かかる。
温泉旅行には、妻や長男夫婦が一諸に参加する
・自宅はバリアフリーで一戸建て。 ・温泉施設は1時間弱でバリアフリー対応
温泉までの移動時間の確認温泉場の形態の確認、支援体制を整えておく、必要あり
・多機能付車椅子を持っている ・リフト付自動車を所有 ・家族に二人以上の介助者がいる ・経済的には余裕がある
車での移動が3時間かかる
・居住期間・近隣とのつきあい・間取り
車で温泉まで1時間半、浴室での介助も必要
・車椅子で宿泊できる、家族風呂がある施設をさがす。 ・車椅子対応の車両を準備する
・長男夫婦と同居、主たる介護者妻（65才） ・妻の介護軽減必要？ ・長男夫婦の理解がある？ ・制度利用をうまく使えている？

1泊2日の長時間で移動に時間がかかる。温泉に入る為介助が必要となる。
旅行先での対応、時間（移動）の確認、旅行先での室内、浴室の様子をしらべる
家族、他の人的資源、温泉の設備
温泉地迄の車の移動、運転手、手配、看護師同行、吸引出来る援助者呼吸苦ある為手足の位置を置く場所、マットの工夫
親戚一同が揃っている。家族風呂がある。脱衣所から浴室の間に段差がある。
・本人が入浴可能な温泉かどうかの確認・温泉地での緊急措置はできるか
・旅館のスタッフ・ハード的な問題で受け入れられるか・移動時間が3時間かかる
家族の支え、ボランティア（人的資源）、親戚の支え 受入先（旅館）の支援 移送サービス 診療を受ける近隣の病院や緊急時の対応
・車椅子使用、乗降できる車の用意が必要・障害あっても安全に入浴できる環境のととのった宿泊場所が必要
・長旅であり身体を動かさなければならない・フロアは広く入浴は1人では難しい
旅行先までの時間、温泉施設の構造旅行先での緊急の対応
温泉泊まる所に福祉入浴が出来る場所にする
・移動中の痰の吸引や体位変換が必要な長時間の車中での見守りが必要・宿泊先での車いす、移動可否・食事場所の選定・緊急時の受診先の確保
・自宅から目的地への移動時間・宿泊場所の環境、観行場所
介ゴ者は妻65才長男夫婦と同居
・親戚の中にはALSについて知らない人もいる。・温泉は男女別々に入浴することとなり、一般の浴そうしかない。
65才の妻が主介護、長男夫婦も協力できる。
旅行中の介助を気がねなく頼めるのが妻と息子夫婦しかいない。1泊2日36時間程自宅外ですごさなければならない。
自宅から温泉地まで長距離である自宅以外での宿泊を可能にする障害者専門の浴室を確保する
・障害者でも入浴できる設備がある旅館までは片道1時間以上かかる・安全に入浴する為には全体的な介護が必要になる
移動時間、患者に対して受けいれできる医療機関、宿の環境
・自宅から温泉まで片道1時間かかる・車椅子のまま搬送可能なリフト車の準備・車椅子対応可能な旅館、浴室（家族風呂）・医療的ケアができる家族の同行・緊急時の対応が速やかにできる体制づくり
・交通手段、距離、かかる時間・温泉宿のバリアフリー化状況長男夫婦や親戚だけで移動、移乗介助できるか？どのような食事が提供できるか？・いざという時の医療機関は宿の近くにあるか？
・移動時の車イスの介助を利用する交通機関と支援の協議が必要・体調急変時医療機関・ホテルの設備・サービス対応・主たる介護者のみでは外出は困難
ベットはエアマットを使っている
自宅から温泉宿までの移動時間が○時間かかる。
・旅行先まで移動時間がかかる・温泉にも入る為かなりつかれてしまう
・車イスで移動可能な旅館を選ぶ・交通渋滞を避ける行程にする・桜やつつじの美しい庭のある旅館・近くの病院を調べておく
宿泊に安全に過ごすにはどうしたらよいか、外出する際車いすが外に出せない、車の移動時間は大丈夫か、宿泊先のベッドの手配、宿泊先のバリアフリー、入浴をどうするのか～訪問入浴で温泉水を使う、緊急時の確認
温泉までの道のり往復2時間を超える
・温泉地を近くをさがす・車で移動する
・発症後初めての旅行ということもあり、近場の温泉でバリアフリーの温泉を選択する・車で往復1時間ほどの距離である・部屋は洋室にし、疲れたら横になれるようにする・リクライニング型の車イスのレンタルサービスを利用する
・移動時間1時間弱・親戚一同で介助者には困らない。・長男夫婦、妻は、介護の受容ができ積極的に対応する努力をしている
旅館までの移動時間が片道3時間を超える。公共機関の利用は身体的に困難
自宅からの移動時間がかかる為。体調の管理に充分な調整が必要。入浴場所の確認、安全性のチェック等、宿泊先のバリアフリー環境等
・移動時間の体力等・介護者の負担（家族等協力）・宿泊先の介ゴベッド等、受け入れ体制
外出、座位による身体的負担と疲労、親族とのコミュニケーションのとり方
・介ゴ者は何名体制になるのか・移動距離、時間・家族は介護に協力的か・旅先の設備
・親戚一同協力的である・温泉地まで片道3時間（移動手段の方法、緊急時の対応）宿の受け入れなど
・部屋にお風呂のある所・移動時間が短い所（本人が耐えられるところ）
・自宅から温泉施設までの移動に1時間はかかる・妻、長男夫婦も協力的・温泉施設の設備の確認が必要
移動時間は本人に合わせて、2時間位を予定している。妻と長男夫婦が同行する。主治医の意見を聞く。
・シャワーカーで入浴できる障害者対応の温泉宿確保する。・入浴支援できる家族の参加
温泉施設の環境
・呼吸器が必要・居室～玄関までの段差が多い
移動時間と入浴設備
・温泉地までの距離・入浴時の浴室の確認・宿泊施設の確認

慣れない環境を利用する事での体調管理が重要となる
長男夫婦と同居
家族の支え（妻65才）人的支援、公的サービス利用
移動手段、介護タクシー？温泉の間取りなど
・自宅から温泉地までの移動時間が長時間になる・一泊するのでゆっくり温泉にも入れる・家族、友人の支え、公的援助サービス
・家族（妻・長男夫婦）、親戚の支えがある・自宅から温泉まで車で往復3時間かかる
・1泊2日と外出時間も長く、移動距りもかなりある・温泉もすべりやすく入りにくい、親せき、旅館の人の協力（人的資源）
近場へなら行ける（みんなの協力）
移送宿泊先での医療サポート
・温泉旅行をするための行程に無理はないか・入浴は対応できるか
・自宅を離れ宿泊施設へ泊まるための環境が分からない・要介ごの状態での入浴設備が整っているか不明
・温泉地までの移動距離が大きい・公共交通機関の利用に負担（精神面）・急変時の対応に不安・温泉旅館の設備（段差など）が困難
長男夫婦と同居。主たる介護者は妻65才、要介護5、住宅改修有。
家族の支え、配慮、公的援助サービス、主治医、病院等の連携。
宿泊する旅館の環境。車イスでスムーズに移動ができる。（バリアフリー）
長時間の座位が体の負担になる。今まで外泊がないため精神的に不安がある。
・自宅から温泉までの時間や道路状況など把握する・リクライニングの座位保持時間はどのくらい可能か確認・入浴時ストレッチャー又は全員で介助で可能かなど細かくチェックする
温泉地までの移動に片道2時間かかる 宿泊地の立地がバリアフリーになっていない為車イスでの移動の際は多少持ち上げたり足元に注意する必要がある。
・1泊2日間の外出・温泉に入るという体験→昔の温泉入浴を思い出す
ボランティアの協力が得られるか。
温泉地まで、片道近くて2時間はかかってしまう。実際、湯舟にはいるには3人の介助が必要
家族（長男夫婦と同居）
・移動時間1.5時間（片道）・体力にみあった内容（温泉）にするには、余裕ある時間枠にする。
食事会の時間リラックスできる。
家族（長男夫婦）同居、親戚一同
長男夫婦と妻の支え、人的資源、公的援助サービス、介護保険サービス、障害サービス
家族（妻、長男夫婦）の支え、気遣い 人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー、デイサービス職員等）公的サービス（医療保険、介護保険等）の利用
移動時間 リスク
自宅から温泉までの移動時間
場所・交通手段 医療機関 たいざい時間 家族・インフォーマル支援
自宅から温泉地までの時間 家庭だけでなく親戚がいる バリアフリーなのか、旅館の設備
・温泉に入る時の車椅子移動・親戚の人の温泉入浴の手助けがどこまでできるか。・温泉の段差
昔妻と行った温泉地であるようで昔の話を良く聞くようにする
介護者65才妻
近くの温泉地でも片道3時間はかかる。大浴場での入浴は介助があっても難しい。
主たる介護者も楽しんでもらう為あらゆる、ボランティア、支援者シフト組み込む
自宅の慣れたお風呂ではなく温泉に入る
・温泉はバリアフリーではない・自宅から温泉までの移動時間が長い。
遠方への温泉地へ行く。長距離である。
自宅から温泉までの移動手段、介護保険サービス、主治医、訪看
移動中の痰の吸引…必要。温泉地は、湯気？で痰が多くなるのでは…特に入浴時は、浴室の環境、電源…
・宿泊先までの移動が長時間になる・入浴場の環境で本人が入浴を行うことができるだろうか
・1泊2日の移動手段の確保・旅行中の健康管理を担う人の確保・温泉に入る手段の確保・一緒に行こうとさそってくれる家族の暖い思いを評価する。
・長男夫婦と同居・妻の介助が得られる
・温泉施設は受け入れられる設備が必要・急変時、対応できる医療機関が必要
・自宅から温泉までは30分。・宴会の前に、介助してもらい入浴したい。さっぱりしたい。
温泉に行くまでの移動時間が片道で1時間以上かかる。温泉の浴場までに段差がある。
しばらく遠出をしていない 温泉地は移動距離も考慮 宿泊施設はバリアフリーか 室内の移動、入浴など可能か
温泉までの距離は近いが山道である。宿泊する部屋に温泉がある。
宿泊先の温泉の状況
・移動時間が長時間となる。・宿泊施設が、構造や入浴が対応できる所か、確認が必要。

・旅行の移動時の体身への負担・旅行先の宿泊施設の車椅子の対応能力の確認
長男夫婦と同居 主たる介護者は妻 65才 公的援助サービス
・自宅から温泉までの移動時間は片道1時間程である。・車椅子で入れる温泉には家族かし切りの風呂場がある。・妻は65才で1人での入浴介護は困難、息子たちの協力が必要。
・温泉やどまでの移動距離、方法。・温泉への入浴が可能な設備・部屋や、たて物内の環境・長男夫婦、妻の支え、親せきの支援。←医師、看護師、ケアマネへの連絡体制の確立吸引器、人工呼吸器の携帯
温泉施設の事前の下見等、よく状況を知っておく。和室と洋室の選定なども必要。
移動時間が長時間になってしまう。段差がある温泉に入るためには、介護者のスムーズな対応が必要となる。
・介助を手伝ってくれる人が数人いる・休けいも含めゆっくりとしたスケジュールを立てることができる
・旅行中の介護は妻が未だ65才なので出来ると思う。・息子夫婦も同居しているので介護は出ると思われる。
妻・主介護者 長男夫婦と同居 出掛ける事で長男夫婦だけにしたい。
移動はNPOの移動サービスを活用。リクライニングシート車イスで安全確保。親戚一同そろうのは久しぶりなのでコミュニケーションのとれる今のうちがチャンスと考えている。
家族のサポート 公的援助サービス
人々の外出、温泉までの移動時間が長い 久しぶりの入浴、介助して入浴してもらうのははじめて。浴室がバリアフリーじゃない。
・親戚一同がいる。
病院等と連系している温泉施設
自宅～温泉の移動時間2時間こえる
長男夫婦と同居。妻65才が主介護者
長男夫婦と同居、人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパーなど）公的サービス（医療保険、介護保険）
温泉までの移動温泉に入るための設備が
妻65歳（主介護者）長男夫婦と同居している。
・温泉という、非日常的な場所への移動が大変である。・温泉がバリアフリー化されているか。
主たる介護者が65才と高齢であるが親せき等協力的である。
・現地までの移動に時間がかかるので休けい場所を確認する。・障がい者対応入浴設備の整ったホテルを予約する。
妻、長男夫婦、家族の支え親戚一同の支え、主治医、医療、介護保険等の利用
・自宅からホテルまでの移動時の人工呼吸器のバッテリーが持つか心配 途中の吸引。・温泉に浸かるための介助者・状態が悪化した時の緊急体制
温泉旅館までは2時間程。スロープもあって、段差の心配はなし。近くに緊急対応が可能な病院もある。浴室も家族風呂あり
・温泉地までの距離は長いのか・温泉に浸る時間の制限
普段はヘルパーに手伝ってもらい入浴サービスを使っている旅館に障害者が入れよう風呂がなければ温泉に入るのはむづかしい。
・身体に負担をかけないところの温泉地を選ぶ
・入浴後に休息を入れん会は1時間の予定・移動時間は2時間
・自宅～温泉までの時間が数時間かかる。・温泉地の宿泊場所を本人のために考慮する必要がある・温泉での入浴方法、浴室環境
長時間の移動、休憩場所の確保・医療器具、装置の準備、運搬・宿泊場所の環境把握・緊急時の対応
・自宅から旅行地までの移動時間がかかる・ホテルでのベッド環境・人工呼吸器は必要か
看護師の付きそいは、必要か。宿泊先で受け入れ可能か浴室は個浴可か。建物はバリアフリーか。同行者に介助は頼めるか。緊急時の対応は？宿泊先近くの病院の確保が望ましい。移動手段は？すべての費用を賄うことはできるか。夜間のたんとり。身体介
自宅から温泉地まで車しかいけず長時間である。
家族やサービスによる支え
・車での往復時間の確認 入浴設備の確認
・緊急時の医療体制を考慮し、行き先等決定する・入浴設備、食事等の確保を考慮する
旅行中・外出先では車椅子で移動する。交通ルート・宿泊施設は車椅子対応により限定される
長男夫婦と同居 妻65才
旅館の設備はどうなっているか・入浴の介助はどうするか
・温泉まで2時間。体調変化ある為緊急時の処ち道具（吸引、吸入など）もホテルにもちこんでいく。・出先でも緊急時に診察してもらえる病院の紹介をうけておく。
・移動介助等の身体介助の予定・妻や長男夫婦も本人の希望に協力的対応
温泉地が遠い車イスでの入浴をするのに対応できる温泉旅館か…
・自宅から旅行先の宿までの移動時間が、往復数時間を超える。・大衆浴室は混み合っている。・バリアフリーになっていない。
温泉宿に協力を要請主治医から緊急時の指示と医療機関の紹介
温泉地までの移動が2時間かかる。温泉につかるまで車イスの移動では障害がある

・自宅から温泉地までの移動時間、移動方法を考える・宿泊先の環境を確認する
自宅から宿は2時間程度かかる。坂や階段は比較的少ない温泉街。宿は和室で、ベッドの手配が必要。入浴は、リフトか担架での男性2人介助。
・自宅から皆と一緒に車で行く。支援をしてもらいながら・片道3時間はかかる・旅館はバリアフリー対応であり、浴槽も入れるようになっている。
家族、親族、地域住民の支え。介護保険サービスの利用。主治医や訪看の訪問。
・旅館はバリアフリーとはいえ、車イスで安全に行けるかは分からない。・旅館の従業員の手がどこまで借りられるか、分からないので、事前打ち合わせをしている。・移動は片道3hかかる。
妻の健康状況。精神状況。介護者の妻を支える長男夫婦との関係。妻との関係、地域立場からの影響
キーパーソンは65歳で高齢。移動は車イスで行なう。移乗や入浴介助は支援が必要。
・近場の温泉地でも片道1時間30分・一緒に参加する長女はヘルパーの資格あり
温泉までの移動手段。24時間自宅を離れる。温泉宿のベッド等の設備。
・1泊2日の外出時間、移動する時間の負荷。・宿泊と温泉に入るといふ、更なる負荷対応
温泉までの移動時間が片道1時間 入浴のきかいを旅館にもちこむ車イスギャッジアップ車両手配
温泉で皆と入浴出来る環境が有る
休けい場所の確認 行き先での医療機関の確認 温泉宿の確認（車イス利用可能か 入浴対応可能か 介ゴベットの利用が可能か）
・車での移動時間が長時間かかる。・入浴の介助が必要だが長男一人では難しい。
・主介護者である妻は高齢・長男の介助が必要だが入浴介助をできるか分からない。
家族（妻も高齢）68才健康状態。人的資源
近くの温泉場なので、身体的負担は少ない
長男夫婦と同居。主介護者奥さん
・1泊2日の宿泊となる。療養生活に必要な器材や用具の準備や、手配が必要・宿泊先の医療機関や
家族の支え 公的援助サービス
・車と列車での移動が2時間片道かかる。・入浴時の介ゴ方法も不安がある
1泊2日の旅の移動時間が長くなる 排泄についての休憩時間をとる
地域、家族、友人、医療、ボランティアなど
長時間の移動にたえられる安楽に移動できる交通手段、痰の吸引ができる環境医師との連らくがとれるようにする
・温泉の浴槽にどの様にして入るのか？・温泉地までの移動は大丈夫か？
・温泉までは車で4時間かけて行く。・温泉には高い段差がある
・温泉旅館までの移動時間がかかる。・1泊と外泊になるので体調面の管理・入浴をどのように行うのか。
・車イス対応のホテル・旅館さがし・介護しやすい様部屋の広さ、ベットがあるか
自宅から温泉までの道のりの確認。温泉にどのような設備があり、本人がどのくらいの介助があれば入浴できるのかを事前に 知ること、対応が考えられる。
（+）シャワーキャリー付きで入れる温泉施設であり、それを想定した環境で家族への介護指導必要。→デイケアの浴室で担 当PT、OTと家族で訓練（-）車酔いがあるので、細めな休けい必要。往復3h。→早めの出発
移動時間、移動方法の確認。
移動に車で2時間程かかる 入浴も他の人に迷惑がかからないよう家族風呂を頼む
・数々の乗降、移動動作で疲労感はどうか、果して温泉へ入れるのか。・皆と、共に楽しみ合えるのか
近くの温泉で対応し、緊急時かかりつけ医の病院に対応をたのみたい。
・自宅から温泉地まで車で片道2時間。・夜間の寝具は背上など出来るものを使用している。
泊まるホテルには入浴を介助してくれるヘルパーがおり家族が対応しなくてもゆっくりと入浴することができる
・旅館は障害者対応の設備がある・旅館までは山道を2時間かかる・旅館近くのA病院が緊急時対応してくれる
・長男夫婦、妻・長男夫婦以外の親せきの力をかりる事は可能と思われる・旅館等でのスタッフの力をかりる事ができるかど うか・旅館等までの移動時間・旅館等行く施設の種類、バリアフリーなのか
自宅～温泉地まで距離がかなりある。車で2時間程度
・旅行期間の体力・温泉入浴中のコミュニケーション
安全、安心
・主たる介護者の妻（65歳）、長男夫婦、親せき同行・スケア浴の準備、酸素、吸引器の準備・緊急時に備え看護師待機し 必要に応じ、医療機関と連絡とれるようにする。・ホームヘルパーに入浴介助、また、妻、長男夫婦にも協力してもらう。
自宅から温泉地迄1時間の距離妻一人での介護なのでこの日は、妻に十分な休息を取ってもらいたい。
・自宅から旅館まで2時間の距離。・入浴は家族風呂を利用。・おむつ交換のためにもベッドの部屋に宿泊。・長男夫婦や妻 の介護力あり。
・自宅から温泉地までの移動時間が往復2時間程かかる。・温泉は貸切りにできるが障害者向けの造りではない。
温泉までの移動時間移動手段
・移動時の揺れや、急変時の対応を整備しておく必要がある
・温泉宿までの移動時間が長い。・宿泊場所や温泉の環境は整わない（宿は段差が多く、車イスの移乗が困難。浴室や脱衣所

が障害者用に整っていない。湯船には人に抱えてもらわないと入れない)。その中で過ごすための工夫が必要。
移動時間・温泉施設の確認。吸引、アンビュールができる家族
長男夫婦と同居主介護者は65才の妻
外泊先のバリアフリー化がどのように整備されているのか、公共機関、泊まる旅館の中のソフト面ハード面にわたり整備はどこまで進んでいるのか。事前下見を要する
温泉内の段差、福祉用具の使用が可能かどうか。
・自宅から目的地の温泉までの移動時間が往復4時間かかる・降雪により車内の震動や運行の遅れが考えられる。
家族(妻、長男夫婦)の支え気遣い。応診医、訪問看護、訪問介護等のサポート。装置のメンテ、セッティング等の支援。ケアマネの相談援助。
家族・親せきの支え・気遣い、交通機関の公的サービス 旅行先の医院との連携
・バリアフリー対応の宿泊先を手配して車いすで移動が可能な居室とベッドを確保する。浴室、脱衣場も同様(車いす、スペースベッドが不可欠)・妻1人の介助では温泉に入るのは無理なので介助者を確保する必要あり
・長女が主介護者・デイケアショートステイのサービス利用・往診(主治医)
・親戚を含めて基礎的な介護を勉強中。・宿泊地の選定、宿泊地へ伝える情報を考慮
・移動手段・バリアフリー状況・宿の受入れ状況
・車イスで移動でき、ゆっくり休める寝台がある。・介助者といっしょに入れる温泉である。
妻、長男夫婦
・温泉までどのようにして行くか。意思伝達装置はどうするか?・温泉は。
車イス、移動できる駐車場からのアクセス電源確保が必要。呼吸吸引、ベッド、自立支援制度の活用ができる 妻、長男夫婦が日常的に関わってくれている
長男夫婦と同居、旅行では介護の手助けが期待できる
移動時間を考え、親族も本人の体調を考えて協力し合う。体調の変化をする可能性もあり注意をする。
移動時間が少ない温泉が良い。家族ふうを前もって予約する。
・家族が協力的・家族が若く、同居
・温泉地までの移動、帰宅までの移動など時間を要するため、安全面での検討・温泉地での入浴
・妻の支え・人的資源・公的援助サービス・インフォーマルサービス
・移動時間がどのくらいか・1泊2日ということで環境に変化がある
車イスのまま、乗れる車の手配 車イスのまま、入れる温泉施設を探す。
環境変化に伴い精神的ストレス大
・長時間の移動が体に負担をかける。
移動方法、入浴の方法等、介助者が必要である。妻も65才であり、全てを1人ではムリである。
・温泉旅館に障害者受入れ及びバリアーの状況等について事前に確認と対応策を考えておく。・日頃の痰の吸引や介護は、妻と長男夫婦で行っているが、家族のリフレッシュのため、入浴時のバイタルチェック、痰の吸引のため、看護師1人、入浴時の介護のためヘルパー2人の付添いをつける。・人口呼吸器の緊急時の対応に備えて、温泉地最寄りの消防署へあらかじめ、連絡しておく。・福祉タクシーを利用し、本人の移動時の負担を緩和する。
1泊2日の移動。入浴も時間を要す。体力的にも負担がある。
・温泉までの往復に時間が要する・1泊2日の生活環境が変わる・温泉に入る手段
・自宅から温泉までの移動時間を考える・入浴時間は夕方になる
・移動距離が長い・慣れないところでの入浴、宿泊である。
宿泊施設の設備、移動手段時間の確認浴室、浴槽の設備等の確認部屋の位置の確認
温泉までにかかる距離移動手段
外出時利用しやすい車イスをレンタルしている。長時間の移動にはリクライニング機能を活用している。機械浴設備が必要。
移動時の体調の変化も予想し途中の休けい出来る所もチェックしておく。温泉といえども、行くと本人は非常に疲れるので時々気をつけてあげたい。
・温泉地は、片道スムーズについて3時間位の場所である。・車(移動の)はリクライニングできるタイプである。・温泉のホテルは今までもALSの人を受けている
医療的管理が必要
・長時間の介護者の確保
自宅から温泉までの移動時間が、往復2時間を超える。着替えと入浴まで合計1時間かかる。宿泊施設の中で段差がある。
・所在場所により体調の変化がある(移動、感情の起伏など)
・環境の変化による夜間の吸引などの対応。・お風呂場までの移動(段差等)
・温泉であるため遠方。・バリアフリー対応でなければ、段差等が心配。・普段介護にかかわっていない人も多い。
・介護スタッフがいなくても入浴できるよう家族内協力者を増やし事前援助を行う。・体調急変時の対応ができるよう医師、看護師の対応できる地域での場所をえらぶ宿泊施設の整備協力(ベッド、車イス対応等)
・リフト付タクシーを利用するか、公共交通を使うか検討が必要。・急変時に旅行先でかかることができる医療機関を探す。
旅行の時には介助者の手が多い
長男夫婦と同居 主たる介護者:妻(65才) 社会資源(ALSに対する経験のある往診医など)

・バリアフリーな施設か
・移動時間が長くない、バリアフリーの温泉を選ぶ必要がある・浴室の環境もチェックして温泉の理解や協力を得る
妻、娘夫婦が日常生活、通院等の外出を援助あり、病院の送迎（看護師）あり介護保険（車イス、ベット、レンタル）高速道路の割り引き、駐車証ありガイドヘルパーの申請スミ
・宿泊施設までの移動時間、移動手段の考慮・利用可能な宿泊施設の選定・医療機関との打合せ
安全に旅行できるよう移動中の交通機関の中での吸引、呼吸器の外部電源の確保を必要とする。
主たる介護者は65歳の妻長男夫婦と同居
長男夫婦と同居、妻、人的資源（行政、医師、看護師、ケアマネ、ヘルパー等）
旅先での受け入れ医療先の確認が出来ているか宿泊先が障害を理解し入浴できる設備設置が可能である。家族が本人の体調や急変事の対応ができる。家族の介護力（移動、移乗、入浴介助等）
家族の支え人的資源公的援助サービス診察を受ける近隣の病院や主治医
・移動時の手段、時間・温泉の設備
長男夫婦の支え、妻の支え 親戚一同の気づかい 温泉地までの移動時間
・移動時間・入浴の安全性、介助をどうするか、前もって決めておく。
家族の支え 公的サービス 診察
・玄関から外へ出するのに階段が6段あるため、車イスごと持ち上げる必要がある。・旅館内や部屋内が車イス対応になっているのか、部屋に個別の風呂が付いているのかを確認。
・親戚づきあいがよい・長男夫婦との関係が良好である・福祉車両を持っている。・親戚に医療従事者がいる。
主介護者65才の妻長男夫婦が同居
長男夫婦の介護を充分得られる。温泉は片道一時間で、障害者用の準備が整っている
旅行時の移動の負担緊急時の対応
移動手段とバリアフリーの旅館かホテルを調べる 長時間車に乗れるか
自宅から温泉旅館までの移動には、1時間程かかる 温泉旅館には、部屋に温泉はあるがリフトはない。
・家族風呂のある温泉を探す。介ゴの経験のある家族参加。
・移動は1時間程度。・親戚に40代の男性が4人・温泉余り段差なく安心して入れる。
長男夫妻の協力を得られるのか
・旅館はバリアフリーの所をチョイス・車椅子での乗車可能な車をレンタルする
・温泉等の移動時間は往復2時間を超える。・温泉に到着したら、ベッド等で休める環境が必要である。
タイムスケジュールを作成し時間経過とクライアントの状況を把握する
自宅から温泉ホテルまでは片道3時間ストレッチャーの福祉タクシーを利用 温泉ホテルには車イス用浴室がある。
温泉までの移動時間が大丈夫？移動時間の可能な温泉■を選ぶ 温泉の浴室浴そうの形態と介護力は？
妻、長男夫婦と同居 バリアフリーになっており車いす移動可、リフトが設置され外出可
65才の妻の介護だけでは体力的にも大変である。親戚等の力を借りる必要あり
ホテルのバリアフリー介護用ベッド（ギャッチUPできるもの）食事への対応。車イスでの入浴ができれば…。
・自宅からの移動時間は短かく。・車イス移動ができるバリアフリーのリフトで移乗できる個浴の温泉地、ホテルを選ぶ
・2世帯。・家族とは良好な関係性が保たれているか？
・自宅から旅館までの移動時間が3時間要す。休憩場所を計画的にさがす。・寝たきりの人も入れる設備のある旅館をさがす・病状管理が安心して旅行できるようにボランティアのNsを募集する・現地での医療機関を確保しておく（事前にかかりつけ医から現地の医療機関に情報提供しておく）。
家族の支え（妻、長男夫婦）公的援助サービス 主治医の往診
・温泉地までかなり時間がかかる。・ホテル内は車椅子で移動する。・家族の気遣いや援助、長女の協力。・車椅子入浴が可能である。（チェア浴）・ギャッジアップできる車椅子の利用と福祉車の利用
長男夫婦と同居→温泉旅行には参加しない温泉旅行では親戚の協力あり 主介護者 妻65才
温泉まで車移動約2時間旅館には休けい室もありよこになれる場所あり
温泉までは車を利用して半日はかかる。家族への介護方法の指導が必要。安楽に移動出来る様に車の選択が必要 旅先での急変時のための情報を集める必要がある
・家族、親戚の人達の支え・主治医よりのアドバイス・公的サービス（医療介護保険）・人的資源（行政、看護師、ケアマネ、ヘルパー）
・自宅から温泉まで移動時間の把握・温泉に入浴が可能かまた何かあったときの対応策と考える
・協力医院の確認・温泉施設の確認・食事内容の確認
・自宅から温泉迄3時間はかかる。・親戚の男性5名が温泉に入る時手伝って一緒に入る事になってる。
・旅先までの時間・家族の援助・医療、介護者の援助
ルートの確認、施設設備、緊急時対応できる方法は？など、考えられる範囲での確認。
・長男夫婦の協力がある・温泉は車で1時間程の所にある・温泉の人とは顔なじみである
温泉までの交通手段等の下見泊まる所の室内の設定の確認
・家族は、本人の意向を実現させてあげたい気持ちがある。・介護者、介護に必要な条件がそろはないと外出がいきなり
自宅から温泉までの移動。

・妻の他に介護補助者は？・どんな介護設備があるか？・近くの医療機関は？・主治医との連携
・長男夫婦も介護になれている。・親子関係よい・家族皆、外出好き。温泉好き
温泉まで数時間かかる。家族の車で出かける（車イス専用車に改造済）、家族吸引、呼吸器管理は確立できている
長男夫婦と同居 主たる介護者は妻65歳 医療・介護サービスの利用
1泊2日 長男夫婦と同居 主たる介護者は妻65才
温泉までは片道3時間かかる おいやめいも参加する
長男夫婦の支え。妻も高令である。公的サービス利用（介護・医療保険）
・車で移動（慣れない車）（長時間）・親せきの者とのこれまでにない関わり。・自分のすべてを見せることになる
旅行中の移動入浴の際の動作など支援の確認
主たる介護者は妻であり、旅行、入浴介助等に介護士、医師のサポート体制が必要。旅行手段となる車等の準備が必要
・長男夫婦と同居 主たる介護者は妻
・長男夫婦と同居・主たる介護者は妻65才・親戚の方々と一緒に旅行のため協力いただくため、介助法を学んでもらう必要あり。
移動も時間がかかる。・温泉に入るのに介助が必要。
温泉には手すりはあるが、リフトはない 介助者に介助方法について確認する必要がある
自宅から旅館までの移動時間2時間、設備のない温泉施設である。
1泊2日の旅行と移動時間がある。
・自宅から温泉まで約2時間かかる・一般の施設での入浴となる
・医療関係者との連携・宿泊先での対応
・妻、長男夫婦も本人への理解があるし、親戚の中には、医大生がいる。・同じ、病気の会の旅行に行かれた方を知っている
・温泉までの時間・温泉宿での移動と入浴施設・長男夫婦と同居、妻が介護
長時間の移動時間温泉で安全な浴室が必要。旅館への連絡をとり必要な備品のかくにん。旅行スケジュールを計画し休憩場所のかくにんBedのかくにんをする。
・温泉は車で2時間の所・入浴時は家族風呂を準備してもらう。
妻は献身的に介護している。温泉地へは移送サービスを利用、妻と息子、付き添い移動中の吸引なども行い、安心して行けるようにする。
長時間の移動時間に注意。体調不良時が発生した時の対応。常時介護者が必要
・自宅から宿泊地までの移動時間が長い。・妻や親類一同と気嫌のないメンバーでの旅行である。・旅行先で体調変化に対応できる医療スタッフが必要（現地の医療、機関など）
自宅から温泉まで車で片道2時間。自宅に車椅子のまま乗れる福祉車あり。長男、次男、長女の夫と成人男性3名あり。シャワーチェア持参。
主たる介護者（妻）が居る。親戚も理解して同行してくれるが気遣いが出ないか。緊急時の対応を医師に確認する必要がある。
妻と、長男夫婦と同居介護者あり
・温泉地までの、時間、宿泊施設の設備。移動方法。介助者の有無
・自宅からどのような方法で移動するか・温泉の浴室の状態介護者だけで可能なのか
親戚一同の支え、人的資源 主治医 公的サービス
移動距離が長い
温泉までの移動は何で行うか。移動時間はどれ位なのか。
・車椅子で温泉旅行 段差や車の車種も注意して用意する。・泊まる宿の環境も家族が確認する
環境がかわることで、心身の向上がはかれる
・温泉までの移動が3～4時間になる。・狭い車内で、揺れも多いと思われる。
ホテルの適用できる環境あるか
・妻・長男夫婦・親せきと仲良い
長男夫婦と同居 コミュニケーションは意思伝達装置 妻介護づかれが出やすい
・移動・温泉に入るための環境は十分かどうかの確認
・入浴は全介助を要し、介護力が必要である。・30分を超える、座位の保持が困難である。
・急変時の医療との連携・宿泊時の吸引、急変時の対応。すぐ側にHPがあるのか。・入浴時の対応。
自宅から旅行先のルートの確認。介護タクシーの確保。休憩場所、病院の確認。宿泊施設の設備の確認。（ベッド、マットレス、トイレ、浴槽）部屋の大きさ。
・往復の移動時間を考える。・移動手段を考える。・温泉に入るためには介助者が技術を習得する必要がある。・温泉宿の環境を把握しておく。
・妻の介護を受けて、在宅生活が継続できている・親戚一同との交流の機会を持ちたい。
長男夫婦と同居。家族の支援。親戚関係良好。介護者妻、65才。親戚と家族と楽しい時間を過ごすための旅行先の選定
・温泉施設に安全に入浴できる設備があるのか。
・旅行先は、片道2時が限度・時期は4・5月10・11月頃が良い・トイレの場所を確認
自宅→温泉への移動時間、手段の検討、宿泊の際の寝具・部屋の状況確認温泉内の移動。
・自宅から目的地の温泉まで往復2時間を超える

・自宅から、温泉地までの移動時間が片道1時間はかかる・久しぶりに温泉に入ったことで、具合が悪くなったらどうしたらよいか・ベッドの方が介護しやすい(温泉地)・荷物が多くなる
・自宅から温泉までの間で外出の障害となる物がないか調べている・身体状況の変化により受診が必要となった場合に備え近くの病院等調べている
・長男夫婦、妻の支援・親戚の支援
車イス+医的行為が欠かせない人たちが思いどおりに過ごす環境があるか。
自宅から温泉地までの移乗・移動にどの程度までいけるか。時間的な計画と、万が一の受け入れ先など調整する。
・自宅を離れて一泊二日の長時間である・移動を車で行う
・温泉地迄が遠距離
家族(妻・長男夫婦)の支え気遣い。公的サービス(介護保険、医療保険、身体障害者手帳、障害者福祉サービス等の利用)意思伝達装置の利用。人的資源(行政、医師、看護師、ケアマネ等)
長男夫婦と同居・自宅から温泉地までの距離、移動手段・温泉の設備、宿の設備、はどうか?・家族や、親戚の協力はどうか?
自宅内での不自由さ何があるか外出先での不自由さ
浴室、移動、介助員
介護者の身体状況。主介護者以外の介護力の有無

問9 【F 個人因子】

(在宅療養支援診療所)

◎皆に迷惑をかけたくない
努力家
積極的あり
1) 呼吸問題 2) 血圧 3) W/C
死生観。悪化や急変の可能性の受容。
家人の協力
個人の意志は尊重したい。万一の場合の心構えも必要
その人の普段の行動を調べておく。
在宅介護を利用 外界とのコミュニケーション
性格…より判断する
家族と親戚の人々と楽しいひと時を過ごしたいという希望がある。温泉にも入りたい。
介護者に迷惑がかからぬように挑戦的にどれくらいできるかためしたい。
妻との良好な関係
小さな目標でも具体的にチャレンジしてみたいという積極性がある。
性格
睡眠、痛み、栄養状態
声も小さいので話すことも苦勞と思いますが、本人に意志表示の希望があれば何らかの方法を考えるでしょう
本人の性格など、訴えをためこまないか含め要確認
介護者の負担を気づかって本人の意志がなかなかでてこない。
○
ADL低下していても、本人が精神的に満足し、納得できるようにすごさせてあげたい
自分のために親族一同が心をくだしてくれることに感謝している
本人の意志 情熱
本人の意志
意志表示もスムーズであり移乗などの介助がきちんとできれば旅行は可能
?
温泉に入りたいという意欲があれば支障なし
身体機能の低下、進行はやむおえないが、今したいことをしておく
1. 本人の望みは? 1. 移動・滞在での対応は十分可か? 2. 体調は旅行可か?
こういう機会はそうないからぜひ
不明
もともと我慢強い。積極的である。皆に迷惑をかけないようにしたい。
挑戦的な一方、実現できなかった場合の覚悟が感じられない
まじめな性格
皆で到着から帰宅まで、皆でスケジュールを作り本人が心行く迄楽しめる状態を維持したい。
奥さん、長男夫婦との関係は?
意思伝達装置を利用して、親戚全員とコミュニケーションをとりたい。
性格に基づく周囲に対する気持(ストレス)
いつも介護している家族や心配している親戚に自分が温泉に入れる所を見せたい
家族、親戚の人々と接触を持ちたい
皆と参加したいという気持ちと温泉に入りたいと思う望みを前向きにもてる
周囲の協力度が高い旅行を楽しめる認知度
・迷惑をかけるが温泉に入ってゆっくりしたい
快適に最後まで家で生活したい…
障害があっても何とか家族みんな温泉へ行きたい
行事にも挑戦的、我慢強い親戚との交流を楽しみ
旅行の前によくオリエンテーション
発想 e t c 感染症 (-)
なるべく開放的になるように対処
「家族、親戚ともう一度楽しい会合を持ちたい」と強い意志あり。
近くで温泉を
外室を希望している様子
意志の確認

親セキと楽しくすごしたいできるだけ迷惑をかけたくない
困難をイヤな事と思わない
親戚一同に対してお礼の気持ちをもってもらう。
我慢強いが、他人に迷惑をかけるのが嫌です
慣れている家庭という環境から旅先という不慣れな環境に対する不安
家族、親戚と一緒に旅行に参加したい
実際に対象のイメージが弱く書けません
？
積極的な性格で、障害が生じて初めての温泉に挑戦する。できるだけコミュニケーションをとって家族と一緒に楽しみたい。
・几帳面で我慢強い、何事にも前向き。・他の宿泊客に遠慮がある
他人に身体世話、ケアされることをどう思うか。
自分は入浴を希望しない。(特に健常者とする必要を感じない)出来るだけ障害が見えない様にふるまい、対応したい。伝達能力に欠ける、判断違いの恐怖
旅行参加への意欲
患者自身の意欲及び参加できることへの積極性およびあきらめも要(現況を受け入れる点)
皆に適度な感謝の念を伝える。エラソウにしない!
どの程度自分の体力病状への認識を持っているか
・本人の意欲について・旅行時のトラブルに対する本人の考え
近い人たちと楽しみたい。思い出づくり、これからの療養生活にも張り
温泉に入るからには楽しい時間を過ごさせてあげたい 入浴した事でのトラブルの心配。
親戚一今まであまり会えなかった人たちなどと話しをしたり、温泉に入りたい。
一泊二日、そして温泉入浴に耐えて、楽しめる身体状況かの確認。
温泉旅行に行く
本人の温泉行きに対する満足度
本人の問題点、気になる事等を確認しておく
好きな温泉に入りリフレッシュしたい
神経質になっていないか?楽しみにする気持ちと、不安が相交するのでは?
前向き…
特定の医師、ヘルパーの援助
本人の性格の熟知
寝る時の電動ベッド、エアマットの用意
急変時についての本人、家人の意向
・自信がない・親戚に介助を頼む勇気がない
不明
久しぶりに親戚一同と入浴したい
何事にも積極的である 若いころから旅行・温泉好き まわりの介護者の苦労を気にしている
意思は強い
・精神的、金銭的 肉体的援助
旅行ストレスによる疾患の増悪の可能性
家族との関係を大切に、精神的な自律を維持、感謝と生きている事の意味を十分理解して病気を受け入れられているかどうか
積極的で社交的 十分にたのしみたい。
我慢強い。
親戚との和に入りたい 温泉に入ってみようと思う
セルフネグレクト ディサービス、ショートステイへの参加は拒否的。自宅で家族、親戚と過ごしたい。今回の旅行は楽しみ。
旅行に行って温泉に入りたいという意欲が大事。
・几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的である。皆さんと食事中は一緒に席に居る人に不快感を与えたくない
・参加したい意志が有るということは、疾病に向き合えているということか?
どんな人か分からないけど気分転換のために、多くの人が温泉旅行は望んでいるので目的を達成できるようにしたい。
・ALSになってから、ややうつ傾向で無気力。妻に頼りがち。今回旅行に参加する気になったのは、大変楽しみにしている証拠。「何とか皆で楽しく過ごして迷惑をかけずに帰宅したい。」
家族とのふれあい、快樂をたのしみたい。
親戚との楽しみを準備する
・周囲に気をつかう。・多少の症状があっても周囲が楽しんでいるのを邪魔すると思って訴えないのではないか
生きる意欲が高い
自力での入浴は困難だが介助してもらって親戚と楽しくすごしたい。

我慢強く、何事にも挑戦的である。周囲に気をつかうタイプである。
旅行を楽しみにしている。
・他者との交流は積極的・妻に感謝しており「旅行では他の方々の協力を得て、妻にも楽しんでほしい。」
医療の知識 尊敬
本人はALSの知識あり意志精神活動正常
・何ごとにも積極的、活動的
浴場の確認・本人の希望にあうものか・料理たべれるか
温泉旅行時の移動、排泄、入浴、意思伝達の方法を関係者と打ち合わせ、スムーズに行くシュミレーションに積極的に行動する
みんなといっしょに旅行できるなら多少の苦しさはガマンできる
意欲あり、興奮することを十分に把握する。
来たるべき自分の死は容認している。何事にも感謝して生きている。
・医療的な急変で何が必要か
絵を描くのが好き、温泉入浴も好き。世話になった親戚の人達に私の水彩画を送りたい。
・元気な時は、妻と二人でよく温泉に行っていた。・いつも介護で世話になっている妻にもゆっくりとした時間をもってもらいたい
本人の体力。食事摂取能力。排尿排便処理能力
本人の意欲
・家族思いで仲が良い・昔はよく旅行にいった
体調がよい
・明るい性格で、どんな事があっても生き続けたいと願っている。・お金に不自由していない。
几帳面で我慢強い
・支援があれば、普通に生活出来る。
親戚の人達に迷惑がかからないようにしたい（妻の負担が大きい）
・現状を受け入れながら、その中で明るく生きようとする積極的意志を持っている。・元々、人との交わりが好きな性格。
本人の気力しだい。
本人の正直な気持
介助の人たちもくつろげるような配慮がしたい。
移動、入浴にどれくらい介助が必要か？
外出への期待と環境へのじゅんのう 今后への生への情熱の引きだし
介助者の負担あり
本人も最後かもしれないので、そのつもりになる（なるべく本人の気持を明るくするようにまわりも協力する）
意識が保たれる分頑張れる
・意思伝達装置使用することで、伝達するのに時間がかかるため、ストレスを受けやすい。
希望している
家族だけの入浴を希望。本人は非常に積極的。家人は緊急が心配。
QOLの向上。希望、学習、経験など。
家族、親戚一同の結びつきを重要視している
楽しく生きる意思を持つ
温泉に入れるよう、願いをかなえる。
意欲的
急に気が変わらないか？
久しぶりの外出に希望をもっている。
本人の意欲がある
・性格・教育・宗教
・妻、長男夫婦が同居。介助についてのスキルはある。・親戚一同との交流を楽しみにする。積極的な性格が良い。
・前向きな性格・スポーツ（野球）をかつてやっていて、野球、サッカー等のTV観戦を楽しんでいる・一方、身体不調にて、不安が強くなる。
温泉での入浴、食事の喜びを与えたい
温泉好きで、親族間も問題なくいききてきている
・我慢強い。・家族を大切に思っている。
妻長男夫婦とマンパワーある。温泉に入りたい。
几帳面で我慢強い
父としての立場、役目を果たせられるか。
・元気な時は、家長として親戚の中でもリーダーシップをとっていた・症状の進行にやや意欲を欠いてきている。
本人は外出の意欲あり、家人も同伴する余裕がある

コミュニケーションエードの使用や温泉旅行への参加等意欲的な方
・人に迷惑をかけたくない。・みんなに感謝の気持ちを伝えたい。
生きがいとしてのものをもっているか。
・穏やかな性格であり、情にもろい・温泉好きである
自身の現在の能力状態を知っているため、何事にも否定的でマイナス志向とは言え、妻への感謝と寄り添いたい気持ちは持っている。表現下手である。
障害を持ってからは短期傾向であったが家族や親戚の介助や声がけにて性格も穏やかになってきている。「みんなが集まっての笑顔がみたい」
親戚一同と久々に会いたい気持ちは強い。周囲に迷惑がかかるか心配。
活動への自信喪失
移動等に不安が強い
親戚家族との交流を楽しみにしている 明るい性格 ゆったりしたお風呂につかりたい
・ゆっくりしたい・介護、価値観
コミュニケーションには装置が必要だが、親戚一同とできるだけコミュニケーションしたい
本人のやる気 家内よりも温泉のためすべりやすいことを想定しているか
久々の旅行を楽しみにして意欲的
短時間でも家族と温泉につかる時間を作らせたい
いつも介護してくれる妻に対し「すまない」という気持ちでいっぱいである
・がまん強い。意欲的がある・以外と楽天的で細かい事は気にしない
・とても活動的で何事にも前向きである・「自分一人では旅行するのは困難なため家族に迷惑をかけるがそれでもみんなと行って行きたい」
久しぶりに多くの親戚の人々と会って旅行し旧交を温めたい
若い頃は温泉通であり、スケジュール決めに加わりたい。
長男夫婦との同居生活 親戚との交流
参加への意欲の強さ
是非したい本人の希望
・家族への感謝の気持ちがあり・一泊旅行がかなえられることに大きな喜びを感じている
・何事にも挑戦的であるが、少し我慢し過ぎるところがあり、病状の悪化が心配されるところもみられる。
人柄による
年齢68歳 性格（I. C. にあたって）個人の尊重・尊厳
コミュニケーションの手段が意思伝達装置のみ
普段親戚の人とも話しをし入浴し楽な体制で旅行が出きる様に
・♂68才・すべての行為に支援が必要である要介護5
体の保持ができるように努力する。
積極的ににぎやかな場を好む性格、自分は吞めなくても楽しい雰囲気を楽しみたいとの希望があり
その方が何を大切にしているのか。親戚と会うこと、温泉に行くこと
本人の強い意志
温泉の大浴場使用出来ない事を最初から覚悟してもらうこと。日本の温泉は健康人を相手とし、ヨーロッパのリハビリ温泉とは異なっていることを理解
気難しい面がある為参加させてあげたいが身の危険が大きい。
家族と親戚一同の負担を最少限にし現在の体調維持に努め皆で楽しく過ごしたい
温泉に入りたいと思う本人以外の親戚はどのように思っているのか。受け入れられているのか。
行きたい思い
意欲を持って参加を考える その計画を社会資源、家族、介護■■■に利用するか
積極的に外へ出たいが回りのヒトに迷惑をかけたくない。コストも心配
職歴。性格。経済力。友人関係。
皆の善意が理解できるしまたそれにすなおに感謝できる心を養いたいと感じている
・本人の病識？・移動にがまんできるか
普段、外出しにくい為、無理せず、旅行希望
本人の参加への意欲がありこれを大切にしたい。
温泉に入りたい
どこまで望んでいるか（達成の願望度）を知ること本当の望み。
絵が好き歌を詞ったりした。
たまには、同居家族にもゆっくりしてもらいたい。
・家族で親戚一同の温泉旅行に参加。・意思伝達装置を利用したコミュニケーション。みんなと久々に会話を楽しみたい。
元々、家庭を大切に人であった。日々の単調な暮らしの中に、何か希望や目標を見つけないかと考えている。

・温泉旅行に行きたいという意欲・呼吸抑制の際どうしたいか。
家族が一体となって互いを助け合い、生活していることを実感してもらう。孤独からの解放。
・旅行中は親戚には心配・迷惑をかけないように過したい・慣れない環境や意志表示が十分に出来ないことへの不安
？
困った時の意思伝達。温泉での家族とのコミュニケーションなど
・本人の希望に対する理念
誰がトータルコーディネートするのか。
身内を大事にする人である。親戚の方と楽しみたい。
・周囲に迷惑をかけるのではないかと心配する。・悲観的になりやすい
・プライドが高く、恥ずかしがりや。・実行には多くの迷惑をかけることと消極的になるが、温泉で家族と楽しく過ごしたい。
妻、長男夫婦以外への気兼ね。移動、宿泊、入浴の不安。
本人の参加の意志
この旅行の経験が第2回目につながるかどうか？
親戚での温泉旅行に参加し徐々に温泉に入りたい。
・老人保健対象者・要介護者（要介護度5）
遠慮がち、控え目だが皆さんの協力を得てこの旅行を楽しみにしている
旅行までの体調を維持するためのリハビリ努力。
68才長男夫婦と同居妻が介護。同居者の対応不明
体力的な問題。急変時の連絡方法。
おおらかで自然派
一族、その他同行する皆の好意を受けて、自分らしく生きている喜びを味わい、笑顔で終始応えられる満足感を表現してくれることを予想
・引きこもらず、自ら外出をする事によって、心身ともに向上するように努力をしている。・難病ではあるが今まで通りの親戚との交流を続けたい希望がある
意志伝達装置でがんばる
できる丈、自分の好きな温泉を選ぶ方がよい。露天風呂などもできれば入れてもらいたい
温泉旅行に参加したいという本人のはっきりした意志が必要
親戚に会えるのも、これが最後だろう
出来たら一度行った事があるところがよい
68才
几帳面でがまん強い。「決して無理はしたくない。1週前に皆で準備の進み具合を確認しておきたい」
積局的に物事を行おうとする意欲的である意志伝達に装置を使っているなのでその装置を持参したい
初めての旅行に対する不安があるが、泊まりの旅行ができるならしたい。
社会参加に積極的で前向きな性格である。常に介護する人に感謝の気持ちをわすれない 訴えが多く、前者の対応や社会に対して不満が多い。徐々に動かなくなる体に不安が大きい
・Faとの関係・役割・信条思い・意欲・価値感
家族との旅行を楽しみにしてる。意思伝達装置を利用し、生きる事に意欲的。
コミュニケーションについて発語できないため、意思伝達装置が必要
・装置で会話だが、できるかどうか
ゆっくり温泉に入れることが大切
・性格・希望・認知能・気分障害の有無
本人の意志がはっきりしている。周囲に迷惑をかけたくないという気遣いさせないよう周囲も楽しむことを可能にしていく。
意欲
予備力。体力の状況。予想されるリスク感染呼吸障害誤嚥できるだけ希望を叶えるための準備

(在宅療養支援病院)

急変のうけいれもOKか。
・長男夫婦想いの方。・我慢強いので、こちらが気をつけていなければ〇〇してほしいと遠慮して言えない。・ポジティブな性格だが、時折、病への不安から、一人病棟でぼんやりしていることがある。
・旅行を楽しみたい。・家族とのきずなを深めたい。・気分転換をしたい。・自信を持ちたい。
久々の入浴、楽しみにしている。親戚と出かけた。長男夫婦にも好かれている。家族からも大切にされている。思い出を作りたい。入浴後のコーヒー牛乳が好き
妻は日々の介護でかなりの負担がかかっている
・家族のリフレッシュもはかりたい
温泉に入りたい。家族と楽しい時間を過ごしたい。
・コミュニケーションは、意志伝達装置を使用家族一同と共に親族に交流する機会を有効なものとしたい。自分の為に家族の楽しみを制限したくない。

意欲的にとりくむ気持ちと尊重できればよい

(臨床研修指定病院)

新しい経験をもちたい
緊急時の対応方法はどうか？・支援、介助してくれる人の知識は？・「温泉に入る」時の身体的な問題をどうとらえているのか？↓・姿勢の保持可能か？・風呂と部屋の距離や衣は？
・急に呼吸状態の悪化のリスクあり、どうするか。
温泉に対しての意欲向上
がまんづよく人に世話になることをきらい「なるべく自力でできることはしたい」
温泉に入ってみたいという積極性がある
コミュニケーションは意思伝達装置を利用でき。温泉に入りたいと思っている○問題点、入浴時のコミュニケーションに工夫あるいは支援が必要（入浴時の伝達装置の使用が可能かどうか）
情報収集を要する。
・我慢強い。・えんりよ深い。
・我慢強い性格・主介護者は妻65歳
・長男夫婦と同居しているが、主介護者は妻65才である
社交的で旅行好き。家族や友人と旅行するのが趣味である。
・温泉が好き・たくさんの人手がいる
親族との交流で意欲、体調管理への意欲、リハビリへの意欲
自分のわがままで家族に迷惑をかけていないか
もともと頑固な性格で亭主関白な面があり、家族からは恐がられていたが、現在介護を受ける状態になり、家族の支えには本当に感謝している。今回もみなで思い出を作りたいと考えている
・次に、同じように皆に会えるのはいつか分からず、また、最後かもしれない。・充実したものにしたい
・病気をしても一家の家長役割を果たしたいと考えている・自分が病気のため、一家で温泉に行く機会がないのでこの機会に家族にも温泉に入ってもらいたいと考えている
何事にも我慢強い。家族だけでは温泉に連れて行くのは難しい、親戚の協力なしには達成できない。
自分は参加できるものだけで無理はしない
精神状態、やる気
大らかで前向き、他者に気づかいながらも助けを求められることができる

(訪問看護事業所)

久しぶりに集まる機会となり介護など多くの迷惑をかけるが行ってみたい
希望がつよければできるだけかなえて。
明るい気持、感謝の気持ちを持つ必要あり
こまめに本人の状態確認
・性格、今までの生活歴、興味・対人関係・温泉（宿泊）でどのようにすごしたいと考えているか
何事にも積極的
我慢強い。長男夫婦と仲がいい。
家族の関係・思い。
・モチベーションを高め、周囲の人との協調を図る。
・几帳面で我慢強い何事にも挑戦的である。・「とても自分たちだけで成就しない特にはなむけの言葉、スライドショーはできるだけ娘には、秘密に作成した
・大らかでこだわらない性格・温泉をたのしみにしている
・チャレンジ精神あり。・皆と同じように旅行を楽しみたい。
入浴したいという意欲。外出したいという気持。
社向的で、みんなで集まるのが好き。自分は入浴できなくても、その場に居られれば良い。（足浴などでもよい）
心配性。元気な時には旅行が好きで外出していた。みんなの協力を得、温泉へ行きたいと楽しみに思っている。
外出に向け期時もあるが不安に思う所もあり気が多い
外出に対する自身の体調の不安。家族、親戚に負担をかけないか不安
親戚皆に参加を喜んでもらえるように迷惑かけずにいたい。
久しぶりに温泉に入りたい気持ちがあり、まだまだ体力のあるうちにいろいろな事に挑戦したい。
・温泉が好き・親戚一同と、以前より仲良く、今後も仲良くあり続けたい
・何ごとにも前向きで積極的・皆にしたわわれている・家族も協力的、皆が楽のしみにしている
・年齢的にはまだまだ外に出かける機会を増やしたい・病状の進行の受け止めがどの程度なのか
家族が本人と参加して旅行をしてあげたいかどうか
？
皆に迷惑をかけたくない

外泊■してると「在宅がいいと誰が決めたの」と…「母としての存在が大切」と言っている。
意志伝達装置により、意志伝達できるが、上手く伝わらない時には、イライラする。
社交的
・家族の一員として楽しい思い出を作りたい・介護してくれてる家族の楽しそうな笑顔を見ていやされたい
自分はみんなに助けられながら生きている。「生」に対しての価値観の再確認
本人のストレス
・周りのサポートをしながら行う
頑張り屋
コミュニケーションは意思伝達装置で確認。本人の気持ちをきいていく。妻を中心に。
医療的管理は？気切等？胃ろう？
楽しみでもあるが不測の事態への不安もあり。親族以外がつきそう必要がある場合の受け入れ感覚他者の目が気になる？
本人リスス、本人に付属する機器、（人工呼吸器、吸引器、意思伝達装置、ハブニングに対する自己意識食事の問題
・性格は温厚、世話好き。温泉が大好きで日本各地の温泉巡りをされていた
・明るく前向きな性格。以前から旅行は好きで良く行っていた
親戚・家族との旅行がしたい。交流をもちたい。温泉に入りたい。
親戚一同で、1泊2日の温泉旅行をする事となり、本人も参加し徐々に温泉に入りたい
長らく会えていない親戚の姿も楽しみ。もともとはよく一緒に旅行にも出かけていた。
自己をどのように受容できているのか、将来をどのように考えるかよりも、今この時間を大切に貴重な時間として、生活していく事が重要
・自分の意志が強い。決めたことは行う。社会参加したいという希望強い。
家族の楽しみにしている計画を実現させてあげたい。手伝ってもらい、生きていることを実感したい。
親戚や多勢で過ごす事を好む。長男やみんなの介助が必要となるが温泉に入りたい。
久々の温泉楽しみにしている。
・性格・ニード
・几帳面
無理をせず、本人の体調にあわせて、温泉に入るようにせつめい指導。
年令68才、運動ニューロン疾患がある。コミュニケーションは装置を利用して可能、温泉に行きたいという積極的な生き方
親せきつきあいを大切に1泊旅行を楽しみにしている。
・できるだけ、迷惑を掛けたくない。・我慢強く、遠慮がある。
本人の不安感。トラブル発生時の対応の仕方。
自分のイライラ感を妻にのみぶつける。ポジショニングなど細かな要望が多い。
新戚との団らんを楽しむ。妻の介助をえて又は妻の負担を少なくする事も必要
・明かるく、人に好かれる性格である。・長男夫婦、妻には世話になるが皆と楽しみたい。
親戚一同の顔を見たい。温泉に入りたい。
気が小さく消極的。少しでも熱があると不安が強い。家族思い、他人に迷惑をかけたくないと思っている。
・親戚と話をしたい・リラックスしたい・外出したい
久しぶりに外出したいという願いと希望がある
家族（長男夫婦）との、関係は不明。外出したいという前向きな性格
意欲向上
・性格・思考
旅行好き、初孫を喜んでいる。
温泉に入りたい
・親戚と旅行に行き温泉に入りたい・介助者への思い（感謝と遠慮、不満）
・50歳代・息子と一緒に仕事を続け、安定させたいと思っていた・病名を告知を受け、なぜ自分がとの思いと不安や家族の想いあり、申し訳ないと思いつつこれ以上負担をかけたくない思いがある。
コミュニケーションが装置の活用のみで、他ではとれないので今後の症状により不安がある。本人が妻への依存があるのかによりサービス導入が変化してくる。
・できるだけ家族に迷惑をかけることなく安全にすすむように。・部屋は妻と2人で。
・人と一緒にいたいと思っている・皆で楽しみたいと思っている
親せきつき合いに参加したい。
長男夫婦に気を付かっているが妻の介助のもとで社会的参加には意欲的である。
・社交的。・自分だけでは実現できないが、周りの援助をうけて温泉を楽しみたい。
移動時のリスク。
人にめんどろをかけるのはつらいが、誰かに手伝ってもらわないと生きて行けない
親戚つきあいを大切にしている。明るく積極的な性格。残された日々、妻との暮らしを大切にしたいという思いがある
几帳面で準備万たんにする性格。ヘルパーや看護師に対しても受け入れが良いがきちんとしたことをしないとクレームがある。

几帳面で我慢強い、何事にも挑戦的である。妻に対して何でも話せる、わがままをいえる
無事に楽しく参加したい。
・出かけられるうちに、旅行はしてみたい・できるだけシュミレーションをして、スムーズに、行ってきたい
・障害があっても、引きこもらず、社会的で積極的である。
・性格・生きがい、楽しみ
・社会参加に意欲的である。・久しぶりに親戚と話をしたい。
生活に意欲的。妻も介護をよくしてくれ、前向き思考のご家庭。家族の協力があれば何でも計画し、できる
・普段は、妻に介護されているが妻にもゆっくりしてもらいたい・長男夫婦に自分のできることを見てもらいたい
自分の能力の再発見。
性格、希望
・前向きで、明るい性格の持ち主。・寝たきりで、多くの方の介助で過ごしているが、感謝の心を表現できる
・人なつこく、外交的な性格・みんなとたのしく旅行が出来たらいいし、また温泉にゆっくりとはいりたい。
・親戚と過ごしたい・多くの人と関わりたい・環境を変えたい・多くの人との協力がある為迷惑をかけるというリスクを考えていない・温泉に入りたい意欲
大浴場で要介5の自分の身体をさらすのはすこし恥かしい。貸し切りできる浴場がいい
・楽しい事が好き。・旅行はよく家族で行っていた。妻にもものんびりして欲しいとの気持ちがある
・家族の和を大事にする人であり、親せきからも大切にされている人である。
病気をかかえながらでも前向きに生きている。やりたいことには周囲の協力をかりて挑戦したい気持ちをもっている
・周囲と仲良くできる
コミュニケーションの取り方。意志伝達装置は持ち歩き、電源不用か？他人に見られることに本人は、抵抗がないのか。
・温泉やみなどと過ごすことは好きである。
・意欲的・久しぶりの外出、入浴に不安。
意志そ通がむづかしいが、キカイ使用で努力している。本人の温泉に入りたいの希望をかなえたい。
体制が整っているか不安がある
主たる介護者は妻であるが、温泉に行く事で、長男にたよらなければならない。
親戚同士の交流、本人の気分高揚睡眠が十分にとれるように配慮する。
・本人の意志尊重・安全確保
親せき一同との1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい。
妻以外の人の介護が受け入れられるか
意思伝達装置要
本人の意欲は、負担はあっても、応じれる気持ちはあるのか
社会的な反面、他の人にとても気を使ってしまう面もある
毎日、身体的、精神的苦痛ありながらも、今回の温泉旅行に希望、意欲をもっている。
真面目でコツコツ努力型。あきらめずに前向きに挑んでいく。将来のこともいろいろ情報を得ながら考えており、在宅ですごしたいと考えている。
・家族思い。できるだけムリをかけたくないという思いがある。・福祉サービス等の利用には積極的。
意思伝達はできる
温泉旅行に参加し、徐々に温泉に入りたい
自分が行くことで何かしら制限があるかもしれないそれでも行きたい
温泉好き旅行で思い出を作りたい、妻の負担はどうか
みんなと同じように行動したい
吸引器等物品の準備が心配だが是非行ってみたい
・温泉に入りたい・久しぶりに旅行をする・皆に世話になり申し分けない・長時間の移動が大丈夫か心配
温厚で家族思いである。「家族との思い出を作りたい。妻も楽しませてあげたい」
・自分の希望が叶えられると同時に同伴者にはかなり手を借りなければならない。
何事にも前向きで積極的である
A L Sで要介護5
前向きで外交的。意志強く、ややわがまま。
温和な性格。若い頃はゴルフが趣味だった。
・温泉に入りたい
元気な時から役割を妻に順次教えて困らないよう配慮するなど、思いやりと几帳面な面があり、しかし、自分の思いや最後のあり方など具体的に話す事が少なかった。治験を受けて進行を遅らせたい
・温厚な性格でムードメーカー・親戚間の人間関係も良好でマンパワーの支援が得られる・疾病をかかえていても、前向きに生きることができることを表したいと思う
・久しぶりに温泉に入りたい。・迷惑をかけないようにしたい。
・前向きで、明るい。何事にも挑戦的。

・我慢強い。・遠慮する所がある。
・トイレ、入浴時のしゅうち心・食事はとれるのか、Bedはどのようになっているか
・親せきの中での本人の位置づけは？
・活動的
親戚一同で、温泉旅行したい
障害があっても温泉に行き、楽しみたい。回りがサポートしていれるから安心してまかせる。
・久しぶりに温泉に入りたい。・コミュニケーションがとりにくい意志伝達装置を利用すれば
・親戚にも手伝ってもらい、積極的に外泊も参加したい
・消極的、リハビリへの不安強い心配性。・温泉は楽しみにされている。
・意志伝達装置を使いやって欲しいことを伝える。
温泉に入りたい意欲
・頑固、自分の思った通りにしたい。
温泉旅行を家族としたい。温泉に入りたい。
温泉に入りたい
性格、生き方、希望、価値感、長男夫婦の思い
親戚一同が集まり、温泉に入りたい。装置なしでコミュニケーションをはかりたい
・「家族で一泊2日の旅行をしたい温泉に入りたい」 みんなで楽しいひとときをすごしたい
・久しぶりの家族旅行なので外出意欲↑の可能性あり。
もともとは、友人も多くリーダーシップのとれる人。農協の夫人部長として活やくしていた。大百姓のあととりにとつぎ、家を夫と支えて大きくしてきたプライドがある。友人や親の訪問を喜ぶ。延命は望まない。
周囲とのかかわり、可能なことへの意欲、病識の理解。
・意志伝達装置使用・親戚に会い温泉に入りたい
・皆の協力を得て温泉につかりたい・外出し親戚一同で旅行できるという楽しみがある・意思伝達装置を使い皆と会話したい
旅行、温泉を楽しめる。現在の自分の状態を受け入れており限られた条件の中で楽しみをみつけられている。
世間体裁を、保ちたい。長男夫婦、妻との関係
？
外へ出ていこう。他者と交わろうという意欲あり
・本人の意欲。
68歳
・温泉に入りたい（前向き）・プラス面をひきだす援助も必要・出来ることと、出来ないこと、やりたい事を判断し、援助する必要あり。
・社会的で人との交流が好き・意思伝達装置を活用して話をする事に前向きである
・家族に想定出来る事の説明・家族の覚悟
・家族や他の人達の協力を得て、温泉旅行を楽しみたい
久しぶりの参加であり楽しみたい
絵をかく。詩をつくる
パソコンが上手に使える。生活が明るく、妻をいたわる人、TVやCDを聴くのが好き
・障害をうけとめて挑戦的である。・家族を大切に思っている。
全介助状態だが温泉旅行で温泉に入りたい。
・もともと社会的。温泉が好きである。・「皆の協力がなければ行く事ができないが、久しぶりに温泉につかり、旅先での一夜をすごしたい」
親せきとの旅行を楽しみにしている。
・性格（依存的か自立的か）
親戚一同があつまり、久しぶりに温泉に入り、リラックスしたい。積極的な面がある。
長男夫婦と同居。妻65才。久々に親戚一同に会うが自分の肉体の変化をみてどう思うだろうか。
旅行だけでなく、温泉にも入りたい。できるだけ、迷惑かけず楽しい思い出をつくりたい。しいては自信につながり生き甲斐につながるような精神力へ…。
周囲に迷惑、負担がかからないようにしたい。
もともとの性格 信条
・出掛けることは本来好きである。・できるかぎり親族と過ごし時間もち、楽しく過ごしたい
行動的である。行ってみて何んとかんという思い
久しぶりに会う親戚にこのような体調を見てもらうのが少し心配
人に頼れるか、伝達が十分にできるか。
温泉に行きたいなど意欲的である。意思伝達装置利用しコミュニケーションがとれる。
今回旅行は親戚の協力もあり、本人も参加できいい思い出が出来たと思う。本人～気持ちを伝えてもらう
意欲的。

コミュニケーションの積極性、社交性、交流、意欲
我慢強い 何でもしてみたい。
・本人の思いを確認し、意向をきちんと守れるように。・一生の思い出の1ページにしたい。
神経質であり、介護者の妻へも気をつけて、生活している。入浴をたのしみに行っている
キーパーソンは妻
たまには温泉につかりたい
意欲的、活動的
・全ての日常生活に介助が必要・予後への思い
楽しみにできるか。行きたいという思いがあるか
会社役員、周囲の助言にはなかなか耳を傾けない。
・何事にも挑戦的であるが、少し我慢し過ぎるところあり。
・何事にも挑戦的である。・性格は明るい。
ガマン強い性格、安全安楽には大変気を使う「温泉に入りたいが安全に疲れないようにしてほしい」
・身内の者にお世話になる事の恥、済まなさを感情が強くなならない様に心がける・皆と本当に楽しむ心がけ
予後を見すえた、サービスの受容。
どこまでを望んでいるか（達成の願望度）を知ること、本当の望み
・意思伝達装置を使う・妻を信頼している・親戚と仲が良い
意思伝達装置の使用はわずらわしいがコミュニケーションには必須。入浴は大変だが是非入りたい
几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的
・妻を頼りにしている・病気に対し、今後の不安ある・他の人の言うことを、なかなか聞かない・近所に対して、かくしたい
・行動力がある・何に対しても前向きである・今回は温泉旅行に行きたいと言う意志が強い
・本人・家族の不安は何か・これまでに外出体験はどの程度あるか
身体状態を把握しており、やや遠慮がちで控えめである。歩けなくなってからは特に交流少なく会話出来ない事が更にひき返る原因となっている。
・周囲に迷惑かけたくない。・行きたいけど通常の倍の費用かかる
・挑戦意欲有。
・家族、親戚は、温泉旅行へ行こうと協力的である。
まだ68才と若い。今のうちに外への外出をして気分転換を図りたい。できることを今のうちにいろいろやってみたい
・温泉に入りたいイメージをふくらませている。・皆にめいわくかけられない。・旅行にたえられるか不安もある。
我慢強い。温泉は好きであるのでゆっくり温泉につかれば体も楽になれるかもしれない。
・家族、親戚とのつながり深い・良い思い出作りをしていきたい・昔からイベント中心者・インターネットで宿泊施設等検索
精神面（不安・自信）
・温泉入浴は貸切りにし、外部との接点は少くなくしてあげる。緊張しない。元気でいたい。・家族と共に生活したい。
・家族や親戚を大事にする人。・生をまっとうしたい。・意思伝達装置は上手につかいこなす。・妻には感謝している。
・ゆっくり過ごしたい・迷惑をかけない様にしたい・温泉を楽しみたい
神経質である。皆んなで旅行する機会もないためできるだけ皆んなと同じ行動をとりたい
・家族親せきとの関係を再認識し、みんなとの関係を継続していきたい・少しでも楽しみ、生きがいをもちたい
・「旅行」を達成することで、生活意欲の向上や自信につなげる
・家族以外の方とのふれ合いはどうか。
旅行先で、自分が何もできないので迷惑をかけるのではないかと不安があるが外出は久しぶりなので楽しみにしている。
・家族を大切に作る気持大・困難なことも挑戦しようとする気持が大
・久しぶりの温泉をとて楽しみにしている
積極的な社会参加への意志
リハビリ意欲、性格、家族関係
温泉に入ることを楽しみにしている
生活史
生活に対し意欲的、目標達成願望あり、家族と一緒に過ごしたい
本人楽しみにしている。温泉に入りたい
・温泉を楽しみにされている。・意欲がある。
・コミュニケーションは意思伝達装置を使用・長男夫婦と同居している
・意欲、不安
・外交的である・在宅にいるも、元気に頑張れることを知ってもらいたい。
人の中に出るのは抵抗ない。むしろ、昔のように人と交わりたい。
外出したい。温泉に入りたいなど意欲的
すべてにおいて妥協はしない。家庭内での役割をかなえたいと思っている
社交的。楽しい事にはできるだけ参加したい。周囲の手を借りながら、自ら楽しめる事は積極的に参加する様努める。

温泉に入りたいと思っている。自分らしく生きていく
チャレンジ精神旺盛で介助を受ける、ということのリスクを引き受ける勇気ある方
親戚一同で行く為、人数も多く気を使う。
本人が楽しみとし■■■でいる
温泉に入りたいと強い希望がある
・がまん強い。・人と会うことに積極的である。
全面介助で妻の介護をうけている コミュニケーションは意思伝達装置利用 久々に温泉に入りたい。
ご本人の性格、明るい、気まじめ、暗い、硬い
長時間の移動で我慢できるか。
・本人の意欲、希望・不安、心配な内容・対人的な考え方
旅行に前向きである。楽しみにしている。
心身共に安定している。妻がコミュニケーションをとる助けができる。
年齢68才、男性。
仮設室難
・60代と云う若さも有り、今後起りうる胃ろうなどの話に関して拒否感強い。・社会的である（人付き合いが多い）
・個人の性格、理解力の程度
我満強い、明るい人。家族が、いろいろと手伝ってくれるから、行ける。妻を手伝ってほしい。
社会的な性格で、明朗、我慢強い。家族・親戚間の人間関係は良好。
・社会的であるが、現在の病気となってから内向的でやや不安になることもある。・「協力を得られなければ行くことができない。お願いして行きたい。」
久しぶりの旅行を楽しみにしている。
・昔から温泉に入ることが、大好きだった。
前向きな気持ちを持っている。親戚との結びつきが昔から強い
温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。
思い出を作る為に本人家族とも前向き
家族旅行を楽しみにしている。温泉に入りたいが、不安はある
コミュニケーションは意思伝達装置で可能である。思いは妻、長男夫婦にて伝達してもらおう。
温泉に入りたい。何かかの介助が必要だが今のうちに家族と旅行がしたい。
大変神経質で、体位、吸引など調整が難しい。
・思ったことは実現したい。・家族の協力はあたり前。
障害があっても、とじこもりたくない。
・意思伝達装置を利用するくらいの方だから意思ははっきり伝える方。それを含めた希望を持つ。
妻、長男夫婦の介護力と温泉旅行に添ってくれる理解ある親戚の人達がいる。関係づくりができています。
??
神経質で他者に気をつかうところがある。「新せきに迷惑をかけないよう、意志をはっきり伝えたい。長男夫婦を頼りにしている」
なかなか会えない家族以外の親族との交流を計る。最後の旅行になるかもしれない。かかりつけ医と場所が離れる事への不安。機器故障などの対応方法ができるかどうか。
温泉に入りたい。家族風呂がよいだろう。本人の不安、過去に経験があるのか。
・楽観的で無理をして体調を崩す事がある・人から頼まれたら断れない性格
・がまん強い・がんばり屋
・社会的で外出好き・子供・兄弟との家族関係が良い・旅行が楽しみで全国まわっていた
他の利用者への迷惑がかからないこと。身内の人と心ゆくまで歓談できるスペースがほしい。
不満、苦痛等、訴えの少ない方のため、配慮が必要。
性格はどうか
・外出好き・皆さんの協力が必要
A L Sをどの様に受け止めておられるのか。
性格
家族が協力的で生を楽しんで欲しいと願っている、本人も明るく過ごしたいと願望、温泉好き、親せきの中心的存在を認識している。
意志を伝える時に、わかる人がそばにいる。自分はまだ動くことができるという喜び家族との思い出をつくる。温泉が好き気をつかわないで参加したい。
・昔から温泉好き。話好き。
・不安になりやすい・イライラしやすい・妻には強く言える・父としての威権が今でもある。
・前向きな性格・障害を受け入れながら、自身の人生をくいのないよう生きようという姿勢・弱根をはかない分心のためにまっていることも多い…?
行ってみたいという意欲。親戚の協力体制。

外出や日常生活における人との交流。
本人がリラックスできる、体調を整える
・68歳。
・何事にも意欲的である。・コミュニケーションを大切に、家族とも、仲良くしていきたい。
・自分の意志をしっかりと持っている・妻や長男夫婦の介護力大きい。
人生に肯定的
意思伝達に装置が必要である。入浴中すぐに対応できない可能性

(訪問介護事業所)

妻にばかり負担がいつている事を本人はとても気にしている。周りに気をつかすぎ本音を訴ないでいる。
しゅみ等好きなTV番組など
・不自由でありながらも、自分でできることは自分でやろうとする性分だった。・自分の介護で家族が温泉旅行にも行けないのが嫌だ。
つねに周りに気をつかい自己表現をさけてないか？それでもいきたいというなら、本人の希望は重く、そして深いものと思われる
ALS発症年、いままでの生育歴、子供の数と介ごの協力、妻の体調・介ご負担、本人の希望、趣味など現在の楽しみ→旅行・温泉好き
何事にも積極的に参加する。意欲的である。
介護サービスは？
責極的に外出を希望される前向きな考え方で可能な限り支援したいが、親戚の中で協力して介助してくれる人がいるのか？
旅行や温泉が大好きであること。
自分を信じ生きることに対して前向きに考える。
・何事にも積極的で社交性である。・家に居る事より皆と一緒に参加したい。・長男夫婦や親戚との関係を良好に保ちたいと考りよし作成したい。
ALS、要介護度5、意思伝達装置のコミュニケーション
本人の希望、考えを聞き、出来る事が増すようアドバイスをする。
出来るだけ一緒にいきたい
ALS 要介護5
・親族の要で話好き、若い頃はよく世話をした。・皆と交流を深め、長男夫婦への感謝を伝える場にしたい
温泉に入りたいと意欲的である
生に対する意欲ない
・できるだけ、家族の負担とならない様にしたい
本人の不安は何か。家族の不安は何か。
・家族関係良好・意思伝達装置を積極的に利用・記念写真を撮りたい
・真面目な性格・主介護者の妻に感謝している反面迷惑をかけている事を気に病んでいる
意思伝達に関して介護者の疲労が考えられる 参加したい気持がある
普段は我慢強く、皆さんに世話になっているが、たまには外出したいと思っている
？
・外へ出るとはやや億劫。・妻の後押しで行く気になった
・気にいらぬことがあると急におこり出す。途中で中断することもありうるが、本人の希望を聞きながら目的達成の努力を行う。
責極的にリハビリ、生活動作したいと頑張っている。
親戚との集まりに、一緒に楽しむ事を前向きに考えられている。無理のない程度に温泉につかりたい、楽しみである
・親戚一同との再会は楽しみ・温泉も久々なので楽しみだが安全に入れるか不安が強い。
親戚一同のおかげで温泉に入れて感謝している。
若いので出来ることはしたい。介助者がいればできることが多い。
本人の温泉へはいりたい 家族と一緒にいきたい
外出等(旅行)が大好きである。人と接する事を楽しみにされている
1泊2日の温泉旅行に行きたい。
・温泉に入りたい・親戚一同と久しぶりに会いたい・流動食か呼吸器は？
・本来は社交的な性格であり誰とでも話しをしたがる
自分からは外出をする事もできず、コミュニケーションも意思伝達装置が必要だが、日頃疎遠の親戚との交流をしたい。
親戚と楽しく過ごすという目標をもつことによって活気が出てくるこれからの活動を広げる可能性が出てきて気持ちが↑する。
人とのコミュニケーションは意思伝達装置を利用して、自分の思い考えを表現することができる。
意存心が強く自分からしようとししない。認知症の為人の物を勝手に取る。排泄は紙パンツ使用の為その都度2Hおきに確認必要。尿意、便意が無いので失敗が有っては他の人にめいわくなので、できたら温泉に入るのは最後の時間をお願いする。又は内風呂。

久々の温泉なのでよるこんでもらい主たる介護者の妻にもゆっくりしてもらいたい。
親戚が集まるのなら参加したい
温厚な性格であり、温泉入浴ばかりでなく、親戚に会うのも楽しみである
・皆んなと一緒にいたい（参加）
体力心配 介護の手助け
食事や着がえ等の介助が全介助であり、吸痰などで妻や長男夫婦にかかる
外出好き、人付き合い良好で、人から好かれ社会的で笑顔が多い
意思伝達装置により、コミュニケーションをとる。
妻、長男夫婦と同居の環境の中で、自分が今できることを考え、がんばる事を意識させる気持ちがマイナス的にならない様に
入浴の危険度 移動時間の疲労
・介5の為長男夫婦のマンパワーだけでは難しい・やりたい事とできる事の違いを認識しているのか（リスクヘッジ）
本人が当時者の為いろいろな介護について勉強している
温泉に入りたいが、介護スペースや介助者の問題 コミュニケーション伝達の問題
・宿泊しての温泉入浴とのことで何とか実現しようと前向きである。・親せきにもあまり迷惑をかけたくない。
医師の注意を守って行動すること。
生活に意欲的 外出も楽しみたい
他者に迷惑をかけたくない、思っている。
・思いやりがあり、自分が同行して、家族や、親せきに迷惑がかからないかと心配している。
・家族の援助は受けられている。・コミュニケーションは意思伝達装置を使用している。
・食事（調理面）の対応が不明。・帰宅後の体調変動が不安
親せきに負担をかけるのも迷惑なので出来る所は自分でやりたい。皆で楽しい思い出にしたい
コミュニケーションが意思伝達装置を利用している為入浴時が心配であるが、なんとか迷惑かけないように気を使っている様子
物理学への興味、スキル、知識、経験、情熱、信条など
・社会との交流を続けたい・外出したい・外の風を肌で感じたい・家族の自由を尊重したい「私は意志を持ったひとりの人間である」「生きる希望を叶えつづけたい」
・夫婦関係は良好で、いつも妻を大切にしていた。妻は「私をお姫様のように扱ってくれた。」といつも夫に感謝している。長男もそうした父母に育てられたので、夫婦関係は良好。
外交的であるからALSになっても親戚との旅行に行きたいと思う
・温泉は好き。・本人の気に入らない事があるとイライラしてくる。
・意思がたえられない・今後は不安
・ALSの理解・世間的な事に対しどう思っているか本人、家族、親類
周囲の力を借り、なんとか無事に旅行を成功させたいと強く思っている
長男以外の親戚との交流を持ちたい温泉に入って気分転換をしたい
・ALS・体重？
社交的な性格であり、皆から大切にされている。・「皆なに迷惑をかけてしまうかもしれないが、誘いを受け本当に嬉しく思っている」・「今回の旅行がスムーズに行く事が出来れば今後の外出や旅行先についても考えたい」
意思伝達装置がないとコミュニケーションがとれない。
言葉は出ないが、一緒にけんめい意思伝達装置で、コミュニケーションをとろうと努力する。
・出来ない事が多くなった場合本人が孤立してしまう
コミュニケーションは意思伝達装置を利用し、長男夫婦と同居している。
久しぶりの旅行をとっても楽しみにしている
明るく、何事にも参加意欲あり温泉には入りたい
久しぶりの外出でわくわくする。温泉につかることを楽しみにしている。うまく解決しながら対応してほしい
個人の気持ちをきいて楽にすごせる様にする
・家族、親戚との旅行が好きな明るい性格。「皆には、手をわずらわせるが、皆で温泉で楽しみたい」
温泉を楽しみたい
積極的な性格親戚一同に会う事は、最近なかったのでぜひ参加したい。
家族と時間を共有する。
・一般的態度・病気に対する認識
ALSの為長時間の歩行等が困難であると考えられる。・「参加して久々に温泉に入りたい」
・親戚一同でみんなの集まりを楽しみ・温泉が好きで、入るのが楽しみ
浴槽がALSの方用の構造になっているかの確認が必要。
自分自身で温泉に入ろうという意志を強くもち、外部環境に対応できるよう心掛ける
温泉に入りたい親戚の人たちにも逢いたい
・コミュニケーションは可能か。・親類との人間関係は良好である

旅行に参加するために体調を整えてもらう
(病気についての受容はどうか) (介ゴに対する本人の感情)
明るく社交的、外出、おしゃべりが好き
自分が人の世話をするのは良いがされるのは拒否的
・家族との温泉旅行を楽しみにしている、意欲的である・外出することについての低抗はないのか?・どうしてもこれだけは心配である、行いたくないという本人の意向はどうなっているのか
ずっと引きこもりの生活を送っていたため、外には出たがらなかったが家族と旅行することで、少しでも明るくなってくれることを期待する
もともと社交的な方ではあるが疾患の為外出の機会が少なくなっていた。妻にも負担をかけている。
旅行好き。人との付き合いが好き。控えめな性格
明るい性格で、忍耐力強い。障害を持っていることを苦にせず明るく行動する。
「温泉に入りたい」という意欲あり 妻が65歳
出来る事はご自分でやる
基本的に内気、自分さえガマンすれば良いと思っているため、おどろかせてやりたい
ALS 介5、68才、長男夫婦と同居、コミュニケーションは意思伝達装置を利用
周りの人に気をつかい、本人が心理的に落ち込まないか
久々の旅行、温泉に入る親戚一同での場に久々に出る
せっかくの楽しい旅行でいやされるはずなのに家族(妻)が逆に介助で疲れるのでは?と心配。
家族思いで、家族との時間を大切にしたい。
新しい介護者を受け入れるか?
・親戚一同に迷惑がかかるとは思うが、温泉に入りたい。
老いの話し合い
家族関係良好。コミュニケーションも良好。家族の支えに感謝。
ゆったりと温泉気持ちにひたってほしい。本人が満足出来るか問題であるがふんいきだけでも味わってほしい。
・家で時間が長い為、温泉旅行に行き、気分をリフレッシュしたい
・久々に温泉に行きたいが迷惑をかけると思っている
・心身両面の負担は・親戚一同に対する遠慮・他の宿泊客に対する遠慮
・前向きなので家族に迷惑をかけず自分で出来る所はやろうと思っている
家族、親戚との関係良好 考え方が前向き
・温泉が目的なのか・親せき一同が目的なのか
・とても前向きである。「今回の温泉旅行が大丈夫だったら、また行きたい」
体調管理を万全にし、困りの人達に迷惑がかからない様、日頃より気をつける。
体調管理を万全にし困りの人達に迷惑がかからない様日頃より気をつける。
親戚付き合いも出来おだやかな性格であたたかいお人柄のように思う。明るく前向きの性格
コミュニケーション装置の活用
・しんせきと会うのを楽しみにしている・温泉にゆっくりと入りたい。
・温泉に旅行に行きたいと思っている・入浴好き
本人も楽しみにしているため挑戦的にリハビリにはげむ。また温泉の旅館の協力が無いと旅行はできない
妻の介護が大変である
ALS
一緒に温泉に入りたいと前向き。
・几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的である。
・心配性、繊細。「周りに迷惑かけないよう皆が旅行を楽しめるようにしたい。」
・自分の意思を伝える為には、機械が必要・外出意欲はある・親子、親せき間から信望がある性格・物事に前向きな考えであり、外からの働きかけに拒否はない。
社交的な性格で、外出を嫌がらない
意思伝達装置を利用楽しみを持つ
笑顔あり、家族に感謝の心でいっぱいである。いつもその時を大切に生きている
親戚には迷惑をかけるが、久々に皆でいっしょに行けることで、楽しい日を過ごしたい。
・何事にも努力し、リハビリにも熱心である・旅行の為食事にも注意し、体調を整える事も出来る
介護者に負担を増やすことになっても温泉に入り、心身共にゆったりしたい
主たる介護者の介護疲労を考慮する。
親戚や長男夫婦にめいわくをかけたくない
人には心配させまいという気持ちが強い・親戚一同で記念写真を撮りたい
障害を持ってても生きがいを持つててもらう
障害者に満足感が有ったか

全てを助けてもらうのではなく、自分自身で伝えられること、できることを探し、負担が全てにかからないよう自分も親戚も楽しめる旅行にしたい
・親戚、家族を大事に思っている・2日間だけが介護してくれている妻を、休ませてあげたい
久々に温泉に入りたい。
自分では大丈夫と思ひ、動こうとするが体がついてこない事が多く、ケガになりやすい。
介護5、68才（年令的にまだ若い）意志は装置によって伝達できる。温泉に入りたいと意欲がある。
親せきと集まり、久しぶりに温泉に入りたいという強い希望がある。
ゆっくり温泉に入りたい。
意欲・楽しみ
温泉に入るための旅行がしたい
生活を楽しむ努力を行える人
生きる事に前向きである。
A L S
・社会的でありみんなで楽しく過ごす時間が好きである
・移動可能状態の維持・必要な荷物を運んだり保管する場所情権・体調不良になった場合の受診先の確保
主介護者である妻以外の介護者の介入が困難
・前向きな性格・久々の温泉や旅行を楽しみにしている
おとなしい性格。えんりょがちで欲がない。
周囲への気疲れ、周囲からの視線
非感感的ではないがその心の裏にはその人にしか分かりえない苦悩がある
・意欲はあるも不安がある
これが最後になるかもしれない。できるだけ皆とコミュニケーションしたい
プライバシーに配慮した対応
自分達だけでは無理ではないかと思われる。入浴剤等入れて温泉に入ったようにしたいと思います。
妻にたよりきっている
・寂しがりや・本来は、とても行動的
自分1人で動くことはできないのでみんなの助けが必要である。
？
久しぶりに親戚と旅行し温泉に入りたいという思い。
障害があっても親戚との旅行には参加したい。
・本人、温泉旅行に行くと意欲はある
社会参加をする意志があるか。部屋にこもらず外に出る気持ちがあるか
・皆で集まれるのは最近ないのでぜひ行ってみたい 楽しみ
不明
・何事にも挑戦的である・家族おもいな人である
？
・人と接するのが好き・家族が介護してくれる事には感謝している
意思伝達は『意思伝達装置』を利用している。
・不安に思っている・自信を持ちたい
親戚が一同に会するチャンスは今までになく、積極的な参加を望んでいる。自分としても、それまでリハビリに励みいい思い出にしたい
親せき一同と温泉旅行をする 温泉に入りたい
他者との交流が好き 明るい性格 援助の拒否なし
楽しかった1泊の様、おいしかったお食事等、良い想出になったこと、何枚もとった写真を見ながら帰る。夕朝1部食べやすく刻食ご飯も軟らかくお粥の一手手前のもの。介助なくひとりで食べる一スプーン
・温泉に入りたい気持ちがある・親戚の人達と会うので心理的な面で大変な場面もある
・明るく、笑いが大好きな人である「みんなに気を使ってもらいたくない、明るく楽しい時間をすごしたい」
昔から活動的で、親戚のお世話によくしていた。一度顔なじみの皆と一緒に旅行したいと
・日頃自分を介護している妻にも、ゆっくりして欲しい
いつも回りに感謝の気持ちを持っているいつも介護を一生けんめいしてくれている妻に少しでもゆっくりした時間を作ってあげたい
我慢する世代の人間だからそこをよく観察して笑顔おだやかな表情の自然に出る笑い声の出る話しかけてくる設定を考える
旅行し、温泉に入るという意欲
コミュニケーションは装置利用 長男夫婦と同居、家族間は良好のよう。久々にみんなでゆっくりしたい。
温泉に入りたい 久々の外出を楽しみにしている
皆さんの協力を得て温泉に入りたい

久々に温泉に入りたい
他者に感謝をしているので気を使い、痛い時も我慢してしまかもしれないため頭～足先までの位置、表情を要確認する
本人は意思伝達装置をつけているため意思疎通に気を付ける。ALS等により体力が低下があるので健康面に気を付ける。
コミュニケーションは意思伝達装置を使用される
親戚に会うので、おしゃれしたい 家族特に妻に感謝している
参加意欲有り
障害を持ちながらも家族と共に時間を過ごしたい
・とても遠慮がちで、なかなか自分の希望を前面に出しにくい。とても控え目・今回の旅行が上手くいけば、年に1回ぐらいは、親戚の集まりに参加してみたい
病気になってから旅行はもちろん、親戚の集まりにも参加していなかった。最後のチャンスかもしれないので、是非、参加したい。
・手助けをしてもらいながら参加できることでご本人自身が心から楽しんだり満足できたりするか
・家族の介護負担は感じている・行ける間に旅行に行って温泉に入りたい意思ある
努力的で前向きに進む 温泉に入りたいが一人では無理
長男夫婦、妻への感謝とともに親戚一同で温泉に行けるのを楽しみにしているが不安感も大きく楽しみな反面イライラも募る
セルフネグレクトー（ヘルパーを人によって拒否）（体裁を保ちたい）（神経質一体面に対し）
意思伝達装置を使用している
・旅行にたえられるだけの体力が必要
・人みしりする。特定の人だけ介入可・親思い、責任感強い・消極的、うつ傾向
参加したいという意欲をもちつづけられることであり、まわりのフォローも大きく必要。
・皆にも楽しんでもらいたい。・最初であるが、最後ではない旅にしたい。・旅行とはチャレンジャーである。・妻と長男夫婦には世話をかけるが、出来るだけ、思い出に残る旅にしたい。・写真などいっぱいとりたい。・記憶に残る旅にしたい。・温泉を体験して、楽しみたい。
温泉に入りたいと本人が望んでいる。
妻の介護負担が心配
周囲の支援を待つ。温長に入りたい
できるだけ親戚の人に迷惑をかけたくない
家族に迷惑をかけるが久しぶりに会う親戚と近況報告をしてゆっくり過したい。座位保持姿勢や移乗動作にこだわりがある。
少しでも体が良くなればと思っている。みんなには迷惑かけるが、一同で旅行ができるうちにしておきたい。
コミュニケーションが困難のため装生を利用している。
社会参加をしたいという気持ちを持っている。皆に協力してもらって久しぶりの温泉での入浴を楽しみたいと思っている。
・久々に温泉に入りたい・・・挑戦かな・・・無謀・・・
・病状を受け入れ、QOLを向上させたいという意欲がある。・チャレンジしたい自分の生活を広げたいという思いが強い
新戚一同で温泉に行く喜びなしとげる気持ち
親戚と楽しい時間を過ごし温泉にも入りたい
意思伝達装置だけでコミュニケーションが十分とれるか別の工夫もしていく
・皆に迷惑を掛ける事が嫌いである。・「楽しい旅行だった」と言える旅行にしたい。
・旅行（温泉への興味）・妻への不満、負担 特定の医師・ヘルパーの介入可
・几帳面で物ごとにこだわりがある・入浴する時は男性に介助してもらいたい
親戚との久々の出会いなので、皆さんへの心からの言葉をかけてやりたい。
親戚との再会の喜び
全介助だが入浴希望
もともと勝気な性格な為、移動中や移動後に、体調を崩す事で温泉に入る事が難しくなった場合説得する案を考慮しておく。
ALSになる以前は親戚づきあいが活発であった。自分が参加することで、迷惑をかけるという思いはあるが、参加したい。
家族の一員として社会参加していきたい
現在の身体状態、まったく動作が出来ないのが移乗、移動
・社会的である・何事にも挑戦的である・楽観的である
・尿の回数が心配・尿だけは、我慢ができなかった！・腰の痛みは我慢できる！
自分が納得しないと先にすすめない。
・今回希望した理由は？
難病性での症状が進行する不安、様々な欲求が保持力維持されない
・とても前向きな性格・長男夫婦もとても協力的で関係性も良い。
年齢68才男性、コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・親せきと行くことについての「自分は病気」ということの負い目がある。・親せきと会うことは楽しみにしている。
ALSでも旅行したいというポジティブ思考
・温泉に入りたい・コミュニケーションをとりたい・意欲的である

めんどうをかけたくないと言う気持ちが常にあり、介護者の妻には負担が多いのでは？
・積極的で和やかな性格。・親戚とも良好な関係だがあまり迷惑はかけたくない。
・ご本人の意志は？・性格的な事
意思伝達の意欲、旅行等参加への意欲
久しぶりの温泉旅行と親戚の方々に会えるのでとても楽しみにしている。
コミュニケーション意思伝達装置。
金銭は几帳面。認知症（軽い）がある。
最後になるかもしれないので、気がねない時間を過ごしたい。
皆人と一緒に出掛けたい。楽しく過ごしたい。
自分の介護は妻のみに任せており、他の家族には頼みづらい。しかしいつもよくやってくれている妻にも旅行をさせてねぎらいたい。
旅行への興味、特に温泉に対する知識・経験等豊富。親戚を大切にする。
移動中の電源の確保。吸引場所（あまり人前だと嫌がる人が多い）
A L S（難病）を患っている。コミュニケーションは意思伝達装置を利用している。
・体調面に気を付け、本人にも細かく意思伝達の事話す。・体調等はがまんしないで伝える様本人と話し合っておく。
・より一層、人との関わりを持ちたい
医師や、家族の判断で弁出するはずなので、何が問題となるのか？（緊急時の対応を「心の準備」として、介護者は考えなければならない事は、当然の事と思えますし、病状が悪化の場合は、参加はしないとします。）
人間としての喜び、楽しみ
言葉が出ない為会話が困難。家
できる事は自分でしたい。
・人との交流が大好きで以前はよく、新戚多数で温泉に行っていた
普段は妻と過ごす事が多いが、大勢で楽しく過ごす事も好きなので徐々に集まる親戚一同の中に自分も参加したい
主たる介護者は奥様を希望。特定の医師、ヘルパーは可。世界的な体制を保ちたい。
医師とも連絡を取りあい指導を受けつつ、楽しませてやりたい。
・まじめで人のことを気付かうが、がんばり屋
・沢山の人の意思伝達装置でコミュニケーションをとりたい。
感染しやすいので神経質になっている。とてもきれい好きで潔癖なところがあり、限定された人以外受け入れにくい。
・我慢強く、体が痛くとも何も言わない。
我慢強く、家族になるべく迷惑をかけまいと辛抱してしまう。ヘルパーや旅館の人達の協力も得て家族達にも休んでほしい。
家族と一緒に楽しみだけど、迷惑かけたくない
温泉に入りたい。
本人の希望
・いろいろな事に挑戦したり、好きな事を楽しみたいという思いが強い
性格的には、明るくて前向き。頑張りやでもある。何ごともなく、無事帰ってこれるようにしたい。皆さんに介助の負担をお願いすることになるが、思い出づくりのためにも援助を得て成就したい。
普段の入浴方法は？バイタルチェックは家族が行う？意志伝達装置は移動可能？合併症等は？
明るい性格。温泉には気を付かわせないで、ゆっくりと入ってもらうために、移動など家族で計画したい
・人との交流は得意で何事にもチャレンジする性格。・妻や親戚だけの支援では不安もあり外出できない。
・自分の意志一行きたい、温泉に入りたいと思う気持ちの強さ。
温泉に入りたいと言う気持ちは強い。誰の介助で入浴するのか？
・皆さんで楽しく旅行したい・徐々に温泉に入りたい・入浴中はコミュニケーションは不可？・完全防水の意思伝達装置を用具で出来得るか？
・本人の生活目標を尊重
明るく社会的な性格で何事にも積極的に取り組む。家族思いで、特に妻に対して時々涙ぐむことがある。苦勞をかけている妻が温泉に入って笑顔になるところを見たい。
親戚との交流を楽しみにしている。達成させたい
優しい性格で、家族、親せきの方に支援してもらっていることに感謝している。この機会にみんなにゆっくりしてほしいと考えている。
多勢でにぎやかに過ごすことが好き
几帳面で、明るい性格息子さんとうまくいっている。
・明るくできることはやってみる。・周囲にとっても気をつかう。
家族への感謝言葉で表わす。
活動的家族・親戚の仲を大事にしたいと思っている
・普段妻には苦勞をかけている少しでも、楽しんで行ってこれれば嬉しい。
会話は装置を利用する為、妻にホローしてもらコミュニケーションを楽しむ
意欲的、コミュニケーション（意思伝達装置を利用）

他者との医師の疎通が図りづらい
久々に親戚が一同に会するのだから、皆で楽しく過ごしたい。自分の力で装置を操作してコミュニケーションを図りたい。
あまりみんなに迷わくかけたくないが今回は楽しみにしている
親戚一同での1泊2日の温泉旅行に参加し、温泉に入りたい
元々活動的で物事に前向きに取り組んでいた。いつも迷惑をかけている妻へも休息を望んでいる。
・おらかな性格・自分の事はできるだけ自分でやりたい
・几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的である。
内気な性格で日ごろ妻の介護に感謝している将来に不安を感じている
他人に気をつかひすぎて楽しめなくならないように本人のできる事は自分で行うことができるようにする
旅行に行きたいという強い希望がある。体調が落ち着いている。
以前は人づきあいも良く、親戚とも仲良しであった。人と話すのも好きで社交時でもある。
・移動時の苦痛・コミュニケーションがうまく取れるか？・入浴時の介助者に対して気づかい
親戚一同での外出に参加したい・久々に温泉に入りたいと思う気持ちを大切にあげたい。
みんなに迷惑をかけると思い行くことをためらうのでは？
・家族旅行ができ、親戚と一同に会うよろこび
親戚に迷惑をかけず、楽しくすごしたい。温泉に入りたい。
・ご本人が温泉に来られている方々から、姿を見られる事に抵抗はないのか
障害にめげない、活動の意欲がある
温泉に行っても湯船とか環境に適合できない？介助の問題
外出したいという欲求 家族以外とは接したくない 意欲の低下
・こんな状態で行けるのか？・迷惑がかからないだろうか？・行ってみたい！・親戚に会いたいが、こんな姿をみられるのは…。
・温泉に入りたい・自分自身の意思是伝えられる。・独りでは身体を動かさない。
意思伝達装置にてコミュニケーションはとれる。・性格など情報収集をする・身体能力などの情報収集をする
◎妻や長男夫婦、親戚の人々と、介護の人手はある。
親戚一同の旅行参加をしたい 温泉に入るのは好きであって久々に温泉に入るのを楽しみにしている。
・何事も前向きである。・できる事はなるべく自分でしたいという気持ちがある。
・本人は温和な性格で、皆と会えること温泉に入れること楽しみにしている。・皆の助けが必要なことも理解しており申し訳ないと思っている
本人も参加を希望し、温泉に入っていることを楽しみにしている。旅行への意欲がみられる。
・趣味。(短詩型文芸)・生活歴、経験等～。
・とても楽しみにしている。・皆に会える事がうれしい。・妻ものんびりさせてあげたい。
排泄、車いすでの介助をうけることに抵抗を感じるようである
とても、きれい好みである。
・何事にも挑戦的である。が、人への気づかいも多い。・景色を目に焼きつけ思出づくりをしたい。
久しぶりに旅行し、温泉に入りたいと思っている。
1人で、温泉に入ることは、困難。長男の手伝いが必要
旅行は好き。風呂は好きだが、温泉となると増々入りたい。
・頑固で自分のことは自分でやろうとする。
自宅での入浴を行い温泉で親戚の協力で入る。
・意思伝達装置で会話できる。・えん下できる食事
・弱音を吐かない性格なので・体調の確認を同行者が見極める。
・他人に迷惑はかけたくないが、いつも介護している長男夫婦、妻にも、楽くをさせたい
とても思いやりがありやさしいので迷惑かける事を嫌う。意思伝達装置がうまく使えず親戚と交流出来るか心配
妻や親戚一同に気をつかわないか何事にも消極的だった。温泉旅行に行ける事で何事に対しても積極的になる気がする。
積極的な性格
1泊2日の旅行を楽しみにしている。
旅行して気分転換したい。親戚の人に会いたい。温泉が好き。
・自分だけでは入浴出来ない。・出来るだけ、自分で出来る事の努力はしている。
人と集まるのが好き。社交的でムードメーカー。妻と長男夫婦には大きく面倒をかけるが、親戚の負担にならずに参加したい。
記念写真を撮りたい。
行動した自分をほめ、次なる挑戦にのぞむ。「やればできる」を感じる
・人に迷惑をかけたくない。自分のことはなるべく自分でしたいと思っている。
楽しみを持ちたい。(旅行・温泉にはいる。)人の世話になるつらさがある。
「温泉は気持ち良く、ずっと入っていない、ぜひ入りたい」 回りの人ともコミュニケーションをとりたい
社交的である

家族だけでは、なかなか旅行へ連れていくことは難しいので、親戚一同の支えに感謝したい。皆にとってよい思い出となればうれしい
年齢68歳。要介護5。長男夫婦と同居。コミュニケーションは意思伝達装置を利用。
元々明るい性格であり、積極的な社会活動も行ってた。その気持ちは今も持ち続けている。
久しぶりに会う、親戚の人といろいろ話をして楽しく過ごしたい気持ちが強い。
・温厚な人柄で、人に甘えず何でも自分でと努力するタイプである。家族との旅行を楽しみに過ごしている。
遠慮する。
親戚との交流。体が不自由でも旅行がしたい、温泉入りたい。
・家族旅行を楽しみたい・温泉に入りたい
医師 看護師からもアドバイスを受ける。
環境を変える事により、気分転換が計れる。楽しみができる。
1泊2日の間、家族にめいわくをかけることなく過ごしたい。元気な自分をみてほしい。病気（ALS）であっても意欲的でいたい。
本人はもちろんだが、いつも世話をしていただいている妻や長男夫婦にも少しはのんびりとしてもらいたい。
温泉は家族風呂を用意し参加の喜びとその意識を認識し合う
・やさしい面があり、慕われている。・会話ができ、反応する。
・几帳面で我慢強い・いろいろな事に気を遣う
意思伝達そうち
・言葉が発せられない・親戚一同 仲良く、旅行に行くのを楽しみにしている
とても、明るく声かけにも、きちんと反応してくれる。
・人に迷惑を掛けたくないという気持ちが強い。・几帳面。
・親戚が集って旅行できるのは今回が最後かも知れない。
・意思伝達装置を利用し、本人の意志確認
意志が強い 頑張り屋 少し遠慮がちな心やさしい人
参加を決めた理由は何か？温泉は好き？寂しいから？過去の生活歴と温泉との関係は？本人の性格は？短気？人に合わせるタイプ？
温厚な性格で協調性もある 久しぶりの温泉を楽しみにしている
何事にも積極的である 明るい
几帳面で自分の考えを強くもっている。出かけられる体力があるうちに出かけたい。今後のことも家族と色々話したい
旅行先でみんなで写真を撮りたい。皆が楽しめるように付添いヘルパーさんと頼みたい。移動支援
意思伝達装置を利用しているので気をつけて観察する
我慢強く、とても好機心が強い 旅行中なるべく皆のめいわくをかけない様にしたい
わからない
皆に世話をかけるが、同じ思い出を持ちたい 笑顔で思い出話が出来ようになりたい
親戚とも常日頃の付き合いも希薄になっており是非顔をみたい。温泉に入りたい。
跡とりさん亡き後、健康的には不良。精神的にもバランスを崩されてる。
入浴時の介助 部屋等への移動時介助
前向きな性格（元気な頃のように何にでもチャレンジできたらうれしいという意向あり）
社会参加に意欲がある。
・親戚一同と旅行したい・温泉に入りたい
・家族に対して、とても気遣いをする・社会参加は積極的である
・我慢強く、家族にも遠慮がある・社交的で人と交流するのは好き・もともと温泉が好き
1つの目標を達成できたことで生活意欲を向上させ自信につなげたい
家族、親戚の方とのひとときを苦痛なく楽しんでもらいたい
・久々の外出、体調等を考え、お父さんの思い出の場所等を考える
神経質で周囲に気を使う。
温泉への興味
温泉が大好きである 久々の風呂を楽しみにしている 旅行（外出）が以前はとても好きだった
・以前から旅行が好きだった。・親戚一同で行くため、家族以外の手助けしてくれる人がいることから心強く、今まであきらめていた温泉旅行に行きたい。
本人の疲れ方、体調、面倒をみる周囲の人々の心身状態
親戚とのコミュニケーション 意欲・経験
しばらく温泉旅行をこたわっていた。でも今回はみんなに迷惑かけてしまうかもしれないが温泉に入りたい。
・自分の思は、意思伝達装置を利用し伝えられている。
本人はとてもガッカリしたが、回りのできるだけの努力をした事を納得
頑張り屋で明るく社交的 親戚と一緒に楽しみたい 親睦を深めたい

・外出する事に意欲的な人である ・なんでも経験したいと言う意欲がある
・自分も皆と一緒にゆっくり温泉に入り、過ごしたい。 ・親戚達にも。自分達家族の状況を知ってほしい
温泉に入るのが大変楽しみ
・男、女の拒否はないか？ ・性格
・徐々に親戚と顔を合わせたり外出するので気持ちが高ぶっている。
自力で自由に動けない。
意思伝達の状況、緊急時の支援や
久しぶりに親類一同のふれあいを大切にしたい
性格は、少し飽きやすい所があり、持続力が足りない 温泉は大好きである。今回は親戚の人達の力を借りるので、少しでも迷惑かけない様前向きにリハビリに打ち込む。妻にも楽をさせたい
・周りの人との関りがすき。 ・楽しい雰囲気の中にいるのが心地良い。 ・温泉も入り、女性同士の会話もたのしみたい。
本人の障害に対する受容の過程、家族や介護者等への思い、外出など活動や参加に対する意思
徐々に家族旅行したい 温泉に入りたい。心身共にリフレッシュしたい
・まだ若いため、リハビリにも意欲的、新しい事にも挑戦してみたいという気持ちあり。
・温泉が好き・外出したい
・いつも家族と共に居たいと思っている・妻の介護に満足していて、外出にも不安はない
長男夫婦の協力、温泉に入る意思 旅行をしたい。（日帰り旅行は可？）資金の課題は？
スキル、知識、経験
介護をしてくれる妻や長男夫婦の労をねぎらいたいと、いつも思っている。旅行でも負担をかけるが、家族にも楽しんでほしい。
コミュニケーションは問題ない 妻や家族の介護負担を軽減する。
温泉に入りたいとも思っているが親戚の皆との旅行が自分が生きている、支えられながらも自分らしく生きていると思える旅行にしたい。
・コツコツとリハビリにはげむ努力家。 ・感情はあまり出さないが、要に負担をかけているのを気にしている。
・意欲的にリハビリもされている ・家族関係も良好で協力的である
「とても自分たちだけでは、旅行は困難なのでヘルパーが付きそってくれる旅行会社に依頼して、家族みんなでお風呂に入りたい」
久しぶりの旅行。温泉に入り、リフレッシュしたい
主介護者の妻にはとても感謝している。自分自身、徐々に温泉に入りたいという希望と妻にもゆっくり休んでほしいと思っている。
温泉旅行を楽しみにしているので その日まで体調を整えておく。
外出の機会が少ないため不安感を与えるようなまわりの人は言語もつつしみ緊張しないようにする
出来れば一緒に温泉に入りたいが宿泊先で迷惑はかけたくない
几帳面で我慢強い
身体はしんどいが旅行に参加したい。
徐々に温泉に入りたいという気持ちが強い
・久しぶりに皆と楽しい時間を過ごしたい
社会的で人と会うのが好き 出掛ける事で家族の手をわずらわせるのを気にしている コミュニケーションを取るのに工夫
コミュニケーションは意思伝達装置を利用し、とる事ができ旅行に参加し温泉に入る事を楽しみにしている
68才 男、家族関係は良い
障害があっても楽しみを持ちたいと考えている。これで皆なでいく旅行は最後かもしれないのでぜひ行きたいと強い意志を持っている
温泉に入りたい。旅行にいきたい。
家族との時間を最も大切にしている
68才 どんなことが好きか？どんな仕事していたのか？
外出により、外部とのコミュニケーションがとれる。いつもと違った環境に参加出来る。家族との絆が強くなる。生きる喜びが増える。
温泉をたのしみにしている 外出の機会をたのしみたい
本人の参加の喜びを与え、生きる事の意味と充実感
・久しぶりの一泊旅行であり、次行けるかどうかかわからないので楽しみである
仕事歴、趣味、特技
温泉に入る時の危険性大
性格を考える年令も考える歴史も考えるキーパーソンととりまきの人々。介助する際の注意点を考える
・本人がどこまで希望してくれるか、不安な部分があるか、またその部分はどれにあたるか
コミュニケーション装置の理解と医師との連携
コミュニケーションは何でとるか。パソコンを持参しないなら文字盤も練習しておく
生活の中での問題 介護者の状況等

・世間体を気にしており、妻に対して命令口調が多い。・久振りの温泉であり、楽しみにしている。
・長男、親戚の人達に介助を受けながら温泉に入りたい。
温厚で人づきあいが良い。人と話をするのが好き。世話ずきだった。何事にも挑戦的
・自分で計画するのが好き
不安な面もあるが妻1人では行かないと思うので一諸に行って少しでも妻を楽しませてあげたい。
・外に出る機会を多くして、自分の出来ることは挑戦している。・一つでも多くの事を家庭にいる時よりもして見たい。
・明るく、活発的。・行くだけでなく、温泉に入りたい。
温泉旅行に久々に参加し温泉に入りたい意思伝達装置を使用してコミュニケーションがとれる
多くの人と交流する
何かと遠慮しがちである。
・何事にも挑戦的・皆に協力してもらい、活動したい
妻、長男夫婦を休ませたい
・社交的で性格は明るい。・折角の温泉旅行なので是非温泉に入りたい。
温泉好きである 家族や親せきと楽しく過ごしたい 妻にもゆっくりのんびりしてほしい
コミュニケーションは意思伝達装置を利用されている
外出する事の積極性、意欲がある
おしゃべりして外出しないとダメ(世間的体裁) 意欲低下
・にぎやかなことが好き・温泉好き・やさしく協調性がある
意欲向上 経験、思い出づくり 身体の不安
病気になってからは、親せきとかかわる機会が減っているが、これを機会にゆっくりにかわりたい。
温泉地への興味
温泉に入りたいとの意欲
・性格。・家族関係、親せきとの関係は良好か?
・意思伝達装置を利用して、周囲の人とコミュニケーションをとる。・久しぶりに親戚の人々と会うのが楽しみ。温泉にもぜひ入りたい。
・親戚一同で旅行するという楽しいイベントに皆と行き交流を深めたい。・前向きな性格で、いろんな集まりには積極的に参加したい。
世間的な体裁を保ちたい。好きなタバコを1日2本愛飲
68才 男性
社交的で大勢でにぎやかに会話をしたい。フロ好き
前向きにトライできる方である。
一緒に自分も参加したいというとても前向きな性格を持っておられる人である。久々にみんなと顔を合わす温泉旅行の為、欠席するわけにはいけないと考えている。
積極的に外出し楽しみを持ちたい。
明るい性格で、同行の人たちもそんな本人が大好きで、一緒に旅行に行きたいと思っている。
温泉には入りたい。
自分の我を通そうとするが、面倒を見てもらってる事で強く言えず折れる。皆なで出掛ける事が嬉しい。
・68才男性・ALSで全身的機能障害・長男夫婦、妻と同居し主介護者が居る。
介5 68才。社会参加したい。
・久しぶりに温泉にいきたい。・皆んなには出来るだけ迷惑をかけずに出来る事はしていこう。・今回成功したら又自分から皆んなをさそいたい。
・自分ひとりでは旅行に参加することはできない。・温泉には入りたい。
出来るだけ親戚の人と会ってお礼のことばを伝えたい。思い出話をしたい。長男のことをみなに紹介したい。温泉には出来ればゆっくりつかりたい。
明るく前向きの性格であるが、早くからALSになった事をとても残念に思われている。装置を使ってもみんなとコミュニケーションをとりたいと思われている。
我慢強いが意思疎通がうまくいかない時はイラつくことがある。特に妻に強くあたることがある。今回は楽しい温泉旅行を心がけるようにする。
・周りの人に対して思いやりがあり、何事にも一生懸命である。・いつもお世話になっている妻にも温泉でリラックスさせたい。
・温泉への興味・旅行先の散策など
・妻以外の介護をなかなか受け入れられない。・痛みの訴えをしない。
温泉旅行に参加して温泉に入りたい
・入浴は露天風呂に入りたい。・疲れやすい。
温泉に入ることへの期待、親戚一同での旅行への期待感
・社交的で明るい性格である。ALS発症前は旅行が好きでよく出掛けていた。・最近親戚の行事には全く参加していない。
死ぬ前に温泉に入りたい。

温泉への参加希望。(経験)
皆と一緒に温泉旅行を楽しみたい
・明るく社交的 ・親族に久しぶりに合うのが楽しみ ・温泉めぐりが好きだった
外出する威力がある。
多少の危険を伴うと思うので、その覚悟 参加意欲
家族思いでやさしい。
健康状態とはなんでしょうか。(五体満足)とした場合の定義は誇りと思えますか。個人因子の発想が理解できませんので。
・温泉旅でリフレッシュできる。
・何事にも前向きである ・家族に対する思いも強い
・被害妄想がひどく、ベット上が散乱する事が多く、盗られ妄想をする事がある。 ・たまに気弱になり、全般において介助を必要とする。
昔から温泉は好きで、体力にも自信はあるが、殆らく車には乗っておらず、外出も、1ヶ月ぶりである。
何事にも挑戦的である。「こんな体でも、他人に迷惑をかけないで、温泉に入りたい。」
きれい好き。人の中に入る事も嫌いではない。普段会えない人とゆっくり話をし、広いお風呂でのんびり過す。
・温泉旅行に親せきと行きたい
・親せきに今回の温泉旅行の話をし、協力してもらいたい。
話ずきで社交的である 家族とコミュニケーションをとりながらのんびり温泉に入りたい。
・人目を気にしたり、ALSを受け入れるのに時間がかかり、引き込みりがちであった。 やっと、外に出たいと思う様になり、妻の介ゴ疲れがとても心配である。
ゆったりした気持ちで、装置を使用しながらも家族と会話をもつ
みなさんに迷惑を掛けると思うがまだまだ元気で頑張っている姿を見せたい。
普通は迷惑をかけると遠慮するが行きたい意欲がある。障害者の支援などを活用し、家族の負担を軽減しながら実施させたい。
・親戚との付き合いがよい ・困難な事があっても「やってみよう」という事があれば、挑戦したい あきらめない。
外に出る事に積極的
・何事にも敏感で相手の気持を察する。 ・パソコンを使い、多方面で情報を得ている。 ・「行き先の温泉は美肌効果があるので、ぜひ入浴してみたい。」
親戚、家族と遠出して楽しい時間をすごしたいと意欲的な面をもっている
温泉旅行への参加意欲あり
・家族への気遣い。 ・周囲へ面倒をかけるとの理由で外出の機会がなかなかないが、元々は社交的。
何か有った時の御本人の希望(どうして欲しいか)ー緊急時についてー
サプライズで本人を驚かせる様な宴会をする
ももとは、活動的、旅行好き、社交的、親分肌で家族、兄弟、親族思い。
介護者も休養できる旅行であってほしい
難病(ALS)を患っておられながらも、旅行や入浴にチャレンジされるなど前向きな方である。
几帳面
できるだけ皆に迷惑がかからないようにしたい。座位を保つ練習もしているので、短い時間でも温泉につかいたい。
皆と一緒にいきたい
親戚・家族の支援・協力を得て温泉に入りたい。
・昔からリーダーシップがあり、自分からアイデアを実行するタイプ ・家族の近況を知りたい、特に孫の進学についてきいてみたい
・親戚の者たちに感謝の言葉を伝え久しぶりに交流したい。 ・長男夫婦、妻だけでは温泉旅行で温泉に入れない。
性格、趣味、職業等発病迄の生活歴
・気持ちをリフレッシュさせ、生きる力がわいてくる ・積極的に人の中で生活が出来る
・みんなで集まりたい ・温泉に入りたい ・思い出にしたい
社交的で旅行が好きである
・負けず嫌いでもあり人情深い人でもある。 ・人にあまり迷惑をかけたくない・・・でも徐々に旅行をしていい思い出を作りたい・・・
妻や子供夫婦には旅行中ゆっくりしてもらいたいが、やはり参加しない方が良いのでは。
・優しくおだやかな性格。 ・温泉旅行は久しぶりなので大変楽しみであるが、皆に迷惑をかけないか不安な面もある。
周囲との関係は パーソナリティは?
何事にも挑戦的である。今できることを楽しみたい。
・全てに前向き ・何でも把握したがる ・人まかせにはしない
何事にも真面目に取り組む性格。旅行を楽しみにしている反面、皆に迷惑をかけるのではないかと心配している。
温泉旅行を家族で楽しみたい。家族みずいらずの時間を楽しみにしている
何事にも介助、支援が必要であり、どれだけ本人の要求にこたえられるか、また本人が楽しめるか。同行した家族も来てよかったと思えるようにしたい。
親戚、家族を大事にする人である 社交的な面もあり、前向きで積極的である。今回の旅行を楽しみにしている。

何事にも前向きで挑戦的である。目標が目の前にある方が頑張る意欲がもてる。
何事も我慢強く、意欲的です
・プライドが高い（68歳と比較的若い）・家族、他人にも気を使う性格である
・家族との時間を大切に、共に人生を楽しみたい。
長男夫婦と仲よくコミュニケーションがとれているか 妻ともコミュニケーションがとれている
・妻や同居する長男夫婦への遠慮があるなど心配症である。・参加する人たちの、援助がないととてもムリである。参加するのは（外出する）のはこれが最後かもしれないので是非出席したい
温泉旅行を親戚と一緒にいきたい。温泉に入るのが楽しみ。
親戚一同で1泊2日の温泉旅行をすることになり、温泉に入りたい。趣味、今までの生いたち、経験
・コミュニケーションは積極的に行う。・温泉好き。
・自分の意思が伝わらないと、怒りだす。・意志伝達装置についてもあまり意欲的ではなかったが、好きだった温泉のため、やる気になっている。
・外に出て何かしたい、他の交流もしたいと思っている。・身体が思うように動かない。・意志の伝達がうまくいかないとイライラする。
何ごとにも挑戦的である 久しぶりに温泉に入りたいと言う気持ちがある
本人は頑固であるが毎日妻に介護の迷惑をかけている為妻にゆっくりしてもらいたい気持ちがある
このイベントに参加したい本人の強い意志や喜び。ここでの成功がつなげる次の機会。
親族との関係は良好 元気な時は良く旅行をし慣れている。できることはやりたい希望強い
・社交的。・家族関係が良好。
重い病気をもちながらも親戚一同で、1泊2日の温泉旅行に行き、温泉に入りたい。
・親戚の人々との接触を楽しみにしている。・外出に意欲的である。
・妻や長男夫婦は自分の状態を理解しているが、親戚にはわかってもらえるだろうか。
前向きである。支援を受けて、外出したり人との関わりを持ちたいと思っている。
・明るい性格で、人の集まりは好きである。親戚が一同に集まるので意思伝達装置を利用して久しぶりにいろいろな話を話したい
・几帳面で我慢強い。・自分の意志を曲げない。・「少々の体調不良でも、温泉旅行を行いたい」。
・入浴好きである。・親戚一同の旅行ということで、頑張りたいという気持ちがある。
コミュニケーション時、意思伝達装置が必要である。
親戚と話したい。
「温泉に入るなんて久しぶりだ。」と意欲あり。
・温泉に入りたい。親戚と旅行したいという意欲の反面、迷惑をかける、気がねを感じている。
参加に意欲的である。
・自分だけでは無理だが、久しぶりに温泉にも入りたい。
・親戚一同で久しぶりの温泉旅行を楽しみにしている。
温泉に入りたいと言う意欲がある。
几帳面で我慢強い。
日頃は会えない人達と出来るだけ話しがしたい。自分のことだけでなく、まわりの様子も知りたい。気使いなく。
・障害を持って出来るだけ社会参加、知人との関わりを大切にしたい。
我？
・皆と一緒に楽しむことが好き。・「家族だけではできないが久しぶりに温泉に入りたい」
・明るく笑顔が多い。何事も挑戦的である。とても親戚一同でも成就しない。特に温泉に入る時は湯舟にゆっくりと入り温泉を楽しみたい。
・社交的である。・家族思いである。・温泉に行きたいという気持ちを大切に、スケジュール等、こまめに考えていく。
以前から活動的で外に出るのが大好きである。人づきあいが得意
皆との会話を楽しみにしている。温和な性格で明るい。淋しがり屋で、いつも世話ばかりしてくれてる妻を少し楽させてやりたいと思っている。
・昔から温泉が大好きでとても楽しみにしている。
・家族に見守られながら、行きたい。・意志伝達装置を利用し、親戚とコミュニケーションをとりたい。
いつも迷惑をかけている妻にも少し息抜きをしてもらいたい
何手にも前向きな考え方であるが時々、妻に悲観的言葉発する時もある。
本人としては体は動かなくなり予後も短いのでなんとかがんばって思い出作りの為にみんなと一緒に温泉旅行に行きたいと思っている。
・このイベントが楽しみでもあるが、周囲にかけるお世話に対する遠慮などさせない配慮を。
本来明るい性格であるが行動に関しては消極的である。
「あまり人には、自分の今の姿は見せたくないが、今しかできないなら、旅行したい」 潔い、おしゃれである
・明るい性格・パソコンで家族・親戚の人達と会話をしたい。
社交的な性格であり、外に出て、色々な、体験をしてみたい。

前向きな性格である。
・がんである。めいわくかけたくない。・人ごみに自分の姿をみせたくない
家族・親戚ともにコミュニケーションをとることに希望をもつ
温泉に入りたいという希望を持っている
・ガマン強いタイプ
・神経質で我慢強い・何事にも積極的・今回の温泉旅行をととも楽しみにしている。
自分自身では動けない。意志伝達が困難
・楽しい旅行にしたい。・記念を残したい。・妻にもゆっくり風呂に入らせてあげたい。
温泉大好き。頑張り屋である。身体機能の低下を恐れ、リハビリを頑張っている。
コミュニケーションには配慮が必要
温泉に入浴するための方法。
前向きに生きていきたいと考えている。久振りにみんなとのんびりすごしたい。
いつでもコミュニケーションできるよう、意思伝達装置の携帯、それに合わせ日々、定期点検、調整をしてもらう。
・温泉に入りたいと前向きに考えているし、・親戚にもあいたい
コミュニケーションの手段としての意思伝達装置の活用。温泉旅行参加の効用。
・温泉好き。・親族とのつきあいがまめ。
親戚一同との温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。
家族と共に過ごすことで、
我慢強いし、何事にも挑戦的である。
前向きな性格。協力的な人間関係（人柄）
病気にはなって障害もあるが、一家の家長である事を尊重してもらいたい。同時に、病気の事で親戚の皆に気を使わせたくない。重度の身体である自分が参加してもなごやかな楽しい場となるかどうか。
・万一のことがあっても環境をうらんだりしないという強い意志を持っている
本人、他の人に気を使う方なので、自分が、参加することにより、他の方へ迷惑をかけるのではないかと、心配されている
外交的。チャレンジ精神旺盛。
人任せにせず、自分で調べて、自分で決める力がある。前向き、客観的視点あり。
温泉が好きで旅行好き。
・昔から、旅行が好きであった。やさしく、穏和である。家族や親戚との交流も多く、精神・心理的・家族的・社会面からも情報を収集したい。
・人と接する、社交的な様子。・今回の事で、コミュニケーション出来るのではないかと（親戚の方々と）
・皆に迷惑かけると思う気持ちと頑張りたい気持ちがある。・達成感を得たい。
・神経質。
・何事も前向きで挑戦的である。
・旅行し、温泉に入りたい。・コミュニケーションは意思伝達装置を利用。
・人前でなるべくはじをかきたくない・親戚にあいたい。
今までの生活歴 現在希望する物は、これからどうしたいか
68才男
・何事にも、前向きである。・お風呂が好きである。・楽しい旅行にするためにも、家族とくに妻の負担を減したい。
・久しぶりに親戚一同が集まる為、いろいろな事に挑戦したい。
・ととも几帳面、何事も自分でやりたがる。・お風呂は昔から大好き。何をしてでも入りたい。
他者との交流は友好的である 意欲的である
日常生活に於ける介護度 5 温泉旅行参加切望、親戚一同に対する愛着
68歳、ALS、要介護5、意思伝達装置利用 あらかじめ、入浴状況をよく説明し、了解を得ておく。
前向きで、意欲的である。元気で過ごしている自分を見てもらいたい。
・常に前向きで努力家。
在宅での療養を前向きにおくるために外出を増やす
・要介護5にもかかわらず、温泉に入りたいと意欲的な気持ちを思っておられるので、旅行先での何か楽しいプランを計画するなどされてみては。
・前向きな姿勢・明るく、人との交流を楽しむ。・穏やか・家族に感謝している。
入浴が好きである 親戚一同で行くことはほとんどないのでこの機会に一度行きたいと参加に積極的である
健康な時から温泉が好きで死ぬまでに1度は入りたいと言っていた。
・親戚の人達に迷惑をかけるのではないかと、気を付かう。
久々の温泉に入ることができるので楽しみにされている。
・家族と共に行動したい。・「温泉」という非日常を楽しみたい
・我慢強い。・協調性がある。・頑張り屋さん
親戚と会うこと温泉をととも楽しみにしている

何事にも挑戦的である。
・自分の病気をしっかり受け入れ前向きに生活している頑張り屋。・68歳・男・家族思い。
ストレスへの気づき、気づき要
サプライズを用意して、夫婦で参加出来るよろこびをかんじてもらう
・旅行好き特に温泉が好。・家族をととても大切に
機能の低下
・親戚との交流があり、兄弟と仲が良い。又本人も発症前は面倒みが良かった。・家族が介ゴに協力的であり主たる介ゴ者を支えている。
・旅行へ参加したい。・温泉へ入りたい
参加しようという気持ちを大切にしたい。体調を整え皆んなに迷惑かけないで楽しみたい。
性格的な事は分からないが、温泉旅行に向かって何か考えている事は？
知識、学習への意欲、外出などの活動意欲。
コミュニケーションは可（意志伝達装置利用）
男性患者は意固地になりやすい傾向があり妻以外受けつけず配偶者がせっぱ詰る場合が多いので、日頃より妻にも患者から開放される時間が必要
親戚との交流 温泉に行って非日常的な気分には心身共にいやされたい。
・親せきにととても気をつかう・明るい性格で話を聞くことがすき「できるだけ親せきに負担なくたのしく旅行したい」
親戚や医療関係者の方々に協力してもらい旅行に行きたい。
・自分の意思をきちんと理解してほしい。・徐々に筋力低下してゆく不安。・動けない苦痛。
几帳面で我慢強い 楽しく賑やかに過ごす事が好き。
前向きな性格、何事にも積極的 親戚、長男と男同志で露天風呂に入りたい。
皆に迷惑をかけるが、実現させたい。
病院、在宅と両方の事が理解できるから。病院関係だと医療の方に医療の方にウエイトが置かれ介護福祉士、ヘルパーは在宅にかたよった思考になっている様に思える。ケアマネなら各職種の調整をはかる事ができる。
何事にも意欲的である。
・できることは、自分でおこないたいという思いから長い。・介助してもらいながら、なんとか温泉に入りたい。
・若い頃から温泉入る事が大好きです。・家族思いの優しい性格。
我慢強く何事にも挑戦的である・親戚の一員としてみんなと同じように温泉に入りたい
社会とつながっていたい。
・意志伝達装置を利用し、自分の思いは伝える。温泉に入りたい。旅行に行きたい
前向き
・陽気な性格。温厚。・妻と2人では、入浴できない。長男に手伝ってもらい入浴し、元気な姿を皆に見せたい。
・妻や、息子夫婦には、いつも世話になっている。自分自身の介助もあるが出来る限り、一緒に楽しんでもらいたい。自分も楽しみたい。
久しぶりの旅行と温泉。わくわく。
他者に迷惑がかかることを嫌がる
・家族思い、思い出つくりとしたいと思っている。・温泉は好きな方・ALSの遂行に伴う自分の体調の理解ができています。
以前より温泉が好き。妻と2人でよく行っていた。自分の疾患を受容しつつあるが、まだ妻や周囲の人に申し訳ないと思っている。
・この機会をカメラにおさめ、記念のアルバムを作成したい。・家族以外の親戚に支えられる時間を大切にしたい。
・皆と一緒に賑やかにするのが好きである。・募る話、語りたい思いを親戚の人達とかわしたい。
自分個人では温泉へは行けません。親戚一同が協力してくれる喜び
・自由気ままな性格・旅行好きであり、久々の温泉旅行を楽しみにしている。
・何事にも挑戦的である。・「親戚の方々と会話を楽しみたい」
社的で温泉旅行を楽しみにしている。
家族に対して気を使っている。
・直接会話はできないが、肉親と交流したい。・支援を受けながら外泊したい。
家族と伴に出かけ温泉に入る
できるだけ家族や親しい人との時間を共有したい。温泉は病前より大好きだった。
ゆっくり温泉に入りたい気持ちを大切に
温泉に久しぶりに行くので2~3回露天風呂に入りたい。
いつも世話になっている妻や長男夫婦に感謝の気持ちを込めて
家族旅行に参加したとの気持ちを持っている。（何かをしたいとの気持ちあり）
・温泉が好き・頑張りや・にぎやかなところが好き
旅行への参加意欲有。親せき一同との久しぶりの対面、温泉がモチベーションとなっている？
・68歳男性・目標へ向けては努力するタイプ・家族による介護協力的・障害の受け入れはできている
・明かるく、前向きなとらえ方をする。・難病にかかってわかった事、考え方をかえた事等話して日頃の感謝にかえたい

気分転換、想い出作り、旅行先、外の環境への興味、自分の存在の確認。
かなり、介護者の負担も大きいので本人も家族も覚悟はできているのか？
意思伝達装置がうまく使えなくなってきた
・本人も旅行に意欲的である。・親せき家族に協力をえて温泉にも入れてやりたい。
本人は徐々に皆と一緒に過したいと前向きに思っている。温泉に長い間入っていないので入りたい
本人の良い面や苦手なこと。性格や希望、できることなど、妻をそう思っているか。
参加したいという気持ち
家族支援
・痛み強い為、意欲の低下によりネガティブな言動ばかり ・「痛くて出来ない」を繰り返す。・弱音を吐いてばかりいる。・子、ヘルパー等に頼りきっている
元気だった頃のように楽しみたい。社交的。
もう一度、親戚と一緒に温泉に入りたい
くよくよしない性格である。温泉に入りたいが車いす移動なので、車いすで入れる浴場が必要である。コミュニケーションは意思伝達装置利用である。
・気をつかう事でのストレスに耐える事が必要。・状態で出来る事は積極的に行う。
プラス志向で、できるだけ多くの人とコミュニケーションをとりたい。特定の医師、看護師、ヘルパーは介入可。
発病前まで活動的で親戚の行事などすすんで参加していた 皆なりに少しでも迷惑をかけない様にしたと思っている
・意欲的 ・家族思い
温泉が好きでとても楽しみにしている。
社会参加の意欲あり
・前向きで我慢強い ・親戚一同に会える ・温泉に入りたい
意思伝達装置をつけコミュニケーション可能
人づきあいをするのが好き、親戚ともコミュニケーションをとりたい
個人因子 新しい生き方を模索するつもり、息子夫婦にも生き様を見せる人生の先輩として、
たまに参加したい
・多人数で行動する時の気づかれや、突然の問題発生時のコミュニケーションの伝達速度。 ・食事時間の本人の気持ち
意思伝達装置によりコミュニケーションははかれるが親戚皆と一緒にゆったり温泉につかり、楽しく一夜をすごさせたい。
親戚一同と1泊2日の温泉旅行に参加したい。
・長時間の移動、車いすでの対応が出来るか不安 ・家族の協力が必要
旅行先での緊急時に対する不安。主たる介護者にかかる負担増が不安。
本人の意志、気もち
・社交的で、人と話をしたりすることを好み、元気な時は親戚とも交流があった ・長男も温泉に入らせてやりたいと思っている
・温泉への興味
性格は明るく外向的
温厚で人当たりが良い、人の和を好む。入浴は、できたらしたいが皆さんの協力なしではできない。
・お風呂に入るのは好きである ・意思伝達装着でコミュニケーションは図れる ・常に前向きである
親戚間の交流、温泉好きで楽しみにされている。体調を維持。異変が大事。妻の体調。経済面は恵まれていている様子。
温泉旅行に参加したい。
親戚一同での温泉旅行に参加できるよう周りの介護力と本人が障害を持っていても家族と楽しみを共有できることはすばらしい。
入浴、食事、会話を充分に楽しんでもらう。
元々は外出好きで全国各地を旅行していた。神社仏閣に興味がある。
何事にも意欲的、人並みに気分転換をしたい。ゆったりしたい。
・温泉には限らず入りたい ・がんこである、わがまま
・家族旅行を楽しみにしている ・久々の温泉でゆっくり入りたい
外出への希望意欲あり
親戚一同での思い出作りも出来て、温泉に入る楽しみも達成出来る。
薬が嫌い。生活習慣病。
68才 徐々に温泉に入りたい
横になったり座位になったりする。
移動、入浴など多くの人の助けが必要となるのでは。
せつかくの温泉旅行が本人と家族にとって楽しいものとなるよう配慮が必要。特に温泉がただの入浴で終わらないような人的環境的にも配慮が必要。
・外出ができる喜び ・社会との関わりが持てる ・他人とのコミュニケーションが図れる ・妻にもゆっくりと休養してもらえ
A L Sで介護度も5である介助を受けながらも旅行を楽しみたい
・我慢強く、自分の意思を伝えたい気持ちが強い。 ・まだ元気な内に家族との思い出を残しておきたい。

性格の状態
・ご本人の生活に対する意欲 ・普段、現在と以前の性格 ・コミュニケーションのタイミングや、表情 ・身体的な進行の過程現状 ・どうありたいか、希望は何か？
・なるべくは～温泉に入りたい！
温泉につかりたいと外出や旅行に意欲的である。介助を受ける事に前向き、積極的 家族の援助に負担感をもたない 家族に対して、自らの役割をもつ
・家長として過ごしたい。・新しいことに積極的。
几帳面でまじめな性格、お付き合いの幅も広い。
・几帳面でがまん強い。何事にも挑戦的である。・とても自分たちだけでは成就しない 特にはなむけの言葉、スライドショーはできるだけ娘には秘密に作成したい。
・自分は動けなくなってしまうけど家族の力を貸りて出かけられるのがうれしく感じる。
・活動的で、新しい挑戦的
ヘルパー介入可
なんでも挑戦する。・もういちど温泉につかりたい
男性68歳 ALS
・温泉に入りたい意欲
旅行に行けた事で日常生活のレベルアップを目指す
精神的な不安をとりのぞく。観光ルートなどの説明するなど。
延命治療はしてほしくない。
久々に親戚一同で楽しみたい
我慢強く、家族を大切にし皆で楽しく旅行をし色々な事をもっと吸収したい
皆と会えるのを楽しみにリハビリは前向き
本人のやる気、意志の確認（本当に旅行に行きたいという気持ちを持つこと）
旅行が好きだった。何事にも前向き。
自分も楽しみ、家族も癒したい。
本人の自分の行きたいという気持ち
意欲低下。家族以外の支援を拒絶。
・久々に温泉に入りたい ・親戚との交流が楽しみ
温泉に入りたい
積局的、御家族ご親戚からの理解があり、大切にされておられる
プライバシーへの配慮
認知症が最近すすんできているので御自分の意見を強くとおすので、プランの作成は御家族だけで検討された方がよい。
・温泉に入りたい・親戚との親睦がはかれる
家族親せきの協力では成しとげる事は困難。医療や宿泊先の受け入れ体制を整え、安全に行える事
望みを叶えると言う気持ちのもり上がりを大切に、精神的充実を図る
できるところは自身で行いたいが入浴時等は1人では難しいので手伝ってほしい。親戚が集まるので楽しみである
本人が参加したいという強い意志と周囲の意識
ALS 要介護5
・明るい性格・お風呂好き・以前から楽しみにしている
周囲に気を遣う性格である。
社交性があり、明るい方 親戚一同で集まる事は、滅多にない事なので、皆と話したい。特に、久しぶりに温泉にゆっくりと入りたい。
・まじめで周囲の人に気を使うので、本人がなるべく気楽に行けるように配慮する。
・温泉に入りたい・一泊二日の旅行を親戚家族と行いたい
温泉に入りたいと意欲がある
・たくさんの人と一緒に入浴するのははずかしい・借切り風呂で家族に手伝ってもらって入れるとうれしい
生きがいを持つ。
旅行が好きで温泉によく行っていた 思うように意思が伝えられない時がある
妻への感謝と子ども親戚との交流 久しぶりの温泉を楽しみたいとやさしい性格である
援助を通じて信頼関係をつくる
・以前より温泉で家族や親戚等のつきあい等、大切にしている・身体が少しでも動けるうちに旅行を楽しみたい
・何事にも、自分で、やりたい気持ちがある。
・親戚との付き合いを大切にしており会話を楽しみたい。
明るく社交的で、旅行が好きである。家族との時間も大切にしてきた。
温泉旅行参加に対し意欲的である 身体的なもの（手・足の拘縮 言語障害・嚥下の状況 積極的な意欲がある
家族の手をかりるが、なるべく自分の残存機能をいかしたい。

温泉に入りたい
久々に温泉に入りたい。
元気だった頃、妻と二人で良く旅行を楽しまれていた。あきらめていた温泉旅行が出来る。息子夫婦に感謝している。
・こうと決めたら積極的に物事に取り組む。・心強い。「なるべく家族に迷惑はかけたくない」
自分が生きている実感を少しでも得るためには努力は惜しまない 妻には負担をかけているがやはり頼れるのは妻しかいない
本人のFamに他する思い。
温泉旅行への参加意欲 久し振りの温泉入浴に期待
・若い頃から旅行好きだった。・変化のない日常にストレスがある。
旅行好き
家族の団結力が強いのでお互いに信頼している 父親としての存在が大きい
・親戚と一緒に温泉に行きたいと希望 ・久々に温泉に入りたいと強い希望 ・移動時間と宿泊施設が心配
・家族だけでなく、親戚にまで迷惑をかけてしまうことを気にする ・温泉を楽しみたいと思う
温泉に入りたい
・几帳面で我慢強い ・何事にも挑戦的である。・とても自分たちだけでは成就しない。特に、はなむけの言葉、スライドショーは、できるだけ娘には秘密に作成したい。
障害があってもあきらめてばかりいたくない 妻たちと一緒に過し、感じていたい
・意欲的に旅行参加を希望 ・コミュニケーションは意思伝達装置にて可能
前後の体調に注意する。外出に対する心配ごとが軽減できて、生活の幅が広がれば、本人の自信につながるだろう。
妻と2人で旅行に行く事が出来ないが皆で行く事で妻の介護も軽減でき、妻に楽しんでもらいたいと思っている
参加しようという前向きな気持ちがまわりと共に良い方向へまわっていければ
親せきとのつき合いがよい ・昔は旅行、温泉好きであった。
何ごとにも意欲がある
挑戦的である。最後かもしれないのでゆっくりと温泉に入る。頑張りやである。妻を通し親せきとの会話をしたい。
意思伝達装置がうまく使えて、楽しいものになるようにもっていく。
ALSであるが温泉に入ってみたい。
68才男性、要介護5
活動的で参加意志あり
・温泉旅行を楽しみたい。・日頃介護している妻の負担を軽減出来るよう、息子夫婦や親戚の方々とのコミュニケーションも図り、妻にゆっくりした時間を取ってあげたい。
外出に対し積極的である。
親戚一同での旅行を楽しみにしている。温泉にも入りたい。
多人数での移動にぐったりしないか、休けい時の排せつの交換ができるか。
・大勢で集まり、皆で楽しくコミュニケーションをとりたい。
・若い頃から夫婦で苦勞をして子供達を育て上げた・子供達に世話をかけて申し訳なく思っているが、皆が協力して温泉に連れて行ってくれる事を感謝している
・親せきの中でも頼りにされる人・仕事仲間や趣味仲間も多く明るく社交的な人・病気の知識あり、今後について不安がある
生きることにに対する積極性、前向きさはどのくらい？
上、下肢が不自由な状態だが温泉に入りたい
・几帳面で心配症
何事にも挑戦的である
親戚一同が介するので出来るだけ一緒にすごしたい
意思伝達装置でどこまで表現できるか
奥様思い（愛妻家）日頃世話をかけているのでゆっくりさせてやりたい
妻・長男夫婦とも関係良好。長男夫婦は介護に協力的。
コミュニケーションは、意思伝達装置を必要とする。
親戚の皆と楽しく過ごしたい。皆には、できるだけ元気な姿をみせたい。
長男夫婦の介護で久々に温泉に入れる
外泊へのあこがれ
独りではないんだ！という事で療養にも気力が出るのでは。
・温泉好き。・親せきの人とのコミュニケーションを取りたい
家族の一員としてのアイデンティティー
・性格的にどうか？・外出をこのむか・あきらめた毎日か・なぜ、今回は行きたくなったのか
・68才男性・前向きな性格・風呂好き
生活意欲が高く温泉にゆっくり入りたい
大勢でいることが好きである。
・何事にも前向きで意欲がある・介護してもらっている気持ちがあり自分の要望が言えない

いつも世話になっている同居家族や思いやっていたい親戚に感謝の意を示したい。
・家族、親せきと楽しみたい。・意思伝達装置でコミュニケーションはとれる。
何事にも意欲的に取り組むが少々わがまま。「とても自分達だけでは大浴場に入れない。皆さんの手を借りて久しぶりの温泉を堪能したい。
参加への希望など
人との交流に問題なし
周りの人に気をつかう事が多いが、本当は意志が固く頑固である
親戚と楽しい時間を持ちたい。温泉にも安全で楽しく入りたい。
・家族が一緒なので安心だが皆に迷惑をかけたくないと思っている
・病前は、海外出張も多く、活動的精神的に動き回る人格。・意志を伝えることで、他者に自分の訴えを伝える努力をしている。
親戚の人達と一緒に風呂に入りたい意欲的な人。介護者（妻）にもゆっくりしてもらいたい
本人の身体的・精神的スタミナの維持が困難
・環境の変化により本人の健康安全レベルは保てるのか？
55才で発症、定年までなんとか公務員を続けてきた。長男はまだ結婚したばかりで、家も新築したばかり・発病までは健康そのものであった。
話せないが意志は伝えられる。68歳前向きプラス思考
・几帳面でがまん強い。何事にも挑戦的である。・家族思いである。
意志を伝えたい思い。家族と生活したい意志。夫・主としての勤め
・みんなに迷惑をかけたくない・みんなといっしょにすごしたい
親戚一同での旅行
・意思伝達装置が必要。
・思いが強い程リスクは高くなるので、本人へ説明してシンプルでも充分であると納得してもらおうよう話し合う。
温泉に入りたい
温泉に入りたい、久しぶりの旅行>楽しみにしている
不明
ALS、健康状態の変化、維持、ADLの支援、介助
我慢強い、積極的で明るい
・几帳面で我慢強い。・何事にも挑戦的である。
・明
もともと積極的な性格。くよくよしない。挑戦したい意欲あり。
・できる事はなるべく自分でしたい・親戚の人と楽しく過したい
・えんりよする性格なので上手くコミュニケーション取りやすいようにする。
・久しく会っていない親戚にも会いたいし、温泉にも入りたいなど意欲をもって。
・前向きに生きてきたが、不慣れな環境なので温泉旅行のスケジュールや行く先の環境について細かく知りたい

(居宅介護支援事業所)

意思伝達装置を使用してコミュニケーションを図り親戚と旅行したい。
・外に出たくない・意欲低下・筋萎縮による活動量低下だが・皆の協力で温泉旅行に行き温泉に入りたい
家族や親類との外出は、本人の精神的身体的に負担は大きい。せっかくの1泊2日の旅行であることから思い出を作り、次への外出や旅行にでかけたいと思える旅にする。
本人の願い・楽しみ・交流により実現 今後の生活に自信が持てるように皆で声がけする
親戚で温泉旅行に行くことをとても楽しみにしている。また、行きたいという意欲をもたせてあげたい。
生きる意欲を大切にする。楽しみや喜びがある機会の確保
年令68才。男性。長男夫婦と同居。親戚づきあいあり。意欲的。
温泉には入りたいが、周囲に迷惑をかけてしまう。道中も疲れてしまわないか不安。体調変化に対応する医療が温泉地にあるか心配。
病気についての理解はあるもまた妻と一緒に外に出かけたい。温泉は大好きである
徐々に温泉はいりたい
本人の負担に感じる部分をしっかり把握する。
・大の温泉好き、妻ともそこで知り合った・親類、妻側、本人側とも仲が良く医療関係者が多い・孫の顔を見るまでは死ねない！！
妻への感謝の気持ちを持っている。
本人我慢強い性格のため辛い時あまり知らせず体調崩す事あるため注意必要
コミュニケーションは意思伝達装置を使用している
温泉に入りたい意欲 一般状態の確認
・参加に意欲的。・積極的である。・楽しみを見つけたい

家族親戚と一緒に旅行したい。温泉に入りたいという前向きで意欲的な方である。
人づきあいが好きで挑戦的
68才 介5
電動車イスを借りて、自力で動かしたい。家族には、なるべく手間をかけたくない。
主な介護者、妻。
・久しぶりの温泉旅行なので、楽しみにしている。・また、親戚一同で行く事を楽しみにしている。
家族の中における本人の立場や尊厳度はいかがか。
本人の意志確認
不安、心配 介護力。
自分の状態をよく理解している 意欲はあるので尊重すべき。事故が心配である
旅行には前向き、性格も前向きである。
妻への負担がかなりある、長男夫婦も共働きで介護の手助けは不可能
父親としてメッセージを送りたい。
・努力家。・妻に対する愛情が深い。・病気になっても家族を大切にしたい。孫の顔がみたい。
家族の支援だけでは実現する事はむずかしいと考える。旅行先や医療関係者との協力が必要になる 泊まりがむずかしいのであれば日帰りも検討していくべき。
一人では入浴出来ない。意思伝達装置
がんばりやで夢中になり自分の体力の限界を忘れてしまう為、注意が必要。「思い出を沢山つくりたい。眼にやきつけて、忘れないようにしたい」
親戚との関係良く楽しくすごせる。今後も援助してもらえたい関係を続けたい。
・他人にあまり世話をかけたくない・今回の旅行はいろいろと助けをかりる事になるが、行ってみたい。妻にも楽しんでもらいたい。
体調良好か？呼吸管理・吸引大丈夫か？本人の気持ち
親せきの一員としての役割も果たしたい。迷惑になるのではないかとの気持ちもある
・家族をとっても大切に想っている。・いつも介ゴしてくれて心配してくれる周囲の人への感謝もこめて、今回の温泉旅行は世話にはなるが、本人からのプレゼント
几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的。徐々に温泉に入れることを楽しみにしている。一泊旅行を実行したい。
・個浴が望ましい・先々に心配する所があるので教えて欲しい。不安が解消される
積極的な性格
・旅行先で、他者の目を気にしないで楽しむ。
ユーモアが豊かであるが誰にでも理解は困難 多少ブラックユーモア気味
本人の参加意欲を確認。また本人の最近のADL状況を確認
温泉に入るための介助（心ゆるす人にたのむ）目的の入浴を満きつした
・近所の人に要介護者と知られたくない
家族の支援で出来る事に挑戦する。願念の温泉に入りたい意思を表出し理解を求める。
何事にも前向きで、親戚一同とコミュニケーションを図る事に努力する。しかし、皆と会話できるかどうか、コミュニケーション手段が活かせるか
努力家 家族や親戚を大切にしている
温泉に入りたい意思決定。意欲がある。コミュニケーションがとれる。
何事にも挑戦的である
・何事にもチャレンジ精神
自分の希望を、皆に伝える。急変する危険性があることを自覚し、又、いつもとちがう環境のためリスクが、より増すことを自覚してもらう。その時に、どう対応してもらいたいのか前もって、伝えておく。
・意欲的で親戚関係も良好。・同行する親戚の介護力もある。
・外出が好きである・服装も気にする方である
妻には日頃、苦勞させてばかりで申し訳なく思っている。この機会を利用し、妻や長男夫婦にもリフレッシュしてほしいと思う。
コミュニケーションがスムーズに出来る。意欲的、行動的
・多趣味で社交的であったが、受障を境に意欲も低下している。・今度の旅行計画により、やや意欲の向上が見られる
他人へ迷惑がかかる
元々、とてもこまめな方で家事なども積極的にこなしていた方で、家族へはとてもえんりよなさる。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用し、会話は好きな方。
几帳面で我慢強い。
・同居している家族には、自分の状態をわかってもらっているが、親戚一同に自分の障害の度合いをさらけ出したくない。・温泉には入りたい。
出来るかぎり行なえる事を本人自ら行なう
気分が塞ぎやすい

久々に温泉に入りたい。
親戚一同から歓迎されているか。妻の負担が分担できるか楽しみを共有できるか。
意志
温泉に入りたいという意思がある
・初めから行けると伝えない様にする。
・がまん強い・車に酔いやすい
前向きである
A L Sを受容できているのか？何年ぐらい？ポジティブに考えているか？誰に協力してほしいと考えているのか？
親戚の方々と本人、家族関係が良好であることが、うかがわれる一緒に楽しく過ごしたい気持ちを大切に
何も考えずに楽しめるかどうか。
自分の思うことは、伝えられる
・旅行先での身体状況の悪化時受診・伝達装置を使用することで、コミュニケーションはできるが、親戚の人たちの負担にならないか心配
極力旅行が楽しめるように無理をせず、休みながら参加する
我慢強いが頑固でもある。
温泉に入りたい！
性格は社交的で以前はよく温泉に行っていた
我がままで、自己主張が強く、周囲も仕方なく協力している所もある。
・意欲的に何事もとりくまれる・出来る限り、皆に迷惑をかけたくない
リスクを理解した上でマイナス要因<プラス要因（ニード）か？
・希望を捨てない前向きさ明るさたくましさがある・コミュニケーション手段として意志伝達装置を使用する等積極性がある
病気の進行に不安をもっている、呼吸できなくなる不安があるが皆が連れていってくれるとのさそいに本人も行ってみようかという気持ちになっている。
・何事にも積極的である
仕事にも挑戦的である。
・社交的でにぎやかな事が好きだった・趣味は旅行であった。・みんなの力をかりて温泉につかりたい。
・前向きな性格。
・希望があっても周囲への迷惑を考えあきらめてしまいがち。・大勢とワイワイするのは好きである。・急変し易い。
・家族思い・前向きな性格
皆にめいわくをかけていると本人に思わせずに「行って良かった」「楽しかった」との気持ちになってもらう
・病気療養中だが気分転換に家族と出掛けて楽しみたい
家族との絆を大切にしたい共に過したい
今までお世話になった人達に、お礼を言いたい。
温泉に入りたい。
68才、コミュニケーションは意志伝達装置を利用
前向き、暗くならない 優しくなれる 自分の状態を受けいられる
・妻や長男夫婦、親戚と1泊2日の温泉旅行に行ってだんらんの時間を持ちたい・ゆっくりと温泉に入りたい
温泉旅行に行きたい 温泉に入りたい>意欲有
車椅子等はどうか確認
家族員の構成は？移動、移乗にどのくらいの介ゴを要するか？
建築にたずさわって来てその興味大。思うようにいかないと頑固になってしまう 妻以外の人に介護を特に排泄の世話をさせない。
参加したいな、意欲あり
コミュニケーション意志伝達装置で本人の意志伝達が大丈夫であるか（入浴時、車内、旅館等）
意思伝達装置を利用。
サービスの受けいれ経験
親戚との関わりが、多くもてないと思っている。・身体の状態が落ちついている間に旅行や他者の関わりを持っていたい
温泉に入りたい。安全に入浴したい。
がんばり屋。温泉にゆっくりつかりたいが、介助してもらっている人たちもゆっくりできるようにしたい。
無理をせず途中で体調が悪くなった時はやめて帰る。
家族の負担をかけないか
久々に親戚にあい、温泉に入ることが新たな活力を生みだすことにつながる
親戚たちと会って楽しい時間をすごしたい温泉に入り全身をあたためリラックスしたい迷惑がかからないようにしたい
親族の交流に参加したいという意欲身内だけの集まりなので、気楽に参加できる
親戚に迷惑をかけないか心配している
社交的で積極的な性格 好きな温泉に入り親戚との交流を深めていきたい

意思伝達装置を用いて意思を伝える
何回もない親戚一同の集りに参加することはとても喜びである。温泉に入ることも楽しみであり参加したい
・前向きに生きている・冗談が好き。・明るい・ALSと共存生活している。
明るく何事にも参加意欲あり、温泉には入りたい。
・外出が好き。
社会に参加したいという意欲がある
元気なころは旅行や温泉が好きであった
我慢強く前向き・何事も挑戦的である・自分一人では、行くことはできないが周囲の家族や親せきが協力的である。
利用者の生きる意味を知る
・いつも介護してくれる妻に感謝の気持ちを忘れない優しい人柄。・長男夫婦や親戚との関係を大切に思っている。・温泉につき、みんなの笑顔を見て、今後の療養生活が頑張れるという思いがある。
楽しみを増やす。
本人が一番行きたい事を捜す 本人の意志確認が必要
発語機能によるコミュニケーションは困難である。置位のある職業に勢いていた為プライドが高い
物事を楽しめる性格
☆みんなと旅行に行き温泉に入りたい。
意思表示はできる温泉に入りたい
・コミュニケーションが図れる。・前向きな考えの持ち主。・自身も楽しみ方を知っている。
寝きり状態であるが「徐々に温泉に入りたい」と意欲がある。#非日常を過ごす事で状態の変化があるかもしれない事をどう受けとめるか
・わがままな性格・プライドが高い
旅行を楽しみとしておりリフレッシュを望んでいる。前向きな姿勢
温泉入浴以外にやりたい事を準備する。
何にでも前向き。
・本人も日々リハビリして温泉に行くことを楽しみにしている。長男夫婦の支えが必要。
「温泉に入りたい」という本人の積極的な意欲がある
以前から温泉旅行は好きで家族とよく行っていた
(事例なしの為、記入不可)
遠慮しがち。
本人が前向きに考えている
几帳面で我慢強い、何事も挑戦的である。
ご本人の性格、生活への意向。*何が強みで、何がエンパワメントを図る上で必要か?最も信頼している人、人生におけるご本人の価値感。
家族との楽しい思い出作りができるように頑張って行ってきたい。
本人の精神的なもの(家族・親戚一同への)
何事にも前向き。まわりには、迷惑をかけるかも知れないが温泉を満喫したい。
今までの仕事、信条、趣味、生きがい、大切にしてきたことや物。
病気の進行への不安で体力の低下、精神的におちこみなどがある、周囲で支え、はげましていく。
性格的に、前向きか?意欲があるか?
温泉が好きでみんなで出掛けるのを楽しみにしている。
安全に温泉に行って、入浴がしたい。
前向きな性格、他者と交流を嫌がらない。会話が成り立たない時がよくある。睡眠薬が効きすぎて日中いねむりをしている事よくあり
・家族の一員として生活して行きたい。・親戚との交流を大事にしたいと思っている。
親戚一同で旅行に行きたい。
ALSの進行が進み、人工呼吸機が必になる前に、家族や親戚と一緒に出かけ思い出を作りたい
意欲的
外出への意欲支援の受入
・とても穏やかで他人への拒否は見られず・とにかく温泉に入りたい。
本人の性格
1、関係者との好感度(過去 現在2、好きなこと きれいなこと3、楽しかった思い出、辛かったこと4、介ゴされていることへの思い5、経済力6、どのように生活したいか…(温泉行ったり、旅にでてみんなと楽しみながらくらしたい)
ALS受けとめているか年齢比較的若い
なるべくみんなに心配かけたくない気持ちが強いが、なんとかして行きたいしそれまでに体力をつけるためのリハビリがしたい。
・妻の介ゴのみではムリ・移動手段、入浴介助・なれない場所での身の回りの介ゴ
楽しく旅行に行きたいが、皆に大変な思いをさせてしまう。

本人の性格と家族との関係いつもと違う環境への適応できる本人の体力
・身体状況は。・ADLはどの程度なのか。
・元々、社交的な性格である。・出来る限り、人とのコミュニケーションを図りたいと考えている。
「旅行に行きたい」と前向きに考えられる
人とのふれあいを大切にしている自分のことを皆に伝えたい交流したり、共生する意欲がある
自分の体に無理があるときにあきらめる決断が出来るか。
・何事にも前向き・明るく人に接することが好き・「にぎやかな場所に行きたい」
何事にも前向きに取り組まれる
温泉に入りたい
食事は自宅での対応と合わせる 大きさや柔らかさ
病気を受け入れることができ、前向きな気持ちになってきた
・68才妻と2人暮らし・定年後は、67才頃まで近くの駐輪場でボランティア活動をしていた。・人の為に役に立つことで喜びを得ていた
・今度、いつ温泉旅行が行けるかわからないので、おもいきり楽しみたい・家の中にいることが多いので、外の空気を吸い、気分転換をしたい・皆と一緒に美味しいものを食べたい
どのようにしてほしいか事前に本人から聞き出す
意欲的
・当日本人意志でCXLになった場合の考慮
・親戚や長男夫婦にめいわくをかけたくない。
68歳。男性、要介護5、既婚、学歴？職歴？
疾患はあるが、できることは積極的に参加したいと意欲的である
意思伝達装置を使いいろいろな人とコミュニケーションをとりたい
親戚と一緒にいるのは楽しい。でも迷惑をかけたくないという意志がある
温泉旅行を、楽しく参加することの喜びを味わえるような関わりを持つ
要介護5、意思伝達装置利用 温泉に入りたい。旅行に参加したい。
・旅行中のことを妻に■■し 文章にして
久しぶりの温泉旅行を楽しみにしている。
・コミュニケーションを取るために意思伝達装置を利用するなど、とても前向きな性格を持たれている。
親戚との良好な関係
・自分の意見をはっきり言われる。
精神面と健康面に対して不安、ではあるが前向きな考えができ、困難なことにとどまることが好きである
・コミュニケーションの取り方・他人に見られる事本人は抵抗がないのか。
発語なく元気がない。家族と一緒に出掛けたいが迷惑がかかると思っている
気力は認めるが体力増強方法を考える
・せつかくの旅行なのでできるだけ皆と行動を共にしたい・介護してくれる妻にも楽しんで欲しい・夜の宴会ではお酒を飲みたい
・できるだけ妻と2人で入浴したい。
・積極的で、何事も挑戦的である。
年令、性別、ライフスタイル、習慣、生育歴、性格など
温泉に入るという目的を持っている。リハビリをする意欲を持っているが無理しがちである。
コミュニケーションが可能。
他者や家族、親族と仲良く関わっている 旅行好き 温泉好き 体重40Kgで小柄 家族で抱き上げて入浴は可能
「体力低下で温泉に入ることができかわからないが、親戚には迷惑かけるが一緒に入りたい」
・60歳代で、ALSが発症してまだやりたい事が沢山あるができなくなってしまった。
家族関係を大切にしている。前向きに何かをしようという意欲がある
本人が楽しめる企画（安心、安全）。要介ゴ5の温泉入浴の安全性を高める。
病状が落ち着いているか。
周囲に迷惑をかけたくないという思いが強かったが、この度ようやく外出に前向きになっている。
・楽しい事が好き・旅行はよく家族で行っていた。妻にものんびりして欲しいとの気持ちがある
本人は人に気を使う性格なので、1泊2日という長い時間とても皆に迷惑をかけているようで…と話すのが回りのサポートもあり思った以上に楽しめたが疲れも大きい。次回は日帰りから初めてもいいなー。体を起こすことは背筋や腹筋などの全身の筋のバランスを保つ協調運動でもありなよりのリハビリテーションとなったであろう。
前向きに生活していこうとする意欲がある。皆と一緒に過ごしていきたいと思ってる。
・長い間、会社の要職を担い働いていたが、15年位前にALS発症。アウトドアが好きだったが、介助なしには外出ができなくなっている。
親せき一同での楽しみをもちたい。温泉に入って、ホッとしたい。
・他者の目があっても公共の場に出ていくことができるか・他者の介助に拒否はないか

・自分の人生に対して積極的・できることは自分でしたいという意欲が強い
・明るい性格・リハビリ等には意欲的
本人の旅行意欲の高さ・家族もしくは外部にどれだけ依存できるか
・妻へ介護の負担をねぎらいたい気持ちが大きいので、長男夫婦にはがんばってもらいたい。妻を休ませてあげたい。
・長男夫婦にきがねはないか・妻の健康状態は良好か・意思伝達はしっかりできるのか
F aへの感謝の気持ちがあり自分なりに、できるだけ頑張りたい。
・できる事はやりたいという意欲がある。・元来旅行好きである。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
自分は全介助なので、どこまで誰が面倒みってくれるのか心配。
・人づきあいのいい人で何事にも積極的に取り組む方である・温泉に入り親戚の方と関わりをもちゆっくりくつろぎたい。
・やりとげたいと思うことは実行に向けて努力する
・生活歴など・本人の性格
遠慮がちで、前に出ない人に迷惑をかけることを好まないで、大浴場へ行けないかも？
人に見られることが嫌であるがひとりになるのも嫌、人と同じように温泉に入り、楽しみたい
真面目、穏やかな性格
・本人温泉が大好きで、親戚付き合いも良好に保つことができている・家族が温泉につき介護から離れゆったりとした時間を持ってもらいたい
・社交的、活動的な性格。
・在宅、生活様式をそのまま、持ち出すにはどうしたら良いか。・不安と、楽しみで複雑な思い。
・外出への意欲がある。・親戚つき合いへの関心がある。
明るく他者に対してやさしい性格親戚同士仲が良く元気な頃はよく旅行と一緒にでかけていた。
実現させる為の本人の気持や周囲への気持の変化有無。不安要素→性格は？…親戚との関係は？
F aだけでは困難なことと考えると、支援者をどの様な人にたのむのか？決めていきたい
・今まで出かける事をおっくうに思っていたが身内ばかりで、気をつかう必要がないので楽しみにしている。
B M I、年令68才、男性（性別）性格、現役時代の職業嗜好品、趣味、出身地
経験、信条、旅行への興味、外出意欲
おんせんばどんな好みか
久々の外泊の為まわりに迷惑をかけないようにしたい。楽しい旅行にしたい。
・性格・長短所
みんなに迷惑をかけてしまう
・温泉に入り、気分転換をしたい・家族や親戚の笑顔に会いたい
障害を持ちながらも家族と共に時間を過ごしたい
みんなと一緒にご飯を食べ話をしたい。
入浴の介助はどうするのか
・温泉の気分を満喫したい。・おいしい料理もにおいて感じ満腹感を味わいたい。・ゆっくりお湯につかりたい。・変った景色を楽しみたい。
・A L Sの為体不自由・長男夫婦同居・介護者65才元気
身体の負担はどうか？本当に温泉に入れるのか？本当に温泉に入りたいのか？→温泉ではなく他の手段で親戚などとのコミュニケーションがとれるのでは？
活動への参加は意欲的
本人の性格や意志を尊重した上で自身が望む旅行のイメージを確認しつついっしょに行く親戚への配慮も忘れない旅行にしたい
他者との交流が好き明るい性格援助の拒否なし
寝たきりの生活からぬけ出すよう努力している
・温泉に入りたいという意欲
意欲的。
・几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的である・親戚へ向けて温泉旅行のしおりを息子といっしょに作っている。・今回は日頃介護してくれている妻にゆっくり休んでもらいたい。
性格〇〇な人
・楽天的な性格で、明るく皆を楽しませるのが好き・趣味の温泉巡りが再びできる喜び・意思伝達装置で家族、親戚にメッセージを伝えたい。
負い目を感じる（他の旅行者、介護者、親戚一同、旅先でお世話になる人、その他）達成感を味わう、生きていることに介護している人、全員で良かった楽しかったと感じる心
自宅もしくは近くの施設での入浴体験が必要■
・病気になる前から旅行は好き・息子夫婦親戚との交流を大切にしている・病気になっても家族親戚の一員として関係を大切にしている。
本人の希望と、家族の理解医療スタッフの協力、経済的な負担。

・我慢している部分があり、ストレスが増す。
温厚な性格で他者との交流を希望している。若い頃より温泉や旅が好きだった。
本人はこの旅行をとっても楽しみにしている。この旅行が最後になるかもしれないという気持ち強い
・家族との交流を楽しみ生きがいとしている。・家族に温泉でゆっくり過ごしてもらいたい
・親戚一同で楽しみたい。・大好きな温泉に入りたい
妻の介護負担が考えられる。
・温泉に入りたい・親戚一同で楽しくすごしたい
・新戚との交流を楽しみにしている・温泉に入ることを楽しみにしている
・チャレンジ精神は十分・温泉に入るためには、家族の負担をかけることにすまなさを感じている
・何がなんでも温泉旅行に行きたい。・旅行も最後になってしまうのではないかと不安・元気な姿を見せてあげたい
・まじめでがまんづよい・かんきょうがかわるし、1泊2日と長時間のため、みんなにめいわくかけたくない
病気になってからも積極的に外出したいと思っている。
いつまで皆と外出できるかわからないので出来るうちは、協力を得て旅行したい。
・外に出ることに意欲的である・行動範囲が限られた生活であり遠出をすることで気分転換や生きていることを実感したい。
・身体的（身長、体重が人並み以上に大きい）ため介護者への負担を考え、気持ちが行かない方向へ進む
親戚の目を気にする
楽しく旅行したい 食事も家族ととりたい
元々旅行は好きだった。特に温泉は好きだ。おいしい物も食べたい
家族、親せきの介助も必要だが利用者の「旅行に行きたい」意欲を高める
・他者に気を遣う性格で遠慮がち・元来、積極的ではないが、この度は「最後の我がまま」と思い旅行に参加
社交的で温泉好き。日常生活上のコミュニケーションはできている。親戚と会うのを楽しみにしている。
・何事にも挑戦的である。・皆に迷惑をかけるがこれが最後の旅行と考えている
外出に対して積極的なのか不安が大きいのか？
・明るく人と話をするのが好きな性格・若い頃はよく旅行に出かけていた・温泉に入りたいと強く希望している。
温泉旅行への参加意欲 温泉への入りたいという気持ち
テレビ、新聞等で社会情報はあり。
できるだけ多くの人々とコミュニケーションを取りたい。温泉にゆっくりつかりたい
久々の温泉 嬉しい反面、不安も 妻も65才なのであまり負担をかけたくない
元々旅行好き。夫婦で温泉旅行によく行った。妻は自分の介護ばかりで旅行にも行っていないので妻にも楽しい思いをしてほしいと思っている。やさしい性格。
68歳
・親族の一員として同じ時間を共有したい。・能動的に取り組む性格
几帳面・環境の整っていない宿泊先での滞在に不安感がある。
・几帳面で我慢強い。・他の人に気をつかうが、他人との交流は好きな方である。
・座位時間・コミュニケーション（意志伝達装置の利用）
どこまで旅行に耐えられるのが自分の体の予測 無事に往復できれば今後の生活の楽しみがふえる
・家族への気遣い・意欲低下・世間的な体裁・夫父親としてのプライド
親戚一同の旅行は最後かもしれない…との思い。
自分をもっている何でもチャレンジしたい
・性格・主■
・積極的、肯定的な考えの持ち主・親戚の人々に会えるのを楽しみにしている。
68歳・几帳面で、我慢強い。やさしい一面もある。・自然が好きである。・妻とゆっくり休養をとりたい。
親戚一同で集まることもあり、久々に温泉に入りたい。
・プライドが高く、あまり、他者の介助を受けたくない。
・温泉や旅行への意欲
・Bed上生活・外出する機会を喜びとしている。・温泉が大好き
コミュニケーションが難しく、自らの訴えをすぐに伝えられない。
・病に対して開き直って他人の力を借りる事に積極的
親戚や家族と共に一緒に温泉に行きたいと考える本人の意欲
・とても人あたりがいいが、頑固なところもある。・自分で、「こう」と思ったら突き進むタイプ・社交的で、人と話をするのが好きである
「温泉に行きたい」と意欲がある。
・行動力がある。・頑張り屋
親戚たちと、昔の話や家族のことなど、話しをしたい。
親戚一同の参加で楽しめる場であろうが、自分が参加する事で、水をさす結果にならないか不安。
何にでも挑戦しようという気持ちが前向きである。

温泉旅行に参加し、久々に温泉に入りたい。現状を受け入れにくく自己主張が強い 妻、長男夫婦に依頼できる関係
意欲など
・会話不能だが自分の考えはしっかり持っている・できるだけ外出したいという積極的な性格である。・「親戚の人達と意志伝達装置を使い、感謝の気持ちも伝えたい」
みんなと楽しみたい（親せき）
・援助の受け入れ。
何事にも積極的な性格だが周囲へ配慮ができ、わがままではない
68歳要介護5 意志伝達装置を使用
1. 気力2. 体力3. リフレッシュ
久しぶりの交流がスムーズにできる
積極的な意志を尊重する
・以前行っていた旅館（ホテル）に兄弟家族自分家族と一緒にすごすことができることを楽しみにしている・苦しくなることの不安があるが、元気な自分をみせ不安はいらない
68歳男性。
・みんなで行くことをたのしみにしている・温泉に入りたいと希望している
・人とコミュニケーションをとろうという意欲がある。・助けを借りながら、親戚や長男と共に温泉に入りたい。
68才要介護5
久しぶりにみんなと温泉に行き会えるのが楽しみだ。出来れば温泉にも入りたい。妻にはあまり負担はかけたくない。
・家族や親戚に迷惑をかけたくないと思っている。
？
ADL低下。旅行に行きたい意欲はある。
久しぶりに親戚一同で会える事を楽しみにしている。
・家族も考えて親戚との交流を深め協力体制を作りたい・妻も気分転換をしてほしい
外出への意欲あり
明るい性格。軽登山、散歩を楽しみ、よく歩いた 妻の留守中に2階の寝室から1階に1人で降りて来るので妻に叱られる。妻への依存心が高く、自己中心の面がある
・本人の性格。・本人の思い。
自分で出来ることは数少ないが人の助けをかりて、温泉旅行をしたい
・意欲的な面あり、皆の援助が必要だが、それで実現できるなら是非とも、皆に協力をお願いしたい
自分も参加することで、主介護者である妻も、温泉旅行を楽しませてあげたい。長男夫婦や親戚の手をかりながら。
身体は動かせなくなってきているが気持ちは病気になる前と変わらない。
久しぶりに外出する事を楽しみにしている。親戚一同に元気でいる事を見せてやりたい
・人づきあいが好きで、病気だからといって行事に参加しないことはない考えをもつ。
生真面目な会社人間、妻と海外旅行したいと考えていた。孫の顔が見たい。
スキル、知識、経験、情熱、信条など
・温泉に入ることは久々で、参加したい。・コミュニケーションがうまくとれるか心配。・食事をどうするか
・新しい活動への意欲。・穏やかな性格
・妻を大切に思い、感謝の気持ちを常時伝えている。・親戚付き合いも良好。
・コミュニケーション（意思伝達装置）の確保。・温泉旅行に行き、温泉に入りたいとの意欲を尊重。
温泉好きだった。
・割に、家族や親族以外に対し気兼ねするタイプで、あまり多くの人の目には、さらされたくない。
久々に旅行に参加し温泉に入りたい。
・何事も積極的である・可能な内に外出を楽しみたい・回りの支援体制は整っているか
コミュニケーションでの意思伝達装置を利用しながらなので、伝達に時間がかかる。自分の意思が伝えられず本人がストレスを感じない様支援
コミュニケーション 意思伝達
前向き。遠慮しすぎず、周囲に協力を求めることができる。
・前向きで明るい性格、社交的・皆に好かれている
・旅行好き・温泉好き・親戚とはしばらく会っていない。・温泉に入りたい。
本人の努力はかなりいる
コミュニケーションは意志伝達装置。
・本人の性格。・経済状況
体の状態が良くなくても意欲的で行動的である。
自分だけでなく、家族も楽しんでほしい。
父として威厳があり、子供達から尊敬されていた。意思伝達装置を利用して、自分のしたい事を伝えたい。
久々に温泉に入りたいという意欲がある。

親戚とコミュニケーションがスムーズに図れるように伝達装置を使いこなす。
・長男夫婦に負担をかけたくないと考えている・妻には言いやすいが妻も若くないので体が心配
・久々に温泉に入りたい・親戚一同で行く楽しみ。
温泉に入りたい
本人の思いを第1に考え目標を持たず事で、やる気を出さず
A L Cの為に、何事にも制限を受ける。
・温泉に行くことに対応できるよう心身ともに元気で過ごす。
おだやかである。
家族で行く旅行を楽しみにしている。
社会的である。意思伝達装置も使いこなし、■者会■にも参加している
人と接することが好きで、旅行が大好きであった。
家族との交流を図りたい
本人の性格がつかめないが、外に出たい意欲と妻への感しゃがある。
・温泉に入りたいという気持ち
年齢的には比較的若く、コミュニケーションが意志伝達装置にて行なえる。
温泉旅行を楽しみたい。
・意思伝達装置など、外観的なていさい。
・前向きであり、実現できるようになりたい・皆で旅行が楽しい
コミュニケーションはとれるので、家族の一員としての参加が本人の意欲やよろこびにつながる
自分の現在の様子をちゃんと把握している。それゆえのはがゆさをいつも感じている
・家族への遠りよ
・長男夫婦に遠慮している・妻を気づかっている
明るい性格で、親せきみんなから好かれている。意思伝達装置を利用し、久しぶりに会うみんなとコミュニケーションを十分とりたい。
難病でも、前向きに挑戦する事で仲間に明るい展望を持つことが出来る。親族の気持、協力等を知らしめる事が出来る。
周囲に迷惑をかけたくないと考えている。
本人は意思伝達装置をつけているので意思疎通に気をつける。A L S等により体力低下があるので健康面に気をつける。
?
・久しぶりに会う親せきの人たちとコミュニケーションをはかりたい。
・〇〇したいと言う本人の意志の強さ・コミュニケーションは意思伝達装置を使い自分の意思を伝える事が出来る。
A L S、ワープロ、要介護5、身障1級、人工呼吸器装着。
情熱、信条、知識、経験、スキルなど
入浴が大好き。にぎやかに暮らしたい。妻だけに介護をさせたくない。
親戚の手前、一家の長として見栄をはりたい
体力面の可■(入浴) 人との交流が積極的 温泉が好き
本人が不安なく、安心して1泊過ごすことができるようにしたい。
コミュニケーションかとれず一緒に行ってくれる方々がいやな思いをしないか?
本人の行えるレベル 必要な介ゴの判断
主介護者の妻に、手間をかけてしまう事になり親戚との集いで、妻がゆっくりとできないのでは、ないか。
温泉に入りたいという思いをかなえてあげたい
男68才 今なら行けそう。ゆっくり温泉でつかってきたい。楽天的で性格は前向き(本人よりも妻が心配症)妻以外の介ゴには少し不安もある
・外出して楽しみを見つけない(今回は温泉)
無理のないように、本人の意向に添えるように対応する。
夜間の体位変換の介助、ふだん介護場面にいない親戚の人たちへの気使い、排泄介助。
・自分の思いを他に伝えることができる
現在の身体状況を受け入れている
年齢68才
久々に温泉に入りたい
以前はよく外出でき、温泉も入りにいったのになんでこんな体になってしまったのか、とふがいなさを感じてしまっている。
生きがいが持てない。
家族だんらんを大切にしたい、温泉に入りたい等意欲的
温泉に入りたい
・温泉に入りたい。・意欲
前向き。
・我慢強い・意欲の向上・本人は温泉に行けないと決めつけている。

68才男性 知識経験、趣味、e t c 考え方。
親戚一同、家族の介護、協力が可能。久びさに温泉に入りたい。
意思伝達装置でコミュニケーションがとれる。
・みんなで外出できる機会なのでぜひ、参加したい。
外出への興味 家族のキズナ 生きる楽しみ
意志の伝達力 移動に耐えられる体力
生真面目な人で、何ごとにも積極的に取り組むタイプなので少しの援助をしてあげることで温泉旅行を楽しむ。
楽しく過ごしたい。あまり迷或をかけたくない。
好奇心旺盛。何事にも挑戦的である 親戚の皆さんに一言お礼の気持ちを伝えたい
とても家族だけでは、実現できない 父親の願いをかなえてあげたい。
近隣や親戚とも付き合いが良い。
・何事にも挑戦的・親せき一同との時間をもち、家族親せきを大事に想っている
伝達装置を使って、意思表示は可能で『温泉に入りたい』と前向きな活動希望がある。
・障害はあるが、チャレンジしてみようという気持ちを持っている。・周りの人たちの手間と労力を申し分けなく思っている。いつも気をつけている。
・何事にも積極的に行なう。
キーパソンの妻と同居の長男夫婦への信頼感が大→一緒に宿泊付の温泉旅行へ行きたい気持ちにつながる。
頑固、危険認識がない
1泊旅行をする為の目標に対して現実化できる気力、体力をそれまでの日定で養わないたい。
温泉に入りたい。親戚の皆さんにあいたい。
久々に温泉に行きたいと意欲がある。
・生活を楽しむ意欲が高い
人との交流がすき。昔からよく旅行していた。
温泉旅行を楽しみにしている。上手く、コミュニケーションがとれるか、心配はある。入浴にも少し不安はあるが、入りたい。
性格、生活歴 障害についての意識
温泉に入りたいという希望・意欲がある。
病気のことで遠慮して家族にあまり要望を出さないが、今回は希望がはっきりしている。あまり他の人に迷惑をかけないように温泉に入りたい。(家族風呂利用)
旅行へ行きたい。家族も楽しめる旅行にしたい。自分が行く事で負担はないか心配
・性格は穏やか、がまん強い。・家族や介護者とはメッセージボードを使用し、コミュニケーションを取ることができる。・物事に対して、知識を得たいと望んでいる。
体調には気をつけ、絶対に参加する気持ちで望み、逢える場面を想像し、皆んの顔が見たい。
人の手をかりて温泉に入りたい。
・几帳面・我慢強い。・家族だけでは泊りの温泉旅行には行けない。親戚にも助けてもらい思い出に残る楽しい旅にしたい。
コミュニケーションは、意図伝達装置 親戚一同との旅行を楽しみにしている
農業営んでおり仕事のみで趣味も何もっておらずたのしみが無い
・意思伝達装置が使える能力・旅行に行きたい、温泉に入りたいという意欲
・温泉に入りたいという気持ち
・積極的にコミュニケーションをとろうとする。・社会参加にも積極的である。・妻の介護が得られる。
アクティブな性格である。
本人の体力が保てるか。入浴(温■
どんな性格か。
・家族に対しての思いを温泉旅行としての形に迷惑を掛けても、過ごす時間を大切にしている・旅行へのスケジュール(プラン)等を本人と話し合い作成を行う。
・意欲的・興味
・「妻への感謝の気持ちを表したい。」
親戚に会って、温泉に入りたいと強く願う。急変しないか不安である。
几帳面。
几帳面で我慢強い。
・人と接することに積極的である。・装置を使って会話したい。・温泉に入りたい。
温泉に入りたい気持ちがありそこを重点におきたい。
・人にはみられたくない。・意欲低下(ネガティブな■動)あり。しかし満足すると笑顔あり(介護、看護)
何事にも挑戦する意欲がある。親戚づきあいを大切に、普段から手紙や電話などでも交流がある。親戚の方には日頃お世話になっているのでゆっくり会ってお礼を言いたい
・病気に対するとらえ方。・生き方・考え方。
・妻以外の介護を拒否。

長年勤めてた会社の人とも今でもつきあっている 穏やかで皆から愛され部下からもしたわられていた 同居している長男夫婦には特に感謝の言葉を手紙にして差しだす。
・出来る事は自分でしたい。・あきらめていた旅行が、親せき一同と出来る、温泉にも入れるので、ぜひ、今後もつづけられる様にしたい。
入浴好き。温泉と自宅風呂の湯温の差を考慮し、皆に迷惑をかけるが温泉に入りたい。
外出に意欲がでている。
なんでもポジティブに取り組む性格
とても家族を大切にし、生活してきた事の思い出づくりの温泉旅行にしたいと思っている。
・介護者である妻に頼り、神経質な面がある。・世話になりながらも旅行に参加し温泉に入りたい。
68才で介護保険が優先されるが、重度障害者用意思伝達装置を利用。長男夫婦と在宅生活を送っている。久々に温泉に旅行したい。
自分の状態を受け入れ、動かせる所は動かし、介護を要する所はお願いし、家族とのやりとりも良好である。
親せきと自分を較べてしまわないか。
A L S 68才男性、コミュニケーションは意思伝達装置で可
家族と参加したい。親せきと参加したい。
発病する前はよく妻・子供と温泉に行っていた。
・世話好きで優しい性格。・親戚の中では頼れる存在
・体力はもつのか？・環境の変化により、体調を崩さないか。
・温泉に入りたい。・気分転換したい。・旅行後に今回の旅行日誌など書きたい（又家族への感謝の手紙を書きたい）。・みんなにありがとうと言いたい。
どのような性格の人（？）
自分でできることは対応しようとする意欲はある。
コミュニケーションは伝達装置をつかい可能。温泉に行きたいと言う意欲あり。
たまには親戚とたのしく旅行したい。温泉にも入りたいと前向きに考えられる。
普段から皆に大切にされている。迷惑をかけたくはないが、皆が協力してくれて行かれるようになりとても嬉しい。
・寝たきりで介助がないと外出（旅行）できない
久々の温泉で楽しみにしている
・何事にも意欲的・家族だけでは成就できない
介護5 68才 男 趣味
・68才という年齢で男性なので男性の付添いを増やし確保する 本人が安心できるように計う
・元公務員・面倒見が良く、近所からも頼られる存在であった・何事にも挑戦的である。
・意思伝達装置を利用してでもしっかり自分の意志を伝えたい。温泉に入りたい意志をまわりに伝えている
自分が行く事で家族にとっても楽しみとなっている旅行を負担にならないように、願う。
前向き ヘルパー等介入可
・コミュニケーションは可能。・妻への依存が高い。
・人との交流が好きで社交的。・他にも行きたい所がある。
意思はかなりある。意思伝達することは可能だが疲れが出ないように温泉を楽しみたい。
親せきにたのめるか、なるべくたのみたくない、か？
・外泊にて温泉への楽しみありコミュニケーションは、日常の表情でも分かりあえるのではないかなと思う
・他者との関わりを好む。・意欲が高く、参加活動に積極的に取り組みたい。
・本人68才
・68才と若い。・温泉旅行に参加したい。・温泉に入りたい。・親戚一同に会いたい。
おおらか、話し好きであった。人の輪の中心にいることを好んでいた。
意欲的である
温泉旅行で温泉にはいりたい。
気分の落ち込み。病気に対する不安。
コミュニケーションの維持により、身体、環境の良、不良を伝えることが出来る。
年齢68才 温泉が好き
1人だけ特別な浴そうではなく、皆と一緒に浴そうに入りたいと強く思っている。
・他の人たちの協力なしでは、外出もできないが協力してもらって参加できるのであれば温泉に入ってみんなとゆっくりしたい
・迷惑をかけても温泉に入れないなら行きたくないという頑固者。
できることは、最大限支援したい。
A L S
・意思伝達装置による意思疎通が可能・身障手帳の有無
・外に出たい意欲
温泉に入りたいという希望

外出には他者の介助必要 閉じこもりがちになりやす
温泉に入れる事をとて楽しみにしている
・本人の性格
できるだけ残存能力をいかしてイベントには参加したい。健常者と同じ体験がしたい。皆なにより心配をかけたくない
意欲的で前向きな姿勢
病気は直らないが気持は明るくなる。
コミュニケーションに意思伝達装置。在宅療養者
・几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的である。・「とても自分達だけでは成就しない。
・年齢68歳。・要介護度5。・長男夫婦と同居。・コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・几帳面でしっかり者。自分でできる事はするタイプ。一泊旅行に際し、周りへの負担を気にしている
前向きに生活できている。親戚とのコミュニケーションがとれている。昔から温泉が好きである。
・積極的にコミュニケーション機器を利用。・人工呼吸器はつけない。・胃ろうもしたくない。家で死にたい。
68才
家族に遠慮があり、強く言えない
温泉がすき
目標に向けて努力するまじめな性格。明るく前向き。
温泉に行きたい。入浴したい。
・体は自分では動かせないが自分の意志はしっかり伝えたい。・なつかしい毎日では話したりする事の出来ない人達とゆっくり会話を楽しみたい
しんせきとはだれを呼ぶのか。
・何ごとにもトライすることが大好きだが、ちゃんと準備をしておきたい性格。・日常世話してくれている妻や長男夫婦にもゆっくりしてもらいたいと思っている。
前向きな性格である
淋しがりやで家族との交流を持ちたいが義息子夫婦は多忙の為コミュニケーション不足
「やりたい」気持ちが旺盛である。「温泉にゆっくり入って手足を伸ばしたい。露天風呂に入りたい」
身内とのつながりを大切に思っている妻も、介護ばかりで大変なので、たまには温泉に入れてやりたいと思っている。
温泉には、行けないと思っていたが、……。
移乗や移動には多くの手がかかる為、男性の協力者を集める。
・意志がはっきりしていてがんこである。
・進行する病気を受け入れたくない。・気分の変動や落ちこみがある。・妻への暴言や拒否。・気まじめな性格。他者とはあまり交流したくない。・歌番組が好き。以前カラオケ好きだった
意欲的、感謝の気持あり。
温泉に入りたい。
体が不自由になっても交流は続けていきたい。以前から温泉が大好きだった。
・本人は風呂好き。元気な時も親せきの人たちと温泉旅行していた。可能なら、一緒についていき温泉に入りたい。
・忍耐力があり、努力家。・「介護してくれる妻と息子に温泉に入ってもらって労を労らいたい。自分との旅行の思い出をつくりたい。」
温泉に行きたいというように生活に意欲的である
・前向きであり、強くない主張せず我慢強い方。・日ごろの家族の介助負担をねぎらいたいと考えている。
絵をかくのがしゅみ 口に絵ふでをもって作品をつくっている。
・意欲的であり、温泉好きである。
・社交的な性格で、友人や親せき付き合いも多い。・今までもよく親せきで外出する事が多かったのもたまたま一緒に出かけたい。
家族と一緒に温泉旅行に行きたい。
・旅館のお風呂に入りたい。・入浴に伴う行為は衣類の脱着 e t c は家族に依頼したい。・妻を温泉に入れてあげたい。
旅行がしたいという思い 親戚の一員でありたいという思い
性格明朗 チャレンジ精神旺盛
・発病までは、積極的であったが、病気が悪化するにしたがって閉じ込めがちになっている。・この旅行がきっかけで生活を変えて行けるか悩んでいる。
A L S で、介助なしでは生活できない姿を見られたくない。
・久しぶりに会う親戚までもあまり迷惑をかけたくない。付き添いの妻にもせつかく温泉に来たのだから、ゆっくりさせたい。
社交的で交流を楽しみにしている。本人の行きたい温泉など確認。本人と一緒に計画する。
・みんなと一緒に温泉を楽しみたい。
・温泉に入りたいと、意欲的である
本人が積極的で親戚思いである。
意欲はある。こだわりはある。
・ほんとうに温泉に入ることが本人のためなのか。・食せるものがあるのか
・温泉旅行が好き。・皆の協力がなければ旅行や外出が出来ないが、徐々に温泉に入りたい。

A L S
・社会的であり、陽気な性格・久しぶりの親戚一同での旅行なので、問題なく楽しめるよう準備等ががんばっている。
ねたきり
・1泊2日といく期間を親戚の方に支援を受け達成したい。
1. 妻でないと介助を受け入れないときがある 2. 医師の指示には従う
介ゴが必要だが、温泉に入りたい意欲がある
障害を親戚のみなさんに見られたくない半面、みんなと会って話したい気持ちもある。
・何事にも前向きである。
他の親戚への気使いで疲れないか
亡夫が何もかも、やってくれた事を求める、自立の意志はない
・病前から頑張り屋の性格・場面、状況で楽しめる術を持っている
・自分の気持ちを他者に伝えたい。・親戚同志の繋がりを大事にしている。
・親せきや、近所づきあいは良好・外出により気分転換を図りたい・長男夫婦との関係も良好、家族の協力もある、前向きな性格
本人の医療介護所要時間と本人の苦痛となる要素への対応と本人の要望に対して行なえる事を本人にも納得してもらおう。本人の万一の心構え。
・これまで、家から外に出る機会を持たずにいた。・親戚一同での旅行に参加をしてみたいと意欲的になっている。
一泊2日を戸外での生活がしたい。入浴も楽しみたい。妻が、一緒なので安心して外泊を挑戦したい。
自分のことより妻や息子夫婦の事を思いやるやさしい心づかいがある。楽しい思い出として残してやりたい
・温泉が好き・前向き
・何事にも積極的である。・「とても自分達だけでは成就しない。
・頑固、プライド高く、他人に弱みをみせたくない・旅行が好きだった。
・真面目でおとなしい性格・苦手なものを克服しようと努力する「皆に迷惑をかけるようであれば温泉は中止にした方が良い」
年令68歳、A L S、要介ご5
・妻の介助は慣れている・親戚への理解を求める・入浴が可能な体調管理
長男が居る時しか離床訓練ができない
？
温泉に入ることを楽しみにしている。
人とかかわることに意欲的である。外出や旅行もできればしたい。
何事にも参加しようとする意欲がある。
コミュニケーションは意思伝達装置を利用されている。体はとても疲れるのではないか。
意思の伝達出来る
前向きな性格で一度決めたらやりとげるまで行う、努力する。日頃から付き合ってる親戚と交流を深める為に温泉旅行をやり遂げたい。
皆に迷惑をかけないように元気で参加したい
情熱あり 病状（入浴できる状態か）
本人の技術、知識、信条は？
妻は世間体を気にしている 親戚との旅行は本心は行きたくないと思っている コミュニケーションとりにくい
意思伝達装置使用によりコミュニケーションはとれる。外出意欲など生きることへの意欲を感じる。
できれば長男と一緒にゆっくり入浴したい。
コミュニケーションは意思伝達。
・穏やかな性格で、人に好かれるタイプ・障害を持って、新戚と交流は大切にしていきたい。
男性、68歳
・温泉に入りたい・親戚の人と一緒に過ごしたい
前向きである
・病気に負けない精神力があり社会的本人のその意欲を減退させない
・意欲低下・早く死にたいと涙を流す
・気にしすぎる・長男夫婦に迷惑をかけていると心配している。
生活意欲気力はある 旅行に行くという目標がある 自分を受け入れている 他者の支援を受け旅行に行きたいとの思いがある
元気ではあるが頑張りやである。目標の為に日頃から身体を動かし、旅行に備える
・我慢強い・温泉が好きで旅行好き
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
・親戚との関係は良好・温泉でのんびりすごしたい。温泉に入りたい
コミュニケーションは意思伝達装置利用で出来る。家族・親戚が外出させる事に協力出来る体制である。
・健康チェック・服薬介助・ご家族の支援・本人の満足度
コミュニケーションは意志伝達装置を使用。

・言い出したらきかない。・温泉に行けるなら、もう人生おわってもよいと思っている。
温泉旅行に一緒に行きたい、久々に温泉に入りたい。
・一人ではとても無理だけど温泉に入りたいとの強い希望がある
妻から介護をうけたいと思っている。
・外出泊、家族親せきと過ごしたいという意欲の強さ・意志伝達装置を使える・意欲的であるが今後の自分が受けとめていかなければならない疾病の悪化に不安がある。
要介ゴ5
意思伝達装置を利用するので、伝達するまでに時間がかかるが伝達方法を、いろいろ考えみんなが会話する、こえかける。
・お風呂が好きだが、ゆっくり入浴を楽しむ機会がない為、今回温泉をゆっくり楽しみ、安全に旅行を親戚と楽しみたい
・久しぶりに親戚と顔を合わせて話をしたい。・旅行のチャンスが、少なくなる事の不安から、今回のチャンスを逃したくない
家に閉じこもりがちで、本人久しぶりに外出したいと意欲的になっておられる、家族にもゆっくりして欲しいと考えている
本人は明るく人つきあいが好き、天体観測が趣味、チャレンジ精神がある、露天風呂に入って星空を見たい希望がある
ADLは介助が必要だが意欲はある。
・どうしてもそこに行きたい。・皆と一緒にいきたい。・その温泉が一番いい。
意欲がある（温泉へ入りたい）意思伝達装置を利用している
親戚一同と共に旅行に行くことで皆と変わりなくリフレッシュしたい
コミュニケーションを図るため意思装置の利用が必要である。
親せき一同と会いたい、いっしょに参加したい気持ちあり。温泉も入りたい
温泉に入りたい
A L S
プラス思考で企画力がある。
本人が本当に望んでいるサービスを受けられるか
・親類との関わりや外出、温泉入浴を希望されるなど前向きな気持ちを持っている。
性格、生き方、希望、価値観、長男夫婦、介護者の思い
温泉は若いころから好きだったので介護状態になっても是非行ってみたいが親戚とも久々に会ってコミュニケーションをとれる良いチャンスだと思う。
生活機能と障害への内的影響 個人的な特徴の影響力
本人も久しぶりに会う親戚に自分の言葉で話しかけられるように事前に意思伝達装置で伝えたいことを考え復唱している。
久々に家族、親類といっしょに好きな温泉に出かけゆっくりとしたい。
久しぶりの温泉への興味
親戚一同で温泉旅行を楽しみにしている。
家族と共に温泉に行き入りたい
性格もおだやか サービス利用に拒否なし
・温泉に入りたい意欲がある。・妻にゆっくり温泉を味わってもらいたい
現状はどう思っているのか？
情熱はある。家族の一員として当たり前と一緒に旅行をする。
・他の客と一緒に風呂は入りたくない。・家族風呂なら入りたい。
他人の目を気にせず家族風呂にゆっくりつかり、くつろぎたい。
とても頑固。意志を通す人。不安は強いが、プラス志向の人。
旅行や温泉がもともと好き
意欲的であるが、症状を十分受け入れられない。もっと出来るのではないかの思いがある。
家族との楽しい時間を過ごす。
・妻にはいつも世話になっている。この機会に、お礼をしたい。
・大勢で行動となるので前もって、予約が必要となる。・色々な取りまとめ、調整を夫婦でしてみようとする。
話好き。起用。
・「やってみたい」と意欲的だが、手伝うのも当然だと考えている。
・元来明るく、前向きな性格である。・今回の旅行が無事に終わることができたら次回の旅行も計画したい
・外出する機会も少なく閉じこもり気味であったが、今後、外出を増やし、他者とのコミュニケーションをはかりたい。
・旅行と言う生きる楽しみを親戚とあじわいたい
68才、旅行し、温泉に入りたいという意欲示す
何事も思い切りよく決断し、積極的に行動する。
ぎりぎりまでは、自分でしたい。しかし、難病になってしまった事への不安や苦しみがある。あまり外に行きたくない。
・文字ばんを持っていても温泉にいきたい。・親せきとすごすのは久しぶりなので温泉旅行を楽しみたいと思っている。
温泉へ行く事を目標に座位保てる様子ハビリする。
親戚との旅行に久しぶりに参加し温泉に入りたいと意欲的。

・疲労で苛立ちを示すことが時々あり雰囲気は低下させることがある ・皆での写真をたくさんとりたい
積極的前向きな性格「久々に温泉に入りたい」
コミュニケーション能力促進について、伝わりにくいことに気にされている。温泉旅行にいきたいが…自分の障害について、周囲に迷惑をかけるのではないかと感じ
チャレンジ精神がある 介護してくれる人にやさしい 人気物である
要介護5、意思伝達装置をつけている為温泉での入浴には注意がいる
妻に負担をかけずに家族共に楽しみたい 公的資源やボランティアの協力を得て体への負担を少くし温泉を楽しみたい
・長時間の座位が保てるかどうか不安・車での移動が不安・家族と外出はしたい
コミュニケーション装置の持ち込み、事前に、本人希望の聞き取り、体調管理
何事にも積極的、長男でリーダー気質である。
コミュニケーション能力あり、ふだんから「こうしてほしい」の表現は上手。
・几帳面で、我慢強い。何事にも挑戦的である。・昔から、温泉が好きであった。
・何事にも意欲的である。・家族親戚との関係が良好である。
・性格は穏やかな分、人に好かれる。・妻に対して常に感謝の心で接している。・常に前向きな性格が良く出ている。
・障害の受け入れができています。・コミュニケーションができています。・妻の介護を受けいれ感謝している。
外に出たい。
自宅から外に出ることはほとんどなく、気持ちの変動がみられる。
人と会話することや楽しい時間を過ごすのが好き。頑張り屋。時々、気分が落ち込む。
久しぶりに温泉に入りたい
温泉旅行という非日常的な計画を実現させたいと意欲的である
出来るだけ、親戚の人と会って、お礼の言葉を伝えたい。思い出話をした。長男のことをみなに紹介しておきたい。温泉には出来れば、ゆっくりつかりたい。
・几帳面で我慢強い。・「妻一人の力では入浴できないので、他の人の力をかりて温泉に入りたい。」
・外出好きだったのが部屋で過ごすことが多くなりストレスとなっている。・会話ができなく装置を利用しても時間がかかりもどかしい
親戚の人とのふれあい、温泉旅行に参加する事で、皆に迷惑かかるけど一員として、自覚したい。
何でもやろうと挑戦的である
問題行動等はないか
・性格は明るく人づき合いがよい。・積極的に意思伝達装置を使い、コミュニケーションをとっている。誰にでもヘルプを求める事ができる。
参加しようとする意欲と温泉に入りたい意識と
胃ろう造設に同意し入院するもその後拒否し退院となる。考えが一定しない
温泉に入るのが好き
本人温泉に入りたい気持ちが強いのか
・元々社交的だった。・明るい性格。
・本人のモチベーションなど・（生活等への）
温泉に入り、親戚一同で楽しみたい
・人との交流が好きだ・外出する事に対しても意欲的だ・温泉に入りたいと思うほど何事にも挑戦的だ
意思是伝達装置で伝えてはいるものの、毎日がたんたと過ぎて、楽しみもなく意欲にかけてきている
温和で話し好きである。温泉大好き。気持ち良く入ってもらいたい。
・几帳面で我慢強い。何ごとにも前向き・温泉でゆっくりしたい・親せきとの会話も楽しみたい
障害を持っていても今までのように人づき合いをしたい
・家族との旅行を楽しみたい・久しぶりに温泉に入りたい
親戚の集まる席に出席するというのは最後になるかもしれない。皆の顔をよく見ておきたい。
・意欲向上・目標がある
仕事を辞め、これからあちこち行きたいと思っていた本人にとって最後のチャンスになるかもと温泉旅行はとても楽しみ
・社交性に富んでおり、何事にも積極的である
全身の筋麻痺があるが、皆と外出する意欲がある。社交的である・楽しみにしていると（周囲の人達にことを以前より言っている）
・久々に温泉に入りたい。
・前向きな意志あり。・他者との交流がしたいとの本人の強い意志あり。
・前向きな姿勢・68歳・男性
長男夫婦や妻の支援がないと入浴はできないが、一緒に楽しみたい
几帳面で我慢強い 何事にも挑戦的である
・活動的である。家族のつながりを大切にする。・「なるべく家族に負担を掛けずに温泉旅行を一緒に楽しみたい」
経験、信条
妻や長男夫婦に迷惑をかけたくないのでコミュニケーション能力を高めておく。

自宅にだけいるので親戚の方と一緒に話をしたり大好きな温泉を楽しみたい
・遠慮がちである。気兼ねが強い。
コミュニケーション可（意思伝達装置による） 温泉に入りたい。親戚一同の集まり、旅行に参加したい。
外出でさえ困難な状況で旅行に行ける事の楽しみは大きい、後の疲労感、それにより夜症の通行は？
温泉に入りたいという思い
温泉に行きたい、との希望があり、生活意欲がある
長男夫婦と同居しており、妻以外にも介護の手がある
・元々温泉が好き。 ・お金は特に制限なし。
何ごとにも挑戦的に取り組むので気分転換により生きがいとなる
にぎやかなことが好きな性格である
・内気でおとなしい。 ・一人で温泉に入れない。妻に頼むわけにはいかない
息子夫婦、妻にできるだけ負担を掛けないようにしたい。
・意思伝達装置でコミュニケーションが出来る
温泉に入りたいと希望している。おふろに入れたら良いな。
実際の温泉旅館での排泄、食事、ベッド、温泉入浴時の利用状況など詳細の情報収集が必要となる。
・体力的に1時間以上も乗り物に乗っているのが心配 ・心配しよう
ネットを通しての社会参加への意欲
ネットで情報収集
温泉旅行に久しぶりに参加し、温泉に入りたい
・話好きである。 ・親せき、長男夫婦の協力は得られるか ・温泉が好きである。 ・妻と二人でゆっくりしたい。
几帳面で我慢強い。もともと社交的で旅行好きでもありドライブをよくしていた。
・自分の意思伝達はできるか、相手にきちんと伝わるかが不安
・家族への信頼 ・外出への意欲
言い出したらきかない頑固者。温泉大好き人間で、若い時から温泉めぐりをしていた。
家族や親戚に対し、せつかくの旅行なのに自分の介護で負担をかけてしまうのではという思いがある。 逆にいろんな人に迷惑、負担をかけてしまうのでは。
旅行に参加したいという思い
・温泉に入りたい ・親戚との時間を楽しみにしている ・自分の事わかって欲しい
呼吸器装置で声が出ないが、意思伝達装置を使って家族と話をしたい たまには、親戚と会って交流したい。体が動かず、身体が辛い、温泉に入ったら気持ち良いだろうな。
家族・親戚との関係は良好 新しい生活・新しい体験にも積極的に立ち向かう性格である。
・会話不可 コミュニケーションはまばたきによる ・几帳面、きれい好き（本人・妻）
参加への意欲
・頑張りやで弱音は言わない ・皆にささえられ、久々に大きなお風呂に入ることができる。
遠慮。
・挑戦的で心、やさしい方である。 ・妻への感謝。 ・家族の1人として、楽しい時間をすごしたい。
A L S、要介護5 A D Lは介助が必要。 温泉旅行に参加し、温泉に入りたいという思いがある。
知識、経験、情熱、信条
・頑固で何ごとともやると決めたらやりとおす。 ・「出来れば、親戚と一緒に温泉に入りたい」と思っている。（ヘルパーの協力を得ながら） ・にぎやかなことが好きである。
コミュニケーションが取りにくいが多く親戚と交流したい
社交的である。意欲的である。「家族、親戚にあまり負担をかけたくない」
前向きな考えの人あえて人の中に行く。以前から温泉は好んでいた。旅行も好きである。妻とは愛情を持ち家族を支えてきた妻と長男夫婦へ感謝の気持ちを伝えたい
積極的に何事にも参加したい
本人の意向が事例の中だけでは読み取れない。
我まん強い。人に迷惑をかけることが申し訳ないと感じている。性格は穏やか。
みんなに迷惑をかけるだろうが、一度は温泉に行くことができたら良い。妻に苦勞をかけているので、妻も楽しい時間を過ごすことができれば良い。
社交的、人気がある。親戚の中でいちばん支える力があつた。自分の姿をみなにみてほしい
妻への依存心が強い。妻の負担を軽減させてあげる。楽観的でいつも明るい表情に見える。
入浴の際のコミュニケーションをどうやってとるか 何を楽しみ リスクをどこまで承知しているか？
種々の障害があっても周囲の協力を感謝し、可能なことに挑戦したい。
人と交流することが好き。自分で出来ることは人の手を借りず、なるべく自分でやりたい。「温泉の中まで妻は付そえないので、自分が入浴する際は長男にも手伝って貰いたい」
何事にも前向きである。
身体はしんどいが旅行に参加したい。

なるべく快適にすごせるように体調、気温にも気をくばり無理のない場所には一緒に行く。いつも介護してくれる妻にも楽しんでもらいたい。
お世話になっている家族や親戚たちにお礼を言いたい
温泉に久しぶりに親せき一同で旅行したいという意欲がある。
何事にも前向きな性格。出来るだけ皆に迷惑をかけたくないと思う。Pも久々なので温泉に入りたい
ホジティブ
妻だけの介護ではムリがある。食事のメニューは、大丈夫か？新戚に迷わくかからないか？
親戚との仲が良く。昔からよく旅行にいていた。「昔から旅行は自分が幹事を行っていた。旅行の企画はまかせてほしい。」
外出先で多くの人と会うことで低抗はないが、同行する人の負担を考えている。
遠慮がちでひきこもることよりも他人への感謝と周囲が自然とよってくる人徳がある。
楽しいことが好きで陽気である。「皆にあまり迷惑をかけないように一緒に楽しみたい」
・自宅のベッド上で過ごす事が生活の大半を占めている。生きる事への楽しみを味わいたい
意思伝達装置でコミュニケーション
本人の意志をどこまで尊重できるか。本人の希望を確認
・家族と共に過したい ・好みの食事をとりたい
・親戚一同と1泊2日の温泉旅行に参加したい ・久々に温泉に入りたい ・意思伝達装置を利用してコミュニケーションがとれる
・家族と一緒に過ごしたい ・積極的である
1泊2日の温泉旅行に行き、温泉につかり、久しぶりにリラックスしたい。
・何事にも挑戦的であるが我慢し過ぎるところがある。
・意思伝達は装置を使用し可能 ・主介護者の妻と一緒にいる ・楽しみにしている
・親戚一同と温泉旅行に行きたいという前向きな希望
親せき一同、食事をしたり温泉にはいたり楽しみたい
・意思伝達装置を利用して話す事ができる。 ・親戚と一緒に久しぶりなので話しをしたい。
久しぶりに温泉に入りたいと思っている
どこまで、手伝いをうけるか？
・性格、社会性 ・親戚の人数、関係
・風呂が好き ・意欲的である ・家族の一員として一緒に過ごせる時間、思い出作りがしたい
援助者もゆっくりくつろいでもらえる工夫
・親戚一同に会いたい。温泉に入りたい。意欲的、前向きな性格
68才、男性
温泉を楽しみにしている（久々の参加の為）
家族、親戚を大切に思っている
・普段はあまりわがままを言わない 遠慮がち
友人の面会あり、笑顔ある。近隣の人の面会もある。ネガティブ要素はない
・温和で真地面な性格、家族、親類を大事にしている。
・几帳面で我慢強い。家族に心配かけさせないように気をつかい逆に無理をしてしまう。
68歳、妻が介護者。ALSの持病あり 意思伝達は装置を利用
几帳面で前向きな性格で、よく親戚の面倒をみていた。
68才男性
・現在不安なところはないか？ ・こまり事はないか？
温泉旅行に行きたい。生活暦 趣味 信条
1人では温泉に入れない
何ごとにも挑戦的で前向きである。
旅行への意欲向上
何に対しても努力家 今でも家族の為にできる事をしていきたい
・温和な方でありこちらからの指示に抵抗はみられない
・家族想いで一緒に楽しく過ごしたいという思いが強い ・親戚にも協力してもらい温泉旅行を成し遂げたい
長時間の移動が不安
久々の旅行を楽しみにしている。
・ゆっくり温泉に入りたい、できれば家族と一緒に入りたい
・町議会の議員する等、要職についていた為プライドは高い ・家族の介護負担に気使いをし、家族と生活できる事をよりどころとしている
・がまん強い 病気の事を少しづつ理解され、「可能なうちに温泉に行きたい」と思っている ・「温泉に行くことで自身をつけたい」
セルフネグレスト 疾患等がある 「自分の世話が出来ない」

几帳面で責任感が強い。
・K5のため、活動範囲に制限する
動かないところはたくさんあるが、本人の意思意欲がしっかりある。
意思伝達能力。意向を実現するための意欲
外出・他者との交流など意欲がみられる
会話が言葉で話せない 長男夫婦に気を使ってしまう
・生きる行為全てに渡り助けが必要 ・親族の一員として旅行に参加して、温泉につかりたい
・これまで外に出る気持ちになれずにいたが、久々温泉に入りたいという気持ちが外に向いた。意欲が出た。
旅行への参加希望がある
性格明るく、前向きである。親戚つき合いを大切にしている。
・本人の性格 ・本人の意向、不安点
・本人は社会的で何事にも前向きの取り組む性格。・日頃介護をしている嫁にゆっくりしてもらいたい。・長男夫婦や親戚がどの程度の介護ができるのか。
・自分にできることは他者の手をかりず行いたい。・家族と楽しく暮らしていきたい。・夜間はできるだけ夫を起こさずやすませてあげたい。・進行のはやい病気なので不安がいつでもある。
何事にも前向きで意欲がある。温泉が大好き、旅行大好き、家族、親戚を大事にする人
意欲的で前向きである。皆んなに手伝ってもらいながら入浴し、旅行を楽しみたい。
・自身の疾患のついて受け入れ、前向きな性格であるが周囲に気づかう面が多々みうけられる
・人との交流にストレスを感じないか？長時間の為疲労も多く感じられる。
親戚に対する体裁を保ちたい
・疾患はあっても、できるだけ自分らしく生活して行きたいと思っている。・性格は温厚で人の受け入れも可
本人の性格 温泉旅行への参加を希望している
・身体は動かず、コミュニケーションも困難であるが、何事にも意欲的である。・入浴法を検討、援助を受け温泉に入りたい。
温泉に入りたいという個人の希望を尊重し、温泉の種類についての希望などを問う
・几帳面で我慢強い ・自分の意思を曲げない ・少々の体調不良でも温泉旅行を行いたい
病気が発症するまで妻と絵を描く共通の趣味があった為、美しい景色や絵を鑑賞することが好き。温泉も楽しみだが、海、山の風景を見ることができ楽しみにしている。
・明るいが、神経質な一面がある。 ・障害は受け入れている
・病気によりひきこもりはなく外出等外に出る意欲あり ・意思伝達装置を利用してコミュニケーションを図ろうとする前向きさが見られる。
・皆に協力してもらい楽しい時間をすごしたい。 ・思うように気持ちが伝えられない。
・本人は温厚な性格。長男夫婦に感謝している。「わがままだと思うが、皆の協力を得て天然温泉に入りたい。」
親戚同志のつき合いを大事にするまじめで堅実な方 最後になるかもしれないので温泉にも入りたい
気が知れた親せきの人に支援受けながら大変でも一緒に良い時間がつくれる。何よりの温泉が楽しめる意欲
久々に温泉に入りたい
家族や親戚の人達と一緒に出かけ旅行は最後かもしれない楽しんでこよう
ALSではあるが健康である。 気持ちが明るく前向き。 装置があれば意思の伝達ができる。
温泉の温度（あつ目か？ぬる目かによる）に慣れる練習をしてあらかじめ慣れておきたい。
親戚一同で温泉旅行をし温泉に入り楽しく過ごさせてあげたい。
何に対しても挑戦心がある
・どんな状況になっても前向きで行動力がある
長男夫婦、親戚による援助。本人の温泉に入りたいと思う意欲
前向きで明るい性格「旅行で宴会したい」
本人も楽しみにしている。負担をかけないようにリハビリを行っている。
・何事にも楽しむ事が出来る ・たた伝達装置を利用すると思っている事は伝えることができる
・頑張り屋。社交的 ・元気で生活できていると皆に感じてもらいたい
意欲、経験、信条
・障害を持つことでうつにならず、積極的に生きている
温泉に入りたい
本人の思いや考え等の確認
みんなの事を借りるのは申し訳ない。でも温泉に又入れるとは思っていなかった。
家族、親戚との交流が楽しみ。温泉へ入ることも楽しみ。意思伝達装置使用しコミュニケーション図る。家族団らんを楽しみたい。
コミュニケーションは文字板を利用し、本人の意志を確認する
・何でも意欲的に取り組む事ができる。・旅行の目的もしっかり持っている。
家で過ごす事がほとんどで旅行に対して多少の不安があるが旅行に行き温泉に入るのを楽しみにしている。

・意欲をもっといただけるように・楽しんでいただく
家族が好き 兄弟ともたのしくつきあいたい
・社会交流を希望（参加）・意欲的である・楽しみにしている
仕事をもつ息子達に遠りょがあり、言い出せなかったが、親せきの発案もあり、皆協力してくれるなら、うれしい。
「妻に、日頃から感謝の念をもっている」何かしら「負担」にむくいることがあればと思っている。意志疎通が難しい。」親戚の会する席で「妻への感謝」を述べたい。
家族だけでは対処しきれない医学的な管理ができる人がいたら心強い
私のために計画してくれた旅行なので残存する生活機能をフルに活用してこの旅行を完遂したい。予期せぬ身体的な変化があっても私の意思決定に全責任があることを宣言しておきたい
・何事にも意欲的で努力家である。・「温泉では、露天風呂に入って、楽しい時間をもちたい」。
・温泉にはいる事は大好きであったためのしみにしている
意思伝達が出来るので、自分の思いは伝えられる。他者との外出に前向き。
・家族だんらんにて、いつも世話をかけているから皆でゆっくりしたい
旅行への意欲
A L S、意思伝達装置を使って疎通ができる。人と交流したい意欲あり。
1人で動くことが出来ない。コミュニケーションも、装置を利用して・・・妻、家族に負担をかけたくない自立意欲は高い。我慢強い
・やりたいと思ったことはぜひやらないと気がすまない性格。
前向きな性格
積極的に外出を考えている。家族との思い出作りをしたい。
旅行ができたならうれしいというのは夢のような話。現実には難しいとあきらめもある。
意欲旺盛
性格
元来入浴が好きなため長湯傾向なため、それにとまうリスクを防ぐ
A D L、人工呼吸器設置、コミュニケーションボード、一家の大黒柱、しっかり者、生きている事が家族の支え、介護度は高い
なかなか会えない親戚と会えるまたとない機会なので、出来る限り行ってみたい。
疲労しやすい、体調に変動あり 意思伝達が困難
・穏やかで明るい性格。楽しむことが大好き。・「これからのことを考えるといつ旅行できるか分からない。できる時にやりたい。気心の知れた人達と楽しく過ごしたい。」
1泊2日の温泉旅行に久々に参加したい。
病気だが、行事には参加したい。家族の支援をうけ、生活したい
頑固
妻の前では弱音を吐くこともあるが人前では明るく前向きにすごす 介助者に対し「ありがとう」と伝えることができる
本人神経質である。枕などの位置や変化に対応するのに問題が多い
病気であってもなるべく家族と過ごす時間を持ちたい
・何事にも挑戦的 ・温泉への入浴に不安もあるが、周囲が支えてくれるのでぜひ楽しみたいと思っている
病気に対する認識は強い。家族とのコミュニケーションを大事にしなが、病気と向き合う姿勢あり、介護保険のサービスに対する拒否は全くない
意思伝達装置を使用しているので使いこなせるかどうか。
家族と共に過ごしたい。
温泉に入りたいという意欲の持ち主。コミュニケーションも意思伝達も出来ている。
久々の外出を楽しみ思い出とするために、参加する皆で介護の協力をする。
前向き
積極的に行動したいと願われている・可能な事には、挑戦し続ける気持ちを持ち続けてほしい。
知識、経験、生きがい、温泉に入りたいという希望
周りの方へ感謝の気持ちが強く、身内の仲間意識、互いの助け合う気持ち強い。
周りの人々に負担をかけてしまうという気持ちに対しての精神的フォロー
・前向きで明るい。・「家族と一緒にいきたい」
積極的である 前向きにとらえる
前向きで積極的な性格
意思が強く前向きな姿勢である F aも利用者のことを思い、温泉旅行に行かせたいと考えている
・目標があると、元気になり、その目標にむけて努力する。・親戚とは、以前も何度か一緒に旅行しており、今回も楽しみにしている。
家族に温泉旅行をプレゼントしたい。自分も久々に温泉に入ってリラックスしたい。
今までの人生の経過。何に興味、楽しみを感じるか
コミュニケーションは意思伝達装置「温泉に入りたい」

「親戚一同で行く旅行はこれで最後になるかもしれないのでぜひ参加したい」「温泉にもみんなの手を借りて入りたい」
本人の意欲を尊重し心配をさせずサポートする。
親戚一同とのコミュニケーションの和のなかになんか参加したい。
人づきあい好き、積極的
少し頑固な所がある
移動などに耐えられるのか。日常生活のあり方
68才とまだ若い年代であり、まだ自分の病気を受け入れられない。活気低下傾向
旅行に行きたいと思うか
目標があるとがんばれる性格
参加したい気持ち。
・家族との関わりを保ちたい。・伝達装置を利用して、コミュニケーションを計りたい。
・温泉に入りたい
・一生懸命で頑張りや・日頃の本人の努力と家族に対する感謝に気持ちを伝えたい。・昔のように親戚とも会話を楽しみたい。・遠出をすることで不安もある。
みんなのささえによって温泉に入れるのはうれしいが、コミュニケーションが取れないので、入浴中に不安がある。
入浴中や特殊な環境において意志を伝える術が確認されていない
・皆と入浴したいという意思がある・参加意欲がある
みんなに迷惑をかけたくない
意欲や気力、希望など
自分の病気を受け入れ、前向きに生活している。周囲に迷惑をかけずに楽しい時を共有したい。
家族と、いっしょに楽しんで温泉に入る。
・「長男夫婦、兄弟、親戚、そして妻へ手紙を書いたので、宴会の最後に渡したい」・兄弟、子供、妻、肉親を大切にする。・積極的な性格
前向きで、なんでも積極的に参加ができる。
・男性・68才・意思表示ができる。・病気の受け入れは出来ている。
家族とのふれあい、コミュニケーションを持つことに前向き
利用者の思いの確認
意志が明確で、皆の楽しみの為に親戚や長男夫婦には、入浴や排泄介助は行ってもらいたくないとの事
難聴もあり人との交流に不安あり。家から出なくなっている。妻から離れてデイサービスに行っているため遠くない温泉を選択し、4月～5月連休前に行く。行けるように食事、排泄の調整を検討している。
男性 68歳
・頑張り屋・人と一緒に過ごす事が好き。
良い思い出作りをする為訪問看護やかかりつけ医師に相談して自分で気をつける所は努力したい。
68歳・男性 性格 生活歴 職歴などから本人の価値観を理解する ALS発症した時から今日までの心境を知る本人の趣味
・家族・親戚とは良い関係が築けている。・温泉旅行を楽しみにしている。
人との交流によりストレスや疲労も感じる。
旅行及び入浴に対する不安あり。
以前から出かける事が多かった。
・親族を大事にする。・何事にも挑戦的である。
・神経質な性格なので、準備はしっかりし、必要な機械類にトラブルが発生しないようにする。
日ごろ、あるいは、こうした旅行で皆の世話になって、実現できていることへの感謝を表したい。コミュニケーションの方法を考えておく。
本人の期待に沿う様皆が共有
他人を受けつけにくい 手伝ってもらいいろいろな経験をしたい
・性格・生活歴・趣味
几帳面。あまり外へ出掛けるのは好きでない。
まわりに気をつかう性格 なるべく負担をかけないようにしたい なにに対しても意欲的ある
自分の意見は相手にきちんと伝えられる。食事の内容も楽しみにしている。
・本人の意思・本人の希望・「生きがい」を見つけてほしい
・本人の希望の確認・性格等の把握
・温泉に入りたいと意欲的である。・積極的
68歳
温泉旅行へ行きたいと意欲的。人との交流が希望（ではないか・・・？）
普段は家族に負担をかけたくないという思いが強く、自分の希望を言われることが少ない。今回珍しく、自分の希望を言われ、温泉旅行に行きたいという強い思いを感じる。
・長男夫婦、親戚にも介護を手伝ってもらい、妻の負担を軽減したい。
・何事にも挑戦的である。

・明るい性格。積極的。・お風呂は好きである
活動的で外に出るのは好き。妻も年をとると疲れがたまりやすいので温泉に入り、ゆっくりしてほしい。皆と会えるのが楽しみ。
温泉に入りたいという強い意欲がある。但し、親族の協力が必要である点も配慮され、無理な要求は考えていない。
・親戚の人とは、ゆっくりと意思伝達装置で会話をしたい。・食べ物は飲みこみやすいように、水分の多い物、味付の淡泊なもの、冷たいものにする。
・前向きである ・わがまま ・生きがいをもって自分らしく生きたい
・親戚とは仲がよい ・出かけることは苦にならない ・温泉は好きでいる
家族親戚の人に、全面的に頼る事ができるか？
・前向きで、協調性があるので場を盛りあげることが得意である。 ・何よりも温泉が好き。
前向き わがまま 生きがいをもって自分らしく生きたい
68歳男性。病気になる前は頑固な性格。介護を受けるようになり、おだやかになる。
・長時間の外出にたえられるように努力する
家族と一緒に出かけたい。みんなと一緒に温泉に入り、楽しみたい。
・几帳面、元来社交的である。
・頑固で、こだわりが強い。・自分の意志が強く、思う様にいかないと怒る。・どういう手段でも、温泉に入りたい。
社交的で話しをする事は好き
親せき一同で温泉を楽しみたいが不安がある（体調、周囲への負担 e t c）
自分を他者に見せたくない。強い意志が有る（トイレに行く）。人に意見は言われたくない。
・意思伝達装置を使用してのパソコンは上級
いつもうまくできるとは限らないが消極的にならない様心掛ける
温泉好き
・好奇心旺盛で何事にも前向きに取り組まれます。・皆に協力してもらい妻の喜ぶ顔が見たい。
生活歴。職歴。性格。
いつも介護してくれる妻にも温泉に入って疲れを癒してほしい。
・何事にも前向きである・入浴をするのに対してできる限りの補助具を利用しながら入浴していきたい
迷惑をかけたくない
・何事にも、一生けん命、頑張り屋・温泉へ入るのは自分達ではできない。
勇気があり、挑戦意欲もあり。ご家族とのコミュニケーションも良好。ご自分の持てる能力を最大限活用することに積極的。
社交的、温泉が好き
・いつも介護してくれる妻と一緒に参加できることに感謝したい。・妻の介護負担について話し合う。
・温泉好き・旅行の興味
明るい性格で活動的。
今の身体状況になってから、初めての旅行であり、入浴が出来るかどうか不安でいっぱいである。
体調の変化環境の変化意思伝達の困難さ
68歳、男。
・短期で涙もろい。嫁に遠慮がある。意思伝達装置もまだなれていなくて時間がかかる
要介護度5、ALS、温泉旅行参加意欲有り妻・親族への愛着と信頼大きい
・温泉に行き、親戚と同じ時間を過ごしたい。・入浴したい。
コミュニケーションかとりにくい自助具を使ってもこまかいところが伝わりにくい。
・何事にも意欲的であるが無理をする傾向がある。・手助けの必要性は十分理解しているが準備期間で無理をして体調をくずさないよう配慮が必要
・意欲的にとり組む・自分で準備するもの、スタッフ、スケジュール管理できている。
68才である。家族の活動に参加したい
皆に迷惑をかけているが、この歓びを伝え感謝をしたい
久々の温泉に入ることが出来るので楽しみにされている
・昔から家族旅行が大好きで年1回は行っていた。最近では体調が落ちついているので、温泉旅行を考えている・おおらかで、前向きな性格である
・おだやかな性格。「親戚、家族とすごせる時間を大切にしたい。思い出になる温泉旅行にしたい」
・家族と共に行動したい・「温泉」という非日常を楽しみたい
物事に対して前向きな姿勢
協調性を大事にする。家族、親戚からの信頼が厚い。
コミュニケーション方法は意思伝達装置を利用
・真面目で黙々と仕事をこなすタイプであるが、家族を大切にしている。・何事もあきらめない性格。
今まで障害をもってから引きこもっていた今回温泉旅行ができる事が今の目標であり、それが励みとなっている
動作はできなくても自分の意思が遂行できることを生きる喜びとしている

頑固である
・性格・好きなこと・好きな人・家族・友達
心配症
・世話好き、面倒見がよく、今皆からお返しされている
・人との交流を好むかどうか・積極的な生活態度があるか？
親戚や家族と一緒になら、行こうと考えている。久々に皆と一緒に行動したい
意欲的な面が出ている
温泉に入りたい、意思
妻に不安がある、誰かに全面的に援助してほしい、苦しい事は我まん出来ないがでも参加したい
のんびりとした穏やかな性格。
新戚での参加は、楽しみにしているが無理はしないように、体調が悪い時は早めの意志表しする
・旅行に向けて、離床時間を作る機会を増やしてきた。
外出、旅行への興味、旅行先の温泉の知織）体調管理
・子供たちの思いやりにこたえたい・障害あっても強い気持ちをもちつづけたい
・温泉に入りたい・親セキと出掛けるのは久しぶりである・楽しみである
意欲的
本人の生きる参加する喜び、充実感の意味
・几帳面で神経質・自分の思いを理解してもらえらるまで何度も同じ事をPCに打ち込む根気良さがある・思い込みが強い
外へ出掛ける事が楽しみ、久しぶりに親戚に会って話しをするのが楽しみ
年齢68才男
・自分のことは自分でできるだけしようと思いつているが妻の介助が必要となっている。・長男夫婦と同居しているが、妻にたよりきってしまっている。
コミュニケーションは装置利用し、可能
・親せき付き合いを大切にする義理がたい性格・旅行中は極力まわりに迷惑をかけないようにしたい。
意志伝達について、あつい、ぬるいなどをわかるように、家族と決めておく
・社会的で、前向きに物事を考えられる性格である。「自分一人ではできないが、息子夫婦の協力を得ながら、旅行にも挑戦したい」
本人も参加し久々に温泉に入りたい
・明るく社交的な性格で・親戚とのつながりも強い、今後このような機会が持てるかどうかかわからないのでぜひ、行きたい
家族旅行に参加し温泉に入りたい男性にだけ介護してもらう事に抵抗はないか？
・ALS、要介護5ではあるが意欲があり、前向きである・旅行を楽しみにしている。
もの静かな性格クラシックをきくと落ちつく
意志表示は、はっきりしている。社交的でもある。久しぶりにゆっくり温泉に入りたい。
・楽しい事が好き
・とても夫婦だけでは温泉にいけない。・毎年一回の温泉旅行が出るためにも自信をつけたい
なにか目標があればがんばれるタイプ
おおらかで、人を喜ばしてあげる人、清潔好きで、温泉が大好き
旅行が好きで、良く温泉に入っていた。皆んなで行ける温泉地を見つける。
・無口で我慢強い。「今回の温泉旅行を契機に、外出する機会を増やしたい」（受容期に入り、ナンシー・コーンのモデルの「適用期」状態と思われる。）
・親戚とは仲が良い。・本人は明るく社交的な性格
我慢強い、何事にも挑戦的である、今回の旅行に行ければ、「もう死んでもいい」と思っている。
本人の参加する意欲を廻りの方々でささえ、温泉に入るという希望を叶える為事前に準備する
何ごとにも前向き
・親族とのコミュニケーションがスムーズにできるか・自身の介護に協力的な無理をさせていないか・宿泊による場所に依じた介護となっているか（入浴介助）
・性格・家族との関係は良好か・経済状況
・元はとても社交的な性格である・温泉が好きで家族などを交えて良く温泉に入っていた
・常に笑顔を絶やさず前向きに生活している・楽しい思い出を作りたい
・コミュニケーションは意思伝達装置で行なえる。外出時電源確保の確認・久々に皆に会えるのを楽しみにしている・人工呼吸装置・コミュニケーション装置吸引器など必要な物と一緒に移動となる、外出の機会がなかった。
意欲的である。障害を受容している。周りの人達に感謝している。
何事にも挑戦的である
意思疎通の不十分さ
・細やかな性格・几帳面・外交的
みんなと楽しみたい何事に対しても前向き
・本人の思いをしっかりと確認する・状態の確認をしっかりと行う

日頃妻に負担をかけているので温泉でゆっくりさせてあげたいと思っている。今後の事も考え将来親戚づきあいを大切にしていきたい。
・温泉旅行への関心・社会へ出ることの関心、不安・情熱、夢
F a やナースの支援をどこまで受け入れるか？（どこまで望んでいるか？）
・几帳面で我慢強い・体調を整えて皆んなに迷惑かけないで一緒に楽しみたい
・外出をすることが好きな性格である・元々人と話すことが好きなため、意思伝達装置を使いながら積極的に他者とコミュニケーションを取る
温泉旅行へ行き温泉に入りたい
体力
入浴を楽しみにしており、病気に関しても理解しているようだ。
・何事にも挑戦的である・親戚・親族の一員として、久しぶりに寝食を共にし交流を深めたい
・希望が強く、長男夫婦も全面的に協力できる。
68才、男性妻長男夫婦と同居 都心にて警備会社の管理業務を行っていた。性格：生真面目。
外出好み、皆んなに受け入れられる性格。
介ゴ者 妻 女性である。又長男のサポートがしやすいよう個人の貸切り温泉がよい。
温泉に行きたいという気持ちは強い その目標に対してリハビリも積極的
・不安なく旅行に参加できるというやる気の継続・介助入浴なら体力のある介護者の協力を得て安全に温泉につかる(大浴槽)。
なるべく多くの人と関わり気分が落ちこまないようにしたいと考えている。自分の病気の事を考え、まだ元気な内に家族や親戚との思い出を多く作っておきたいと考えている。
・昔小さい頃の思い出話し・この体での温泉体験がたのしみ。
環境変化に身体が耐えられるか。
リハビリをする事については積極的に取り組まれて努力家
親戚一同で旅行を計画本人も参加し温泉に入りたいと希望
温泉にぜひ入りたい。頑固である為、人の忠告がきけない。
温泉に入れる感激で長湯されないこと。
要介護5温泉に入りたい
久々に家から出て、温泉旅行に行きたい長男夫婦にも、介護負担にならない様ストレス解消してもらいたい
外出が好きである。意欲低下はあるが、会話は誰とでも行っている。人に迷惑はかけたくないが援助してもらわないと自分ではどうしようもできない。
性格 習慣
本人の気持ち
親戚一同との温泉旅行なのでとても楽しみ
・「温泉に入りたい」と意欲的
温泉好きなので温泉の素等自宅でも温泉気分になるようにゆかりの土産を買ってくる。
外に出たいという気持ちがある
思いやりがあり穏やかでいつも妻や親戚、介護者に感謝の気持ちを持っていらっしやる。旅行は妻や親戚の方への感謝の気持ちで実現したい
新しい生き方を模索するつもり、息子夫婦にも生き様を見せる人生の先輩として、
親戚とのつきあいを継続していきたいと大事にしているかたい
めったに親戚一同が集まる事はないので参加に意欲的
・明るい性格・人との交流が好き
人との交流を求めている
性格的にも頑固であるが、慣れた人達との関わりは、好きな方
・親戚関係を大事にされている・自分の元気なところを親戚に見せたい
・前向きな人生感を評価する・意思伝達の手段が確保できている。
A L S。親せきに出会って一緒に温泉に行きたいという希望がある
・みんなと一緒に旅行に行き、温泉に入りたい。
温泉旅行し親族の結果を強めたい。写真を多く撮り、思い出のアルバムを作成したい。
何事にも興味を示し、意欲的である。カメラが好きで写真撮影は任せて欲しい。
病気にとらわれない 目標に向かって努力する性格
社交的で穏やかな性格。好奇心旺盛
本人の参加したい気持ちを大切にす。
・本人の温泉に行きたいと言う気持ちを大切に、旅行への障害を1つずつ解決していく
親戚一同で1泊2日の温泉旅行に参加したい
・明るく、前向きである・家族への思いやりがある。
・久しぶりに温泉に入りたい・家族との思い出
楽しく、楽に温泉が利用できるよう本人のプレッシャーにならないように(リラックス)する。

我慢強く社会的である。親戚の人達にあまり気をつかわずに旅行を楽しみたい。
・今なら意思をしっかり伝えることができる・妻を温泉につれて行き、日頃の労をねぎらいたい
・親戚の行事に参加したいと思うとの事から、日頃から親戚等他の人との交流が来ている。
皆と一緒に行動したい。大好きな温泉を楽しみたい。
若い頃から旅の企画を練るのが得意だった 一同で楽しめるイベントを考え妻と二人で相談しあっている。久々の温泉も車イス対応可のところが契約できたので安心。
温泉がスキ
自分の意志が強い がんこ、あまり人の手をかりたくない
温泉に行きたいと思っている。
入浴、外出に参加できる状況、体の調子である事。
親戚たちや子供たちと温泉入浴したい
1泊2日の温泉旅行に行きたい。温泉に入りたい。意思伝達装置を使える。
・本人に病識は有り、もともとポジティブな方・以前は旅行会社に勤務していた
意志伝達装置を利用してコミュニケーションをとる。68歳要介護5生活全般に介護が必要
・意思伝達が上手くできるか。・身体状況の急変が懸念される。
みんなで旅行し温泉に入りたい。
・親族に久しぶりに会うので楽しみにしている。・意思伝達装置を利用して近況を伝えたい。
親戚一同と楽しみたいという意欲
・やりたいと決めたら何がなんでもやりたい。
我慢づよい性格。おおらかな面もあり、長女夫婦とはうまくいっている。
近い者とより強い意思疎通を図りたい
・移動は何かかなるが、温泉に入るときに親せきに迷惑がかかるのではないかと心配である。
普段会う機会の少ない人も参加してもらおう。
・頑張り屋さん無理をしてでも達成してしまう性格・家族との時間を最後まで楽しみたい。
能天気なところがあり、物事を楽観的にとらえている。何事にも試みる気持ちはあるものの、我慢強くないため、すぐにあきらめてしまう。
・性格前向き
・生格
自分の意見をはっきりと言う人か。人の好き嫌いはあるか本人はもともと外出して皆で温泉に入るのは好きなほうか
わがままである
家族や親せき等との交流をしたい。
何事もあきらめずにチャレンジしたい
・意欲は高い。・家族の支援を得られる。環境がある。
明るくほがらか積極的で穏やかな性格のため、何でも出来る事は挑戦して楽しく毎日を過ごしたい方であるが、一人では出来ない！支援さえあれば行きたい！
68才 男性
温泉に久々に入りたい
・親として子供にしてやれることは何かと考えている。楽しい思い出にしたい。・体調が維持できるよう頑張ろうと思っている
・以前から外出が好きで活動的であったので、以前のように出かける機会や人と会う機会を希望の場合は予定を実現化したい。
皆と一緒に出かけたい
親戚の方々には迷惑を掛けたくない。
支えがあれば座位保持可能コミュニケーションは意思伝達装置を使うが、目の表情、まばたきで問いかけの返答ができる
辛抱強い 長男夫婦に迷惑をかけたくない
皆の力を借りて楽しい思い出を作りたい
若い時は旅行が趣味で、全国各地を旅していた。神社仏閣にも興味有り。
何事にも積極的な人柄であり普段から新しいことにチャレンジする性格である
定期的な外出の位置づけ。通所介護利用に伴う他者との交流情報の収集。
・温泉が好きで、よく旅行していた。
生活歴からくる本人の価値観。今までの生活からつちかった強さ。性格、家族、友だち等への思い。
久々に温泉に入りたいという希望がある。親戚の方々も旅行も楽しみたい。自分意志は装置で伝えられる
・昔から、旅行が好きで、毎年家族旅行を楽しみにしていた。・孫と一緒に風呂に入りたい。
外出し、温泉に入ることのできる気分をスッキリさせたい。
・家族との関わりが良い。・信頼をしている。・温泉に入りたい、意向を受け入れられた。
困難は承知しているが、行きたいという強い希望をもっている 若い頃から温泉好きである
体が動かないけれど温泉で楽しみたい

本人の意向確認 意思伝達装置の確認
・もともと外出好きな方であり家族との思い出を作りたい。
意欲はあるが、病気のために自由に活動に参加できない。
久しぶりの旅行なので、本人も興奮状態で、一般状態に注意する
68才、男性、要介護5
・温泉が好き・家族、親戚との交流を大切に思っている。
移動手段の確保 施設の満足度
・真面目でがまん強い。何事にも積極的である。
年齢68才 活動的であったために外に出ることが楽しみである 長年の夢であった温泉旅行に一度行ってみたい
本人の「生きたい」生活行いたい事など
・がまんづよいので異常に早くきづくことが必要・表情の変化などに注意・妻といっしょに旅行にいきたい
・楽しいことは好きだが、皆にめいわくをかけてしまう。めったにいくことができないので、温泉に入りたい。
・頑張り屋で人に迷惑をかけたくない・せっかくの旅行なので、皆が楽しくすごし、できるだけ世話にならないよう入浴、食事が自分で行えるようにしたい。
・気持ちを伝えるのに意思伝達装置を使っているため時間がかかる
本人の意思について温泉に入っている時に、どのように確認していけるか？温泉の宿の設備について確認し、本人が、休養することができるか、知ること、安心できる。
意欲的だが、頑張りすぎる“足手まといは嫌だ妻をたまにゆっくりさせたい”と話す
頑固者である すぐに無理をする
・久々に温泉に入り様々な気分を味わいたい・人と会えるよこ日と感謝・悔いのない、旅行としたい
家族の思いやりがうれしい自分の命の期間は永くはないかもしれないみんなの協力で移動し、たのしみたい
・几帳面で我慢強い。何事にも挑戦的である「親せきと楽しい旅行をしたい。久しぶりに温泉につかってのんびりしたい。」
あまり多くを語らないがやさしく思いやりがある。いつも妻には助けてもらっているの今回には妻にもゆっくりしてもらいたい。
・頑張って楽しくやっている事をみんなに見て欲しい・家族を大事に思っている・旅行は最後になるだろう
・積極的な性格のように思われる・温泉に入りたい
意欲的である。若い頃も温泉が好きでよく行っていた。
・前向きで気丈な性格・親戚や家族を大切に
健康で専門知識のある人の同行
・68歳、男性・コミュニケーションは意思伝達装置を利用する・昔から温泉が好きで、家族や親せきと一緒に温泉旅行を楽しんだ
にぎやかな事が好き。親戚の皆さんに自分はまだまだ意欲的に生きている所を見せたい。自作の川柳など披露したい。
・社交的で、妻とも色々なところへ出かけるのが好き。久しぶりに親戚一同が集まるので、楽しくすごしたい。
・几帳面で我慢強い。家族、親戚との関わりを大切にしている。・「自分達だけでは無理なことはわかっている。親戚として皆と一緒に過し温泉にもつかりたい」
温泉大好き
日々進行する難病で、旅行日数もこれから増やすことは困難。家族と楽しい思い出を作りたい
・久しぶりに親戚一同での旅行が楽しみで、気持ちが明るくなっている。・人との交流が活発で社交的。これまでの人間関係を続けるためにもみんなの力を借りて外出したい。しかし「人に迷惑をかけてしまう」との心配もある。
親戚との交流を維持したい
本人は長男夫婦との旅行を楽しみにしている。旅行までの健康管理には気をつけたい。必要な身仕度を忘れ物がないように確認しておく
積極的、意欲的である。
・出稼で色々な仕事をこなして来た器用で面倒見の良い性格である。・責任感が強い人で本来なら人に迷惑かけたくない思いでいっぱい。
温泉旅行へのあこがれ。家族、親戚との交流。困難な事へのチャレンジ意欲
旅先で何かあったらどうしよう…と心配性の性格
・何事にも積極的に取り組まれ前向きに楽しむことができる。
・主婦業・子供2人を育てられた・ご主人他界後は長女と2人暮らしで長女を支えてこられた
・コミュニケーションツールを使って意思伝達は可能だが、慣れない人には伝わりにくく苛立ってしまう。
・性格、生育歴、趣味
・親戚みんなに会いたい。・自分なりにがんばっている姿を見せておきたい
意志伝達できる
外出したい。
閉じ込められず皆と交わり生きていきたい。移乗移動など手助ってくれる人がたくさんいる
コミュニケーションは意思伝達装置を利用して可能
温泉に入ると意欲的になって無理をする可能性もあり注意する。

日頃介護している妻も気分転換になれば良い（妻にもゆっくり楽しんでほしい）親せきとコミュニケーション（話）（装置を使って）をしたい。
コミュニケーションエイドは使える
・家族だけでなく、親戚も大事に思い交流している
・積極的な姿勢・プラス思考・サークル活動に意欲的
・親せきとコミュニケーションをとりたい・できれば温泉に入りたい
（摂食、排泄の介助、痰の吸引などが必要。）普段は妻が主に行っている。※時により訪看同行も視野に入れたい
楽しみや目標を達成するという気持ちが強い
・温泉でうたでもうたいたい
長い移動はした事がなく不安もあるしかし、他の人に迷惑はかけたくない
本人は親戚付き合いを大切にしている義理堅い性格で、また家族思いでもある。自分が温泉旅行に参加することで、親戚家族の絆をより、一層深めることができると考えている。
意欲的である。気をつかう性格、「皆が自分に気をつかわず、楽しめる様にしたい」
・コミュニケーションは伝わるので親戚との会話ができる・妻と長男夫婦の介助者がいるので不安は少ない
・前向きなところがある。・外出が好き。
・ALS、要介護5状態である。・前向きに意欲的な性格である家族とのコミュニケーションを大切に思っている
今までの生活の中で本人の性格的な特徴をきく家族関係
社交的な性格。お風呂に入る事が好き。
・本人も喜んでいるだろうが、周囲はあまりさわぎたてない方がよい。・本人の気分が良いように気配りを忘れずに。
・スポーツマンで、チャレンジ精神のある・ユーモアがあり前向きである。・家族全員での旅行は、本当に久しぶりである。今回の企画を成功させ次に又企画したい。
がまん強い
親戚とのつきあいを大切にしたい
周りの方に気を使う。何事にも一生懸命である。障害についてある程度受容され、前向きであり、何か自分で出来ることはないかと考えている。
・利用者の意思が細かく伝達できない。・体調など把握するのに時間がかかることが予想される。
・几帳面。大勢で入れる大きな温泉が良い。
意志疎通は装置使用。
・元気な頃は家族とよく旅行に行った。・現在病状は安定している。
親戚一同で泊まり旅行に行くぐらいなので、親戚関係は良好？
生活歴、人生感
・あきらめない気持ちが家族や親せきを動かす
よく気がつき、地域の世話人をしていたが、自分は世話になりたくないと思いついて閉じ込められている。旅行は好きなのでこれから外出の機会をふやしたい
・体調を維持し和やかなひとときを共有したい・家族その他の協力を得ていく・温泉につかりゆったりしたい
不満、苦痛等の訴えが少ない方のため、配慮を必要とする
コミュニケーションは意思伝達装置を利用
他者に迷惑をかけたくない、泊まる場所等心配等
社交的で家族とのコミュニケーションを大事にされている。1人では旅行などできないか、息子家族の支援をうけ息子たちと旅行を楽しみ温泉に入りたい
温泉への興味知識、経験、情熱
・普段から我慢していることが多い・久しぶりの外出を楽しみたい
温泉に入りたい
今なら、皆と行動できると思うので、楽しく行き、記念にのこるようにしたい。
外出・外泊の意欲
・閉じこもりで、近所の人に今の状態を見られたくない。プライドがある。・訪問入浴は気に入っており、温泉に行きたい意欲が高まった。・人の好ききらいがはっきりしており、拒絶もある。
・にぎやかな所には顔を出したい。・社交的で明るい・好奇心が強くにぎやかな雰囲気が好き・病気を受けいれている
コミュニケーションは意思伝達装置
・前向きに考える性格で、明らか・ALSであってもできることをとどんどんやりたい
家族のつながりが深い
意志伝達装置がうまく使えて楽しめるものになるようにする
まじめでがんばりやな性格 何事にも前向きにとり組む「皆には迷惑をかけるが、楽しい思い出を残したい」と思っている
温泉に入りたい、皆に会いたい）気持ちが強い。
・体力が余りなくすぐ疲れてしまう。・今回の参加を本人喜んでおり、自分で座る時間を増やすなどを行っている。
・他者と交わることが好き・コミュニケーションもとれる
・昔は1～2年に1度は親戚が集まり旅行に行っていた・本人は人の集まる所、人と話すことが好き

・外出する機会がなく、これが最後の温泉旅行かもしれないと考えている。
クライアントの性格、体調、希望を熟知しておく
元来明るい性格 親戚一同での旅行をととても楽しみにしている。旅行への声かけをしてくれたことが何よりも励みになっている。
温泉に入りたいが介助は誰が行えるか？
男、68才 妻主たる介護者、65才 サラリーマンであった。ゴルフが好きであった。
意欲的で、自分の病も受け入れ、できる事を今後もしたいという前向きな人
坐位時間を伸ばす外出への意欲
・温泉にも入りたい
・入浴好きで若い頃から妻と温泉によく出掛けていた。
久しぶりの旅行で楽しみである。周りの助けをかりながら、過ごしてみたい。
動く事、会話する事、栄養、水分の補給、排泄、清潔等総てに人の手を借りなければいけないが是非親戚一同と温泉に入りたい
訪問看護師の介入可 意思伝達装置を使用して積極的なコミュニケーション可
・平穩に暮すことを望んでいる。・温泉が好き楽しみにしている。・病気になってから温泉に行っていないので心配している。・皆さんにお世話になるのを気にしている。
・性格・親戚一同で一泊2日の温泉旅行に参加し温泉に入りたい
外出は好き 人の中にでることも好き 入浴も好き 旅行をたのしみにしている
障がいを持ちながら家で生活していたがもともと好きだった温泉旅行を楽しみにしている
・久々に温泉に入りたい・意思伝達装置で交流を楽しみたい
・本人の温泉に入りたいという気持ちを大切にしたい・体調管理を行ない無理のない計画をし楽しんでもらうよう心がけたい。
・几帳面
・旅行が好きで1年に1回は家族旅行や夫婦で温泉に出かけていた・今回の旅行は同居の孫が計画を立て、プレゼントした。
・温泉旅行を楽しみたい・家族に迷惑をかけたくない・コミュニケーションを楽しみたい
日頃の思いを受けとめる中で、楽しい思出ができる状況づくり。
社交的で、やさしい、がまん強く、明るい
がんばりやで前向きな考え
・68才 要介護5 介護を必要とする。・久々に温泉に入りたい・親戚と交流がある・難病を受け入れる気持ちがある
温泉旅行が元気な頃から好きであった。
毎日ベッドでじっとしている生活で家族とふれ合い生きてる実感を持ちたい
・こわがり・何ごとにも消極的である・娘のすすめでやっと温泉に入る事を承認した
コミュニケーションは意思伝達装置だけ
明るい 話好き 年をとったのでこういうチャンスをぜひつかいたい
元来人の中に入って行きたい性格、落ちこんで自暴自棄になった時期も有ったが、今は病気を受入れている
・温泉に入りたい。・親戚や長男夫婦などへの負担軽減
寝たきりに近い状態と考えられ、褥瘡、えんげ障害等に特に注意する。旅行、温泉入浴に耐える体力があるか
・親戚一同で、1泊2日の温泉旅行
・1泊2日の温泉旅行に参加するという挑戦する精神が大きい。・皆さんの協力を得て無事に旅行したい。
旅行へ行くことが楽しみ。みんなの手助けが必要。ゆったりとのんびりした時間をすごしたい。
なるべく出来る事は自分でしたい。「温泉旅行に行ったら、温泉や食事は特別なものではなくみんなと同じもので楽しみたい」
・我慢強く、何事もがんばってされる方である・これが最後の旅行かもしれない。家族や親戚といい思い出が作りたい。
・親戚と一緒に楽しみたいと言う気持ち
・几帳面でがんこ。・言い出したらきかない。・自分の希望がかなえられるまで言いつづける。
意志伝達。感情表現での反応。親族で旅行と認識できるかの判断（喜びなど）
・声をかけてもらうことを素直に喜べる人柄である・何かに対して興味を持てる人である・これが、最後の旅行になるかもしれないと思っている
・積極的で人との関わりを大切にしている
介護者妻も久しぶりに温泉に入りゆっくりしてもらいたい。親戚・家族の旅行で楽しく過ごしたい
・明るく、ガンバリ屋・子供思いが通じ、子供達もやさしいし、親戚も頼りになる
明るく前向きな性格だが、出かけることに少し気おくれしている。皆に迷惑かけたくないと考えている。
生活意欲がある。
親類との交流あり、行事への参加にも意欲的。
我慢強く遠慮深い。体調悪くても我慢することが多いので周囲が気をつける。
経管栄養＝機器の準備。食事の準備。排泄介助。着脱介助 e t c
68歳要介護5
意欲的（温泉に行くことに）

・温泉に入りたい
意思伝達装置を利用
元来話好きであり、出かけることは好きでよく旅行していた
皆に世話になっている事を常に感謝している。いつも世話をしてくれている妻にも気分転換させたい。昔から旅行が好きだったのでこの旅行が成功すればもうワンステップ希望を高くもちたい。
脳の活性化にいいし、体を動かすことで、旅行の意義がある
・とても神経質、物品が少しでもズレていると気になる・何事にも意欲的・妻があまり好きではない
熱発等のあるか、緊急時の対応
家族と交流したい。
おむつ使用 仙胃部に床ずれが出来やすい特にマヒ側 入れ歯口腔ケア他人まかせ
・旅行を楽しみにしている
・我慢強く、調子が悪くてもなかなか自分から言う人ではないので、回りの者が注意が必要。・少しは、お酒も久し振りに飲んでみたい。
本人の意欲。何をしたいか。
・旅行を楽しみにしている。・トーキングエイドでの家族との交流が主だが、文集に挑戦したい。
・久しぶりの温泉を楽しみにしている。
68才。要介護度5。社交的。意欲的である。回わりの人たちから慕われる
・魚が好きだ・酔い止めが必要
・意思伝達装置を利用し、積極的にコミュニケーションをとっている
・自分達たちだけでは、温泉地へ出かけられない入浴もできない。
・みんなで楽しくすごしたい・みんなとたくさんお話がしたい
環境ゆえに気持ちが減入ってしまわないか
本人は我慢強く、前向き、温泉に入るためには、どんな事でも、頑張りたい。
・前向きな方で何事にも一生けん命にする・温泉への一泊二日の長時間は他の方の協力が必要である
・なるべく同居の家族には迷惑かけずに実行したい。その為にリハビリは有効だったので、もっと頑張りたい・久し振りに会う親戚に元気な姿を見てもらいたい・装置を使って沢山話したい
親類、家族と大勢で集まるのが好き（親類家族を大事にしたい）
・積極的で、前むきな性格・前むきな想いを持続できるように援助する
健康面での出来る事、出来ない事。体の面での出来る事、出来ない事
気持ちを第一に
体力的な問題。急変時の連絡方法。

『生きることの全体』を支えるICF(国際生活機能分類)に基づく
医療・介護等の包括的提供と運営戦略に関する調査研究事業

別冊 — 2 —

平成 23 年 3 月

平成 22 年度老人保健事業推進費等補助金

老人保健健康増進等事業分

厚生労働省発老 0928 第 1 号

研究代表者 川島 孝一郎

一般社団法人 国際在宅医療研究会
東北大学大学院医学系研究科医療管理学分野

〒980-0013

宮城県仙台市青葉区花京院二丁目 1 番 7 号

TEL : 022-212-8502

FAX : 022-212-8533